

東京藝術大学所蔵藤田資料による  
藤田嗣治 日々の記録



東京藝術大学大学美術館



## 目次

藤田嗣治像の再構築——自筆資料による年譜作成を終えて .....	古田 亮	5
----------------------------------	------	---

### 藤田嗣治 日々の記録

1886 (明治19) 年 .....	14	1931 (昭和 6) 年 .....	21
1888 (明治21) 年 .....	14	1932 (昭和 7) 年 .....	22
1890 (明治23) 年 .....	14	1933 (昭和 8) 年 .....	23
1891 (明治24) 年 .....	14	1934 (昭和 9) 年 .....	23
1893 (明治26) 年 .....	14	1935 (昭和10) 年 .....	28
1895 (明治28) 年 .....	14	1936 (昭和11) 年 .....	35
1896 (明治29) 年 .....	14	1937 (昭和12) 年 .....	41
1898 (明治31) 年 .....	14	1938 (昭和13) 年 .....	49
1899 (明治32) 年 .....	15	1939 (昭和14) 年 .....	58
1900 (明治33) 年 .....	15	1940 (昭和15) 年 .....	61
1901 (明治34) 年 .....	15	1941 (昭和16) 年 .....	66
1902 (明治35) 年 .....	15	1942 (昭和17) 年 .....	67
1903 (明治36) 年 .....	15	1943 (昭和18) 年 .....	68
1905 (明治38) 年 .....	15	1944 (昭和19) 年 .....	68
1906 (明治39) 年 .....	15	1945 (昭和20) 年 .....	69
1907 (明治40) 年 .....	15	1946 (昭和21) 年 .....	69
1909 (明治42) 年 .....	15	1947 (昭和22) 年 .....	69
1910 (明治43) 年 .....	15	1948 (昭和23) 年 .....	71
1911 (明治44) 年 .....	16	1949 (昭和24) 年 .....	74
1912 (明治45/大正元) 年 .....	16	1950 (昭和25) 年 .....	81
1913 (大正 2) 年 .....	16	1951 (昭和26) 年 .....	86
1914 (大正 3) 年 .....	16	1952 (昭和27) 年 .....	99
1915 (大正 4) 年 .....	17	1953 (昭和28) 年 .....	104
1916 (大正 5) 年 .....	17	1954 (昭和29) 年 .....	108
1917 (大正 6) 年 .....	17	1955 (昭和30) 年 .....	111
1918 (大正 7) 年 .....	17	1956 (昭和31) 年 .....	120
1919 (大正 8) 年 .....	17	1957 (昭和32) 年 .....	140
1920 (大正 9) 年 .....	17	1958 (昭和33) 年 .....	149
1921 (大正10) 年 .....	18	1959 (昭和34) 年 .....	169
1922 (大正11) 年 .....	18	1960 (昭和35) 年 .....	187
1923 (大正12) 年 .....	18	1961 (昭和36) 年 .....	208
1924 (大正13) 年 .....	19	1962 (昭和37) 年 .....	213
1925 (大正14) 年 .....	19	1963 (昭和38) 年 .....	217
1926 (大正15/昭和元) 年 .....	20	1964 (昭和39) 年 .....	220
1927 (昭和 2) 年 .....	20	1965 (昭和40) 年 .....	222
1928 (昭和 3) 年 .....	20	1966 (昭和41) 年 .....	226
1929 (昭和 4) 年 .....	20	1967 (昭和42) 年 .....	229
1930 (昭和 5) 年 .....	21	1968 (昭和43) 年 .....	231



# 藤田嗣治像の再構築——自筆資料による年譜作成を終えて

古田 亮

## 君代夫人旧蔵資料のアーカイブ化と公開

2010(平成22)年、藤田嗣治に関連する諸資料が、東京藝術大学に一括寄贈された。2009(平成21)年4月に98歳で亡くなった君代夫人のもとに保管されていたすべての遺品のなかから、藤田研究に資するであろうと判断された資料類である。君代夫人から信頼の厚かった尾崎正明氏(当時は京都国立近代美術館館長)らを中心に、夫人の遺品管理を委嘱された赤坂国際法律会計事務所がご遺族と協議され、貴重な資料が散逸することなく今後の研究に活かされるようにと、公的機関への寄贈を決められたという。そして、選ばれたのが藤田の母校である東京美術学校を継承した東京藝術大学であった。

筆者は、上記の事情について連絡を受け、実際の受贈にかかわる担当となった。受贈にあたっては、大学美術館での登録とその後の整理、研究者への便宜、一般への公開などを条件として、ダンボール箱にして数十箱におよぶ未整理のままの資料を受け入れた。藤田自筆の日記や手稿、書簡、藤田が撮影した写真などが含まれると聞いていたので、その貴重さは十分に理解していたが、運び込まれた資料の物量は想像をはるかに超えていた。

たとえば「日記」と分類した冊子状の資料だけでも70点を数える。1930(昭和5)年から晩年までの貴重な記録である。しかし、1941(昭和16)年から1946(昭和21)年の5年間は含まれておらず、また、中には重複する年月日の日記も含まれる(これについては後述する)。

約6,000件に及ぶその資料の大半は、写真である。スナップ写真は基本的には藤田が撮ったものであろうが、厳密に言えばそれを特定することは難しい。君代夫人が撮ったもの、第三者が撮ったものなど撮影者不明写真も紛れているからである。自作の絵画を複写した二次的な資料も多数ある。藤田歿後に撮影された君代夫人関連のスナップ写真などについては、今回の整理対象からは除外した。

この資料は、質と量から考えて到底ひとりの研究者が抱え込むべきものではない。寄贈を受けた公的研究機関の使命として、研究者や学芸員、そして藤田のことを知りたいと思う多くの人びとが利用可能となるように、できるだけ早くアーカイブ化し公開できるようにその方法を検討しなければならない。そこで、2011年度は学内の予算によって、美術館内の学芸研究員と学生アルバイト

たちで基礎的な整理作業を進めていくことにした。アーカイブ化の基本設計は当時の学芸研究員のひとりでアーキビストでもある久保仁志氏によるところが大きかった。

翌年からは文部科学省からの科学研究費を受託して4年間にわたる本格的な資料整理と研究が行われることとなった(「遺品調査による藤田嗣治研究——君代夫人旧蔵資料のアーカイブ化と公開——」[研究課題番号:24320028])。研究代表者は筆者古田亮、研究分担者は薩摩雅登、木島隆康、田中圭子、黒田和士、岡本明子、下東佳那である。まず目指したのは資料全点のデジタルデータ化だった。その準備として、資料を形状別に分類し、一点一点保存袋や中性紙箱に入れて保護し、FTを冠した通し番号(URN)を付与する。この作業によりはじめて資料の正確な員数と保存状態を把握することができるようになった。同時に各資料の調書を作成し、員数、年代、形状、書き込み情報などを記録し、基本台帳とした。フィルム類は箱、マウントに劣化の著しいものがあつたため、清掃を行い、新しいマウントに交換するといった保護作業を行った[註1]。これらの作業にあたっては専門家から学生アルバイトまで、多くの人の手を介している[註2]。

2016(平成28)年3月には大学美術館のウェブサイト上で資料の概要と資料リスト(暫定版)を公開するところまでたどり着いた。受贈以来5年の歳月をかけてアーカイブ化を進めてきた君代夫人旧蔵資料は「藤田嗣治資料」と名付けられて、前年の12月に本館展示室にてようやく一般に公開されるに至った。

以下、この資料の全体像について、分類に従って簡略に紹介しておく。

「藤田嗣治資料」には、書簡・日記といった直筆の資料から、身分証・パスポートといった記録の書類、あるいは藤田が新聞や雑誌を切り抜きまとめたスクラップブック、また写真や映画フィルムなどの視覚資料にいたるまで、様々な内容・形体が含まれている。当館では、これを資料の内容及び形体によってA1~A7(単独的なもの、例えば日記帳など)とB1~B3(複数あるもの、例えば印刷物など)のカテゴリーに分類し、整理した。各資料はそのなかで、さらに細かい系列に分けられ、系列の中で年代順に整理されている(下表参照)。

### A. 単独的なもの

- A1 書簡（葉書・封書など）
- A2 ドキュメント（日記帳・身分証・パスポートなど）
- A3 クリップング（切り抜かれた新聞記事など）
- A4 写真（フィルム・紙焼き写真）
- A5 音響・映像資料（8mmフィルムなど）
- A6 雑資料（藤田旧蔵の版画作品など）
- A7 その他
  
- B. 複数あるもの
- B1 稀少性の高い印刷物（個展の目録など）
- B2 一般印刷物（書籍など）
- B3 その他

## 藤田嗣治年譜の作成

さて、こうして分類整理を終えたことによって、「藤田嗣治資料」がどのようなもので構成されているのかをとりあえず形式上把握できるようになった。しかし、問題はこれからといえる。この資料の一つひとつが持っている豊富な情報を、今後、どのようなかたちで活かしていけるのか。おそらく、その研究領域は美術史に留まらず、歴史、文化、社会、経済、外交、生活などあらゆる分野に広がっているであろう。当然、研究者それぞれのテーマによりアプローチが異なることになる。

当館では、差し当たって美術史学研究を念頭におき、この資料に関する基礎的研究成果のひとつとして「藤田嗣治年譜」を編む試みをはじめることとした。日記等の一次資料を用いることによって藤田の生涯をできるだけ詳しく検証しようというものである。また、これまでの研究においても事実誤認があればそれを訂正する機会とし、定本となるような年譜を作成しようという試みであった。

しかし、年譜の作成作業を続けていくと、そうした理想的な年譜の完成が意外にも難しいことが見えてきた。第一に、私たちがなすべき裏付け調査が膨大に過ぎて、作業量が現実に見合っていないこと。そうした物理的限界もさることながら、一方で、この「藤田嗣治資料」そのものの性格にも問題があることが次第に明らかとなっていく。それは、この資料が藤田本人によって、また本人の死後は君代夫人によって取捨選択され、場合に

よっては何らかの手が加えられることもあったと考えられる、その操作的な性格のことである。端的な例としては、1941（昭和16）年から1946（昭和21）年までの5年間の日記が排除されていること、君代夫人と出会う前の女性関係の記録、記述が見当たらないことなどが挙げられる。また、本人の遺した記録と、同時代の印刷物や、証言などから得られる情報とを照らした場合、本人の遺したものが客観的事実かどうか判断に迷う場面も少なくなかった。

こうしたことから、本年譜の作成にあたっては出典にFT番号を記した「藤田資料による事項」と、その他の資料による事項とを分けて表記することによって、逆に、この藤田資料が持つ性格を浮かび上がらせようと考えた。したがって、この年譜は基本的に藤田自身によるある意味において主観的な年譜である。客観的な資料を基にした詳細な研究は笹木繁男氏による労作『藤田嗣治 その実像と時代』（上下巻、現代美術資料センター、2019年）を参照されたい。本年譜作成にあたっては、笹木氏をはじめ藤田に関する先行研究を参照し〔註3〕、必要最低限の動向と、出品した展覧会については基本的情報として記載してあるが、藤田資料との整合性については保留とし、併記することとした。ただし、明らかな誤りに関しては本年譜には採録しなかった場合がある。たとえば、以下に紹介するFT00510という資料には、英文で履歴が記載され、Primary School 1894-1902、Middle School 1902-1907、Tokio fine art school 1907-1912とあるが、この内容は客観的事実とはかけ離れている。藤田像が揺らぐ原因は、自身のことについてさえこのような事実誤認を記す藤田自身の側にもあるだろう。

本年譜の記述方法について、基本方針を明らかにしておく。出典は〔 〕に示し、[FT00510.056]であれば藤田資料FT00510の56ページであることを示す。日記等を引用する場合は「 」で括り、原則として原文の表記のままにし、書き間違いや記憶違いと思われる箇所についても編者による修正は加えていない。

年譜に加える事柄は、編者によって次のような原則によって取捨選択したものである。第一に、画家としての基本的な活動を最も重視した。制作、移動、社交といった画家としての活動については、細かな事項でも比較的拾い上げるようにした。一方、いわゆる日常生活にかか



わる部分は原則として割愛した。ちなみに藤田の日記の特徴は、何かのテーマを持って書かれることはほとんどなく、一貫して日々の記録であり備忘録である。

本年譜作成の意図は、藤田の生涯において芸術創作にかけた時間を具体的な行為（主として作品制作、作品発表、取材旅行など）を通して藤田自身の姿を浮かび上がらすことである。そして、多方面にわたる交流の記録、社会活動を取り上げたことによって、今後、様々な研究分野からのアプローチが可能になることが期待されている。

藤田資料から年譜を作成することは今回の作業で一応の区切りとするが、当館では引き続きデータ上の年譜を定期的にアップデートしていくことを念頭に置いている。そのためにも、本年譜が多くの研究者によって検証され、場合によっては原資料に当たるなどして追加修正されていくことを望んでいる。また、これが手がかりとなり、今後「藤田嗣治資料」を扱って行われるすべての研究において、基礎的な役割を果たすことが期待される。だが、繰り返しとなるが、「藤田嗣治資料」は、純粋で客観的なものとは言い難い。第一に、藤田自身がどのような藤田像を結ぼうとしていたかが問われなければならないだろう。そして、君代夫人はその遺志をどれほど正確に引き継いでこの資料を手元に置いていたのかも気にかかるところである。

## FT00510に見る藤田像

前述の通り、藤田資料から藤田像を解き明かしていくことは容易なことではない。本稿では、その端緒にすぎないものの、以下にひとつの資料を取り上げて、そこに立ち現れる藤田像を読み解いてみたい。

FT00510と名付けられた1冊の手帳は、藤田嗣治資料のなかでは「日記」に分類されている。たしかに、その一部には1941(昭和16)年、1942(昭和17)年、1943(昭和18)年の日記が抜粋されている。これは1943年にこの手帳を購入し(最終ページに「昭和十八年六月廿七日 麴町通にて求之」とある)、理由は不明だが冊子の半ばから同年1月から12月までの日記を抜粋して書き抜き、また、過去の日記帳から書き抜いたものである。また、わずかに1934(昭和9)年、1950(昭和25)年の日記が見られる。その他は1948(昭和23)年の時点での履歴や戸籍などが記

載されている。したがって、純粋な日記帳ということとはできず、むしろ記録帳と言ったほうがよいだろう。

藤田資料を読み解いていくにあたってこの資料に注目するのは、ひとつには藤田嗣治とは誰かという問いに、日本脱出のために準備を進めていた1948年の藤田自身が用意した自画像ともいべきものをこの1冊の手帳から読み取ることができるからである。もうひとつは、戦中と戦後間もなくの日記そのものは処分されたと推察できるなか、このFT00510には、抜粋とはいえ1941年から1943年の日記が垣間見られる点、その希少性は看過できない。では、以下、資料にそって考察を進めていこう。

最初に記されたのは「明治1 1868」から「1951、1952 Paris」までの年表である。微妙な字体の違いから判断して、はじめにこの表をつくったのは1948年で、その後、1952(昭和27)年に加筆したようだ。和暦と西暦の対照のためにつくった表にすぎないが、そこには「巴里へ」「戦争」など、それまでの人生を大きく振り返った時に重要なトピックがメモされている。人に関する記載は、わずか1886(明治19)年の「嗣治生」、1910(大正9)年の「9月11日君代生」、1935(昭和10)年の「君代」(二人が出会った年である)。そして1941年に「88才父 亡日、一月十三日」とあるのみ。日記の処分を暗示するかのようになり41年から45年までの間に×印を刻む。自分を含めてたった3人だけの記録。日本を永久に離れようと決意した藤田が、見開きの簡素な年表に自分の人生を映し出したところから、この一冊ははじまっている。

次いでしばらく、日本語と英語による履歴書、医師証明、身分証明、戸籍抄本、主要作品リストなどが続く。これらは1948年12月に用意されたもので、アメリカへのビザを申請するための準備と考えられる。この先は1943年、42年、41年の日記と続いて行く。そして、手帳の反対側から履歴関係の文書が記載されている。藤田自身による記録として重要なので、これらをもとに藤田嗣治の人物像をまとめてみたい。

まず、しばしば問題となるツグハルと読むかツグジと読むかだが、この1948年の記録ではすべて「Tsuguji」としている。ところが、1930(昭和5)年のパスポート[FT00593]、1939(昭和14)年のパスポート[FT00594]、1941年のパスポート[FT00595]ではいずれも「Mr. Tsuguharu Foujita」となっている。そして、1949(昭和24)年のパスポ

ート [FT00596] では「Mr. Tsuguji Foujita」としているの  
渡米に際してツグハルからツグジへ変更したとも受け取  
れる。ただし、このパスポートに貼られた3月11日付け  
ホノルルでの税金領収書には「RECEIVED OF TSUGUJI  
FOUJITA OR TSUGUHARU FUJITA SAME」という記  
載が見られる〔註4〕。

上記、1948年の時点で本人が記した藤田に関する情  
報及び、1949年のパスポートの情報を整理すると次の  
ような自画像を結ぶ。

本籍地 東京都淀橋区戸塚町3丁目963  
現住所 東京都練馬区小竹町2714  
身長 166cm  
体重 62 kg  
職業 美術家  
視力 強度近視眼  
犯罪 該当事項ナシ  
勅任官待遇

また、手帳の反対側から記載された履歴には戦時期の  
軍部との関係について、次のような記述がある。

#### 軍務

イ、該当事項ナシ

ロ、陸海軍報道部ノ依頼ニヨリ戦争記録画ヲ作成ス  
ル期間（三ヶ月乃至六ヶ月間）其ノ年毎ニ  
海軍省軍属（無給）昭和十三年、十七年十八年十  
九年  
陸軍省軍属（無給）〃十六年十七年十八年  
十九年ヲ命ゼラル

#### 陸軍美術協会

昭和十三年 会員

〃十八年 理事長

十九年 副会長并ニ理事長

廿年 解散

#### 大日本海洋美術協会

昭和十六年 会員

廿年 解散

#### 日本美術報国会

昭和十八年 理事

廿年 解散

自昭和廿年十月末日一至今日

聯合最高司令部ノ命ニ依リ日本戦争画并ニスケッチ  
ヲ検閲移動蒐集ニ協力スルモノナリ

これをまとめれば、以下の通り。1938(昭和13)年には  
陸軍美術協会の会員となり〔註5〕、その後、理事長、副  
会長の要職に就く。大日本海洋美術協会は1941年より会  
員、日本美術報国会では1943年より理事を務めた。その  
間、陸海軍の報道部の依頼により戦争記録画を制作。そ  
の期間は各年に3～6ヶ月。戦後は、連合国軍最高司令  
部(GHQ)の命令により、戦争画およびスケッチを検閲、  
移動、蒐集に協力した。

1938年から1948年までの藤田の人生を、これだけに  
まとめられるはずのないことだが、いずれの事実も、フ  
ランス定住以降の藤田が自らの履歴から消し去った部分  
であり、近年の画集、カタログ類の年表にも記載される  
ことのない項目である。

ちなみに、堀内君代との結婚の時期について、英文で  
記載された「戸籍抄本」によれば、1936(昭和11)年12月  
11日に新しい家族が認められ、1938年9月19日に結婚が  
認められたとある〔註6〕。このことも、これまでの年表  
では記載がないか曖昧な記述となっていた。複雑なのは、  
フランス移住後は入籍されたままの前妻キキが存命だっ  
たために、フランスにおける君代との入籍はキキが亡く  
なった後の1954(昭和29)年10月5日だったことである。

#### 戦中期の日記を読む

FT00510の中間部は、前後の文脈とは無関係に1934(昭  
和9)年正月の日記からはじまる。冊子の購入時期、使  
用順から推して、これが先に書かれたとは考え難いので、  
藤田は少なくとも1943(昭和18)年以降になって1934年の  
日記の一部を書き抜いたということになる。1934年は帰  
国後はじめての正月だが、10年前の日記のこの月の記録  
を敢えて書きおこす理由は定かではない。さらには、こ  
の部分の前の数ページが切り取られていることも謎を深  
めている。



この後、今度は1939(昭和14)年から43年の洋行記録が数行あり、「(1943年、)十八年、(2603年、)私が五十八才 君代卅四才」ではじまる、1943年の日記抜粋となる。「私が五十八才」は数え歳で、満年齢ならば57歳の年である。

1943年と言えば、6月、陸軍省は戦争記録画作成のために藤田をはじめ、猪熊弦一郎ら26名の画家を南北戦線に派遣することを決定し、藤田は太平洋方面を担当することとなった。そして、同年9月、国民総力決戦美術展に《アツ島玉砕》が出品された。ちょうどこの頃の日記を、省略なしに引用してみよう。なお、本編の年譜では、こうした日常的な記述は省略せざるを得なかった。

七月十一日 昨日は土用の様に暑かった  
君代世間の人はいさから自分一人で  
好きに暮したいと言ふがそれが出来れば  
一番いいのが世間の方からうるさくつきま  
って  
来るのが常で自分丈けですまして居られぬ

七月十六日 満月にあわて、蟬がなき続け。

七月十八日 君代だまり込んで家二人女中一人  
この三人一言も口きかず話もしない日  
寂しい事だ、鮎夕食にたべて君代  
大分話する様になつた機嫌なほつたらしい。

七月廿一日 夜は虫が多い くちなし花  
の香庭に満て、どんく仕事する事が一番  
いゝ、又いゝ画はかくして置くに限る、  
君代も陽気になつた、一安心して仕事  
出来る、

七月廿二日 蟬朝からさわがしい 蚊やり  
せんこう一日たかねば蚊多くてやり切れぬ。

七月廿三日 朝顔やくと呼ぶを呼びとめて  
五ツ鉢買つて朝眺める、岡田電話  
かけて来たが君代岡田のかけ方が  
ジリくすると怒る。私は岡田が□本夫人

の様ぢや仕方がない岡田のいい処だと言ふと  
君代何にもかも反対して私を西洋人呼  
ばはりて皿を投げて大に怒る、  
石井柏亭奥の細道芭蕉二百五十年祭 東北  
へ旅に上ると言ふ いささか芭蕉翁に気の毒だ。  
夜岡田二人来た中々負けずやだ 大にやる  
と言つてるが何の程度か？

七月廿四日 朝がほの花夜雨に打たれて  
だいなしだつた残念だ。

七月廿六日 夜中二時半君代腹痛ミ大弱り  
ギリく痛む 湯タンポ作り日本茶作り  
二度くりかへしてる内になほつて笑顔をする  
よく早くなほつた。

七月廿七日 三島で沢田初めて近くで富士  
を見て驚く。

八月十日 昼から来る筈の京都の女中朝来て  
武田町々を教えたりして時間つぶし  
する一方節の父来ず昼から節をかへす  
事本人に言い渡し大あばれ泣いて  
帰らずとてだ、こねて大に弱つた  
私京都の女中連れて芦原さんに一夜をたのむ

八月十三日 今日も一日仕事する気で居たが  
君代又今度の女中働けぬ人らしいとて(ちづ)  
いたく悲観し節やを置いとけばよかつた  
と後悔、私ハ二階皆明けたりして手伝  
つたりして馬鹿見た、

八月十六日 東京十何個処落雷半蔵門に  
も落ちた昨夜は物凄しかつた急に涼しく  
なつた。

八月廿二日 夜十時放送島崎藤村翁神奈川縣  
で七十二才で他界する 私と十六年全時に  
藝術院会員になつて隣りに住んでた人丈  
けに失つて寂しかつた。

八月廿六日 廿二日同 私の作品の内迫力の強いものを描き上げた。自分で恐かった。人々も凄いなーと言つて驚く。

九月八日 大観は私の事を藤田さんと呼ぶ 私は大観先生と答へる。大観さんに葡萄とレモン水馳走になつた、画はい、物丈け残ると言ふ事を言はれ にせは増えても眞物は少なくと言ふ、

夢を見、夫婦げんかをし、俳句をつくり、朝顔を愛で、妻の腹痛を案じ、女中問題で手を焼いている。この日記の中からは、日常のささやかな喜怒哀楽を生きる画家の姿が彷彿としてくる。厳しい戦時下で南太平洋に従軍し、大作の戦争記録画を精力的に制作している画家と同じ人物であると、誰が想像できるだろう。

手帳を購入したのはこの年6月27日であるから、7月以降は原本の可能性もあるわけだが、使用状況、内容の取捨選択からみて後年の抜粋とみて間違いない。藤田は、日記の抜粋にあたって、軍部との関係、戦争記録画に関することについては一切触れなかった。この手帳が、いざれこうして人の眼に触れることを十分に考慮して、このような恣意的な操作を行ったものと推察される。《アツツ島玉砕》のことと思われる「私の作品の内迫力の強いものを描き上げた。自分で恐かった。人々も凄いなーと言つて驚く」という記述がある。これまで知られていなかった、戦争記録画に対する極めて重要な画家自身の肉声であるが、具体的な作品名や内容をあえて避けていることから、それは明らかであろう。

その反面、島崎藤村や横山大観らの名前は、はっきりと個人名が記されている。藤田と横山大観との交流については、管見の限りでは全資料の中でもこの箇所だけであるが、これまでの研究では全く知られていなかった直接的な会話の一場面が分かる点で興味深い。大観が藤田さんと呼んだのに対して、年長者であったからだろう、藤田は「大観先生」と呼んでいること。藤田が記した「画はい、物丈け残る」「にせは増えても眞物は少なく」という大観の言葉は一般論ともとれるが、あるいは大観か

ら藤田へのメッセージであったとも考えられよう〔註7〕。藤田は何故、この3年間の日記から、こうした記述をわざわざ書き抜いたのだろうか。

1941(昭和16)年の場合は、父藤田嗣章の死という藤田にとって何よりも重大な事件があったからに違いない。1月3日に数え88歳の祝いの会を開いたのもつかの間、9日に熱を出し、12日に見舞いに行った時には容態が悪化、ついに13日に息を引き取った。その日の日記は次のように伝えている。

一月十三日 朝八時百人町へ君代と二人かけつけ  
父上面会二分位 君代も同席眼光深く大きく見給ひて愈々怪しと一同集る十時  
十一時十二時一刻々と父上の寿命消える様に遂に三時十分末ごの水を口にぬりて三時廿分眠るか如く88才で大往來された。月は皎々とおく霜白く私ハ七十六才で帰朝七十七を祝いて渡佛、八十七にて帰朝八十八にて死別 私もとうくみなしごになつた 薬王院殿嗣章日晷大居士

父親の死去から四十九日までの前後の顛末は、この手帳の後半で再び抄録されている。それは原本からの採録であり、その後も書き写しが続くため、この年のことは二重に記載されることになった。「みなしご」には下線が引かれた「私もとうくみなしごになつた」という部分は、大きな喪失感を本心から語るものである。藤田は庇護してくれた父親への忠誠心や依存心を隠することなく語り、記録し、保存しているのである。

このFT00510では、1943年の日記抜粋の後に、1942年、1941年と遡って戦中期の日記から抜粋、記録されている。繰り返すが、この「藤田嗣治資料」には1941年から1946年の5年間の日記は含まれていない。もちろん偶然なのではなく、藤田自身による意図的な行為である。おそらく渡米を前にした1948年の年末に、この期間の日記を処分することに決し、その前に一部を書き抜いたということであり、その際に、選択の基準となったのは、はじめに述べたように、父嗣章に関することと、妻君代に関すること、そして自身のことだったように思われる。1944年から1946年までの日記については残念

ながら、その抜粋ものこされなかった。偶然のことなのか、抜粋すべきことがないと判断したのか、それはもはや知ることができない。

ちなみに、1937(昭和12)年の日記 [FT00513] の後半部分には、藤田自身によって墨で消された部分が散見される。そのうち、墨が薄いために消された文字が読み取れる箇所には乃木將軍の肖像画制作や、千人針の記述が判読できた。この年は盧溝橋事件をきっかけに日中戦争が勃発し戦時色が急速に広まる時期にあたる。11月の日独伊三国防共協定、12月の日本軍南京占領に関する記載についても墨で消された痕跡があるが、日記の中の1行ほどの文字数であり、報道で知った程度のことを記したに過ぎなかったろう。後年、この日記が世に出ることを想定し気になる箇所に墨を塗ったのだろうが、藤田自身が覆い隠そうとした藤田像とはどのようなものであったのか、それを推し量ることは難しい。

## 空白を埋める文字

藤田資料が雄弁に語るのは、藤田が過剰な〈文字〉によって記録を残し、意思を伝達する人だったことである。それは、生来の性癖ともいえるものであり、若い頃から最晩年まで、龐大な日記と書簡をのこしている。あえて文字と記したのは、ここで話題としているそれらが、活字になる可能性がほとんどない個人的な目的のために書かれたものであり、メモ、備忘なども含んでいるからである。そのこと自体は、何も特別視すべきことではないかもしれない。日記を書き、筆まめに手紙を認め、生活の記録を残す人は少なくない。自由業であれば尚更であろう。しかし、ここで文字を書く人としての藤田に注目したい理由は、それが絵を描く人、藤田とどこかで関連しているといえるからだ。

試みに、晩年のある日の日記(1962年3月13日、14日)と君代夫人宛の書簡(1951年2月13日付)を見てみよう[註8]。細かな文字が紙面を覆っている。日記は、画家としての仕事のメモが残されているので貴重な情報も含まれるが、たいいていは何を食べたか、どんなテレビ番組を観たか、どんな夢を見たかといった日常生活の記録である。些細な出来事でも、その日の日記の空白を埋めるだけの文字を書いて、一日を終えているようだ。そこに感情を

露わにする言葉はほとんど記されない。生きていることの記録なのである。

一方、航空書簡用紙に、びっしりと隙間なく埋められた文字。アルジェリア滞在中に君代に宛てたこの手紙では、自身の展覧会の成功を誇らしげに語りつつ、君代夫人へのいたわりを忘れない。最後は「お前の手紙だいてねる。いい夢でも見たい。」と締めくくる。たしかに、藤田の君代夫人への愛情が溢れている手紙である。と同時に、藤田が書き残した龐大な文字の総体は、藤田という人の自己表現にほかならない。

日記であれ手紙であれ、書くべき内容があろうが、あるまいが、一定の情熱で空白を埋めていくことに関して、藤田は何の迷いもない。何かを書き始める時、どうしてもこの事を伝えたい、書き残したいという強い動機がなければ書けない、書かないというタイプではないことは明らかだ。一般にそれを空白恐怖症と呼ぶことがある。

絵を描く藤田もまた、空白を埋めていくことに執着しているかに見える。初期から晩年まで、いくつかの例外をのぞけば一貫して画面を何かで覆い尽くそうとしていたようにさえ思われる。そのような眼で見れば、《五人の裸婦》(1923年)、《秋田の行事》(1937年)、《アッツ島玉砕》(1943年)、《ジャン・ロスタンの肖像》(1955年)、そしてランス礼拝堂壁画(1966年)まで、画風こそ目まぐるしく変化していったにもかかわらず、文字を記すときと同じく、藤田は変わらぬ自己表現をみせていたのだということに気付かされる。

## 藤田が見た夢

以上、日記から垣間見られる藤田像について述べてきたが、藤田が見た夢という観点から若干の感想を加えておきたい。

1936(昭和11)年の日記 [FT00512] は下半期のみで、1937

年の日記 [FT00513]、1939(昭和14)年の日記 [FT00515] はほぼ一年を通してコンスタントな記載があるが、自分が見た夢について記録することはなかった。1935年だけは、初夢として「今朝の夢、崖の山の上のほり半身丈け空に出て、棒地に入り砂地で手ごたへなくもう一息で上れる処中々上れず、これをもう一息で頂上に達する

筈、本年はこゝを大に気にとめて活動勉強する夢を忘れずに勉むる事とす」(1月2日条、本文未収)とあるが、これきりにとどまる。

それに比べて、FT00510には、過去の日記の抜粋であるにもかかわらず、相当数の夢の記述が見られる。以下、その一部を年代順に整理して示す(本文未収)。

1934年

1月1日

チャプリンに会った夢

1月2日

大メロンを手からすべらして大ビトリンのガラスを  
わつた夢

1941年

1月10日

春の様にかすんだ日 大工の音で眼さむ 美術学校  
で一席優等で五年間フランスへ留学させるとの夢、  
戦争がすんだら又君代と行こうと言ふ夢見た、

1942年

1月1日

白馬に翼あるに打ち乗つて天空を駆けた夢見た、いろ  
く一日空想夢想、来客殆んどなし、

2月14日

昨夜ドロボーの夢見て唯れだと大声挙げて君代と湯  
タンポけとばして眼さめた。

1943年

1月3日

初夢、私の画が2万円のが急に4万円となり八万円  
となり十六万円となって又倍に成つて行く、大変だ  
と思つた、  
君代ハ寝言でアナタ石許りヨと言つた、ソウシテゲ  
ラク笑つた。

2月15日

大作を始めると画の夢を一晩中見てる、いろく画の  
事が眼に浮んで出て来る やはり気を入れてかいて  
る時丈けらしい。

7月8日

ルクサンブールかセイヌ河畔の樫と並木のあるいい  
景色の処を逃げ廻はつてる夢を見て画にしたらいい  
な一と思つた さめてもよく景色が頭に残つて居た。

こうした夢について精神分析を試みようというのでは  
ない。ただ、戦中期の日記を戦後になって藤田自身が読  
み直した時、そこに見出した自分自身の姿がここにはあ  
るように思われる。戦争については沈黙し、夢について  
は饒舌といえるほどに語ってみせるのは、あるいは今日、  
私たちがこの日記を読むであろうと想定していた藤田に  
よる彼なりの演出であったかもしれない。

## 終焉

以上、藤田資料から本年譜を作成してきた過程で垣間  
見られた藤田嗣治の断片的な姿を紹介した。

藤田は、最後の最後まで日記を書くことをやめなかつ  
た。FT00573は1967(昭和42)年12月、チューリッヒの  
病院にて苦痛に耐えながら書き始められ、翌1968年1月  
には君代へ遺言、遺産について記述されるが、その文字  
は絶え絶えとなる。その先、数ページにわたってやせ細  
った自分の体をいくつか描き、倒れて盃を掲げる姿に描  
いたものには「9-1-68」「乾杯」「最早駄目近々に迫る」  
とある。1月29日、午後1時15分、藤田はこの世を去った。

その一生を振り返れば、持てる才能を活かして休むこ  
となくひたすらに仕事をした人だったということができ  
るだろう。10年にわたって藤田資料にかかわり年譜を  
編んだ経験から筆者が抱いた藤田像は、意外にもシンプ  
ルなものである。

## 付記

本稿は、2017年に発表した拙稿「藤田嗣治資料」に  
よる藤田嗣治像(『東京藝術大学大学美術館紀要・年報 [平  
成27年度]』)を中心に「文字を記す藤田」(『没後50年 藤  
田嗣治展』図録、東京都美術館、2018年)を基とし、大幅に  
修正を加えて再構成したものです。

本年譜の作成、編集にあたっては、編集者の柴田卓氏  
をはじめ、研究者の横山由紀子氏、岡本明子氏のご協力を  
賜りました。また、藤田嗣隆氏からは貴重なご助言を  
賜りました。深く感謝申し上げます。



## 註

- 1 本学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存油画研究室の協力を得た。
- 2 ここに、上記の科研メンバー以外で資料の整理、分類、調査等に参加して下さった方々のお名前を掲げて謝意を表します。青柳宏美、安藤さやか、大平江利子、岡坂桜子、加藤健一、鎌田馨代、小松百華、佐野勝也、柴美春、高木麻紀子、高木理沙、竹本芽依、ダニエル・サストレ・デ・ラ・ベガ、忠あゆみ、中村萌恵、村田俊、守谷広子（以上、50音順・敬称略）
- 3 その際に主に参照したのは、『藤田嗣治画集 素晴らしき乳白色』（講談社 2002）、『生誕120年 藤田嗣治展 パリを魅了した異邦人』展図録（東京国立近代美術館ほか、2006）、『没後50年 藤田嗣治展』図録（東京都美術館ほか、2018年）、笹木繁男『藤田嗣治 その実像と時代』（上下巻、現代美術資料センター、2019年）、藤田嗣隆『レオナルド藤田嗣治 覚書』（求龍堂、2020年）である。
- 4 藤田嗣隆氏は、嗣治の読み方について詳細な調査を行い、藤田自身がツグハルとツグジの両方を使っていた事実から、どちらで呼んでも差し支えない状況を整備することこそ望ましいのではないかと指摘している（前掲註3『レオナルド藤田嗣治 覚書』p.190）。また、父嗣章の読み方についても、藤田資料にはツグアキラとツグアキの両方が表れる。
- 5 陸軍美術協会は翌1939年に結成された。38年6月に結成されたのは大日本陸軍従軍画家協会である。
- 6 原文は、「Reported to establish a new family and accepted on 11 Dec. 1936.  
Reported his marriage with Kimiyo Horiuchi, and accepted on 19 Sep. 1938.」また、日記 [FT00514] の1938年9月19日条には「婚姻成立」「淀橋区役所へ婚姻届出して本日君代と入籍なる」とある。
- 7 藤田と横山大観との関係については、「藤田嗣治と日本画」『視覚と心象の日本美術』（ミネルヴァ書房、2014年）において、若干の考察を試みている。
- 8 拙稿「文字を記す藤田」『没後50年 藤田嗣治展』図録（前掲註3）の図版を参照のこと。



## 藤田嗣治 日々の記録

- ・本年譜は、藤田嗣治の生涯に起きた事柄を藤田自身が残した資料を中心に列記したものである。
  - ・「 」内は日記からの引用を示す。引用内の記述は原則として藤田が書き記した通りの表記を用いた。誤字や記憶違いの類もそのままに引用した。
  - 略字、旧字、特殊文字等は原則として現行表記に直し、カンマやピリオドは句読点として補った。
  - 判読不能の文字は□で、編者による中略箇所は「……」を用いた。藤田自身による打消しは☒で表した。
  - ・出典は「 」内に示した。FTを冠した番号は、東京藝術大学所蔵の藤田嗣治資料の資料番号を示す。FT資料以外の主要出典中の略記は以下の通り。
    - 『試論』：夏堀全弘・矢内みどり『藤田嗣治芸術試論—藤田嗣治直話』三好企画、2004年
    - 『画集』：『藤田嗣治画集 素晴らしき乳白色』講談社、2002年
    - 『陸軍軍醫中將藤田嗣章』：『陸軍軍醫中將藤田嗣章』陸軍軍医団、1943年
    - 『私の半自叙伝』：蘆原英了『私の半自叙伝』新宿書房、1983年
    - 藤田嗣隆『レオナルド藤田嗣治 覚書』：藤田嗣隆『レオナルド藤田嗣治 覚書』求龍堂、2020年
    - 笹木繁男『藤田嗣治』：笹木繁男『藤田嗣治 その実像と時代』（上下巻）現代美術資料センター、2019年
    - 『巴里の横顔』：藤田嗣治『腕一本・巴里の横顔』講談社、2005年
- その他、『年鑑』『作品目録』等の略記は、「生誕120年 藤田嗣治展 パリを魅了した異邦人」展図録（日本経済新聞社、2006年）所収の尾崎正明編年譜に記された項目および出典を踏襲している。藤田資料では確認できない客観的事項の多くは、同年譜にある項目を引用させていただいた。

## 1886 (明治19) 年

11月27日 東京府牛込区（現在の新宿区）新小川町一丁目八番地に、藤田嗣章（32歳）と政（29歳）の次男として生まれる。

## 1888 (明治21) 年 2 歳

11月 父嗣章が熊本の第六師団軍医部部に転任する。[『陸軍軍醫中將藤田嗣章』p.29]

## 1890 (明治23) 年 4 歳

12月23日 父の任地熊本の池田町稗田1203番地へ移る。[蘆原英了『私の半自叙伝』p.31]

## 1891 (明治24) 年 5 歳

8月21日 母政熊本で死去する。[『陸軍軍醫中將藤田嗣章』p.120]

## 1893 (明治26) 年 7 歳

4月1日 熊本県尋常師範学校付属小学校に入学する。[藤田嗣隆『レオナルド藤田嗣治 覚書』pp.47-48]

## 1895 (明治28) 年 9 歳

8月9日 父嗣章が近衛師団軍医部長として台湾に派遣される。[『陸軍軍醫中將藤田嗣章』p.42]

## 1896 (明治29) 年 10 歳

5月29日 熊本県尋常師範学校付属小学校を卒業、同付属高等小学校に入学。[『陸軍軍醫中將藤田嗣章』p.42]

11月21日 長姉きくが蘆原信之と結婚。[『陸軍軍醫中將藤田嗣章』p.42]

## 1898 (明治31) 年 12 歳

3月3日 東京市四谷区仲町3丁目29番地、姉の嫁ぎ先の蘆原家に転居する。[『私の半自叙伝』p.29,33]

3月30日 兄とともに上京し、東京高等師範学校付属小学校の三年に転入。[藤田嗣隆『レオナルド藤田嗣治 覚書』p.45]

## 1899 (明治32) 年 13歳

8月2日 9月3日まで、興津に避暑に出かけ、絵入り日記をのこす。

[FT00352]

## 1900 (明治33) 年 14歳

3月 東京高等師範学校附属小学校卒業。[藤田嗣隆『レオナルド藤田嗣治 覚書』p.49]

4月 東京高等師範学校附属中学校入学。

[FT00510,056]

学級誌「綴光」の編集にかかわる。[笹木繁男「藤田嗣治(上)」p.79]

蘆原家を出て、麴町区六番町に転居する。[『試論』p.471]

## 1901 (明治34) 年 15歳

蘆原家とともに麴町区富士見町一丁目8番地を経て、中六番町2番地に転居する。[藤田嗣隆『レオナルド藤田嗣治 覚書』p.45]

9月 蘆原家が仙台に移ったため、兄とともに嗣章の義弟河合常二宅(小石川区第六天町)に引き取られる。[藤田嗣隆『レオナルド藤田嗣治 覚書』p.45]

## 1902 (明治35) 年 16歳

暁星中学校の夜学に通ってフランス語を学ぶ。[『画集』p.12]

この頃 画家になりたい一心で、父嗣章宛に手紙をしたため許される。[笹木繁男「藤田嗣治(上)」p.78]

[FT00580,049]

## 1903 (明治36) 年 17歳

7月 岡山に旅行。父に後樂園を描いた絵手紙を送る。

[FT00349]

## 1905 (明治38) 年 19歳

3月 東京高等師範学校附属中学校を卒業 [『年鑑』p.56]

4月 東京高等師範学校附属中学校を卒業(3月か)

[FT00510,056]

春 本多錦吉郎の彰技堂で東京美術学校入学の準備のため絵を学ぶ。[『巴里の横顔』p.236]

4月 東京美術学校予備科に入学。[『東京美術学校交友会月報』]

5月 東京美術学校油画科入学(9月、西洋画科入学か)

[FT00510,056]

9月 東京美術学校西洋画科に入学。校長が正木直彦、西洋画科主任が黒田清輝だった。[『年鑑』p.56]

12月 広島父に葉書を書く。

[FT00349]

この頃 小石川区小日向第六天町40番地に転居。[『試論』p.471]

## 1906 (明治39) 年 20歳

中国の安東県を経て満州に入り、大連から船で帰る。[『地を泳ぐ』p.127]

新宿区大久保の百人町に移ったのはこの頃か。[『都新聞』1937年6月1日]

## 1907 (明治40) 年 21歳

10月 「白馬会第11回絵画展覧会」上野、竹之台陳列館 10月7日～11月15日 《風景》《春色》《夏の浜辺》油彩

## 1909 (明治42) 年 23歳

4月 《父の像》を制作。

## 1910 (明治43) 年 24歳

東京美術学校西洋画科本科を卒業。卒業成績は約30人中、16番目くらい。卒業制作は《自画像》《女》《網すき》で、黒田清輝は

悪い絵の例として皆の前で説明したという。池部鈞、長谷川昇、近藤浩(浩一路)、岡本一平らが同級。[[日本美術年鑑]第1巻,p.212、[巴里の横顔] pp.237-238]

5月 「白馬会第13回絵画展覧会」上野、竹之台陳列館 5月10日～6月20日 《山より》《女》油彩2点

9月11日 君代生まれる。

[FT00510,001]

### 1911(明治44)年 25歳

3月20日 「東京勸業展覧会」池之端、東京勸業協会 3月20日～6月10日 《青梅》《山家》《上野原》《駅》油彩4点

4月16日 「美術新報主催新進作家小品展覧会」京橋、吾楽殿 4月16日～30日 《春》《青梅》油彩2点

8月 「美術新報」8月号(203号)に「奉天の日没と京の鴨川」を寄稿。

[FT00510,001]

### 1912(明治45・大正元)年 26歳

3月20日 「第2回東京勸業展覧会」池之端、東京勸業協会 3月20日～5月20日 《午後の日》《三保にて》《宿裏》油彩3点

春 ～夏 鶴田登美子と朝鮮(牛耳洞、開城)に遊ぶ。この時、軍医総監でソウルにいた父嗣章を訪ねている。[[登美子宛書簡]1914年4月2日、鶴田吾郎『半世紀の素描』p.38]

6月9日 「光風会第1回絵画展覧会」上野、竹之台陳列館 6月9日～29日 《帝国劇場》《清水港》《南国》

6月22日 「双首会漫画半切展覧会」神田、琅玕洞 6月22日～23日 藤田嗣治、近藤浩の2人展

6月26日 「漫画展覧会」西大久保、大久保文学倶楽部 6月26日～30日 藤田嗣治、近藤浩の2人展

この年 鶴田登美子と結婚。[[試論]p.473]

### 1913(大正2)年 27歳

年初 2ヶ月ほどひとりで朝鮮を旅する。[[登美子宛書簡]1914年6月5日]

6月18日 日本郵船三島丸で横浜を出港、神戸で下船して岡山に蘆原信之を訪ね、再び門司から乗船した。[蘆原英了「藤田嗣治と小山内薫」『學燈』65-3, pp.33-36、[私の半自叙伝]p.45]

8月5日 マルセイユ着、6日リヨン経由でパリに到着、オデッサ通り28番地のオデッサ・ホテルに宿泊する。[[登美子宛書簡]1913年8月15日]

この直後に、アメリカ経由でパリに来ていた川島理一郎と会う。また川島を通じて資生堂の福原信三とも会う。[[登美子宛書簡]1913年8月15日、9月21日]

10月 オデッサ・ホテルからシテ・ファルギエール14番地のアトリエに入居。[[登美子宛書簡]1913年10月12日]

当時、川島はレイモンド・ダンカンが主唱する「ギリシャ古代精神への回帰」という思想に共鳴、ギリシャ・ダンスを学んでいたが、藤田も同じダンスを10月半ば頃から始めている。また、秋頃からルーヴル美術館にエジプトやギリシャの美術を見るために足しげく通い、ギリシャ熱を高めた。[[登美子宛書簡]1913年10月26日]

11月14日 川島とサロン・ドートンヌに出かける。[[登美子宛書簡]1913年11月19日]

12月13日 ～23日 川島と二人でロンドンに旅行し、大英博物館でギリシャ、エジプト美術を熱心に鑑賞した。サウスケンジントンの建築家のピロップ氏邸に宿泊する。[[登美子宛書簡]1913年12月31日、『中央美術(復興)』13, p.47]

### 1914(大正3)年 28歳

2月頃 ピカソやディエゴ・リベラのアトリエを訪ねる。[[登美子宛書簡]1914年2月10日]

3月 ～4月にかけて 川島と二人で当時はキュビストとして有名であったディエゴ・リベラの制作のモデルを務めた。[[登美子宛書簡]1914年3月21日]

4月上旬 ダンカンのアカデミーのあったパリ郊外のモンフェルメイユに土地を購入、自給自足の共同生活をおくる。[[登美子宛書簡]1914年4月22日]

この頃から、戦争の影響で父嗣章からの送金が途絶えて、経済的に苦しくなる。[[登美子宛書簡]1914年8月2日]

彫刻家のオシップ・ザッキンと万国連合赤十字に志願して訓練を受ける。[[登美子宛書簡]1914年9月5日]

9月上旬 モンフェルメイユが軍に接収され、10月中旬まで川島のヴェルサンジェトリックス通り3番地のアトリエに居候、その後シテ・ファルギエールに戻る。[[登美子宛書簡]1914年9月30日、10月22日]

12月 川島は体調がすぐれず、療養にスペインへ赴く。[[登美子宛書簡]1914年11月15日]

## 1915(大正4)年 29歳

- 4月 東京の仕送りを1916(大正5)年の末までとする。[『登美子宛書簡』1915年4月17日]
- 6月 パリに戻った川島とドルドーニュ地方、レゼジーにあるマルザック城へ引越す。[『登美子宛書簡』1915年6月]  
マルザック城滞在中、付近の原始時代の洞窟壁画をみる。[『登美子宛書簡』1915年8月20日、『中央美術(復興)』13,p.59]
- 10月3日 川島がボルドーからアメリカに発つ。[『登美子宛書簡』1915年10月4日]
- 12月24日 パリへ戻る。[『登美子宛書簡』1916年1月1日]

## 1916(大正5)年 30歳

- 1月8日 ロンドンへ到着、久米民十郎の家に入る。[『登美子宛書簡』1916年1月]
- 4月26日 久米と感情的なもつれからロンドンを離れ、しばらくコーンウォールへ滞在する。[『登美子宛書簡』1916年]
- 6月 当分ヨーロッパに滞在、ただし父よりの送金をあおがないで自活することを登美子に伝える。[『登美子宛書簡』1916年6月21日]
- 8月 ロンドンへ戻るか。[『登美子宛書簡』1916年8月21日]
- 日本の古物商の漆業の人のもついで働く。[『中央美術(復興)』13,p.59]
- ゴルドン・セルフリッジの店に裁断師兼デザイナーとして勤める。[ユキ・デスノス『ユキの回想』p.112]
- ロンドン滞在中、しきりにアメリカへ渡って資金を得ることを計画する。[『登美子宛書簡』1916年10月11日、10月17日、11月8日]

## 1917(大正6)年 31歳

- 1月1日 パリに戻る。14区のヴェルサンジェトリックス街に住む。[『中央美術(復興)』13,p.60]
- 3月27日 フェルナンド・バレーと結婚する。[『試論』p.475]
- モンパルナス、ドランプル街5にアトリエを構える。[『中央美術(復興)』14,p.65]
- シェロンと契約、水彩を納めて毎月収入を得るようになる。[『中央美術(復興)』13,p.60]
- 6月1日 ラ・ポエシー街のシェロン画廊で最初の個展を開く。カタログの序文をアンドレ・サルモンが書く。[『作品目録』]  
個展 パリ、シェロン画廊 6月1日～16日 水彩110点
- 夏 プルターニュを旅行する。[『中央美術(復興)』14,p.64]
- 11月5日 第2回目の個展をシェロン画廊で開く。[『作品目録』]  
個展 パリ、シェロン画廊 11月5日～30日 水彩110点

## 1918(大正7)年 32歳

- 4月 ～夏 妻フェルナンド、モディリアニ、ジャンヌ・エピュテルヌとその母、スーチン、画商のズボロウスキーと南フランスのカーニュに過ごす。この間、ルノワールを訪ねる。[『中央美術(復興)』14,pp.65-66]
- 7月頃 カーニュを離れ、アヴィニョンの近くで制作する。[中央美術(復興)』14,p.66]
- 11月26日 ドゥヴァンベス画廊で個展を開催する。[『作品目録』]  
個展 パリ、ドゥヴァンベス画廊 11月26日～12月12日 油彩84点、素描7点、水彩54点

## 1919(大正8)年 33歳

- 3月20日 シェロン画廊で個展を開く。[『作品目録』]  
個展 パリ、シェロン画廊 3月20日～4月10日 油彩75点、水彩13点
- 11月1日 再開されたサロン・ドートンヌに、宗教画を中心に油彩2点、水彩4点を出品して全て入選する。閉会後会員に推挙される。[『作品目録』、『中央美術(復興)』14,p.65]  
「第12回サロン・ドートンヌ」パリ、グラン・パレ 11月1日～12月10日 《永遠の生》《コンカルノーの教会》油彩2点、《キリストと二人の盗賊》等水彩4点

## 1920(大正9)年 34歳

- 1月28日 サロン・デ・ザンデパンダン展に6点を出品する。[『作品目録』]  
「第31回アンデパンダン展」パリ、グラン・パレ 1月28日～2月29日 《ダリア》《風景》等油彩4点、水彩2点

- 3月12日 ルブール画廊で個展を開催する。[[作品目録]  
 個展 パリ、ルブール画廊 3月12日～4月3日《テルトル広場》等油彩12点、素描4点、《キリストと二人の盗賊》等水彩37点
- 7月24日 アントワープ王立美術文学サークルでセレクション・グループ展に出品する。[[作品目録]  
 「セレクション・グループ展」アントワープ王立美術文学サークル 7月24日～8月12日《林檎をもつ子供》等油彩2点、《祈り》等グアッシュ3点
- 10月15日 サロン・ドートンヌに油彩6点を会員として出品する。[[作品目録]  
 「第13回サロン・ドートンヌ」パリ、グラン・パレ 10月15日～12月12日《草原の馬》《子供と人形》等油彩6点
- 11月6日 「新進フランス画家作品展」アントワープ、セレクション 11月6日～19日
- この年 「(サロン・ドートンヌ)審査員を命ゼラル」 [FT00510,056]

### 1921(大正10)年 35歳

- 1月2日 ブリュッセルのセレクション画廊で個展を開催する。[[作品目録]、[パリの晝と夜] p.81]  
 個展 ブリュッセル、セレクション 1月2日～14日 34点
- 1月 ロッテルダムで個展を開催する。[[中央美術(復興)] 14, p.68]
- 1月23日 アンデパンダン展に油彩3点、水彩2点を出品する。[[作品目録]  
 「第32回アンデパンダン展」パリ、グラン・パレ 1月23日～2月28日《コリウールの家》等油彩3点、《エドガー・キネ街》等水彩2点
- 秋 後援者ゼーホルツァーと共にイタリアを旅行、ローマ法主ベネディクトゥス15世に謁見、フランシスコ・ザビエルの肖像制作を依頼されるが、翌年早々法王が死去したため、中断した。システイナ礼拝堂のミケランジェロに感動する。  
 [[腕一本] pp.195-202、[ユキの回想] p.122]
- 11月1日 サロン・ドートンヌに《自画像》《裸婦》《私の部屋》を出品する。  
 「第14回サロン・ドートンヌ」パリ、グラン・パレ 11月1日～12月20日《自画像》《裸婦》《私の部屋、目覚まし時計のある静物》油彩3点

### 1922(大正11)年 36歳

- 1月13日 ブリュッセルのサントール画廊で個展。前年のサロン・ドートンヌに出品した《自画像》が、ベルギー王立美術館の買い上げとなる。[[作品目録]、[中央美術(復興)] 14, p.68]  
 個展 ブリュッセル、サントール画廊 1月13日～29日
- 1月28日 アンデパンダン展に出品する。[[作品目録]  
 「第33回アンデパンダン展」パリ、グラン・パレ 1月28日～2月28日《静物》《腰掛ける女》油彩2点
- 4月20日 「サロン・ド・ラ・ソシエテ・ナショナル日本美術展」パリ、グラン・パレ 4月20日～5月22日《サーカスにて》油彩1点
- 10月14日 第4回帝国美術院美術展覧会に、1921年制作の《わが画室》(出品時《私の部屋》)を出品する。恩師の和田英作が日本に持ち帰ったものであるが、平出品で鑑査するという話が起り、これに対して父嗣章がサロンの審査員の作品を鑑査するなら出品を撤回すると怒り、無審査で推薦になったという。[[作品目録]、[陸軍軍醫中將藤田嗣章] p.258]  
 「第4回帝国美術院美術展覧会」上野、竹之台陳列館 10月14日～11月20日《私の部屋、自覚まし時計のある静物》
- 11月1日 サロン・ドートンヌに出品する。[[作品目録]  
 「第15回サロン・ドートンヌ」パリ、グラン・パレ 11月1日～12月17日《裸婦》《私の部屋、アコーディオンのある静物》《学校》油彩3点

### 1923(大正12)年 37歳

- 1月 サロン・デ・チュイルリーの招待作家に選ばれ、2点出品する。[[作品目録]  
 「サロン・デ・チュイルリー」パリ、グラン・パレ《裸婦》《自画像》油彩2点
- 2月10日 アンデパンダン展に出品する。[[作品目録]  
 「第34回アンデパンダン展」パリ、グラン・パレ 2月10日～3月11日《裸婦》油彩1点
- 5月1日 サロン・ド・ラ・ソシエテ・ナショナルに出品する。[[作品目録]  
 「サロン・ド・ラ・ソシエテ・ナショナル・デ・ポーザール」パリ、グラン・パレ 5月1日～6月30日《室内、妻と私》



- 5月28日 ブリュッセル王立美術協会展に出品する。  
「ブリュッセル王立美術協会展・日本部門」5月28日～7月8日《学校》《肖像》
- 11月1日 サロン・ドートンヌに出品する。[[作品目録]]  
「第16回サロン・ドートンヌ」パリ、グラン・パレ 11月1日～12月16日《裸婦(五人の裸婦)》油彩1点  
フェルナンド・バレと別居し、リュシー・バドゥー(ユキ)と16区のアンリ・マルタン街17番地に住む。[[ユキの回想] pp.53-56]
- この頃 アントワープで壁画を制作する。[[ユキの回想] p.186-187]
- この年 「佛国サロンナショナル準会員 サロンチュレリー サロンアンデパンダンの会員に推薦サル」 [FT00510,056]

## 1924(大正13)年 38歳

- 春 サロン・デ・チュイルリーに招待作家として出品する。[[作品目録]]  
「サロン・デ・チュイルリー」パリ、パレ・ド・ボワ《横たわる女》《自画像》等油彩3点
- 5月24日 アントワープの現代画廊での「サロン1924」に出品する。  
「サロン1924」アントワープ、アール・コンタンポラン 5月24日～6月22日《エレーヌ・フランクの肖像》等14点
- 5月 交通事故で入院 [[画集] p.214]
- 10月15日 第5回帝展に《私の部屋、アコーディオンのある静物》を出品する。[[作品目録]]  
「第5回帝国美術院美術展覧会」上野、竹之台陳列館 10月15日～11月20日《私の部屋、アコーディオンのある静物》油彩1点
- 10月25日 ブリュッセルのサントール画廊で個展を開く。[[作品目録]]  
個展 ブリュッセル サントール画廊 10月25日～11月5日 油彩14点、デッサン15点、水彩画10点
- 11月1日 サロン・ドートンヌに裸婦の大作2点を出品する。[[作品目録]]  
「第17回サロン・ドートンヌ」パリ、グラン・パレ 11月1日～12月14日《ユキ(雪の女神)》《友情》油彩2点
- 11月 ロルフ・ド・マレーの率いるスウェーデン・バレエ「奇妙なトーナメント」の舞台美術、衣装デザインをする。[[画集] p.214]
- この年 「日本帝国美術院ニ推薦サル」 [FT00510,056]
- この頃 ベルギー人のフランソワ・フランクと知り合うとともに、フランクの紹介でオステンドにいたジェームズ・アンソールに会う。[[ユキの回想] pp.185-186、p.188]
- 日本に不在のまま帝展委員となる [[画集] p.214]

## 1925(大正14)年 39歳

- 5月 サロン・デ・チュイルリーに《舞踏会の前》ほか、版画を出品する。[[作品目録]]  
「サロン・デ・チュイルリー」パリ、パレ・ド・ボワ《舞踏会の前》油彩1点、《自画像》版画等6点
- 8月 「(帝国美術院)展覧会審査員ヲ命ゼラル 欠席」 [FT00510,055]
- 9月2日 「仏蘭西現代美術展覧会」上野、日本美術協会列品館 9月2日～23日《座れる裸女》等油彩3点
- 9月26日 「第18回サロン・ドートンヌ」パリ、グラン・パレ 9月26日～11月2日《砂の上》等油彩2点
- 10月3日 「パリ在住日本人画家展」パリ、セルクル・ジャポネ 10月3日～30日
- 11月20日 エトワール画廊で個展を開催する。[[ガゼット・デ・ザマテル] 9号]  
「藤田展」パリ、エトワール画廊 11月20日～12月5日《砂の上》《友情》等油彩10点、素描13点、水彩2点、版画10点
- 12月 「日本人画家展(フジタと十二人の日本画家)」メゾン・ド・ブラン 12月～1月1日
- 12月2日 第4回仏蘭西現代美術第二次展に油彩、版画を出品する。[[日佛藝術] 6]  
「4回仏蘭西現代美術第二次展覧会」上野、日本美術協会列品館 12月2日～15日《座れる裸女》等油彩3点、版画17点
- この年 「於巴里日佛交換展覧会委員ヲ命ゼラル」 [FT00510,055]  
「萬国博覧会審査員ヲ命ゼラル」 [FT00510,055]
- この年 フランスからシュヴァリエ・ド・ラーレジョン・ドヌール勲章を、ベルギーからシュヴァリエ・ド・レオポルド一世勲章を受章する。[[中央美術(復興)] 14, p.69]
- この頃 ベルリンで個展を開催する。[[中央美術(復興)] 14, p.69]
- マティスがオランダ旅行の話で藤田を訪れたのはこの年か。[[ユキの回想] p.56-57]

## 1926(大正15/昭和元)年 40歳

- 1月 1924年に制作された《友情》をフランス政府が購入、リュクサンブール美術館に収蔵する。[アトリエ社版『日本美術年鑑 1926年版』p.114]
- 5月 サロン・デ・チュイルリーに出品する。[[作品目録]  
「サロン・デ・チュイルリー」パリ、パレ・ド・ボワ 5月《自画像》《二人の少女》等油彩6点、銅版画6点
- 5月15日 第5回仏蘭西現代美術展に出品する。[[日佛芸術] 2-11]  
「第5回仏蘭西現代美術展」上野、日本美術協会列品館 5月15日～6月25日《モデル》《パリジェンヌの顔》油彩2点、版画2点
- 6月14日 「藤田展」パリ、グラノフ画廊 6月14日～7月3日 油彩30点
- 7月 「サロン・デテ」パリ、グラノフ画廊 ～8月28日
- 11月5日 サロン・ドートンヌに《栃木山》を出品する。[[作品目録]  
「第19回サロン・ドートンヌ」パリ、グラン・パレ 11月5日～12月19日 《栃木山》水彩1点
- 11月10日 「第2回パリ在住日本人画家展」パリ、セルクル・ジャポネ 11月10日～12月10日
- 12月11日 「日本人会主催写真展」パリ、セルクル・ジャポネ 12月11日～

## 1927(昭和2)年 41歳

- 1月22日 個展 ベルギー・ル・サントール 1月22日～2月1日
- 3月14日 グラノフ画廊で個展を開く。[[招待状]  
個展 パリ、グラノフ画廊 3月14日～31日
- 4月30日 個展 パリ、アール・コンタンポラン画廊 4月30日～5月13日 油彩、素描
- 4月 「サロン・デ・チュイルリー」パリ、パレ・ド・ボワ《絵画》等油彩2点
- 6月24日 ～27日 コメディ・デ・シャンゼリゼ劇場で上演された「修善寺物語」の舞台美術、パンフレットを担当。[[画集] p.214]
- 7月 14区のモンソー公園近くのスキャール・モンソーりに転居する。[[引越通知、サロン・ドートンヌ[作品目録]]
- 8月 ドーヴィルに海水浴に行く。シーズン終了後、ブルターニュのブレア島へ出かける。[[ユキの回想] pp.96-99]
- 9月 ルーブル美術館銅版室が藤田の腐食銅版画の原板を収蔵する。[[中央美術] 13-12 pp.80-81]
- 11月7日 「サロン日本展」パリ日本人倶楽部《女》《小娘》《アンナ・ド・ノアイユの肖像》等 11月7日～30日

## 1928(昭和3)年 42歳

- 6月1日 アール・コンタンポラン画廊で個展を開く [[アトリエ] 5-8, p.126]  
「婦人肖像画展」パリ、ラ・ルネサンス画廊 6月1日～30日 《フィリップ・ベルトロ夫人の肖像》油彩1点
- 個展 パリ、アール・コンタンポラン画廊 6月1日～22日
- 8月 ブレア島に滞在する。[[熊岡美彦滞欧画集] p.76]
- 11月9日 「第4回パリ在住日本人画家展」パリ、セルクル・ジャポネ 11月9日～
- 11月19日 ベルネーム=ジュース画廊で大作4点(600号)とデッサンの展覧会を開く。[[招待状]  
個展 パリ、ベルネーム=ジュース画廊 11月19日～30日 油彩4点、デッサン
- 12月 「ボナールとフジタ展」パリ、ベルネーム=ジュース画廊 12月14日まで
- この年 ポール・モランにより画集『フジタ』(仏文)が出版される。

## 1929(昭和4)年 43歳

- 2月4日 ユキと正式に結婚 [[レオナルド・フジタ展図録] 2008]
- 4月8日 ラ・ルネサンス画廊で「日本人画家グループ」展を開催する。藤田は翌月開館するパリ国際学生都市の日本館に制作した《欧人日本へ到来の図》を出品する。[[作品目録]  
「日本人画家グループ展」パリ、ラ・ルネサンス画廊 4月8日～20日 《欧人日本へ渡来の図》三幅対1点
- 6月1日 ジュ・ド・ボーム美術館で開催された日本美術展覧会に陳列委員長として参加、前年に制作した《争闘》《動物》の2点を出品する。[黒田鵬心『巴里の思出』p.8, p.26]  
「第1回日本美術展覧会 現代の古典派」パリ、ジュ・ドゥ・ボーム美術館 6月1日～7月25日 《争闘》《動物》2点
- 6月14日 「第2回日本人画家グループ展(ブリュッセル展)」ブリュッセル、コダック・ギャラリー 6月14日～7月13日 《デッ

サン・二人の女》《デッサン・二人の男》《接吻》《横たわる女》《二人の女》出品

- 6月22日 「藤田近作展」パリ、マニユエル兄弟画廊 6月22日～7月10日
- 9月23日 神戸入港の香取丸で、ユキ同伴で帰国する。[『東京朝日新聞』1929年9月25日]
- 9月26日 東京朝日新聞社主催で講演会を開く。[『1930年版日本美術年鑑』p.67]
- 10月1日 「藤田嗣治展覧会」東京、朝日新聞展覧会場 10月1日～10日《構図Ⅰ、Ⅱ》油彩2点、素描50点、版画20点
- 10月16日 第10回帝展に1929年作の《自画像》を出品する。[『作品目録』  
「第10回帝国美術院美術展覧会」東京府美術館 10月16日～11月20日《自画像》油彩1点
- 10月17日 「藤田嗣治展覧会」東京、日本橋三越 10月17日～21日《仮装会の前》油彩1点、版画、素描
- 12月1日 『巴里の横顔』を出版する。
- 社交生活はより盛んになるが、多額の税金を請求される。[『ユキの回想』pp.212-214]
- この年 連合国ユニオン・クラブの遊戯室の壁画を制作する。[『画集』p.214]

## 1930 (昭和 5) 年 44歳

- 1月14日 日本郵船大洋丸で、アメリカを経由してパリに帰る。[『中央美術(復興)』19, p.54]
- 2月7日 ニューヨーク [FT00504,025]
- 2月12日 イルドフランス [FT00504,026]
- 2月14日 「世界一周の旅より帰る十二時巴里着」 [FT00504,027]
- 2月20日 マルセル、マダム・ブルトン、デスノスと会うか。 [FT00504,028]
- 2月24日 岡本太郎と会うか。 [FT00504,030]
- 5月8日 パリ郊外のbourget空港からリヨンへ行く、初めての飛行機。帰りは汽車。 [FT00504,050]
- 5月14日 「ユキマルセイユより帰る」 [FT00504,052]
- 5月25日頃 「サツマ氏へ手紙」 [FT00504,055]
- 6月3日 「高松宮御迎、ルーブル案内」「午後3時大使館 岡田三郎助」 [FT00504,058]
- 8月20日 パリ→トネール [FT00504,080]
- 8月21日 トネール→ノワイエ [FT00504,080]
- 8月22日 ノワイエ→アバロン [FT00504,081]
- 8月23日 アバロン→ヴェズレー→アバロン [FT00504,081]
- 8月24日 アバロン→ディジョン [FT00504,081]
- 8月25日 ディジョン→ジュブレ・シャンベルタン [FT00504,081]
- 8月26日 ニュイ・サン・ジョルジュ→ボース [FT00504,082]
- 8月28日 ボース→マルセイユ [FT00504,083]
- 9月1日 パリ [FT00504,084]
- 大恐慌の影響で美術市場が低迷、モンスーリの家を手放す。[『ユキの回想』p.257]
- 藤田、ユキ、ロペール・デスノス、トモ(藤田の甥)の4人でブルゴーニュ地方への徒歩旅行をする。[『ユキの回想』pp.257-258]
- ラスパイユ通りのオテル・ド・ラ・ベに移る。[『ユキの回想』p.258]
- 9月 藤田をモデルとする人物が登場する「パリゼット」が宝塚女子歌劇団月組で上演される。[『レオナルド・フジタ展図録』2008]
- 11月 アメリカに行き、ニューヨークのラインハルト画廊で展覧会を開く。その後、シカゴに1ヶ月ほど滞在する。[『中央美術(復興)』19 pp.54-55]
- 11月8日 「個展」ニューヨーク、ラインハルト画廊 11月8日～28日
- 11月1日 「アメリカ行き」 [FT00504,100]
- 11月6日 「ニューヨーク着六時半」 [FT00504,102]
- 11月29日 「アトリエ行き荷物引き上げ」アトリエを移る。 [FT00503,008]
- 12月10日 American union of Decoration artistes and craftsmanの作家たちとPaul Theodore Frankle 邸で夕食会 [FT00503,020]

## 1931 (昭和 6) 年 45歳

- 1月25日 グランドセントラル駅から汽車でニューヨークを發ちシカゴに向かう。 [FT00503,068]
- 1月26日 Hotel ambassador に宿泊。 [FT00503,069]
- 1月27日 「Exposition Chicago 11h 展覧会出かけ」 [FT00503,070]

- 個展 シカゴ、ジ・アーツ・クラブ・オブ・シカゴ 1月27日～2月17日
- 2月15日 汽車でシカゴを発ち、16日ニューヨーク着。 [FT00503.504]
- 6月1日 バリに戻る。[『レオナルド・フジタ展図録』2008]
- 秋 ユキと別居。[『レオナルド・フジタ展図録』2008]
- 10月30日 「30 OCT cherbourg」 シェルブール [FT00506.004]  
 シェルブールからイギリスの汽船アルマンゾーラ号で、マドレーヌ・ルクーとブラジルに向けて旅立つ。[『地を泳ぐ』p.136]
- 11月15日 ブラジル、リオ・デ・ジャネイロに到着。「15 Nov. Rio de Janeiro」 [FT00506.004]  
 ブラジルには翌年の3月下旬まで滞在した。[『聖州新報』no.622]
- 12月16日 リオ・デ・ジャネイロで個展を開催。大半は約1ヶ月、現地で制作した作品であった。[『聖州新報』no.622]
- 12月17日 「Expositon a Rio」 [FT00506.002]  
 個展 リオ・デ・ジャネイロ、バラセ・ホテル藍色の間 12月16日～31日 油彩16点、素描29点

1932(昭和7)年 46歳

- 1月18日 汽車でサンパウロに入る。「18 JAN Sao Paulo」 [FT00506.004]  
 「Espanada 510室に入る」 サンパウロ San Paulo [FT00506.014]  
 サンパウロ芸術家協会の招聘でサンパウロを訪問。 [FT00506]
- 1月30日 リオへ向かう。 [FT00506.018]
- 2月初め ふたたびリオに戻ってカーニバルの審査員を務めた。滞在中にカーニバルに取材した作品を制作し、3月のサンパウロでの個展に出品したが、仮装した黒人を描いた作品が一部のブラジル人から問題にされかかったという。[『日本新聞』no.2、[『伯刺西爾時報』no.767, no.771]
- 2月1日 「1 Fev Rio」 リオ [FT00506.004]
- 2月23日 リオを発つ。 [FT00506.027]
- 2月24日 「24 Fev Sao Paulo」 サンパウロ [FT00506.004]
- 3月4日 「Exposition a Sao Paulo」 ～3/15 [FT00506.002]
- 3月5日 個展 サンパウロ、ルア・ビンテ・クワートロ・デ・マイオ 3月5日～15日
- 3月24日 ブエノスアイレス号に乗船、サンパウロを出航。 [FT00506.037]
- 3月26日 モンテビデオに寄 [FT00506.038]
- 3月28日 アルゼンチン、ブエノスアイレスに入港。「新聞記者数人写真攻め」 [FT00506.039]  
 大阪商船ブエノス・アイレス丸でアルゼンチンのブエノス・アイレスに入り、約3ヵ月ほど滞在する。ブエノス・アイレスではカフェ・トルトニで開かれたアルゼンチン芸術家協会の同年度シーズンの開会式に、マドレーヌと主賓として招かれるなど歓待を受けるとともに、ブエノス・アイレスのほか、コルドバ・ロザリオで個展を開催した。[『週刊ブエノス・アイレス』no.278, no.280, no.285, no.287, no.293]  
 「南米アルゼンチン国サロン名誉会員ニ推挙サル」 [FT00510.055]
- 3月頃 個展 バリ、アール・コンタンポラン画廊
- 5月2日 「展覧会動けぬ人六時開会人ノ香暑く人押しよせ空前ノ盛会にて人々前例なしと」 [FT00506.051]  
 個展 ブエノス・アイレス、ミューラー・ギャラリー 5月2日～14日
- 5月20日 ロザリオに着く。 [FT00506.056]
- 5月22日 個展 ロザリオ(アルゼンチン) アミーゴ・デ・ベルザルト 5月22日～29日
- 6月13日 コルドバに着く。コルドバ Cordoba [FT00506.066]
- 6月14日 個展 コルドバ(アルゼンチン) 6月14日～6月18日
- 6月21日 「朝九時 Buenos-aires」 [FT00506.068]
- 7月27日 ブエノスアイレス、レティーロ駅を出発。 [FT00506.080]  
 パンアメリカ鉄道の列車でボリビアのラパスへ向かい、ここでも個展を開いた。また、ボリビアの風物に深く接して、「土着のインカ族の藝術は私を益する處が多かつた」と語っている。[『週刊ブエノス・アイレス』no.293、[『地を泳ぐ』p.139]
- 7月30日 ラパスに着く。  
 個展 ラパス(ボリビア) 8月9日～14日
- 8月19日 列車でラパスを離れる。チチカカ湖を渡ってペルーに入り、クスコに到着。「マチュピチュ等の舊跡を訪ね、アマゾン河上流の自然地帯の神秘的な密林の風光は、全く私を茫然たらしめた」。ペルーの風俗にも強く心を惹かれたらしく、民族衣装をきた男女の群像を多く描いている。首都のリマでは音楽学校の講堂で個展を、日本人会の依頼で講演会を

- 開いた。[『地を泳ぐ』 p.139, p.147, pp.149-150, p.156, p.223]
- 8月20日 クスコ cuzco [FT00506,090]
- 8月24日 マチュピチュに登る。 [FT00506,095]
- 9月6日 リマに着く。 [FT00506,098]
- 9月15日 個展 リマ(ペルー) 9月15日～9月19日
- 10月18日 アメリカのグレース・ライン会社のサンタ・クララ号でペルーのカヤオを出港、エクアドルのマンタに寄り、パナマ運河をへて、28日にキューバのハバナへ到着する。ハバナの美術愛好者が経営する婦人倶楽部で個展を開催した。[『地を泳ぐ』 p.151, p.156]
- 10月28日 ハバナに着く。  
個展 ハバナ(キューバ) 11月9日～11月15日
- 11月22日 キューバのハバナ港を出港、メキシコのベラクルーズを経て、26日メキシコシティーへ入った。[『地を泳ぐ』 p.140, p.152]
- 12月5日 個展 メキシコシティー 12月5日～12月14日
- この年 「南米アルゼンチン国サロン名誉会員ニ推薦サル」 [FT00510,055]

## 1933 (昭和 8) 年 47歳

- 4月 メキシコには前年から7ヶ月滞在、リベラ、オロスコラの壁画に感動する。[『地を泳ぐ』 pp.141-142]  
4月にはタスコからアカプルコにかけて旅行し、風景のすばらしさに心をうたれた。当時、タスコ美術学校長をしていた画家の北川民次を訪ねて一週間ほど滞在、児童画に深く感銘をうける。[『地を泳ぐ』 p.110, p.140, p.223, 日墨協会/日墨交流史編集委員会『日墨交流史』 pp.1027-1028]
- 7月1日 「7h05pm station colonia」 メキシコシティー発 [FT00507,093]  
ニューメキシコ、アリゾナをへて、カリフォルニアに入って4か月を過ごす。[『地を泳ぐ』 p.224]
- 7月5日 ロサンゼルス
- 7月12日 個展 ロサンゼルス、ダルツェル・ハットフィールド画廊 7月12日～31日油彩、水彩50点
- 9月12日 サンフランシスコ [FT00507,132]
- 9月16日 「サンフランシスコ展覧会終る事」 [FT00507,142]
- 10月7日 「展開きて六週となり余り長し」
- 11月2日 サンフランシスコ発 [FT00507,002]
- 11月16日 横浜着
- 11月17日 横浜入港の秩父丸で帰国。次姉の嫁ぎ先の中村緑野宅(東京市淀橋区戸塚町963番地)にマドレーヌと仮寓する。[『東京朝日新聞』1933年11月16日、17日夕刊]
- 12月11日 付属中学卒業生歓迎会 [FT00507,175]

## 1934 (昭和 9) 年 48歳

- 1月3日 「Furtwaengler 子供肖像 麻布市ケ衛町」 [FT00509,036]
- 1月5日 「ケーラル氏 三人子供肖像 200円」 [FT00509,036]
- 1月11日 「かけものルアンにてかきしmad、アルヂヤンチエの分とデコブラの像出来 懸物箱3円50ノ大箱出来て大に満足す。朝日大阪東京礼金百廿円送り来ル。」 [FT00508,003]
- 1月12日 「木子氏電話画かいに來たしとの事。柳沢氏メキシコ本のさしえの事決定し又巴里と言ふ本もしたしとの事これも受け合ふ。」 [FT00508,004]
- 1月13日 「デコブラ氏を誘い、かけものPortrait 与へ大に喜び」 [FT00508,005]
- 1月14日 「東郷元帥の息子二千五百黒猫コレクションありとて行きて見る夫人娘二人男ノ子一人出でられ質素元帥の字黒猫莊と言ふを拜見しベルより持ち来りし黒猫母と子を送る事に致し元帥の字如猫平八郎書を頂いて大に三時勇んで帰り木子氏にはメキシコの大なまずをやり大喜びにて画一枚えらびこの次貰いたしとの事。」 [FT00508,006]
- 1月16日 「夕方柳沢氏来りかけものやに氏の分と東郷元帥の如猫たのむ」 [FT00508,008]
- 1月19日 大島三原山へむかう。 [FT00508,010]
- 1月21日 下田へむかう。
- 1月23日 「改造の人村上氏来り四頁日本の女と言ふさしえ付二百三百字のもの二月五日迄たのむ 活動のTitre 午前中かゝりて撮り緑子現像に持ち行きくれる」「矢部君来りロシアプロレタリアの事の話す、大にメキシコのリベラの話してやる」



- 1月24日 「東郷平八郎元帥のかけもの出来柳沢氏へのものも出来大に喜ぶ」 [FT00508,015]
- 1月25日 「海老原喜之助君来り 十時夕方六時迄遊んで行き巴里の話も沢山きゝ」 「フランソア・フランク氏死去の事もきくロトントがさびれて、クーポルは大賑に、ジイフドイツ人で一杯 フリエズが始終caféに來たりキスリンが女中の金使って裁判ドンゲンも使用人に二年間の金支払わず裁判とか、バレエが画を安く売ったとか、昔の画ハ□□に高いとか、いろく噂が新聞に出たとか 日本人はふるわぬとかいろく 活動出来緑子かんニツ買いくれTitreつけて夕方写して大成功す、火山よく出来大にうれし」 [FT00508,017]
- 1月26日 「木子氏来り招猫の画上げメキシコの男の画も渡し徳川時代のふくさ貰い」 [FT00508,018]
- 1月27日 「巴里のスケッチ五枚ペンにてかく」 「今日父上八十一才になられし誕生日とてお祝い」 [FT00508,019]
- 1月28日 「廿枚許り素画展覧会のものかきて十時にねる」 [FT00508,020]
- 1月29日 「昨日のデッサンにかけつけ始め夜に入りて水彩にて色つけ等し夜一時に終る」 [FT00508,021]
- 1月30日 「午前いろ付けの水彩かき午後二時長谷川仁氏展覧会の事にて来り相談して一緒に出かけgalerieに行き」 「三原山の画などいたづらかく柳沢氏の骨折りのFêteフランスのaffiche出来三枚届き居り大出来うれし」 [FT00508,022]
- 1月31日 「展覧会の日動画廊の月報にかく文句を紙に五許りかく」 [FT00508,023]
- 2月1日 「日動画廊木版一、写真二、原稿届け」 [FT00508,024]
- 2月2日 「巴里柳沢氏送りのデッサン五枚かき」 [FT00508,025]
- 2月3日 「改造にかく日本の女のさしえ三枚許りかき」 [FT00508,026]
- 2月4日 「日動にて入場招待状展覧会のもの出来うけとり」 [FT00508,027]
- 2月6日 「午前中銀座の女、レビューの女等かき二時改造社に五枚デッサンと原稿渡し」 [FT00508,029]
- 2月7日 「午前ポスターにサイン百五十枚すませてよし」 [FT00508,030]
- 2月8日 「ブラジルの画鉛筆もう正月出来居りしを出してかき始め一日仕事し」 [FT00508,031]
- 2月9日 「ブラジルの画かき上げて大に喜ぶ」 [FT00508,032]
- 2月10日 「展覧会日動画廊にて開く事に決す」 「昨夜画き終りしブラジルの画はずして又メキシコの狐五匹の画始む」 [FT00508,033]
- 2月11日 「芦原信之友信画見に来り。飯田ふさ子さんも来て画見せる」 [FT00508,034]
- 2月12日 「五時迄かゝりて廿二枚Le serpentと言ふ本に福嶋コレクションに就て原稿かく中々おそくなる」 [FT00508,035]
- 2月13日 「午前パステルぬり初め大方午後二時迄に仕上ぐ」 「朝吹氏の処へ夕食に呼ばれ長岡外史の娘婦人、娘とする、と子息ありて大きな品のコレクション大物好ミ、屏風に二大日本女の画中々よろし、十二時迄席画等始めて送られて帰る」 [FT00508,036]
- 2月14日 「ポオールフォール氏の救助会の事仏大使大賛成六十八枚画紙にて包み愈々出品の日来り」 「一台のAutoにて一人galerieに行き、大変なかつけもの えび原上山等来り手伝す」 「夕方七時迄に画大凡ならべ第一室マデレン第二室かけもの三室、雅、四室、メキシコなり」 [FT00508,037]
- 2月15日 「つるた氏一人来て果実を持つ女を第一に買ひくれ次いて田原巴里レストラン買ひ五時頃各国大使ゾクく入り来り公使等仏、白 ブラジル ルーマニヤ、ドイツ其他皆来り大さわぎとなり、夜十時迄に十九枚 二千八百六十円売り上げとなる」 [FT00508,038]
- 銀座の日動画廊で個展を開催、中南米旅行中に制作した作品が中心であった。〔美之国〕10-3、p.123  
「藤田嗣治新帰朝第1回展」東京、日動画廊 2月15日～28日（24日終了予定を好評につき延期）《町はずれ》《或るレストラン》等77点
- 2月16日 「四枚売れる750円」 [FT00508,039]
- 2月17日 「メキシコ公使大きな分一枚買いくれる」 「成功展覧会凡ソ三千人来ル。午後三時頃千五百人ともなる」 「四枚695円」 [FT00508,040]
- 2月18日 「二枚275」 [FT00508,041]
- 2月19日 個展会場に、小寺健吉、佐藤玄、辻、太田三郎、岡野先生、白滝幾之助らが来る「三枚三五〇」 [FT00508,042]
- 2月20日 「朝メキシコの顔かき始め八枚かゝる」 「展覧会にて父上中村姉上島村達と三人で来て大に満足狐の画一番好きなりとの事。シエバリエ氏一枚買ひ、Henry Barde general manager for The Far East 上海展の事話をきく。一枚買ひ夕方迄六枚売れ」 「六枚820」 [FT00508,043]
- 2月21日 「今朝メキシコの顔八枚かくかけ仕上げたり」 「二枚600」 [FT00508,044]
- 2月22日 「狐売る男千円始め売り夕方迄五枚うれて又々成功。いろくの人に会う。東郷せいじ来ル」 「日仏の協会のモーランジエール氏百五十円小切手渡しくれる。写真沢山売れる。凡ソ百枚位と思ふ。大出来なり」 「五枚1540」 [FT00508,045]
- 2月23日 「一枚150」 [FT00508,046]
- 2月24日 「展覧会終りの日廿八日迄延期とす」 「一枚110」 [FT00508,047]

2月25日	「展覧会に四枚持ち行くマデレン三枚猫一枚」	[FT00508,048]
2月27日	「6枚うるる八百三十五」	[FT00508,050]
2月28日	「展覧会終了の日とす」「一枚百五十」	[FT00508,051]
3月2日	「石井、山下、東郷、藤川、正宗、安井君等昼食今度二科へ入る事十月に展へ沢山一室出す事、明後日紅葉かん大披露会の事等相談」	[FT00508,053]
3月4日	「五時半紅葉館二科会ノ連中、新聞記者皆集まり、今度私の入会の挨拶報告ありて宴会」 二科会会員となる〔アトリエ〕11-4, p.38」	[FT00508,055]
3月5日	「高島屋の吉田と言ふ人十一時来りて果物持ち、海水浴の着物たのみに来る」	[FT00508,056]
3月8日	「朝田口掬汀氏来り中央美術原稿の事話しあり。西洋画を広くする事等の話あり」「木子氏よりの東郷元帥の写真貰い」	[FT00508,059]
3月12日	「柳沢氏へ五枚又渡す画かく」	[FT00508,063]
3月15日	「高島屋へ渡した海水浴のものも皆大喜びて持ち行きモダン日本へ一枚デッサンかいてやり蓄音器講演の講の礼にも一枚かいてやり」	[FT00508,066]
3月18日	日光へ行く。	[FT00508,069]
3月19日	「モーランジェール肖像」 「モーランジェールの日佛へ行き、娘九才の誕生日とて丁度よく昼食後写生 portrait 出来たり」	[FT00509,036] [FT00508,070]
3月22日	「モーランジェール一時肖像」	[FT00508,073]
3月28日	「朝岩倉具栄氏も来り裸体となりてPoseし肖像かく 木子氏の猫の画等 新田さん 紙はり等し大阪の仕事す」	[FT00508,079]
3月31日	「仕事沢山すメキシコ色つけ」	[FT00508,082]
4月1日	「画整理してカタログ作り49枚明日発送大阪迄となり大安心す」	[FT00508,083]
4月4日	「始めてライカ引きのばし器にて十枚許りメキシコのばして見ベルの山中の大出来なり」	[FT00508,086]
4月7日	「高島屋の田口氏来り海水浴のいろくのもの渡す色見本等」	[FT00508,089]
4月10日	「夕方出かけ日動にて柳沢Madに会ひ話し、又々関西、巴里、アメリカノ挿画の話出で Mad早川との話も出で日本劇場の内々話あり」	[FT00508,092]
4月14日	「大阪の新聞記者への十五枚の画かく」	[FT00508,096]
4月16日	東京から大阪へ向かう。	[FT00508,098]
4月17日	「朝展覧会へ十一時頃行く皆かかり居り、隣室柏亭山下、正宗の日本画晶子の歌のかけもの展、二枚35円ヅツにて買ひ、村山夫妻来ル。いろく話す。十一枚売れたり」	[FT00508,099]
4月20日	「展覧会終りたり、49枚3枚加へた内18枚売れて居」	[FT00508,102]
4月21日	「大阪にて売れしもの。1, 6, 7, 9, 10, 11, 13, 14, 15, 19, 25, 26, 27, 30, 60, 61, N, O. 二千二百四十円也、総収入、東京へ送金との事約し、画も東京へ送りくれるとの事」	[FT00508,103]
4月22日	「仏人ルツキヤン氏来り」	[FT00508,104]
4月23日	東京へ戻る	[FT00508,105]
4月24日	「ス、キ氏一時に来る事 婦人画報にノルマンヂーの画をかく文も二枚かく事となり」	[FT00508,106]
4月25日	「朝七時に起きて原稿二枚婦人画報にかく」「七時四谷番衆町二科会へ行き自分の主張会友に賞を与えて会員丈する方法を明かにする事決定」	[FT00508,107]
4月26日	「后一時ベルギー大使かん隣二号館の白人の処に招かれ昼食。ウルゲイAllard氏も来りPortrait一ヶ月内にかき始むる事とす。」	[FT00508,108]
4月27日	「活動三個午後に届く、うれし 京都 日光の分建築の分なり」「ソーエルワイン氏に聖母の画を上げて大喜び」	[FT00508,109]
4月30日	「高島やより手紙来り2145円売れ17枚分金今日送り出したりと画も皆かへしてくれる由 既に発送すとの事。雲雀会白木屋にて西洋画家の日本展に二枚懸物貸し与える」	[FT00508,112]
5月	「大札記念京都美術館開館記念京都市美術展」京都市美術館 5月1日～25日《メキシコ》1点	
5月8日	「モーランジェール氏に木版自画像Mad持ち行き大に喜ぶ」	[FT00508,120]
5月10日	メキシコ風アトリエの完成「新築(第一夜)吾が家始めの夜鶴田君泊りたり」	[FT00508,122]
5月23日	「つるた氏来り。二人午後報知の国家展へ飛ぶ様にして行き一時間見る大雅堂五百らかん大に感心す」	[FT00508,136]
5月25日	「午後Deauvilleの海水浴場の画かき文句三枚、家の事、家の図面と又海水浴場」	[FT00508,137]
5月30日	「画室新築にて初めて大作す角力の関取の立像かく午後一時に出来上る自分にてポーズ ドテラ着てかく Mad二時帰り高島やの写真来りMad Pose海水浴着沢山うつす」	[FT00508,142]
6月5日	「ベルジックGarden party Dubour 昼食」「仏大使 柳光亭」	[FT00509,036]

- 6月7日 「四時白国大使かんのGarden Partyにて大勢大臣始め石井大使、杉村大使等外外人大勢六百人、ポトリーを沢山かく。皆喜んで土産にす。日本娘の美しき人にもかく。」 [FT00508,150]
- 6月10日 「二科会総会会員会友集まり六時より十時迄四谷番衆町一七にて会食おべんとう萬事打ち合せす。」 [FT00508,153]
- 6月11日 「角力の画水彩かく。」「6時半横浜着さんばし仏水兵の小船にてTahureに行きTahureの意味の画渡し」 [FT00508,154]
- 6月13日 「遠山陽子来り画一枚交換の分上げて話して行く」 [FT00508,156]
- 6月14日 「モーランジエール 九時 夜会」 [FT00509,036]
- 6月15日 「終日中央美術に原稿かき廿枚出来て巴里の話外遊廿年記なり。モダン日本へもかく。大に進捗す。」 [FT00508,158]
- 6月16日 「中央美術に原稿をかく十四枚出来る。」 [FT00508,159]
- 6月21日 「レーモンドの処へ十一時半行き、ブラジルCaféの店の壁画80 metres四方の新らしき処等見て明日会ふ事に約束す。」  
「交じゅん社に行きて森神戸大丸支店長に招かれ十月神戸にて展する相談」 [FT00508,164]
- 6月22日 「ブラジルCaféノ話進む」 [FT00508,165]
- 6月23日 「朝アサムソン氏より電話 ブラジルの壁画八千円のもの約束出来話纏まる。」 [FT00508,166]
- 6月24日 箱根へいく [FT00508,167]
- 6月25日 「チンドンヤ五人来り十円渡して画かく、大に面白し」 [FT00508,168]
- 6月26日 「婦人画報渡しのPyrenéeの山の図と原稿二枚渡す。」 [FT00508,169]
- 6月27日 「婦人画報の表紙朝かく。」 [FT00508,170]
- 6月28日 「Roubé Jausky后後来りポートルカきてやり、大によし。」 [FT00508,171]
- 7月2日 「十時眼さめ驚き小雨の中ゲスネックPortraitかきに行く。」 [FT00508,175]
- 7月6日 「経済往来原稿昨日より廿四枚かく。」 [FT00508,179]
- 7月9日 「三時に銀座に出でMad Columbiaに行きRaymondに会い壁画の下枠出来愈々カルトン張る仕度出来」 [FT00508,182]
- 7月14日 鎌倉で遊ぶ。 [FT00508,187]
- 7月15日 鎌倉、江ノ島で遊ぶ。 [FT00508,188]
- 7月16日 ホテルで画をたのまれて描く。「大佛次郎氏の処訪問 佛本ロダン等沢山持ち居たり」東京へ戻る。 [FT00508,189]
- 7月19日 「角力ちんどん屋二枚やりなほしする事となる。青つよし。」「一日画用紙はさみの中のさし画整理日本紙に写す事廿一枚愈々かけ地にすする事として大に満足す」 [FT00508,192]
- 7月25日 「講談社へ鶴見祐輔死よりも強しを本の表紙其他渡し」 [FT00508,198]
- 7月29日 「新美術の人40円持ち来り表紙かいてやる」 [FT00508,202]
- 8月4日 「午後チンドンヤ仕上げ夕方表具たのむ」 [FT00508,208]
- 8月5日 小田原、箱根へ行く。 [FT00508,209]
- 8月6日 「高島やの仕事スエーターと水木氏への帯模様の仕事して十二時に終りねる」 [FT00508,210]
- 8月8日 和服の女性像(日本画)を描く [FT03854]
- 8月9日 「日本の女かく一日かゝりて出来 傑作日本人の女としては申し分なし大に満足す。又他のものかきたくなる」「高島屋へスエーターのdessin渡す。」 [FT00508,213]
- 8月11日 千葉へ行く。 [FT00508,215]
- 8月15日 「ジャパントイムスに出す芸者の画出来 マデレン肖像メキシコ出来」 [FT00508,219]
- 8月16日 「今朝懸物やにたのみに持ち行きて沢山たのむ。愈々二科の仕度にとりかかる」 [FT00508,220]
- 8月18日 21日まで、マドレーヌを伴い伊香保、草津、軽井沢旅行 [FT00508,222]
- 8月22日 小沢秋成と会う。 [FT00508,226]
- 8月24日 二科展の審査開始。 [FT00508,228]
- 9月 ~10月 銀座の聖書館内のブラジルコーヒー陳列所に幅10間、高さ2間の壁画を描く。戦前、国内で描いた壁画の、最初の作品である。[[改造]18-3,p.7]
- 9月3日 第21回二科美術展覧会に27点が特別陳列された。[[藤田嗣治 二科陳列作品集]10-3, p.123]  
「第21回二科美術展覧会」東京府美術館 9月3日~10月4日 藤田嗣治特別陳列《メキシコのマデレーヌ》等27点
- 9月5日 「朝十時ブラジルCaféの壁画愈々始める為荷物持ちて行き仕事し一人かく」 [FT00508,236]
- 9月6日 「一切招待をことわりて仕事一月にてして見せる覚悟十月五日には必ず終る覚悟で始む」 [FT00508,237]
- 9月9日 「三映社のピラ平凡社のマテルニテの表紙今朝かかりてかき昼富士アイスで渡す」 [FT00508,240]
- 9月15日 「地球と大ブラジルの国の印かく 牛の頭かく。」 [FT00508,242]
- 9月16日 「大門入口の棒、石垣等大樹等かく」「二科の評判よし」「人物廿六人かく。」 [FT00508,243]
- 9月20日 「銀座三味堂開くとこの事一枚画たのまれて居る」 [FT00508,245]  
「銀座三味堂 開館展」 [FT00509,037]
- 9月21日 「壁画 大阪大あらし。東京もあらし仕事中心にて知らず」 [FT00508,246]

- 10月2日 「ついたての女銅像かく」 [FT00508,249]
- 10月5日 「大壁画を終るの日愈々玩具汽車黒犬等昨日かき」「画朝二科より帰り来り十二枚京都へ送る事となる」 [FT00508,252]
- 10月6日 「壁画終りたり」「アスンソールの娘のPortrait銀座にてかき始むdessin」 [FT00508,253]
- 10月8日 「大辻司郎肖像かく」「アスンソール肖像かく」 [FT00508,255]
- 10月11日 「アルテアガの肖像二時—四時迄かく」 [FT00508,258]
- 10月12日 「アルテアガPortrait 2時より四時迄かきて荷皆持ちて帰る。」 [FT00508,259]
- 10月13日 「アスンソール画家はトール couleurの持前へにて480は支払わぬとの事 Reymondeも怒り夜自分も嫌になり大壁画はがして仕舞う許りとmadと決す」 [FT00508,260]
- 10月15日 「昼アルテアガのportrait かく 夜談話会の表紙かく」「夜レーモンドTelにてアスンソール480円余文房堂へ払ふとの事」 [FT00508,262]
- 10月16日 「赤十字総会外国代表一杯ホテルに集まる。テリー公使肖像デッサン始める」 [FT00508,263]
- 10月19日 「アルテアガの肖像にニスぬり、モント肖像に金おき等す」「ブラジルコーヒーより電話かかり愈々金支払うとの事。ブラジルに行き huit mille cinq centを貰い帰る。」「モント肖像のバックに猫二匹かきて天地金屏風とす 出来上り」 [FT00508,266]
- 10月21日 マドレーヌを伴い神戸へ。 [FT00508,268]
- 10月23日 神戸大丸に展覧会始まる。 [FT00508,270]
- 10月30日 関西を発って宮島へむかう、11月1日まで宮島で写真と活動を撮る。 [FT00508,278~280]
- 11月3日 東京へ戻る。 [FT00508,281]
- 11月5日 「モーランジエールへ 魚屋小僧日本画600円」 [FT00509,038]
- 11月14日 「婦人の友表紙かき」「ベルジのセリラテールの肖像かきに昼食に招かれ四時迄かき」 [FT00508,292]
- 11月15日 「Madame Maurice Iweins d'Eeckhoutteの肖像を終日かき夜に入りて出来上る」 [FT00508,293]
- 11月16日 「佐野洋行タッピーも一枚かく其他オール読物婦人の友其他の仕事す」 [FT00508,294]
- 「夜汽車神戸へ 東京神戸 53円68切符」 [FT00509,038]
- 北平（北京）に旅行するため東京を出発。翌17日、長安丸で神戸を出航、21日夕方北京に入った。滞在中、明の十三陵や万里の長城を訪れ、泥絵やガラス絵のコレクションをみせてもらったほか、苦力（クーリー）の集合市場を見学した。北京には約1ヶ月遊び、12月11日に北京を出発、12月17日、長城丸で神戸に入港する。[[『地を泳ぐ』 pp.107-114]
- 11月17日 神戸から中国へ向けて出発。「長安丸九番の室70円づ、船九百七十円 十二時出帆」 [FT00508,295]
- 11月25日 「北京益々大なり。各門の雑踏等中々愉快 画かきたし」 [FT00508,303]
- 11月29日 「かけもの四枚十八世紀のもの120円と言ふを24弗にて買ひたり。」 [FT00508,307]
- 12月1日 「今朝十時Person氏の処へ行き角力其他弓の名人等のスケッチ沢山し二円ヅツ五人へ渡し帰る」 [FT00508,309]
- 12月3日 「日本公使かんの清水氏来り女子西洋画学校熊・夫人の処へ行きスケッチして大勢生徒居て邪魔となり」「五時英人の展ロシア大使館付近さがして見当たらず 六時Thomas Handforth 14 Kan Yu Hutungの処へ行き展覧会見て帰る」 [FT00508,311]
- 12月4日 マドレーヌ、St. Michel 病院に入院する。 [FT00508,312]
- 12月8日 「夜八時ハルビン仏領事 Frankfort 氏夕食。」 [FT00508,316]
- 12月10日 万里長城八達嶺へ行く。 [FT00508,318]
- 12月12日 「北京出発 午後一時」 [FT00509,039]
- 12月13日 「長城丸 朝五時出帆」 [FT00509,039]
- 12月16日 「神戸着 朝九時半」 [FT00509,039]
- 12月17日 「神戸午前九時半に入港」 [FT00508,325]
- 12月19日 「週間朝日にフランスの正月と題してMad送り。(昨日原稿Mad北京) 今日画二枚を柳沢氏に送り日々か朝日へ送る。」 [FT00508,327]
- 12月24日 箱根へ行き26日に東京に戻る。 [FT00508,333]
- 12月28日 ルーマニヤ大使館夕食、二科会忘年会。 [FT00508,336]
- 12月29日 「朝京都へ送る布のデッサン十枚東郷君の話にてかき上げ飛行便書留にて送り出す初瀬川氏の分」 [FT00508,337]
- 12月31日 「田原行き屏風たのまれたもの猫二匹かきて仕上げる」 [FT00508,338]
- 「フランス大使館夕食」 [FT00509,039]
- この年、中村緑野邸内にメキシコ風のアトリエを建てる。[[『地を泳ぐ』 p.316]



## 1935 (昭和10)年 49歳

- 1月1日 「画かくMadeleineの肖像半裸体」 [FT00511,003]
- 1月2日 「画かく、油画Madeleine」「昨日の続きのMadeleineの肖像を去年の暮天井ぬいた光りで油画一枚かき二人とも大に気に入る。」「夕方七時東郷夫婦と帝国ホテルで会い夕食す。いろく小説かく話等し、仏国の画家の名等 坊主僧ピカソ 燐寸摺マチス 移世ウトリロ 正午限ドンゲン 接吻指輪キスリング 半鐘ジャーニ 等と日本字で書く事に決す。」 [FT00511,004]
- 1月3日 「田原一家族 芦原一家族 皆年始に来ル」「倉重氏来ル 夕方7時半に横濱New Grandにて会ふ約束すジュパチー氏の処に招かれ ストエスコー夫婦ランベルト氏二人支那食」 [FT00511,005]
- 1月4日 「朝十時仏国行きの荷物Madの分作り上げN.Y.K.に行きえびこ氏にたのみ」「夕方五時半帝国ホテル Moreau氏に招かれ、ルカミヤ氏、Romvaux夫婦と日本劇場America人のSalon見に行く」「田原氏よりかけぶどん二枚座布団礼昨年大晦日にかいた金屏風猫二匹の礼に貰ふ」 [FT00511,006]
- 1月5日 「中央美術 滞渡のさいそく来ル 昼 ルーマニヤ ストイセスコに昼食招かれて行く ジュパチイ氏アメリカの女等 昼食白猫の展覧会へ出品せし画一枚いろくの礼に持ち行く」 [FT00511,007]
- 1月6日 「画かく裸体四十号海景色ぬり裸体丈仕上げマデレーヌ一日ねて居砂田を早く帰へす」「午後画かいたあとで中央美術外遊廿年記の第四回目をかいて (終了)とする」 [FT00511,008]
- 1月7日 「中央美術へ原稿渡す」「長谷川氏来り果物展覧会二月六日より十六日迄に決す。東郷氏と初瀬川たんすや京都来ル 支那人の女かいて見る 支那人の男も残にかいて見る いろく仕事する事にす。日々なれば小説150回位五ヶ月間連さいするとの事 一日50円位ツゝくれるとの事、画と文、一日三枚乃至四枚位との事、巴里の桜沢如一氏も来ル 一月十五日又巴里へ行くとの事 報知の記者なり。夜東郷と出でず仕事す。」 [FT00511,009]
- 1月8日 「仕事す、支那女のバック等日本の漁船其他一日仕事」「朝鈴木武志氏 (巴里友人) 来り一枚画欲しとの事十二日を約す」 [FT00511,010]
- 1月10日 「終日雨にて仕事日本漁船等かく 東京朝日来り東北救済の画たのまれる 夕方六時に二科会連中を新築安井君招待す」 [FT00511,012]
- 1月13日 「一人支那の女病気の小児等かく 夕方東郷来り銀座三味堂油画四枚欲しとの事大凡話きまる」 [FT00511,015]  
[FT05266]
- 1月14日 「支那人の五十号かきMadeleine Poseしてくれて日本女とフランス女の画かく」 [FT00511,016]
- 1月15日 「仕事一日、日本娘緑子ポーズしてくれ三人となる 終日かく」 [FT00511,017]
- 1月16日 二人大に働きMad屋外出し横はまへ行くとの事一人残りて仕事す。
- 1月17日 「今日朝より夕方迄雑誌社の人多く来りて仕事も出来ず閉口す。東郷四時に来りラケットハネ遊びMadの合手してくれ岡田君も来り 画会の事にていろいろしてくれとの事 文をかいて百円の画かいてやる事にす」 [FT00511,019]
- 1月18日 「琴平船を製版する故河合と言ふ半七写真印刷場へ十日間の約束にて渡す 婦女の友の表紙三月号ノルマンダーリングの花かく明日渡す筈 今日は支那スケッチ墨画にかく事にして終日仕事 夜迄に十枚かく。色丈けぬらずに仕上ぐ」 [FT00511,020]
- 「支那の画十枚かく」 [FT00509,030]
- 1月19日 「支那デッサン仕事す」 [FT00511,021]
- 1月20日 「二枚許り画かき」 [FT00511,022]
- 1月21日 「支那人の画かく」 [FT00511,023]
- 1月22日 「支那人の画かく」「都川にて二科の会あり五時より満州展の話あり」 [FT00511,024]
- 1月23日 「支那人の画かく」 [FT00511,025]
- 1月24日 「支那人の水彩のバックに支那画木版を盛んにかく 四時海上ビル七階東亜商事にてRené Clairのfilmを見る (Milliardère dernière)」 [FT00511,026]
- 1月27日 「支那の画紙はりす。廿余枚すます」 [FT00511,027]
- 1月28日 「支那画皆紙はりすまし 油画かく」 [FT00511,028]
- 1月29日 「十時高木写真や来りて写す支那の額 長谷川氏来り展覧会の事の話 招待状の事決す 太田より廿五枚画とりに来る支那のハスパルツァーはりの事 デーラン、モディリアーニ、ロダンの画届く。」 [FT00511,029]
- 1月30日 「Mad 顔一枚 背中向き一枚かく 夜高木写真速達にて支那顔送りにくる」 [FT00511,030]
- 1月31日 「椿堂にて紙かいて筆面相等」「油画一枚かき」「ニス等ぬる 夜十時額縁太田皆届けくれ120円にて支払、金二三日待つ事にす。Madの顔一枚かく 田中半七より琴平船の画届きMad 顔色すり200枚 3円50銭にて届く。」 [FT00511,031]
- 2月1日 「菊川を誘いて有島氏の処へつるとさぎの画届け一時迄話し三人外出日動画廊に写真渡して帰り額縁の準備す」「カタログ番号付けたりして二時にねる」 [FT00511,032]
- 2月2日 「日本橋に行き藝者スケッチす。四年前岡田先生の時に招かれた老藝者二人も居たり十二時に帰りて三時迄仕事 スケ



- ツチをかき上げてみる よし」 [FT00511.033]
- 2月3日 「猫等五枚素描をかく」 [FT00511.034]
- 2月4日 「前川君来り大阪の人画欲しとて一枚マデレーヌの顔300にて相談出来展前に一枚売る事となり大によし」 「猫六枚紙に張り上げて額やに渡す様にす」 [FT00511.035]
- 2月5日 「日本と言ふ外語新聞さしえかき 午後仕事」 「夜に横山来りさしえ渡し二時迄仕事して勞れてねる 愈々明日展覧会の事となる。いろく仕度・整理忙し」 [FT00511.036]
- 2月6日 「日動画廊で個展開催」 [FT00510]
- 「九時半画とりに来り送り出し、十一時、東郷木下君等来り手伝いくれ画日動にかけて、銀ぱくを置き出し三時漸く入場者の中で仕事す。ベルギー、フランス大使夫妻、ポーランド公使、ルーマニア公使、其他、モーランジェール、シエバリエ、レーモンド、ベレン、ボンマルシアン、ルアス、其他外人殊に多く 画七枚売れ、大作裸体安田氏1500にて買いシ大物、其他小品売れて万事都合よく中村二人、田原、芦原子等も来り大に盛んなり」 [FT00511.037]
- 「藤田嗣治第2回油彩展」東京、日動画廊 2月6日～16日《和船》《好々爺》等  
日動画廊で個展を開催、前年の北京旅行に取材した作品を中心に発表する。〔アトリエ〕12-3,p.62]
- 2月7日 「一枚日本人Kojimaと言ふ人 画買ひたり」 [FT00511.038]
- 2月8日 「油画十号二枚始む オーダンさん老樹の画買ふ」 [FT00511.039]
- 2月9日 「一人油画二枚かく」 「日動より三人の裸体大作とりに来る」 [FT00511.040]
- 2月10日 「猫一枚売れる」 [FT00511.041]
- 2月11日 「日動へ行く」 [FT00511.042]
- 2月12日 「日動へ行く」 [FT00511.043]
- 2月13日 「一日家に居て仕事し油画五枚目迄かく 陳君来り安田氏千五百の画の事 肖像にして貰い度い旨話出で結局そうなる」 [FT00511.044]
- 2月14日 「安田氏より金日動にて貰い、神田駿河台研究所にて二時半生徒見て帰る」 [FT00511.045]
- 2月16日 「日動に行く今日展覧会終了の日」 [FT00511.047]
- 2月17日 「六時より二科の会員全部、有島、石井、藤川三人丈け来られず外皆来り 安井、正宗、東郷、野間、木下、田口、渡辺、小山、山下、熊谷、来り十一時までラツパンにて食事」 「日動より大分画届けて返へし来る」 [FT00511.048]
- 2月19日 アメリカ領事館へ行きマドレーヌのアメリカ入国手続きをする。  
「日動へ行き金受け取り、高木写真に行きて日本娘の写真の注文沢山し 帝国ホテルにて柳沢、堀口、ボノー二人、シエバリエ、ボンマルシヤンを招待」 [FT00511.050]
- 2月20日 「日動にて3.95と又97.50貰い、三味堂話分らず四枚の分中止となり一度帰りに木下君の家渋谷に行き 田中次郎氏へ十号の画の話して明日を期して帰る」 「婦人の友に忙しい中に表紙かいてやる」 [FT00511.051]
- 2月21日 マドレーヌと東京を出立する  
「松崎来り手付す」 「木下氏500持ち来る」 「大辻司郎の夫人弟、弟子、娘(花) 田原母と娘(包)、兄もと子信子(花) 花屋の花 芦原一家、皆、堀口大學夫婦、柳沢、森竹、石黒二人 藤岡二人、税処、洋服や、松崎兄弟、ヒツシバシエール二人、ベレン、マダム ドノア、ピラ夫人、鶴田潔、アムステルダム妻君、日動長谷川夫婦 (ハンケチ)、巴里会の人 写真や、高木、早川の夫人、二科の東郷、安井二人、木下、ボンマルシヤン、報知其他三ツ記者写真団 盛んに写されて左様ならでとうとう東京を去る」 [FT00511.052]
- 2月22日 三の宮に着く。「モーランジェール、くらしげ君、ボノー氏より電報 Bon Voyage 来ル」 [FT00511.053]
- 2月23日 マドレーヌを乗せた船が神戸を出発。  
「Franceに電報Louise Weil embarque aujourd'hui serai France 28 mars Fille.」 「十一時石黒氏来り愈々出帆と決し」 「ベル子葡萄酒くれたり他西洋人来り 福井、岡田、中川三人来りくれ大変な人々 三人に写真(記者)に写され」 「画廊大塚氏の処へ行き福井の展見て」 「バー・セブンと言ふに一寸行きて中川氏に別れ」 [FT00511.054]
- 2月24日 「ルツキヤンの家へ行く。うすぐもり、AmieのPortraitをかき」 「愈々今朝下の関入港し又出帆愈々 Mad日本離るの日」 [FT00511.055]
- 2月25日 東京に戻る。  
「愈々留守の気分となりて大に仕事する事に決心す」 [FT00511.056]
- 2月26日 「神戸のPortraitかく」 [FT00511.057]
- 2月27日 「神戸のルキヤンの女の肖像二枚仕上げたり支那の小供の画も仕上げ いろく懸物かきて皆二枚残して後は気に入らず」 [FT00511.058]
- 2月28日 「・高島屋の吉田氏来りいろく注文600yenくれるとの事 ・門司の雑誌我等社より表紙たのみに来ル ・フロリダ津田出之氏来り原稿たのむ ・木版二枚6y買ふ ・新田氏より懸物今暫らくかりて置き度しとの事 ・日動の画 中村より持ち帰る」 [FT00511.059]

- 「マド フランスへ出立の日、三月廿七日フランス着」 [FT00509.030]
- 3月1日 「夕方五時半レーンポーにて石黒蚤の市の本の祝賀会あり主賓として招待うけ演説第一番にたのまれ七八十人集る。十時散会かの子さんに久々に会いたり。ますだ氏等ゴルフの処へ行き さぶり君田口とサイセリヤに行きおどったりして」 [FT00511.060]
- 3月2日 「台湾へ出品のデツサンの話 フロリダへ原稿渡し」「美術記者来る 昨日の話満州行き石井、田口 俺れ三人と決定の由 四月十五日頃出帆の筈なり 午後一時半安田氏の処へ行きアトリエ開きにて夫人肖像五十号大に描き初め」  
「鶴田見舞いて七時帰り」 [FT00511.061]
- 3月4日 藤岡夫婦来り海老原来り、四人すしたべ一時半 安田氏迎ひの車にて肖像かきに出来かける」「安田氏の処にて チン君来り」「藤岡二人小寺君等に会いて早く帰り海老原又来りて、一枚懸物妹の娘に幸子と言ふ赤ん坊に人形を東西のものかいてやり」 [FT00511.063]
- 3月5日 一時半安田氏の処第三回Portraitかきに行く 仕上げ活動等写されて、夕方新橋銀座裏演作と言ふに夕食チン君と四人」 [FT00511.064]
- 3月6日 「朝新田氏来り懸物二枚売りたりとて80持ち来り一枚返してくれる」 [FT00511.065]
- 3月7日 「ルキヤン氏 神戸肖像画の代500を送り来りたり」「公使館の友人来り友人と支那のゾージャックの画一枚150にてかいたり。猫、一枚新田氏にかきたるもの出来たり。150の事 安田氏の大トアール白絵具ぬり始む」「コスモス会の連中より署名の絵葉書送り来る。日動より画返却す 送代1円50銭 静物、風景、(支那女、猫 大阪送り)」 [FT00511.066]
- 3月8日 「新田氏へ一枚猫額縁に入れる様たのみて送り出す、額縁太田へ支払すむ」「昼初瀬川氏より招待十二時に昼食芝の浪花やに行き東郷大学氏等又いろく話」「デンマーク公使館に行き画一枚昨日来りて買いし支那アンリクセン氏迄届け」 [FT00511.067]
- 3月10日 「陸軍記念日 日露戦後三十年祭 中村兄靖国神社へ行く」「神戸の大塚氏画廊主人来ル」 [FT00511.068]
- 3月11日 「長谷川春子 都新聞記者来りて画室訪問記かくとの事 懸物や来りて三本出来る」 [FT00511.070]
- 3月12日 「シェバリエの処訪問 支那女の画一枚写真届け記念にやる」「二科会相談会事務処行き、東郷と野間手込に行き」 [FT00511.071]
- 3月13日 「岡田君(二科)来りて二十日画会の金渡し大内君来り藤原時代の仏像の石膏くれる。長谷川春子より満州と言ふ本送り来る」 [FT00511.072]
- 3月14日 君代と初めて会う。 [FT00509.030]  
「藤岡来りて巴里会鹿鳴かんに行く」「日々の記者東郷宇野との別れ話きいて六時—十二時迄写真と記者Autoの中で待つて居東郷十一時半そこへ来て記者に会い話して写真とられ」 [FT00511.073]
- 3月15日 「石黒武藤松坂屋来りて蚤の市Show Windowたのむ 夕方一六時かきて渡し百円貰ふ」「東郷来れず、松坂や夜にとりに来る」 [FT00511.074]
- 3月16日 「木下氏夕方電話満州行きの二科のピラをかいてくれとの事」 [FT00511.074]
- 3月18日 「十時半海老原 外山と言ふ人と又女一人夫人連れて来て十二時迄いろく南米のもの見せてやる」 [FT00511.077]
- 3月21日 「伊東屋の仕事等す。」 [FT00511.082]
- 3月22日 「安田夫人の肖像愈々着手夜もかく、線がきを終わりにて一安心す」 [FT00511.083]
- 3月23日 「高島屋渡しの海水浴着の下図沢山かき又婦人の友の五月号表紙昨日の分今日渡す30円」 [FT00511.084]
- 3月24日 「朝台湾行キ旭氏夫人来り画鉛筆画三枚九十円の代のもの渡してやつとおいはらふ。現代の記者二人来りて注文して行くトピラ画、昼午後一時—二時京都西川と言ふ女画持ちて来り」「安田氏の肖像かく金ばく置き夜いろぬる おっくうなり。余り肖像は好まず」 [FT00511.084]
- 3月25日 「三時安田若夫婦チン君来り 肖像見せて家大に気に入り夫人二畳の屋敷室欲しい等、350坪30万円の家の持主が俺れの家をうらやましいとの事 世の中可笑しなもの」  
宮内庄一君来り魚のスケッチ見せ海に別荘出来しとの事 一枚油画去年前金のたのみのもの渡し 本郷 魚屋の小川君に一枚懸物渡す事50の画渡す 七時 大和と言ふ雑誌 西條八十君と会いて 赤坂山王下 瓢亭にて雑談座談会」  
「蓮元の叔父朝鮮の人六十二才との事 ほてい二枚古狸の日本画書いてやる。大によく出来たり。」 [FT00511.086]
- 3月26日 「デンマルクの夫婦神戸横浜間一寸訪問の人ローゼンスタイン氏と来り(音京)猫懸物一枚うりて又明後日スケッチに行く事に約束す。」 [FT00511.087]
- 3月28日 マドレーヌ、フランス到着。  
「朝鮮人画家、等来り現代の記者も来たれど十時半大急ぎ帝国ホテルの144番のHagemann夫人の肖像かきに行き十二時半迄かく余り似ず、しかし自信ありて人形町へ案内して百円許り其の人二人買い大喜び着物四ツ其の他なり。流球の希少切れ貰いて帰る。ホテルより送られ、現代へエツフエル塔かき原稿かきて肖像とりかかり、大成功したれ共のり悪くて三四度張り付け出来ず湯に入れて全く大に閉口 とき雨の内を町に買いに出てくれてとうとう十時姉等の手

- 伝にて成功し、大安心す」「夜三井と言ふ画商きてとうとう二百円出して五号のボージラードの画置いて行く。夜現代の記者もとりに来る。夜墨絵三四枚かいて三時にねる」  
[FT00511.089]
- 3月29日 「今朝朝鮮人画家画見て貰いに来る飯田ふさ子さん来る。十一時半Hagemann氏に肖像届けて大喜びキスニツされて大満足亭主150渡しくれる」「高島屋の仕事長襦袢模様かく。夕方夜海老原来り福岡へ出発との事。昼黒田鵬心の娘すみ子さん来り四時迄武藤芝ののミ市増じょう寺の事たのミに来る。朝鮮啓文の叔父さんにほていの画送る」  
[FT00511.090]
- 3月30日 「高島屋の吉田氏来たり八centくれる。海水浴の着物展より藤川夫人来りかしわもち貰い武藤君来り五十芝の蚕市のピラ代貰ふ。ピラ目の前にてエツフェル塔と芝の寺とを上下にかく」「宮内より電話小川君東郷猫欲しきとの事」  
[FT00511.091]
- 3月31日 「たぬき ほていの懸物出来中村の家にて夕食祝す」「日動藤田と言ふサインの男裸体の画持ち来る。自分のものでなし。版画や来り600円支払す。懸物や沢山表具渡す」  
[FT00511.092]
- 4月1日 「朝二科へポスター届勲章やに行つてベルギーたのむ高し」  
[FT00511.093]
- 「東京府美術館閉館十周年記念現代総合美術展覧会」東京府美術館 4月1日～21日《自画像》1点
- 4月7日 「今朝Alberto de Villagesの母より新聞雑誌来りVillage君去年十一月戦死した由を知り大に惜しむ。戦こそ誠に恐ろしきもの誠に気の毒ただちにMadelleineに通知す」  
[FT00511.099]
- 4月8日 「藤岡画持ち来り見せる横はまの本もくの画」  
[FT00511.099]
- 4月9日 「油画一枚四号かく」  
[FT00511.101]
- 4月10日 「猫の研究社の記者来る」「藤岡来り展序文かいてやり、三井と言ふ画商来り四号を百五十にて渡し」「ろくめいかん石田田辺田口伊東氏等の座談会ラプラードの話出て夕方より十時頃迄遊んで席画等かかされて」  
[FT00511.102]
- 4月11日 箱根行き。  
[FT00511.103]
- 「モダン日本男女優と箱根へ旅行」  
[FT00509.030]
- 4月12日 「藤岡来り序文母に気に入らずとて改正の事、高島屋政代礼に来り鶴田夕方来ル、六時二科大阪展の相談して牛肉のすき焼馳走あり野間と荒木町に遊んで十二時かへる」  
[FT00511.104]
- 4月15日 「パールWhite Hotel Imperialに居て会ひたしとの事画かけもの一枚日本橋芸者旅行故小さいもの上げると言ふ 大きくてもあなたの画ならいいと言ふ。帰り道すま子氏訪問して十二時迄十一時迄建築と絵画の原稿かく」  
[FT00511.107]
- 4月16日 「仕事し三井氏へ渡す油画其他婦人の友表紙モダン日本原稿かく」  
[FT00511.108]
- 4月17日 「モダン日本へ原稿渡し、さしえ沢山渡し」「三井氏来り画二枚渡し300貰い」  
[FT00511.109]
- 4月18日 「婦人の友表紙等しMadへ本のさしえ三枚送る」「東京出発 大連へ向いたつ」  
[FT00511.110]
- 4月中旬から約1ヶ月、南満州鉄道主催の二科展覧会で講演をするために、大連、奉天、新京に出張する。[『中央美術(復興)』20 p.11]
- 4月19日 「今村繁三君に会い日本洋画談の話して」「十一時乗船石井田口両氏来り、画家の人記者等来り」「神戸出帆」  
[FT00511.111]
- 4月20日 門司を出帆。  
[FT00511.112]
- 4月22日 大連着。「記者大勢写真うつされ 山内節子、沢君迎いに来てくれ、大和ホテル大勢記者又来り」「満日新聞訪問 皆社長に会い、満鉄の連中にも会い」  
[FT00511.114]
- 4月23日 「午前満鉄に行きて重役達に会い午後一時Autoにて金州に行く 小さき町 和尚山轟水寺の近くにて油画二枚かき夕方すなほこりになりて帰る」  
[FT00511.115]
- 4月24日 「堀田副総裁に会いしろく話し午後又元通り満鉄地方部主催万日新聞後援となる」  
[FT00511.116]
- 4月25日 「夕刊 満日大連共写真出で明日の講演の事出る」  
[FT00511.117]
- 4月26日 「大連新聞にこんびら船の画出る」「七時前講演に引きかへし田口二科の話石井泰西名画げんとう入り自分は廿年の巴里の話して大成功なり」  
[FT00511.118]
- 4月27日 展覧会初日。「犬の彫刻50円ぬすまれる。招待日可成の人なり、絵画うれる」  
[FT00511.119]
- 4月28日 「午前中大連新聞に一寸画かいてやる 朝十時展へ行く大変な人気にて人多く夕方迄に千二百十何人 札の人60人余、300円を超す入場料 皆成功を喜ぶ 昼二科出品者大連の人々に招かれ泰華菜館に支那めし中々うまく珍品多し」「七時より座談会ありて三十人許集りモデルの話等し」  
[FT00511.120]
- 4月29日 「大連新聞の横のカット一頁 桜に日出 出る。自作。額縁二枚 ガリ政 (5.50)届く。名刺三百枚出来る。正金の和田氏田口氏と油豆の会社男ふりちんの処見物 児溝の方苦力の長屋見物し支那女郎屋にてスケッチして遊び」  
[FT00511.121]
- 4月30日 「展覧会終日。婦人大連美術画家連に支那めしに招かれ石井、田口三人大に喜ばれてカツエに行き写真等うつし」  
[FT00511.122]
- 5月2日 「神明女学校にて石井氏と二人演説し5円貰ふ」「大連展今日終了の日 サイン攻めなり」  
[FT00511.124]



- 5月3日 「五時 電気遊園に満鉄地方部の人に招かれ、小卓にて演説あり」 [FT00511,125]
- 5月4日 「朝九時石井先生亜細亜にて出発奉天に行かる、昼満鉄社員クラブにて個展して懸物三本Hotelにて一本売り ホテルに帰り、五時半より六時迄放送局にて仏国の画界の話して 六時半 田口栗原と三人 当地の画家連に電気遊園の支那めしに招待されて沢山たべ」 [FT00511,126]
- 5月7日 大連より出立、奉天へ。「田口、栗原、松本氏は夕方出立の為め同行せず」「亜細亜と言ふ汽車朝九時出発 停車場大勢見送り」「黒田源次という文学博士の処に招かれガラス画木版どろ画等北京のもの沢山見せられ」 [FT00511,129]
- 5月8日 「ガラス画支那美人二枚を五十円を三十五円、かかえ一円五十銭ガラス画花四十銭等買い」 [FT00511,130]
- 5月9日 奉天を出立、新京へ、田口松本栗原の三人と合流。 [FT00511,131]
- 5月10日 「軍司令部に行き、三新聞に行く写真器もない様な南京の日本新聞の様な小さい処。展覧会場午前中木にて枠布はり四時画かけ始む 満州国総督院も訪問す。」「講演をするとの事高女の講室石井先生のが中々長くて九時半すぎ十時十五分より十時半まで滞佛廿年をして帰る」「十一時安藤一郎君より電話ありて態々会いにきてくれたとの事 すみれと言ふ待合に行き 一郎三十年振りに会いてよいどれとなり」 [FT00511,132]
- 5月11日 「展始まる 朝の内人来らず」「昼より大勢人々来り300人来ル 一枚マデレーヌ黄紙売れる懸物50」「支那芸者来りスケッチして、又夜上等女郎やに行きスケッチ」 [FT00511,133]
- 5月12日 「新京展二日目 展大変な人出 下にて花祭り等公会堂にてあり マデレーヌの黄紙の懸物二枚 50 50 眠猫二枚 50 50 懸物売れる」 [FT00511,134]
- 5月13日 「展三日目 新京 石井氏吉林へ行かれ一泊の由。」「懸物古狸一枚45.にて売れる」「ラジオ放送頼まれて仏国画界三十分」 [FT00511,135]
- 5月15日 新京より奉天へ。「石井氏七時奉天へ立たれ 新京より十時出発アジアにて奉天へ帰る。」「奉天美術家の会 光城飯店にて七時あり写真もとられ」 [FT00511,137]
- 5月16日 「支那人男女の画六号にかく。町ピンカンリーへ遊び支那女沢山スケッチして夜三時迄仕事す。夜色紙三十何枚かく 労れてねる せんがきだけなり」 [FT00511,138]
- 5月17日 「終日油八号に満州ロシア日本の女支那女かく。」「色紙即売展する事にす。」 [FT00511,139]
- 5月18日 「四時頃わく作り、六時より展の画かける事」 [FT00511,140]
- 5月19日 「今日奉天展開く 森栗野木村三人に一枚ヅ、卅五色紙」 [FT00511,141]
- 5月20日 「医科大学十一時卅人午後一時中学六十人許りに話してやり一々画の説明もす」「マデレーヌ卅五 支那ピンカンリー明日卅五、売れる。二百五十新京のもうれる油画6号」「木村、森、栗野三枚三十五ヅ、うれる。」 [FT00511,142]
- 5月21日 「奉天展 新京卅五 マデレーヌ卅五 等うれる。大勢高女の生誕 演説三十分してやる。奉天医科大学座談会会費50銭に出三人大に巴里の話画の話してやり」 [FT00511,143]
- 5月22日 「奉天展 6時に終る事となり 油板寸五〇 新京卅五 マデレーヌ卅五 新京油画二五〇 布袋四〇 マデレーヌ卅五 森木村入金。皆入金す。」 [FT00511,144]
- 5月23日 奉天を出立。 [FT00511,145]
- 5月24日 「栗原高橋午後奉天より帰り来り大和に入りてこれ皆又落ち合い 松本丈奥地に行くとの事。沢君来り 妻君娘廿、十一才明日来連との事。」 [FT00511,146]
- 5月26日 「愈々出立を中止して三人展する事に決して絵の具等買物す。」 [FT00511,148]
- 5月27日 「愈々三越展の事 女三人来り封筒に番地かきくれて出す事とし四時印刷出来200余送り出す。室206番の5円50に移り仕事すし等昼たべ大に仕事し始めて中々忙し。」 [FT00511,149]
- 5月28日 「朝又早く起きて八時仕事にかかり」「とうとう卅五枚かき上げ」「額十時に届き入れて荷物とし明朝三越に行く事にす」 [FT00511,150]
- 5月29日 「三越三人個展第一日を開く」「三十五点出し他の人も廿点、十点余」「八枚うれて二百七十五となる」 [FT00511,151]
- 「三越大連 額縁36枚 51円30 売り上げ 38675銭」 [FT00509,030]
- 6月2日 大連を出立する。「熱河丸にて十時出帆す」 [FT00511,157]
- 6月5日 「神戸に七時半上陸」「東郷二人新夫人来り、二時迄居る帝展の改革の事。正宗に電話 石井、安井、山下、有島、藤川氏皆、帝展会員となりて二科とけつべつし名誉会員となる、二科の今後の相談の事」 [FT00511,158]
- 6月6日 「一時神田のホテルに鍋井訪問して東郷五時に来ル 正宗君と二科の話決す」「二科を続けてする事に決し」 [FT00511,159]
- 6月11日 「野間展新宿キノクニヤに開く。昼田口来、藤岡高橋等来ル」「新宿にてキノクニヤ21日より—30日迄の展の相談決したり」 [FT00511,164]
- 6月12日 「小デッサン沢山かく事にす五十枚の見込なり」 [FT00511,165]
- 6月13日 御嶽山に行き、スケッチ1枚する。 [FT00511,166]
- 6月15日 「今朝六時何分藤川氏死したりとの事にて驚き」「二科会へ十一時に行き正宗其他に会いて話あり」 [FT00511,168]

- 6月17日 「藤川氏告別式ありて二科代表にて弔詞を読む 和田正木、藤島先生皆来らる。夜十時鍋井君来りて正宗の処に東中野に行き渡辺氏来り帝展のせん定をことわるとの事」 [FT00511,170]
- 6月18日 「終日仕事してかけものも画き一時に二科集会に行き番衆町に行く。四時迄又帰り仕事」「大デッサン6枚小二枚小猫六枚かきて朝五時半迄仕事」 [FT00511,171]
- 6月19日 Berger Vachon氏の処へ日佛へ行キ、jean Pagesの手紙貰いスケッチ貰い帰り、のりはりし、額縁30枚に入れ皆届く [FT00511,172]
- 6月20日 「朝いろいろ番号価格等つけ三時藤岡来り高橋来り画五十枚紀伊ノ国やへ運ばんして六時迄かかりて壁にかけ一枚子猫二十売れる」 [FT00511,173]
- 6月21日 「紀伊国屋新宿展第一日一寸訪問」「五時又キノクニヤへ行く小猫四枚売れて居Mr. Vachon来り二枚85と45買いくれて東郷渡辺木下君等も来りくれ又鍋井君も来りし由友信二人来り」 [FT00511,174]  
「藤田嗣治近作洋画小品展」東京、新宿紀伊國屋ギャラリー 6月21日～30日 《大連支那飯店》等51点
- 6月23日 「三枚うれる」 [FT00511,176]
- 6月24日 「三時キノクニヤへ一人行キ十八枚売れて千円近クナル。大連の沢君より手紙十一枚売れて、八月送金すとの事吉報あり。」 [FT00511,177]
- 6月25日 「藤岡来り二枚渡す、御嶽と水神のPaysage昨日嫌なりとてかへす支那婦人か小児との事、銀座バーの神さんお仙さんへ一枚油八号たのまる」「二十五枚許りウレル紀伊ノ国や」 [FT00511,178]
- 6月26日 「展覧会廿枚うれる」 [FT00511,179]
- 6月27日 「支那女小児等かく猫かく。新宿キノクニヤにて巴里の友人宮本に会いいろいろ話きく。俺れの出立後画三割上りたりと藤田当分帰らず いろんな処へ行キシとデマ飛び画の値上ル。藤岡支那の小児の画渡し45yen入金」 [FT00511,180]
- 6月28日 「4h-5h 紀伊国や宮内来らず東郷の小川学友へ一枚猫80にて売ル入金」 [FT00511,181]
- 6月29日 「午後一時上野美術学校の三年次の連中四十人許りに倶楽部にて話す。二時間。」 [FT00511,182]
- 6月30日 「新宿展紀伊ノ国や展終の事。」「門脇氏に二枚御嶽山一枚8万女6万預け旅行の由」 [FT00511,183]
- 7月1日 「安田夫婦とカバヤマ令嬢来り二時半三時半迄かく 新宿の画皆帰り 二科満州展の画も帰る。十一時頃門脇氏来ル。」 [FT00511,184]
- 7月2日 「四谷へかけつけ九時、十時26分の汽車野間と其の外二十五人にて上野原へ写生旅行に行く」 [FT00511,185]
- 7月3日 「午前鶴屋の家 午後ステーション画き夕方七時二分の汽車」 [FT00511,186]
- 7月4日 「岡倉本屋来り 十月に本出したしとの事」 [FT00511,187]
- 7月5日 「都新聞来りメキシコ小児の画二科出品の特だねとりにくる。」「十一時大阪十合の処の人と藤川氏の処にて会い九月十日一十五日仕事千円位との事」 [FT00511,188]
- 7月6日 「五枚原稿かく。野鳥の原稿かく」 [FT00511,189]
- 7月7日 「中央公論の仕事す。十枚画と文かく満州旅行の事」 [FT00511,190]
- 7月8日 「中央公論の原稿十枚朝仕事に昼トリニ来ル。6時紀伊国やに行く。」「仕事二時迄す文藝春秋の事」 [FT00511,191]
- 7月9日 「文藝春秋へ世界の女の事かく 六枚(夏的女トモナル)画と文」「藤岡矢部君来り二科の話会友言々の事あり。」「200yenにて武州の画八号渡す」 [FT00511,192]
- 7月10日 「日本画雑誌塔影記者、子女親善会の女記者。文房堂に二科出品のToileたのむ森重氏来ル」 [FT00511,193]
- 7月11日 「157.64のToile文房堂の注文の品届く」 [FT00511,195]
- 7月12日 「文房堂又150号100 80号カンバス小カンバス等張りくれて愈々仕事気分でる」 [FT00511,195]
- 7月13日 「150号にかき出す北平の力士三人夕方迄に女三人かく 矢部氏来ル」 [FT00511,196]
- 7月14日 「田口東郷の電話ありて二科の会へ行かず。鎌倉行キの事。三時に東京駅集まり例の巴里会ノ人々田口東郷二人さぶり石黒二人等三十七一末にて大船バス十五銭 ロツチに行キさわぐ 浴衣巴里会の松坂屋出来て皆揃いに着ておみこしさわぎなり 芝九郎アパワシ等して大仏次郎も来 藤原其他福しま皆来り西洋人口アス、ゲスネツリ、フェリシタ其他大勢 六時東郷田口と十一時の汽車新橋にてすし食べて帰り」 [FT00511,197]  
「鎌倉浴衣で巴里祭」 [FT00509,031]
- 7月15日 軽井沢へ旅行。「大連手紙来り、婦人の友の表紙かく 仕度して旅行に出る事とす。」「上野三時〇五分二等軽井沢美術駿河台研究処生2人」「夕方七時卅分カルイザワ着1円にてモーランジェール着、フキスバッシエル バッチー氏に会い帰り萬平ホテル」 [FT00511,198]  
「軽井沢モーランジェールの処」 [FT00509,031]
- 夏 夏、日本海側を旅行する。軽井沢、長野、直江津、佐渡、新潟、男鹿半島、秋田、十和田湖、青森から上野へ戻る、全体で10日間ほどの旅であった。[『地を泳ぐ』pp.241-246] [FT03937]
- 7月16日 軽井沢から長野経由で直江津へ向かう。「長野三時善光寺訪ねる五時迄中川紀元に会ふ 直江津夜の祭」 [FT00511,199]  
「Vachonと直江津佐渡小木相川久保田旅館 新潟しのだや 秋田石橋十和田太陽ホテル、Vachonと女、廿四日帰京」



		FT00509,031]
7月17日	佐渡へ渡航、小木の権座屋に泊まる。朝日新聞の通信員佐藤静二、二科出品作家の和田裕介らと会う。	[FT00511,200]
7月18日	佐渡の鉱山などを見学。	[FT00511, 201]
7月19日	新潟泊。	[FT00511,202]
7月20日	「新潟夜出発 秋田へ向ふ」	[FT00511,202]
7月21日	「秋田石橋旅館とまり」	[FT00511,204]
7月22日	「秋田昼に出て 大館のりかエて毛馬内に行き十和田湖 秋田出発 十和田湖泊り」	[FT00511,205]
7月23日	「十和田湖の日」[5時半青森着。夜、9時半の汽車急行にて東京へ向ふ。]	[FT00511,206]
7月24日	帰京「十時廿五分上野着」	[FT00511,207]
8月1日	「支那大作かく」[安井君夜来り支那婦人の顔の画やる。]	[FT00511,209]
8月2日	「朝八時七分 両国発にて野間氏と女画家一人と会いタケ同行して房州太海（凡そ二円許り）北条廻りにて行ク」[鉛筆スケッチして海に行き泳ぎ魚等つくとかしやくうとかすれど小児等と同じ様なもの外とれず。昼寝したり夜氷沢山のんで怪談をかたつてねる。]「景色画題となる」	[FT00511,210]
8月4日	「今朝電燈を一個買ってつけて仕事画の上に光かゝる様にす」	[FT00511,212]
8月7日	「三越洋画第一展に出品の三号二枚下画す。房州太海、佐渡小木港 Edithe来ル女中連れて、すしを食べて巴里の話沢山す、田中千代子も来る」[中央公論原稿佐渡旅行たのみに来る]	[FT00511,215]
8月8日	「朝鮮学生シャガルとモヂリアーニのマリアージの画持ち来る 本人は一生懸命なれ共真似は益なき事、三越行きの小品色ぬる近来の大好きの画二枚出来る」	[FT00511,216]
8月12日	「古淵氏来り注文猫たのまれる」[大作に一度色かけて仕上す。]	[FT00511,212]
8月13日	「三越へ小品三枚油画渡す。佐渡小木、房州太海上野原三枚なり。]	[FT00511,219]
8月14日	「十四日一廿九日迄 三越洋画展西館四階 三枚 上野原、佐渡小木 三号、太海出す 三号 250売れる」	[FT00511,220]
8月17日	「研究処生徒四人 廿枚許り黄氏又画見せに来る大変なり 裸体かく」	[FT00511,221]
8月18日	「大裸体のバック風景をかく」	[FT00511,222]
8月19日	「朝 桂其の外一人 画見せに来る二科出品、又日本画の丸ビルの画商巴里ロンドンの人見せに来る」[山口君来ル、三越の一枚うれた由房州太海三号250円]「高島屋へ行き高岡氏の十三枚の画東郷正宗と見る。」	[FT00511,223]
8月21日	「出品受付 搬入 一般大変な景気 午後二時高原水戸君とP.C.L.に行きて訪問記かく下見して上野へ行き美術館野間正宗に会ふ」	[FT00511,225]
8月25日	「朝一寸仕事して九時半美術館にて二時半迄かかり一通り審査す。明日より再審査となる筈にて」	[FT00511,227]
8月26日	「審査の日。新聞社へ写真渡す。」「額マツ等届く 上野浅田より。五十円支払う」	[FT00511,228]
8月27日	「メキシコ三十八枚十枚油画、Y安田夫人肖像 昼後夕立の間を高橋に運ばせる コロンバン来りて相談とうとう六枚の注文取る。仕事す。」	[FT00511,229]
	「安田岩次郎夫人肖像出来」	[FT00509,031]
8月28日	「午前中日々へ出すP.C.L訪問記十枚十二時迄かかりてかく。審査あり三枚ノ人を廿人近く落す。又夕方皆救ふ。皆で運んで室を陳列し始め」	[FT00511,230]
8月29日	「しんさすみ陳列始む」[外務省にて活動の相談 国際文化に行きて又々相談し 星野(朝日)、関沢(巴里の活動)ドイツ人を見てつまらなく日本紹介、又美術かんへ帰り]	[FT00511,231]
8月30日	「西田静子より電報礼あり。ホームラインの口絵一枚渡す」[美術館行き陳列なほしの日、大体決まる]	[FT00511,232]
8月31日	「コロンバン主人来り1500持ち半金壁画の図持ち来る。土屋と言ふ女ノ人も来りて三越ノモード審査官たのまれる。つるた一枚とほる 婦人公論原稿七枚渡す画一枚」	[FT00511,233]
9月	「二科会近作洋画小品展」東京、新宿紀伊国屋 9月1日～15日 「第22回二科美術展覧会」東京府美術館 9月3日～10月4日《五人女》《Y夫人の肖像》等	
9月4日	「外務省の人来り活動相談 仕事1時—4時 関沢 夜二科相談会」	[FT00511,237]
9月7日	「美術館午後二時入口報知の事、かきに行き三回見る 二科見る」[夜六時中島さんに都川に招かれ夜の会服のデッサン頼まる。]	[FT00511,240]
9月8日	「朝二科へく。ナベイ君等に会ふ。十二時西田静子来ル。東郷と当番。 午後一時—三時 関沢氏来ル。」	[FT00511,241]
9月9日	「万年筆ポスターたのまれる(二尺一寸—三尺一寸) 原稿報知へ院展七枚かく 中央美術へ十枚かく 原稿の日。」	[FT00511,242]
9月11日	「外務省へ行く、関沢氏と柳沢氏と会い東亜に行きて話し、日動にて700,125受け取り、コロンバンを見て帰る」	[FT00511,244]
9月12日	「都来り壁画の事話してやる。」	[FT00511,245]

- 9月13日 「今朝文房堂来りキャンバス六枚出来300円支払い、午後大作かく。」 [FT00511.246]
- 9月15日 「今朝壁画の仕事一人かく。」「日動へ風景と猫二枚あづけあり 一枚分金入る筈」 [FT00511.248]
- 9月17日 「人多く来り、熊本統氏外二人黒田嬢渡辺若き文化学院の二人二時迄居て、仕事出来ず兄も来りいろいろ話す。」 [FT00511.250]
- 9月18日 「巴里人形使節の夜日比谷公会堂演説 アパワンダンス等す ピラ、モーランジュール ゲズネツリ 東京市長等に会ふ 十二時外務省 活動打ち合せ。婦人の友の表紙かく。」 [FT00511.251、FT03289]
- 9月19日 「大阪へ行く 十合壁画かく」 [FT00509.031]
- 9月20日 「午前十時半十合に行き現場見てキャンバス張る事たのみ」 [FT00511.253]
- 9月21日 「仕事に愈々かかちて十時より五時までデッサン皆仕上げて帰る 十合の人喜ぶ」 [FT00511.254]
- 9月22日 君代の写真を撮る [FT03334]
- 9月23日 「婦人公論の人へ油画六号ダム橋バツクにて一枚六号かき」 [FT00511.256]  
君代に名刺入れを買う。 [FT05094]
- 9月24日 「仕事殆んど完成」 [FT00511.257]
- 9月25日 「午前中十合仕事」「二時Auto八円にて小雨の中京都へ向かい三条大橋の西村にとまり四時半文京にて人形四条にて南座見物」 [FT00511.258]
- 9月26日 「午前中、智恩院より見物清水三十三間堂初め銀閣寺金閣寺嵐山辺り迄見物午前三時帰り昼食し四時道頓堀にてウインナ見物」 [FT00511.259]
- 9月27日 「奈良見物」 [FT00511.260]  
京都祇園で君代に札入れ等を買う [FT05090.91.93.95.96]
- 9月28日 「東京九時着」 [FT00511.261]  
「広島、宮嶋、鹿児島、枕崎」 [FT00509.031]
- 9月30日 「日動にて五十円貰い帰り」「夜コロパンの大作に色をぬり始む。」 [FT00511.263]
- 10月 大阪そごう特別食堂の壁画を描く。 [『昭和11年版日本美術年鑑』p.105]
- 10月1日 「コロパン大作二枚の上ぬり人物だけ仕上ぐ」 [FT00511.264]
- 10月3日 「三時バイエンス氏来り小児生れるに就き木版たのまれる五十枚十日間待つ事にし木版家をさがす事。日光中禅寺湖の景長谷川氏よりたのまれるのぐち氏持ちてタゴール、サインするものなり」 [FT00511.266]  
「霧島 高千穂 七日熊本 八日阿蘇 別府」 [FT00509.031]
- 10月4日 「百円中央美術の人より万年筆のポスター代として貰ふ 二科総出二科展終りの人にて大塚新箱根に行き 慰労会芸者大勢、渡辺と中川君と池袋に行き巴里と言ふBarに行き四谷荒木町へ中川を置いて帰る。」 [FT00511.267]
- 10月5日 「青樹社へ渡す二枚伊藤屋へ八枚色紙渡す、中央公論嶋中雄作五十年記念 歌舞伎にてあり日本の文壇画壇の大家皆集まる。大勢、藤島中澤氏等家に来たしとの事。」 [FT00511.268]
- 10月6日 「仕事壁画少しす」 [FT00511.269]
- 10月7日 「バロン・バイエンスに渡す (たのまれ)五十枚木版の下画かく」「蕨氏来り日曜日仕事見て貰いたい学生連中の事たのみに来る」「6時に文芸春秋星ヶ岡座談会国際文化記」「四谷九三幸町一、中村三次郎四谷6329 木版家」 [FT00511.270]
- 10月9日 日光へ行く。 [FT00511.272]  
「日光行き心中見た」 [FT00509.031]
- 10月12日 「百七十五円長谷川日動の処にて海老原の友人飯田氏買いしとて受けとる。」 [FT00511.273]
- 10月13日 「学生午前中三十人許り来り庭に居て批評たのむ」「三味堂への渡しの太海の画朝の内かき上げて渡すMadの肖像も渡す。」 [FT00511.274]
- 10月14日 「仕事 大作だん目立ちて仕上がる。」 [FT00511.275]
- 10月15日 「仕事三枚にかかちて半分出来る。大に進捗す。」「夕方コロパンへ行く。金バクぬる事に決す。」 [FT00511.276]
- 11月 東京の銀座コロパンの壁画を描く。 [『昭和11年版日本美術年鑑』p.105]  
日本壁画芸術家協会顧問になる [『藤田嗣治画集』2012]
- 11月12日 「松山」 [FT00509.031]
- 12月3日 「帰京、つばめ」 [FT00509.031]
- 12月5日 「京都へ 広島 廿五日帰京 君代同道」 [FT00509.031]

## 1936 (昭和11)年 50歳

- 1月13日 「コロパン天井直し」 [FT00509.019]

2月4日	「国際映画浅草神田ロケハン」	[FT00509,019]
2月5日	「メルキオール夫人肖像 モーランジエール夕食」	[FT00509,019]
2月9日	「サロン春 等の仕事 ロンモの仕事等 壁画」	[FT00509,019]
2月24日	～3月2日「第1回二期二科展」東京、日本橋高島屋 《私のアトリエ》《大海風景》2点	
2月28日	～3月10日「藤田嗣治第3回小品展覧会」東京、日動画廊 《房州太海》《北米ニューメキシコ》等24点	
3月9日	「秋田行き 角館小林泊り 小玉氏おばこ等映画写す」	[FT00509,019]
3月30日	「房州太海旅行」	[FT00509,019]
4月3日	「高山 木曾 諏訪へ旅行 撮写 六日帰京」	[FT00509,019]
4月6日	～10日「第3回現代十大家洋画展」東京、銀座資生堂 《秋田風景》等	
4月7日	「京都 十二日帰京」	[FT00509,019]
4月16日	「マド帰朝 横浜であばれる」	[FT00509,019]
4月17日	「浅草ルンペン撮影」	[FT00509,019]
4月25日	「御宿へ十八人旅行」「千葉県夷隅郡 浪花村 岩和田旅館」	[FT00509,020]
5月19日	「コクトー チャプリンを送る放送局」	[FT00509,020]
5月28日	「マドたほれる」	[FT00509,020]
6月1日	～7日「広嶋 呉 絵業書かき」	[FT00509,020]
6月29日	「朝四時マド死去 七月一日葬式」 3月に再来日していたマドレーヌが急死する。[『東京朝日新聞』1936年6月30日夕刊]	[FT00509,020]
7月10日	「秋田旅行 廿日迄」	[FT00509,020]
7月25日	「箱根 蓮台寺 下田 三原山」	[FT00509,020]
7月30日	「左門町犬狐の屏風かき初む」 夏頃東京市四谷左門町に転居する。[『地を泳ぐ』pp.3-6]	[FT00509,020]
8月1日	「屏風作かく」 「秋田へ旅行 たなばた祭 七日帰京」	[FT00512,001] [FT00509,020]
8月2日	「午前中犬狐廿一匹出来屏風完成」 「犬狐廿一匹出来上ル」	[FT00512,001] [FT00509,020]
8月3日	「昨夜井上兄広島へかへる 十一時関沢 十一時台湾人劉氏 画持ち来る 鶴田来る 落合井上弟 左門町に来て屏風見る」	[FT00512,002]
8月4日	「秋田へ夜十時上野駅より、君代、古淵岡本弘で立つ」	[FT00512,002]
8月5日	「秋田へ十二時に着す 平野北邸へ二人落ち付く」	[FT00512,003]
8月6日	「秋田祭七夕竿燈雨ふり 大に閉口す 昼デパートに行き二本見るづぶぬれ」「六時頃雨止み平野40円寄附して城跡にて十本立ててくれスケッチす。見事な祭なり、画の豫想充分つく。」	[FT00512,003]
8月7日	「秋田一日 夜温泉へ行く」「土崎当り矢へ九時半行き皆でうなぎ藝者十二時かへる」	[FT00512,004]
8月8日	「(午前九時～十二時二科会指導行けず) 午後八時半上野駅着して左門町へ帰る」	[FT00512,004]
8月11日	「文藝春秋へ女ハ様々十九枚送ル、南海高島やに表紙画一枚送ル」「井上氏左門町へ来ル、落合氏も期待以上の作として犬の屏風喜んでくれたとの事」	[FT00512,006]
8月11日	～16日 「猫廿八匹魚廿八匹かき上げた。」	[FT00509,020]
8月12日	「今朝古淵色紙百枚届けくれる。愈二科の機廻ル。一日家に居て自画像かき出して見る」「夕方五時半 coronpan 東郷に会ひ大森□□本店に行き婦人画報座談会にて淡谷のり子さん等三人話して十一時かへる」	[FT00512,006]
8月13日	昨日屏風又一ツ出来て来る一雙で百円と言ふ 五十円づつなり。六十円をまけてくれたらし。」	[FT00512,007]
8月14日	屏風猫かく一日在宅す。	[FT00512,007]
8月15日	「屏風かく一日在宅」	[FT00512,008]
8月16日	「屏風猫沢山 魚等沢山かき夜一時迄かく。中村へ行く神戸の桂子と其の妹来り (12日より) 居り蓮元母九州へ立つ啓文と鶴田の処へ行く夕食たべ夕方かへる」	[FT00512,008]
8月17日	「古淵の処等へ行く。夜井上氏古淵岡本来りそば食べて話す」	[FT00512,009]
8月18日	「二科出品自画像おぜん等かく火鉢障子等 屏風猫廿六、魚廿六を渡す。明朗出品」「夕方君代と二人柵屋へ行くアメリカ人 Frankl 氏に会ひ廿二年目日本へ来り 6年前New York にて会ひ娘の肖像かいてやるとの事忘れて居る」	[FT00512,009]
8月19日	「仕事 油 自画像かき始む」	[FT00512,010]
8月20日	「仕事 油 自画像」	[FT00512,010]
8月21日	「仕事す、自画像」	[FT00512,011]

- 8月22日 「午前仕事 上野へ午後行く持ち込みの日 四千枚中々盛会なり。」 [FT00512.011]
- 8月23日 「11時落合氏の処昼食して明朗の画批評してやりまた夕方番衆町二科下相談会あり新宿にて秋田竿灯の写真現像とりでかへる」 [FT00512.012]
- 8月24日 「二科廿三回 審査始まる、九時、午後一時半関沢と村田氏上野に來り スタンパーク氏 映画見たしとて東亜に行きハリウッド以来の知己見せて大いに喜んで賞めてくれる、又上野に帰り審査して夕方家にかえる。二科、上野より屏風かへして貰い家四谷に置く (犬猫)」 [FT00512.012]
- 8月25日 「審査一日荒審査四千二百枚より九百枚とす。五時半東亜、柳沢、そが会長其他田代氏等小松吉田氏等皆來る。朝早々中村へ行く、ゴヤの額たのむ 上野に四十枚、二科の連中鶯谷のしほ原に会食す行けず」 [FT00512.013]
- 8月26日 「審査日600点直す。(900点の内より) 三枚を二枚 二枚を一枚とす。」「今朝七時高橋自画像持ち上野へ届く、日々写しに上野に來る」 [FT00512.013]
- 8月27日 「審査 昨夜より80号小児の喧嘩古淵岡本ポーズしてくれる 上野に行く」 [FT00512.014]
- 8月28日 「上野審査愈々350枚程となりて決定す」 [FT00512.014]
- 8月29日 「今日は午前十時に行く既に決定すミ 今夕四時発表」 [FT00512.015]
- 8月30日 「今日陳列の日なれども行かず 80号を七時より十一時までかかりて仕上げる」 [FT00512.015]
- 8月31日 「朝十時上野に行く高橋小児の喧嘩(80号)とりに來るに行きちがひに会ふ。ゴヤの縁出来皆壁面にかゝり居たり二時東郷と二人十余の諸新聞を訪問して何卒今後をたのミ 先日の毎夕のすつばぬき事件を詫び マーブルに行き明後日の余興の事たのミ 五時家に帰りホームライフの表紙をかく油絵採寸」「松坂屋出品の事電話」 [FT00512.016]
- 9月1日 「中村に行き ボロ布等持ち上野松坂やへ一枚総合展へ出品し、二科へ行き 一時警察の下見ゴヤ五枚だけ余りザンコクなりとて出品見合わせとなり」 [FT00512.017]
- 9月2日 「午前中芝居のピラ等いろいろ書き三時二科へ行く」「二科こんしん会大余興あり 皆で大に芝居す」 [FT00512.017]
- 9月2日 ~10月4日 「第23回二科美術展覧会」東京府美術館 《自画像》《コドモの喧嘩》2点
- 9月3日 「午前中家にあり 昼星岡茶寮 Rice 氏夫婦娘子供 柳沢 岡氏、堀口、初瀬川(後より來る) アメリカの話其他いろいろ雑談 ライス氏一同を連れて院展二科見せる。一番ここで私の作品がお世辞じゃないがいいと言ってくれニューヨークにエッチング五枚私のを持つてると言ふ 明後日出立の筈、二科へ行く 君代來ル。鶯谷塩原に行き二科新聞記者招待会。」 [FT00512.018]
- 9月4日 「午後五時半花月国際映画協会にて会える筈、行かれず。午後一時番衆町にて二科相談会の筈、賞与委員会友推薦の事」 [FT00512.018]
- 9月5日 「午前二科出品金沢大阪福岡行きノ画選定の事。」「仙台行き夕方七時夜行の事」 [FT00512.019]
- 9月6日 仙台滞在「朝伊達政宗の寺に詣り説明者に驚く、八木山公園城跡より藤崎アパートの個展見る 政吉氏弟君秋田より出て來り居り四萬人來觀者ありとの事」 [FT00512.019]
- 「仙台へ旅行 松島見物、八日帰京」 [FT00509.020]
- 9月7日 松島観光 [FT00512.020]
- 9月8日 「朝松島に起き瑞巖寺見物」「夕方七時五分上野着」 [FT00512.020]
- 9月9日 「新潟審査へ行く」 [FT00509.020]
- 「国際映画のポスターかく。夜十時半の汽車にて新潟行き二決す」 [FT00512.020]
- 9月10日 「新潟に朝七時半着」「十時イタリヤケンの会場に行き審査し四百五十枚の内百三十枚とりて賞与等迄与えてやり三時半に終り」「新潟県美術展覧会 会長 安藤文平」 [FT00512.020]
- 9月11日 「三時高等学校へ行き相談会講演風の事あり四五十名居いろいろ話して」 [FT00512.022]
- 9月12日 「夜九時秋田に着して平野邸に入る出迎大勢、政吉氏大曲に行きて留守、新築の六畳四畳半に入り別室なり」 [FT00512.022]
- 「秋田へ 鎮守祭 秋田日吉神社 田沢湖 蓬萊館 一人一円卅六錢」 [FT00509.020]
- 9月13日 「絹本三本半切七本描く」「昨日秋田宛て官報電報にて昨日打ち合せ会に於て貴下を文部省展覧会要員候補者として御推薦せられたり 是非引き受け下さる様御願したし、手続の都合もあるにより急ぎ御内返電乞う 文部省石丸 返電出す 電拜見御好意を謝す申し込しの件は御辞退申します藤田嗣治」 [FT00512.023]
- 9月14日 「仕事日本画八本かき終り夕方より川反一丁目に出て屋台のレビュー見AIにて招待ビフテキ食べ又祭礼見物、山、人形其他スケッチして十時帰宅す」 [FT00512.023]
- 9月15日 「終日日本画十二本許りかく祭日も雨にて見物にも出られず昼一寸出で写真20枚うつす角館の獅子舞なり」 [FT00512.024]
- 9月16日 「東くにの宮様へ献上(稲畑氏)の分八号、と六号とを描く、南北佛風景又仙台へ四号の花かく、終日仕事」 [FT00512.024]
- 9月17日 「田沢湖へ二時に着く大曲よりのりかへ角館を想出す、湖水一周二時間五里深さ四百二十五米 御座石は見事と言うより浮氷のごとく 龍神とたつ子の神話あり 夜おぼこ踊り 蓬萊館泊り」 [FT00512.025]



- 9月18日 「朝十一時頃大曲のりかへで黒沢尻迄行く だきかへりにて貝塚武田下車 温泉へ平野良子降りて黒沢尻にて1時間五十分のりかへ待ち 6時盛岡着」「夜松屋個展へ行き歓迎会へ出て話などし」 [FT00512,025]  
「盛岡行き」 [FT00509,020]
- 9月19日 帰京「九時半の汽車で上野へ向ふ」「東京駅よりニューグランドへ行き出井いづいに行き柳沢山田、本野関沢近藤等と十時迄映画の相談ありて帰る」 [FT00512,026]
- 9月21日 京都へ向かう「出立夜9時30分」 [FT00512,027]
- 9月22日 「京都朝七時五十分着」「午前中トアール張り、午後仕事始め」 [FT00512,027]  
「京都行き 東郷と丸物壁画かく 廿六日帰京」 [FT00509,020]  
京都丸物百貨店の壁画《野あそび》を制作するフジタの写真 [FT05413]
- 9月24日 「東郷と二人仕事す」 [FT00512,028]
- 9月25日 「午前午後終日仕事して大作仕上げ三時終り、東郷等と初瀬川の店へ展覧会見物」 [FT00512,029]
- 9月26日 「稲畑氏面会風邪二枚八号六号渡す、(稲畑南禅寺石田執事) 今日六尺四方の壁画終日かかりて女二人魚とをかく東郷果物と女二人鶴田吉原景物かく」 [FT00512,029]
- 9月27日 「午前中京都丸物仕事仕上げ 小浜屋引き上げ丸物皆支払いしくれ 初瀬川2300渡ししくれ 稲畑氏500渡ししくれ」「二時半名古屋迄出る」「東郷四時朝鮮へ向い鶴田奈良へ行くとの事」「七時新愛知大講堂小売店繁栄講演会に臨む」 [FT00512,030]
- 9月28日 名古屋滞在、午後帰京する。 [FT00512,030]
- 9月29日 「四時モーランジュエル、夫婦娘シモンヌ出立帰国送りに東京駅に行く、コロンバンロンモへ行ってロンモの話すませ決せず 夜家に帰りてホームライフの表紙かく。油画一枚」 [FT00512,031]
- 9月30日 「木子より十号四枚(400つつ) 稲畑氏の注文とて手紙にてたのみ来り 直ぐ文房堂にたのみ岡本氏イヴァンフ夫人肖像返却、ホームライフ表紙十一月分渡し改造(さしえとびら画) 渡して貰ふ」 [FT00512,031]
- 10月1日 稲畑氏の画10号四枚昨日文房堂届けをかく一時に四枚初める、Dinan (Côtés du Nord) martigues (Bouches du Rhône) Village pres de la Ferté sous Jouarre (La Seine et marue) Harove (meurthe et morelle) pres de nancy
- 10月2日 「閑仁宮若妃殿下二科御出との事戸塚へ走りモーニング着て大急ぎ九時半御案内十一時御退場御見送り田口と二人で辨慶橋へ御礼に参上して帰り、油画の仕事始め」 [FT00512,033]  
「金沢行き 二科展」 [FT00509,020]
- 10月3日 「油画も四枚殆ど出来上る」 [FT00512,034]
- 10月4日 「油画四枚完成し(京都稲畑氏に送る分) 一安心す」「二科へ三時に行き四時半碓小山水下大下より感ずる処あり辞退したしとの事大に急に皆で相談して愈々四人が出て行く事承知す」 [FT00512,034]
- 10月5日 「今朝ゴヤ版画ロダン、デラン、モデリアーニ等二科より返却し来り 阿部氏自ら届けてくれる 二科会の事小山裕木下退会の記事皆新聞に出ず、京都稲畑氏宛て四枚にニスをぬり、又金沢行小品板寸四号へフランス風景かき又京都のロンモの友人へ猫二枚四号油画始めて仕事を着々進行さす」 [FT00512,035]
- 10月6日 「昼より猫二枚ロンモ夫人の京都友人の分かき油画六号、一枚金沢への分仕上げ」「夜秋田のAI行き的大幅の日本紙二枚尺八一枚花コスモス等かく」 [FT00512,035]
- 10月7日 「朝起きてすぐ猫二枚仕上げ岡本古渕神田へ額縁会に行く。日本画一人座敷でかく 岡山の初平行き魚 麴町の広瀬氏へも魚等かく」 [FT00512,036]
- 10月8日 「夜雑賀さんへの十号デッサン ニスの景かき初む 夕方野間渡辺二人来り熊谷の家に行きさそいで志保原に行き決書二科終身誠意を以て云々の署名巻物ノ件相談」 [FT00512,036]
- 10月9日 「雑賀富美子への油画二枚十号と四号同時にかく」 [FT00512,037]
- 10月10日 「油画二枚仕上げす 梨 磯濱へ送り出す、初平へも同じ(広瀬へ日本画)」「秋田で入用の壁画材料を文房堂で買う事品名弘氏に渡す」 [FT00512,037]
- 10月11日 「夜五時より四谷番衆町に集まり決書二科団結の件相談会東郷田口二人遅れて七時半来り右兩人署名する事を兎戯として不賛成正宗と打ち合わせしてすでに手遅れとなり居、野間、熊谷、渡辺と四人大になさけなく世の中の變りをなげく。」 [FT00512,038]
- 10月12日 「午前中より大阪朝日の同情週間の画かく 沢山色紙等かき又三味堂の仕事伊豆下田蓮台寺の風景八号にかく」 [FT00512,038]
- 10月13日 「三味堂渡しの伊豆下田の画仕上げ岡本文房堂額買い午後届け」夜上野を発って金沢へ向かう。 [FT00512,039]
- 10月14日 「朝八時十分着金澤 みやぼ宿屋に入り、展覧会と新聞社へ挨拶し、すべて準備出来上り居り」 [FT00512,039]
- 10月15日 「展覧会へ行き新聞大いに書きたてる。兼六公園見物等、ホテルに帰りて夜講演会七時より皆六人で話し最後自分の分皆喜んでくれホテルへ帰る」 [FT00512,040]
- 10月16日 金沢滞り「二時工藝学校にて野間君と講演 面白い話45分してお土産茶の湯の分三枚貰ひて帰り」「四時よりせんぼう



- 閣にて愛好者画家彫刻科の懇親会あり座談会して」 [FT00512,040]
- 10月17日 「三時迄かかっている世話になった人其他ホテルの連中へ例によって色紙十枚余りかく」「金沢出立の日」 [FT00512,041]
- 10月18日 「七時十五分上野に着し」 [FT00512,041]
- 10月19日 「初平の出し、岡本文房堂にて四号三ツ、額一ツとり来る。古淵朝秋田より帰り来りAIは駄目金なくして受け取らずに帰り来る」 [FT00512,042]
- 10月21日 「鉄道省の二人柔道表紙の事で四谷ブラジルで会ひ又海老原来りグラフィックの事で会ひ、又四谷ブラジルに行く。蘆原敏信来る、花柳の事等。」 [FR00512,043]
- 10月22日 「午後一時頃より三時迄花柳すみ子の家へ行く新築見、里見淳氏に会いふり付け見て四時阿部艶子と四谷ブラジルで会いて朝日週間のアンテルビューして午前日本画三枚午後一枚夜一枚」 [FT00512,044]
- 10月23日 「戸塚より岡本 中西顕政のコンニャクと高田力蔵の西洋菓子貰ふ」「五時東京会館君代岡本送りくれ国際映画発会式八十何名、四五人の中で一寸講演する五分間」 [FT00512,044]
- 10月27日 「高原二郎に会い来年横光氏の百回小説夕刊さしえたのまれて承知す」「昼よりホームライフの表紙かく小児と雪と犬」 [FT00512,046]
- 10月29日 「中村へ朝早く行く電話来客大勢 岡登日本美術学校・婦人の友、蔵氏」 [FT00512,047]
- 10月30日 「アトリエ社へ小学校の油画。画集作成の事 岡本へたのんで渡す」 [FT00512,047]
- 10月31日 「涛友会十名許りと野間君代と新宿に十時に集まり廿四分の汽車甲府往復」 [FT00512,048]
- 11月1日 「朝起きて一同日下部クサカベへバスで行く事となり皮羽織の大きい十円で買い大にうれしく写生亀甲楼で井たべ皆二枚づつかく」「四谷の地処の事決定五日登記の事となりて大に安心うれしく麴町の土地手に入る事となりて三年の働き甲斐あり。」「三十一日下見記者招待一日、開会、大阪二科展大阪市美術館一十六日迄」 [FT00512,049]
- 「六番町地処 決定す 五日朝登記 十二月十日 三回目 三度目登記すむ」 [FT00509,020]
- 11月2日 大阪滞在「五時に大阪に着す朝日ビル研究所に行き熊谷と二人写真戸外で大朝に写され、講演国枝滝田中川田口野間黒田熊谷司会者鍋井最後に私と二科会を十時に終り」 [FT00512,049]
- 11月3日 「九時半天王寺美術館へ野間笠置と三人行き大勢会員に会い二科展見美術館見て」「東京迄無事に帰り」 [FT00512,050]
- 11月4日 「四時ベン倶楽部明治生命講堂講演銀座5012 堀口大学、野口米次郎(茨田)、横光利一、高濱虚子、西條八十、依頼サル(丸ノ内二ノ十六明治生命)、 四谷ブラジルで岡登氏に会い講演の話して」 [FT00512,050]
- 11月5日 「土地買入れ 麴町区」「中村へ朝八時頃行く姉と新宿第一銀行より八千五百円引き出して富士見町登記所に行き広瀬地主より石田、花房氏立ち合ひの上 下六番町十七番地 四十三坪五号一匁を八千二百九十九円三十七銭(内十八坪ノ内全あり) 買ひ登記すませて初めて十一月十六日 満帰朝後三年ノ内に東京麴町ノ地主トナル」 [FT00512,051]
- 11月6日 「午前十時より岡登の日本美術学校に於て講演筆記して本出す事となる」「今朝婦人ノ友へピカソ宛てクリスマスの手紙 岡本原稿持ち行き、午後四時大毎(東日々)の高原へボーイの衣服のデッサン渡してやる。コロパンは菓子色紙エツフェル塔かいてやる」 [FT00512,051]
- 11月9日 「午前中日本美術学校にて講演し帰り早稲田ドムに行き岡登とデッサン展を見、帰る」 [FT00512,053]
- 11月10日 「朝から曇り一日日本美術学校の講演演説の草稿を口実体を文字になほす」 [FT00512,053]
- 11月11日 「古淵早速一萬で自画像小児けんか壁画の件 平野へ相談に行く」 [FT00512,054]
- 11月12日 「俄かに朝古淵平野より帰り来り八千を二度に自画像メキシコ、画室、ゴヤ、と壁画を二度に支拂うこととし」 [FT00512,054]
- 11月14日 「朝九時日本美術学校へ行き講演すませて」「国際文化の人来り会い写真えらび」 [FT00512,055]
- 11月15日 「岡登氏来り本屋肖像かいてやり秋田へ一人出立の事とし君代を残して行く事となる。夜十時の汽車二等岡本寝台券買いに行きくれる」 [FT00512,056]
- 「秋田湯沢両国らんまん訪問 本庄十九日入京」 [FT00509,020]
- 11月16日 「朝九時五十分湯沢着 古淵出迎 両関らんまん見物、」「平野来ル 夜遅くまで半切色紙かく沢山」 [FT00512,056]
- 11月17日 「十一時半湯沢出発二時秋田へ着 平野見□同行 平野邸へ入る 倉庫壁画かく処見 三時石橋にて斎藤彌太郎氏に面会 平野へ泊り」 [FT00512,057]
- 11月18日 「午後二時秋田より自動車にて本庄へ行く 斎藤氏肖像かく 夜宴会ありて鶴屋水園やに一泊す」 [FT00512,057]
- 11月19日 本庄より帰京。 [FT00512,058]
- 11月20日 「朝中村へ八時頃 九時富士見町登記処に行き十八坪の登記すませ、下六の塀を甚作作り初む 午後三時富士二等にて福岡へ出立 君代同道」 [FT00512,058]
- 「福岡へ二科展」 [FT00509,020]
- 11月21日 「九時半下関着。田口に出会ふ シュバリエルトツキヤンと同汽車。ジアーナー氏福岡にて負傷見舞いの為なり 十一頃福岡着新聞社訪問展覧会一周して栄屋へ落ち着く」「大潮会審査に出られず東京へ電報うつ」 [FT00512,059]

- 11月22日 「会場へ行く。斎田氏とはこ崎八幡見物。東光院等見物」 「会場へ来り、医師加藤氏夫婦一方亭に招待す。席画旅行の如し」  
[FT00512,059]
- 11月23日 「会場へ行く。大宰府見物、荒木氏の別荘、昔跡、観音寺宗物見物」 「夜記念館にて黒田田口三人で講演す」  
[FT00512,060]
- 11月24日 「会場。夜、一才亭にて新聞社の招待会あり」  
[FT00512,060]
- 11月25日 「午後三時福岡出発 午後十時迄の間下関にて火曜会の人々十人足らずの同好者の歓迎会あり 十時汽車にてかへる」  
[FT00512,061]
- 11月26日 福岡より東京へ帰京 「午後10時十五分東京駅着し」  
[FT00512,061]
- 11月28日 「福岡展終るの日」  
[FT00512,062]
- 11月29日 「日本画 虎の親子と鶴亀等かき」  
[FT00512,063]
- 12月 堀内君代と結婚する。[『試論』p.487]  
随筆集『腕一本』を刊行する。
- 12月1日 「自画像大阪より帰り居たり、秋田へ送る様にす、ホームライフの画油画かく古淵秋田に今夜出発両関らんまん等の画  
持ち行く。」「夜五時集い六時幸東にて□君十三回忌ありて馳走となり、十時散会す」  
[FT00512,064]
- 12月2日 「午前中岡登来り本の事相談。午前十時中村へ行きいち〈整理 蚤の市へ出して売る品を沢山見分け代価つける。〉」  
[FT00512,064]
- 12月5日 「岡登二時広瀬氏と来り原稿腕一本夜十時までかかる、十時より一時迄谷崎氏猫と庄造と女二人の装ていをかく」  
[FT00512,066]
- 12月6日 京都へ出立。「近藤初瀬川4時24分迎ひに来 木子と名古屋より同行大阪に帰るを下して二人物見物 京都ホテルに行  
く関沢フィルム来らず心配日出新聞にて落ち合い安心し 夕食木子初瀬川三人 日出七時より近藤と土屋氏等講演  
現代日本ノ封切試写会して大勢まねきて三百人許り」  
[FT00512,066]  
「京都市行き」  
[FT00509,020]
- 12月7日 京都より帰京 「朝九時東京駅着 近藤 土屋氏 清水少佐に別れて家に帰りて一度ねる」  
[FT00512,067]
- 12月8日 「いろく 腕一本のさしえかく。東邦印刷へ渡す」 「夜六時より浜町 浜の家にて文藝春秋社座談会あり、石黒、早川、上山、  
竹内（せいほう息）路可等」  
[FT00512,067]
- 12月10日 「朝八時半富士見町へ行きて登記第三番目のをすませて全部土地所有となる居」  
[FT00512,068]
- 12月11日 「朝報知に日本鬻の新夫人と言ふ題にて君代の事登記の事分家の事等出て大いに近処の話題となる。一日腕一本のさし  
えかき」 「秋田の弘君来り、十三日カンバス張りは東京より人行く筈との事」  
[FT00512,069]
- 12月12日 「今朝より腕一本のさしえかき午後四時半頃序文共皆終る」 「夜に入り油画6号かき甲州より見た富士山大阪たかしま  
やへ送る分かく」 「腕一本全部完成して渡す」  
[FT00512,069]
- 12月13日 「終日腕一本仕事す 原稿なほしす 時事へ原稿等書く」  
[FT00512,070]
- 12月14日 「腕一本原稿等なほす」  
[FT00512,070]
- 12月16日 「一日外出せず 朝美ノ国へ原稿出し午後時事への原稿かく一日かかる。」  
[FT00512,071]
- 12月17日 「讀賣へ原稿書く。」  
[FT00512,072]
- 12月18日 「中村へ古淵連れて行く。朝日の人来り。その後木子来り四国松山へ市長の絵たのまれ色紙八枚持ち行く。」「文房堂へ  
行き額縁三つ買って帰り木子へ招猫マンネッケンピスの画かいて渡し」  
[FT00512,072]
- 12月19日 「油画二枚六枚と小号フランス景松山市長と蕨氏への分かく」 「夜遅く迄仕事し 田沢田軒へ観光年鑑の表紙と讀賣へ  
原稿送り出す」  
[FT00512,073]
- 12月20日 「木子氏の処へ行く松山市長の油絵見せて」 「古淵と日本画 鷹始め椿等かく」  
[FT00512,073]
- 12月21日 「終日本庄の斉藤彌太郎氏肖像かく」 「腕一本の本出来大いによく満足す」  
[FT00512,074]
- 12月22日 「肖像斉藤（本庄）出来、ニスをぬる」 「国際映画パンフレット出来満足す」  
[FT00512,074]  
「帝国劇場国際映画発表評判まち〈なり」  
[FT00509,020]
- 12月23日 「色紙沢山沢山かく 秋田へ巻物二本かく」  
[FT00512,075]
- 12月24日 「午前岡登氏大阪の本山近吾氏連れて来て肖像鉛筆でかいてやり色紙六七枚かき」 「一人家にて朝日に原稿と画四枚許  
り又現代へ扉えかく画稿かく」 「東京朝日へ原稿送ル（大阪へ） 現代へ速達送ル」  
[FT00512,075]
- 12月25日 「中村へ行き色紙七十枚届け等しいろく 面会の人来ル」 「夜ホームライフの表紙 現代扉え、かく送ル 速達」  
[FT00512,076]
- 12月26日 「昼 日々へホームライフ二月号表紙送り」 「日々へ新春随筆送り、ホームライフ表紙届ける」  
[FT00512,076]
- 12月27日 「日々へ国際映画の酷評への反ばく文と三田文学へ夜話晩冬を速達で送る」 「色紙四十枚許りと初瀬川への半切二枚  
巢籠り魚色紙三枚等かく」  
[FT00512,077]
- 12月31日 「ホームライフ写真二人のことたのむ ことわる。三月にして貰ふ。」  
[FT00512,079]

## 1937 (昭和12) 年 51歳

- 1月5日 「白カンバス十枚以上用意始む大に仕事する事とす、個展其他へ出品の画沢山かく事、」 [FT00513.007]
- 1月6日 「印をほって見る、犬、四つの手をなほす、上々となり」「夜白カンバスを沢山作り画をかく用意し又印をほり鶏血石支那の石巴里で戸田海笛君に貰つた記念品にほる。石の内が一番高価なものと言ふよくほれたり。」 [FT00513.007]
- 1月7日 「本子氏来り又一枚メキシコの画持ち行かれて70渡さる」 [FT00513.008]
- 1月8日 「油画六枚布張りて白ぬり仕度す二時半となる、三時大涛会連中迎に来て二科会番衆町へ行き伊東屋の展覧会下見野間と二人でしてやり紙にいろいろ画をかいてやる」 [FT00513.008]
- 1月10日 「古淵箱根より帰り福住壁画描いて貰たしとの事仕事は決定す、中嶋ロンモ関沢氏と来り改革の話ありて断る。」「表具屋来り、秋田たかの図古淵たのむ」 [FT00513.009]
- 1月11日 「昼より日本画梅に鶯等沢山かく四枚計り夜に入りて古淵来る又えかく」「松村氏来り、十六日富山行きに決す。」 [FT00513.010]
- 1月12日 「画黄紙其他四枚計りへかき松山市長へ送る」「広島辰巳の娘現代日本娘廿一にて死去したりと八木沼より関沢へ古淵へ伝はり夕方都新聞記者来りてインタビューして行く」 [FT00513.010]
- 1月13日 「中村訪問後横濱領事かんに行きフランクビル氏に会いて用事すませて往後自動車にて帰る一時、午後日々への原稿八枚かく位」 [FT00513.011]
- 1月20日 「午後日々の高原氏来りて高島屋へ行き巴里行きの日本品の批評をし日々へ行きて政治部長重役に会い明日の打ち合せして帰る。日高氏来り伊東屋に君代と二人して行き濤友会の陳列野間と二人の指導にてすませ十一時帰る。」 [FT00513.012]
- 1月21日 「門倉来り名古屋の松坂屋の客船の画の事相談 十二時日々より議会へ行く、池部釣氏に連れられて一時より五時迄記者席にてスケッチする。首相広田、有田外馬場蔵相演説又櫛内と濱田の答弁質問等六時陸軍寺内と濱田大議論となる。六時一八時日々で絵と文かき与えて帰り」「客船の画かく」 [FT00513.013]
- 「濤友会第1回展」東京、銀座伊東屋 1月21日～25日《甲州富嶽》
- 1月22日 「終日日本画かく古淵花買はせばけなの花椿等かく夜迄に十枚かく半切」「議会二日間停会となり今日行かずにすむ、古淵新宿の木版やへ客船たのみ行き間に合わせてくれる由安心」 [FT00513.013]
- 1月23日 「朝より又日本画かく一日かく昨日より十八本出来上ル」「愈々内閣総辞職瓦解し議会も停会其の儘続き日々の仕事で休んで行かずにすむ事となる。」 [FT00513.014]
- 1月24日 「井上陵華来り朝鮮の画商明日相談に来るとの事の可否ききに来る、野間仁根序文日動画廊へ渡す」 [FT00513.014]
- 1月25日 「猫大もの一枚かくだけ」「門倉夫婦来り客船の木版渡し名古屋へ送る由版木10円一枚5銭と二銭五ノ二種あれど五銭の方」 [FT00513.015]
- 1月26日 「十一時中村へ行き徳田ビルの夫人来りメキシコの画百円にて売ったり、婦人の友社の記者に会い博覧会の記事たのまれて帰り十枚計り猫の画のみかきて夕方となり古淵来る。」「高橋濤友会の画届けくれる。」 [FT00513.015]
- 1月27日 「中村くる迄二枚画かく日本画。鳥等。中村夫婦三時半訪問してくれ初訪問屏風其他日本画見せたりして五時お岩さまへ参詣して四谷塩町に送り」 [FT00513.016]
- 1月28日 「本屋平野氏来りサインしてやる。アトリエ社へ素画大島の女文芸渡す 今朝とりに来る、日々の高原氏来て80円議会6円高島屋批評代くれる。京都の画商藤井氏来り日本画三本渡す150円二月末日支払の事、原稿日々新芸婦人へ私の好きな女送る、文芸、半夏、朝日へ永井荷風さしえ断つてやる」 [FT00513.016]
- 1月29日 「午前中より午後迄日本画かく、木蓮とボケ等かき古淵古墨をくれ半切一枚やる」「広せ、本屋に渡す本十冊、許り腕一本ぜいたく本さしえ」「二科へ行きていろいろ高島や東京大阪相談あり大勢集まる正宗氏だけ来らず」 [FT00513.017]
- 1月31日 「S. P. A会員の画批評会番衆町でする事野間と二人会いいろいろ画見る。皆まづし、山本、桂、二人だけがよく、一時野間と日動によりて序文出来野間展明日より、一時四十分一人汽車にて小田原へ三時廿分着二等さばずし等たべて自動車塔沢の福住に行き古淵に会い主人に会いて湯に入り又自動車にて新築の別荘見物す、洋館に油絵の事注文ある筈」「文房堂沢山カンバス十一枚届ケテクレル。依頼す、油画出品沢山かく筈、三越へ一枚出品画かす美術雑誌社の計画なり。」 [FT00513.018]
- 2月1日 「表具屋へ渡し うら打ち33枚半切、6枚小茶がけ 1枚大、仕事して夕方日動画廊へ行く野間仁根展、東郷熊谷海老原等とトンカツ食べて野間展へ行き八時半帰ル」 [FT00513.019]
- 2月2日 「東京朝日展大阪美術館二萬号の評議員たのまれる」「東都オリンピック会に理事会に出席、東郷安井中村研一、はざま氏等出席十時散会し帰る、古淵留守中35円秋田□美人の画の価持ちくれ、二枚木蓮ボケの花、かかり表装出来持ち行く。」 [FT00513.019]
- 2月3日 「日日へホームライフの表紙門倉氏に届けて貰い、婦人の友社へ巴里博覧会の写真原稿送り、午後ハ下六番町の新築の図かくので一日かゝる。」 [FT00513.020]



- 2月5日 「メキシコ北川君来り昼すし二人は朝食して会談し昼後日動に行き北川を野間柳川君に紹介したり」「国際より原稿注文さいそく婦人の友同じ。朝日より明治大正昭和の大洋議員会の案内」 [FT00513,021]
- 2月6日 「午前中より日本画かく、大小、かく」 [FT00513,021]
- 2月7日 「石田画学生来りて絵見せて行く 十日留置処入れられてた等と言ふ。古淵特急の魚の画見せる、うまくなし。」 [FT00513,022]
- 2月8日 「今日は又半切と連落ち等沢山かく」「京都栗山より三十枚画会の相談持ち来る野間の油画鯉を三十円日動より届けられる」 [FT00513,022]
- 2月9日 「朝蟹一枚半切かく、油画にて花二枚バラ、赤き花六号にかく」「表具屋飛だ高山の祭の話等して今日十八本かりびょうそう出来る」 [FT00513,023]
- 2月10日 「朝京城の画商三島氏広嶋より来り四月十五日頃朝鮮行き決定す、藤氏外三人来ル、屏風等見セル、午後二時中村へ行き二人帰り来り人形の園田夫人来り木子さんへの人形批評して改良させる事とし、桶持ちて帰宅し日本画一枚かいて帝国ホテルへ大阪朝日明治大正昭和展覧会評議員の会日本西洋彫刻其他大家集まり」 [FT00513,023]
- 2月11日 「夕方大島の女六号油画かく」 [FT00513,024]
- 2月12日 「午前中こたつに入りて画題考えて居、午後まい玉を十号にかき上げる。」「夜友信への猫等かき上げて仕舞う。」 [FT00513,024]
- 2月13日 「朝より日本画沢山かく油画休む」 [FT00513,025]
- 2月14日 「朝九時半鶴田君来りて秋田行きの事として廿日にのぼす」「文房堂にて猫の画の額たのみて」「山本へS. P. A. 二枚 紀元節と大島の女出品 ラテン画廊の分渡す」 [FT00513,025]
- 2月15日 「一時四十分の汽車で箱根福住へ行く事となる、(懸物半切茶がけ沢山持ち行く。斉藤斐章氏来りて画祝賀会のたのみて帰る留守中)「福住に入る主人碁打ちして待たせ余りよくない室に通し後画見せて六本のけて愈々三本を100にと言ひ余り失礼なり後の仕事あるから等と気に喰はず売る事やめて」 [FT00513,026]
- 2月16日 「福住にて眼さむ山田来りとうとうだきょうしてくれ、主人あやまるとて200で三本老梅雪鷺と犬のけんか、蛙飛び込む三本ゆづりて」「日本画等かく。夜画会序文たのむ人野間友人来る。」 [FT00513,026]
- 2月17日 「表装や来りて半切十本と秋田へ三本本表装出来」 [FT00513,027]
- 2月18日 「桜島の油画かく」「静岡北川の家族より茶送り来り礼状かく、斉藤斐章氏へ色紙一枚巧藝社へも一枚かく夜国際映画への原稿かく七枚計り出来る」 [FT00513,027]
- 2月19日 「京城の画商来り 午前中に裸婦一枚かく 朝日新聞さしえ四枚たのむ、深川木場へスケッチにとび左門町の□やもかく」「表具師十二本届くれてこれで68本全部整ふ」「大阪高島屋へ裸婦花、松阪やへまい玉花、さくらじま等の用意もす、福岡西人社ホスターも出来る、」 [FT00513,028]
- 2月20日 「秋田行に決定し鶴田と上野に九時十分発の汽車に落ち合す」 [FT00513,028]
- 2月21日 「朝九時より仕事にかかる事として行く、画を大工大勢よんでたてに置かせ足の台等作らせて昼電気なく それでも馬方と馬人物三四人かき出し つるたそりをかき出させる」 [FT00513,029]
- 2月22日 「竿燈のデッサン 太鼓とたたく人 二組 竿を腰かたに置く人等かく」 [FT00513,029]
- 2月23日 「竿燈かく 老母 鮭の辺かく」 [FT00513,030]
- 2月24日 「竿燈 提灯等」 [FT00513,030]
- 2月25日 「雪室の辺」 [FT00513,031]
- 2月26日 「犬等かく」 [FT00513,031]
- 2月27日 「朝梵天を見る、雨ふらず十一時三吉神社太平山、夜デッサン梵天かく」 [FT00513,032]
- 2月28日 「梵天かく大がかりなり」 [FT00531, 032]
- 3月 藤田が監督した映画「風俗日本」(5巻)が完成するが、一部から他国の誤解を生む、国辱的だという声があがった。国際映画協会が海外に向け日本を紹介する目的でつくったもので、鈴木重吉監督の「躍進日本」(5巻)とあわせて、総題が「現代日本」と呼ばれていた作品であった。[『アトリエ』14-5, pp.62-63]
- 3月1日 「馬二匹等仕上げ 右端の人物等盛んにかく」 [FT00513,033]
- 3月2日 「鎮守祭の下図で 後すがたの娘小児たく等面白く出来る」 [FT00513,033]
- 3月3日 「秋田鎮守祭のところかき芸者をどりはやし見物人小児のはなかんでやるばあさん母さん等かく大に進捗して今日帰京ものぼしてもう三四日で仕上げる事とす」「だがし等たくさんかいて画く事とす」 [FT00513,034]
- 3月4日 「仕事」 [FT00513,034]
- 3月5日 「仕事」 [FT00513,034]
- 「梅原龍三郎・安井曾太郎・藤田嗣治三人展」大阪松坂屋 3月5日～15日
- 3月6日 「鎮守祭の方を大に一人でかく」 [FT00513,035]
- 3月7日 「一体に地面を仕上ぐ 雪等」 [FT00513,036]

- 3月8日 「朝十時仕事始めに行き 多少、さしこ、颯、お面をとり去る等仕事」[為秋田 平野政吉 嗣治 自二月廿一日 至三月八日 時間百七十四時間完成 のサイン大壁画にして 秋田犬貫いて夕方五時廿分夜行 鶴田と三人下段寝台にて帰京する事となり] [FT00513,036]
- 3月9日 「朝七時五十分東京へ着」 [FT00513,037]
- 3月10日 「二科会事務処に紀元節早多花嫁、大島の娘三枚大阪高島や二科展の持送ル」 [FT00513,037]
- 3月13日 「夜に入りて八号等かく、フランス、ノルマンデー、の風景なり」 [FT00513,039]
- 3月14日 「朝鮮展の仕事する事とす」[秋田の娘油画4号8号二枚描く、朝鮮行き] [FT00513,039]
- 3月15日 「今日はフランス港の景色等一枚かき上げる。」「松坂屋番頭来り五十五本速筆半切茶がけ渡してやる、都新聞記者来りて壁画の事きいて帰る。」 [FT00513,040]
- 3月16日 「今朝いろく昨日迄の作品をなほして今日質屋八号、佐渡・松川十号一日家に居て仕上げる」 [FT00513,040]
- 3月17日 「佐渡の小木港の雨をかく十二号」[夕方迄かかり一枚仕上げ洋行すると言う帝美出の若人来る。夜いろく又名古屋行きを整理して二枚夜具の□□に並べて眺めるねる」 [FT00513,041]
- 3月18日 「ニス等朝油絵ぬり」[名古屋行き九枚画出来て一安心す]「支那人の子(北平)四号かく」 [FT00513,041]
- 3月19日 「モンマルトルと巴里城外風景二枚かく京城の仕事にかかる」[二枚かき上げる」 [FT00513,042]
- 3月20日 「美人春の明眸かく、巴里ノ画二枚出来ル、京城への見本を整理し明日送り出すこととす」 [FT00513,043]
- 3月21日 「油画三、日本画三、素描一、京城へ送りし」[名古屋京城よりカタログ会の文面等来ル、皆倍額ナリ」 [FT00513,043]
- 3月22日 「美記者大空氏来り一枚デッサンかいてやる」[猫素描三枚女二人、かく]「加藤君夕方来り名古屋博覧会出品の事約束25日朝として直ちに15P、かき出す」 [FT00513,043]
- 3月23日 「二時十五分名古屋着、松坂屋安藤古淵等迎いに来り個展行く、日本画六十洋画十枚大勢見物人あり十九枚売れて居る、盛会日本画の人も皆驚いて帰りしとの事、愛知に連れられて博覧会一廻りす」 [FT00513,044]  
「藤田嗣治氏日本画洋画展覧会」名古屋松坂屋 3月23日～27日
- 3月24日 「朝六時十二分名古屋より帰京」[十五号名古屋ボン太平洋展の画かき] [FT00513,044]
- 3月25日 「家へ帰り又日本画かく」 [FT00513,045]
- 3月26日 「村上氏来り盛岡加藤氏ノ表紙の事」 [FT00513,045]
- 3月27日 「日本画かく、半切小品等 村上氏来り加藤健表紙渡す、ホームライフ表紙出来上ル、大野玉枝さんの序文かく。」 [FT00513,046]
- 3月29日 「金沢初等工業ノ松本和夫氏欧州へ行くとして紹介状持ち様子ききに來ル 甲州の富士かき又房州太海の舟のり場かき出し」 [FT00513,047]
- 3月30日 「向島の水神の風景出来上ル」[二科の出品者岡山の人序文来ル]「ホームライフの表紙届けに二人して日々へ行く」[太海の画かき出す」 [FT00513,047]
- 3月31日 「太海かき出す10号、古淵名古屋より帰京」[藤岡来る 美術記者日本的との事ききに來る]「北川木版一冊送り来ル、神奈川名古屋の画商10月大阪展の事に関して古淵友人 栗まんぢゅう 王泉堂残十枚 先日廿五枚かいたり都合三十五枚」 [FT00513,048]
- 4月1日 「朝大阪後藤氏来り大阪松坂屋バラとさくら等うれたり 安井梅原と私二枚つつ売れたの事」 [FT00513,049]
- 4月2日 「桜アヤメ等三枚日本画かき」[白木屋にて欧亜の古物の批評してから名古屋出品の残(唐紙)等買い]「日々横光氏の原稿四回分旅愁届く」 [FT00513,049]
- 4月3日 「朝高橋来りて朝鮮行きの画送り出す事として油十三枚日本画廿二本渡す」 [FT00513,050]
- 4月5日 「女画学生来る古淵も来り(両関の画かもめ二ツ渡す支払すみの分)」[高原君横光氏の原稿かへし一日30円でする事約束とす さしえ」 [FT00513,051]
- 4月6日 「早川氏来り日本画三本たのまれる。二時英と三人花柳おすみさん処へ行き西洋間の処の仕事たのまれて」[高島屋より、裸婦赤花かへしてくれる」 [FT00513,051]
- 4月7日 「大阪松坂屋五月末展の事黒川氏と相談す、半切其他廿本出来て来ル、朝日のさしえ一枚かく」 [FT00513,052]
- 4月8日 「朝日さしえかく第二回分」 [FT00513,052]
- 4月9日 「今朝第二回日々さしえ渡し午後又カット二ツ渡す、皆出来 一日、日々のさしえかき四枚第三、四、五、六と出来る」[吉田謙吉タカシマヤ」 [FT00513,053]
- 4月10日 「京城へ油絵 点水彩素描 点送り出し、二科へ戻りの油画番衆町にてとる、日動画廊へ屏風返却」[夜鯰と椿と猫半切かき」 [FT00513,053]
- 4月11日 「黒川氏大阪より帰りいろく計画たてて展の事先づ第一に五月廿五日より大阪松坂屋展する事」 [FT00513,054]
- 4月12日 「黒川氏鯰と椿猫渡し金貰ふ」 [FT00513,054]
- 4月13日 「藤岡昇来り、金太郎の画渡してやる」[外山氏来り国際映画の事にて来り大に味方となる明日東亜商事にて会の由、六時半に銀座なごやにて佐分賞の決定会藤島梅原安井長谷川氏、外小寺宮田益田伊原等青山義雄に千円賞金渡す事決



- 定となる。十一時半帰り朝日さしえ一枚かく十号」 FT00513,055
- 4月14日 ~23日 「京城展」 FT00509,021
- 4月14日 「Lilas' 連中五六人来り画見てやり黒川氏来り色紙八枚渡し、吉田謙吉氏へ海水浴着沢山渡し200貫い、大つき氏(茶子)礼に来る、今日又朝日さしえ二枚十一、十二かく」 「三時富士一等にて京城行き」 FT00513,055
- 4月15日 下関~釜山經由で朝鮮(京城)行き。 FT00513,056
- 4月16日 「朝三時廿五分京城着」「十一時外出二人三嶋朝鮮新聞京城日報其他坂井藤井他大勢十個処計り訪問挨拶して三中井も見て帰る。」「八時三中井陳列に行く」 FT00513,056
- 4月17日 「展覧会三中井始めての日、朝日々へ画一枚かいて送るとりに三時に来ル。昼一人個展へ行く見物大勢墨田川八号一枚売れただけ」 FT00513,057  
「主線美術会小品展」東京青樹社 4月17日~21日《私の画室》油彩1点  
「藤田嗣治展」ソウル、京城三中井 4月17日~21日
- 4月18日 「三中井主人一枚小品一等花嫁を買ふ」 FT00513,057
- 4月19日 「午前三中嶋氏と大毎鴨居氏訪問す、午後金君と神保氏方浅川へカンバス20号額等買いに行き鮮人の人への李聖熙氏よりの分注文(干)を始める用意し日本紙も買いて帰り」「大毎のさしえ二枚かく」「三嶋氏来りて猫素描一枚売れたりととの事」 FT00513,058
- 4月20日 「大毎に原稿二枚(画やる)」「廿号の画フランス風景かき出す」「敦子来り、切符たのミ明後日京城発帰京の事に決す」 FT00513,058
- 4月21日 「午前中油絵かく」「午後四時金恵永さんの処へ李光洙さんの案内で行き高麗焼を見た」 FT00513,059
- 4月22日 「愈々帰京の日来る、油絵廿号出来色紙沢山かく」 FT00513,159
- 4月23日 「朝七時下関着」 FT00513,060
- 4月24日 「十時十五分二人東京へ入京す」「高原氏来り横光氏満足して大に楽しみにしてるとの事、現代日本国辱にあらずとの決議成る」 FT00513,060
- 4月25日 「一枚大毎さしえかく十七回」 FT00513,061  
「明治・大正・昭和三聖代名作展」大阪市立美術館 4月25日~5月25日
- 4月26日 「午前一枚大毎へさしえかく十八回、(今夜は東京十一大阪十二)」 FT00513,061
- 4月27日 「大毎へ一枚画届けてやる。ホームライフ表紙かく、君代ポーズ」 FT00513,062
- 4月28日 「夜東京社コドモシンジンさしえかく」 FT00513,062
- 4月29日 「今日日本画横物なまず蛙、飛魚つばめ等かきさくら朝鮮でかいたものと表具やにやる」「小供の画ゲン太コツ吉君喧嘩の画大小二枚かく」 FT00513,063
- 4月30日 「下画等沢山かく」「東日14回大毎15回横光氏さしえ出す」 FT00513,063
- 5月1日 「日本画一枚かく 創元社100円持ち来り石崎さんの本にさしえ合はずとて半金貰ふ。」「ホームライフ表紙原稿渡し次号風景今回日本娘、コドモノ挿画東京社(50)の分渡し」 FT00513,064
- 5月2日 「日本画かく。女二科生徒一人来る、雨の中、」「大毎へ一枚さしえ渡ル、又夜一枚かく画用紙として見る。」 FT00513,064
- 5月3日 「日本画沢山かく花歌なり。」 FT00513,065
- 5月4日 「小学校先生林氏画見せに来る、日々にさしえ一枚かく」 FT00513,065
- 5月5日 「六時より十時迄二科小会あり在五団体の会より退会の事相談し、野間熊谷田口三人来りて十二時迄遊んで行く、大阪二科展の作品代二百五十円(これより割り引く)が一番会員中高価100円の正宗他は70.6030.等に本の美術界のレベルの低いのに驚く。」 FT00513,066
- 5月6日 「日々さしえかく」「落合朗風氏の追悼文かく。」 FT00513,066
- 5月7日 「夜早川氏持参のれんげ草等かきて半切横物一枚づつかき」 FT00513,067
- 5月8日 「コロンピヤノ学生日本画のけいこ第一をして一時半計りいろく教える」「日本画麦早川氏持参をかき又チュリップ等半折二枚かく。」「蓮華草、麦、チュリップ等の画扇面かきて五枚色紙十枚渡し大阪へ行く。神戸大阪の仕事益々忙しくなる筈。朝鮮猫一枚なまず売れしとの事。三嶋広島より手紙くる。」 FT00513,067
- 5月9日 「東日にさしえ二枚渡すの日、夜ラジオきき日本画大三嶋二枚かく」 FT00513,068
- 5月10日 「日本画猫三枚かき」「夜猫一枚かく日本画猫と蜂の巣」 FT00513,068
- 5月11日 「戌の日 建て前の吉日」 FT00512,021  
「大安の日 建前の日」「東京麴町に地処と新築を持つ嬉しさ一日早し」「夜二科会の茶会十二人あり行き十一時前帰り東郷栗原宮本等に久し振りで会ふ」 FT00513,069
- 5月12日 「昼高島屋座談会ニユウグランド海水浴の着物古川緑波に会ふ。東郷小松其他」「東日で七枚かいて七時に渡し又夜二枚さしえかく」 FT00513,069

- 5月13日 「石黒敬七安藤徳器氏放送局ノ人來ル、審美書院ノ人藝術公論勅便河原慶氏來り写真とる事ことわる」「夜東日にさしえかく卅回既に達す。名古屋博覧会の15号の画帰って来る」 [FT00513.070]
- 5月14日 「三島より手紙日本画紛失の分五本荷物の中より出て来たりとの事安心す、□落一本素描うれたりとの事よろし。」 [FT00513.070]
- 5月15日 「午前一枚東日へさしえ卅一回のをかき」 [FT00513.071]
- 5月16日 「日動長谷川來りいろくうる」「東日卅二回のさしえかく」 [FT00513.071]
- 5月17日 「朝椿と猫等かく三枚計り、中村兄上より柳沢健氏の読売記事 田口氏の魁新聞絶賞壁画等喜んでくる」「卅三回さしえかく」 [FT00513.072]
- 「パリ会第1回展」日動画廊 5月17日～20日
- 5月18日 「正午迄に猫の画二枚かき又鳥の松等かき七枚計り尼崎の早川に送ル」 [FT00513.072]
- 5月20日 「夕方帰り、油画朝鮮に送ル猫八号かく」「夜日本画猫一枚かく」「都新聞社の人來りおしやれページ文化部大沢寛之インタビューして行く、写真とられる」 [FT00513.073]
- 5月21日 「昨夜朝日の遠山君來りうち合わせす」「朝八号猫白ぬりキャンパスに仕上げ油かく」「二時到着の筈の神風遅れて三時四十何分羽田着川端龍子写生に行き自分は銀座行進を朝日からのまれ四時に行き六時近く迄雨にぬれて立って三越前より朝日方向むきてスケッチし一度家に帰りペンにてかきて又八時に届ける」 [FT00513.074]
- 5月23日 「夜東日さしえ二枚かく」 [FT00513.075]
- 5月24日 「日本画絹本横物三味、(戯猫螢草と蜂)(雨と二ツの蛙)(紅紫と蜂の巣かく)(半折白猫黒班鼻さきぼけの花)大阪に明日持ち行くものラヂオ終る迄に仕上げて」 [FT00513.075]
- 5月25日 「朝九時蒸にて大阪行き松崎送りに來り一二等満員にて三等木下足立氏等と會ふ 名古屋より補欠車より木下君の処へうつり村井氏(画家)等と話し五時大阪着松坂屋にて日本画個展を見る大によろし十点以上売れて居絹本持って行ったの直ぐ売れ」 [FT00513.076]
- 「大阪松坂屋展」 [FT00509.021]
- 「藤田嗣治日本画個展」大阪松坂屋 5月25日～30日
- 5月26日 「朝八時東京着」 [FT00513.076]
- 5月27日 「東日にさしえ一枚卅九回渡す」「昨日装幀に就ての原稿三枚朝日に送る」 [FT00513.077]
- 5月28日 「原稿サンデー毎日にかく」 [FT00513.077]
- 5月29日 「両国野間熊谷氏其他皆で十一時半汽車二時佐原へ着、小雨フリ出ス船にて牛堀へ行く水門をぬけ水郷美し、ノバラアヤメ咲く、牛堀千歳かん雨中釣して一人もつらず 鯉ナマズ写生野間墨ぬりて魚の形とりアンマして皆で遊んで二時ねる。仕事はせずスケッチ等す」 [FT00513.078]
- 5月30日 牛堀千歳やにて二枚かく十一時半船にて潮来へ出であやめ館」「小船にて十二橋をぬけて佐原に出で川の土手で三枚かく」「両国へ十時十五分前着帰宅」 [FT00513.078]
- 5月31日 「東日へさしえかく、四十二回又届き午後一枚四十三回をかく、日動へ四時半行き金300貫い約東通り」「午後かきかけのホームライフの表紙仕上ぐ」「ホームライフ原稿かく」 [FT00513.079]
- 6月1日 「油画を潮来のをいぢりして、夜文房堂八号額縁買い、水彩油絵ニュートン細筆かいて帰ル」 [FT00513.080]
- 6月2日 「四十五の東日さしえかき今日四十四と共に二枚渡す」「八号猫朝鮮金恵礼氏に高橋たのむで送り出す」「昼後又油画かき夕方一度普請場へ行く」 [FT00513.080]
- 6月3日 「昼前手紙朝鮮三嶋へ返事電報この上またれぬと打つ」「午後油画かく」「四十八回と言ふさしえかく 四十六の誤らしい」「八時帝国ホテルコロンビアノBorda氏夫婦とAriza氏と四人ドイツレストランにて会食」 [FT00513.081]
- 6月4日 「四十七回のさしえかく」「コドモノ本50小切手貰フ、又来月号たのまれる」「早川氏午前十一時來り一時迄いろく大阪松坂屋のせいさんして875、売れ、225早川氏買い近日1100渡しくれとの事、三嶋氏775日本画11本売れた値を知らせてくれる其他油画素描代支払話」 [FT00513.081]
- 6月5日 「二時半閑仁宮様邸に招待日佛協会総会宮殿下拝掲あり写真大勢写す、茶葉、西洋菓子サンドウイツチ、赤ブドーボンチ、シヤンペン、煙草、菊花章入り、ドレ氏自ら進んで私に握手する大名譽とて大に喜びくれ」「ミラチケー氏とも握手喜んでくれジルマルシエリスとも會ふ再会を約束す」「朝鮮より日本画皆届く、無事、川路柳虹宛二本半折蟹梅送ル、サンデー毎日15円お岩様横町原稿代來ル」 [FT00513.082]
- 6月6日 「早川氏へ日本画沢山渡す」 [FT00513.082]
- 6月7日 「東郷西園寺閣下ノ写真持ち來り雨とナル早川來りて明朗に行く屏風出品、落合夫人井上古淵等に會ふ」「野間清治氏に初めて會ふ、戸を開けてくれる、えらい人はけんそんなり」「早川氏大阪へ立つ趣味の表紙渡す」 [FT00513.083]
- 「落合朗風追慕朗明美術試作展」明朗美術会、東京、上野松坂屋 6月7日～13日《喧啄》《角力》
- 6月8日 「東日さしえ四十八回コンコルド広場かく」「小兒輪をくんで遊ぶ、ノ一号かき潮来ノ画皆補筆す」 [FT00513.083]
- 6月9日 「三嶋氏より天板一枚來りかいて送り出す、読売隨筆送りくれとの事昨夜都からもたのまれる、東日へ四十九回送ル」

- 6月10日 「色紙廿枚余かき東日50回さしえかき九時大連より大谷光瑞さんの執事左浅次郎さんと言ふ来り、林本源さんの金子10ミルmilleでパラバンと九篠武子十四才のちご姿の肖像廿五号かいて貰いたしとの御依頼、大谷氏稲畑氏の処にて私の猫見て感心され進歩と創作とハ異なり藤田のハ創作との事言々大乘にかかれるとの事、松坂屋の猫を見る事すすめ、中村へ行き写真帖シユブー、プラスレー、バーグ其他スーブニールを集めドウサン等横濱ブランクゼルへ届け巴里へ送ルてとなりこれにて遺族へ遺産渡しすミとなる」「一時又左来り、大臣大谷氏二十三日頃見てくれるとの事屏風けんこうにてすめばよしと思ふ一週間の後前金にてお願したしとの事」 [FT00513,084]
- 6月11日 「十一日より川路柳虹の西洋画家日本画展松坂やに十五日迄開催となる」「都新聞へ原稿かく三枚」 [FT00513,085]
- 6月12日 「今日六枚猫犬秋田のはなかむ男の子等六枚油絵下かき白地ノカンバスにかき終ル」「読売へ時代魅力出来明日渡す事」 [FT00513,085]
- 6月13日 「日動ポスター東日51回さしえかき」「上野松坂屋へ行く屏風返却の事たのみ明朗展今日終る。日動へポスター封筒の小スケッチ届け」 [FT00513,086]
- 6月14日 「一時半明朗より屏風帰りて下に置き四時京城より又油絵四箱着荷して開きアラタめる 秋田の雪の時籠の図一号にかく、日動の画出来て安心す」 [FT00513,086]
- 6月15日 「十一時秋田の若い画家来り」「日吉神社祭四谷麴町十三丁目絵行灯美し」 [FT00513,087]
- 6月16日 「午前中色紙三十二枚昨夜より描き上げ中村へ明日届く事とす」 [FT00513,087]
- 6月17日 「東日へさしえかく」「夜国民美術へさしえかく」 [FT00513,088]
- 6月18日 「四時より六時迄国際振興会写真批評会に行く」「夜日動画とりに来り渡す案内状カタログ皆出来たり、川路柳紅氏松坂や展にて蟹100にて売れしと通知」 [FT00513,088]
- 6月19日 「アリザ氏来り一枚マグネリヤをかく、油絵猫仕上げ五枚昼前終ル昼後東日さしえかき個展案内状仕上げする。」「今朝又六枚日動へ渡し十八枚渡しすミ」 [FT00513,089]
- 6月22日 「昼三時日動へ行く個展開く。批評家曰く何んでもない場処を画とするのには藤田だから出来るのだと言つた相だ」 [FT00513,090]
- 「藤田嗣治第四回近作展」東京、日動画廊 6月22日～26日 《佐渡小木港の雨》《紅花》等油彩26点
- 6月24日 「原稿国民藝術サンデー毎日、又婦人公論等かきて大にすませる、日々に原稿画料たのむ」 [FT00513,091]
- 6月25日 「仕事さしえ等婦人公論へかき」「日動又二枚売れ家に五時帰る、東日高原より金子届き月末松崎渡しの金全部で来て大安心す」 [FT00513,092]
- 6月26日 「朝秋田本荘の古瀬氏に尺五の猫かき齊藤彌太郎氏に蛙かいて渡す様にす 婦人公論に原稿送り東日に56回分出来」「日動へ行く又二枚売れ皆にて十一枚うれる」「日動割合成功す」 [FT00513,092]
- 6月27日 「大阪名古屋の箱書き沢山到来し皆かく」 [FT00513,093]
- 6月28日 「秋田の画家山本直武氏来る」 [FT00513,093]
- 7月1日 「東京会館岡田藤島文化勲章祝賀会に行く事にす」 [FT00513,095]
- 7月2日 「午前中婦人公論に私の顔と言ふ文かきて渡す」 [FT00513,095]
- 7月5日 「ようやく画かく気となり朝顔秋草等3鉢20銭25銭買ったもので絹本かき猫と飛魚かいて神戸に至急で飛行便で送る、東日に一枚かくさしえ」 [FT00513,097]
- 7月6日 「東日に一枚かくさしえ」「夜五時半二科会十時半迄かかりて決議其他」 [FT00513,097]
- 「藤田嗣治新作日本画展」神戸大丸 7月6日～11日
- 7月8日 「朝東日さしえ一枚午後一枚かく六十一六十二回なり」「文藝春秋下島連に原稿女出来ぬと断る」 [FT00513,098]
- 7月10日 「十一時迄アリザ氏最後のけいこに来り指画教える」「十二時日動へ行く猫二枚素描油画猫売れたり」と [FT00513,099]
- 7月12日 「神戸よりの手紙不成功早川一枚売れずとの事手紙出し直ぐ椿に猫二枚猫横物かいて午後二時半送り出す」 [FT00513,100]
- 7月13日 「今日は午前中君代と二人築地方面に行き門構への家スケッチして日動よりて帰宅し門の図かきて甚作に渡し見つもりさせる事となり下六に行く」 [FT00513,101]
- 7月14日 「夜二科会あり、番衆町寺田氏来りアメリカの画と交換展の事相談あり、中川野間栗原東郷皆来ル」 [FT00513,101]
- 7月15日 「美術雑誌にただの画と文渡してやる」 [FT00513,104]
- 7月17日 「さしえ東日に二枚かく」 [FT00513,105]
- 7月21日 「猫、日本画三枚かく」 [FT00513,107]
- 7月22日 「早川氏来りいろいろ帳面整理し日動ノ油画送りて等たのむ」「英了氏ビクターのさしえ九月たのむとの事」 [FT00513,107]
- 7月23日 「日動六枚朝鮮よりの五枚大阪三角堂に送り出す高橋」 [FT00513,108]

- 7月24日 「広川氏来り又鈴木画伯来り 献画展の事で賛成す」 [FT00513,108]
- 7月26日 「二科へ去年出した花谷時子さん画持ち来り、又北川君画もつて上京大トアールメキシコを見せてくれる野間さん処へ行く」 [FT00513,109]
- 7月27日 「朝花谷時子画とりに来る二科出品」 [FT00513,110]
- 8月2日 「愈々明日移転と決定」 [FT00513,113]
- 8月3日 麴町の新居に転居。「昼迄に移転を終り午後かたづけ 大混乱」 [FT00513,114]
- 8月9日 「モダン日本十月号へ 女体解剖原稿送り 又コンマルシヤルオブジヤパン表紙送り 夕方読売へ随筆三枚送り、松坂屋の画展に秋田の女ノ子の油絵四号を寄附す」 [FT00513,117]
- 8月10日 「午後一時-三時 二科研究処に行きて夏期講習会を見てやつて帰る。」「午後文藝春秋の原稿夕方までに十枚かく」 [FT00413, 117]
- 8月11日 「五時より文藝春秋の原稿十枚よりかき始めて廿枚終り画二枚かき上げ」 [FT00513,118]
- 8月12日 「鶴田訪問昼前画見る」「安田さんに蜂籠に招待され十月末天井画たのまれかく事となる」 [FT00513,118]
- 8月14日 「出品の画四号200円にて（秋田の娘子）売れ」「改造社長の本たのまれる。」 [FT00513,119]
- 8月15日 「早川氏来り三越へ油画二枚出品たのむ」「鶴田より貰いし八十号に渡仏当時の思い出1900年の流行の二階電車の画をデッサンとる」「加藤健妹来り本の事、装幀」 [FT00513,120]
- 8月17日 「八十号にとりかかりてだんく出来る。」 [FT00513,121]
- 8月20日 「夕七時東郷夫妻来り妻君君代と話して残り青児と二人正宗訪問。大に元気がくろく戦争心配な話であった」 [FT00513,122]
- 8月21日 「二科に搬入の日 行く、北川君と。」 [FT00513,123]
- 8月22日 「搬入を見に昼行くスペイン人彫刻持ち来ル等四時迄居て四千近く画入る、夜四谷に千人針写生に一寸行く」 [FT00513,123]
- 8月23日 「今朝より図を八十号に書き始む 午後三時半三善に行く二科総会十時迄かかる」 [FT00513,124]
- 「三善二科総会 廿四日-廿七日 審査」 [FT00509,021]
- 8月24日 「去年のゴヤの額縁持って二科へ行き献金の縁に使ふ事とす。九時より五時迄1500位見て、帰る」 [FT00513,124]
- 8月25日 「審査の日」 [FT00513,125]
- 8月26日 「審査」 [FT00513,125]
- 8月27日 「朝北川氏来り連れて行く 終日審査」「神戸の小磯氏の息子とかの対策に反対して皆と論し入選させず 審査全部すむ」 [FT00513,126]
- 8月28日 「平林読売千人針うつす。献画（金）とする。」 [FT00513,126]
- 8月29日 「午前十時-三時迄二科陳列のため皆集まり自分は去年の部屋となる。」 [FT00513,127]
- 「三越洋画展終り 三枚出品」 [FT00509,021]
- 8月31日 「今日二科休ミ 鶴田君千人針の額かしてくれる。高橋画とりに来る。」
- 9月 「番町安田岩次郎宅壁画の事」 [FT00509,021]
- 9月1日 「二科へ東郷と吉原に誘はれて行く」「献画の処大に既に売れて 自分の鄙に稀なる美人25円うれる熊谷皆うれる北川も来る」「二科献画（百四十八円実価）」 [FT00513,129]
- 9月2日 「二科招待日 東郷と盈子君代等手拭持ちて行き招待日、夕方迄画四十六七点九百円許りウレ手拭二百本位うれて大に景気よく」 [FT00513,129]
- 「第24回二科美術展覧会」東京府美術館 9月2日~10月4日《千九百年》《千人針》2点
- 9月3日 「東郷十時半来り十一時半上野へ行く石井栢亭来る、二時志保原にて総会北川、岡田、島崎、田村、会員となる、会友伊藤福島浪江古屋柏原エノクラ服部ナル」 [FT00513,130]
- 9月5日 「青森の人八重垣逸郎氏来り 信子慎二氏来ル、総会上野へ行く」 [FT00513,131]
- 9月7日 「早川氏来り児嶋善三郎池部氏北川早川等上野に見えいろいろクレパスでかく栗原礼として20半くれる」 [FT00513,132]
- 9月8日 「早川氏来り、ぎふ行きの相談」 [FT00513,132]
- 9月9日 「日本画三枚かく 子猫、鮑と蛙、魚類」「大隈氏東京湾汽船会社ノ総務と二人して来り フランス人の夜祭催す話に来る」 [FT00513,133]
- 9月10日 「北川、岡田島崎氏の二科会仲間入りの会雨月荘で開会し、大阪展を中止する事に一決してその意向で大阪に問い合わせ出す事となり十一時にかへる」 [FT00513,133]
- 9月12日 「千人針書出来五十枚送り来る」「上野高射砲あり戸山の原も同じく入園禁止となりいたり」 [FT00513,134]
- 9月13日 「岐阜行き 十五日帰京 展、」 [FT00509,021]
- 「油画一枚三号かく。」 [FT00513,135]
- 9月14日 「朝九時早川と二人燕にて岐阜へ行く、二時二十分名古屋のりかへ岐阜着出迎へあり、自動車にて梅林の小塩美州氏の



- 家へ行き写真長良川へ行きうかいの船等石垣見て萬松館にて金華山下日本一の庭園なり色紙箱かきして宴会」  
[FT00513,135]
- 9月15日 「朝六時四十分東京駅着」「陸軍えんしゅう始まる、島崎藤村むぎわら帽に手拭首にまき肩から肩革かけてもんぺ(こん)をはいて出らる」「初平より50送り来る表紙代」  
[FT00513,136]
- 9月16日 「夜改造社の表紙支那をかく」  
[FT00513,136]
- 9月17日 「当番にて向井君二科へ行く、海老原東郷田口中川石井柏亭氏等遠山其他田辺孝子さん等来て油画たのまれる」「白木屋より廿日の講えんたのまれる、早川展へ来て560渡してくる」  
[FT00513,137]
- 9月19日 「二科会へ行く、総出 大阪展中止の事二科会事務処等の件相談」  
[FT00513,138]
- 9月20日 「白木屋に行き日本中央生蚕会に講演二十五分服装美術の事」「夜東郷二人来り 朝鮮の布地貫い帯の画たのまれる。」  
[FT00513,138]
- 9月21日 「終日家にあり 日々は原稿転廻扉 青龍社展評 知田和に原稿かく 改造に扉え、鐘紡の人タツピーの見本見せに来る」  
[FT00513,139]
- 9月23日 「Lilasノ人々来り話してかへる」「日々正午版青龍展評出す」  
[FT00513,140]
- 9月24日 「六時婦人画報座談会のため山水楼に行く、戦争と流行の事」  
[FT00513,140]
- 10月1日 「安田氏五番町二番地の新築見て石本建築家より壁画寸法貰ふ。」  
[FT00513,144]
- 10月3日 「スタイル社 銀座へ原稿渡し、スケッチ一枚 半枚」  
[FT00513,145]
- 10月4日 「二科終了、三善の集会祝い」  
[FT00513,145]
- 10月5日 「東京日日ホームライフへ戦争と流行の八枚原稿かく」  
[FT00513,146]
- 10月6日 「文藝春秋上京裏□北支随筆十枚の分一日午前午後夜迄かかりてかき」  
[FT00513,146]
- 10月7日 「正午画二枚と昨日の原稿文藝春秋に渡す」「夜色紙一枚かく」  
[FT00513,147]
- 10月9日 「中村田原向井三夫人来りて大阪への油えの事たのまれ400の約束す」  
[FT00513,148]
- 10月10日 「帝大の文学部の生徒14日の日講演たのみに来る」  
[FT00513,148]
- 10月12日 「栗 庭になりたるもの一号へかく 向井氏のフランスノルマンジーの画八号かく。」  
[FT00513,149]
- 10月13日 「帝大学文学部へ三十名にフランスの話しに呼ばれて三時—五時半迄話す」  
[FT00513,150]
- 10月14日 「午前中知多和雪中梅の着物模様大紙にかく 三時出来、渡す 海老原 松寫氏と来り中根氏千円の画の話あり 今月中に渡す相談す。」  
[FT00513,150]
- 10月16日 「向井氏の画巴里附辺の景八号にかく」  
[FT00513,151]
- 10月17日 「二枚向井氏の画かき上げる」  
[FT00513,152]
- 10月18日 「安田さんの下図かく油画 読売文展洋画評 同盟通信 日本画評依頼にさいそく」  
[FT00513,152]
- 10月19日 「石本氏安田さんへの壁画の下図かく。十号に油画にて小児の画花かく 五十号文房堂届き北海道の人への海老原友人たのみの分かくため白地をぬる 大阪 向井氏へ八号のるまんぢー春 巴里近郊 秋二枚送り出す。」  
[FT00513,153]
- 10月20日 「早川へ乃木大将の画渡す」「安田氏石本氏三人来り壁画の事相談す。」  
[FT00513,153]
- 10月21日 「十時文展見物し批評下見して」「平野弘満州出征の旗にサインたのみに見来り」  
[FT00513,154]
- 10月23日 「読売に文展評今朝六枚送り出す。」「大勢濤友会連中野間も来て批評す。」  
[FT00513,155]
- 10月25日 「同盟通信へ十二枚原稿かき上げ北川個展の序文もかく明日出す筈」  
[FT00513,156]
- 10月26日 「カネボータツピーデッサン一枚かく。」  
[FT00513,156]
- 10月27日 「朝タツピーデッサン一枚又かき鐘紡に渡す 二枚渡す」  
[FT00513,157]
- 10月28日 「安田さんはめよせ板の戸のデッサンを作り二枚仕上ぐ」  
[FT00513,157]
- 10月29日 「訪問客多し早川 日日記者 海老原の渡辺氏。金沢の観光ホテルの事」「石本さんに安田さんの戸のデッサン二枚渡す」  
[FT00513,158]
- 10月30日 「婦人画報の画かく改良服 東京日日毎夕へ上海の画かいて渡す。サンデー モダン日本原稿渡す」  
[FT00513,158]
- 10月31日 「濤友会と日動北川個展へ行く」  
[FT00513,159]
- 11月1日 「大トアールを始む 小児七人かく、下ぬりのようなれ共凡そ出来る。石本建築処の海老原一郎氏来ル、タツピー、ドアー、の相談 二ツとも花とどんぐりのものよしの事 北川門前迄来り愈々今日より個展大喜びなり」  
[FT00513,160]
- 11月2日 「壁画かく」  
[FT00513,160]
- 11月3日 「壁画かく」  
[FT00513,161]
- 11月5日 「壁画かく」「午後五時より中川紀元君来り酒出して夜十時迄遊んで行く十一日上海へ軍艦で行く」  
[FT00513,162]
- 11月6日 「凡そ壁画の方針つき半分ぬり初む」  
[FT00513,162]
- 11月7日 「壁画初めてぬりつぶし花等かき初む」「北嶋氏等画家来ル」  
[FT00513,163]
- 11月8日 「大壁画春秋大凡出来上ル」「佐野氏来り タツピー安田氏の見に来る メキシコの二枚分を百円でゆづり渡してコ

- ツピーを貰ふ約束する。二枚プエブラ市の作で29pで買ったものなればよろし。」 [FT00513,163]
- 11月9日 「大壁画かき上げる事となる。」 「天井画出来十日迄の豫定一日早し。」 [FT00513,164]
- 11月10日 「ブラジルコーヒー肖像の事 ノルエー肖像の事 安田氏二人来り壁画見て満足帰らる 早川氏来る」 [FT00513,164]
- 11月11日 「伊藤末治郎氏来ル」「札幌の人へ50号大作裸婦かき初む、白カンバス線と布かけ終り大体出来ル」「向井氏より猫と小児の画たのまれる」 [FT00513,165]
- 11月12日 「裸体五十号仕上げ終る」「夜大カンバスを壁画はがして室又広くなる。」 [FT00513,165]
- 11月13日 「(原稿) 大津滋賀県へ (五枚) チチカカ湖 大阪商船に海へ南京の事 (6枚) 等原稿一日かかてかく」 [FT00513,166]
- 11月14日 「建築石本氏来ル、壁画見に来ル 原稿画家の悪、東京日々新女苑に (六枚) かく モンマルトル画家」 [FT00513,166]
- 11月15日 「午前午後色紙沢山かき同情週間其他」 [FT00513,167]
- 11月16日 「日本画沢山かき早川小太郎新潟へ五枚 秋田へ一枚等送る様にす。」 [FT00513,167]
- 11月17日 「夜猫小児油画下画素描出来」 [FT00513,168]
- 11月18日 「スタイル訪問記者アリ」「北海道へ五十号送り出す」 [FT00513,168]
- 11月19日 「ブラジルコーヒーの人の西洋人の肖像かき始む」 [FT00513,169]
- 「新潟日本画展、廿一日帰京」 [FT00509,021]
- 11月20日 「朝加藤健さん来り肖像かく」「ブラジル女肖像かく」「高島屋へ画二枚渡し。(素描) 秋田西馬吉田一郎氏画うけとり礼状来ル。」 [FT00513,169]
- 11月21日 「濤友会皆来り批評会す、金、北寫氏等来る、北寫二科へ出品したしと又金氏二百五十円李王家買上げ金見せに来る。午後朝鮮向井氏への小児と猫かき上げブラジルコーヒーの肖像かき上げ」「新潟個展明日終る事早川の通信あり」 [FT00513,170]
- 11月22日 「ブラジルコーヒーに肖像持って見せ若すぎるとの事 改正する様に持ち帰る。猫小児ニスぬる。仕上げ出来る。加藤健氏に二枚素描ポートレート描き渡す」 [FT00513,170]
- 11月23日 「秋田角館の画二枚小品三枚 すきな画かいて見る。大阪向井氏に二枚油画送り出す、猫と小児の画」 [FT00513,171]
- 11月24日 「昨日の三枚の画ニスぬる」「花柳すみさんステンドグラスかく」「大阪朝日より空襲の巴里と言ふのを送りくれる。第一回丸善ビュー等盛んに送りくれる。」 [FT00513,171]
- 11月25日 「なまずの画一枚かく油画」 [FT00513,172]
- 11月26日 「油画八枚白下ぬりす」 [FT00513,172]
- 11月27日 「北海道へ画五十号中根氏へ着の由 六号、猫たのまれる。」 [FT00513,173]
- 11月29日 「丸善の人原稿たのみに来る」 [FT00513,174]
- 11月30日 「小カンバス等支度準備す、新潟洋画個展今日の事」 [FT00513,174]
- 12月1日 「花柳さんのステンドグラスの製作者きゝに来る。久住良三氏ホームライフの画たのみに来る等」 [FT00513,175]
- 12月4日 「大勢リラの人、斎藤氏等又、午後船越美枝子来り画見てやる。」 [FT00513,176]
- 12月9日 「午後二枚折り屏風に下六番町の家庭をかき夜かき上げる。一日かかて仕事する。」 [FT00513,179]
- 12月15日 「午前、新女苑記者来ル。」 [FT00513,182]
- 12月16日 「午前中有寫氏来り、アメリカ、カーネギー賞展へ送る写真と十五人計りの人名」 [FT00513,182]
- 12月17日 「本荘の画商に集二冊画かく」「夜 Wistaud スエーデン公使の処へ行キ十五人松方令嬢日本人支那人ノボーイ四人、日本コック、運てん手二名仲よしとの事、夕方 Portraitの相談出来500との事話出来て十一時帰ル。」 [FT00513,183]
- 12月18日 「有しまくん Jilde Heck氏連れて来て留守、本荘鈴木氏に画帖渡す」 [FT00513,183]
- 12月19日 「原稿かく。旅とカメラ、八枚かく」 [FT00513,184]
- 12月20日 「Wistraudさん肖像風のため延期 朝日にも原稿かく 新女苑と旅とカメラ原稿出来上ル」 [FT00513,184]
- 12月23日 「色紙を沢山かく 午後と 秋田娘四号 夜になりて 秋田おぼこ 四号 をかく」 [FT00513,186]
- 12月24日 「油画足袋はさみ、秋田雪景かく 魁新聞へ一枚寄贈、木子注文五枚」 [FT00513,186]
- 12月25日 「今朝色紙沢山送る。」 [FT00513,187]
- 12月26日 「午前大勢濤友会来ル、北寫会へ入る事となる、其他の画家も来ル 午後岡本来ル」 [FT00513,187]
- 12月27日 「芦原英了、印度人ダンサー、ポーランド人連れて来ルスケッチする。初瀬川に虎六枚かく。」 [FT00513,188]
- 12月28日 「早川秋田より帰る。秋田湯沢田口正太郎氏箱書に来ル 日々甲田学藝部より健康美の女に就て 初瀬川に虎六枚送ル」 [FT00513,188]
- 12月29日 「午後二時安田さん池谷さんへ初めて壁画届ける 十五日に移転の由、虎と猫半切おみやげ」 [FT00513,189]

## 1938 (昭和13)年 52歳

この年 東京市麴町区下六番町17に純和風のアトリエを新築、転居する。[『地を泳ぐ』p.316、『美之國』13-9,p.70]

- 《自画像》(1928年)を、パリの国立近代美術館が収蔵する。[「試論」p.487]
- 1月1日 「芦原一家姉を除く外友信嗣信夫婦九人來り、英了の処へも行く 夕方年始廻り近処十四個処すませ蓮元氏來りて夜となる」 [FT00514.013]
- 1月3日 「田原姉玄関先き 嗣雄兄夫婦若夫婦來り、上つて行く」 [FT00514.014]
- 1月5日 「婦人の友社より小供の友二月発刊三月号へ出す人形写真とりに來る。」 [FT00514.015]
- 1月6日 「Wistrand肖像」 [FT00509.022]  
「午後Wistrandの肖像夫人かきに行く。三時半迄」 [FT00514.015]
- 1月7日 「朝竹内北寫二人來る。夕方柴田、望月二人來りて漫画雑誌の事話して行く。長谷川夫婦來り夜十時かへる。」 [FT00514.006]
- 1月8日 「嗣信夫婦來り京城龍山へ新築したる写真見せ大に感心する。色紙一枚祝いにやり又三寫の事たのむ。早川広島より手紙あり。」 [FT00514.016]
- 1月9日 「Wistrand夫人病氣 肖像明日にのぼす」「文房堂森氏 池谷さんの壁画の事で相談に來る」 [FT00514.017]
- 1月11日 「午後一時野間來り、除隊の話後二時ウイクトランの夫人肖像止めて遊ぶ事として浅草に三人で行き富士嶺子見てみやなで食事して帰り」 [FT00514.018]
- 1月13日 「いろいろ線で日本紙に沢山昼から夜にかけてかいて見る。」 [FT00514.019]
- 1月15日 「午後一時半より泰明小学校にて北川君と教育美術主催の講演 北川一時半私四十分許りメキシコの話してメキシコ児童展する。たつみやにて夕食して日動に行き改正する画廊の事相談して帰る」 [FT00514.020]
- 1月17日 「鶴田宏君來り長谷川房子さんと言ふと結婚する事に決めたりとて落ち付かず珍しく直ぐ帰る」「中村大喜び兄上好物だけ送ってくれたとて姉上電話あり。」 [FT00514.021]
- 1月18日 「中河与一夫人に表紙ごきよう沢山渡す」 [FT00514.021]
- 1月21日 「午後四時京劇に小山内西山物語十周年記念あり小山内夫人八千代夫人等 中村二人來り居て、加□□□等見て十時に帰る」 [FT00514.023]
- 1月24日 「原稿かきの日」「井三日早川柏崎展始む」 [FT00514.024]
- 1月25日 「婦女界へ画と文半頁今朝渡す」「東京日日へ 友を語る高田氏へ七枚かく 原稿早福田 三輪氏へ塔影へ六枚」「大阪へ油画猫後藤氏へ送り出す」「ロルフドマレー日本へ着し帝国より電話アリ」 [FT00514.025]
- 1月26日 「英了と二人帝国ホテル ロルフドマレー氏に会い久々にて巴里話其他ダンスの話」 [FT00514.025]
- 1月27日 「原稿沢山かきて送り出す。」 [FT00514.026]
- 1月28日 「英了來り、夜九時迄話して行く ドマレー銀座散歩買物」 [FT00514.026]
- 1月29日 「午後小山内これは意外と言ふ写真の事で(オール読物)相談に來ル 正午一時帝国ホテル、国際文化よりロルフドマレー二人スエーデンWistrand氏の処へ招かれて昼食、ホテルへ戻りて帰ル、五時Wistrand Björn Prytz夫婦來り 秋田雲景千人針共に一号持ちて行かれ、又月昨肖像かく事と決す」 [FT00514.027]
- 1月30日 「竹谷連中に会い、展覧会の事たのまれる」「クロードファレール氏神戸着、明日状況の筈、ペンクラブ行き」 [FT00514.027]
- 1月31日 「Prytz氏肖像をかき初め」「夕方ペンクラブに行きクロードファレールに久々にて会いて、写真沢山うつされる」 [FT00514.028]
- 2月1日 「十一時半Prytz portraitすませmadameのを始めて一時より日佛会館の会へClaud Farrère氏の会に行く。Madame de TaselerさんPortraitたのまれる。その内sendez vous 明日きめる筈」 [FT00514.029]
- 2月2日 「午前十一時ホテルにてPrytz夫人肖像かき一時Wistrand夫人と三人昼食」 [FT00514.029]
- 2月4日 「二時小山内オール讀物連中來て国技かんにて協会広座敷 春日野にあいて角力しやじきで写真とり、双葉山に紹介してくれる」 [FT00514.030]
- 2月5日 「南原山岸氏の本届く 教育美術の校正する」 [FT00514.031]
- 2月6日 「藤井(京都)水崎丸内肖像の事 屏風の事」「斉藤(岡本友人)画デッサン欲しとて二枚渡す」 [FT00514.031]
- 2月7日 「朝十時からストーブの側で油絵かく どんく出来て気持よく大に画室を運用する事となり、活動出来てよし。」「パレット図案 望月、柴田と池部其他と合合して爆笑の件」「□山茅野里に六号牛掘の里と言ふ油絵ヘレンケラー女史訪問使節に行く費用の一部として寄贈す。」 [FT00514.032]
- 2月9日 「午後二時ドマレー氏來るとの事四時となり、Vansと來り英了 喜満子、画室にて二時間余り話して秋田の六号オバコの画250買い度しとて一品雪ノ一を記念として上げる」 [FT00514.033]
- 2月10日 「ファレール氏日本を去る 駅に見送りに行く 大学松井氏等外人数人アメリカ人大勢アメリカ人送りと合せて居た」 [FT00514.033]
- 2月11日 「肖像画二枚Prytz鳥ノ子へかき色つける許りとして仕上げたり。」 [FT00514.034]
- 2月12日 「午前中Prytz夫婦のPortrait作成」「8h 英了とスエーデン公使かんに行く 鶴田、外山、藤川、三益葉子、田口其他荒



- 木等大勢来てくれてsoiréeうまく出来て安心して四時かへる」 [FT00514,034]
- 2月13日 「今朝大勢画学生来り評してかへす」 [FT00514,035]
- 2月14日 「四時帝国ホテルHaus Evert氏に講道かん柔道見せて帰り黒紋付で帝国ホテル7時半ロルフの招待日本人のミ 博物館  
□東学校長スエーデン公使Wistrand外人皆で十七人」 [FT00514,035]
- 2月15日 「9h、ロルフツバメで出立大勢日本人見送りあり」「野間熊谷に会いローマイヤエールにてVarvierさんに招待されいろいろボルマルシヤン、よさのさん等会いたり」 [FT00514,036]
- 2月16日 「桃木夫人来り祭の作文貰いたしとてさんざ勝手な事言っていく かへして仕舞う。」「大阪山路氏来り画六枚渡す  
午後小品素描9枚かく」 [FT00514,036]
- 2月17日 「肖像Wistrand かきに行けずくらきためPrytz 肖像額縁出来る。」 [FT00514,037]
- 2月18日 「安田さんへ行き西洋間改正の相談」「三時ウイストランの肖像かきに行きかきなほす」 [FT00514,037]
- 2月19日 「加藤健氏詩集の表紙とりに来りいろく デッサン朝八時よりかきたるを与える」 [FT00514,038]
- 2月20日 「画学生二人□尾画用紙はさみ三つ作ってくれる。」「京都府南桑田郡千歳村 国勢中社出雲人者社啓悦 □画端書従  
妹 愛媛県新居郡多岐濱村 式内黒嶋神社 社司近藤孝臣 色紙短ざく二枚 画かく皇軍慰問献画」 [FT00514,038]
- 2月21日 「英了と二人十一時ウイストランへ行き肖像かき」「日動へ行きパレット図案社へ行き池部の発案で爆笑は目下の時局  
にあらずとして延期するとなり」 [FT00514,039]
- 2月22日 「水崎氏のたのみの十号をかき初む日本人男肖像」「ふみ 叔母兄盛岡のペーザン型来りて野田書房来る校せい表紙見  
せに来る 婦人画報飛白座だん会。」 [FT00514,039]
- 2月23日 「新宿宴でいにて二科会廿五人会合あり 夜帰り十時中川上海の話あり 台北新竹へ支那飛行□来る始めての事」 [FT00514,040]
- 2月24日 「愛国婦人会より61才のおばあさん来る8円の事江戸り子、富士屋より鹿児島の子26才来ル」「Prytz氏来り肖像持って  
帰るレグレする 山路氏150半折たのむで行く」 [FT00514,040]
- 2月25日 「戸田海笛氏の事ききに中川与一夫人の友人来る、的場氏来てアルヂヤンの事いろいろきく」「藤川栄子と婦人画報飛  
白の座だん会」 [FT00514,047]
- 2月26日 「加藤けんの表紙色つけてやる 小池と言ふ女 新築祝の画たのみに来る 安東□国正氏もノルマンデーたのむ」「午  
後二時半Prytzの室にて商木静国写真うつす Portrait 高橋運送 李聖熙へ猫 国正にノルマンデー送らせる」「今朝水  
崎のポートレートかく」「信子男の子生産藤田家の永久の子供出来」 [FT00514,041]
- 2月27日 「金宗さん、斉藤、内寫、桂、日高、竹谷、増田、浅尾、写真や二人、等大勢来りて午前暮す」「水崎肖像栗山の十号  
猫半折二枚出来て安心す。」 [FT00514,042]
- 3月1日 「日本人のPortrait渡す、deux cent入る、朝 絹横物バラの花かく」 [FT00514,043]
- 3月2日 「文藝春秋へ原稿(手紙数枚)日本語にてかく渡す、画二枚かく」「Wistrand Portrait仕上げて」「出雲神社より画端書札  
状 廣瀬伯紀 京都府南桑田郡千歳村来る」 [FT00514,043]
- 3月5日 「松岡映丘氏 告別式青山である。大勢参列正木、清方氏等首席にあり」「長岡の福田氏来り池谷の化粧台グリ図  
案渡す。」「朝日に私の名世界に名高くて驚いたとの批評」 [FT00514,045]
- 3月6日 「朝大勢 日高初め斉藤北島、山田増田、河合等来る、竹谷新夫人連れて来る。」 [FT00514,045]
- 3月7日 「夜六時アトリエ社の座談会三益 [三岸カ] 節子、藤川栄子、島あふひ、さん等と十時迄話す」 [FT00514,046]
- 3月9日 「午後四時Wistrandさんへ肖像二枚届く 帰り英国大使館へ夫人先きに招かれて公使かん自動車で四谷へ帰る」 [FT00514,047]
- 3月11日 「小池と言ふ女銀行の人にたのまれて来る素描の事」 [FT00514,048]
- 3月12日 「仕事はデッサン二枚かいて」 [FT00514,048]
- 3月14日 「岡登図画本のバラの絵たのしみに来る、午後ウイストラン氏訪問 肖像かきなほす処ありて持ち帰り、明後日渡す  
約束」 [FT00514,049]
- 3月15日 「昨夜からの続きオール讀物の原稿かき」「朝東日ポスター社の人来り、木子氏来る」「新女苑のたののみあり」「文藝  
春秋へ原稿渡す」 [FT00514,050]
- 3月16日 「十五銀行に行きてドミエ、セザンヌ二枚、シスレーカラー見て帰る 木子、鮎秋田の雪渡す、早川氏来り、水鳥飛  
魚かいて渡す、Wistrand夫人来り又批評して行く」「ドイツ風の会あり石黒小寺中村研一に会い其他長二郎、小林□  
四郎、轟ゆき子等に会いて」 [FT00514,050]
- 3月19日 「日本画等かく」「夜原稿等かく」 [FT00514,052]
- 3月20日 「増田、金、北島等来る」「日本画かく」 [FT00514,052]
- 3月21日 「日本画半切四枚、横物一枚、水崎優頼の肖像画等なほす。」 [FT00514,053]
- 3月22日 「朝より望月の仕事する、支那へ送る本文化、協力、親和等支那人に見せる本との事」「山路に半切五枚渡す 望月に  
画届く」「夜十時半山路に虫の画渡す」 [FT00513,053]



- 3月23日 「ブラジルコーヒーの人より肖像画の出来たかを聞かれて日本へ再び帰って来たとの事」 FT00514,054
- 3月24日 「木子への十二号かき出す」 FT00514,054
- 3月25日 「油画木子さんのをかく」「武藤氏来り巴里で益画上市りて日本画商青山氏マルセイユ日本人がさがして集めたりして評判よく藤田を知ってるかと盛んにきくとの事」「ホームライフ、留守中たのみ来る、文藝春秋の仏文評判よろしとの事」「武藤と日劇のレート美容院へ行きスケッチして峯岸に会いニユートーキョー、ミエンヘン等へ行きサインたのまれで帰る。」 FT00514,055
- 3月26日 「岡野へ画バラ手本渡す」「木子さんへの画作成す。」 FT00514,055
- 3月27日 「午前中生徒齊藤中野、日高等来ル、画見てやる。」「夕方東京会館伊太利使節国民大会かんげい会に行つて。二千九百名と言ふ人かず」 FT00514,056
- 3月30日 「正午野間日高竹谷来り迎ひに来り 長谷川のかみさん来たりしている。日高の処にていろいろ絵の批評して」 FT00514,057
- 4月1日 「原稿朝日と婦人公論かく」「二科会小会愛住町七八の新事務処である。平家庭付きである。」 FT00514,059
- 4月2日 「蓮元来り新潟川辺早川氏等終日客来ル」「大阪へ十二号木子へ花と猫 花柳に菊のたんもの渡す」「青樹社へ朝二枚画送り一寸行二科連中 日動へ行き濤友会展芝三〇亭にて改造社廿周年記念あり」 FT00514,059
- 4月4日 「11h、Wistrand夫人肖像とりに来る」 FT00514,060  
「二科会会員会友小品展」銀座、青樹社 4月4日～9日《私の画室》
- 4月5日 「猪熊弦さん来り五月洋行巴里へ行くとの事で紹介してくれとの事 ピカソへ木馬、デランに木彫裸体、マチスへ支那スカートを送る事にして名刺に紹介状かいて渡す。」 FT00514,061
- 4月6日 「ホームライフ原稿渡し」「田口、栗原来りて二科の事茶部の話出す」 FT00514,061
- 4月9日 「青樹社二科展終了す」 FT00514,063
- 4月10日 「中川 二科会へ出席の前石像届けてくれる」 FT00514,063
- 4月11日 「原稿改造社にたのまれる」 FT00514,064
- 4月12日 「朝十時レーンボーグル話、文藝春秋私東原と物、小林一三、大拂横光吉屋、石黒後藤氏等其他招いて明治神社、靖国神社大学上野浅草、玉川本所三河島私アパート等」 FT00514,064
- 4月13日 「この間から座談会大分重なって又十五日オール讀物で喜代三音丸等もくる由」 FT00514,065
- 4月14日 沖繩旅行を決める。「竹谷〇来り同行しておきなわへ行く事に廿四日に決定する」 FT00514,065
- 4月15日 「ブラジルコーヒーの肖像かく。出来上げる。」「夜六時半オール讀物にての座談会霞ヶ関茶りよう 石黒、鈴木、相馬、船橋市其他赤坂小梅姉さん来る。」 FT00514,066
- 4月16日 「原稿改造社の大陸へかいスーブニールの仏文を訳してかく六枚」 FT00514,066
- 4月18日 「アリムソン氏へ肖像渡し」「バラかく六号」 FT00514,067
- 4月19日 「改造電話でカットたのむ カメラ朝日原稿後からいろく仕事出来る。」「鳶崎さん来り序文たのまれる」 FT00514,068
- 4月20日 「日動へ油絵三号バラ矢車草等届けバイエしてくれる。」「モンアミ二科会集会帝都座席下 北川向井渡辺栗原田口中川と集会」 FT00514,068
- 4月21日 「改造社 大陸の扉絵と一枚 一触即発直発とせしをなほして渡し 猫3、4、6号三昧かきて夕方まで仕上げ忙しく」 FT00514,069
- 4月23日 「熊谷野間北島等濤友会と鬼怒川へ今治温泉写生旅行に行き雨となり」 FT00514,070
- 4月24日 「武藤へ扉一枚渡し 加藤健本五冊えかいてやる」「八時半汽車にて加治屋氏夫婦南風原バイバラ氏と竹谷五人愈々琉球へ向う。」 FT00514,070
- 4月26日 「さつま海岸と種子島の間を通り愈々琉球に向う。夜十時大瀧に到着」 FT00514,071
- 4月27日 「とうく那覇着」 FT00514,072
- 4月28日 「皆でとうく首里城見物に行き市役場から案内つき城内見て、博物かん見」 FT00514,072
- 4月29日 「三時 清命祭あり」「夜七枚デッサンかく。」 FT00514,073
- 4月30日 「久保町の近処で二枚道と木を十二号十号とにかく」 FT00514,073
- 5月1日 「午前中写生昨日のをし上げ、午後段の上神社のそばで墓地写生して又帰る」「大阪商船の会社長前川さんの手紙もつて使ひ来てくれて今夜風月楼に招待七時」 FT00514,074
- 5月2日 「大鱈二尾を描く四十号 午後三時より海岸にて墓処の十二号一生懸命かいて仕上げてかへる」 FT00514,074
- 5月3日 「昨日あみやぐわにて写生した油絵の板に色つけして夕方迄に四枚かき昼後南風原の妻君ポーズしてくれて一枚出来 昼魚とび魚を又四十号にかく」 FT00514,075
- 5月4日 「大作の用意として家のヨシチヤンのデッサン等かき始め愈々大作八十号の下ぬり等して用意」 FT00514,075
- 5月5日 「今日大デッサン二枚八十号うつし昼後家の婆さんをかいて又うつつ 其後大スケッチ二枚許りしたりて一日仕事に

- 追はれる」 [FT00514,076]
- 5月6日 「八十号に男ノ子、五十号に女二人と小供デッサンとり、四十号の魚鯖とび魚、魚としても画としても平凡故消して  
とって仕舞う、芝居ノデッサン色つけ」 [FT00514,076]
- 5月8日 「学校先生の男の子女の子来りスケッチして四十号にかく」 「竹谷南風原と写生に出かける」 [FT00514,077]
- 5月9日 「第二女学校にて講演する 濱口先生」 [FT00514,078]
- 5月10日 「絹本二枚かく、板寸二枚風景仕上げて昼となり国吉氏琉球古画をくれる。」 [FT00514,078]
- 5月12日 「午前十時大城君迎いに来四人にて開南中学にて講演し生徒大喜び」 「帰り家のパーサン写生して四十号にうまく入れ、  
又台処の鍋かまを朝かいたのを八十号に入れる」 [FT00514,079]
- 5月13日 「色紙かき皆展の用意を初む 日本画洋画展十六十七日藤田展となる。十五日夜講演の事。」 [FT00514,080]
- 5月14日 「珍魚日本画にかき色紙にかき午後油画六号かき個展へ行かれず」 [FT00514,080]
- 5月15日 「夕方八時昭和会館世界を語るで五百人入場、八百人来て三百人ことわる」 [FT00514,081]
- 5月17日 「糸満写生八号二枚板寸一枚かき上げ、百合花商女第一講堂に開南へフランス風景6号かき明日かく事明日の湖北丸  
新聞にて見て十九日正午に日のべ一日又滞在となりのびる」 [FT00514,082]
- 5月18日 「白百合とフランス風景かき三枚学校の分すませ色紙かく」 [FT00514,082]
- 5月19日 沖縄を出る。「湖北丸で那覇出帆 廿三日帰京」 [FT00509,023]
- 「愈々出立の日来り」 [FT00514,083]
- 約1ヶ月の予定で、竹谷富士雄らとともに沖縄を旅行する。この時、琉球新報社の主催で講演をしている。[『美之國』  
14-5, p.81, 『地を泳ぐ』 p.347]
- 5月20日 「大島へ午後二時に入る」 [FT00514,083]
- 5月21日 「午後九州四国の間」 「琉球新報より一口ヘイアンを祈る電あり」 [FT00514,084]
- 5月22日 神戸に着。「午前中紀州見え四国あはじ島波静かにして京なり愈々神戸に三時入稿す」 [FT00514,084]
- 5月23日 「朝七時半停車場東京へ着く」 「東京へ帰京の日」 [FT00514,085]
- 5月26日 「長谷川仁妻君次いで仁君来り十一時半迄話して行き琉球展の事に決して六月早々とする筈」 [FT00514,086]
- 5月28日 日動画廊での琉球展が決定する。「日動の人来り展覧会序文かく封筒 六日-十日琉球展する事とす」 [FT00514,087]
- 5月29日 「今朝北畠、増田、中野氏等来り画見る」 「額等出して整理展準備する」 [FT00514,088]
- 5月30日 「午後琉球美人の画かいて見る、四枚出来る。」 「海老原夫人来ル、モデルになりたき初瀬川の竹内紀吉子来る 富本  
三郎へ紹介してやる。」 [FT00514,088]
- 5月31日 「東京朝日へ琉球原稿かき夕方速達第一回送りすむ」 [FT00514,089]
- 6月1日 「今朝朝日に第二回原稿送ル」 [FT00514,090]
- 6月2日 「朝日へ第三回那覇随筆送る 原稿今朝かく」 「日々我が友を語るの本装幀たのまれ加藤健又詩集たのむで来る。」 「永  
戸さんのマリウスの装幀出来本送つて来る。」 [FT00514,090]
- 6月3日 「モダン日本原稿かき出す。岡本鉄四郎へ国横に皇軍必勝武運長久かく。朝日琉球夢の国原稿校正してやる」 「展覧会  
個展の案内状五枚出す。加藤健又詩集たのみargentを要求して見る」 [FT00514,091]
- 「藤田嗣治日本画展」大阪、関西画廊 6月3日~10日
- 6月4日 「モダン日本へ原稿四枚送ル」 [FT00514,091]
- 6月6日 日動画廊での琉球展が始まる。「日動展初まる。」 [FT00514,092]
- 「藤田嗣治第五回琉球作品発表展」東京、日動画廊 6月6日~10日 《海辺の墓》《琉球の女》等油彩20余点
- 6月7日 「琉球随筆第三回今日で朝日終る。」 [FT00514,093]
- 6月8日 「毎夕の記者来る、杉浦氏来り色紙やる」 「日動へ行く、ドイツ二人に会ひ」 [FT00514,093]
- 6月10日 日動画廊での琉球展が終わる。「五時日動へ行く展覧会終了の日、海老原来り居り」 「実茶日本座談会に行く」 [FT00514,094]
- 6月11日 「昼巴里会風月にて佐藤氏初め石黒等六七人集まりて総会の準備会規改正」 [FT00514,095]
- 6月12日 「日々友を語る装幀 琉球布横様でかく。扉え 関西画廊花□氏来ル、猫明日売る。」 [FT00514,095]
- 6月13日 「日々へ都市美のもの出す」 「アサムソンにPortraitたのまれ日動へ行く、展覧会のせいさんす」 [FT00514,096]
- 6月14日 「有寫石井、長谷川黒田氏等と松方コレクションを評価して四時迄働く。」 「日々へ原稿をかきボーイに渡し巴里会マ  
ーブルへ」 [FT00514,096]
- 6月15日 「十五銀行に行く、マネの自画像五万、モネのカセードラル同じ、ゴーガン六、五万、タイチ大作 シスレー、ピサロ、  
ルノアールセザンヌ等又五人にて午後伊太利英国夕方デッサン ゴヤ、ルーベンス、ホルバイン、ミケランジェロ等」 [FT00514,097]
- 6月16日 「日々に原稿三枚かく。」 「アサムソン氏姪連れて来て肖像始む ブラジル人なり」 [FT00514,097]
- 6月17日 「帝大へ五枚原稿かく」 「初瀬川に昨日二枚琉球のさしえ送る」 「関西画廊又三枚たのむで来る。」 [FT00514,098]

- 6月20日 「二時ブラジルコーヒーの女の人肖像かかせに来り」 [FT00514,099]
- 6月22日 「今日はブラジルコーヒーのアソムソンの姪とブラジルに居る女の人肖像二人かき上げる」 [FT00514,100]
- 6月24日 「日本画果物昨日たかので買ったものを写生夕方猫一枚横物で都合二枚描き上げる」 [FT00514,101]
- 6月26日 「東京日々 大陸 楽苑社等へ原稿を出す。」「港マルセイユ 自画像 音楽家と私」「午后三枚半白水社へ両国川開き三枚原稿かく」「写真山内光氏国際写真アゼンシーの事で来ル。」 [FT00514,102]
- 6月27日 「改造社箕輪氏横光氏の旅想本にしたしとてさしえ私のりようかいを求めに来る 安田銀行の人猫ほしとてたのみに来る」「寺田氏序文画会たのみに来る」 [FT00514,103]
- 6月28日 「アソムソン肖像二画森さんに渡しmille受け取る。」 [FT00514,103]
- 6月29日 「二時 二科会事務処、鍋井東郷、熊谷北川と会 含今年度の相談す」 [FT00514,104]
- 7月3日 「画家一人来ル、盛岡の人」 [FT00514,106]
- 7月5日 「熊谷氏来り十五本日本画あづかり表装屋に渡す、南風原着して琉球の話出づ 日本画かく 白き派(竹谷のくれたもの)かく」 [FT00514,107]
- 7月6日 「村田愛国婦人会へ扉え渡す村田へ色紙一枚」「寺田竹雄序文かく」 [FT00514,107]
- 7月9日 「芦原兄上ノ知人ノ医師来り画帖かいてやる」「巡查四谷見附画見て貰いに来る、三枚八十二、五十一、色紙やる」 [FT00514,109]
- 7月12日 「今日琉球八十号かき出す 中々すすまず少しかく」 [FT00514,110]
- 7月13日 「朝 読売記者望月、藤原氏等来ル、八十号琉球かき出す、少しスピード出る」 [FT00514,111]
- 7月14日 「朝 読売婦人会記者 流行の事ききに来る。アメリカ世界一周最後ニューヨーク入りらし。」 [FT00514,111]
- 7月17日 「婦人公論の原稿かき初める。」 [FT00514,113]
- 7月18日 「日本画かく 関西画廊のため、今朝婦人公論に原稿送る」 [FT00514,113]
- 7月19日 「朝日本画二枚猫かく、色紙二枚かいて竹林寺に送る事とす」「婦人公論写真写して行く。」「理代の座談会ありて花月に行く 鈴木洋杖 海上専務、(東京)秦氏、芦田法博、バン野、渡辺、林、両中将、等 戦争当時の政府話」 [FT00514,114]
- 7月20日 「早川より絵日本画十二本西洋画四枚返却してくれる」 [FT00514,114]
- 7月23日 「朝日に今日迄三回大戦当時の話(私の想出)出づ。京日消費節約の事ききにくる」「芦原喜和子マリラのフクロ、カバーたのむ 高松 日々 改良服の事ききに来る 関沢 象狩ポスターたのみ出来渡す、礼金200」 [FT00514,116]
- 7月24日 「盛岡ノ書生 漫画ノ人、又桂さん等来ル批評す」 [FT00514,116]
- 7月27日 「朝琉球画かく」 [FT00514,118]
- 7月28日 「午前中絹本二枚猫かく」「田口肖悟征元の人と来る」「夕方日本画渡す、今福武雄氏 夜週刊朝日扉画かく」 [FT00514,118]
- 7月29日 「週間朝日に扉と八千代さん小説さしえ等かく。」「山水楼にて日々座談会 銃後と□東、久保、永戸大宅氏等と城戸、渋沢、岡ビクター、笠間氏等。」 [FT00514,119]
- 7月30日 「午後ビクター、アルヂヤンチンゴンの表紙アルバム解説書をかく。夕方迄かかる。」 [FT00514,119]
- 7月31日 「十時半帝国美術学校夏期講習会へ向かい肖像で行く」 [FT00514,120]
- 8月1日 「ビクター会社 紙や印刷や連れて来り金渡してくれる 関澤象狩ポスター届く色つけのため 大作新しき筆で大分進捗す」 [FT00514,121]
- 8月3日 「中村夫婦来り 満州赤十字社副社長になられ行く由。新京へ 関沢ポスター渡す 象狩の色ぬる。」「夜星ヶ岡茶寮 田辺ビターミンポスター会 富本東郷中沢辻氏等皆廿人許りあり」 [FT00514,122]
- 8月4日 「加藤健表紙装幀の事の人来る。都新聞記者来り洋装の話してかえす。アルヂヤンチンの人来り三枚女(外人)猫裸体 デッサン三枚渡してやる。花房氏来り画三枚渡す」 [FT00514,122]
- 8月5日 「コロンビヤの表紙一枚朝作り手渡す。金夕方貰ふ。花房へ一枚渡す三枚分ノ残り一枚」 [FT00514,123]
- 8月6日 「安部さん二科ポスター持って来る」 [FT00514,123]
- 8月7日 「四十号かく小児二人の着物かく 大分出来たり」 [FT00514,124]
- 8月8日 「朝より四十号夕方五十号かく」「琉球大城土グンカン来ル」 [FT00514,124]
- 8月9日 「木寺来り小児のけんかの画かしてやる明日迄 大作八十、五十、四十何れもを少しづつかく」 [FT00514,125]
- 8月10日 「七時二科会へ行く大勢展覧会の下そうだん別にたいした話もなく戦争談多し」 [FT00514,125]
- 8月11日 「画家二人知らぬ人画見て貰いに来る。二科会の人」「一日八十号大作にかかる。」 [FT00514,126]
- 8月12日 「ビクトールの人英了とくる。安部さんと同時月光荘主人二科雑誌表紙たのみに来る。安部さんに切手スタンプデッサン渡す」「文科省の人審査官たのみに来てことわる 正宗と二人今年たのまれる」 [FT00514,126]
- 8月13日 「篠原氏画見て貰いに来ル、呑気な画なり吉日を選んでサインスルと言ふ。もう気がぬけて審査日迄画が出来ぬと言ふ野間の弟子だけの事あり。」「山路氏来り半切四枚渡す」 [FT00514,127]



- 8月15日 「五十号女二人の方描き出す。」「今日は五十号をかく。バック京満の景つける。」 [FT00514,128]
- 8月16日 「串本氏120其他持ち込んで見てやる。」 [FT00514,128]
- 8月17日 「花房の日本画二枚かく金なくて版画と交換す。ビクターの表紙出来原稿連記に二人来り印刷やくる名古屋の京本春水氏来る。百廿号茶紫色ビオレットマルスにぬる。用意する。」 [FT00514,129]
- 8月18日 「一日色紙廿枚 (内十八枚西洋女二枚猫)」「今朝月光荘の支店の人画百号外二枚見て貰いに雨の中来る」 [FT00514,129]
- 8月19日 「画百号愈々出征かき初む 午後五時ポーランド人アボカと女記者来り いろいろかいて写真うつして帰つて行く。」 [FT00514,130]
- 8月21日 ~27日 「二科審査」 [FT00509,023]
- 8月21日 「愈々今日二科搬入の日となる 今日明日」 [FT00514,131]
- 8月22日 「六時半日高来り七時半迄ポーズ 百廿号出征の画かき日高種子島の男故うまく出来て安心す」「四時上野へ行く 野間出征招集令で今夜出立との事 搬入 千五百突発するとの事、大勢画搬入東京市中に画を見る。」 [FT00514,131]
- 8月23日 「朝子供のけんか返却に木寺来ル、六時半より八時半迄百廿号の樹かき初む」「百廿号夕方迄かかり墓室等かき皆仕上げける」「四時半北川来り上野志保原へ行き打ち合せ会 二科皆集まる。二科にコミテを作る説出で、大に反対して帰る」 [FT00514,132]
- 8月24日 二科会審査「八時半東郷来り二人自動車で上野行き審査 例年の通り始む 大凡そ皆二三枚づゝとつて置く先づ皆喜ぶらしい。」 [FT00514,132]
- 8月25日 「東郷迎いに来て同行上野に行く 審査第一回全部2500余枚すませたのは三時」「松崎正吉愈々出征と決し今夜十時か明朝漢口に行くとの事で挨拶に来て兵営生活の強くなる事の話ありて帰って行く」 [FT00514,133]
- 8月26日 「東郷共に九時、第二回審査八百余枚五百人のもの一日で四百枚余落して第二回すむ、黒田等大阪より京上鍋井未だ見えず明日休む事となりて帰る」「池田さん来た由 夜英了来ル、早崎岐阜より帰る」 [FT00514,133]
- 8月27日 「東郷と朝鮮山口氏来、遊んで行く」「大作四枚を皆調べて仕事帰り三枚二人をぬる。鶴田氏来る」 [FT00514,134]
- 8月28日 「九時最後の審査三時に決定終了したり。涛友会リラ等皆入選して満足す。二枚入選の人々 桂ゆき子、広幡、山本敬輔、北の、林鶴雄、山路真護、鶴田、大城、加治屋、北島、日高、寺田 (三枚) 夫人二枚松下、荻野等、一枚の方は山田増田中野百足木寺河合、森、桑原、其他盛岡ノ人近□等旭河辺佐藤吉五郎 (二)、串本等皆崑ぶ事と思ふ、三輪の弟」 [FT00514,134]
- 8月29日 「今朝高橋運送画搬入す、東郷吉原上京して来て三越切つて貰ふ去年特選のため無審査」「朝七時より日本半切三枚かいて花房に渡す金出来たり 又日高来る、涛友会皆大喜びなり。昼東郷と二科へ行ききて陳列の事絵葉書袋等かき五時三善にて正宗東郷中川鍋井と新聞記者田沢初め大隅氏等六人招待記者会して十時かへる」 [FT00514,135]
- 8月30日 「上野東郷と行く、陳列始めて全員働く四時発表記者連来ル」「日高寺田等皆大喜び美術館前に雨中に集まる。」「串田岡山より電話あり喜んで居る 鶴田加地谷、大城リラ連中四人松下宮川成井、椎野、太田四郎等礼に来ル」 [FT00514,135]
- 8月31日 「二科初入選四谷見附迎賓西山一三男氏」「日高河合宮川礼にくる」「武藤来り色紙100枚500円でたのむとの事ことわる。」「夜、寺田二人小堀、増田、山田、木寺、来ル。北川、夜十二時帰る」 [FT00514,136]
- 9月1日 「北島来る旅行より帰りて沢田来ル、喜んで入選帰る。山路来ル」「東郷十一時二科へ行き、高岡宮本横井かきて二科似顔廿余人皆出来一層に菓子たのむ 六時に志保原へ行ききて総会皆決定す、自分の主張、特せん、北島、松下、加地谷、寺田等 会友、吉原、山口、藤川、栄子、等決定す」 [FT00514,137]
- 9月2日 「昼東郷夫婦吉原と二科招待に行く」「東郷正宗熊谷中川、濱田黒田鍋井横井、国枝、集まりて宮川のうなぎで明日の総会への案コミテを作るものを出して十時すぎ終る」 [FT00514,137]
- 9月3日 「三時-四時上野精養軒100円懇親茶話会で国枝の次ぎに挨拶す、六時より志保原で総会して愈々幹部comiteの人を正宗熊谷と決して五十オンスと□本、濱田、黒田鍋井国枝正宗熊谷藤田横井 東郷中川渡辺と決定して芽出度し、宮本送別会となる」 [FT00514,138]
- 「第25回二科美術展覧会」東京府美術館 9月3日~10月4日《竈の前 (那覇)》等4点
- 9月5日 「放送の原稿かく、画室の二畳かたづけエッチング機械出す」 [FT00514,139]
- 9月7日 「朝松下礼に来る、北島礼に来る 雑賀サイガ長谷川長女初女、礼に来る、英了有楽座の切符返却す。」「木子七郎来りて色紙渡す、巴里会理事会あれ共行かず 郡山市橋本萬右衛門氏画帖送ル」「初平へ一枚日本画かく」「郡山橋本氏へかく画帖、魚」 [FT00514,139]
- 9月8日 「木子肖像かく」「初平へ横尺人かく。送り出す」「安田さんの池谷さんの処へ行ききて西洋間改造の事たのまれて帰り自動車で送られる」 [FT00514,140]
- 9月9日 「・表具師来て棚橋さん屏風出来ル ・木子さん来り肖像出来デッサン大満足細君をたのみたし」 [FT00514,141]
- 9月10日 「日本画山路へかく野菜など始めてかいて見る」「山路八枚渡し」「新潟佐藤吉五郎なし本氏来ル」「東郷来り夫人来り銀座濱作へ行つて夕食へ行き銀座歩いてしるこたべて十時半帰り」 [FT00514,141]



- 9月11日 「鹿児島から来てるみや 初出征召集のため帰国」朝早く起き外人の人さしえに来て原稿置いていく。又日本画山路のもの等かく。」 [FT00514,144]
- 9月12日 「ニホンへ出す原稿外人浴衣姿と吾八へ色紙三枚かく、西山閣二氏来る、二科出品者」「中村研一來り海軍省より派遣画家五名の一人として承知してくれるかとの事 mille et 3 milleで100号二枚注文する由内々承知これ発表迄秘密」 [FT00514,144]
- 9月13日 「夕方五時藤島さんの帰り海軍少佐高橋俊栄、中佐水野茶介、附属出方巴里高松官のお伴で知って友人、来り愈々五人、藤島中村研、田辺至、石川寅治氏五人ノ一人として海軍より奏任たいぐうで一人多分早く漢口戦へ行く事となるらしく千と三千の札」 [FT00514,145]
- 9月14日 「池谷さんにステンドグラスかき上げる 小山内来てモデリアーニデッサンかす 今朝池内さんステンドグラスの原画七枚かく」「ピクチャーの本出来たり。見せてくれる(英了の分を) 夜コロンビヤノレコードBookかくサシエ 巴里ダミヤ、ミスタンゲット、ポアイエ、イボンジヨルデ」 [FT00514,145]
- 9月15日 「午前より午後までミヤンリンドパリ、の表紙コロンビヤへ三冊かく、四時渡す」「竹内来て涛友会やめたい意志俺れも同様なり。北川大にやるらしいとの事、竹内にコロンビヤノ仕事やる七十円くらいとの事」 [FT00514,146]
- 9月17日 「サンデー毎日に時局と戦争の原稿かく。」「昼から淀橋区役所へ行く休み、代表の処にて婚姻届を作成して貰い、磯浜より来た書類もあれば大凡そ出来て証人だけ父要となりて大久保に立寄りて父兄に従軍の事を話して喜んでくれる」 [FT00514,147]
- 9月18日 「海軍省より廿日水交社にて夕食の話あり。愈々出発せまる。」 [FT00514,147]
- 9月19日 「婚姻成立」「九時淀橋区役所へ婚姻届出して本日君代入籍と成る」「愈々昨日海軍省の招きで水交社へ行く早く行きたいので戦地へ気が落ち付かずオズオズして仕事もあまり手に着かず。」 [FT00514,148]
- 9月20日 「田辺元三郎ビターミングのポスター男性美新聞記者にかく」「雨の中水交社へ行く、藤島石井、石川中村研田辺と一緒に石山第一課長大佐水野中佐高橋少佐等夕食打ち合わせありて私に漢口方面と南昌飛行場爆撃と画題決定す廿七日出発と決す」 [FT00514,148]
- 9月21日 「宇部の肖像廿五号かき出す。海軍省昨日夜木更津に集会する事の電話と速達あり」「表具師来りて屏風(小)歌麿北斎、広重等はつて行く。秋田の人一木と言ふ画家くる」 [FT00514,149]
- 9月22日 「四時大地震ありて長い間ゆれて電気ついたり消えたり気味悪く驚く。肖像が今日午前中かく」「竹谷デッサンを見せに来て写真かへしてくれる」「高橋少佐と藤島田辺石川氏等四人館山に6時着し船室隊にて五十人位の夜間飛行十八才より廿位の人勇気元気美事なものたのもしきもの、海軍の海上の方も一寸見て、七時海岸ホテルに泊る」「海軍嘱託111号」 [FT00514,149]
- 9月23日 「7時館山飛行場に行きて海上陸上の船室を見て九時5分汽車木更津にて又バクゲキ機射撃□又ハ編たい飛行等見せてもらう」 [FT00514,150]
- 9月24日 「肖像かく凡そ出来上る。」 [FT00514,150]
- 9月25日 「外人へのさしえすこし五枚許りかく」 [FT00514,151]
- 9月26日 「十一時海軍省大本営に行き映画見る、石井、田辺中村石川氏等廿八日の飛行器座席なき由出立中止の相談を講ずる様」「中川と佐野繁二郎二科出品者来り Matisseへ紹介状かく」 [FT00514,151]
- 9月27日 「十二時十五分、水交社海軍次官山本五十六氏海軍の招待で壮行会 野田少将代理加藤大佐等皆六人揃い新聞班写真とられ記念撮影後すばらしき馳走ありて三時まで海軍軍事普及部嘱託仰付」「祝いの日、愈々出立の事明日ハ羽田近期となる。」 [FT00514,152]  
海軍省嘱託となり、藤島武二、石井柏亭、石川寅治、田辺至、中村研一と、芝公園水交社での従軍壮行会に招かれる。  
[[地を泳ぐ] p.79]
- 9月28日 「午前英了に本の表紙渡す」「二時半海軍館へ行って皆の壁画参考のため四時迄君代と見て置く」 [FT00514,152]
- 9月29日 「三時二科目へ君代と行く中川栗原渡辺等居て明日志保原で私の歓送会してくれる事となる。」 [FT00514,153]
- 9月30日 「午後明治神宮大久保にて父上初め一同に別れ門外迄父上来り握手して別れ」「海軍省にて千円と紹介状名刺貰い」「仕度殆ど出来る。」 [FT00514,153]
- 10月1日 「午後三時 東京駅 福岡行き 早崎フロココート 芝陸 增多や日動 其他」 [FT00509,023]
- 11月4日 「午前朝神戸未だ水害跡見える。東京へ午後三時半(廿五分)着」「北川涛友会連中高橋少佐外各一名武官朝日(横はま迄)来る」 [FT00514,155]  
「東京へ帰る」 [FT00509,023]
- 11月12日 「コロンビヤ シヤンソンドパリ レコード アルバム出来大評判との事」 [FT00514,157]
- 11月13日 「改造へ六枚原稿かく夕方五時渡す」「英了コロンビヤレコードのポスター届けてくる」 [FT00514,158]
- 11月14日 「貿易組合中央会海老原毅と言ふ人ニューヨークノ大壁画ノ件で来て一萬五千円位で仕事してほしいと話しあれ返事するとの事、又々大仕事が入って来そうなり。」 [FT00514,158]

11月16日	「写真飛行士の分三十枚許り焼く 皆出来よし」	[FT00514,159]
11月18日	「いろいろ原稿かく一日机の前で仕事」	[FT00514,160]
11月23日	「望月大爆笑さしえに來りてその場でかく 手紙いろいろ原稿整理す。」「新宿三越に油え六枚かす。」	[FT00514,163]
11月24日	「カンパスに兵隊一人かいて夕方日々高松氏に渡す ポスターに使用のためなり。」	[FT00514,163]
11月25日	「婦人画報表紙かく 原稿 海ノ日本かく」	[FT00514,164]
11月26日	「朝岡田八千代さん來て外務省の沢田さんの知人アメリカ人肖像の事で家見て歸つた後に花柳すみと藤蔭静枝二人來り上らず歸る」「吾八の半切かく 松と島、油画兵隊カバンすこしかく。」	[FT00514,164]
11月27日	「昼すぎ新宿三越田辺元三郎展に行く 一枚甲州ノ富士売れた由」	[FT00514,165]
11月28日	「放送原稿初める」	[FT00514,165]
11月29日	「午前文藝春秋の画扉画かく。」「午後飯田美嵯子さんのたのみの表紙かく、又池谷さん電話あり」	[FT00514,166]
11月30日	「放送の原稿かく」「四時半外務省次官沢田美佐子さんの茶会へ行く。」	[FT00514,166]
12月	「藤田嗣治展」フォブール・サントノレ画廊	
12月1日	「放送原稿一日かかる」「名古屋に画かす」	[FT00514,167]
12月2日	「午前中放送原稿かく」「高木信さんなくなった由中村にきく」	[FT00514,167]
12月3日	「木子さん來て壁画大庄二つの話あり、船室会社高沢の手紙戦のえ貫に行く。婦人公論へ画渡す 初平電報來ル」	[FT00514,168]
12月4日	「山本と言ふ画家等來ル」	[FT00514,168]
12月5日	「毎夕洪沢さんの本等の押うし寄附ことわる。」「初平150円くれる、芦原英了へ帯一本やる 山路氏へ15円かす、喜和子一寸來ル、今朝音楽レコードの表紙渡す、一年分の色彩のもの出来る	[FT00514,169]
12月7日	「午前中拓殖奨励会の原稿かく。実業日本へさしえ渡す、山本不二夫序文かく。」「日々高氏ポスター校正持って來ル、よろし」	[FT00514,170]
12月8日	「山路來て一日居て百廿号五十号はずして仕舞う。」	[FT00514,170]
12月9日	「山路來て四谷見附外とりやとこうしようして貰って兎を持って來てもらって写生す。午後も写生、山路の金來る。」	[FT00514,171]
12月10日	「鳩一日写生す、池谷さん來る、スケッチ、ラヂオの箱作る事相談す」	[FT00514,171]
12月11日	「一日山路□□の写生半切十枚横物三尺かくので大変」	[FT00514,172]
12月12日	「山路來る」「黒田ほう正妻美子資生堂1人 島崎□助氏」	[FT00514,172]
12月13日	「十一時外務省次官沢田夫人オランダ、ポーランドアメリカ人連れて來て肖像画の事相談してかへる 午後二時国立の商大に戦争の講演に行く」	[FT00514,173]
12月15日	「午後十時麴町けいさつへ行き岡山県和氣郡片上町大瀧社宅五四 今井榮次郎詐欺ノ件に就イテ刑事室ニテ話アリ」	[FT00514,174]
12月16日	「島崎さんへ一枚デッサン渡す、文藝春秋社へ四枚扉え共デッサン夜迄かかつかく」	[FT00514,174]
12月17日	「みみづくを朝四五枚スケッチす」「猫一枚かいて岡登の注文すます、磯谷健吉十二月三日静岡で永眠悔状出す」	[FT00514,175]
12月18日	「朝うづら三羽写生のもの届く」	[FT00514,175]
12月19日	「婦人ノ友へ画、とりにくる渡す」「芦原姉喜和子挨拶にくる英了たべに昼來る 山路夕方來る」「主婦ノ友家庭訪問記を書き度しと夜來る時節柄故ことわてかへす 京都染織新聞、広島実理等來年のことわり出す。來年は皆ことわる事にする。」	[FT00514,176]
12月20日	「雲雀かく山路來る」「夕方山路と三人新宿に行く」	[FT00514,176]
12月22日	「山路野村生命社長連れて來るとて來ず」「出版部朝日林美美子の本出来□像さしえあり」「夜山路來てモデリアーニ、ドラム、ロダンの事見せる、コレクション銀器等見せて又賣る事 アメリカへ行く話など」	[FT00514,177]
12月23日	「山路にモデリアーニドラムロダン等託し (昨夜)また午後交渉に行くとの事、昨日の鬼うれて今日海老かいて渡す。」	[FT00514,178]
12月24日	「英了さん來る、山路水ばん売ってくれる金メダルも 岡登親戚と來ル」	[FT00514,179]
12月25日	「上海高沢よりも安心の行く手紙あり 軍艦長良細谷中佐よりよき手紙あり。」「早稲田大隈会館にて喜和子林さんの夫人となり式あり」	[FT00514,179]
12月26日	「山路と価格表作る」	[FT00514,179]
12月27日	「山路來る、大阪へ一時に立って行く」	[FT00514,180]
12月28日	「油絵かく四号 中村姉來ル、夜猫、魚等かく」	[FT00514,180]
12月30日	「銭形平治の作者へ猫小品油画かく。芦原姉と喜和子來ル」	[FT00514,181]

## 1939 (昭和14)年 53歳

- 1月4日 「大カンバス200号三枚午後一人ではる。」「愈々一月十二日北川と遠洋航海に行く事に決定」 [FT00515,002]
- 1月5日 「三十六枚の写真南昌攻撃の勇士の写真のばす」 [FT00515,003]
- 1月6日 「二百号二枚の南昌の大作デッサン初む海軍荒鷲飛ぶ夜も遅く迄仕事す。」 [FT00515,003]
- 1月11日 「夜北川松下愈々海王丸で三月廿日迄航海に出るので別れに来る。」 [FT00515,006]
- 1月19日 「夜鶴田君来り大作見て帰る。」 [FT00515,010]
- 1月20日 「大作格納庫等なほし始めて大に改める事にする」 [FT00515,010]
- 1月25日 「大作かく飛行機」 [FT00515,013]
- 2月6日 「大作南昌爆撃かいて完成してサインして愈々漢口攻略戦にとりかゝる事として安心うれしき日。」 [FT00515,019]
- 2月15日 「華族会館 ベルー前首相 リヴァ・アグエロ氏」 [FT00509,033]
- 2月18日 「山路さんへ渡す日本画かく五枚出来る。」 [FT00515,025]
- 2月20日 「山路へ渡す日本画大三枚小二枚かき皆すませて三枚かしとなる。大阪へ送る事となつた。」 [FT00515,026]
- 2月23日 「海軍従軍画家第2回展」東京、日本橋高島屋 2月23日～27日
- 2月26日 「山路写真渡し日本画朝より八枚かく」 [FT00515,029]
- 2月28日 「漢口攻略戦かき初む大作。」 [FT00515,030]
- 3月2日 「海軍省にて八重山の写真借用す」 [FT00515,031]
- 3月4日 「嗣雄さんの処の屏風かいて奥五迄出来昼後持つて行く」 [FT00515,032]
- 3月5日 「仕事大作漢口の遠景船舶等かく」 [FT00515,033]
- 3月6日 「十一時半外務省沢田次官に会い、アメリカ第三洋長室にて宗おさんに会い課長察君友人、東京府庁へ電話してくれ  
るとの事パスポートの請求書の紙貰いて安心して帰る。」「海軍省、水野高橋其他二人士官見物に来る。淀橋区役処へ  
戸籍抄本たのミに行く明後日出来の筈。」 [FT00515,033]
- 3月8日 「大阪木子速達電報で返事又電報14日大阪にて壁画かく事に決定す。」 [FT00515,034]
- 3月11日 「静物6号かき出す。」 [FT00515,036]
- この日の日付でパスポートが発行される [FT00594]
- 3月12日 「油絵いろく仕上げて小那覇かき上げる」 [FT00515,036]
- 3月14日 「大阪へ立つ」 [FT00515,037]
- 「大阪 田村酌次郎 (35才) 夫人 安田善助ノ長女 鹿、壁画 廿二日帰京 吉田 夕霧 伊佐衛門 茨木童子 □田  
屋八千代」 [FT00509,033]
- 3月15日 「田村さん処へ行ってかき初む。」 [FT00515,038]
- 3月24日 「北川に額縁枠メキシコ小供油画水彩パレット、絵具油等皆上げる。卅枚許り。」 [FT00515,042]
- 3月27日 「大蔵省 為替送金」 [FT00509,033]
- 3月30日 「スイス大使館」 [FT00509,033]
- 4月 君代夫人とともに鎌倉丸で、横浜からアメリカ経由でフランスに発つ。[[東京朝日新聞] 1939年4月7日、『美之國』15-4, p.103]
- 4月1日 「帝国ホテルで宇野千代北原武雄の結婚披露を吉屋信子と私とで友人親戚百人許り村岡花子司会私が第一番にあいさ  
つ」 [FT00515,048]
- 「帝国ホテル 宇野千代北原武夫 吉屋信子 私、仲人」 [FT00509,033]
- 4月4日 「佛大使館 昼食」 [FT00509,033]
- 4月6日 出帆 [FT00515,050]
- 「六時廿分 鎌倉丸 横濱出帆 小雨寒し 午後二時四十五分 臨港列車大勢見送り」 [FT00509,033]
- 4月14日 ハワイ着 [FT00515,054]
- 「六時布哇入港見物」 [FT00509,033]
- 4月20日 桑港着 [FT00515,057]
- 「桑港着 Park見物 オルヒルド仮装会 準備」 [FT00509,033]
- 4月22日 「博覧会见物ポッチチェリープイナスの誕生見る」 [FT00509,033]
- 4月27日 「New Yorkへ出発 ホテル 買物 靴」 [FT00509,034]
- 4月30日 シカゴ着 [FT00515,062]
- 「八時半シカゴ着」 [FT00509,034]
- 5月 パリに到着する。モンマルトルのオルドネ街に住む。[[試論] p.488]
- 5月1日 「紐育着」 [FT00515,063]
- 5月2日 「乗船」 [FT00515,063]
- 5月3日 「六時半出帆トナル」 [FT00509,035]

5月8日	「巴里着」 「七時Southanpton着フランスへ一時半着二時廿人号 Havre着入港 巴里へ五時三十二分 夜高野訪問」	[FT00515,066]
5月9日	「家さがし」「カルパンチエに会った Celia Mme Zakに会ふ」 「第1回二科九室会展」東京、日本橋白木屋 5月9日～15日《静物》	[FT00509,035]
5月10日	モンパルナスで画室探す。	[FT00515,067]
5月11日	「家きめる。」	[FT00516,003]
5月15日	Konoから電話が来て、Youkiとの離婚のことや大作のことについて話す。	[FT00515,070]
5月16日	「初めて日本を出て以来猫二枚色紙かく。」	[FT00515,070]
5月18日	Youki Desnosのところへ行く。藤田の静物、大裸体、風景などが残されていた。 「藤田嗣治日本画展」大阪高島屋 5月18日～21日	[FT00515,071]
5月20日	8時にYoukiと夕食の約束	[FT00516,005]
5月21日	ランプイエに行き一日遊ぶ	[FT00516,006]
5月27日	鶴見、長谷川、出島等に会う。夜に日本人会素人展を見に行つた帰りに、パッシーの満鉄の坂本のところへ行き、コレクションを見せてもらう。	[FT00515,076]
5月28日	日本人会に参加。	[FT00515,076]
6月3日	九月初旬にHaye Rotterdamで展覧会をすることを約束する。Mazarine, Youkiの所へ行く。	[FT00515,080]
6月4日	Konoと日本人会へ行き、美術協会総会、藤田の歓迎会があった。岡、鈴木、高野、長谷川、板東、荻須、鶴見、瀧川、上永井等に会う。	[FT00515,081]
6月5日	マティスとピカソの白鳥の湖、奇妙なファランドール、三角帽子を見た。ピカソ、シャガール、バロッキエ、アスラン、ガルニエ、ジルマルシェリスなどと会った。	[FT00515,080]
6月7日	「猫八号一枚かく」	[FT00515,082]
6月8日	Konoのところへ行き、荻須もきた。	[FT00515,082]
6月9日	「一枚アメリカ小品かく」 Youkiや、マドレーヌの母親が来る。ベルネーム=ジュヌが展覧会がしたいといっている。	[FT00515,083]
6月10日	モンマルトルへ行き、石段の上から見下ろしたところを写生する。Konoに日本人野球大会に誘われる。素人画家対日本美術家協会。藤田が応援団長をする。	[FT00515,083]
6月11日	8号を仕上げる。	[FT00515,084]
6月14日	平賀が原画女二枚持ってきて版画にしたいというが断る。	[FT00515,085]
6月17日	日本を出て初めて絵が一枚売れる。	[FT00515,087]
6月18日	「色紙一枚かく美しい好きな顔」	[FT00515,087]
6月20日	「色紙何枚かかいて見るよく出来たり失敗したりして午後くらす。」	[FT00515,088]
6月22日	「大使館に行き、二人して日本人会にて宮崎、佐藤、えがみ博士夫妻と昼めしたべ」 「Vignier 4 rue Lamennais VIII Ely 4774に能衣装見に行き宮崎氏ルノアール5000, 自分セザンヌ800 佐藤800で買って大使館自動車でgalerie malesherbes 27 Bd xxに行き濱中の個展うるし見て」	[FT00515,089]
6月24日	「歯医者にEdition moraucéeのFoujitaに猫の画かいてやってDr Morizot喜ぶ」	[FT00515,090]
6月27日	「朝一度展に行く長谷川の静物一枚にさせたとして俺れも一枚の方よからうとて一枚にする。」 「日本人画家展」パリ、シャルパンティエ画廊 6月27日～7月13日《芸者》《角力》	[FT00515,092]
6月28日	162 rue Ordeurに画室がきまり、家賃を払う。	[FT00515,092]
7月1日	「歯医者に行くMorizot夫人に日本昔噺の表紙に女のえの顔をかいて上げる。」	[FT00515,095]
7月2日	「油画下がき七枚色紙四五枚かき」	[FT00515,095]
7月3日	「カルデロンフキガロで十月個展南にする事に決定」 「夕方色紙たくさん色かき等つけて昨日のを完成した夜猫4号一枚デッサン」	[FT00515,096]
7月5日	「油画下がき猫かいて」 猪熊のところへ行き、大河内、森、里見、福沢、岡本太郎などと会う	[FT00515,097]
7月6日	「一枚色紙猫かき」	[FT00515,097]
7月7日	「モダリアーニ マチス、ピカソ、バンゴツホ等近代思想を不健康にするとしてヒトラー スキスで売り飛ばす。流石にフランスの画は高價だったとmatchに出てる。今朝 le petit lit Blancの本に画かく事電話でたのまれる。」	[FT00515,098]
7月8日	「イノクマ」	[FT00516,019]
7月9日	「十二号廿号等素描をすみでかくうまく行かず」	[FT00515,099]
7月10日	Raymond Gidにブチリブランの絵のことを話し、描く約束をする。	[FT00515,099]



7月13日	「画をとる事 日本人会展 午後六時閉会10h 1/2」	[FT00516,021]
7月15日	「四谷喜久姉とさつまさんの手紙来て久々にて日本の様子分り皆無事との事うれし」	[FT00515,102]
7月22日	「午後三時頃レーモンジツド氏来り君代の顔素描を持つて行く。一番東洋風と言ふ。全時に猪熊福沢氏来り。」	[FT00515,105]
7月24日	「中村と鶴田に漢口突入の画の事たのむ手紙かく」	[FT00515,106]
7月30日	「花一枚十号に細かくかき出す。」	[FT00515,109]
7月31日	「三十号魚のえ昼迄に作り上げ」	[FT00515,110]
8月3日	「犬藝当の画十一匹かいて下図からトアールへ本がきして夜になつてかげつけ四十号」	[FT00515,112]
8月5日	「大作四十号犬藝出来上りたり。」	[FT00515,113]
8月6日	「一枚 Square Carpeaux の自動車乗りのランデブーを0号にかく二時半高野さんのりう子さん荻須二人猪熊と川端玉章の孫さん日本から一昨日着いたとて来る。」	[FT00515,113]
8月7日	「小女の顔六号にかく展覧会のものでなし」	[FT00515,114]
8月10日	「0号小品モンマルトルのペンキ屋の画かゝりてかく夕方迄出来上る。」	[FT00515,115]
8月11日	「モンマルトルの全景窓より見たる処十号にかき出して線がき一通り色ぬりて午後となる」	[FT00515,116]
8月12日	「窓からの全景十号かいてこれでオランダへ送る個展の世五枚の画全部出来となる。」	[FT00515,116]
8月17日	「三号下のカツエを油画でかき初めて終り、色つけもすませ」	[FT00515,119]
8月21日	「六号一枚バルコニから向いの家をかいて」「其の内正面のけしき雨にて美しく急にかきたくなつて十号初め」「かきつゝ、け二枚五時半に仕上げ」	[FT00515,121]
8月23日	「今日ドイツ、ロシアと條約すると言ふので日本は全くだしぬかれた事となり憤がいしてる事と思ふ 外交と言ふ事ハ全く何う世の中が変わつて行くものやらヒトラーのやり方も随分乱暴と思はれる。」	[FT00515,122]
8月24日	「今日程世の中の恐ろしい人顔が狂気じみた事は歴史上にもない事で機械文明の発達がこれ等の障害を起こした事となる。郊外ノ門跡に行き二枚三号スケッチシテ帰り油画にかく」	[FT00515,122]
8月25日	猪熊とベルギュー迄の切符を買う。	[FT00516,033]
8月27日	「ベリギュー泊り」	[FT00516,034]
8月28日	「Les Eyzies レゼジー」	[FT00516,034]
8月30日	「グランロック見物」	[FT00515,125]
9月	猪熊弦一郎夫妻と一時ドルドーニュー州レゼジー村に過ごす。[[21世紀を生きたモダニスト-猪熊弦一郎展]カタログ p.99]	
9月1日	レゼジー村にてチャップブラン洞穴見学	[FT03311]
9月4日	「停車場の方かいた処イノクマかき橋の方自分六号かく」	[FT00515,128]
9月5日	「グロッドアンフエールへ三人で行く」	[FT00515,129]
9月6日	「La mouthe 洞穴 ラムツト 彫刻と家の画あり」	[FT00516,036]
9月7日	「Lauerie Hauteの地層見物に行く」	[FT00515,130]
9月12日	「赤ん坊 Toger et claudeかく」	[FT00516,038]
9月13日	「Roger et Claudeを一寸鉛筆で写生して油画とする」	[FT00515,133]
9月14日	「母子愛の処一日画をかく」	[FT00515,133]
	「犬かく may」	[FT00516,039]
9月16日	「十号の子供の画等仕上げ」	[FT00515,134]
9月19日	「新聞買ふロシアポーランドに入りて大に始め出した由大きく見える。支那事変の事も新政府南京に作りシヨーカイセキをアメリカに逃命さす等と出る。コレットを画く中々うまく出来ず。」	[FT00515,136]
	「藤田嗣治近作日本画展」名古屋丸善 9月19日～23日 《踊り子》《マドレーヌ》	
9月22日	巴里着。	[FT00515,137]
9月26日	「日本人画家集会二時とあり。」	[FT00516,042]
9月28日	「ベルギーのPalais des Beaux arts」「展覧会五十号十号迄二点 十号以下四点 十月十八日搬入日今日出品申込書出す筈であった。萬事中止となった。」	[FT00515,140]
10月3日	「戦争は未だフランスは大した事なく、前線のもめあい位で今の処巴里ハ危険なし。」	[FT00515,144]
10月9日	「竹谷の二科絵葉葉来たり、とても構図面白し伊太利辺りの画を見る様だが仕上げは未だ出来て居らぬ」	[FT00515,147]
10月18日	「夜迄いろくモードのデッサンけいこしたりしてペン画かいて見る。一つの約束あればそれさへ知れバシックなものは訳なく出来る。」	[FT00515,151]
10月19日	「油画窓からかき二枚とも殆んど仕上げる。面白くなる。やっとなまけくせとれて仕事したくなる。」	[FT00515,152]
10月21日	「二時二人して珍らしく猪熊の処へ行く六枚レゼシー以後かいて居たとの事。大分面白く色も大によろしエナメルの色いも大にあり。」	[FT00515,153]

10月23日	「果物を午前中野菜を午後四十号に線がきの油画でかき出して大作を初める」	[FT00515,154]
10月25日	「岡本太郎ソルボン試験及第の由喜んで」	[FT00515,155]
10月27日	「一人画室をかいて見るゴッホの気持を出して大家に引きづられて仕舞う。」	[FT00515,156]
11月5日	「十時迄岡本太郎来て動かず」	[FT00515,161]
11月8日	「岡田三郎助先生死去された由始めてきいて身ぶるいして寒くなり八千代さんよく看護したとの事で安心した。」	[FT00515,162]
11月11日	「モリソー肖像終了。空襲あり」	[FT00516,055]
11月13日	「昼から油画蚤の市の横の家油画かく」	[FT00515,165]
11月17日	「益々老眼になつて来て何うも新聞等読む時眼鏡なしの方がいい、がやはり近く持つて来ねばならず油絵等かく時ピン トを合せるのが難しくなつた。」	[FT00515,167]
11月19日	「荻須高野君代と蚤の市君代始めて行く。」	[FT00516,058]
11月25日	「朝日に藤田夫妻をはじめ巴里紙面邦人は十五名となった」とあり、十三日の読売にエツフェル塔と俺れの顔写真戦 車へ登音ひめて秋色深むパリの街を紙面の藤田画伯も近く引き揚げ、と言ふ見出しで一時消息を気遣はれて居た藤田 画伯ハ九日飄然とパリに舞いもどつて来たが近く日本へ帰るらしいとあつた。」	[FT00515,171]
12月3日	「廿五号小供往来で見た立像かき」	[FT00515,177]
12月9日	「夢の中に見た様子をキャンパスにかき出す廿五号二人の愛人の図であつて木炭が油に入つて面白い効果を偶然に発見 してまた一ツ領地を得た様な気がして」「小児食卓にその玩具と向つて老婆ナフキンかけてやる処キャンパス張りデッ サンとる」	[FT00515,178]
12月12日	「一号の便処の画なほしたりして」	[FT00515,179]
12月13日	「菊江さんポーズ第二回」	[FT00516,064]
12月27日	「静物インキ壺とスイトリ紙の油画かき上げる」	[FT00515,187]
12月29日	「小児の顔油かく」	[FT00515,188]

## 1940 (昭和15)年 54歳

1月1日	「十一時大使館 沢田大使」	[FT00519,023]
1月3日	「デスノス十日間戦地から帰ったとて呼ばれて」	[FT00520,005]
1月4日	「ゆきの処へ行き前線から帰ったデスノスに会つて」	[FT00520,006]
1月5日	「上長井来て絵二枚渡す色紙女と小児ペテルデス昔私の洋服や今は堂々たる画商となつて居 夕方荻須高野猪熊来て 上永井の自動車でボエシイのペテルデスに届け」	[FT00520,007]
	「日本人沢田大使歓迎会」	[FT00519,025]
1月7日	「渡辺夫人来てポーズして絵一枚横顔出来」	[FT00520,009]
1月8日	「油画クラシック風の小児かいて仕上げ」	[FT00520,010]
1月10日	「渡辺夫人来て初めて近来にない天気ポーズしてくれてよくかける」	[FT00520,012]
	「薩摩着巴里へ着く十日頃との事。」	[FT00519,027]
1月11日	「薩摩氏訪問してくれる」	[FT00519,028]
	「渡辺夫人ポーズに来る」	[FT00519,029]
1月13日	「渡辺夫人ポーズして今日デッサン出来」	[FT00520,015]
1月15日	「ギャラリーカルミンから電話で展の事き、つけて自分の処でしてくれないかとの話」	[FT00520,017]
1月17日	「渡辺夫人肖像を大細長トアールへ全身細筆でかき込む一日仕事」「夜猫デッサン一枚油画のキャンパスに写して細がき し」	[FT00520,019]
1月18日	「渡辺夫人肖像第二回目油画かき猫もかき上げて」	[FT00520,020]
1月20日	「渡辺夫人のポートレートも進捗する」「蚤市上から中下と歩いて」「ゴブランの布八十法 (百と言ふ) 買って帰り」	[FT00520,022]
1月21日	「宮本が日本に帰つて読売に藤田は猪熊をつれて田舎へ行った等と出て居た相だ」	[FT00520,023]
	「荻須の処猪熊上長井等きて夜高野の処へ集まる。」	[FT00519,033]
1月25日	「昨日かいた猪熊の処での清水氏のサイクン油画なかよく出来て気持よし」	[FT00520,027]
1月27日	「午後七時日本人倶楽部美術家新年宴会30法」	[FT00519,036]
1月29日	「朝から細長キャンパスに犬かき后から四十号猫の争鬪油画夜九時半迄かく」	[FT00520,031]
1月30日	「朝から猫争鬪の画一日か、って十四匹を描き加へて別に疲れもせず雨の一日を画室で暮らして夕方荻須高野訪問して」	[FT00520,032]

- 1月31日 「何んな風に発展するか、傑作を作らねばならぬ仏人が見て驚く様な仕事をしなければならぬ誰れにも出来ぬ仕事であればいゝのである。自分のオリジナルな好きな仕事が出来て来た。廿八日から仕事愈々始めて愈々巴里個展計画の仕事思ふ様に出来て面白くなる。」 [FT00520,033]  
「犬猫大作かげつけ 海軍へ三枚南昌デッサン寄付」 [FT00519,038]
- 2月1日 「シャガール展に行く」 [FT00519,039]
- 2月2日 「犬猫油かく」 [FT00519,039]
- 2月4日 「犬の画すこしかく」 [FT00520,038]
- 2月5日 「ベルナル画商夫婦来て節約して二千五百法持って来て画油画小児と女の額等持って行く 何うせ安いが戦争で仕方がない。すこしでも金にして置く方も得策だと我慢し」 [FT00520,039]
- 2月9日 「朝マドリッドの守屋大佐ゴヤの本送ってくれて嬉しく研究する処多し。うれし。」 [FT00520,043]
- 2月10日 「今朝はトアール一枚張りかへただけの仕事で時間がたって仕舞う。昼から猫を廿五号にかき出し」 [FT00520,044]  
「猫かく」 [FT00519,043]
- 2月11日 「大使館で出嶋春光啓太郎氏九日午前九時永眠された事を知り驚く。十三日三時ペーラシエーズフルクレマトワールに集合の事」 [FT00520,045]
- 2月12日 「猫二枚廿五号仕上げにかかり一通り色ぬり上々出来今日程寒い日はなし。マダムパンフネ五時半六時に来て肖像デッサンたのむで行く」 [FT00520,046]
- 2月13日 「猫二枚仕上げで四十五号二枚プレバレする」「二時荻須高野来て出嶋啓太郎春光葬式に行く事となり上長井来てDr Cherel歯医者フュサモレ等と六人ペーラシエーズに行く。寒しくフル、クレマトワールにて火葬。其の間日本美術家協会代表して弔詞を速座に作って自分よむ」 [FT00520,047]  
「3h ペーラシエーズ墓地」「出嶋春光葬式」 [FT00519,045]
- 2月14日 「マダムパントネを三時に待つ」「耳輪首飾り真珠とダイヤうで輪指輪ダイヤツクメの夫人ポーズドレスと家で着かへたりして四時に終り廿才も若く出来て亭主 (モンマリ)が無喜ぶだらうと大喜びで自分で運んで帰って行く」 [FT00520,048]
- 2月18日 「自分パントネの夫人肖像大小かき上げ」 [FT00520,052]
- 2月19日 「パントネ主人来て肖像大喜びで持って帰る」 [FT00520,053]  
「肖像渡しニツ Pintenet主人」 [FT00519,048]
- 2月25日 「高野渡辺二人来て先きに蚤に行く。渡辺下の蚤で英山二枚十法ツ、で買い商人これは藤田だと言ふ、こゝに藤田が居ると渡辺言へば髪をのぞいて見たり耳輪が無い等と言ひ大勢集まった女達が俺れにこれかいたのかと版画をさすのでそうと言ふ。パイプくわえた自画像あれば直ぐにでも買ふ等と二人の商人言ふのをきかぬふりして逃げる。下と中への小路でピカソを見出し兵隊さんの商人百五十を百世にして買ふ。本物と言ひ他の商人も藤田をガッテして安くしてくれたのだ。オータンチックだと言ふピナスの焼物二百其他十七世紀のもの等買って渡辺八枚古い油画等買ってタキシーで高野へ帰り」 [FT00520,059]  
「130 ピカソ 200 ピナス 買ふ 蚤市」 [FT00519,051]
- 2月27日 「犬と人形の画久し振りて色つけて見たりしてくらす」 [FT00520,061]
- 2月28日 「六時リベルテの記者□しさん来てフランストドイツのちがいがアンテルビュー」「ニスに毎年の様にくるオランダの画商ホテルバンドームから手紙よこしてアムステルダムで展覧会したとして許可たのむでくる。」 [FT00520,062]
- 3月1日 「ハレードシャイヨーにアンデパンダンに見に行く荻須いゝ、処にかゝってコメジイフランセイのセツシエ氏 (俺れの風景持ってる人) 君代を美しいだとして申してもほめてコンケットする」 [FT00520,067]  
「サロンアンデパンダン2h」 [FT00519,054]
- 3月3日 「上長井荻須とベルサイユ散歩」 [FT00519,055]
- 3月4日 「朝芦原から手紙又読売に松尾の出たら目の記事私の名等出て君代怒って見っともない世間は本当にすると言ふ様な事で悲観して機嫌悪くする」 [FT00520,070]
- 3月5日 「マリヤヌにさしえ三枚両方とも速達で出しに行く」 [FT00520,071]
- 3月6日 「サロンドートムへ出品の旨申込書今日の返事出して」 [FT00520,072]
- 3月7日 「昼間コーランリールで二枚額とりて支那人支那風景入れてデッサン二枚と共にカルミン迄届ける」 [FT00520,073]  
「Bozanson de Wagner maggy Rouff 136 av. Champs Ely envoi d'œuvres chez carmin デッサン 1500 デッサン 1500 大人 250 北京 2000」 [FT00519,057]
- 3月8日 「無駄使いをやめて立派な蒐集を持って日本に帰らうと昨夜一人で計画して考えて見る。モーセザヌは手に入ってる」 [FT00520,074]  
「昼前から一枚猫かき出す」「猫と女 (ねてる) 二枚六号かき」 [FT00520,074]
- 3月9日 「渡辺面白くなしこの頃変なり例の通り自慢やでポートレート中止から気まずし」 [FT00520,075]  
「巴里日本美術家協会展覧会搬入日本人会へ六号以下二点迄」 [FT00519,058]

- 3月11日 「油画すこしいちぢたりしてテラスからポピュレールの広告の処かき又一枚ロルドーギユの百姓家かく」 [FT00520,077]  
「Vernissage 15h-19h Les amis de 1914」 [FT00519,059]
- 3月13日 「madeleineの母人来てシャリテをうったへたりする」 [FT00520,079]
- 3月14日 「昨日の田舎の室内の画かき上げ」 [FT00520,080]  
「リベルテの記者来る。」 [FT00519,060]
- 3月16日 「オランダの画商ハルトマン氏秘書と二人来てアムステルダムで展する事に話極めて手紙で承認書かいて出す」「台処食堂の画をかき初め風呂に入らず十時頃迄面白くなってかいて」 [FT00520,082]
- 3月17日 「台処の画をかき初め教会田舎の室等一日いちぢてる」 [FT00520,083]
- 3月19日 「額縁ぬりいろいろ水色くろ。彫刻灰色等四十号いろいろやって見て何うしても面白くなる。小品の上方出来となり」 [FT00520,085]  
「envois Peinture 19 mars 8h-midi 20 2h-5h extremite aile Passy Bd Delessert」 [FT00519,063]
- 3月20日 「荻須とサロンドートム持ち込み猫のけんか四十号持って行く」「それで十二法五十は高い等と言ふ昼から猫と家内田舎家持って行く事にする」 [FT00520,086]  
「サロン持ち込み」 [FT00519,063]
- 3月22日 「油画台処犬と人形等手を入れて」「カルミンより電話金のない人で小供のデッサン欲しいとて千五百のを千にまけてくれとたのまれて諾してやる」 [FT00520,088]  
「油画かく」 [FT00519,064]
- 3月25日 「バックの鶏ドラジエを一枚かきフアムドメナージの娘と言ふをかき又バルコンから下の通りの画を一枚都合三枚も油画かいて一日寂しい祭りの日をくらす」「今夜日本人会で澁川武官坂本満鉄の送別会あり荻須に日本画三枚澁川さんに届けて貰い」 [FT00520,091]  
「バックの鶏 femme de ménageの娘 Ordeuer街三枚かく」「Carmine展終了」 [FT00519,066]
- 3月28日 「午前中君代のような長い顔の銅板の様なせんでか油画かきおはり」「大裸体の奇妙な東洋人とも西洋人ともつかぬもの長髪的女トアールに書き出して夕方迄夢中でかいて面白いものが出来たな気がして来た」 [FT00520,094]
- 3月29日 「一日大作女のかげ下の岩など絵かき初めてうんくかき」 [FT00520,095]
- 3月30日 「朝から女裸体人魚にかへることにして足を魚の尾にかきかえ」「人魚のなまざバック黒出来君代もこわいと言ったのがだんく美しいに見えて来て」「大作の様な気がしてきたらしく自分もこの頃のない面白い画出来て大満足するどんく思ったものかく事にする。一つの成功だ。ちゅうちよする事なく思った事すべしと思ふ」 [FT00520,096]
- 3月31日 「海中の気分で画いて人魚のえ面白くなる。油画ぬり始め」 [FT00520,097]  
「Carmine展終了の事となる」 [FT00519,069]
- 4月1日 「午後二時サロンドードムへ行ってみる事。」 [FT00519,070]
- 4月2日 「黒いヤミになって居た猫争鬪のバック半分上黒空にしてサロンドードムに行く迄仕事し」 [FT00520,100]
- 4月3日 「猫争鬪のバックを大仕事して悉くかえて一匹黒猫等にしてすっかり様子変はってとてもよくなる 小二枚大一枚かんばすのかきそこない色でぬって下ぬりし渡辺夫人細長カンバスを消してこれ亦白くして消して仕舞う。渡辺から何んの話もなく中止とする 荻須の処へ行く」「昨晚パリソアールにバンドンゲン、ウトリロ、マチス三人の事出てたとて見せてくれる」 [FT00520,101]
- 4月5日 「去年から画室にかけて置いた静物のバック窓かいて鳥を一羽飛ばせて猫の頭かいて仕上げる事にして四時半頃リュードラベイに行って写真人名字引のために写して」 [FT00520,103]
- 4月6日 「鳩のとまってる煙突のえかく。」 [FT00519,072]
- 4月7日 「アイロンかけてる女の小画かく。この假日本へ帰るのもくやしい事だ、いいものすこし買い物して帰りたいと君代が言ったりして早く戦争がすめばいいと思ふ。戦争と言っても巴里に居てハ別に危険もないがいい画がどんく売れる時が来てくれ、ばい、のだ。皆が金を手離す時がくればいい、ので何れは平和も来て画も売れる時が来るのはちがいないが糊サて何時の事か待ち遠い事である」 [FT00520,105]  
「アイロン押してる女窓のえかく」 [FT00519,073]
- 4月9日 「赤ん坊の手をねじる様な迅速な独軍の侵入とか上陸とかせん領とか余りブルタルでまた容易な事だと思ふ人道上の行為として嫌な気がする」 [FT00520,107]
- 4月13日 「裸体かき出して素描したがうまく行かず中止」 [FT00520,111]
- 4月15日 「向いの家屋 (右手) 正面のサクレキュール、室内鏡等三枚小品かいて見る。三時半頃こゝの参謀本部のホテルデアンバリッドの中佐。  
Lieutenant Colonel D. Zieler Hotel des Invalides Etat major du Departement de la Seine Inv. 66-70 の人がサロンの猫の画買いたいが何くらかと聞いてくる。こゝの軍人で又日本人の画を買いたい等とは全くフランスでなければならぬ事だと嬉しい気がする。ウエルツさんに手紙丁ねいな下がきして貰って返事出す。一万五千だか陸軍の人故半分にするかとか



	いて出す」	[FT00520,113]
4月16日	「水彩二枚画用紙に画室からの正面のながめかく」 「水彩二枚油え一枚かく 風景、下の時計ホテル等。」	[FT00520,114] [FT00519,077]
4月17日	「カルミン来ている〈小児の油デッサンクロキー泥画の風景と猫素描二油画等一枚持って行く。花たのまれる。〉	[FT00520,115]
4月19日	「六時半日本人倶楽部京都日本人美術展相談会大河内君送別会」	[FT00519,079]
4月20日	「レゼシーのコレット三号と支那人大人水彩二枚描いて」	[FT00520,118]
4月22日	「写生クロッキー風景」	[FT00519,080]
4月24日	「1225 額の器械買ふ」	[FT00519,081]
4月25日	「朝高野はさそわず荻須とサロンドートムへ行って大変私の画價さかれたとの事」「トロカデロで高田以下大兼等と会って日本展の事決めて」	[FT00520,123]
4月27日	「サロンドートムへバスで行って油画二人で受け取ってとうく売れず」	[FT00520,124]
5月4日	「カルミンの花の画下かきせんかき一日かゝって細かい事する」	[FT00520,132]
5月5日	「花の画二枚色つけしてカルミンの注文の分仕上げて安心する」	[FT00520,133]
5月6日	「六枚大きい猫犬其他六枚のニスぬりして額に入れ」 「carmine 画届け2枚花」	[FT00520,134] [FT00519,087]
5月7日	「大額40号一日彫刻する。」	[FT00519,088]
5月8日	「日本人委員会あって荻須等大に秋を主張したかとうくベルレムに憎まれてもと思ったりして元通り春にする事となって十一時半散会坂本長谷川大兼濱中高田等であった」	[FT00520,136]
5月9日	「ポエシーで四人アーチザンドフランスと言ふ工藝展見てボナールの画丈け頭に残り弦ちゃんもマルケには何の熱もないと言ふ事一致する。」 第3回となる日本人画家展開催の契約を済ます。[『地を泳ぐ』p.32]	[FT00520,137]
5月10日	「今朝空襲あり」	[FT00519,089]
5月11日	「戦争で皆気が立ってる。」「静かに画をかく気にもならず額小さいのを木彫で昼迄に一ツ仕上げて」	[FT00520,139]
5月16日	「荻須がやって来てロンドンでは日本人は避難すべしと巴里も高田博厚の新聞で逃げるが方をすゝめる。もうこの間二度避難かん告あったからとの事。日本へ帰るなら今だと言って相談に来」	[FT00520,144]
5月17日	「昨夜ボンブ落ちたサン・ドニに敵近くなる」	[FT00519,093]
5月19日	「カンバスはずしてトール皆巻いたり」「マルセル四時半来て猫のえ廿五号色紙四枚渡して売る事たのみ」	[FT00520,147]
5月20日	「三時頃海軍武官細谷さん高野連れて来て油煙突の鳩女の歌トールジュイと静物インキ三号二枚一号M.」「皆三枚買ってくれて私一人カルミンに行行って画とって帰り」「早く巴里を出る事に決めた。」 「大使かん行き白山丸の事マルセイユにたのミくれる。」	[FT00520,148] [FT00519,094]
5月23日	「パリに空襲。住居付近も砲撃を受ける。[『地を泳ぐ』p.12]	[FT00520,151]
5月23日	「パリより避難にたつ日」「リオン停車場に向う」「七時十五分の汽車で」 パリ発 高野三三男、猪熊源一郎、荻須高德とともにリオン駅発の夜行列車でパリを離れる。[『地を泳ぐ』p.44、p.46]	[FT00510]
5月24日	「朝七時半三十分遅れてマルセイユに着き」	[FT00520,152]
5月25日	「セザンヌの家訪ね」 「セザンヌノ家へ行く。」	[FT00520,153] [FT00519,097]
5月26日	「マルセイユ出帆愈々危険からのがれる。」 「廿六日伏見出帆」「フランスへ左様ならマルセイユ出立」 伏見丸でマルセイユを発つ。[『地を泳ぐ』p.58]	[FT00520,154] [FT00519,097]
5月27日	「正午にジェノワに着して」	[FT00520,155]
5月28日	「今日ベルギーとうとう降伏したと言ふ事きく。気の毒な事」「ジェネバ滞留」	[FT00520,156]
5月30日	「ジェネバ朝七時出帆」	[FT00520,158]
5月31日	「ボンベイ見物」「さすがにベネシャンルーヂ美しく壁画とても又眼に新しくうつつたためになり」「朝十時ナポリ着 夕方八時ナポリ出帆」	[FT00520,159]
6月4日	「朝八時ポートセイド着」	[FT00520,164]
6月5日	「パリ空襲の話出る」	[FT00519,103]
6月6日	「三時スエズ出帆」	[FT00520,166]
6月13日	「巴里は焰の中にありとのニュース」	[FT00520,173]
6月17日	「午前八時コロombo入港。夜九時すぎコロombo出港す」	[FT00520,177]

	「中止 17-28 Berheim jeune Exposition japonais」	[FT00519,109]
6月18日	「フランス降伏」	[FT00519,110]
6月23日	「シンガポール着」	[FT00520,183]
6月24日	「シンガポール夕六時出帆」	[FT00520,184]
6月26日	「廿四日佛独伊の休戦條約成って」「フランスも負けて休戦になった。日本へ着く前にすんで仕舞った」	[FT00520,186]
6月28日	「今日絵画鑑賞法に就てと言ふ講演する事となる。」	[FT00519,114]
6月29日	「香港」「ビザなしとて上陸出来ず」	[FT00520,189]
7月1日	「台湾台北朝八時着夜六時出帆」	[FT00520,193]
7月3日	「上海画廊へ行って休む」「夜上海新聞に出」「日動の人に送られて船へかへる」	[FT00520,195]
	「朝上海着」	[FT00519,117]
7月5日	「濟州島朝十時」	[FT00519,118]
7月6日	「六時下ノ関」	[FT00519,118]
7月7日	「神戸八時着十時上陸」	[FT00520,199]
	東京着	[FT00510,022]
	神戸に入港、翌8日東京着。[『昭和16年版日本美術年鑑』p.86、『美之國』16-8, p.71]	
7月8日	「目出度く日本へ帰京。東京着」	[FT00520,200]
7月9日	「都二三枚 画と文 中央公論 二三枚画」	[FT00519,120]
7月11日	「九室会連中歓迎会あり」	[FT00520,201]
7月12日	「ブラジルコーヒー壁画はずしてブラジルへ持って行くとの事」	[FT00520,202]
7月19日	「巡〇画家京城へ行くとして画見せ指揮してくれとてやはりうまくなし」	[FT00520,205]
7月20日	「文房堂でブラジルコーヒー壁画はがして居てうまく行く相で銀座名物なくなってブラジルに油画行く事となる」	[FT00520,206]
7月29日	「桂ゆき子すし」	[FT00520,209]
8月9日	「改造原稿かく」「画八枚文八枚の仕事である」「一日寒くて閉口する位帽子かぶって仕事する」	[FT00520,215]
8月13日	「四十号スクアーカルポー描く。」	[FT00520,219]
8月14日	「昼過ぎ北川と渡辺来る。二科の事相談」	[FT00520,220]
8月19日	「弦オギス早くイガグリ頭に会いたいと電よこす」	[FT00520,221]
8月20日	「朝早く九時に上野に行って審査して五時に一通り二十枚の画見てすませる。つかれる。皆うまく通す。」「駿河台の下宿に老年組集まって二科改組以前の人々、今度の新体制を論じて大に正宗を説き真偽を問いただして私は正直に直論し十時一同をまとめて引き上げてつかれる。夕雷雨なり」	[FT00520,222]
8月21日	「又、文化絵画芸術に対して七、七禁令初めの解除で材料売ってよろしとの事。美術の前途開けてうれし」「夜読賣来て二科展の最後の平和と題する画ドルドーギユの風景写真うつして行く」	[FT00520,223]
8月24日	「四十号の庭レゼヂーホテル前を朝からかく」	[FT00520,226]
8月25日	「東郷来て私の二枚花庭と風景二ツ持って行く」	[FT00520,227]
8月28日	「熊谷に六十一のお祝で赤ジスバンと赤帽子二科から送り」	[FT00520,230]
	藤田のトレードマークであった、おかつば頭を切る。[『地を泳ぐ』p.324]	
	「第27回二科美術展覧会」東京府美術館 8月28日～9月20日 特別陳列《(猫)》《ドルドーニュの家》等15点	
9月1日	「北島錢別もって来てくれる」「北島ノモンハン行き錢別」	[FT00520,233]
9月3日	「朝前二百号額出来て漢と攻略戦はめたり。外四枚白ぬりにぬったり大四十号の額三時迄作ったりする。日日に四枚デッサン渡す。防空溝の画等」	[FT00520,235]
9月4日	「今日四十号F廿五号F.m.と細長等額一日かゝつて夜迄かゝって仕上げる」	[FT00520,236]
※9月11日～10月12日の頁は切り取られている		
9月11日	二科美術展覧会に、パリで制作した作品を特別陳列する。[『昭和16年版日本美術年鑑』p.51]	
9月17日	東京を出発。陸軍省の依頼でノモンハンの戦闘画を描くために囑託としてソ連、中国国境地方に赴く。[『昭和16年版日本美術年鑑』p.87]	
	「海軍従軍美術展」東京、日本橋白木屋 9月17日～22日	
10月1日	「紀元二千六百年奉祝美術展覧会 前期」東京府美術館 10月1日～22日《犬》《猫》2点	
10月13日	「都新聞記者来て写真とって行き」「朝六時五十分大阪京都で起きて早く着けばいいと独りで汽車中アッチコッチと歩いている」	[FT00520,239]
11月19日	「東郷来て三越日本画展来年二月の事世日打ち合せ会のこと」	[FT00520,241]

- 11月20日 帰京。〔『昭和16年版日本美術年鑑』p.87、『美之國』16-11, p.69〕  
「明治・大正・昭和挿絵文化展」東京、三越本店 11月20日～29日
- 11月23日 「夜油画で女中の子シュザンヌと巴里の屋根の鳩二枚君代のけいこ中に描き上げて仕舞う」 [FT00520,253]
- 11月25日 「巴里ジャンヌを小布に描いてからカンバスの用意白布五枚枠に張る白下ぬりする」 [FT00520,255]
- 11月28日 「日佛会館デロングレー氏の招待山田きく二人荻須松平氏其他モンパルナスの女建築家等」 [FT00520,258]
- 12月8日 「夜すこしハンガリー、ルーマニア、チェッコの娘等英了の本でしらべる」 [FT00520,270]
- 12月11日 「画室丈け洋間にして見る気になって」「岡田謙三二人礼に来て」「岡田の画二枚日動へ支払い」 [FT00520,273]
- 12月18日 「朝日武田氏電話で画室新らしく建てるが本当かとか荻須中将ノモンハンの事献画等きく。よく記者は耳が早いのに驚く」 [FT00520,278]
- 12月21日 「一日かゝって大鏡八角形彫刻して銀の様にブリッキを切りぬいてつけたりして白色にぬって四時半仕上げ海老原岡田二人来て雑煮かきフライ鮭ソシス等馳走してやって」 [FT00520,281]

## 1941(昭和16)年 54歳

- 1月3日 父の数え88歳を祝う [FT00510,041]  
帰京。〔『昭和16年版日本美術年鑑』p.87、『美之國』16-11, p.69〕
- 1月7日 画室改築 [FT00510,049]  
「明治・大正・昭和挿絵文化展」東京、三越本店 11月20日～29日
- 1月9日 父、発熱する [FT00510,041]
- 1月12日 父を見舞う、危篤状態となる [FT00510,041]
- 1月13日 3時10分、父藤田嗣章、死去 [FT00510,041]  
戒名：薬王院殿嗣章日晷大居士 [FT00510,049]  
父藤田嗣章、死去する。〔『朝日新聞』1941年1月14日〕
- 1月14日 通夜、荻須、猪熊、鶴田参列 [FT00510,049]
- 1月15日 告別式、千人の行列が一時間続く [FT00510,049]
- 2月10日 「赤坂錦水で季香蘭姉妹」 [FT00510,043]
- 2月11日 「一如会」 [FT00510,050]
- 3月 「邦画一如会第1回展」三越 3月25日～29日《港（二曲一双）》
- 4月11日 文部省の本多課長が来ると聞き、二科会の正宗が芸術院会員の運動のために訪問 [FT00510,044]
- 4月29日 「朱葉会」 [FT00510,051]
- 5月2日 雅叙園付属乙巳会に出席 [FT00510,051]
- 5月11日 ニューグランドで小学校同窓会に出席 [FT00510,051]
- 5月12日 藤田、木村莊八、清水登之らを発起人として、大日本航空美術協会が設立される。依頼されたポスター作成のために、藤田は実際に飛行機に搭乗したという。〔『アトリエ』18-6, p.59, 『東京日日新聞』1941年5月12日〕
- 5月20日 帝国藝術員会員に推挙され多くの祝詞をもらう [FT00510,045]
- 5月23日 「帝国藝術員会員になる、電話電報、訪問客祝詞をもらう」 [FT00510,051]
- 5月25日 「第5回大日本海洋美術展」東京府美術館 5月25日～6月5日《南昌飛行場の焼打ち》《武漢進撃》2点  
大日本海洋美術展に《武漢進撃》、《南昌飛行場の焼打ち》が出品される。〔『昭和17年版日本美術年鑑』p.32〕
- 6月25日 「三越個展の日 大変な人 午前中モンマルトルの丘3000売れ其他六時迄に七枚売れた」 [FT00510,046]  
「三越五階西館個展 七枚うれた」 [FT00510,051]  
「藤田嗣治個展」東京、日本橋三越 6月25日～28日《戦時下の巴里》等油彩21点
- 6月26日 「エトワルメトロ入口（3500） フランス召集令（2000）等一萬以上売れた」 [FT00510,046]
- 7月 「第2回聖戦美術展」東京、日本美術協会 7月1日～20日《哈爾哈河畔之戦闘》等2点  
第2回聖戦美術展に《哈爾哈河畔之戦闘》、《古北口総攻撃（満州事变）》が出品される。〔『昭和17年版日本美術年鑑』p.36〕
- 7月4日 「ビゴーさんの車でスペイン公使館に行きギリシャ大使とコンテスタシエールさんとてアメリカ大使館でグルー大使夫妻初めロングレー氏二人横浜の佛人等でプランセス・ロンフェュー宅で会った佛人等で昼食馳走になった。番町へ画架とりに帰って市兵衛町でビゴー夫人のPortraitかく。」 [FT00510,046]  
「帝国藝術員会員トナル」 [FT00510,022]  
「ビゴー comtesse タシエール 訪問」 [FT00510,051]
- 7月7日 「スペイン公使肖像、昼食」 [FT00510,051]  
二科会を退会する。〔『二科70年史』p.211〕

8月9日	土門写真始む (10、23、24日)	[FT00510.051]
9月1日	「天山丸壁画始む」 帝国芸術院会員となる。[『日本芸術院史』p.111]	[FT00510.051]
9月	「国際文化振興会嘱託ヲ命ゼラレ佛印巡回近代日本画展覧会ヲ開催す」 「仏印巡回日本絵画展内示会」三越 9月9日、10日《猫》	[FT00510.055]
9月11日	ブランギン三十円、ステーンレン五十円、買った、コラン油二千五百で買った (1948 三万で手渡す)	[FT00510.048]
10月5日	羽田を出発	[FT00510.052]
10月6日	ハノイ着	[TF00510.052]
10月	「第4回文部省美術展覧会」東京府美術館 10月16日～11月20日《少女》1点	
11月15日	「佛印安南皇帝ヨリ勲三等ドラゴンドアナン勲章ヲ授ケラル」	[FT00510.055]
11月30日	西夷へ汽車で移動 帝国芸術院、国際文化振興会から文化使節としてフランス領インドシナに派遣されることとなり、空路羽田を出発する。仏印巡回日本画展に随行、ハノイ、ハイフォン、ユエ、サイゴンで日本美術に関する講演を行った。この間、安南王よりドラゴン3等勲章を授与された。カンボジアのプノンベンをまわって、12月18日に帰国した。[『昭和17年版日本美術年鑑』p.8、『国画』1-4, pp.58、『国画』2-1, pp.55-56、『国画』2-2, p.42]	[FT00510.052]
12月9日	ハノイに戻る「河内展 7000人 見物人」	[FT00510.052]
12月18日	帰京	[FT00510.052]
12月	「現代第一線級作家洋画大展覧会」大阪朝日新聞社 12月21日～24日《パリーの虹》《海拉爾風景》《那覇の名橋》《熱河承德》	

## 1942 (昭和17) 年 55歳

1月	「諸大家色紙展」銀座青樹社 1月21日～25日	
1月5日	「1枚バラの絵かいて見る」	[FT00510.036]
1月29日	「皇后さまのために下画かく」	[FT00510.036]
2月	「藤田嗣治先生新作個人展」北越新報社三階 2月18日～20日	
3月31日	「画商来て1号500で買って行き梅原安井と同じと言ふ」	[FT00510.037]
4月	「邦画一如会第2回展」東京、日本橋三越 4月1日～5日《九十九里浜》 「穹窿会第1回鑑賞会」東京、銀座資生堂 4月5日～7日 随筆集『地を泳ぐ』が出版される。	
4月3日	「東京発」	[FT00510.036]
4月11日	「西夷着」 戦争記録画作成のため、陸軍省は藤田、川端龍子ら16名の洋画家、日本画家を現地へ派遣することを決定する。[『昭和18年版日本美術年鑑』p.6]	[FT00510.036]
4月17・18日	「アンコールワット」 僕はずっと昭南島にいて、戦史に不滅の戦果を打ち立てた、ブキテマの攻略戦を描いたが、幸いに攻略戦に参加した部隊長や将兵が、澤山いてくれて細かい武勇談まで聞くことができた。当時のままの血に濡れた服装で、辛ひポーズもいとわずモデルになってくれた。どうかよい絵を描ひて下さいといわれ、すっかり感激して聯日休まず描きまくった。 [『東京日日新聞』1942年6月13日]	[FT00510.036]
4月21日	「西夷プノンベン」	[FT00510.036]
4月29日	「シンガポール」	[FT00510.036]
5月27日	「西夷へ」	[FT00510.036]
5月28日	「三亜、広東」	[FT00510.036]
6月11日	「広東、一台湾屏京着」 戦争記録画作成のため、海軍省は藤田、江崎孝坪ら16名の洋画家、日本画家を東インドシナなど南方へ派遣することを決定する。[『昭和18年版日本美術年鑑』p.7]	[FT00510.036]
6月16日	「台北一立川」	[FT00510.036]
7月	「大東亜戦争従軍画展」東京、日本橋高島屋 7月2日～12日《パーシバル》1点	
7月29日	「新京一新□」	[FT00510.036]
8月	「陸軍省派遣南方従軍画展」東京、日本橋高島屋 8月1日～8日《アンコールワット》《兵士習作》	
8月26日	「奉天一」	[FT00510.036]



- 8月30日 帰京 [FT00510,036]
- 9月 「第2回航空美術展」東京、日本橋高島屋 9月12日～20日《落下傘部隊》  
第2回航空美術展に《落下傘部隊》が出品される。
- 10月 「満州国建国十周年慶祝絵画展」東京帝室博物館 10月1日～7日《仏印順化承天府外苑》1点
- 12月 第1回大東亜戦争美術展に《十二月八日の真珠湾》《シンガポール最後の日（ブキ・テマ高地）》《二月十一日（ブキ・テマ高地）》が出品される。展覧会に先立って、11月29日に作戦記録画39点が天覧、台覧に供された。[『新美術』18, p.51]
- 12月 「第1回大東亜戦争美術展覧会」東京府美術館 12月3日～27日《十二月八日の真珠湾》《シンガポール最後の日（ブキ・テマ高地）》《二月十一日（ブキ・テマ高地）》3点

## 1943 (昭和18)年 56歳

- 1月17日 「私の小児時代の肖像細長かく」 [FT00510,022]
- 1月29日 「朝日文化賞副賞3000円貰った」 [FT00510,022]  
《シンガポール最後の日》その他の作品に、昭和17年度朝日文化賞が贈られる。[『昭和19・20・21年版日本美術年鑑』p.1]
- 2月 「帝国芸術院第二部会員作品展」東京、銀座資生堂 2月11日～13日《眠る女》1点
- 3月 陸軍美術展に《仏印・陸からの進駐》《仏印・海からの進駐》が出品される。[『昭和19・20・21年版日本美術年鑑』p.31、[『旬刊美術新報』73]  
「陸軍美術展」東京、日本橋三越 3月5日～14日《仏印・陸からの進駐》《仏印・海からの進駐》2点  
藤田、文展第2部委員となる。
- 3月 「藤田嗣治・猫のリトグラフ展」神戸画廊 3月1日～5日
- 4月14日 「1枚小品少女の像上出来近來稀」 [FT00510,023]
- 5月6日 「嵐の六号、又手入れて仕上げもう少しの処で止めた」 [FT00510,024]
- 6月 戦争記録画作成のため、陸軍省は藤田嗣治、猪熊弦一郎をはじめ26名を南北戦線に派遣することを決定。藤田は太平洋方面を担当することとなった。[『新美術』24, p.39]  
「藤田嗣治個展」東京、兜屋画廊 6月《女》《顔》《矢内》《老樹》《安南皇帝居城承天府》《河内の街・仏印河内》《少女》
- 7月6日 「一昨日と今日始めて老婆と孫娘の絵かく」 [FT00510,026]
- 9月 国民総力決戦美術展に《アツツ島玉砕》が出品される。[『昭和19・20・21年版日本美術年鑑』p.31、[『旬刊美術新報』73]  
「国民総力決戦美術展」東京都美術館 9月1日～16日《アツツ島玉砕》1点
- 10月 第6回新文展に《嵐》を出品する。[『昭和19・20・21年版日本美術年鑑』p.48]  
「第6回文部省美術展覧会」東京都美術館 10月16日～11月20日《嵐》1点
- 12月 第2回大東亜戦争美術展に《天皇陛下伊勢の神宮に御親拝》《(ソロモン海域に於ける米兵の末路)、《〇〇部隊の死闘—ニューギニア戦線》が出品される。展覧会に先立って、5日に海軍作戦記録画20点が天覧、台覧に供された。[『昭和19・20・21年版日本美術年鑑』p.3]  
「第2回大東亜戦争美術展覧会」東京都美術館 12月8日～1月9日《天皇陛下伊勢の神に御親拝》《ソロモン海ニ於ケル敵の末路》《〇〇部隊の死闘—ニューギニア戦線—》3点

## 1944 (昭和19)年 57歳

- 2月1日 戦艦献納帝国芸術院会員美術展に《キャンボチャ風景》を出品する。[『昭和19・20・21年版日本美術年鑑』pp.60-61、図版p.19]  
「戦艦献納帝国美術院会員美術展」東京帝室博物館表慶館 2月1日～29日《キャンボチャ風景》1点
- 3月 陸軍美術展覧会に《神兵の救出到る》、《血戦ガダルカナル》が出品される。[『昭和19・20・21年版日本美術年鑑』p.64]  
「陸軍美術展」東京都美術館 3月8日～4月5日《血戦ガダルカナル》《神兵の救出到る》2点
- 7月 帝国芸術院会員陸軍献納画展に、《風景の連作》を出品する。[『昭和19・20・21年版日本美術年鑑』p.72、朝日新聞 1944年7月22日]
- 9月 神奈川縣津久井郡藤埜村へ疎開 [FT00510,006]  
この年 空襲を避けて、神奈川県津久井郡小淵村藤埜に疎開する。[『試論』p.491]
- 10月 赤十字社有印章 赤十字社特別社員章 [FT00510,054]  
「満州国敬贈美術展」大阪大丸 10月1日～5日  
「第一回軍事援護美術展」東京、日本橋三越 10月3日～22日
- 11月 文部省戦時特別文展に《ブキテマの夜戦》、《大柿部隊の奮戦》が出品される。[『昭和19・20・21年版日本美術年鑑』pp.75-80]  
「文部省戦時特別美術展」東京都美術館 11月25日～12月25日《ブキテマの夜戦Ⅰ、Ⅱ》2点

## 1945 (昭和20) 年 58歳

- 3月 「陸軍美術展覧会」東京都美術館 3月10日～4月30日
- 4月 戦争記録画展に《薫空挺隊敵陣に強行着陸奮戦す》、《サイパン島同胞臣節を全うす》が出品される。[『昭和19・20・21年版日本美術年鑑』p.81、『朝日新聞』1945年4月13日]
- 4月15日 「麴町六番町十三番地戦災」 [FT00510.006]  
空襲で麴町のアトリエが焼失する。[『試論』p.491]
- 8月15日 日本がポツダム宣言を受諾、疎開先の小淵村で敗戦を迎える。[『年鑑』p.58]
- 10月 新日本美術会発足、会員となる。[『美術』2-6,p.32]
- 12月 戦争画がアメリカに移送されることとなり、戦争画説明のために連合国総司令部嘱託となる。[『日本美術年鑑昭和19・20・21年版』p.5]

## 1946 (昭和21) 年 59歳

- 日展審査員長ヲ命ゼラル [FT00510.054]
- 2月27日 神奈川の疎開先から板橋区小竹町二七一四に転居 [FT00510.006]
- 3月 板橋区小竹町2714に退居する。[『美術』3-4,p.60、『試論』p.491]
- 4月21日 日本美術会が結成され、書記長に内田巖が就任する。内田は日本美術会の決議を携えて藤田を訪ね、戦争画家としての責任を追及、美術界の戦犯として、一人でその罪を引き受けるよう依頼したという。[『試論』p.355]
- この頃、バリ行きを準備。フランス領事館に査証を申請する。[『試論』p.373]

## 1947 (昭和22) 年 60歳

- 1月26日 「モーパッサンのさしえの町田」 [FT00522.003]
- 1月27日 「町田氏来ル、モーパッサンノ本ノ事」 [FT00522.003]
- 2月 連合軍総司令部が1年をかけて審査した戦争犯罪者リストを公表、藤田の戦犯容疑が正式に晴れる。[『試論』p.492]
- 2月1日 「ニューヨーク文化研究会会長をたのまれる」 [FT00522.004]
- 2月28日 「改造社 Grosjean に油絵二号かき」 [FT00522.007]
- 2月 「愈々フランス行き話進捗して今年中には行けそうなり。いろく君代と相談将来明るくなる国際人として他に人なく自分先鞭つけて外国へ行く事とならん アメリカ人フランス人の来客多く皆画欲しがる人多し。」 [FT00522.007]
- 3月1日 「Ros roleukor. Tucker 萩須文子 オドリ千葉氏来り画欲しとて風景母と子等持つて行く。」 [FT00522.008]
- 3月2日 「ロース タツカーに会い 30貫い屏風事500で話ししたり」 [FT00522.008]
- 3月9日 「Rose Tucker いろく貫い25弗貫って送られて帰り人魚のえ渡す40号200弗の事」 [FT00522.009]
- 3月10日 「Turckerに手紙直人にたのみ財産税を支拂す」「猫2号かく」 [FT00522.009]
- 3月11日 「今日又一枚猫等かいたりする。」「三枚デッサンかく」 [FT00522.009]
- 3月12日 「大屏風犬猫二ツ渡すRoseへ Rose 紐育へ送る事となり日本より姿なくなる。」 [FT00522.008]
- 3月14日 「松坂屋高木氏二萬千持って来て七枚分ノ内三枚渡す」 [FT00522.009]
- 3月15日 「松坂屋渡しの四枚かき上げ」 [FT00522.009]
- 3月18日 「嵐と女二人のトアール渡して Grosjeanへ送り」「十時かへり三枚素描かく。ねてる女等」 [FT00522.010]
- 3月21日 「油画かいたりいろくカンバスの下ぬりしたり」 [FT00522.010]
- 3月22日 「小板に白カンバス張つたりいろくする。」 [FT00522.010]
- 3月24日 「Emilie Putaus来りアンズをクレタ。猫買いに又くる由 木額二号作る 木内六号たのみに来た。」 [FT00522.010]
- 3月25日 「夕方裸体小品かき出した。」 [FT00522.011]
- 3月26日 「カンバス張りいろく用意」「SilkFairノポスターかく。」 [FT00522.011]
- 3月27日 「巴里ニュース見てマチスの病氣知る。ポスター仕上げ等する 出来上がりたり。」 [FT00522.011]
- 3月28日 「西川へ小品一枚かき出す。巴里作の小額に入れて出す筈のもの。」 [FT00522.011]
- 3月31日 「西川へ小品女の顔十五大家展松屋へ新日本美術展へ出品」「ポスター渡す。」 [FT00522.011]
- 4月1日 「夕方八号女の子かき殆んど夕方くらくなる時出来」 [FT00522.012]
- 4月2日 「小女と猫四号七枚」 [FT00522.012]
- 4月7日 「Rose より手紙又五枚new yorkへ注文あり。」 [FT00522.012]
- 4月9日 「画をかく。」 [FT00522.013]
- 4月11日 「シヤーマン昼に来た 支那祝画やる。」 [FT00522.013]

- 4月13日 「モーパッサンかき上げ」 [FT00522.013]
- 4月15日 「早く森重来てカンバス2000和紙色紙2800買った。一日仕事 吾妻さんの芝居え出来た。」 [FT00522.013]
- 4月16日 「森重来て3900買って行く園田さんの友達肖像たのみに来てタバコ貰った2000内金午前中芝居の画かく。」 [FT00522.013]
- 4月17日 「200ノ特別税支拂ノ通知来た」 [FT00522.013]
- 4月21日 「日動へ行く。一万二千藤田氏に届け明治やの津田二人画渡す。」「愈々朝日の画午後かゝる」 [FT00522.014]
- 4月22日 「1日四十号にかゝり裸体の構図の下画動物かゝる。」 [FT00522.014]
- 4月23日 「デッサン犬猫狸狐其他十八匹かいて一日かゝり」 「モーパッサンの金届く。」 [FT00522.014]
- 4月24日 「色つけ皆一日かゝりて終る。とてもよくなる」 「モーパッサン本貰ふ。」 [FT00522.014]
- 4月25日 「色つけ一日かかる」 [FT00522.015]
- 4月27日 「6時四十号mon Rêve完成」 [FT00522.015]
- 4月 「選挙ノ日衆院 画かわかず閉口こしいたし。しかし油えかく。」 「Mon Rêve描く日 一週間完成」 [FT00522.015]
- 5月1日 「シヤーマン二度来て松坂やに行きの個展」 [FT00522.016]
- 「藤田嗣治 日本画展」 東京、銀座松坂屋 5月1日～10日
- 5月10日 「美術かん小川氏来て陛下行幸十四日御説明後の事承知 頭かりに行く。土門来てリング貰ふ。」 [FT00522.017]
- 「新憲法実施ならびに東京都美術館開館二十周年記念現代美術展覧会」 東京都美術館 5月11日～20日 《私の夢》 (1947年) 1点
- 5月12日 「日本画二十六本持って行四万二千位」 [FT00522.017]
- 5月13日 「肖像一日かく。」 [FT00522.017]
- 5月14日 「九時兩陛下御着 10時10分より40分迄辻氏と二人御説明私ノ画面白しとて御笑いになり獣がすきだと皇后様言はれ」 [FT00522.017]
- 5月30日 「待ちに待った仏蘭西から返事が来た 総領事から外務省が私の希望仏国への旅券の得る事を通知した。」 「こゝ数年こんな嬉しい明るい希望に満ちた事はない。」 [FT00521.002]
- 「見返してやる時が来た。」 「昨日すべてが解決された。」 [FT00521.003]
- 5月30日 (29日について) 「日本に居てすべての周囲に邪魔される事もなくなる。私の芸術も完成出来る。その事が昨日公然と決した。」 「私のこの長年の苦境から暗雲を去つてくれて私は明るくなった。」 [FT00521.004]
- 5月 「Pierreとjean、さしえ十枚」 [FT00522.017]
- 5月31日 「中河与一が、五月二十一日東京タイムスに藤田嗣治の絵と題して」 [FT00521.005]
- 6月13日 「カンバス張って七枚用ゐする。」 [FT00522.021]
- 6月20日 「午前chase氏来て宗教画デッサンからし、日本画犬猫デッサン上げた」 [FT00522.022]
- 6月21日 「油画(初瀬川の分)四五枚昼から下がきする」 [FT00522.022]
- 6月 「chase氏ghQの許可海外へ渡航の事受けあってくれ相で愈々準備も出来て来た。」 [FT00522.022]
- 7月5日 「金紙に猫を油えでかいて見た。」 [FT00522.024]
- 7月14日 「文部省へ資格審査表書面で送る。」 [FT00522.025]
- 「藤田嗣治・堂本印象二人画展」 東京、日本橋高島屋 7月14日～19日
- 7月27日 「何にもかも思い上がつて居た偽の国に居て尚も又人のそしりも受けたくない。」 [FT00521.007]
- 7月 「ジャム四ツチーズニツ神父さんくれ今朝かいた日本着物のマドンナ誕生とアドラシオン二枚やる金紙の猫も上げた。」 [FT00522.024]
- 8月5日 「味ノ素主人ポートレート気に入らずとて更に新しく一枚かき上げ一気に仕上げた代25000貰ふ」 [FT00522.028]
- 8月18日 「私の今年かきたいこの計画もピカソの事が発表タイムスされたので中止する。真似た様に思はれるは嫌だ。新しい装飾美術として影を放射して室内を図案化する照明法、ライトの工風夢見て居た。まだたれもして居ない様な」 [FT00521.011]
- 8月24日 「何日になったら偉人が出ることやら、日本の国が開放されて、人をうらまず、ねたまず、悪口せず、人を賞賛し、人を育てる寛恕の人に成らねば、たゞの生存競争のつかみ合いの中で皆がお互に殺され合つてだけで決して豊満の大人は出ない。惜しむべき事だ。」 [FT00521.015]
- 9月 ニューヨークのケネディ画廊に作品を送り、個展を開催。〔作品目録〕
- 「藤田嗣治展」 ケネディ画廊 9月2日～30日 《人魚》等20数点
- 9月5日 「赤帽娘人魚続いてダイアナをかいた。」 「今年は今日からの審査鑑査をなまけて自分の画をかく事にした。仮病で欠席する事に決めた。」 [FT00521.029]
- 9月9日 「それにしても毎夜の夢は皆巴里の夢である。」 [FT00521.019]
- 9月12日 「ニューヨークの展覧会の記事だ。世界中で私がパリへ帰る事は皆知つてしまった。知らぬのは日本人許りだ。」 [FT00521.021]

9月14日	「坂崎たん、隈元氏国立博物かん展ノ画かりに来た二枚大静物陳列するのであづける事たのむ。」	[FT00522.033]
9月	「狼と娘のデッサン今朝出来」	[FT00522.034]
9月19日	「午前中今井来て小供と狼油かき」	[FT00522.034]
9月22日	「一日娘と狼かく」	[FT00522.034]
9月24日	「もうすこしの辛棒十一月には出立したい。」	[FT00521.023]
9月	「人魚の大作デッサンから始めて素描かく」	[FT00522.034]
9月25日	「人魚の画子供人魚見た事ないがかく二人上出来」	[FT00522.035]
9月27日	「一日人魚の画かく一通り油画ぬり上げて」	[FT00522.035]
9月29日	「人魚かく油のかげんうまく行かずとうとう夜裸体皆けしてかきなほす事にす。」	[FT00522.035]
10月	第3回日展第2科(洋画)の審査員となる。[[年鑑] p.58]	
10月3日	「とうくダイアナをキャンバスにかき初めてせんがきする」 「第1回椿会洋画展覧会」東京、銀座資生堂 10月15日～22日《プロフィール》	[FT00522.036]
10月17日	「午前マーケット百姓家デッサン 八号続け午後ハ仕事出来ず夜又かく」	[FT00522.038]
10月18日	「午前中、八号田舎家油えかく出来上る。日本画も二枚かいた。」	[FT00522.038]
11月2日	「日本画猫二枚上野さんにかく」	[FT00522.040]
11月3日	「猫3匹ねづみとかく親猫20号かき出す」	[FT00522.040]
11月4日	「廿号肘をつく女かき出し一号女ノ子もかき出す。猫の画一日かく」	[FT00522.040]
11月5日	「文部省と都と展覧会春秋のうばい合い梅原等中村研一蓬春等新聞に見えるなげかわしき事」	[FT00522.040]
11月7日	「女肘つく図等油画にかき出す」	[FT00522.040]
11月	「油絵門倉のため二枚午前中出来た」	[FT00522.042]
11月19日	「六番町辺りに家たてたくなる。長谷川に女猫箱書断る。」	[FT00522.042]
12月7日	「一日仕事屏風猫と一枚猫デッサン等かいた」	[FT00522.044]
12月8日	「ドロボウ入ル夜」夜ドロボ一時半台処のガラス戸こわしているくナベ外に運び出したがブリツキカン外に下げたのを二度もならし君代上からどなりて下駄置いて逃げ君代とうくねむらず」	[FT00522.044]
12月18日	「Griffinさんに猫一枚クリスマスに上げ」	[FT00522.046]
12月20日	「屏風犬猫油画Colonel Bunker 氏の分油絵かく」「ペルシャ猫等二枚紙にかく。」	[FT00522.046]

## 1948 (昭和23)年 61歳

1月3日	「岡田謙三夫妻リング等持ちて来り。荻須現はれ」	[FT00523.003]
1月5日	「朝七時半、第二放送で新春随想藤田ツグジ十五分」	[FT00523.004]
1月6日	「gillyコンマンダン来てMme Marie Claire Gareyノ肖像の事たのみに来た。」「NYKのG. H. Q. で集めた戦争スケッチ見た伊原つるた小早川等よくなし。」	[FT00523.004]
1月12日	「アメリカ文化へホリウツド原稿十枚かく。」	[FT00523.006]
1月14日	「Galeyさんの迎いで肖像かきに行きMme Marie Claireさんかく」	[FT00523.006]
1月16日	「Galeyさんの処肖像かきに行つて」	[FT00523.007]
1月17日	「ロンドンの大展覧会に私の画出たとて私の名前もニュースに出たのを見たと言ふ人あり。」	[FT00523.009]
1月21日	「花柳壽美さん追悼原稿かく」「四号猫一枚油でかく。今年年初めての油絵なり。」	[FT00523.008]
1月25日	「コクトーの悲恋Eternel retour見に行く又々感心す。」	[FT00523.010]
1月27日	「Cleay夫婦誘いに二時来て猫一枚ねてる上げ大喜び」	[FT00523.010]
1月29日	「大デッサン小児一枚午前中かく。藤田さん来て渡す。展覧会のもの」	[FT00523.011]
1月	「子供女プロフィール猫四枚出来た」	[FT00523.011]
2月1日	「女、猫、二匹、小児とテン、女ノ子と猫等描いて四枚」「藤田さんの使いに猫女肘立て、いる分横顔もう一枚始めから五枚渡した」	[FT00523.012]
2月3日	「午前中三毛猫二匹一枚かく」「女一枚かき小一大二都合三枚かく」	[FT00523.012]
2月5日	「三枚画かくこれで全部廿枚となり」	[FT00523.013]
2月14日	「佛映画 悪魔ハ夜来ル岡田夫妻と見て余りよからず。」	[FT00523.015]
2月15日	「Gareyさん肖像油えでかき出し大体午後迄で仕上げ」	[FT00523.016]
2月17日	「Grayさんの肖像かわかず色すっきりとつてかきなほし」	[FT00523.016]
2月20日	「展覧会素描廿枚」	[FT00523.017]
2月23日	「朝から六号の額作り午後色ぬつて仕上げた。Gareyさん肖像の分。」	[FT00523.018]



- 2月25日 「サムホール額作り出し五時完成昨日の六号の額も出来た」 [FT00523.018]  
「藤田嗣治近作展」銀橋画廊 2月25日～28日
- 2月28日 「私の展も大勢いろくな人来てくれた。三井、安田岩次郎吾妻さん等来た。昔買へそうな人今は金なし。」 [FT00523.019]
- 3月1日 「Garey夫婦Peabady夫人来て肖像満足たバこ十、ウイスキー貰い送金巴里Grosjeanにたのむ二万五千法。ホノル、の Dillingham夫人娘肖像かきに来てくれるなら日本から出られる様するとの事」 [FT00523.020]
- 3月4日 「新日本美術展出品の油画小児の額かき出して一日で終つた。」 [FT00523.021]
- 3月6日 「新日本美術へ一号小児額松坂やへ届け」「木子へ色紙と同じマデレンヌの顔かいたのを藤田に渡す。」 [FT00523.021]
- 3月 「私のchange my headと言ふたらGareyさん笑いそんならその手続しましょうとなり近々布哇へ出られる事となり君代 とその話で今朝の君代の不機嫌何処へやらそれからそれとフランス行きの事も話し合つて夜も一時すぎても興奮して 眠られず。夕方英了来ておひなさまの画二枚あや子のため恵与す。」 [FT00523.021]
- 3月8日 「中村の知人へのデッサン一枚かく。」 [FT00523.022]
- 3月11日 「木子七郎の小画ジラルミンに新田さんのニカワで張るうまくはれた。午後木内克画たのミに来て断つていろく話岩 にぶつかつたらよけて行け。世間で悪口言い合つて一寸快感をおぼえる丈けだと軽い話面白かつた。」 [FT00523.023]
- 3月12日 「麴町税務署から年収入21万五千二〇〇と査定され、年四度三万千ツ、おさめると言つて来た」「菊池寛告別式」 [FT00523.023]
- 3月13日 「四十号ブレパレ始めて白ぬる。」「宮本三郎東京へ帰つた由手紙あり。」 [FT00523.023]
- 3月14日 「柳沢健氏来て本の出来た礼を言いに来た。」 [FT00523.024]
- 3月15日 「小品木子へ女ノ子猫かき出した。」「猫四号荻須へ渡す」 [FT00523.024]
- 3月16日 「東京都へ行き赤十字へけんのため紺じユ裏章下附貰つて」 [FT00523.024]
- 3月17日 「二枚小品油でかく。」 [FT00523.024]
- 3月18日 「光輝氏の子供肖像六号に素描一日かゝる。」 [FT00523.025]
- 3月19日 「藤田光輝の息子の像油でかき初む」 [FT00523.025]
- 3月21日 「Pollen氏猫デッサン賣つてやつた。藤田氏プロフィール六号コランロダン素描持つて帰り」「光輝の息子の額作り出す。」 [FT00523.026]
- 3月23日 「藤田息子の肖像かき上げて額縁作り」 [FT00523.026]
- 3月 「ガリバアー旅行記映画試写に行く。」 [FT00523.027]
- 3月25日 「藤田息子肖像六号木子小品猫届けた。」 [FT00523.027]
- 3月31日 「スペイン公使来た留守」 [FT00523.028]
- 4月1日 「肖像六万でピカく借金43000と表装代12000と差し引き残り5000」 [FT00523.029]
- 4月9日 「午前えのぐそうじして其廿号三人裸体の草花一日夜迄かゝりて沢山春らしくした。」 [FT00523.031]
- 4月11日 「朝から又花120号」「柳沢へ佐藤さんの本のカット渡す。」 [FT00523.032]
- 4月12日 「朝から120号へ花かく。」「昼からも花かき遠景雪山にする。」 [FT00523.032]
- 4月15日 「放送新島さんのため原稿かく明日録音の筈一日三度も書き写ししたり。大作百廿号のニスぬつたりして春Trois Graces 仕上げた。」 [FT00523.033]
- 4月21日 「Shermanの藤の花一枚かくモーパッサンたのみに来た。最後の本」 [FT00523.034]
- 4月26日 「上野さん来て朝から画きかけた巴里の女郎屋の画見せたら喜んだから一生懸命にかく事にした。」「紐着杉村ヘンリー から手紙」「お化けの画夜迄かゝつて一枚仕上げた」 [FT00523.036]
- 4月28日 「コロネルバンカーのお使にて屏風の犬秋田犬にしてくれとて二世朝早く八時半来て、私もお名前を聞いて居て幸だと 言つた。」 [FT00523.036]
- 4月 「朝からモーパッサン屏画」「伊太利姉妹カット三枚かく。柳沢の本佐藤さんのカット九枚かく一日かゝる」 [FT00523.037]
- 4月29日 「上野さんに一枚百鬼夜行十三番地姉蔵の二本日本画渡す。文部省事務室杉村隆吉氏（社会教育局藝術課）来て戦争画 の事に就き殊委しく履歴書の中にかく事委員の人に見せるとの事三造虚子等も同様との事。」 [FT00523.037]
- 5月4日 「税金12万5300確定」 [FT00523.038]
- 5月7日 「小皿等彫刻したりする。」「土門けん二弟子連れて来て十時半迄議論らしいこと言つて帰る。真面目な人。」 [FT00523.039]
- 5月11日 「文部省日展会議に行かず」「目黒の原さん隣Col. Bole娘さんのデッサンかきに行きクロツキー出来」 [FT00523.040]
- 5月 「土門拳来て又写真大分仕事場とられた。」 [FT00523.041]
- 5月13日 「一日仕事出来ず写真の事でつぶされた。」 [FT00523.041]
- 5月15日 「高松さんの静の背景かく事にした。」 [FT00523.041]
- 5月16日 「大トールニツ張つて屏風作る事にした。」 [FT00523.042]
- 5月18日 「Col. Bunkerさん秋田犬二匹かいてうまくうまく出来大喜びす。」 [FT00523.042]

- 5月19日 「松坂やへの一号の画大急ぎでかき額縁迄作つた。」 [FT00523,042]
- 5月21日 「上野氏へ一号小供の額私作成の額渡し二裸体大扉風にかく。」「住来て廿四日コンクール審査員たのむ断る。」「静御前の舞をかく」 [FT00523,043]
- 5月22日 「高松さんの背景かく」 [FT00523,043]
- 5月23日 「松坂や日本画やミヤ様大豪遊の図かく。」 [FT00523,044]
- 5月24日 「(G項まぬかれた)非該当。三時七時九時半十時半第二放送等藤田山田高浜非該当とて十日の発表これぢや日本中皆知つた。」 [FT00523,044]
- 5月25日 「更生決定」 [FT00510,006]
- 「上野氏油一号一万くれたやミヤの画渡す」 [FT00523,044]
- 中央公職適否審査委員会の発表により、戦犯容疑をはらす。[「藤田嗣治画集」2012]
- 5月28日 「一日扉風にかいて大半出来出来ばえ面白し」 [FT00523,045]
- 5月30日 「一日扉風女の裸体二人かき」「印象非該当のお祝いくれた。」 [FT00523,046]
- 5月31日 「朝日に梅原安井一万私九千だか最近渡佛後で私八倍に坂本十倍になつた等画商の價の事出で、小林古径と比敵日本一の高價と出た。」「総合展見物」「河村氏来て江戸橋画廊で私の展するとて断つた(やつてる。けしからん」 [FT00523,046]
- 6月4日 「木版ほって五枚目Sherman綿蒲団毛布持つて扉風とりに来た。」「Grosjeanの手紙渡してくれて愈々いらく工作してくれてる。亜細亜局長Bayeusに会ふ様になるだらう。」 [FT00523,047]
- 6月6日 「夜河村幸三郎来て江戸橋ギャラリーで私の個展するとて大に怒つた。全く無責任な事だ。」 [FT00523,048]
- 6月10日 「Col Bunkerのお使い二世来て扉風なほし秋田犬渡し金ぱん500円貰ったバンカー大佐藤田さんは布哇に行きたい御希望らしいから 何にか口実を作り呼んで貰うかこちらの使節の様にして主将McArthurに手紙向ふから出して貰い期限は何うでもなるとの事先方から話ありて大に眉びを開く」 [FT00523,049]
- 6月11日 「Henry杉本に手紙かくアメリカ行きの方に轉向をかへた」 [FT00523,049]
- 6月21日 「井上氏へ虹の幕下図渡す」 [FT00523,052]
- 6月25日 「柳沢来て□の事話した。創造作家ドワクロアー ピカソ迄の中に私を入れマチエールをよくした私の大きな手柄サルモンが言つた事等もかくと言つてた。」 [FT00523,053]
- 7月6日 「Bole夫人夫人肖像かいて貰い度いと事等」 [FT00523,056]
- 7月 「京都へ旅行」 [FT00523,058]
- 7月13日 「堂本印象訪問」 [FT00523,058]
- 7月15日 「法隆寺、酒井貫主大師に会い金堂五重塔解体入江波光の事父の写真置いてかいてた壁画よく見た。」「夢殿中宮寺」 [FT00523,058]
- 7月31日 「31325.50外10円麴町から所得税督促状来タ。分け分らぬ。」 [FT00523,063]
- 7月 「New York モーダンアート美術館の手紙中々先生ハ忙しいとの事だつた。ロククフェラーに手紙出して見ると言つてた。」 [FT00523,063]
- 8月1日 「ピカソが巴里でポットリーとセラミックやつてる写真の新聞萩須見たとて私を想出したと言つて来た私と何日も同じ事をしてるピカソは面白い。よく分る。」 [FT00523,064]
- 8月6日 「梅原日展へ連立展にしると言い和田英作先生外ハ別個の考えらしい四日私ハ欠席した。」 [FT00523,065]
- 8月12日 「午前中Huré夫人肖像かき午後モンマルトル風景ニツトモ十二号m.かき出し」 [FT00523,067]
- 8月13日 「午前中巴里モンマルトル描き出す」「モンマルトル十五号下がき 皆出来た」 [FT00523,067]
- 8月14日 「十五号モンマルトル色つけした。」 [FT00523,067]
- 8月21日 「午前十時文部省高橋新院長、院賞授与式 [……] 午後日展審査員皆会員丈けでする事に一決して新会院川島と決定辻三造中沢私英作(欠席)中村研ハ生馬曾太郎、新太郎□率らしく6対4が5対4でとうく決り川島喜んだ事だらう東京新聞にもう出た。」 [FT00523,069]
- 8月 「文部省年金の内4500一割引キ3825円貰い税金675とられた終身年金となる。」 [FT00523,069]
- 8月23日 「モーパッサンを又たのミに来て断然ことわる。」 [FT00523,070]
- 8月24日 「辻が裏切つて中村へ二度目投票したらしいと光風会の力を増すためらしい恐ろしい事だ。」 [FT00523,070]
- 9月5日 「新聞二科初め皆フランスの真似だと土方氏かく日本画の将来もなし等その通りだ。」 [FT00523,074]
- 9月 「京都行き。」
- 10月 第4回日展の第2科(洋画)の審査員となる。[「年鑑」p.58] [FT00523,076]
- 10月4日 「京都ノ画商連れて来てねむる女、3万、モンマルトル丘水彩1万5.で持つて行く」「川西氏来り又欲しいとて二人女ノ子猫と人形ねむれる男ノ子trente mille chaque. Cadre 2500, 1200貰つた。」 [FT00523,082]
- 10月9日 「鑑査に行く」 [FT00523,083]
- 10月 「とうく萩須はフランス行きに成功した。」 [FT00523,083]

10月10日	「岡本一平死んだラヂオあり。」	[FT00523.084]
10月11日	「上野に鑑査に行く」	[FT00523.084]
10月12日	「鑑査終日四時迄で皆決定」	[FT00523.084]
10月13日	「夜十六ミリのフィルムを□現して大分マデレーヌの分を焼く事にした。余り痛ましい。」	[FT00523.084]
10月	「柳の民藝かん見て余り好きな人でなし」	[FT00523.086]
	「近代日本美術総合展」東京国立美術館 10月15日～11月30日《わが画室》(1936年) 1点	
10月19日	「Huréの夫人肖像一寸かき出した」	[FT00523.086]
10月20日	「京都に出かけた。」	[FT00523.086]
10月23日	「朝から研究処で大仕事皿沢山かき終りに美人裸体表裏の分どんく出来て大満足した。」	[FT00523.087]
10月30日	「郵便局に廿三年度第二期分所得8157.60と都民税四百収めた。」「夜Sherman来てGrosjeanの手紙13日佛使節国に行つたら十五日こゝから電報16日始めて佛外務省許可電報日本から受けとりベシコフに返電して始めて正式に許可が出たと十六日の手紙が着いてフランスにも行ける事になった。」	[FT00523.089]
11月1日	「朝からデッサン三枚木子の分かく」「素描五枚かく」	[FT00523.090]
11月2日	「素描二三枚かく」	[FT00523.090]
11月3日	「素描二三枚かく一時半浩一路の処へ行く一平追悼会コスモス会釣良昇、至、太郎清水大助等」	[FT00523.090]
11月4日	「都合中五枚小五枚素描三日間で出来上つた。」	[FT00523.091]
11月5日	「Huré夫人の肖像かく」「二枚素描小さいの出来た」「大四枚素描120000 4800額小素描二枚40000外下がき廿三枚一万でゆづる」	[FT00523.091]
11月9日	「2回藤田嗣治展」東京、銀座資生堂 11月9日～13日	
11月10日	「坪2315円位25万で十三番地売る事手つけ五万貰い」	[FT00523.092]
11月11日	「吉日」「GHQ教育局に呼ばれ渡米の事何ん等の困難なしとて明日アメリカの招待状も来て居て打ち合わせに行くとて大安心」	[FT00523.093]
11月16日	「小雨の日で税務局の男二人来て去年22万今年ハ44万で何うだ等とて大反対し去年12万税ハ支払ふ事に決定今年の分ハ分らず。Hureに肖像渡す喜んで持つて行つてくれた。」	
12月	柳沢健著『巴里の晝と夜』が出版される。	[FT00523.094]
12月2日	「吉日愈々返事来た。」	[FT00523.099]
12月3日	「頭刈りに行き佐々木医師健康証明書診断書今井戸籍抄身分証明書貰い愈々書類用書履歴書作成英訳始む。先生の事夜迄かゝる。英訳した。履歴書委しくかく。」	[FT00523.099]
12月10日	「午前練馬税務署行きシテ9425円所得税支拂ツタ。」	[FT00523.101]
12月11日	「川西来て22万持つて来た油え六号12万素描大一、小三枚渡した。」	[FT00523.101]
12月13日	「文部省よりのミGHQへ出す作品年代表ヲ作ル」	[FT00523.102]
12月14日	「高松宮扇子二本かく猫一枚油かき出し素描仕上げ仕事大に進んだ。」	[FT00523.102]
12月15日	「Huré肖像かき上げち、ぶ妃殿下にデッサン仕上げた」	[FT00523.102]
12月16日	「宮様へ扇子二本届けて貰い木子の小品二枚かき上げた。」	[FT00523.103]
12月19日	「ホテルへ持つて行く分と分離したり、終日仕事他人来ず根元来て手伝い」	[FT00523.104]
12月20日	「アンバサドルホテルへ移る」	[FT00524.000]
12月23日	「今朝0時東條外七名巣鴨で処刑されて放送盛ん」	[FT00523.105]
12月	「A級戦パン十九名無罪となつて皆大物かたづいと特別発表あり」	[FT00523.105]

1949 (昭和24)年 62歳

3月10日	「羽田出発夕7時半」	[FT00524.000]
3月12日	「午前8時New York着」	[FT00524.000]
	「朝7時半New York Cityに着いた。」	[FT00524.001]
3月14日	「毎日の太田と言ふ人杉本からの話もあつたので安心して会い」ローズとマルメルスタインの店に行く。	[FT00524.005]
3月15日	「ブトードwayの夜景見て又電気がきれいになった。大変なものだ。物があるある〈何んと言ふ豊富な国だらうが通俗で悪趣味だ。」「スケッチBook 2冊20C。買つて帰つた品見るだけ」	[FT00524.008]
3月16日	「タイル模様等始めて見る仕事始めた方が面白いからやり出す。女人体の机のデッサン始めた。朝十二弗許りステンセール初め様と思つて同じ通りの店でカツシュ紙鉛筆等買つて」	[FT00524.008]
	「黒人の子供鰐魚の骨虎等夢中になつて彫り出して見る」	[FT00524.009]
3月18日	「昨日からCraftの仕事始めて」「木版出来三時頃一転して杉本の処へ行つて印刷して見る」	[FT00524.009]

- 3月21日 「コロンビア大学へ行く」 [FT00524,011]  
「Earl Hall Room Qでチエースに会った。」 [FT00524,012]
- 3月22日 「Monsieur Vincentと言ふフランス映画あり。」「初めて支払った高いもの見て、とてもよかつた」 [FT00524,013]
- 3月23日 「ホテルに居る1011番のMrs Ehrmanペルマン夫人だと聞いて見に兎に角十階へ上つて訪ねた」 [FT00524,014]
- 3月24日 「今日岡田伊原と一緒にPan American会社前で写された写真New York Timesに写真丈け出た。」 [FT00524,016]
- 3月26日 「一時杉本来て二人で移轉ホテル代3/19-3/25日34.93c.支払つてボーイに廿□やつて自働車75c.支払つて移つた。」 [FT00524,017]
- 3月28日 「Kissing Bandと言ふColor films見て」 [FT00524,019]  
「デッサン一枚かいて」「又小児一枚かいて今日始めて三枚仕事した。」 [FT00524,020]
- 3月29日 「Chagallのエッチングの展覧会ローランジュエルに見に行つた」「猫と小女ねむるかいて」 [FT00524,021]
- 3月30日 「18×24、25×30、30×40の枠三本、ベルギー白五本、30×40ノ大カルトン小カルトン35c.廿枚ポツセーOil等買つて主人親切にTaxi迄送つてくれ」 [FT00524,021]  
「実際私が必死になつて傑作を描いたら巴里をコンケツトした時よりももつとたやすくコンケツト出来ようと思ふ。」 [FT00524,021,022]  
「アメリカの絵具やの材料の豊富な事驚く程だ。本当に私は何んでも出来る気がする。」「傑作の出来る見込みはついた。」 [FT00524,022]
- 3月31日 「二時から四時半迄仕事素描女の子鳥を持つとベルシャ猫一枚かいてクロツキー皆破つて仕舞つた。全く新しいもの一枚つづ丈け出す事にして二枚同じもののない様にするには下画もない方がいいと惜しが破つた。」 [FT00524,024]
- 4月1日 「ガラス画十一毎猫の画油画でかいて」 [FT00524,024]
- 4月2日 「ガラス画の二度目ぬり始めて」 [FT00524,025]
- 4月3日 「三度目のガラス画の裏地の色渋い緑作ってぬる」「小猫画こうと思つて始めてとうく四枚かいた。大城君の友人医師の上原さんに会え画の好きな人だと言ふからすこし持つて行つて見ようと小さい画もかいて見た。」「猫四枚 (小)厚紙に張つて、又ガラス画四枚目の色ぬつて」 [FT00524,026]
- 4月4日 「ガラス画そうじしたり紙裏に張つて出来上つた。とてもきれいだ。」「猫晚餐の図かいて見た。」 [FT00524,027]
- 4月5日 「近代美術館に行つた。立派な近代式の二階建ての大建物で二階へ上る梯子だんオロスコ第一室ピカソマチスゴーガンゴツホセザンヌ其他沢山の作品で皆傑作の大作許り三階がブラックの展覧会19045年から1947年迄初めはピカソと同じ様なものから今年はゴツホの様な色彩に色が入ってきた。ピカソ、ブラック、マチス等流石仕事大きいマチエールがよく、見たいと思つた。大作とあつて来てる人も美術家やインテリ許りだつた。久しぶりに、いいものを見て眼が楽しかつた。」「枠や絵具やを17弗 (パレット 4 弗) 等買つて」 [FT00524,028]  
「ローズが電話で明日一時に会いたいとの事だつた。パテントの事だが私はのり気にならぬマルメルスタインを金主にして三千弗も出させ様とするのは私ハ賛成出来ない。夜になつてプロツクスベルギー絵具白ジंकでカンバスの四十号大 (40×30) 二枚ぬり始めた。十一時半終わつて」 [FT00524,029]
- 4月6日 「マルメルスタイン娘の肖像かいてくれとて今度の日曜日から初める事にして一枚200位と言つたら50弗丈け前金くれて」 [FT00524,030]
- 4月7日 「スカラッチボールにゼツソーをぬつて瀬戸物の模写京都でかいた様なもの大にかいて見た。」 [FT00524,032]
- 4月8日 「午前中猫の食卓のガラス画大きいのに初めてとうく二時迄なつて」 [FT00524,032]
- 4月11日 「せとものデッサン八枚かしてやる」 [FT00524,035]
- 4月14日 「結局後世に残す傑作をかくためにハ人の十倍も仕事をしなくてはならぬ。」 [FT00524,039]  
「丁度Muséeにフランス展あり」 [FT00524,040]  
「萬世不滅の傑作を残したい。」 [FT00524,043]
- 4月19日 「メトロポリタンmuséeに入った」「恐ろしい大家にこの世で会つて様で敬服した。」 [FT00524,049]
- 4月20日 「AMER Museum of natural History」「マルメンスタインから堂本印象に手紙来たと電話がかかかって来た。」 [FT00524,050]
- 4月21日 「マルメルスタインの小児二人の肖像油えのキャンバスに描き出した」 [FT00524,051]
- 4月25日 「映画」「Sunday afternoon」 [FT00524,055]
- 4月28日 「Cloisters museum」 [FT00524,059]
- 4月29日 「五匹の狐かいて」「始めて本当の仕事にとりかかる狐食卓の図」 [FT00524,061]
- 5月1日 「狐女親けんかの子狐二匹おばーさん狐机いろくせともの台所等かいて」「一昨日と今日二日でこんな傑作を作り出した事はない。」 [FT00524,064]  
「こんな画を十五枚描いて展覧会して売らずにアメリカを旅行して方々で展覧会して歩き度い。売り度くない5000\$でも惜しいと思ふ。私のこの十年間は私の尤も大事な時だ。」「この絵は必ず後世に残る事は私がかいて、分る。これハ傑作として評判作になる事も分つてる。」「私の新しいエポックの画だ。」 [FT00524,065]



- 5月2日 「今日は思い切つて着物にかけつける事やつて見て成功した。これ迄にやつた事はなかつた。今度のはかけが強く細かい。又新しい私の形式だ。」 [FT00524.066,067]
- 5月3日 「ラフォンテンの昔話の鳥と狐の画の下絵かく。」 [FT00254.069]
- 5月5日 「華府 Washington Sayo Kimiyo can go New York more later と言ふ Radio cable 着す」 [FT00524.000]
- 5月7日 「マルメルスタインから電話で [……] 友人の肖像もたのミたいと言つてくれ、昨日素描紙にはつて置いたと言つたら喜んだ。」 [FT00524.075]  
「ベンのカンバス3.60外枠と40号の額縁15弗を奮発して注文した。何せ見せる時は必要だから今からいろく用意することにした。準備に金がかゝる。」[とうく君代へ許可が来た。] [FT00524.076]  
「Mr Pontell氏に私のCaféの話したから行けとの事又友人の肖像の事も話あり妻君姉Monica妹Elizabeth二人つれて来て肖像の事話し、今朝のカンバスの大きさもよしライカで写真うんと写して、帰つた。」 [FT00524.077]
- 5月10日 「昨夜考えた布地デッサンを寸法で始めて見る案外こんな仕事は易しい。額縁やに行つて大机23\$40で一つ買い紙廿枚、額縁 (13\$50支払すミ) 午後届ける事にたのミて帰り魚やいてめしたべ午後又デッサン等して」 [FT00524.082]
- 5月11日 「近の絵画やで13\$油画のととてもいい筆買つて誰れにも言ふなとて一割五分引きしてくれて」 [FT00524.083]
- 5月12日 「外の人とは他れ人と免許されて居ないのに私夫婦がこゝで移民権を得て永久居られると言ふ事は本当に日本人の男としても女としても人の羨望を的にされても仕方がない、うらむ人にも無理はないと思ふ程幸福だからだ。」 [FT00524.085]  
「マルメンスタインの妻君モニカとエリザベス三人の肖像群像を廿五号に普通のデッサンで木炭で写真参考にして描いて略似たものが出来た」 [FT00524.087]
- 5月15日 「午前十時から午後一時迄油号40をかき上げ総体の調子をとつて完成した」「六十七時間で完成した」「額に一本線彫つて白ぬつて」「午後木版をいろくすつて見る紙なくて西洋紙に押しつけたのが一番面白かつた。」 [FT00524.092]  
「随分この廿年近く無駄な嫌な生活をした私達最後の晩年丈だけは楽しく暮らしたい。」 [FT00524.093]
- 5月19日 「絵具箱へ行つてガツシュ沢山定規鉛筆ピン木炭スケッチBook等7\$買つて仕事の材料作つて」 [FT00524.106]
- 5月20日 「手はずをきめてすべてを準備して一気にやればすらくと綺麗な仕事(始めは面白くもなくめんどうだが)出来る時ハ早く□に出来る これが商業美術だ。」「Bad boyを見るととてもいい映画でとうく善人に成つた。もう一つはお母さんは何時も若々しいと言ふ Color film これもよかつた」 [FT00524.108]
- 5月21日 「東京羽田出発で渡米する旨電報が来た。(7h45分) ホノルル迄行かなくてよくなつた。822 plane」 [FT00524.000]  
「午後七時四十五分羽田より君代マツキボーイ夫妻と日本を離れて出発の日だ。」「石垣と言ふ人訪ねて来てお話し日本の事を伺い国吉君と一緒にお訪ねしたいがとてカリフォルニアに行ってるから国吉にもいろく通知してやりたいし等」 [FT00524.110]
- 5月22日 「二時約束した石垣と言ふ人三時十五分前夫人とお揃いのガハルジル雨コート着てキャンデー持つて来た、四十年こゝに居る画家1940年会つた人でとても感じのいい人で安心した。」 [FT00524.116]  
「EITARO-ISHIGAKI 219. W. 14th St WA. 9-2596. 夫人Ayako new name HARU MATSUI.」 [FT00524.117]
- 5月23日 「午前十一時五十五分君代一人で紐着着す。」 [FT00524.000]  
「十時五十五分か十一時五十五分君代は元気で一人でUnited air lines 600で独りで飛行機から降りて来た。嬉しい事幸な事言葉に言い尽せなかつた。」 [FT00524.121]
- 6月1日 グロジャンと再会し、喜ぶ [FT00527.008]  
「いろく両方の行き違いや難関多かつた話したらやはりレオンブルー 山田きく夫妻、外に荻須が反対邪魔して私の渡仏をいろくじやまし横濱領事等とやつたと聞いてとても驚いた。」「君代ハ [……] 大に荻須や新制作派の連中のけしからぬ話に興奮してねないで憤がいた。実に日本人にはけしからぬ奴が多い。□□しい画をかく事がこれ等の奴をけとばす事だと大に欣然として製作することに決した。画が最後の勝利をもたらすものだ。外にない。名声挙りて大きくなるとそねみねたみ焼きもちで敵が出来る。私はそれ等を無視して行く事は出来る。君代ハまだ気にかける。」 [FT00527.008]
- 6月2日 「Gros jeanが午前中との事で待ったがとうく来ず。」 [FT00527.009]  
「夕食をたべ出した処にGros jeanが来て [……] 当代の大家五人の一人としてこゝ十年大にやる事を約し日本の横濱領事館へ送るVisa請求書の下書かいてくれ、いろく見せたりして一枚女ノ小供鳥を持つのをお土産に上げ」 [FT00527.009]
- 6月4日 「大城氏よりとりの子白紙の水色届く」 [FT00527.010]
- 6月5日 「中村直人と土門拳に手紙一日かゝつてかく。」 [FT00527.011]
- 6月6日 「岡田伊原井上中村等に荻須猪熊の陰謀を聞いて大分同じ事かくので大変だつた。中村のは昨夜出した。今日土門の分かいて一通り終る。岡田と大城にも又手紙かく。」 [FT00527.011]
- 6月13日 「仏領事館でGros jeanに会いMr Cosul Raymond氏に会い何日でも仏行きの時ハ新しくVisa貰つて上げる。二ヶ月許り前に申し込んでくれとの事これで日本からのVisaとりよせの話は中止して仏へは何日でも行ける事になった。」 [FT00527.014]

- 6月14日 「Paul Rosenberg, Duran ルエル等入って見る。ベラスケス、ゴヤ、グレコの素晴らしい色付き写真原版数十枚ならんでカンバスのヒビも、筆の跡もよく見えたが画に光があつて深みが足りないのが残念だった。ルノアール、ピサロ、モネ等見た。」  
「すこし動物デッサンした。」  
「もう三週間にも君代来てから画筆とらず画が切りにかき多くなつた。」 [FT00527,015]
- 6月15日 「猿狸犬狐四匹獣かく」 [FT00527,016]
- 6月16日 「犬猫小供鳥鶏小供二羽りす等十匹獣かく」 [FT00527,016]
- 6月17日 「四匹獣かく」 [FT00527,017]
- 6月18日 「猫一匹下半分のバックかく」 [FT00527,017]
- 6月19日 「狼アヒルニツ其他」 [FT00527,018]
- 6月20日 「裸婦デッサン (大作の中の)」「私裸婦デッサン一枚かく鉛筆画を油画の中にかいて見ようかと考えいろく技巧の事思つて中々ねられず」 [FT00527,018]
- 6月21日 「裸体婦人机上」 [FT00527,018]
- 6月22日 「とうく大作獣宴会の図の素描かき上げて終つた。大変な仕事になつた。思つたより手がこみいろくかいた。第一作と同じく第二作かげ迄水でかいた。これハ今度とも初めてのテックニツクだ。」 [FT00527,019]
- 6月25日 「動物廿二匹九日間メ七十六時間 第一作は七日間 六十七時間 動物九匹」「今度の画はとても強く出来た。油ぎつて物凄いい感じを与える。」 [FT00527,020]
- 6月26日 「四十号二枚下ぬり仕上げ」 [FT00527,020]
- 6月27日 「第一作狐の図にニスぬつて見る少しこいくてぬりにくかつた。」 [FT00527,022]
- 6月29日 「三枚目最初の日裸婦素描と猫化粧の図」 [FT00527,022]  
「素描カンバスにかく」 [FT00527,023]
- 6月30日 「油画裸体かく」 [FT00527,023]
- 7月1日 「素描バック化粧台寝台シーツ等」「又二枚作る事に着手した。にかわとジンリ交せてカンバス下ぬり初め濃くて難しく一枚は薄くしてうまく行つた。」「午後三時間かつてカンバス二枚白ぬり。夜になつて第三作裸体バック寝台化粧台をかく。」 [FT00527,023]
- 7月2日 「ベットシーツ墨がき上部分化粧台下図いろく工夫してかく」 [FT00527,024]
- 7月3日 「上部墨がきして油かき大体調子つけた」「人一人と猫一匹だから早く出来た。」 [FT00527,024]
- 7月4日 「素描本かき、油え四枚目裸体」 [FT00527,025]
- 7月5日 「女丈け一時間」「女と猫三時間」「二枚裸体のバック二枚夜十二時近く迄かかつて描き屋根裏を黒くして大成功。」 [FT00527,025]
- 7月6日 「午後裸体二枚の色ぬり初めて大分調子出て来てうれしかつた。」「女のバック (トアールドジュイ)クラシックを描き出して三時間」 [FT00527,026]
- 7月7日 「バック女の像かき初め参考品もなく頭から出て来るクラシック風なアダムやエブや神父や動物どんくかいて」 [FT00527,026]
- 7月8日 「女と猫」 [FT00527,027]
- 7月11日 「君代雪のポーズしてくれて夜三時迄か、つてカンバスに油絵で一通り描き上げた」 [FT00527,028]
- 7月14日 「狐ねてる図狐のベットカバーの模様かく」 [FT00527,028]
- 7月15日 「狐とベット」「雪」「四枚下地の白ぬりし」 [FT00527,029]
- 7月16日 「狐とベット」「デッサン三枚」「何んでも想像や往来で見て来たもの意の如くかける様になつた。木炭も使へる様になつた。」 [FT00527,029]
- 7月17日 「狐とベット」「新らしき二人娘油画下がき」「狐とベットの小額に□夫妻フロックコートの肖像かいたが何うも落ち付かず嵐の中の狐かいて上々となりベットに画にねむる狐と調和とてもよく大満足いろく色ぬりしたり」「総体に水で墨ほかし濃淡つけたりして又強く体にもものうたんつけて大成功し新試作又々面白く」 [FT00527,029]
- 7月18日 「女双子の図バック」 [FT00527,030]
- 7月19日 「二人女の背景」 [FT00527,031]
- 7月21日 「女二人」 [FT00527,031]
- 7月22日 「七枚目四十号最初の日素描」「猫十二匹本がき」「猫学校」「猫十二匹のデッサン下がきよりカンバスへ写し上げ毛筆でかく」 [FT00527,031]
- 7月23日 「猫学校着物机等すみがき」 [FT00527,032]
- 7月24日 「猫学校色ぬり」 [FT00527,032]
- 7月25日 「猫学校」「老婆と娘」「老婆と娘せんがき」 [FT00527,032]

- 7月26日 「猫学校」「老婆と娘」「猫学校かげつけ又老婆と娘色一通りうすくつけて一時となる。」「ルフランのニスで三枚近作をぬつて」 [FT00527.033]
- 7月27日 「猫学校」「老婆と娘」 [FT00527.033]
- 7月28日 「猫学校完成」「老婆と娘」 [FT00527.034]
- 7月29日 「老婆と娘」「老婆と娘のバックやり直す事にして荒くかいたソーファーけしたりして小テーブルいろく針糸等静物かきバックに木版を押ししたり」 [FT00527.035]
- 7月31日 「老婆と娘」 [FT00527.035]
- 8月1日 「伊原近藤アサも手紙よこして伊原は長文の手紙 18 page もかいてくれ私の立つてから悪口言ふ連中噂仕切りにあつた事。アトリエ等に又私の事沢山出したりした事。中には私が行つてから急に私と親交があつた等と威張る連中が出来た事。いろく委しくかいてあつた。日本画壇の事、伊原の家庭の事。夫人が小説かいて家庭のことをあばいて伊原大に困つた事。」「アサヒの手紙は呑気陽気なものだつた。」 [FT00527.036]
- 8月2日 「老婆と娘」 [FT00527.037]
- 8月4日 「老婆と娘」「黒衣の女新しく始む。」「老婆と娘大にかいてすつかり昨日と見異なる様になり出来上つた」「黒衣の女大デッサン丸顔の肥つた女大きくかいて次の画下図始めて」 [FT00527.038]
- 8月5日 「黒衣の女」「始めて白カンバスへ大胆に墨で黒衣の下かきして見た」 [FT00527.038]
- 8月6日 「黒衣の女」 [FT00527.038]
- 「女もスペイン風で娘の玉も丸るくし胸も張つて大女で空と黒衣ととても調子よく今日は本当に二人で喜んだ日」 [FT00527.039]
- 8月7日 「Lifeに□□のLackson Pollockと言ふ1944迄ハ無名の人」「別に新しい考えもないのをとり上げて居る。物笑いと言ふ丈け一種のデコレーションとして余り価値はなく思へた。」 [FT00527.039]
- 8月8日 「セントラルパーク色つけ始めて五時半に終つてもう一度描き度い程度でやめた。」 [FT00527.040]
- 8月9日 「一枚巴里カツエ 一枚うらないの二人の女、老婆」 [FT00527.040]
- 8月10日 「うらない カツエの女すみがき」 [FT00527.041]
- 8月11日 「うらない カツエの女」「夜十一時迄墨でかく事夢中又々傑作なりと」 [FT00527.042]
- 8月12日 「うらない」 [FT00527.042]
- 8月13日 「うらない色つけ」「額椽作り」「青いアツサリした調子の画が出来た。」「額縁30×40二枚目一生懸命にほり出して」 [FT00527.043]
- 8月14日 「墨がき カツエの女」「額一寸彫つて二人の女娘タツピスリー前の方が一番調和よくてはめ、先に作つたのも狐家族にはめた。午後カツエの女バック、紳士ガルソン、巴里裏町 (ポルトベルサイユ附近)等七時迄かかりて仕事一番終りの仕事一番早くとても好きなこれ亦傑作の一ツ出来かゝり墨丈けの仕事終り君代画用紙挟みの小デッサン皆私にサインさせこれ亦始めての事私の画にかんしん持つて大事にし出した」 [FT00527.043]
- 8月15日 「キュービッド彫刻」「油画やめて額椽ほり出し」 [FT00527.044]
- 8月16日 「カツエの女」「キュービッド額椽」「カツエの女十一時から色彩油画初めて」「仕上げ殆んど完成バックの皮の長椅子上々色もマチエールも感じも始めて私の画でした仕事で大満足恐らく今度のセリーで一番いいと二人で大喜び夜にかけて額の中央部にも模様四ツ五時間かゝりて彫り」 [FT00527.044]
- 8月17日 「うらないの女と老婆」「額金箔二時間」「Bedroomで額整理中画たはれてトランク置きその角で穴二ツ明けて君代失望 私もガツカリしたが直る見込みあり すぐ針でぬつて一應絵具堅くして第一手当した。折角の傑作惜しい事したが八分九分通り迄は直すつもりだ。」 [FT00527.045]
- 8月18日 「額一枚 (猫宴会)」「本式に猫宴会の図彫刻始めて六時彫刻終り、又色ぬり金箔置き」 [FT00527.045]
- 8月19日 「額朝から夜迄つけて猫学校の額洋傘バンド手ブクロ靴帽子等小児のもの彫つたり」 [FT00527.045]
- 8月20日 「カツエの女色ぬり完成」「三時間額色つけ金箔おき猫学校の分完成」「女ねる図荒彫額完成」 [FT00527.046]
- 8月22日 「金箔君代と二人して置いて女ねむる図 (トアールドジュイ桃色布)額に入れ手許にある全部の額彫刻すみ セントラルパーク、うらないの女、女ねむる図の黒バックにニスぬつたりして」 [FT00527.047]
- 8月24日 「二号大のカンバスに小児の顔かく」 [FT00527.048]
- 8月25日 「日本で描いた小児の画のバック三時間許りかつて幕を上と左右に増加しバックに巴里の裏町のスケッチから手すりをかいて風景をかく上々出来。とてもよくなつた。カツエの画はニスをぬつたりして」 [FT00527.049]
- 8月31日 「デッサン墨線かき二人の子供」 [FT00527.051]
- 9月1日 「二人の子供彩色」 [FT00527.052]
- 9月2日 「二人の小供六時間仕事完成」 [FT00527.052]
- 9月4日 「貧乏人の娘ニューヨークの救助梯子バックの小画かく色つけはせずデッサン丈け墨でかいて」 [FT00527.053]
- 9月6日 「モダンアートで伊太利二十世紀展見て大した事なくゴーガンやボナール ビヤール等の石版木版等いろく得る処



- 多かつた。」「今日ニス雪の画小供二人の画にぬりたりする。フランス行き相談した 早く一日も佛蘭西に落ち付く事に決心した。気がサバくした。」 [FT00527,054]
- 9月7日 「八時すぎVertes来るとの事で帰つて九時二人タキシードでやつて来た。狐宴会家族の画と二人子供の画丈けサロンにかけて置いたのを見て一寸待てこの二枚見ただけでお前の成功はもううたがいない。決定的だと二人してとても感心 完全に美術的だと言ふ大宴会の図妻君ハ額椽もうすこし明るくする方がいとか、女のデッサンが何うかと言つたがVertesハ画のくらさと額と調和し、又裸婦は獣との関係が私が考えてる通り人間の画を獣がかけるので一番面白いとてこれ又傑作の一つとして大に驚かした。動物猫学校の画はとても面白くて表情や其他天井のはり等見て感心 ベットルームの狐の家族ハ敷布等の美しさ感服四枚見て若しも私に言はせてくれるなら学校は話が余り出来すぎでさしえにまちがえられる恐れあり。とて尤もとも思い私も一番すきでない面白い方が勝つてる画だと言ふ事ハ知つてる。何んだかも足りない。猫化粧の図は完全によく たゞし夢としてはベッドのすみの布地が実現店で売つてるものと笑つた。又ベルテズ足が浮いて、重ミが足らず裸体の様にしたい等と言ひ大傑作だと賞讃。もう一つの桃色の布の図裸体はとてもよく 二人女大壁画の丈けは二人とも嫌いだとこれ丈けは落第点私も何うにもならず展覧会へ出しても売つてもいいと言つたもの、大賛成。セントラルパークも大凹ミの庭丈けは考えものとてもよくない方。其他うらない子供二枚スペイン等はとてもよよし très joliの連発小品三枚も全様結果化粧猫動物二枚は大傑作他も皆よく雪のバックは黒が度すぎて鳥が日本画風でなほしたい等 私達の思つた通りの評適中流石世界で有名なデンナートルの言葉としてよく参考としてきたが」 [FT00527,055]
- 「十一時迄茶も出さず画に引き入れられて初めてこんな□前Toiの画見た事もなく画がとてもよくなつて上手になつた。これなら何んな成功も得られ画として相当時間もかけてありお前の様な技量の人の時間だから普通の人なら二ヶ月もかかるだろうからとても高い價だと言ひ見飽きず絶讃して構図色線すべて美術本格的だと言つて帰り、二人後で三時迄ベルテズの評もするどくよく分る人だと感心したが君代も大安心した。」 [FT00527,056]
- 9月11日 「小児の顔小カンバスにかき夕方迄に油画にして皿等バックにかく。」 [FT00527,060]
- 9月 「ツイスラー氏 Albert Duneen? 英国人コレクシヌールで有名な人 Louis E. Stern 大コレクシヌール 私に汝も知つてるでしょう J. B. Neumann ルオー等こゝへ紹介して批評家 三人をこゝへよこすと親切に言つくれた。」 [FT00527,062]
- 9月13日 「午後小画皿三枚の小児かきなほして仕上げ三時となる。」 [FT00527,062]
- 9月14日 「100弗を支払つて展覧会の額椽皆出来る事になつた 帰つて計算したらまだ187弗と10弗ノ銀貨外 丁度200位あり Bankに50あることになった。借金等一文もなく何うにかこゝ、切りぬけられ相になつて 愁眉を開くの感あり。」 [FT00527,063]
- 9月16日 「額小供二人黒服の分 八時間彫刻殆んど完成。」 [FT00527,065]
- 9月17日 「額小供一人の分八時間完成 額スペイン女五時間荒彫仕上げ少々」 [FT00527,065]
- 9月18日 「額スペイン女額 二時間半彫刻 一時間色ぬり完成 カツフエの女 三時間彫刻 二時間色ぬり 狐ベットの図 三時間彫刻 一時間色ぬり」 [FT00527,066]
- 9月19日 「・雪の額 四時間 ・老婆と娘額 四時間 三枚三時間 金箔おく」 [FT00527,066]
- 9月20日 「New York 展の事岡田が話したので各新聞藤田九月にn. y.で大展覧会すると出した相だ。」 [FT00527,067]
- 9月21日 「四時近くPierre Marinノギャラリーを訪ね久々に会つた私がこゝへ来て居た事も承知して居た。いゝ室だが先約沢山あつて展覧会はとても今年ハ難しいので他の方を見る事にして」 [FT00527,067]
- 「小額二枚出来」 [FT00527,068]
- 9月22日 「小額二枚出来」 [FT00527,068]
- 9月27日 「Komorさんの処へ十時半行く。展覧会する事たのむだら、一、会場は無代でかしてくれ三割の売り上げをやる事。儲けたくもないが損もしたくないから1000位銀行に入れて一切展覧会費用私が持つ事 招待状カタログ500枚位 展覧会は十一月6日以後12日迄の間 25日終了 10-6h迄月曜ハ休み、日のいい日にして初め招待日コクテル出すかも分らぬ 次の日新聞記者招待等いろく打ち合わせ、その契約手紙私に送る由サインして今後も友人で居たい等」 [FT00527,071]
- 9月30日 「Rosen氏二枚油え返却に来た。Mrs Komorの招待状来た。」 [FT00527,074]
- 10月9日 「小供の画二枚小カンバスに墨でかき上げ」 [FT00527,078]
- 10月10日 「朝Komorさん処へ行つて油絵小二枚小児アメリカの貧乏人の子供の画渡して」 [FT00527,079]
- 10月11日 「二枚小さい油画小児と女の子かく。上々出来一枚十字架バックのもの」 [FT00527,079]
- 10月12日 「シュナイダー主人の世話の写真師フランス系のSedge Lebland 10w. 65st N.y23 (S.C.4.1766) (VA. 6-0492) の眼鏡かけたハゲのいい人来て二ツカパン下げて素晴らしい照明で画が恐ろしく見える様に写してくれる」「十二枚たのむ。一枚15弗。焼まし1.50」 [FT00527,080]
- 10月13日 「Komor氏に電話して三時サベツジ Boy取りに来て素描十枚 三毛猫 三毛猫 大三毛猫 女横顔細長 小供手を胸



- にあてる 女ねむる図大 小供の顔 外油画二枚 小供と皿 女レースの図 渡した」 [FT00527.080]
- 10月14日 「小額四枚又彫り初めて夜迄に二枚丈けは完成彫り上げた。又小油画猫二枚古デッサンの中から墨がき丈け午前午後かつて仕上げ。」 [FT00527.081]
- 10月15日 「猫二枚油画かいて仕上げ又先日の方の分にも一寸手を入れた。夜額椽色つけ金箔おき君代手伝つてくれて十一時に終り」 [FT00527.081]
- 10月16日 「朝から女中來ぬ日故小額四枚皆彫り出して午後夜七時迄に金箔でコバ迄置き君代手伝つてくれて皆これでnew yorkでの額椽作りは終り気が軽くなつた。」 [FT00527.082]
- 10月22日 「油画二枚 (小兒鉄棒窓を通してメキシコ人形持つ) (小女本を読む) を油でかき」 [FT00527.085]
- 10月23日 「油画二枚完成して」 [FT00527.085]
- 10月27日 「メトロポリタンに入ってVan gogh展左手の奥二階にエレベーターで入った入場料 1 弗二人ではらつて」「暗い時代から印象派のえいきようから最後の個性の傑作迄を二人して一日見たが大勢見物人立派な人多く、又Artistの様な人も多かつた。随分細かい仕事サンビリテーの鋭い画もあつた。色の美しい事強いと許り思つて居たが随分デリケートな色が使つてあつて私を驚した。空や地面はととてもよかつた大抵の人のかかぬ処迄もよく描いているのに敬服した。随分ためになつた。ルツソー氏 Theodore Rousseau Jr. に会いたく Informationできけと言はれて尋ねたら月曜日に巴里に行つた出立したと言はれて残念で失望した。」 [FT00527.087]
- 「十年間に千六百枚かいたゴッホ。今2000万弗に上の画が生きてる間はやつと86弗で二枚うれた話やVogue等で見て自殺して十五年目に世に知られた以上の話恋人が五人出来て皆ことわられた話等本当に芸術家のつらい話に君代とコーフンして三時にねた。」 [FT00527.088]
- 11月1日 「小油画五枚」 [FT00527.089]
- 11月5日 「この展覧会を成功の中に終らせて給へ。神あらば神にも祈らん。ただし頼るものとしてハ私の力より外に一途もなくやはり画をかき画を残す可きが一番だと思ふ」 [FT00527.091]
- 11月8日 「一時Komorさん処へ行く 電燈十六本天井について居間の様に明るく色が細かく出て特に黄色の変化や額椽の色皆特色が見えて驚いた。私の画をこれ丈けよく見せた光線はなかつた。」 [FT00527.094]
- 「Komor私に来てくれと一枚 (女の顔レース) をMuséeで買ふからとて何にしる開会の前に一枚Muséeに売れたのは縁起がよくとてもいゝスタートだと大喜び。」 [FT00527.095]
- 「これでピーバナーとnew Londonのミューゼ一枚都合二枚もううれた。」 [FT00527.095]
- 11月10日 「展覧会初日招待日」 [FT00527.096]
- 「展覧会の話委しく話してとうとうねられず三時位迄グズグズしてたが評判がよく皆私の画アメリカでハ見られぬ様ないい画だと一致して賞めてくれた事に一番君代ハ喜んで私の将来に信用を増してくれた。もう一息やれば必ず成功して世界の歴史に残る人にならねばならぬ。大体あゝやればあすこを強くしてあすこを略して棄てなくていいと私の特徴や弱みやがはつきり分つた。ためになつた。」 [FT00527.097,98]
- 11月13日 「Komorさんの処へいろく個條がきで質問が来たから返事してくれとの事で  
一、1913年巴里へ着く前に日本のサロン展で三年続けて落選したと言ふが本当か。 yes その通り。  
二、巴里で猫を連れて往來を歩いてたと言ふが如何 no. □猫を往來で拾つて可愛そうだから育たた事ハあるが散歩した事ハない。  
三、モデリアーニ、スーチン、パスキン等と居た時分貴君も酒やアブサン等のんだか no. 酒は嫌いでのまぬ。  
四、巴里で狼の皮レポバルドのズボンはいて歩いてたと言ふが本当か no. レポバルドの小さな帽子トツクはかぶつて歩いてた時代もあるがズボンはない。  
五、ラツキー・ストリックスの広告に写真を出されて、大勢女がキスを求めてくるのハラツキーストリックスをのむからだとかいたが雑誌にも出たか。 yes 宣伝に出され新聞一頁大に出た事が二度ある。雑誌にハ絶対にない、ゴモンパラスでその夜煙のんでたら新聞の広告見てる人がフヂタはフランスのラツキーストリックスをのんでると言つて笑つた。マリーランの外ハのんで居なかつたからだつた。」 [FT00527.101,102]
- 11月17日 「ボストンの美術館長來たりした。」 [FT00527.106]
- 11月19日 「石垣初め大勢画家達來て」 [FT00527.108]
- 「今日で油画六枚デッサン一枚売れてる。」「本当にいい画かく事丈けやればいゝのだと言ふ決意で当分これから十年一生懸命にやる事だんく画の事も又判り出した様な気がする。」 [FT00527.109]
- 11月21日 「今朝は国吉も來たとの事やはり見て置きたかつたのだらう。」 [FT00527.110]
- 11月22日 「夕方Komorさんより電話ありて一枚小品女の子油画売れた由又油画を版画にしてアメリカ中又ハ欧州にも売り出したいと言ふ。」 [FT00527.110,111]
- 11月25日 「今日も油え一枚デッサン一枚売れたりした。」 [FT00527.112]
- 11月26日 「今朝一昨日描き上げた油小額二枚持つて (一枚は額に入れて) Komorさん処へ」「Bostonの富田氏來て居て□□美術

- 館に来たら案内するとて大好評を喜んでくれた。」 [FT00527,112]
- 「売り上げ計算したら2000位手取り出来て始めて大安心してこれなら巴里行きも安心して行けもう一ヶ月の内に未だ1000位はかせげる豫算も出来」「私の大きな画は全部残つて巴里に持つて行ける小さいの丈け皆一枚 (小猫) 残して十四枚の内十三枚 今朝の一枚加はえて十四枚売れ外に三四枚dessinも売れたらしく」 [FT00527,114]
- 12月4日 「馬鹿馬鹿しい程スチーム暖かで苦しい 午前中午後油画四枚に女二人小児一人猫一枚せん画してT.V.見乍らく白馬と犬牧場のもの面白く又裁判等見たり。夜に入つて四枚猫一枚女二枚小児一枚これ亦四枚鳥の子のデッサンさんがき終つて」 [FT00527,121]
- 12月8日 「天気よく額椽に画ニスぬりて四枚小品、猫 女と小供、女本を読む、小供バラの花 額に入れ厚紙はり又昨日彫つた額椽色つけてワックスで磨いて皆仕上げた。一時半になり、Komor土曜日午前油画持つて来る事になつた。」 [FT00527,125]
- 12月12日 「六枚猫下描きから初めて皆キャンバスにかき色丈けは今日出来ず。」 [FT00527,127]
- 12月17日 「猫小品、三枚油画色つけて仕上げ 猫小品九枚かいた。」 [FT00527,131]
- 12月23日 「mc.millanの本や出版の事決定した」 [FT00527,134]

## 1950 (昭和25)年 63歳

- 1月1日 「mac millanの猫十枚かき上げ前日の五枚とで完全に出来上がってホットした。肩の荷一つ下ろした。」 [FT00527,144]
- 1月2日 「油画三枚仕上げ (猫 白、ベルシャ 三毛)」 [FT00527,145]
- 1月4日 「Fabris曰く巴里へ着くとça va?と言ふところをこの次はお前は何にだと言ふからソシアリスト、デモクラットとかコンミニストとか返事をするそうだ。」「私ハ何う言つて答へようか何にも分らないし又本当に見当もつかぬ。マツカサ一の捕虜だと言ふより外はないといつたらFabrisがその通りだと言つた。いい画さへかく画家ならそれでよさそうなものだがそんな時代はすぎた。巴里でもこゝでも美術家が政治に口出す様にもなつたらしいが政治に口出す様になつたら美術家としてハお仕舞ぢやないだらうか。今の世の中を救ふのは我らの手でハ出来ない。新しい画を創造して1950以降の美術の進展を計る事丈けはよく判つてる。」 [FT00527,147]
- 1月6日 「とうとう佛国から許可が領事館へ届いて知らせて来た。」 [FT00527,149]
- 1月7日 「永久滞在許可証をパスポートにサインして6弗50c。」「アメリカ、アブストラクト全盛時代ピカソマチス其他の本が若い人の種本になるために佛からもアメリカでも沢山出版されて居て売れるらしい。」 [FT00527,151]
- 1月9日 「油画三枚にニスぬつてKomor夫人の肖像下がき厚紙に張つたりした。」 [FT00527,155]
- 1月16日 「Mr Scott氏さしえ十五枚大喜びで結構との事」 [FT00527,161]
- 「油画小児バラの花持つ売れたとの事 (150)」 [FT00527,162]
- 1月19日 「Grosjeanから又手紙又私の敵馬鹿な シュツエピット、イゼオの連中難くせつけて私の渡仏の邪魔を又持ち出したとあつたが何んなくVisaが出来て大に嬉しかつたとあつた。相変わず未だに ねたミ そねミとジャルシーで私を敵視する輩が巴里にもいる事が想像通りであつた。」 [FT00527,166]
- 1月26日 「一枚油え売れてたとの事」 [FT00527,172]
- 1月27日 「二人して出帆紐育を去る」 [FT00527,174]
- 「十二時愈々紐育曇り日出帆フランスへ向けて米国に左様ならした。」 [FT00528,035]
- 2月4日 「佛蘭西へ着巴里へ入り夜ボルドーへ落ち着く。」「巴里だ二時十五分だ早く着いた。」「こゝに居るこゝに居ると大勢記者連がGrosjeanと一緒にどなつて皆窓下に集まつた二十人許りの記者二十人許りの写真班がフレッツシユたいてパチく写す事」 [FT00528,044]
- 2月6日 「フランスを見た興ふんや喜びで身体が普通でない。Sud Ouesutに二人の写真出で一番感じよし。」 [FT00528,046]
- 2月7日 「Muséeに行つてJean Gabriel Lemoine訪問。英国Bristolの展覧会あり、画家Lourtaud Mr Gay Charazac. Santillana等居た。とても素晴らしいルドンのパステル、女の顔二人を見た。私の展覧会の事等相談して」「ドラクロワの獅子の図見て驚いた。たくましい構図」「可成いろくの名画ドラクロアのセピヤの画やブルゲルの小さい画等よかつた。伊太利のブルシチーフもよかつた。」 [FT00528,047]
- 2月8日 「午前 Robert Charazac氏の展覧会を見に三人で行つた。モデルになつた女の人も来て居たがその画が一番よかつた。」「Sud OuestのMr Siunion氏Critique d'art interviewに来て中々画の事に委しく。」「Jean Maurice Gay.に呼ばれて行く」「この人こゝのアンデパンダンボルドネの会長、こゝで一番勢力のある人らしい。」 [FT00528,048]
- 2月9日 「Gala de la PresseのDon ハンの男女役者の立姿のカタログの表紙かく」 [FT00528,049]
- 2月10日 「Mr le Président Guyonnet Dupérat氏」 [FT00528,050]
- 2月11日 「Grosjean新聞社のAutoで迎いに来て二人昼前にRadioでPascal氏と三人四分私の今度来たに就て放送」「Jac Belobre journaliste (Republique) 之画家の人等と画壇の話してマチスは人が作つた色を更に美しくした。自然からの色でなく

- 出来て居る色を更に美しくした事初めて私から聞いていい事知つたと喜んだ。」 [FT00528.051]
- 2月12日 「Georges勲章croix de la Legion d'honneur 貰つた夜会の図皆んな家族友人写真に似せて色つけて一時になつて出来大喜び」 [FT00528.052]
- 2月13日 「裁判官警察署長や新聞社長お医者さん等に私の素描をGeorgesに渡した画皆配つたりしてGeorges得意すこし勿体ないが私の地盤も又こゝへ出来た。昨夜も歩いて皆私の名を言つたり知つて仕舞つた。巴里も同じ事だらう フランスで私の名はよく知れてる。何にかと都合もいい事だ。」 [FT00528.053]
- 2月14日 「巴里へポルドーより到着」「Hotel d'Autinへ来る」「巴里は特別だ。散歩したら男物でも女物でもいいもの許り金さへあれば何んでもある。」 [FT00528.054]
- 2月15日 「パンテオンへ入る」「シヤパンヌもローランスの画も生氣ぬけて居た。上手丈けでハ画はならぬもの。」 [FT00528.055]
- 2月17日 「ベトリデス私が今度の画はいゝと言つた丈けで見なくもいゝと言つてすぐ承知した。ニューヨークはたのミに行つても画商がなかつた。巴里との異いはたしかに大変なものだ。」「商売上手との事一流でウトリロ、次きにルノアール60枚六月三回目に私のをしよう決心して話まとまつた。」「Dufyの画とても沢山あつた器用でなれすぎて居て大したものではなかつたやはり二流処だと思ふ。」 [FT00528.057]
- 2月18日 「マチスが一月前から申込んで中々会えない。ピカソが南佛に避けて子供四人五人で五番目の子を又直ぐ得ると言ふ皆巴里から逃げてる。」「マチス、ピカソ、ブラック、ルオー、ウトリロ、ブラマンク、デラン、八人が今押しても押れぬ大家で私の其の内に入りたが新しい画がないから画商も私を入れる資格あつてもいれなかつたが実際にハ名前ハその高さだつた。」「巴里最初の夜をブラマンクと夕食して迎へたと新聞に出したのが尤も大きいまで私と君代がいいAutoに乗ってブラマンクを訪ねた そこにデーランもいたと言ふ それを見たと言ふ人迄出た。しかしブラマンクはピカソの存在を□テ物にして銃殺してしまう様に□□だ等とうそか本当かのデマもきいた。」 [FT00528.007]  
「世界戦争ハ巴里の人の競争を全く物凄なものにして仕舞つてる。」「これハYorkも言ふ事だがGrosjeanやMarcelleハマだ有力な人の交遊や後おしが必要だと言ふが其の必要は私はないと思つた。」 [FT00528.009]
- 2月20日 「Hotel Beaujolaisへ移つた日」 [FT00528.060]
- 2月24日 「ルーブルへ歩いて行つた」「新しいものはジュードボームに移された相だ。」「ゴヤの画が美しかつた白い桃色の肌が美しかつた。」「ピカソの友人で私も知つてるJacquesと言ふ詩人映画もやつてる人」「私の画は心でかいて理屈さくなくて皆驚いて見てくれた。一々びつくりして見てた。」 [FT00528.064]
- 2月25日 「序文が大事でコクトー、コレット、カルコ等の一人がいいだろう レプロダクションは安くするからやめろ等いろく忠告してくれたり四五枚のdessinハ毎月買つてショーウィンドウに出すと言つたりして生活も保証出来る。安心してやれる。」 [FT00528.065]
- 3月1日 「朝九時ベルギーの女記者Georges Magloire 文名 (Mrs. Dominique de Wespin)」 [FT00528.070]
- 3月2日 「荻須に手紙出す」 [FT00528.071]
- 3月3日 「Utrillo展へ行く大勢何百人で立錫の地もなく煙と香水とお酒シャンペン等で最高頂ノ処キスリング頭すこしうすくなつて角刈の様な頭昔と変らぬ愛くるしい眼して」「人浪分けてutrilloに会つた。瘦せて首筋の細いうすい頭毛、明るい眼が遠くを見て動かず眼に涙があふれて口もきかずうなづく丈け」 [FT00528.072]
- 3月4日 「やはり大きい名前を残してた事が今度の華々しい巴里入りとなつた。」「二人して昼からTaxiでロダンmuséeに行つた [……] ナポレオンの墓見て [……] 兵隊muséeにも入った」 [FT00528.073]
- 3月5日 「ユキの話でベルネムジョーンが私の展覧会をさして貰いたいと何度電話等かけて来たそうでもししてくれ等私がベトリデスと昔友人だから約束したからと言つたらせめて画うらして貰い度いと言つたのむだそうだ。巴里一の画商の方からたのみに来る事」 [FT00528.074]
- 3月6日 「初めてデツサンかいたら楽に出来て又異つたものが出来た。」 [FT00528.075]
- 3月7日 「案内状下書出来た。」 [FT00528.076]
- 3月8日 「Bernard二人主人ザリツジ来て小デツサン小供の顔一枚5000. 五枚二萬五千で現金で渡し店でハ一枚一萬二千で売る事 (二千は額椽) 50/100で渡し又直ぐかいてくれとの事巴里で初めての収入」「Nouvelle Litteraireの女記者年増のおとなしい夫人来てウトリロの映画に就て私の意見」 [FT00528.077]
- 3月9日 「デツサン猫三枚かいて」「女二人又素描して」 [FT00528.078]
- 3月10日 「Komorさん返事あり紐育不振何にも売れずとの事私の居た時より不景気だ。」「105\$送金して来た」「素描三枚 (女二枚猫一枚)」 [FT00528.079]
- 3月11日 「三人で二時TaxiでPitit Palaisへ行って裏口からローゼット付けた館長氏の室に行った」 [FT00528.080]
- 3月12日 「タルク買いに出たが薬や閉まつて買えずデツサン油画下かきやめて構想を只頭で描く」 [FT00528.081]
- 3月13日 「八角鏡に今朝かきかけた小供二人クロアソン持つ子をかき外二ツメキシコ人形ともう一人ちいさい子供デツサンをカンバス以上三枚にかき」 [FT00528.082]
- 3月15日 「Petridèsの処から電話ありてプログラムの追加直ぐ欲しい」「Recio来た」 [FT00528.084]



- 3月17日 「キキーが瘦せて居たお化粧一杯にして居た」 [FT00528,086]
- 3月19日 「クロアソン子供二人ベットの画から初めている〈其他四枚かき出して〉」 [FT00528,088]
- 3月21日 「Bernard二人来て」「デッサン先日のより二倍大を七千ツツ六枚渡し内金25000丈け渡してくれた。」 [FT00528,090]
- 3月22日 「Pétridesの処へ行つて画 [……] 二人で上からつるした。」 [FT00528,091]
- 3月23日 「昨夜の画にニスとう〈ぬつて成功一昨日からのがやつと出来て五枚小品油画、小供メキシコ人形。小供フランス旗。小供2号すきな小さいもの。女布かぶる 室内。〉」 [FT00528,092]
- 3月24日 「展覧会初日」「もう会場一杯の人で身動きも出来ず四時五時迄にも何百人八時十五分迄には千人も来た」 [FT00528,093]
- 3月26日 「紐育の時の倍以上の成績を生んだ。」 [FT00528,095]
- 3月27日 「長谷川昇から手紙で近藤と羨しく一度是非に來たい、代だん巴里生活知らせてくれ等、南君が死んで(急死)四月補欠推薦に辻が研一おしたり、守一、一政源太郎等の相手もあり、川島と三造が支持してくれてるけれど私の一票が是非欲しいから巴里から送つてくれと言ふ切々の手紙だった。」 [FT00528,096]
- 3月31日 「オランダ画商Kochに次頁の様な手紙かいて出して返事待つ。」「11 Av. du Président Wilson Musée d'art moderne de la Ville de Paris Salon de la peinture à l'eauに二枚魚(ベルナールド出品)風景水彩出品(画商)かして出した由。私の出品(31 mars au 29 Avril)」 [FT00528,100]
- 「Radio diffusion Francaise [……] Foujitaがスリセエリラツタンの展覧会やつてるのでその機会にフヂタに今から話をきくと五分間」 [FT00528,101]
- 4月1日 「Ramsy 53 Fgst. Honoréのモダン家具やさん布をかぶる女の画田舎に持つて行くとして30万mille置いて画持つて行く」 [FT00528,102]
- 4月3日 「母の肖像ペンで生れて始めてかく」 [FT00528,104]
- 4月4日 「Sacha Gitry夫婦 [……] 入つて来た [……] 友人が猫の絵持つてる。自分も欲しい等と言つて見てPetridesにたのむで行つた」「(メキシコの女)の画五万まけてやつて売約して行つた」 [FT00528,105]
- 4月5日 「この一年の間に巴里ではやつと二ヶ月の内にバタ〈とやつて生活の保証も出来(ベルナールドデッサン何らでも買いたしPetrides小品何らでも売つてやるとて)画丈けで生活出来アトリエへも来週風呂付電話つき台処つきスチーム付きの処へ入る事が出来たのは大早□で大変な成功と言はねバならず世界中に又名を出したり、巴里の人気又一気に奪い返した事ハ私の今日迄の覚悟と意志と又思い切りと努力とへしよげなかつたたまものだった。」「Helsch夫婦来てとてもほめて行く画室たしかに私に譲る事たしかめて」 [FT00528,106]
- 4月7日 「Lucieの元氣と豪せいな事今に見てると言つてやり度くなる。何に負けるものかと思ふ。」「1922年の大作キ、一の裸体画6万でPetrides買つてくれて、ドイツに分捕られたのが帰つて来て金が欲しい人がはなした分猫の学校と交換することにした(40万)」「静物二枚とこれで三枚の代表作手に入つた事となり新画室に飾れる事を大に喜ぶ」 [FT00528,108]
- 4月8日 「宴会動物400.0000迄出す人ありて私に何うだと言ふので思い切つて承知」 [FT00528,109]
- 4月10日 「二枚油画素描6号と2号子供二人、女一人」 [FT00528,111]
- 4月12日 「Modern art musée au President Wilsonへ連れて行かれNu La Rêve出品National Independanteへ出品した。」「雨降つて隣右のmuséeに入った。初めて見る近代美術館アメリカの比に□らず佛大家皆夫れ〈室を持ち寄附したりして八枚十枚十二枚とマチス ピカソ、ボナール シヤガル Dufy皆持つて居て私のが一枚自画像ある丈けで心細き事外に日本人はなくて私一人だった。」「Modern Artで水彩展で私のが一枚盗まれたと評判三四人の人の口から伝はつて来た」 [FT00528,113]
- 4月13日 「小児N020 2号一番小25000で売つてよしと返事した。」「私が広島で爆死(原子爆弾)した誤報はとても広く伝はつてたと見え皆本当たと一時思つたらしく忘れてないのに驚いた。」 [FT00528,114]
- 4月18日 「昨日かいた小児と猫 小女と猫、小女と猫女の顔かいた。」 [FT00528,117]
- 4月22日 「油画四号三枚小児と猫だく他のは両手で三毛猫だくと猫一枚十一時迄せんがきした。」 [FT00528,121]
- 4月23日 「三枚四号油え仕上げ皆上々出来すきなのが出来た。猫が面白く出来た。」「夜になつて三枚の猫二枚3号4号小供3号カンバスにかき色つけして十一時に油画三枚描き終る」 [FT00528,122]
- 4月24日 「朝油画六枚にかけ黒でうすくつけて終る。出来上つた」「ジャックプレバールからの電話で今度のfilmに私の裸体(猫と)夢使はせてくれ写したいとの事」「シユール見たいな画だから新らしい人に気に入つてとり上げたのだ。」 [FT00528,123]
- 4月25日 「画室へ半分荷物運ぶ日」 [FT00528,124]
- 4月26日 「ボージョレHOTEL引き上げ 今日画室カンパブルミエールへ移転の日」 [FT00528,125]
- 4月27日 「四号小女と猫、灰色の猫だく 三号ペルシヤ猫 四号小供と猫三毛猫さ、げとる。三号ペルシヤ猫」 [FT00528,126]
- 5月2日 「マリーバツシリエフ来て十年振りの再会」 [FT00528,132]
- 5月3日 「家主上つて来て」「ブードリユーが家主と打合せしないで私に売つて立ちのいた事をVexèして自分ハ五ヶ月前から売



- り渡かつた。私には借す訳に行かぬただし2500ミルなら汝に売つて汝の所有にして住む事の条件ならばいいと言ふ」  
[FT00528,133]
- 5月4日 「家主来た」「昨夜思い直して実ハ私をもう追い出す事ハしない。」「安心して居て下さい。」  
[FT00528,134]
- 5月6日 「夕方君代が洗髪で椅子によりかかつて髪を指でいじつてゐる処デッサンで描いて見るともいいdessin出来家に保有して置きたいと君代言ふ。」  
[FT00528,136]
- 5月7日 「グローヂヤンのヨクバリの画がほしいと。」  
[FT00528,137]
- 5月11日 「Petridesに二枚一枚四号猫白黒25000外一枚小猫二号たて15000 (額縁Youkiの注文せしものを使い中の横顔の油持つて帰り。Petridesの画帖小児のためのものもたのまれて持つて来た。」「どンドン持つて来い私ハ皆買いとリスイと英国でその画で展覧会すると言つた。」「シミジエ ドラ フランスからプログラムの表紙小切手で礼状送つて来た。」  
[FT00528,141]
- 5月15日 「夢の画売れて三十四萬現金収入」「夢の買手はアメリカ人でマルシャルプランのM. Bingham氏との事なり。」  
[FT00528,145]
- 5月16日 「四五枚白カンバス下ぬり始めてとてもよく出来た。」  
[FT00528,146]
- 5月17日 「二枚墨がきしてとても仕事し易く光線?よくて楽に出来た。」  
[FT00528,147]
- 5月18日 「油画二枚色つけ始めて終り小児黒服猫だく。水色の着物の女猫手の平にさゝぐ。」「一枚二号女の子寝衣の□の画かいて見る」「8号6号5号3号四枚白色ぬり下地作つて壁にかけ」  
[FT00528,148]
- 5月19日 「朝二枚油画2号墨がきして色おき仕上げた子供の肖像左右似た様なものいゝ出来だつた」  
[FT00528,149]
- 5月20日 「午後一枚2号小児の顔大きくかき」  
[FT00528,150]
- 5月22日 「二号小供一枚ハトアールドジュイ一枚は家の前の屋根もう一枚三号のバルコンの娘にも家の前の屋根と窓等バックにかき込ミて皆上々になつた。」  
[FT00528,152]
- 5月24日 「ベトリデーの処へ 四号250女の子猫だくスペインの娘らしい眉毛の濃い娘 三号200小猫差し上げる女巴里の窓と屋根バック 二号150小女、トアールドジュイバック。二号150小供大きく顔丈け 持つて行つて小切手貰つて」  
[FT00528,154]
- 5月26日 「キャンセルへの寄付の夫人来た佛大家と一緒になつて近代美術館で展覧会する由競売もあるので余り見つともないのと思つて□の四十号寄附した。」  
[FT00528,156]
- 5月27日 「1939年作十号の額を作り始めた。」  
[FT00528,157]
- 5月28日 「デッサン小小供の顔や猫と小供等五枚」「デッサン小供三枚かいて」「一枚三号は君代の髪の毛もて遊ぶ油画に墨がき」  
[FT00528,158]
- 5月29日 「君代のデッサン三枚小児大型かいて渡す」「二枚 (4号と (三号女髪をいじる) のバック 夕方迄かかつて小児と猫) 画室前の窓を正面と斜に角の処かいて素晴らしい巴里の風景画かける自信が出て来た。又君代のため一枚かく」  
[FT00528,159]
- 5月31日 「Petite Bernard 二人来て子供素描五枚内二枚は猫を持つ。二ツは横顔小形他一枚ハ稍大きい又例の二萬五千置いて行く。」「Campagne-premierejeudiの事の3番のDemurise氏に久しぶりで会つた処Salon d'automne今日がカタログのしめきりで切角こゝへ来たのだから出品しなさいとすすめられてPetridesで見た画でもいいからとの事Hommage a la Fontaine出す事してカタログ隣の印刷やですとの事庭のある一番この町で古い店見せて見い画室で肖像も見たりする。」  
[FT00528,162]
- 6月2日 「Youki Henriと外二人モンテカルロVeuf Vertのカタログの事でさしえたのみに来て来週水曜日迄にかく事に約束した。」  
[FT00528,164]
- 6月3日 「サロンドートムヘグラントパレーに狐家族40号運んで搬入」  
[FT00528,165]
- 6月5日 「Marche au puceの画三号に墨がきから初めて」  
[FT00528,167]
- 6月8日 「Petridesへ行く (四号) 小女と猫 (巴里窓) 小女 (窓風景) かく (二号) 金貰つた。Renoir二枚とボナール一枚十一ミリオン今日売つた等話した。」  
[FT00528,170]
- 6月11日 「兵隊と小供昨日かいたが色つけせず」「小女と猫ダンテルらしいフランス古風の服装と小女猫おどらすの図二枚等五号にかいて色はつけず。」  
[FT00528,173]
- 6月12日 「三枚五号小女猫オドラス 赤マイダレ。三号兵隊と小供、兵隊人形二ツ軍服。五号小女と猫ダンテル。後カーテン。」  
[FT00528,174]
- 6月13日 「二号 小供帽子サクランポー両手に持つて口から一本出してる。面白い顔。三号、女の子、しまの布地屋根眺めてる。一本干ものの紐ある分」  
[FT00528,175]
- 6月14日 「ベルナルへ渡すマドンナのデッサン三枚鳥の子へかき出したり」  
[FT00528,176]
- 6月15日 「昨夜のデッサン直ぐ仕上げたマドンナ三枚ベルナルへの分出来た」「Petridesへ五号四号三号二枚 五号 小女 猫に着物着せておどらすダンス 280 四号 小女 猫だく18世紀風の水色ダンテルの小女 250 三号 小女 窓、

- 家見えせんたくひも 200 三号 小児 軍服フランス兵隊人形ニツ持つ。 200」 [FT00528,177]
- 6月17日 「油画四号田舎娘の画ぬる前にバックストープのシユミネとムーラン、カフチエールポアブリエ等」 [FT00528,179]
- 6月19日 「ブロンドの娘赤服マーガリット持つ一枚墨がき」「スケッチに出かけ露地古道具や大工やとはしごだんの家等四枚スケッチ」「四号に露地の画かき出して」 [FT00528,181]
- 6月20日 「四号エガルキネの露地の画色つけした。とてもよくなつた。」「五号にEdgar QuinetとGaitéの間の左の庭のそばのクール梯子段ある家の画」 [FT00528,182]
- 6月21日 「画帖Gilbertのために小女猫いだくの図かく。」「三号にEdgar quinetの古道具や小供と犬歩くの図墨がき」 [FT00528,183]
- 6月22日 午前中三号Edgar Quinetの古道具やの画色つけした 午前中三号GaitéとEdgar quenetの広場公えんの処大工道具やの店二人娘キスしてる処三号にかき初めて一日かゝつて仕上げた。夕方になつて四号二人娘にした赤衣の一人おさげの娘丈けで寂しいからPetrides行きの画やはりいいものかく事にした。」 [FT00528,184]
- 6月24日 「女の子か男の子だか分らぬ四号に鳩持ち、鳥籠のある画かき出して四時にハ仕上げ一枚かき上げた。」 [FT00528,186]
- 6月25日 「三号に小児麦の穂とペンペン草両手に持つ図をデッサン」 [FT00528,187]
- 6月26日 「小額板張りカンバスの分二枚余りの木で作つてセルチユスで色つけして大成功きり吹きて薄墨かけたら益々よく又一ツ秘伝を発見した。」「カンバス二号五枚十二号四枚君代布張つてくれて二人して白下ぬりしたりにかわ早く固まつてナイフでけづり取りて又これも新手をやつて見る。まだいろく研究して新しい事を発明する。」 [FT00528,188]
- 6月27日 「とうく京城も三十六時間後とられてしまつた。日本も騒いでる事だらう藤田の奴うまい事をしやがつたなど言つてる日本人も居るだらうと二人して話したりする」 [FT00528,189]
- 6月28日 「Petridesの処へ行つて 四号 海水浴の女、猫、 四号 二人娘マーガットの花持つ。三号野の草を(麦ペン(草)両手にもつ小児えり丈け赤 二号 ダンテルの女、うす青い着物、トールドジュイ バック。」 [FT00528,190]
- 6月29日 「三号小児と小犬の耳を両手で持つ赤チョッキ水色着物ボネツト赤白リボンを仕上げて早々と出来た」「四号に猫だく長い髪たらし腰にリボン結ぶ女の子かき出し」「四号猫を両手でもち上げる赤いリボンと赤い前垂れの女の子かき出して」 [FT00528,191]
- 6月30日 「二枚昨日の油画四号二枚色つけして」「猫男女洋服装た二匹と老人の猫つかひと見物の小児二人 四号一枚墨かき初めた」 [FT00528,192]
- 7月1日 「Petridesが猫と小児を欲しがるのでそんなクロツキーかいて見る猫が活々して表情のある面白い小猫がかかる様になり小女や小年の顔も愈々西洋人らしいものが描け出して従来の型から一步外へ出た感を自分で判るのが出来出した。」 [FT00528,194]
- 7月2日 「猫をかづく小児多少意地悪の小女(三号)と猫手を頭にのせる小女肘をつく四号m二枚かき出して夕方迄に色迄すませて二枚かいた」「三号おとなしい女兒頭にバラつけたる細い線細い筆つかつてきれにかげのつけ方又新しく研究して成功したのをかく」「ベルナルド午前中来て1917年の老人と赤ん坊のデホルマシヨンの出物があるとして交換してもいいとて置いて行き三枚マドンナ、一枚小児トルコアラビヤ風のチュルバンのも一枚マンダラン風の東洋の小児一枚おとなしい大人らしい女の児のデッサン三枚持つて行き」 [FT00528,195]
- 7月3日 「猫だく三号肩にヘラ(のレース頭に一杯リボンつけた女の子等かき出して三号二枚せんがき出来上がった。四号m小児猫頭にのせるのバックに家の前の窓や煙突等かく」 [FT00528,196]
- 7月4日 「三号二枚バラさした女の子猫だく rose 三号リボン結んで猫だく cobalt 色ぬり初めて仕上げた。猫芝居(四号)にニスぬつて猫頭にのせる女の子(四号=m.)と二枚二階に上げた。マクラの上にかけた。寝衣で猫の両手をかづく女の子のバックにベットとマクラ敷布等かきこんで三号出来これハ家に置く事にして二階に上げた」 [FT00528,197]
- 7月6日 「二号小女机の前小猫皿の中のものなめる袖の広がつた王女の様なもの昨夜デッサンかいて置いたもの三時迄にかき上げた。」 [FT00528,199]
- 7月7日 「三号の女の子のバックに青い葉と草のバックかいて一枚完成したよくなつた。これハ細い線うすい出来て私の好きな画だつた。」「サツマ治郎八氏三時頃来て五時迄めいごと新聞記者Radioの女の人も来て三人となつていろく話した」 [FT00528,200]
- 7月8日 「二号に赤ん坊猫だく面白いデッサン一枚」「二号小児猫に皿なめさせる分のバックに食堂戸棚夕方迄かゝつてかいて大分色がつく様になつて又画が重くて新らしい方向になつて来た。Petit Bernard良人と二人で来た。デッサン五枚女の子猫大額中額二枚 女の小女猫ナフキンかぶつた女の子猫等五枚渡して」 [FT00528,201]
- 7月9日 「今日ハ人が来て戸をたたいても開けない事にして三号人のいい娘猫をいだくの椅子にゴブラン模様かいて左にランプのアバジュール描き色渋く又はでにコバルト等もつけて見たら近來の傑作となつて大満足した今迄の内が一番いいものだと思ふ」 [FT00528,202]
- 7月10日 「二号大きな帽子に赤リボン結び黄色の小児猫だくのバックに画架に又猫だく娘かいて色つけしてこれこそ大傑作の一ツが出来て」 [FT00528,203]
- 7月11日 「三号pに女ソファの上にねころんで小猫コツプからのミたがつて困つてるのを眺める図かく。」「Petridesの処に四

- 枚 四号女ノ子、猫男女ノ着物老人一人猫芝居 四号女ノ子 髪の毛長い女細長の顔猫だく 四号女ノ子 女ノ子ホスカートの子猫だく 三号女ノ子 赤ん坊赤イチョツキ小犬だく渡して九萬五千渡してくれ、この頃画売れずカンヌで八月に展したら何うか十五枚位借していいか等よろしと言ふ」 [FT00528,204]
- 7月13日 「五号m.にモデル女髪長くしてえりと胸に布かけ下は裸体バツクは大画架に裸婦の画かきて墨かきから油え迄夕方迄かかりて仕上げた。水色ソファーの女と猫 (ねそべつてる) のソファー (3号p.) コバルトつけたり、小児小猫皿なめる二号等色美しくつけたりして皆よくなった。」 [FT00528,206]
- 7月15日 「一枚二号に女の子猫だく (稍下から見上げた分かく事にしてその前にベルナルドの分四枚デツサンかいた。」「五号大に宝石を見入る女とその老人、若い男とねてる女、老婆と美人の娘 狐のかげえを手でやつてる娘等ローマンチックなもの先日からかいて見たかつたものかいて見た。」 [FT00528,208]
- 7月16日 「この間ブルデル美術館を見て私ハ彼れの偉大な精力に驚かされた」「五号宝石商と其の女。(十二号一枚はづして五号二枚に張りかへてかいた) 五号若き男と若き女、腕をかすねてる凶朝から始めて夕方迄、りて線かき中々大変だった色つけして昨日かいた二号女と猫りボンフラー編色つけ終りて」 [FT00528,209]
- 7月17日 「白とゼラチンの塗料買ってカンバスにぬつたりいろく仕事した。ベルナルド来てデツサン五枚マドンナ二枚小女と猫三枚売つた。」 [FT00528,210]
- 7月19日 「二号に北の娘ビゾンの帽子猫の細い毛皮のえり、赤まんとおランダの吊ツリ橋かいて赤 Vermillion Français 初めてぬつて成功して空も青く上からほかして見た初めて又新しい画が出来て来た 又裸婦と猫コバルト色 (五号) に思い切つてつけて見てこれ又成功して新きじく発見して嬉しい日だつた。」 [FT00528,212]
- 7月22日 「昼ベルナルド来て八枚皆持つて行き内金三万法 (小供小女と猫ナツトにあむ) (小供と猫) (大額の子と猫) (母と子) (女と猫) (女と猫) (赤ん坊と口あけて叫ぶ小猫) (母と娘二人)」「一号に赤ん坊と猫一枚かく」 [FT00528,215]
- 7月25日 「三号美女と老婆描く」 [FT00528,218]
- 7月26日 「二号 落葉女寝てる枯葉の下下画からかいてカンバスタ夕方迄色つけして出来た。」 [FT00528,219]

## 1951 (昭和26)年 64歳

- 1月1日 「小品三枚と外稍大ききなもの三枚ニスぬつたりして又下の室にも画すこしかけたりする。」「今日ハ仕事始めて素描から手始める。」「夜続けさまに仕事した。」「素描三枚女と子供等正月の仕事始め。クロツキー十四枚夜十二時迄かかつて明日の仕事の下用ゐにかく子供多き故女等を□にかいて置く」 [FT00529,011]
- 1月2日 「Mr Klipper 9 rue camot Chalons sur marue連れて来た未だ中年の紳士私を昔バルで見た等とても大ファンだとして夫人に一枚デツサン貰いたいとて小女小猫の図友人の價で渡した。一日朝から夜十時迄仕事してデツサン素描うんとかいた。十枚出来た素描」 [FT00529,012]
- 1月3日 「素描三枚かいて」「夜はデツサン紙張りして見る五六枚しようふ作つて張って見たら上出来」「夜又素描午後かいた一枚 都合今日四枚」 [FT00529,013]
- 1月4日 「厚紙十枚 (一枚140frs) 買って丁寧寸法に切つたりして素描張り出し君代大に手伝つてくれて全部夜の十時迄かかつて張り上げた。」「夜総数計算して見たら凡そ七十四枚今日紙張りした。」 [FT00529,014]
- 1月6日 「今朝クロツキー初めて古い下がきをなほしたり六枚下がきクロツキー仕事した」「明日素描にしたい夕方鳥の子紙切つたりして仕度した。」 [FT00529,016]
- 1月7日 「朝から夕方迄遊んでる様な気持で画素描かいて五枚とうく物にした。厚紙も切つてとうく夜に入つて厚紙に張って完成した。」 [FT00529,017]
- 1月8日 「二人して四時迄に七十四枚の素描機械的にはつて、セルフアン紙で包んで家に置くのとアルヂエリヤへ持つて行くのを区別する。」「一枚クロツキー バスの中で見た女の子かいたりして」 [FT00529,018]
- 1月9日 「午前中素描一枚かく 女と小児」「又一枚素描かいて」「十時迄かかつてとてもいい小児をたぐ女の表情に成功した様な素描一枚かく」「素描 小二枚 母と小供 母と小供 中一枚 母と小供 かく日。」 [FT00529,019]
- 1月10日 「夕方一枚素描かいて」 [FT00529,020]
- 1月11日 「素描二枚かいたが」「厚紙に三四枚張つたりしてセルフアン紙で包む。」「水彩一枚プチベールナード注文聖母裏金地素描 二枚 女と小供」 [FT00529,021]
- 1月12日 「ベルデスから展覧会案内チャーチルやらウインゾールやらピカソ サルトル コレット コクトー等有名人が小児だつた頃を想像してのPortraitかいて人気と評判をとらうと言ふ 気ばつなつもりだが有名人の顔をかりる事ハ私はきらいだ。しかも大事な衣装屋の女主人を入れたりしてる。」「小カンバス カルトンに張つた分に 聖母をかいて見る。」「金箔おいたり」 [FT00529,022]
- 1月13日 「夜又小品の墨がき等今朝ハ小児二人冬支度 夜ハ大人の女小児四人手つないでかこむの図かいて見たりして十一時夜迄仕事して」 [FT00529,023]



- 1月14日 「午前油画小品三枚久し振りにかいて見た。」「クロツキーの仕事始めて後から後画に六枚かいて」「油画小品三枚 大人の女小供四人かこむ 小児二人おえんの外垣 聖母らしい女と小供二人」 [FT00529,024]
- 1月15日 「一枚sœurの宗教画一枚素描でかいた」「夜四枚皆厚紙に張りつけたりして整頓」「素描一枚 あまさんの顔白にぬる布地 三枚 外 女と小供 マドンナ形 女と小供 〃 女の子祈る」 [FT00529,025]
- 1月16日 「Vachon宛て額縁丈け送る事にして油画はずして二枚ヅツ厚紙で間あけて釘うつ等約卅枚丈け君代と選んだ午前中かかつた。午後額縁番号つけたりデッサン数えたり」 [FT00529,026]
- 1月17日 「11h Robinot 運送店に廿七枚額縁Alger送り方たのミ男二人とりに来た。」「金地マドンナ12000と女と子デッサン5000に二枚買って行く」「下画 2枚金地の分夜し上げて明日かく事にしてねる ベルナル マドンナ又二枚注文する。」 [FT00529,027]
- 1月18日 「私ハ午前中より午後夕方8時1/2迄かゝつて聖母の像大型水彩金地バツク水彩二枚仕上げてしまった。昨夜下がきかいて置いたから出来た そうして厚紙に張った。」「夕食後とうくクロツキー六枚かいて見た 面白いものも出来た。十一時迄かかつた。」「クロツキー 聖母と子六枚」 [FT00529,028]
- 1月19日 「朝から昨夜かいた聖母の素描夕方迄に五枚かき上げた 皆よかつた。」「夜又一枚かいて都合六枚素描仕上げた。」 [FT00529,029]
- 1月20日 「ダンフェルに出でカタコンブ君代に見せてやる 私の腕にしつかり始から終までつかまつて居た」「素描一枚かいたり」「水彩で一枚かく」「水彩小児一枚鍵を持つ小児」 [FT00529,030]
- 1月21日 「昨夜の水彩の小児一寸手を入れて見る。よくなつた又面白いもの一枚出来た。」「小児の画厚紙に張り付けたりして」「素描 夜一枚女の顔、線丈けのものかいて厚紙にはる」 [FT00529,031]
- 1月22日 スペインの友人Vigo夫人から手紙で肖像画を注文され、展覧会開催も勧められる。ビザがおり、アルジェリアへ行くことになる。  
「七時Bernard来ていろく展覧会の話してくれてMme Désandré galerie des Loire 33 rue de l'Hôrloge Casabrançà du 16 au 28 mars よからんと言ふ。Location 6000. 40萬迄二割以上売上げの一割。ドメルグの場合、四十萬の作品として税関に届け四万五千支払つた。展売り上げ総計算届け出の半分の額の一割二分帰国の際に支払ふとの事等。カサブランカは断る事にした。」「現金内五萬丈け入金ベルナルド 聖母金地水彩大二枚三萬 素描聖母と子六枚三萬」 [FT00529,032]
- 1月23日 アルジェリアへ行くためのVisaや汽車と船の切符を手に入れ、画の表を作った。  
「税関に行つて一々画にはん押しして貰い、油画ハ5000 デッサン2000の検討で油画三十枚 デッサン五十二枚二十五萬に届け」 [FT00529,033]
- 1月24日 「Algeriaへ立つ日」 [FT00529,034]
- 1月26日 「朝六時Alger着」 [FT00529,036]
- 1月31日 「額縁届いたらしく通知あった由。展前にこゝで可成売れ相だ。学生の方でも招待するとの事。」 [FT00529,041]
- 2月4日 「君代に手紙かき出した。夜中一時迄委しく三枚かかつてかいた。これで安心した。これで病気なほつて愈々ねる事にする。」 [FT00529,046]
- 2月5日 「額縁届けた知らせ九千何百支払いとの事。巴里からここ迄のすべてのものらしい。しかし良かった届いて助かつた。」「ラヂオの歌聞いて寂しくなる早く展覧会したい。君代の手紙一日持って、たれも町に出ず出す事できず明日出す事にする。」 [FT00529,047]
- 2月6日 「君代に手紙二番目出す」「画廊で金曜日展覧会の事決め、午後額縁税関より引きとる。」 [FT00529,048]
- 2月7日 「三時半君代に手紙かく」「丁度額木箱明けて貰う大紙で、包んでカンナ屑の間に一枚一枚重ねてつめて少しもふれて居らず実によく入れてあつた昼迄かゝつて額一々入れて番号合わせてとうくうまく入れ カタログ作つて合せた。八号二、六号一、五F三枚、4F、9、3F、9枚 2号F、 1号1額廿八枚。油ハ卅一枚持つて来た事になつた。」「六号小児画架の前の画一番欲しいらしかつた故これをバツシオンに恵与する事にした。」 [FT00529,049]
- 2月8日 「バツシオンの甥ジェラルと妹来た。親戚の人妹ブルタイギユ風景欲しかつた。持つて行く 十九枚油えローマネに届け價だんかけ合い中々気が強い。」「夕方七時君代に手紙かいた。」「ノーテールの人夫人連れた人ともう一人来て油とデッサン二枚買ってくれ。」「愈々明日展覧会の事。  
2 6F二人小児画架は Vachonに上げた  
22 5F rue Campagne-Prunière 38000 バツシオン  
15 2F enfant au Cerise 17000 バツシオン  
17 4F la maison de Pecheur 32000 バツシオン妹  
C. 4F maternité "Raphaël" 32000 バツシオン母上  
21 4F a la fenêtre 32000 Me Boynerf Notaire Alger  
大デッサン小児と人形 8000 Mme Boynerf 金じ。



- 小デッサン 6000 Mr Ferrier Notaire Alger  
6000  
今日丈けで十六萬五千円売れた。』  
「ローマネデッサン皆買とりしたいとて卅枚小十枚大。小5000 大8000 廿四萬で何うだと言うが通事明日。」  
[FT00529.050]
- 2月9日 「展覧会の日」「一枚デッサン届けて十時ロスタニー来りスペインカタランの男と三人で写真やに行つて写させ又町海岸でいろいろ写す。こゝの外の大きな町の画商私の展覧会したいと言って来た由、展覧会は仕度出来、表に三枚大写真出して宣伝した。」「四時半Vachonと展覧会へ行く、大勢もう来てた だんく増加 七時迄たへまなく一杯の人でいろいろ紹介されモンツサン夫婦娘等大勢一番君代とすきでないバルコン窓の娘うれ フラー赤の娘と猫Muséeが買つたり、いちご持つ子、枯葉を運ぶ女とか、其他デッサン数枚うれて大大成功 押すなくの人出七時に勞れて帰つた。バツシヨンの姉さんオーグスチン一枚と娘むこ子供と猫デッサン二枚持つて行くハチヅ、の分二枚買つてくれた。』  
[FT00529.051]
- 2月10日 「朝六時ベッドの中で君代に手紙かく展覧会の事早く知らせてやりたいから六時半すぎ迄かいた。これで安心した。」「五時モンツアンの Cocktail パーティーに行つた今朝一枚デッサン上げた 髪の毛いじる女。」  
[FT00529.052]
- 2月11日 「コクトーの本君代にやつてくれとてグランテカール。」「1923年版の稀本くれた。」「四萬八千法 一、四萬法 (三万二千法 八千法) アルダイギユ 女デッサン 妹の娘夫婦 八千法小供と猫デッサン バツシヨン親戚に分けた分入金」  
[FT00529.053]
- 2月12日 「展覧会へ行ったら大変な人 昨日ハ日曜で三時にハ店の前大変な人巡査が出たりして八号二枚五号一枚初めいろいろ売つた売り子兄妹二人でやつたのだとの事。ローマネ 外の町チュニーズ カサブランカ、コスタンチン辺りでやつてくれとの事たのまれる。大変な成功外の画家のは売れぬ」  
[FT00529.054]
- 2月15日 「二枚小品ホテルの内庭でかいたり二人男50fr つゞやつて写生したり」  
[FT00529.057]
- 2月16日 「櫛木のかれかゝつた町岳に沢山山のように Berriane (Mzaf) 積んだ家の裏側でとめて一枚町かく」「一人で四号一枚かく」  
[FT00529.058]
- 2月17日 「小さい村の塔のある処メトリリー？に出でお茶のまして (こゝの茶香ありて甘し) くれた小窓から下の広場写生して上出来。塔に上つて見る。近処の小児集まったの写生したりして」「ベニスゲンの夕日の処高い岳の上から写生して」「夜つかれたけど小供のデッサン下画六七枚写生の分なほして色つけたりしてセイトンした。」  
[FT00529.059]
- 2月18日 「桃色の町を写生ホンの五分か十分の処だ。」「私丈けホテルで油え今日迄かいた分一通り筆入れて仕上げ昼前までに皆終つて安心中々にハ気に入ったものもあり。」「市かき六時桃色の壁の家又四号くらく月の光迄かく大急ぎこんなに二枚続けてかいた事なし。(Beni Isgen Place de L'Aalhira) 六時半大勢十何人室へ来て私の油デッサンと小女みんな見て感心して帰る。」  
[FT00529.060]
- 2月19日 「三枚かいて見た砂漠の見える櫛木林や白い花が咲いてる処、内一枚Hirtyさんに上げ」  
[FT00529.061]
- 2月20日 「写生横しまの山等に」  
[FT00529.062]
- 2月21日 「油画廿二枚持つて行つた内三枚残つて皆売れてたデッサンの残金の内又六萬法丈けローマネ夫人くれて又明日貰ふ事にして帰つて」  
[FT00529.063]
- 2月22日 「五時君代に手紙かく。」「五枚油画残つた」「写真四枚大くれて、又小児女の子二人と某夫人の肖像三枚スケッチしたりして一枚一万五千くれるとの事」「フランスとアニエスの写生等始め。ガルダイヤの処の夕日の風景6号4号帰りのしまの山の3号三枚Vachonに旅行記念としてやった私の用のない分丈けで旅費もとらないから上げたらとても多いと恐縮してた。」  
[FT00529.064]
- 2月23日 「女の児一枚肖像かく可愛い、子だつた。よくポーズした。」「朝買った電気燈作つたりしてガラス板置いてカバンの上に肖像小供三枚女二枚かいて見た。夜十二時土人の娘一人かいて見たり」  
[FT00529.065]
- 2月24日 「昨日かいた一枚の小児肖像出来悪く朝からかきなほして九時によく出来破つてせいくした。」「画廊に行つて肥つた娘の肖像一枚かき、厚紙卅枚とりに行つてマリーローランサンのエッチング貰つたのとをかゝへて電車で帰つて」「娘の肖像すぐ紙に写してかき成功して十時半にねた。」  
[FT00529.066]
- 2月25日 「昨日夜巴里出で今日丁度一ヶ月前昼船にポールバードルからのつた日丁度一ヶ月になる。」「肖像の出来たのを厚紙に張つたり夫人のやローマネのやらをかきなほしたりして戸口内からしめて子供入れぬ様にしてかいたり一日仕事した」  
グロアールの軍艦のアミラルとコマンダンに招待され、六七人の夫人に展覧会を賞賛された  
[FT00529.067]
- 2月26日 「朝から昨夜かいたクロッキー四枚新聞記者の分かいて札にやる」「肖像夫人一枚小児四枚ローマネ夫人一枚記者四枚一枚マドンナ等十一枚ローマネに届けた。」「新聞記者 Rostagny Angeli Armandiès Breug not 四人に素描一枚づゝ札に上げた」  
[FT00529.068]
- 2月27日 「(君代へ) 葉書写真封入」  
[FT00529.069]

- 2月28日 「午前中二号二枚葉のある女の画油でかいて見るが巴里程よく出来ず画室整備の不完全手許都合よくないためと思ふ。」「午後三時、オーギスチンの娘さんの夫人ポールさん来てポーズ」 [FT00529,070]
- 2月 「とうとう二月一杯はアルジェで暮した事になり君代ハ巴里で暮して一人でやつた事になり、四十六日間丁度一ヶ月半留守した事になった。私の方ハ何んとか忙しいうるさい住人の声の中で暮す日や嫌な社交にもたまにハ出たが君代の方は又とても淋しかった事だらうと思ふがこの世を渡る手段として収入金を得るためにハ巴里より田舎の方がいゝからでとうくアルジェで暮し しかし成功して安心した。」「去年二月四日巴里へ着いて一年目で、二月十四日巴里へボルドーから入った。丁度一年の労働的仕事の効果が現はれた事になる。とても嬉しいが君代と一緒に喜びたい独りでハしかたない。」 [FT00529,071]
- 3月1日 「モンツァンの処で女医者の息子の肖像スケッチして二時近く迄」「Villaへ行つて三ツの孫（女の子）きりよう悪いのをかいて」 [FT00529,072]
- 3月2日 「女医師の息子と手袋やの娘の素描かいて見る。」 [FT00529,073]
- 3月3日 「今朝ハ素描のり作つて張り Catherine. France Agnes等の顔はつたり、女医師の息子のも張つたりして」「女医師息子と娘連れて来てデッサン素描渡す大喜び」 [FT00529,074]
- 3月4日 「画にニスぬつたりして留守一人です」「一枚肖像かいて上出来両親パッション大喜び」「カセリン娘の素描一枚やる 大喜び」 [FT00529,075]
- 3月6日 「四時近く肖像大き過ぎ小供動いて仕方ないのをやつとかき」「帰つて素描に仕上げて」 [FT00529,077]
- 3月7日 「私ハ五時に起きてね乍らクロッキー二三枚かいて見て又ねた。」「昨夕かいた手袋やの娘を厚紙にはる」「今朝はいろくかいて見て一枚使用人モハンの□の代(27000法)の大部分素描一枚やつて救つてやる事にしてVachonも感謝する。Vachonの友人娘と人形の素描欲しいとてこれも一枚描いて残す事にする」「(オノラブルドラカレパイギユの本返却サインと小さい小児かいてやる大喜び)」「モンツァン夫人欲しそうで一枚土人娘の素描やつたら大喜び。」 [FT00529,078]
- 3月8日 「ボナンの娘の処で肖像渡し金貰いローマネで後の話して肖像三枚 デッサン四枚 油画四枚 リボン ルーデユ マテとニテ 丸顔の女子供二人 預けて金ハ後送金との事」「Vachonと二人でQuintの娘肖像かきに行つていゝ景色のサロンでかいてうまく出来」 [FT00529,079]
- 3月9日 「すぐQuintの娘の素描かいて厚紙に張り上々」「Vanchon夫人かくよく出来 アニエスは動いてうまく行かず。」「娘肖像届けて15000貰い」 [FT00529,080]
- 3月10日 「医師の話昔の1700頃の解ボウ図の絵切つてくれたり」 [FT00529,081]
- 3月11日 「巴里へ帰る」「川島が美術館建設の見学に文部省から派遣されて二ヶ月間ここへ来てる。羊羹と海苔くれて、又来るとの事」 [FT00529,082]
- 3月12日 「枠四号五ツ(400frs)買つて油画アルジェ張つて」「おぎすが毛布借りに来た何日返へしてくれるか分からぬが借してやつたと言ひ大分困つてるらしい親子三人毛布借りる様ぢや大抵の事ぢやないらしい。」 [FT00529,083]
- 3月13日 「ボンマルシェでトアール1メートル買つて(1500frs)上々」「画のぐやで四枚素描額入れたのむ。」「Petridesへ電話する(留守中か、つて来た)サツシヤギトリーが私の自画像欲しいとて四号三号位にかいてくれとの事で又小児の肖像も欲しいと言ふ。ブラマンクの展明後日すると言つた。」「ジャクリンセルス又風ひいてねてた。其の内行くよと言ひマルセイユで私の展したいと言ふ人ありとの事だつた」「マダムペロー猫展招待の礼した」 [FT00529,084]
- 3月14日 「Editions de Varenneで可愛い女子教員にParis vu par les Peintresと言ふ本私のノートルダム、カンパンプルミエールの出てるを貰つて紐育でかいた裸婦三枚写真置いて借して来た。」 [FT00529,085]
- 3月15日 「アフリカの画に皆ニスぬつた。」「素描土人の子供二枚かく」 [FT00529,036]
- 3月16日 「午前中アフリカ小児色つきデッサン一枚かいて仕上げ上々」「ベトリデスVlaminckの展覧会へ行ったら誰れも居らず」「本やの主人André Salmon Rive Gauche edition originale十六萬十冊うれきれ四番ハベトリデス買い、其他200冊七萬五千 200冊五萬五千とかで 一冊私の画ととりかへてくれ二人のサインして貰つてやり家へ持つて来てくれると言ふ。new york一番のコレクシヨナーのLaskerと言ふ人私の小品三枚買つて外の写真返却した人又八号大16×19inch(40×46 8F)二号欲しいがWestに旅行するから留守中でもいゝから写真送つてくれとの事注文。サツシヤギトリーの肖像来年は私の展覧会しようと約束 今度はVan Dongenする筈との事」 [FT00529,087]
- 3月17日 「午前中一枚アフリカの子頭布紺色油えて水彩と一緒にやつて見て又午後一枚男の子赤頭布と紺着物白布のをやはり油、水、交ぜてやつて見て大成功と言つたもの出来これも私一生の内の初めての仕事で他に二枚ないもの木綿布等の感じよく出た。」「二枚水彩素描(油入り)かくサワラの子」 [FT00529,088]
- 3月18日 「一枚女の子赤黄緑油入れてかく上出来 午後四時後にかいたのはくらくなつてよくなしだが台紙に張つてハ置いた。」「枠とりに行く大きい50frs小さい30frs位高くなつた すべて物価高になつてる。」「水彩素描二枚(油入りかく)サワラの子」 [FT00529,089]
- 3月19日 「枠にボンマルシェで買ったトアールはつて六枚許りカンバス用意した」「二時半出版の人Klein氏来てVlaminckの本持つて来て(55000) à Foujita souvenir de notre déjeuner fantôme Amicalement Vlaminckとサインしてくれて流石にVlaminck

- は頭のいい人と感心した。私がパリに着いた第一夜Vlaminckと夕食食べたと新聞が悪口かいた事を平気で書く事の度胸に感心したし序文の中に私の名も入れてくれてあつた。あじさへの咲くレスコニルの四号漁師の古家の画私の自額1940年作と小児と猫2800スペイン型の額のと二枚と本交換して私の本さしえの本UtrilloとVlaminckと次に私のとを三冊続きの本に出版したいこれハ内処でやりたいとて私の昨日かいた油入りの水彩の色のつけ方とペンでかいたアルヂエのデッサンをとて賞讃してくれて明後日Petridesの処で会ふ事にした。」 [FT00529.090]
- 3月20日 「朝三本手紙Romanet肖像代ニツ送つて来た事モレッツァンの黒い子の素描額に入れに持つて来たの見て青くなつて欲しくなつた。送つてくれたら金送ると言つて直ぐ売れる等言つて来た。」 「夕方迄仕事にきめ一枚水彩油小供マントの図かく上出来。」 「小児はいのたかつた眼の画一枚かいて見て」 [FT00529.091]
- 3月21日 「ベルネムジュンでピヤールボナル大作等見てゴーガンの本2500で買つてPetridesで三十分待つ。二人許り客来た丈け。Klein氏に会つてアンシヤンテマレと言ふ巴里の立派な本かしてくれて研究する事になり。」 「ペン描きデッサン五枚かいてローマネに送つて見る事にした。」 [FT00529.092]
- 3月22日 「午前中一枚サハラの小児色つき (油水) かく上出来。」 「十枚水彩の内 (油と水彩七枚 水彩三枚) ペン画五枚。(この日記帖十二月卅一日後の頁に委しくあり) 丁寧厚紙に挟んで入れて小包作つてローマネへPostへ行つて送り出す」 「スモーキング 黒の紺色 六萬法寸法とつた。マネキンの寸法だと言つてオペラで私か猫バンドンゲンとかいた時の事知つた。」 [FT00529.093]
- 3月23日 「Jsuiss ennuye sans nouvelles exposition Oran Salle reservee 1 er au 15 avril publicit  preparee amiti s Romanetとあつて昨日手紙と画送つて置いてよかつた。」 [FT00529.094]
- 3月24日 「Romanet Requ aquarelles magnifiques merci stop, impossible pas faire exposition oran. stop. avons besoin seulement 8 ou 10 Huiles Amiti s Romanet. とあつて仕方なく朝油八枚いろくよせ集めて北アフリカの五枚 其他デッサン五枚小包として送り出し (十二月卅一日後の頁に委しくあり) 」 「ペン画三枚許りかく 北アフリカ」 [FT00529.095]
- 3月25日 「ペン画木炭紙五枚かいた」 「羽ペンの画に味しめて又二枚かいて見る。上手すぎる様に出て来て只かいて見る。」 [FT00529.096]
- 3月26日 「昨日かいた十枚許りのペン画と羽ペン画厚紙にはつたりしてよくなつた。」 「一枚油え三号に女の子と猫木の窓の線がき久し振りにして夕方迄にすませ Romanetに5デッサン筆と五デッサンペン台紙はり十枚小包に作り紙はり私して君代紐かけ丁寧にやつてくれ第三回小包作り上げた Oran展四月一日より十五日迄の間に間に合わせる様に送り出す。そうして四月一杯貫つて油え三十枚デッサン卅枚許りかいて五月にカサブランカ、コンスタンチンでやるか何うか仕事にかかるか何らか返事よこせと手紙出す。」 [FT00529.097]
- 3月27日 「私ハ朝から小品豆板寸にニスぬつたり八号の油のバツク等朝からかき出せる様になつた。」 [FT00529.099]
- 3月28日 「ローマネ初めの小包みて水彩見て大に喜んだがoran展の画送つてくれとて未だ2回目のも受け取らぬ甘え口の手紙今日ハ第三回目出した。これでOranハ出来る筈 今日愈々元気出してアメリカの注文八号を初める事にして白ちやんお茶まちやん二人の子供の合作を八号にせんがきして猫の変りに花持たせる事にした」 「写真にしてLasker氏への分アメリカへ送る可き 夕方第二枚目八号のデッサン油紙に二人小供又かき出した。」 「小児二人花持たせる事にする。」 [FT00529.098]
- 3月29日 「朝から花やでチュリツ、豆菊の様な野花春さく芝の中によく咲くもの、マーガリット等買つて八号のバツクにかき」 「午後はりラ買った 一枚二百法で画にかくならおまけにもう一本上げますと言ふので喜んで帰つて見たら皆古いボロく落ちる花の古い枝で、これちや只でくれるのもあたり前だと腹も立たぬ。八号へもう一枚の方へはりラかき夕方迄にデッサンバツクにかき加へて」 「夜素描裸婦ねてる図五枚どんくかいて 葉やへ行つてから又十二時迄かかつてかき」 「油へすみがき 八号二枚花いろくバツクにかく 素描裸婦デッサン五枚かく」 [FT00529.100]
- 3月30日 「小包材料買つて昨日夜かいた裸婦デッサン五枚Romanetに送る事にした。」 「午後三時頃りラの花持つ子二人三ツの石の窓の前の油え色つけしてうまく出来た。額に入れてみたら上出来」 「Romanetに小包出した事と五月の展は一個処にしてくれカサブランカ又ハコンスタンチン何ちらか位でなくてハ画が出来ぬ事と今日五枚dessins送つた事かいて出した。」 [FT00529.101]
- 3月31日 「午後になつて八号十三号も油え出来た。素描サロンへ出品四枚の額椽出来て家へ持つて来る 内一枚 パスパルツースこしなほす事にして、又八号二枚額椽注文する来週木曜出来との事。コンスタンチンギーの素描久し振りに昔の額椽に入れた。」 「出来油八号小供二人一ツの石窓 イソツブ等の画 出来油 三号小供猫木の窓」 [FT00529.102]
- 4月1日 「モンツァン、カサブランカより電報で、約束したか、手紙出すから返事ハAlgerにくれと来た。カサで画商と話しが出て画商ハ展したいと言ふらしい。ベルナルドがかきまぜてローマネが入つたから事がめんどうになつて来た。」 「画室に三枚デッサンかけて見る上々だ。朝から三号すみがきして二時半にかき上げ色迄すんだ。早かつたよかつた。AlgerのよりCasablancaの方に出すものがいゝと君代言ふ。」 「午後三時より五号へマドンナ首を右にまげ子供ねむる図かき出して九時にすみがき終り」 「裸体の女ねる五号の下図かき明日の仕事の用意した。」 「夜カンバス二人して張つて仕舞つた。十五枚許り」 「As tu engagement Cas blanca attends ma lettre reponds Alger embrasse mondgain」 「五号油画か



- くすみがき丈け」「油三号ブルダイギユの娘石の十字架」 [FT00529,104]
- 4月2日 「午前中五号裸婦カンバスにかき金箔をく。」「五号の聖母にも金箔おき夕方暗くなる迄二枚かいて仕上げた。」「君代トアールに白下ぬりしてくれて十五枚用意した。夜ホワイトぬりして二三号トアールを作り上げた。」「二枚 五号油 聖母金箔バック 五号油裸体女ねる金箔バック 完成」 [FT00529,105]
- 4月3日 「裸体すみがき初め (五号)」「油画かき七時十五分前迄かいて完成 一日に一枚かいた。結局仕事して得した感あり、一日も無駄に出来ず壁も賑かになつて来た。カンバス六枚位 白色ぬつたりして」「油 五号女ねむる裸体 紺黒バック桃色ねまき 完成」 [FT00529,106]
- 4月4日 「五号男の子パン女の子ミルクかん下げてる図すみがきして三時すぎ迄でかき上げ」「すこし五号の画手入れたりして」「五号油 (男の子パン女の子ミルクのかん) すみがきの下かき画かく。」 [FT00529,107]
- 4月5日 「昨夜Romant Oranへ立ち今日午後五時Exposition開くの日」「午後五号一枚小品の分を又大きくして線がきトアールの上にし出して夕方迄にかき上げた。」「五号小供女子一人男子一人風船」
- 4月6日 「午前中二枚五号完成いろぬり 午後夜迄かつて又一枚五号かき (すみがき) 一日仕事する。」「午前中五号二枚油え二人小供風船二人小供パンミルク 完成」「油え一枚小児二人モンマルトルパン牛乳買いの図すみえかく。」 [FT00529,109]
- 4月7日 「五号油画かく完成」「額椽やで君代の注文のアカジュー (1700) と他一枚 (1100) とをとつて帰つた。」「油五号少女ミルクパン 完成 男の子パン持ってモンマルトルの気分の油」 [FT00529,110]
- 4月8日 「四号裸体かき出して」「午後三時迄にかき上げ」「今日で五月する展覧会の油え (カサブランカ) 九枚作り上げた。月末迄に廿枚か廿枚と言ふ処だ。午後四号小娘が猫だくを墨でかき初め Michel gerge Michel 女の人連れて Presse への記事とりに来ていろく話昔話の方多く帰つて行く。アルジェのペン画一枚札にやつて置く喜んで行く。」「夕方迄八時迄にせんがき終つて」「四号油裸体ねる。完成 一日でかき上げた。」「四号小娘猫だく 墨せんがき煙突丈け窓の外」 [FT00529,111]
- 4月9日 「昼前デッサン展へ四枚。マドンナ 小児と猫 小児と玩具 小児と猫」「OranからRomanet 手紙よこして今準備して五日、今朝かける等壁をよくして立派にする広告も一杯はつたし新聞もかきたてる等 casa を五月一日一廿日迄い約した等 すこしのばす事手紙で出す。」「Romanet 第一回、額油八号二枚明日昼との事」「四号娘猫だく 煙突の図出来た。」「夕方水彩一枚出来た。マドンナらしきもの 緑赤黄コバルト等油入り」 [FT00529,112]
- 4月10日 「今日ハ朝から水彩油入りかき出して成功」「Vlaminckの本や明日朝来たいとの事」「額椽八号二枚届けてくれる」「夜迄一日かゝつて五枚水彩かいた。油入り」「(水彩油色あり 五枚) 完成 一枚 水彩 男の子マント紺黄えり赤帽一枚 油入り、女横顔縁の布かぶる桃色着物 一枚 午後 紺の布かぶる女 一枚 夜 布かぶるあまさん一枚 一枚 マドンナ型小児色あり」 [FT00529,113]
- 4月11日 「六枚水彩油入り厚紙へ張つたりする。」「ペトリデース米国ニューヨーク行きの画の事電話できいて来て三時届ける事にする」「下がき等してから三時ペトリデース迄八号二枚持つて行く。とても美しいとて賞讃一番お前の一生の中でいい画だ等すぐ写真うつして送ると言ひ一週間待つてくれ等 来年五月四十枚許り八号十号十二号迄の展覧会したいと言ふ。私の四十号の裸体もいいコレクシヌールに売つたと言ふ。」 [FT00529,114]
- 4月12日 「午後二号女の顔と手とバック、アンシヤンテマンの本の表紙の昔の版画かいて見たら上々の出来となつたがカンバス最近ボンマルシエで買った厚手に厚く白ぬつたためか、ひゞが入つて居てぼかしの処にシミが出て失敗大落たんの日となつて急に君代の new york の薄手のカンバス切つて貰つて廿枚近く枠へ夜九時近く迄かゝつてはつた。明日白ぬる筈で作りなほす事にして十二号二枚出来の分を八号二枚に小さくして張りかへたりして」「三号油女と (失敗カンバス) 版画西洋バック」 [FT00529,115]
- 4月13日 「二度買物に出てエガルキネで白塗料と鯛二尾買つて帰り白カンバス十七枚にぬつた。」「昼前から昼すぎブランダルジャン トアールにぬり上げて 昨日丁度止めてかゝぬ事にしたトアールと大体数が同じでCasablancaに問い合わせるつもり 廿枚出来れば上々だと思ふ。」 [FT00529,116]
- 4月14日 「午前中、午後に渡りて油画二枚下図書く。夕方迄に出来上つた。」「Romanet に本手紙くれて四号二枚三号一枚一号一枚油うれた。デッサンもうれたり水彩とペン画は一枚も出ずとの事。明後日Algerに帰るとの事だ。絵がないから売れなかつた。もつと欲しかつた。Casaの方へいゝのをくれとかいてあつた。」「八号二枚 マドンナ、女二人小供一人 下画かく マドンナ、女二人小供二人」 [FT00529,117]
- 4月15日 「八号二枚色つけ昼迄に描き終わりCasablancaの分出来た。」「夜も一号下がき続けてかく。」「八号二枚マドンナ マドンナ 完成」「一号 下がきすませる 女毛長細面よこむき アンシヤンテマンの景気バック」 [FT00529,118]
- 4月16日 「昨夜作つたカサブランカ第一回小包 油 5 F 四枚 水彩六枚の分出しに行く」「一枚一号仕上げして上出来 二号のヒゞ入りの代りにかいた分、ローマネから金受取り電為郵便局 (七時迄) とりに行く。渡してくれた画のぐやでカルトンいろく小さいカルトンのバンド (両側に打ちつける分) 釘等買つて第二回以後の小包の用意したりCasaブランカの用意した。」「夜迄かかつて一号三枚下がき昨日の分とで四枚の内二枚ハ出来 二枚ハ昨日の仕事とする。」「一号



- 油 一枚し上げ女、一号 三枚下がき 一枚し上げ女と子、二枚下かき、女と子 女と子」 [FT00529,119]
- 4月17日 「五号三枚 四号三枚 三号三枚 パン紙あてて合せて三ツに釘づけした。午後二号一枚女ノ子リング持つ一枚かき出す」「二号のつゞき色つけ夕方迄して出来」「君代小牛のステッキと芋揚げ作る間も画の下かきする。今日迄で Casa 送る分21枚出来た事になる」「油一号二枚昨日の分完成 (女の子男の子。女の子と男の子。)」 「油え二号一枚女リング持つ完成」 [FT00529,120]
- 4月18日 「朝から夕方六時半迄いて二枚油え二号かき上げ色つけ完成する。」「Shermanナポリから絵葉書よこしてRomaで私の北アフリカの展覧会が大成功だった事きいてマニフィックのNewsだと言つて来た 誰れからきいたか新聞に出てたのか判らぬがローマへ行つて居た事はたしかだつた。夜になつて四号一枚下がきうまく出来て十一時」「油二号完成二枚」「人形とねる女の児赤ん坊猫をたぐ赤ベレの子供」「夜油四号トアールへすミがき画架の前の子かく。」「 [FT00529,121]
- 4月19日 「第二回小包 カサブランカ展 5F3枚 4F3枚 送り出す」「六時半に起きて牛乳買いに行く前に六号の下画鉛筆で一枚出来た 午前四号色つけ終る 午前から六号一枚かく二人女の子、Vachon の画家の男の子女にしてかく Romanet 送りの小包 12号一枚 8号二枚 1F四枚 三ツ小包作りたり。今日 Romanet に小包午前中油え六枚送り出す」「油四号小児画架完成 アトリエ煙突煙見ゆ」「油六号二人女の。すミえかく」 [FT00529,122]
- 4月20日 「ローマネより手紙第一回荷物無事完全に着し、一流品でこれなら大にやれるとて大喜びではりきり、天使の如く働けlionの如く自分たちは働く手紙あり、すぐ昼前郵便局で1F四枚の分送り出したてよこ厚さ皆で90cmとて八号は大きすぎて鉄道の航空便で出せとてSt michelあちらこちらさがしてプリエ近くの処にあるのを二度も往つたり帰つたりしてやつと見つけてたのミ八号二枚出させて汗かいて一時間半も歩いた君代も心配してた。六号二人女の子クール窓見ゆ忘れな草持つもの二人とも色の衣服と帽子城のマダレ等にしたので一番品よく出来君代いゝねーいゝわねーの連発 Romanetにやるのが一寸惜しくなつた位の出来 これから先きのもだんだん光つてきた。青緑のいい色が出てピロードの感じて好きな一番いゝのが出来た 五時前又鉄道荷物線の処へ行つて航空便で十二号一枚送り出して今日三ツ出した。」「六号二人女の子花もちクールの家見ゆ」 [FT00529,123]
- 4月21日 「第六回小包カサブランカ440fs三号三枚」「朝コーヒーのむでから三号三枚カサブランカ用送り出しにPostへ行つた。Romanetカサブランカへ来ないかと言つて来て十日記者コクテルナーも開会するアメリカの自動車でオランから連れて行くと言つて来た。六号朝バック屋根お寺の屋根等昨夜のを画すミがきして」「色ぬり始めてリラの花持たせて昨日より又一層いゝのが出来とうく昨日のをRomanetに渡して今日の六号は家へ置こう等と相談したり」「夜四号にリラの花手折る女かき風呂に入つて六号二枚ね乍ら二人して惜しくなつた。一枚残すことにして」「六号二人小女リラの花持つ。」「四号リラの花すミえ描く 手折る女かく」 [FT00529,124]
- 4月22日 「カサブランカ油画終了の日」「午後三号一枚ボレー開いてのぞくねまきの女かき緑色の調子。カサブランカ展へこれで世枚完全に送り出す画出来たので油画当分やめる事にして鳥の子の紙二人して大小二通りに切つたりして」「油完成 四号リラの花手折る」「油三号 戸ボレーを開くねまきの女完成」 [FT00529,125]
- 4月23日 「朝から夜までか、つて十一時頃迄十一枚デッサン初めのデッサンも皆鳥の子のも皆墨がきかげ迄入れて美事にかいて終つて」「デッサン十一枚 中型五枚小型六枚かき上げた。」「 [FT00529,126]
- 4月24日 「スカラの手紙来て五月十日Mme Butterflyやる筈で五月一日からの予備レベチションに来て貰い度いと事で伊太利に行く事にしてローマネモロツコ行き断つた。Visaの事中止して貰ふ事にしてデッサン昨日かいた分十一枚うすくかかげつけて昼迄に出来厚紙に張つた」「午後二時前警視庁伊太利行きVisaたのむ全部揃つてて承知巴里に三ヶ月居ないから未だボルドーのが入用とて電報料支払つて中央税関に行つたら画はAir FranceにあるとてFgポアリエニールに行つて十二号と八号渡して貰つてもう中央税関に行かず筒に入れて送る事にしてプールの処で金貨買つて猫かいてますか聞かれて私の事が判つた。Taxi三度のもつて帰つた。ベルナルド二人来て小型デッサン色つきかいてくれと持つて来た。十二号八号の二枚荷物丸筒で作った。六号一枚デッサン大二中二を小包作る CA. CBCC.CD.」 [FT00529,127]
- 4月25日 「今日で仕事終つた」「朝スツカリニスぬりしてRomanet行き油え六枚ともかわいて仕舞つた 第八回小包、六号枠一枚大二中二デッサン小四枚770fs 第四回 第五回 筒型小包12号一枚八号二枚340fs 鉄道の分やめて郵便局より送り出す」「水彩四枚小 小女 Mlle 三角巾も下がつてる。小女 桃色リボン。明るい画。コバルトの肩。女 洪好ミの女 マンドンナ 四時廿五分 水彩四枚終り完成 これで全部カサブランカ油30枚、水10枚、デッサン20枚出来上り「小包二個 第九回 860fs 油四号三枚 三号二枚 二号一枚 第十回 741fs デッサン十六枚 水彩四枚 七時前ダンフェルロショー先きの大Postに行つて最後小包出して帰つてホットする。」「カサブランカ小包二個」 [FT00529,128]
- 4月26日 「レシオから今朝Jean Casson氏に会つて先日私の寄贈の話をしたら絶対的に喜んでくれて丁度私の作品が□□に貧弱なのをなげいて居たと言つて来週月曜日午后来たいとの事。ミツシエル ジョージから記事を送つて来た。」「午前と午後四時迄Jealaの仕事細々したもの一幕と二幕に足りないものをかき四時半飛行便で321fsで出した。 Romanet12号と8号2枚が心配とて手紙やつて来た。又モンツァンか誰れかが素描が何らでローマネが買つたとかで高価で買つてる様に手紙かいてくれ等言つて来た。」「私の本を柳や高野海老原荻須がかいたの読むで見たら皆大誉めにほめて、可笑

- しかつた。時代がよかつた。」 [FT00529,129]
- 4月27日 「警視庁から伊太利行き許可Visa出来たと通知が来た」 [FT00529,130]
- 4月28日 「警視庁へ行つて350frs支払つて直ぐ伊太利旅行Visa出来」 「十一時写真うつす彫刻家の人夫妻好感の人来て私と画とを十枚許り写してマチス、ピカソ、ブラック等とのセーリーの写真に入れるとて写させ」 「腰痛で君代ハ休めと言ふが仕事をしたくてやつた。」 [FT00529,131]
- 4月29日 「昨夜かいたRond point du Champs Elysées仕上げて又一枚 Place Beauveauを描いて見る。油で印刷してペンで線かく昨夜のはコンテでかいた二ツとも上出来好きなクレーン氏の本のさしえとしてかいたのだつた」 [FT00529,132]
- 4月30日 「ローマネ大喜びやはり六号の最後の画が美しい内でも一番美しいと言つて来たしモンパルナス風景も傑作だと言つて来た。」 「Recioとカソー氏来るを二時卅分待つ曇つて暗くなつた寒い。丁度二人が上つて来た今度こゝへ帰つてから八会わないが昔会つた事あり旧知の人のあいさつしてジュードボーム (デザルセア氏時代の話) 開館当時グエリングが展覧会して気に入つたもの皆待つてドイツに送つた。アジョアンの人が画を帳面につけてたお陰で戦争がすんでとり戻した。三年はその俣にして置く政府のものの中に私の素描のいいのがあるから其の間見せようと言ふ。ピカソモデリアーニ私のもの貧弱のものだつた。今度新しくなつてこの間美術館を周つて見て歩いてるときこゝに一つ穴がぬけてるエコルドパリのの中でフヂタの画がぬけてる欠けてると言つてその翌日レシオから私が寄附したいと言ふ話があつてとても嬉しかったと言つた。静物二枚とカツエの女とノートルダムの画と四枚を美術館に入れる事に話がきまつてルーブルから取りに来る事一室の一壁すぐかけてくれ新しい大カタログにも出しArtと言ふ新聞にも出す事等、Recioは又オヒシエも十五年以上も貰はないからカソー氏から話申し出て置く事等の話迄したとの事私の本心ではないがRecioが一人で決めてくれた話だつた。額椽やに至急たのむ事にした川島がマチスピカソーに会えたらと南へ行くと速達にした。」 「夕方画の白やる 六十号二枚 静物の油の額たのむミュージーゼに送る分。」 [FT00529,133]
- 「ローマネで南方サワラのペン画二枚油え二枚 水彩三枚 (ローマネ買とり) うれた等言つて来て五日にCasaへ出立7日に着くとこの事今度はAlger以上の展出来るので大喜びで感謝して来た。よく働いた。君代も心配もし手伝もしてくれた。郵便で皆送つて無事に届いた。ミュージーゼからも館長来てくれて昔の画二枚最近の画二枚入れてくれる事承知して私も永久に又巴里に作品が立派に数多く残る事になつて本懐だ。萬事うまく行つてる。美術館長ハ私を現代のデッサンでハすばらしい大家だと言ひ、誉めてくれたし、油えのマチエールも誉めてくれた。」 [FT00529,134]
- 5月1日 「ケーラン二枚さしえ出来の事」 「日本と紐育とこゝで会つたShermanの友人背の高い人五月商業美術を紐育でやりますと云つて別れに来た」 [FT00529,135]
- 5月2日 「ローマネ南の展の批評記事二ツ上々に誉めてあつた。大喜び カサブランカ行き五日の予定」 「三時クレーン氏。来てPlace Beauvauの分大喜びRond Pointは石版にしようと言つて伊太利から帰つて大々的に銅版パステル油絵いろくでやる事にして今日の分ハ上出来。私の様な巴里ジャンヌの近代画からでよく分つた。私の持つすべての技量でやり十の絵皆異つたテクニクでやる事に賛成」 [FT00529,136]
- 5月3日 「えのぐやでクロッキープック二冊買つて」 [FT00529,137]
- 5月4日 「ミラノへ出立の日」 「朝巴里発 夜伊太利国境Visaなくて入国叶はず山越し三時半汽車でロカルノーの湖畔のホテルへ泊まつてホットする。」 「委細は別冊手帳に日記あり」 [FT00529,138]
- 5月5日 「伊太利領事私を知つて、萬事上々Visa出来て一度汽車のりかへてミラノへ二時四十分つきマカラでDr ギリンググリー氏に会つてホテル マリノーmarinoデラ スカラに入る。」 [FT00529,139]
- 5月6日 「午後ミュージーゼ城の分見物。」 [FT00529,140]
- 5月7日 「スカラ座の事で一日働く衣装 カツラ花や等  
午後から二幕目のけいこ。初幕のけいこあり。」 [FT00529,141]
- 5月8日 「夜八時より本けいこ。衣装つけ上々。」 [FT00529,142]
- 5月9日 「午前も午後もミュージーゼ見物。」 [FT00529,143]
- 5月10日 「夜オペラ九時ブルミエロあり大成功。」 [FT00529,144]
- 5月11日 「四時スカラで次のオペラの事たのまれる。夜九時四十分巴里へ向けミラノ出立」 「留守中手紙  
・留守中ジャクリン サロンドメイの入場券くれてピカソ、マツサクルドコレをかいて来るから会はないか等あつた。  
・グロジャン出立未決定。  
・Air France小包二ツ未発送の分の事。  
・マデレン氏が展覧会案内状。等。」 [FT00529,145]
- 5月12日 「巴里へ伊太利より帰つた日」  
ローマネから作品が九売れたと連絡があつた。「12号嵐 8号二人の母 6号二人小供屋や根 5号マドンナ 金地 5号女ねる 金地 5号女ねる 黒地 4号女ねる 黒バック 4号リボンローズ人のいい娘 外一号二号数枚 水彩デッサン数枚」  
「君代と十二号の嵐が売れたのをびつくりしたりして喜んだ。」 「町の額やに行く 未だ来週との事」 [FT00529,146]

- 5月13日 「小供 女布かぶり 全、全、全、 女帽子かぶり Casaブランカの記者Radioの人へやる分毛筆素描六枚かきMme James Gavillotへ写真一枚マドンナにサインして送る。」 [FT00529,147]
- 5月14日 「自分丈けこゝへのこつたとの事二三年うんと勉強したいとの事何処へ行つても私の話や画ハ見たが外の人の事ハ話に出ず今インチキだつた等ミラノでScala二三日ちがいで私を見ずに帰巴したのだつた。山内一郎の手紙よく分り、私を目のかたきにした人が渡米後内々目の上のたんこぶがなくなつたと喜んだら結果ハ反対になつて益々奇妙。梅原安井藤島を凌加して正に日本一の高価で猫と言へバ見ずして先ヅ十萬以上一寸した所謂おすミ付でも争つて買い□□□□にこれハ巨匠藤田の使つた調度家具茶わん数点高価でうれ争つた等いろく日本画家の事委しくかきて来て返事かいてやつた。明日出す筈で、昼は鶏たべ夜はおしんこでお茶漬たべたりした」「ローゼンバルグの夫人が私のバラを持つ子をワシントンに持つて行つて喜んでと言つた。」 [FT00529,148]
- 5月15日 「十時ベトリデーズ電話でこの間のアメリカ人とうくここへ来て二枚の画も買ふ事になり午後二時(昼めしによんだが断る)に來い一緒におまへの処へ行つて大きい画買はせるから等又一ツ新しい話が出て来て」「ベトリデーズの処へ二時五十分にTaxiで行く、伊太利で買った籠の裏地の布550で買つてカツエで休むでアメリカ人八号二枚かいた一枚は小児の額広すぎるとてすこし布を出してくれ等金持ハ仕方がない注文なほして売つた方がいい等とベトリデーズ言ふ。一枚描つて帰りアメリカ人三四人佛人の案内らしいのがきたレーンハルト夫人が今はMrs. Albert xasker Hotel Plaza Alhenée Av. montaigne Room 210-209 (new york chrysler Building Suite 3313) に居て六号一枚二人の。十万デツサン二万で売りベトリデーズに五割やる事外油三枚三枚水彩一枚シャンゼリーたのまれる。」「夕方Laskerさんの画一寸なほしてすぐ出来た。」 [FT00529,149]
- 5月16日 「ローマネ、カタログ、クーポール展の事、手紙」「昼前十二時八号3300の額近代美術館への額白と金属く。Lasker夫人より写真三枚運転手届けてくれ」「デツサン水彩等廿七萬九千送つてくれ今日の手紙でハ合計油画廿四枚八十萬九千売れてる事になつた。」 [FT00529,150]
- 5月17日 「伊太利領事へ(ロカルフノー)写真一枚送る。(クーポール展へ出品)の通知出す。」「Marie Madeleine de Rasky (Mme Maurice Bourdet) 展案内状ベトリデス Tanger画商 Fruker」「昨日の白と金の額8号色つけしてよくした。」「画カツエとLasker8号にニスぬつた。」「Jacquelineより手紙近代美術館宛てJacques Fricker 25. Bd. Antée Tangerの裝飾絵画古とうやの主人Casaで私の展見たとて是非自分の処で展覧会したいからCasaへ来るなら一度家へ来てくれ滞在家へ来てくれ女房が歓待すると言ふ。いい招聘と展覧会のプロポジションだつた 君代といろく気をつける事にした。・八時額縁我が室内1921 1922年作の額3900frs 3900frsで二枚出来近代美術館へ寄贈の分出来て安心した。」「タンジエの画商より展覧会の申し込みあつたり。」「近代美術館行きの額出来た。」 [FT00529,151]
- 5月18日 「朝十時半ベトリデスにアメリカLaskerさんへの八号六号デツサン三枚持つて行く展覧会(女流)の準備中ベルヌムとバンドンゲンと私と三人を見て巴里の有名人のRendez vousだと女秘書が言ふバンドンゲンこの間たれか来てお前の住処きいた。何処に居る。ドンゲンハ始終クルセルに居ると言い画室ハ寒くて今日も冬の外套着てると柔らかい茶のワグランで緑のピロードズボンはいてた。ベトリデースが私が裸体かきドンゲンが着物着てるのをかくが何う言ふ理由かと言つたらなんなら俺れが着物きせてやつてもいいと言ひ二人で展覧会したら何うだと言ひ何日ぞや合作した□ね女と猫と、売れちやつた誰れが持つてるか。ベトリデーズにお前なんか未だ生まれちや居ない。面白かつたあの時代ハい、女が居たね。お前なんかには分らないと言つた。ベトリデースがドンゲンの画を何う思ふと言ふから奇麗で色がとてもい、と言つたらこんな出来そこないを等とベト敵討ちする負けん気だ。」「grosjeanもGoya展今あり、英、アメリカ、オランダ等より集めて保険金700ミリヨンと言ふ大したものだ 見に來ないかと言つて来た。」 [FT00529,152]
- 5月19日 「カサブランカの展覧会が大成功でもう画商は切り上げてアルゼエハ明後日引き上げると言ふし、今度からの展覧会はする□前全部買いとりに出来まいかと言ふ様な手紙、又タンジエの知らぬ画商は展覧会させて貰いたいとカサブランカの評判と成績見て近代美術館宛てに私に手紙よこす。画商に嫌はれて逃げられたり相手にされないよりはいい訳だがなかなか抜目のない人々と用心が大事と二人して話する。丁度ここへ移つて一年と一ヶ月にもならぬ(今年の四月廿六日で一年目)のに皆この家買はされるお金はできて手許にもお金が残りカサブランカの油画売上げ全部は残つた事になり、税金其他の心配もなくなつて急に肩身が軽くこゝで私の不安な境遇から巴里へ永住して心配のない生活の出来る根本からの基礎が出来た日に到達した又一ツの転換期になつた。来月書式届け其他すませて全部安心の出来るよう、又将来の私の作品へとりかゝり又次の計画も自然と生れて来る事になるだらうが、義務やらしなければならぬ金の心配がなくなつて始めてここに安心の地位を作つた事ハ幸だ。」「五時川島芝山さん二人見え」 [FT00529,153]
- 5月20日 「私ピラミット迄バスで行つてプラスバンドーム写生して」「プラスバンドーム羽ペンでセツピヤでかいてきり吹きて室丈けぬつて見た。クレンさん渡しの分一枚出来た。」「ジャクリン曰く、おぎすの画とても悪くて皆不評判何んしてこんな画入れたのか大に困つて室の隅に置いた。始めフランス作りの方へ自分で入れてるからお前ハ日本人だから外国人の部だと言つたら永く巴里に居るからフランス人の方だ等と言ひ、威張つて大家ぶつて他の誰れにでも追いかけて話かけたりするので皆逃げる。おへいで人格も皆キラツテルと言ひ大不評判知らぬハ本人許りとは日本丈け画が



- 悪いのは本当に困る。」 [FT00529,154]
- 5月21日 「トロカデロ迄メトロ近代美術かん迄歩いてデッサン四枚サロンで受けとりサロンドメイでピカソの朝鮮のザンサツ、ルオーの見ならい職人の顔を見た。ピカソのは画として一番ピカソの中で失敗の急ごしらへのものだった。ルオーのはよかつた。Taxiで帰って十二時半。午後四時まで写生に出かけテユレリーで老人こしかけの私の□持つて居た インチキの男又肖像かいてくれ等 (注文と言ふ) ことわつてブレモンダス居らず。エルメスに入りDirecteurに話したら何んでも写生していいとて奥のサロンの貴重品の室でナポレオン三世の息子の白馬の車をかいて六時奥とから送つてくれ日本の金まきえの鞍沢山見せてくれ本当のMuséeで驚いた。大した財産だ。バスで帰つてすぐ四号に油でかき出す事にして夜の中に墨がきして終つて風呂に入つてねる。」 [FT00529,155]
- 5月22日 「朝の内 白馬エルメスの油え色つけして出来上がった。」「写生スケッチ一枚してピラミッドからバスで帰り夕方迄一枚かき上げ」「カサブランカで展大成功高く皆売れた評判ローマネーがしたから仕方がないと画商が言つた由、Bernard二人来て昔のアブソルバンにかいた変形の娘 (手あり) 黒衣の女油交換しないかともつて来て断つた。小デッサンさいそく」 [FT00529,156]
- 5月23日 「ベトリデースより電話カナダの人額 (アカジュ) とデッサン見て娘のプロヒキルかいてくれてたのまれたとの事。明日行く事にした。クレン氏来て、プラスポーポー ロンボアンシアンゼリゼー エルメス ベルフル レストラント 四枚銅版と石版すると月曜日また来ると言い内金丈け置いて行く。午前昼ねしてからエツチングの機械ほしくて、近処から始める。31番の画家の人売りたいと言ふのがあつた。アルベールの処でポロスカに会つたマルセイユで私の展覧会一番の画商で大勢人が来て大成功でとても皆賞讃してた。私も三度見に行ったと言ふ。ベトリデースのやつた展覧会だ。モンパルナスでHavard frèresと言ふ額縁やお父さん時代私のを作えたお祖父時代の見本沢山マチスが来ると毎日向つて注文とつて暇さへあれは額の事で会いに行くと言つて8号が8100 12000位だ。グランショームイエールのSennelierの処でエツチングありとてQuai Soltaireの本店へ行つて二萬五千のを買ふ事にして明日届ける筈隣のSambonと言ふ古道具やで十五世紀のゴブラン 4m50×20m62が1 ミリオン20万だと言ひ私の細い体で直ぐ買へる等神さん言ふ 緑と青で動物丈けでとてもいい。十時半日本人櫻井氏来て一時半迄話して日本人の悪口や学生のだらしな事女学生等皆自由」「クレン氏五萬法本さしえの内」 [FT00529,157]
- 5月24日 「朝十時半デッサン三枚ベトリデースへ届けた。値だん去年のより上げる事承知。今マルセイユ一番のいいギャラリーでやつた私の展覧会クリチックも評判よくて 六枚もう売れてる大成功で人気を呼んでる来年五月も忘れずにやつてくれ等。アメリカ人の油とカナダの人の娘のデッサンのむ。」「三時エツチング機械25000fs届けてくれた早速プラスバンドームの月夜を一度やつて見る。やりそこなつて又更に一枚やつて成功する。」 [FT00529,158]
- 5月25日 「今朝硝酸買に行き (Acide Nitrique) おやち醤油のレットル見てまちがえると大変だからとてはりかへてくれる。又チュル白布買つて一通り用意して午後一枚一枚小エツチング二人牛乳ビンとパンの図彫つて見て七分通りの成功未だもう一息と言ふ処だ。もう少し道具が足りないものがある丈けだ。大体出来る。廿年以上もしなかつたが忘れない。芝山さんや川島の事で一日君代頭から離れず。芸術院の年俸の金何うしていいか分からぬたのむ人が日本人中に親戚初め一人も居ないのが不思議だ。」  
「家に油えもデッサンも無くなつて要求と請求じゆようは多くなつて注文や展のよび声は高い。エツチングは其の点数多く出来るからいい版さへ作つて置け方がいいと思つたのがやはり今日初めた原因の一つ レンブランド、ジュール、ゴヤの版画は世界の名品だ。版画はやはり大したものだ。」  
「電話ジャクリン、ロートレック ポスター展図書館にあり、一緒に見に行く事断つた。私が行かなければ自分も止めると言つた。」 [FT00529,159]
- 5月26日 「フランスの花展 ルーブルでやるのの案内状来た」「一枚エツチング作つた」「エツチング二人子供 パンと牛乳三枚目」 [FT00529,160]
- 5月27日 「ベルナルド二人来て1918年の風景持つて来た何にかと変へたい等一先づ置いて行けと言つて帰す。」 [FT00529,161]
- 5月28日 「クレン氏何にも持たず来てプラスバンドーム又外の画かく事にした窓から見た処。」  
「スペイン モンチエル夫人手紙よこして来なくてさむしかつた 十月に来れば室 (展覧会) の用意レザープして置くと言つて来た君代も行く気になつた。君代スペインはゴヤの国だからあんたもシツカリしなくちや駄目よと言ふ。ピカソの国だとハ言はぬ処大によるし。サー又大変だ画を描かなくちやならぬ。遊んじや居られなくなつて来た。夕方になつて3F女の児油画の下えすミがき初めて中々暗くならず出来た。」 [FT00529,162]
- 5月29日 「クレン氏銅版二枚見せに届けてくれ明日写生の場処見に行く事」「二時Palais du Louvreより使いありて四枚静物60号二枚café 30号、ノートルダム八号、文部省フランスのMuséeへ渡す。S. de la Celle」 [FT00529,163]
- 5月30日 「十一時クレン氏来て二人で氏の自動車でおアール市場、パレスロアイヤル見て写生して」「又コンコルドからサントフヒリツプ ドル サントル Rue ロアイヤル プラスバンドーム オペラへ出て写生の場処二人できめてから初めてcaféドラベイで休ミ三時別れて」 [FT00529,164]
- 5月31日 「メイ片岡礼状。ブルデル夫人。・エイメ夫人展覧会招待 ・ケルメスの出席の事。・Mme Marcel Rocher招待 エス



- ピノーズ展招待 ・ Jacques Héfértot 芝居招待」 [FT00529,165]
- 5月 「ミラノスカラ座パタフライも無事に成功裡の中に同日にカサブランカで開いた個展も大成功で五月一時これで一かたついた様な気がしてはて何を始めようと思つて休養の中に考を練ると言ふ幸福な日が来可き時クレン氏の本さしえ十枚許りしなければならぬ仕事。ペトリデースの手を経てのアメリカ人のコレクシヨネールの仕事があつたりタンジェの展マドリッドの展等の申し込ミや誘いが来て自分勝手な画で展覧会も出来る筈のが大きさや数の点で自由で居て自由でない様な幸福で居て幸福でない様な。難しいこゝを何う画で処置していくかが私の問題だ。しかし生活の上にハ何んの心配もない。」 [FT00529,166]
- 6月1日 「十時半バスでルーブルに行きフランスの花展。十一時大臣其他大勢招待。ミケランジロの室等大がかりの花壇になつて照明も美しい館長喜んで挨拶によつて来たり二三人招待してくれた人皆昔知つてる人ニスへたつ夫人ケロートフアールの処で私の猫見た等四五人の人に会つた。カルコグラフィの処へ行つて私の肖像四枚(一枚500)猫とねてる女(750)二千二百五十にまけてくれ二人女一人男久し振りに会つた等と喜んで猫の版画欲しい等とそう言つた。ボロスカに会つたが将来若い人で大家になる人は絶望だと言つた。」「六本鉛筆レスコニルへ去年行つた以来初めて買ったのをけづる。」「手紙三枚かき十一時となる。」 [FT00529,167]
- 6月2日 「午前九時すぎからチュレリーに出でリボリー々観てマデレンヌに出でサントルのエルメスの角写生。」「一人で噴水の処ゆるく(写生一人も来ず。ロートレックの展入つて見る。軽い画だ。マチエールにハ勝つて居ない。一二枚はあつたが、構図ハドカに共通してる。色も軽くて美しい。表情等人物の姿等個性許りだ。シャンゼリゼー入口の白馬ニツアメリカ大使館小スケッチ。エリゼーを一寸かいて本やで□□時代のバリ イマージパリージヤヌ。買う。猫の本ハ未だ出ないか随分売りました等言いサンフィリップドリルで寺写生」「フランマリオンで絵葉書買ふつもりで入つて本沢山巴里のもの買つて」「コンコルドとセリツブドリルのお寺二枚かいて仕上げて見る(水彩油)とパステルでやつて見る一枚コンコルドの方がいい。」「本見乍ら巴里の昔を見てねた。」 [FT00529,168]
- 6月3日 「朝から油四号にサントル、エルメス、ランパンの角の画かき出して午後油色つけ迄すませてよく出来て満足一日この画で終わつた。白馬ニツ。アメリカ大使かんエリゼー等の小スケッチやつて見た。」「ベルナルド電話かけてさいそくしたが何にも渡すものはかゝぬから渡せぬ。すこし頭を働かせて見れば分りそうなものだ。午後一日かかつて四号夕方迄かかつて上出来クレン氏の喜びそうなもの出来た。」「四号サントルの風景かく。エルメス、ランパン等(写生さしえの本)」 [FT00529,169]
- 6月4日 「朝からデツサンオアール市場一枚かいて見た。大体よさそうな出来。昼クレン氏来てサントルの四号ハ喜び付いてトレビアンの連発。一番Chicな町にシツクの人が居ない処がいいと言ふ面白い見方を分つてくれた。」「コンコルドの噴水の図とうく油えの下がき四号に初めて夜迄かかり」 [FT00529,170]
- 6月5日 「グロンホテルで片岡さんにルーブルの私の肖像版画とニツハンケチ土産に渡す 愈々八日ロンドンへ行くとの事、芝山川島ハ留守の手紙くれた。別を惜しんでラペイのラーラスで写真うつしてくれ」「コンコルドの噴水の図かいてあるのに油画の色つけて成功。」「四号油コンコルド噴水クレン氏の本のさしえ。」 [FT00529,171]
- 6月7日 「朝十時 □□□□Studio Harcourt photos ヘメトロで行つて七八枚写された大した大仕掛な店でおどかして甘い仕事だ。サンフィリップドリルへ写生へ行きJoseph Vogelに往来で会つた。日本で会つた時と全く変わつた。妻君とこゝへ来てるとの事。オアールへ出て写生して」 [FT00529,173]
- 6月8日 「朝からサンフィリップドリル水彩と又一枚ホアールAu chien Qui Fumeの処牛肉かつぐ人々等ペンと水彩でかく。二枚クレン氏の分かく」「屏風枠ニツ3000出来て、持つて帰り夕方屏風白く張つて出来上り入口よりのぞかれず上々に出来完成しないが一先づ成功した。」「本やFayard “Le Roi Pansoleをやつた本や又表紙La “mere” Pearl Buckのたのむで来た。」「夕方夜にかけて屏風白木綿張つて作り上げたとても室よくなる。」 [FT00529,174]
- 6月9日 「ジヤンカスーさんの電話があつてフランス高級ミューゼの顧問がユナニミテ(総賛成)でフランスは私の四枚の画を感謝と共に受け入れた。一番にお前にお祝いい、たいから直接決まつた事を知らせるのだと言つて来てbeau fils, maison maternaのカタログに私のマラルニテの画入れたいが売つてくれないか等との事で又注文昨日も今日もありどんく順調にいい方に進んでうらないが去年今年去年の十倍になる等と言つた事当たつたりして知らぬのは日本人許り自分支け画の事に努力して居ればいゝのだ。」「屏風の白いゼラチン塗料とリボン魚(ルー)三尾買つて帰る。」「サルトルの芝居の悪魔と神様評判余りよくない長い評が出てた 風当りが中々強いこの国だ。昼クレン氏来てオアール(市場)サンフィリップドリルの二枚水彩デツサン渡したらとても満足でこれで結構五枚すきまの既に出来これで七枚になつた事となりFayardの本表紙の事とても駄目とハ知つて聞いて見たら勿論不賛成切角この位置に上つて居る人が何にも降りて安仕事する事ハない自分の本ハ一号はウインゾール二号がツルーマン三号が誰れともう売れるのだ。外国に対してもいゝ本出して私も貴方も満足する迄いけなければやり直ほさして版もよくしてやるからとの事。Racioのたのみのマテルナの商品カタログ来たがこれハ全然駄目で断る事に一目で極めた。私の高い位置を自分で落ちぬ様にとはいゝ、忠告だつた。Jean Casson氏より公報にて四枚近代美術館に入りし通知礼状来た。」 [FT00529,175]

- 6月10日 「ロダンやベルレン等がお金に困つた事本で見ても芸術家の苦しさを同情する。夜いろく佛、日の本見た。野口英世も日本医学界の人に陽に歓迎を受け陰に追い出してくつてとうく日本に住みたいのを諦めてアメリカで寂しく暮したがそのおかげで大成したとあり日本医学界のゴタくを雑誌で見ても単に画界のみならずと君代も驚く。何うして日本ハこんななんでしょうと言ふ。島国に人が多すぎて貧乏だからさと答える外ない。」 [FT00529,176]
- 6月11日 「Paul Ricardのオペラの酒やの cocktails 招待」「本やクレン氏二枚銅版サントル、コンコルド持つて来て大機嫌とても喜んで。パンセンオリオル大とうりようも約束し、又国賓の諸国の王侯貴族にフランスからの送り物にこの本をするとて巴里を代表する本でこれが一番Luxeのものだと言ひこれ以上の本はないと言つて木曜日来ると帰つて行く」「三号(女の子猫) ペトリデースに渡した分多少、なほしてもつと美しくなつてニューヨークラスカー夫妻の分始めた。」  
「四号下えかき夕方迄八時迄かゝつて今日二枚下がき出来た。」「ペトリデースラスカー三号(油) 下すきかき始む」「四号、油下がき 母と子ねる。二人とも。」 [FT00529,177]
- 6月12日 「朝から四号かき出して昼前に下墨がき終わり十時半」「近代美術館に四枚画入り、巴里の本この大統領ウインゾールツルマーンヌ外国貴賓に上げる等一枚私もとうく又巴里で一流の地位とレピュテーションを受け遠く日本人の羨望しても手の届かぬ処へ達して去年の十倍の地位を得た訳アメリカの一番のニューヨークコレクシヨネールに又三枚油画かくスペインのビゴ―貴族これ又スペイン一流の処へ紹介されるとなれば将来も明るくなる。」「ターボルは室内八号届けExposition Ecole de Paris に出してやる (Bimillénaire de Paris)」「四号女ねてる猫二つとも眼開くりドクロバツク。」 [FT00529,178]
- 6月13日 「夕方 Kleber でメトロ降りてケルメスの写真選びに行つた。」「T.W.A.氏大きく飾つてるマリニー劇場で Marcel Rochas ノ招待 Cocktail Lanterne Magique cocktails ランテルヌ マジック 25 ans d'Elegance à Paris 1925-1950 でピカソ コクトー 其他有名人やModeが写つて私ハシユバリエと写して写真が出た。写真で出た顔ハピカソと二人外のハ画が多少あつた見物客の中にも画家一人だけ映画や写真写されて帰つて」 [FT00529,179]
- 6月14日 「昔長年巴里生活の華々しきで使い切つて金は入つても逃がす事が多く、君代と一緒になつて、皆残るものを買つたり一番私の一生の内幸福な境遇だ。巴里に家が出来、金が多少ともあつて何ヶ月、一年と心配なく居られる事ハ始めての事だ。君代の苦勞の贈物で感謝する。二人で珍らしく買い物に出る牛肉やの女房が君代を見て貧血だらう等と言ふ。」 [FT00529,180]
- 6月15日 「十一時クレン氏来て市場とサンフキリツブドリルの銅版二枚置いて帰つて行く。」「午後四号にいろく材料見つけてとうくボージョレに行かずにパレーロアイヤル何うにか画き上げた。又クレン氏銅版三枚持つて来て置いて行くいろくりビエールアンシヤンテの話して行く。」「明日午前中テレビジョンで私が廿五年のエレガンスの中で大勢の人と一緒に出ると言つてギーセルスが知らせて来た。大写真度々やつて本見てる処等写されたのだと思ふ。」「クレン氏写生四号、油画さしえの分 (パレーロアイヤルホテルボージョレの窓から)」 [FT00529,181]
- 6月16日 「枠たのむだり、二度帽子のマネキン人形写生に出たりしたり。」「三時すぎ三号にプラスバンドームの景色をかき初めてクレン氏への分とうく夜十時迄かかつて仕上げ」「画のぐやターボルベルニサージ cocktails に行つてキスリングと私の話等したり遊びに来ればいゝとキスリングが言つたと言ふ今更可笑しいと思ふがウトリロ、フリエズ キスリング等も出してるとの事なればバリウボルに出した事も今更恥にもならぬ」「Musée近代美術館からあの四枚ハ何れに出品した事あるかと尋ねて来た21年22年サロンドートムへ出した事ありと返事して置く。中々細く調べるものだと思つた。」「三号、プラスバンドーム さしえの油画一枚かく墨がき丈け。」 [FT00529,182]
- 6月17日 「三号プラスバンドーム今朝の内に色つけして完成した。」「午後三号にオペラとねる女をかいて夕方迄に色つけて完成」 [FT00529,183]
- 6月18日 「(昼間銅版皆六枚にかきおこして手を入れ明日三枚の油えと渡す筈。クレン氏へ) 午後三時ペトリデースへ電話かけ四号二枚三号一枚都合三枚届け100ミル十萬貫う事に話して一枚デツサン貫つて(三枚渡したのこり。小切手と貫つて)」「夜スペインMadame de Montielに十一月に行く事の手紙かいて十一月十日頃展覧会する事にたのむ。」 [FT00529,184]
- 6月19日 「三枚クレン氏に渡す画にニスぬつた。」  
クレン氏と競馬に行つて一枚写生した。  
「・クレン明日二時モンマルトルの印刷処銅版私のを昔やつた人の処へ行きたいが何うかと電話二度かゝつて来た」「ペロさん猫二ヶ月から十ヶ月迄の展覧会するから見に来てくれるとの事Boisだ。金曜日六時アペリチーフに来て下さいと言ふ。」 [FT00529,185]
- 6月20日 「クレン氏と三人でモンマルトルへ行つてサクレキヨールおまいりしてから石段の処の印刷銅版処でいろく試しずりしてクレン氏自刻版見たいにしたいらしく写真の機械使つた様にしたくないと苦心する。百枚エツチング入り廿年かかり作家女三年六年とか。この銅版三年かかつて作つて廿五萬法の本もう廿萬法と言ふのを君代に見せる。小さい森やたるや山羊や、水流れや力のないやさしい何枚見ても同じ様な構図でデリケートだが変化はない。いい作家だ。」「仕事せず。朝十号二枚カンバス張つた丈け。」 [FT00529,186]
- 6月21日 「午前中白(ゼラチン)をカンバスにぬつて下ぬりして置く。午前中競馬のクロツキー(ペン画二枚)かく」「クレン

- 氏来て競馬の下画いいとて帰つて又明日来ると言ふ。私ハ午後二枚ペン画かく中々紙の工合でうまく行かず薄紙の方がいいので夕方迄かかりてかく」  
[FT00529.187]
- 6月22日 「午前中よりとうく夕方迄十六枚のトアルへ白ぬりて一日費した。」「三時クレン氏文字の方金字の試し等見せてくれ、二枚ペン画競馬のもの渡した。」「Kermesse明日の入場切符送つて来た Chanel56番とかいてあつたから今年ハChanelでやるらしい。今年も有名人大勢出るらしいが画家でウトリロ老人が出るとかいてあつた。  
・ペロさん猫展にハコクテルにハ行かず又  
・ウトリロ、パロドン、パロール三人展にも行けなかつた。」  
[FT00529.188]
- 6月23日 「娘素描デツサン」「肖像鳥の子へかいて特別の額アカジューに入れたのは昼前だつた」「又もう一枚ペトリデスの息子の画帖にかいた画と同じもの小女と猫 中、大のデツサン一枚水彩みたいにかくこれもラスカーさんの注文 額迄に入れ終わつて」「ケルメスにサインに行く」  
[FT00529.189]
- 6月24日 「仕事、クレン氏のさしえの下がき一寸して見たりして」  
この日もケルメスへサインに行く。  
[FT00529.190]
- 6月25日 「ペトリデスヘカナダ娘一万二千法とラスカーさんへの水彩二枚一万五千法届けこの分の金ハ現金でくれた。」「三時クレン氏来て銅版置いて行く大満足した。二人して出かけAutoの中でいろく話して出版の事十月頃多分カルパンチエで大統領招待して展覧会するかもしれぬ等。」  
この日もケルメスへサインに行く。  
「七時ピラさんのコクテルに行くビスパツシエール、マストさん等日本で会つた人又クローデルのめい御さん等に会つた。日本のいいもの沢山飾つてあつて寝室で夫人の肖像見た 山鳥かいてあつて悪くなし。メキシコ日本の娘の水彩等も持つた。」  
[FT00529.191]
- 6月26日 「銅版クレン氏の彫り出す事にしたりして」「仕事銅版夢(セイヌ)にとりかかつた。」  
[FT00529.192]
- 6月27日 「朝から銅版セイヌ河の夢彫り出してとても細かい仕事一日かかつて他出もせず」「クレン氏来てすぐ帰つた。銅版見せたら喜んだり私服等見せたりする。」  
[FT00529.193]
- 6月28日 「午前中二ツ魚Nを彫るよく出来た 午前中、エツチング競馬の馬車の方彫つたりして」「ダリーの聖母の絵の事で本屋の人とのけつとうの事冗談かときいたら本当の事だ冗談処か、しかしもう決着したからとの事私ハ心配してたと言つたら礼言つた。」「又彫つて銅版四時迄に二枚目作つた。」「芝山日本へ帰つて展覧会巴里土産するとの事 厚顔しい事だ。ボエシイの先きで銅版の大きいバットとつてジョージ5世の一番のCaに行つて二人で又サンフィリップからRoyalへ出でマキシムへ入つて見たりしてさしえの事又Halles迄足のばして古い横町のいいモチーフ見つけたりして」「夜ハもう一枚ロンシヤン競馬場 女立つてるほうのを十一時半迄かかつて彫り上げて」「ベルギーの展覧会の人来」  
[FT00529.194]
- 6月29日 「昼迄に三枚エツチング硝酸につけてのどいたくした。」  
[FT00529.195]
- 6月30日 「昨日近代美術館大かけかへがあつた様子新聞に見えたりする。私のも愈々出たと思ふ」「えのぐやにカリエールの画小児落して穴二つ開いたのをなほしてくれとあつてよくぬつてあつた。デランの小さい画があつた。売りものらしくてよくなかつた。こんなものでも巴里だから近処のえのぐやでも見られるのだと思つた」「一枚Hallesの彫り初めた」  
[FT00529.196]
- 6月 「Chez Foujita  
J'ai le plaisir de vous informer que le comté des conservateurs et le conseil des musées ont, dans leur dernière séance, accepté à l'unanimité le don que je leur ai proposé de quatre de vos peintures. Aux remerciements que ces deux organismes m'ont chargé de vous adresser, je jouis les miens. Grâce à votre cordiale générosité, une lacune est comblée, d'aimer va être magnifiquement se présenté sur les murs de mon musée. merci, cher Foujita, et croyez Foujita, et croyez à ma sympathie Jean casson. conservateur en chef au musée national d'art moderne.」  
[FT00529.197]
- 7月3日 「朝から彫つて私の自画像のバツクに君代と二人小供パントミルク下げた好きな画と猫紙の上にかいた」「日本紙に自画像おしてみる。うまく行くとの紙が布のためうまくいかず赤色ついたりして困つたりまごついたり もう二三枚すりたい時にクレーン早目に来て、又いろく注文や希望言つたりして余り御自身の意見もなく何うしていゝかも迷つてるからいいかげんに相手にする」  
[FT00529.200]
- 7月4日 「今日は思い切つて四号二枚に一枚はロンボアンシヤンゼリー他の一枚にはサンフィリップドリルのコミュニオン等ギニョールと小供かき出し夜の十二時迄か、つて墨が二枚終つた。六時クレーン氏来て出発の頁の夢(セイヌ河の銅版の幅広くて字と合はぬとて大にいろくやつて見たがクレン中々ゆずらず又新らしく彫り外なくなつて失望と嫌気がさす。いゝ本を作る事は只画かくよりうるさいものだ。もう本はまつ平だ。余程時間でもくれるとかいゝお金でも出してくれなければつまらぬが自分の好きな仕事を入れる事の方が未だ大事だ。」  
[FT00529.201]
- 7月5日 「伊太利の□□にマダムバタフライ外いろいろ背景の写真等クロッキー出したいから送つてくれないかとあつた。何にもない午前午後プラスドラコンコルド ミゲネット 鏡にマデレーヌ写してる処かく、上々、昼クレン氏来て昨日のフ



- ロンケピスの構想をやれこれサントノレにゴンドラ浮かべたい等飛んでもない事言つたりする。私の方は昨日から油画又午後七時からPlace ボーボワかき都合四枚四号三枚三号一枚かいて仕舞つて早く休みに行きたい。」
- 「ペトリデース カナダの人肖像よかつたが頬が出すぎてると写真の通りかいたがもうなほせないと断つたりサワヤギトリー私の自画像の注文出来たか等未だくアメリカからの金十数万も来ず。」 [FT00529.202]
- 7月6日 「油画四枚かいてホツとした色つけ終つた処にクレン氏来て油十枚エツチング十五枚と言ひ出してパンフレット見せ私ハ余り多いので驚いてこの間十萬の外又十萬せい求したらとうく議論になつた。最初ブラマンクと同じもの出したと言ふのでその数の通りクレンハ十七枚と言ふが色七枚1/2エツチング4枚1/2十二枚しかない。私にハ印刷ペンがきのものを銅版にさせるつもりでもう五枚彫つたが未だ外に十枚と言ひ都合十五枚だと言ふので画家の苦勞しらないで同情もないし商売人だと私もムカくした。」 「ペトリデス展覧会招待」 [FT00529.203]
- 7月8日 クレンの本中止 [FT00529.197]
- 「ターボルへ言つて展見てフリエズ ジュフキイキスリング マリーローランサン ロット ブラック等あつた私のもよく人が聞いて欲しがてたらしい。」 [FT00529.205]

## 1952 (昭和27)年 65歳

- 1月1日 「Mme millasの肖像かいて」 「Emilis Jiménez millas 夫婦Portrait とりに来て大喜び」 [FT00532.005]
- 1月2日 「司法大臣の娘さん肖像かいてくれるかと marques casa Para の電話で断る。」 「ブラドへ行つてボツシュ長く君代一人又長く眺めて居た」 「グレコが同じ画を八枚十枚かいてる事が本見て分つてびつくりした何度同じ画かいてもいゝ事ははつきりして安心した。」 [FT00532.006]
- 1月3日 「マドリッド出發帰巴」 「ゴヤの版画確かにあり相だと思つて三四時あさつて見たらあつたあつた昔持つた人の古い分のビブリオテックナシヨナルの分後できいた店でハ一枚3000 1000。又ハ700と言ふのを125二枚100 数枚75以下39□迄で沢山買つて鬼の首でもとつた喜び。シヨウウィンドーでレンブランドの版画見つけきたら400と言ふたれのかときくと知らず。只いゝものだと言ふから200にしるとまけさせて手に入れた。これハ私の白眉たいしたほり出しもの嬉しくてたまらず帰る。君代ニセものだらうとて見てもくれず。私丈け内心得意だ君代もだんく分るだらう」 「夫人ハ来ず Luis 氏丈け goluez と二人送りに来てくれ安心九時発車マドリッドに別れ、クツシエツトに二人切り」 [FT00532.007]
- 1月7日 「Livre d'or にえかいて三度目 Bordeau Retour d'Espagne かいたりして」 [FT00532.011]
- 1月8日 「Grosjean の本にえかいて」 「十一時半定刻に巴里につく」 [FT00532.012]
- 1月9日 「私に初めての一本冊持つて来てくれ大成功今後五十年たつてもこんないい本は (巴里) 出ぬ等と誇つて評判とてもいゝとて」 [FT00532.013]
- 1月15日 「カサブランカへ三枚画送り出し」 [FT00532.019]
- 1月17日 「ペトリデースより頼まれた Lasker さんの水彩一枚墨がき丈けした。」 [FT00532.021]
- 1月18日 「小女猫だく Lasker さん水彩色と濃淡すませて一枚かき上げてホツとする巴里こゝへ帰つて一番初めの仕事だつた。すぐ又二号油画に1950年の小兒顔丈けのものこれも Petrides たのまれこれも墨がき油色つけて出来上り。」 [FT00532.022]
- 1月19日 「エロンドビルホスの肖像四時に仕上げよく出来満足」 [FT00532.023]
- 1月23日 「仕事に念入れてかげの調子等に気をくばつて一々の強調弱調を気をつけてかく事にしたら大分よくなつた気に入つたものが出る。」 [FT00532.027]
- 2月1日 「五枚小額椽いろつけて」 「三枚其の内スペインの分画とも出来た。二枚は私の分。」 「夜デツサンクロツキー二三枚かいて見たり」 [FT00532.035]
- 2月2日 「女と男の子水彩 (油) でかいて見る。」 [FT00532.036]
- 2月3日 「午後赤ランプ腰十分あたため仕事せず。(今朝二枚小品バツク。ストーブのトアールドジュイと他一枚向いの家の屋根等かく)」 [FT00532.037]
- 2月4日 「今日ハ三枚中デツサン (色つき二枚小供と女、二人女祈る。一枚ハ二ツの顔デツサンかいた。」「下がき六枚位かく」 [FT00532.038]
- 2月5日 「午前中より昨夜よりかいた五枚小クロツキーのマドンナ見たいな母と子五枚一気に墨がきして夕方迄に皆五枚とも素描でかき上げた」 [FT00532.039]
- 2月6日 「午前中二枚クロツキー大いゝものかいた。」 「アメリカ画商の所有の私の画1929年のもの私がかいたと言ふ証明渡して写真のうらにサインする。」 「Gita 来て本さしえの原稿渡して帰つたが」 [FT00532.040]
- 2月7日 「代書 登記処へ行つて家屋税金支払過分のお金4000frs」 「売買の証書君代の名義の証書貰つた大安心大喜び。」 [FT00532.041]
- 2月9日 「戸棚使つて三枚小品色ぬつて仕事とてもやりよくなつた。」 [FT00532.043]



- 2月10日 「頭に浮んだ祈祷の図の怪鬼の頭や顔十何ツツ方迄かいて見るだん〈構図出来昨日から二枚ガラス画かき出した分大分参考となるらしい。〉」 [FT00532,044]
- 2月11日 「寝小便の画かいて昔の事でもうこんな事はないと言ふのをかいてやつた。午前中ガラス画二枚かいたりして遊んだ。」 [FT00532,045]
- 2月13日 「油画3号Bd Edgarquinet (chien fidele) 二万 水彩女と子と赤ん坊裸体、素描女マドンナと赤ん坊裸体 三万 油画四萬、デッサン水彩三萬ツツの皆半分の價にして上げた」「三枚ミュージーカーナバレ買い上げ。」 [FT00532,047]
- 2月14日 「Kleineの本の原画四五枚いろ〈にかいて見て〉」 [FT00532,048]
- 2月15日 「Kleinの原画本に入れもの。十一枚かいた。肩が軽くなる。未だ残り白紙卅七枚あるが手許に十四枚既に渡し」 [FT00532,049]
- 2月16日 「塩沢一人で来て水曜日朝七時たつて帰るとの事で別れに來た。写真近藤片岡と水野塩沢に上げて素敵色つき寂しい親子を一枚河村にやつた。」 [FT00532,050]
- 2月18日 「受信中村直人銀行モンパルナス市庁美術局?」「十五号二枚十号四枚初め八号六、五四三号等皆で卅一枚枠に布地張つて白ぬり夕方七時迄君代手伝つてくれて第一の下ぬり皆仕上げた。」 [FT00532,052]
- 2月19日 「Musée Montparnasseの人約束した人來た 親子 猫親、子三匹と鼠かごの中に居る十二号いい?日本でかいた分と写真1913年と去年の分寄附した大喜びマチスの画昨日貰つたと言ふ。」 [FT00532,053]
- 2月20日 「Musée Carnavalet副館長Madeleine Charageatさんから喜びの手紙丁寧に送つて來た。」「昨日今日で廿六枚白カンバス一日かゝつて朝から夕方迄ぬつて仕上げ梯子だん作りの壁にかけてホットする。未だ五六枚残つてる。」 [FT00532,054]
- 2月21日 「発信カルナバレ館長の礼状」「今朝から又四時迄カンバス上ぬり仕上げ今日で枠全部終つて気が楽になつた。」 [FT00532,055]
- 2月22日 「川島手紙よこして日本ハ一番きたない国うるさい国だと悲鳴挙げて來た。」 [FT00532,056]
- 2月29日 「私と君代祈の図八号に墨がき初めて」 [FT00532,063]
- 3月1日 「昼迄仕事八号に小兒等沢山かき込んで」 [FT00532,065]
- 3月2日 「八号の祈の図マドンナ音楽の天使四人等かき出して一日かかる。」 [FT00532,066]
- 3月3日 「画八号続けてかく。バック上部に一日かゝつてかく。」 [FT00532,067]
- 3月4日 「三時帰つて又えかき出し。」「夕方怪物かいて墨がきは皆終つた。」 [FT00532,068]
- 3月5日 「午前の仕事油え八号ぬり始めてやつと一通り三時迄で終る君代同じ歌うたつておそうじ一日する。午後も仕事。」 [FT00532,069]
- 3月6日 「水彩三枚ベルナルドの分土曜日にとりにくると一日かゝつてかく」「終日仕事していい気持ち」 [FT00532,070]
- 3月7日 「朝三枚水彩起きぬけに張つた。片岡さん二人の写真大喜び。四月巴里の文化自由会議に出席の平林たい子。福沢一郎、松尾邦之助、宮本三郎夫妻等來るとの事等。」「八号祈祷の図もう一度一昨日の上になぬり重ねて今度は承知の行く迄思ふ通りかいて大満足」「四号油え女と女の子かき出し。」 [FT00532,071]
- 3月8日 「朝から仕事昨夜の四号かき出し、ベルナルド二人來て水彩(マドンナ三枚)渡しして」「油画四号に女と小供又双子と母□(三号)に今日ハ一日かゝつて墨がき初める。一日仕事する。」 [FT00532,072]
- 3月9日 「3号二枚墨がき初めて終日かゝりて仕上げる。」 [FT00532,073]
- 3月10日 「朝から八号の女の子芋むく男眺めるの私の好きな画一枚かき出して」 [FT00532,074]
- 3月11日 「しかし自分の幸福な事だ。デッサン一枚水彩一枚午前かき。」「昼からも仕事して四時半」「夕方Klein來て日本紙の本豪華版一冊くれた。とうとう一冊君代の分貰えバいい事になる。いろいろVinの本やMontparnasseの本の事の話したり 祈祷の図欲しい等と言つたり」 [FT00532,075]
- 3月12日 「水彩一枚大かく」 [FT00532,076]
- 3月13日 「水彩午前中一枚かき皆全部で五枚昼前厚紙に張つてRomanet渡しの分すこし出來た。」「一枚又水彩小かいて出來」 [FT00532,077]
- 3月14日 「水彩 小六枚 大一枚渡し」 [FT00532,078]
- 3月15日 「日本より中村定子安着の日」 [FT00532,079]
- 3月16日 「仕事四号に始めたり一日仕事出來上々。」 [FT00532,080]
- 3月17日 「仕事四号に小供芋むきかき午前中一枚」「四号又一枚芋むきの小供かき墨がき二枚やつて勞れて一人で画室で休む。始めて自分一人で画室に居る事等は本当に珍らしい」「一人と言ふ事は寂しいと思つた」 [FT00532,081]
- 3月21日 「岡田の手紙來てモダンミュージアムで個展來月すると五十枚かいてると言ひ幸そうにかいてあつた。朝から油え二枚 双子のマドンナ マドンナと娘 四号石門等一日かゝつてかく一度くらくなつたりする。八号の芋むく台処のものもかく上々」 [FT00532,085]
- 3月22日 「昼から又一枚3号マドンナのBackかく」 [FT00532,086]
- 3月23日 「一枚スイスのmüllerさんの素描小供と猫かき」「午後一枚水彩マドンナ金地かく 重く出來て悪くはないが仕事しす

- きた感あり。」 [FT00532,087]
- 3月24日 「四号女の子芋むくにストーブのバックかき出し一日かゝつて一枚より外出来ず。」 [FT00532,088]
- 3月25日 「田村いろいろの事聞いて来て六月夫妻で来たいとの事だん〈外務省の渡欧も難しくなるとの事だつた〉「一気に水彩マドンナ二枚小型（金バックにするもの）一日油水彩でくらくかいて見る。白地に黒かけた灰色面白く出来た」 [FT00532,089]
- 3月26日 「金箔二枚水彩に張つたりした。」 [FT00532,090]
- 3月27日 「今日は元気出して十号に墨がき初め出し大小供五人小二人夕方迄にかきこむ。」 [FT00532,091]
- 3月28日 「十号に前例に遠景の小供をかく六人かく」「午後も画一日かく。」 [FT00532,092]
- 3月29日 「朝から十号の中央の子王女にするのでピヤンキーの布模様赤と黒のデッサンを袖にかいて頭の上に鳥の羽つけて見る滑稽だ。」「午後も画かく」 [FT00532,093]
- 3月30日 「10号の二枚目小供大きく昨日からかいて七人今日夕方迄一心にかく」 [FT00532,094]
- 3月31日 「十号後からかいた分のバック、Campagne-1erの向いの家のバックをつけた。よくなつた。一日かく」 [FT00532,095]
- 4月1日 「十号初めの分の空にねむる天の子を沢山一日かく。遠景に森もかいて夕方になつた。」 [FT00532,097]
- 4月2日 「七号初めの画にまた小児三四人かき加えて油えの色一日かかつかき出す。」「私ハ画かいてた。」 [FT00532,098]
- 4月3日 「仕事にとりかかり十号第二の方の色つけ始め十時頃には終つて気に入つた。やはり落ち付いた渋い色の画の方が私向きらしい。生々しい色の好ミは私には向かぬらしい。見張へのするものは何でも好きでない。」「写生始めて今朝ぬつた画の下にかき込む」 [FT00532,099]
- 4月4日 「朝十号に菓子バックのをかき加えて色つけして又午後も十号ブランセスの分も色つけ強くして夕方迄に二枚にかゝつて仕事して満足した又何んだか新しい方向が生まれ出した 人物の影がうまく出来る様になつた。一日仕事して」 「夜床の中からかいた画二枚眺めてねた。」 [FT00532,100]
- 4月5日 「六月バカテルでRose展するから一枚出品してくれと市からたのむで来た。朝から女の子森の道（ローマネの城の道）に立つ処の図かき出し」「昼から色つけ始めて着物はだいにして森も新しい試ミでうまく気に入つた。」「君代もバレエも今日の図は傑作だと眺めてくれた。」 [FT00532,101]
- 4月6日 「朝起きて昨日の森の少女の右眼の表情面白くなく、ゆうべから気になつてた分かきなほして好きな顔に改めた。気になる処はおしげもなくおつくうがらずにやる可し。君代とBarryのなまけものを一□やる。」「朝から又一枚小女リラの花の色の衣服と大木と遠い林の図かき出して」「又画かいてくらくなる前に八号一枚出来た。」 [FT00532,102]
- 4月7日 「六枚ニスぬつて昨日の画等又色を強くする最後に気に入る迄やる。強くなる。」「貧乏人の女の子牛乳とパン（鍋牛乳入れて）」 [FT00532,103]
- 4月9日 「日本映画羅生門ベルメルでフラグラン見て面白いと思つた洋画とハ全く異つてたし山賊の山刀野刀ふりまはして剣道でなく型がなく現代語で話して笑つたり日本のチャンバラでなくて面白かつた。」 [FT00532,105]
- 4月11日 「十五号一枚女と小供出来上つた。母の着物きる子」 [FT00532,107]
- 4月12日 「子供モデル画架の上同じ子の画のある六号下図からかき初めて夕方迄に色迄かく夕方暗くなつて出来た。」 [FT00532,108]
- 4月15日 「画Petrides展の分廿枚油え出来た。」 [FT00532,111]
- 4月22日 「油画三号二枚Romanet par avionで送り出した 一枚。」 [FT00532,118]
- 4月23日 「朝水彩二枚デッサン四枚ローマネ第二回分送り出し」 [FT00532,119]
- 4月24日 「三号女ねてリラの花とる油えにかく」「Chateau de Tholotの道森Romanetのため三号にかいて墨がき丈け終つて」 [FT00532,120]
- 4月25日 「昨日の三号Tholosの森の道油えに色つけする。」 [FT00532,121]
- 4月28日 「朝三枚油3F水彩大二小一 デッサン小二 皆Romanet小包送り出し作つて午前かゝる。水彩大1 赤帽の女 一万五千 第三回大1 母と子祈り 一万五千 小1 祈り小女 一万二千 デッサン小1 プロフキル 九千 小一 女adration 九千 六萬 油画 第四回 3F女ねるリラの女 三万五千 3F トロー城外 三万五千 3F ボージョー村寺 三万五千 十萬五千メ 十六萬五千」「銅版 Musée Carnavale の分20×28画かいて一日彫り出した。一日仕事が出来た。」 [FT00532,124]
- 4月30日 「Musée MonparnasseでMusée hall展 ジョージユス昔面影なく瘦せた老人になつて80才だと言ひ。」 [FT00532,126]
- 5月6日 「十号の海の変な女かき出した。大分きみようようかいのものだ。」 [FT00532,135]
- 5月8日 「十号人魚と魚色つけて」「近頃快心の作魚と人魚の髪の毛白い。」 [FT00532,137]
- 5月11日 「人魚小 猫と小女。花と横顔出来上つた。」 [FT00532,140]
- 5月12日 「十二号裸婦の画かき出しバックに犬三匹と猫」 [FT00532,141]
- 5月15日 「小供二人パンと牛乳の画又かいて多少かへてかいた。二枚とスペインの女と娘一枚（Algerの人の肖像から）」 [FT00532,144]
- 5月16日 「アルジェの小供等かき出して」 [FT00532,145]

- 5月19日 「六号二枚アルヂエの小供の画二枚バックにいろく(猿や人物大人小供等かき込んで下え出来た)」「五号のアルヂエの子供の画バックかいて今日三枚出来た。」 [FT00532,148]
- 5月20日 「アルヂエの子供六号二枚五号一枚十二号女と獣のバックかき入れて夕方迄四枚油えて色つけて大仕事した日。」 [FT00532,149]
- 5月23日 「スペイン娘のレース等かいて白黒の画にする。上出来面白し。」 [FT00532,152]
- 5月24日 「六号女の子のバックスペインのろーそく立てかき込んで一枚仕上げ(第一回)た。軽く出来た。白カンバス四枚白下ぬりした。」 [FT00532,153]
- 5月26日 「人にコッピエ出来ぬ唯一の自分丈けの画なら大丈夫だと自分は自分の創造(すべてテクニクも)だからと思つてねた。」 [FT00532,155]
- 5月27日 「十五号裸体女かき出し」 [FT00532,156]
- 5月29日 「サロンドメイに行くいろく(日本人居た船戸も関口氏其他路可あわてて飛んで来た)」 [FT00532,158]
- 5月30日 「松尾 福沢一郎氏二人来て挨拶に来た」 [FT00532,159]
- 6月1日 「小供冬支度毛皮と猫三号午後ハ女ねる六号かいて二枚共油え仕上げた」 [FT00532,162]
- 6月2日 「十五号バック怪物の夢かいてたがだんく(変つて行つて蛙の画家 バック歌の音楽蛙と鳥のダンス等藝術をかく事に画いてる間になつて来た。)」 [FT00532,163]
- 6月5日 「油え四十二枚Petrides完成した」 [FT00532,166]
- 6月6日 「日本大使館に行く日」 [FT00532,167]
- 6月8日 「もつと面白い水彩かき度かつたが時間なくて古いクロッキーからかいたので興味がなく」 [FT00532,169]
- 6月9日 「Dongenの家へ行つた大きい家二百号位の画十何枚もあり私の六倍位の画室ぜいたくでなし。」 [FT00532,170]
- 6月11日 「個展の日」 [FT00532,172]
- 6月12日 「コンパにいい記事出て写真ヌーベルリテールにも写真出た」 [FT00532,173]
- 6月13日 「大統領並びに夫人より 廿日金一時パレードエリゼー昼食の招待勲章つけた人招待状持つて来た」 [FT00532,174]
- 6月17日 「エキジスタンシヤリストの人形作り出した。」 [FT00532,178]
- 6月20日 「大統領le Président de la République Viecnt Auriol招待の日」「展覧会に菅井汲川本光子、梅原 益田、石原等やつて来た、梅原が私の勉強ぶり驚いて羨しいと言つた。」 [FT00532,181]
- 6月21日 「1943年より52年迄のcholeographieの版權2.265frs送り度いと的事Musée Louvreから通知あり。驚いた。やはり大国だ。」  
「Youki Henriに会つたdécoreeの事費用丈け持つてくれ、バ何にも要求せず若い時代ハ惜しまない処がとても幸だつた友人として敵ではない。」 [FT00532,182]
- 6月23日 「Monetの展覧に行きカタログの年代記見て悲惨な生活との事画の戦い苦しむ私の生れる前の頃の事よんで余りにも画家の苦しミつよき事知つて変人になつた」 [FT00532,184]
- 6月30日 「大統領夫人に双子のマドンナ Vierge aux Jemmaux贈呈する。」 [FT00532,191]
- 7月2日 「油え四十三枚の内一枚ハAuriol夫人に寄贈 十九枚持ち帰り。」「水彩十枚 一枚売れ 四枚持ち帰る。」 [FT00532,194]
- 7月3日 「大統領懇々札状直筆で丁寧にかいてくれて使に届けさせて下さつてやはり美術国の嬉しさを感じた。中々忙しいのを礼を尽して私にこんな手紙を下さる事にハ驚嘆した。」 [FT00532,195]
- 7月4日 「マリーローランサンの展覧て行く」 [FT00532,196]
- 7月8日 「自働さつえい器も買つたりしてフィルムも用意して今年から又写真すこし初めて見る事にし」 [FT00532,200]
- 7月10日 「New York Lasker夫人外一人夫人来て画見に来て買はず12号位の町各処風景小供花等入りのものと六号二枚位と小品バラの図等九月に注文して行く」 [FT00532,200]
- 7月11日 「梅原氏訪問」 [FT00532,203]
- 7月16日 「来年二月二ユーヨーク展する事に決定した」 [FT00532,208]
- 7月18日 「巴里出発の日避暑旅行へ」 [FT00532,210]
- 7月19日 「Pilatへ着いた日。」 [FT00532,211]
- 7月31日 「写真や現像して持つて来てくれLourde以後St Jean de Luz Pilat等の写真よくうつつて居た。」 [FT00532,223]
- 8月4日 「Sud Ouestに私が壁画かいてる写真大きく出で夏休ミでも筆を忘れずと言つて出たのでアルカシヨンの町の人皆私を知つた。」 [FT00532,228]
- 8月17日 「色写真出来」 [FT00532,241]
- 8月18日 「私ハストーブの上の壁に貝殻ポツシヨアールでぬり初め筆加へて小魚等でアーチ形にして小供男の子女の子かき中央に人魚かく面白く可愛らしくかいてやる。」 [FT00532,242]
- 8月21日 「中央の室の大壁にマドンナとキリストの子船の中に居る大画かく事に」「ストーブの上のいたづらがき嫌になつて消して仕舞つた」 [FT00532,245]
- 9月8日 「巴里着」 [FT00532,264]

- 9月9日 「毎日社長 油え 十二号 漁婦の女 船戸に渡し日本へ行く 額なし」 [FT00532.265]
- 9月10日 「幻灯機械Projection 33109fs買つて」 [FT00532.266]
- 9月13日 「指げがした小供四号F」「二号F女手を組む」 [FT00532.269]
- 9月14日 「2F小マドンナの図」 [FT00532.270]
- 9月15日 「受信中河与一」「中河氏から手紙来て激励の手紙この人ハ昔から私ひいきの人で喜んで本心から益身体大事にして日本の貧しい画壇から私を出したのだから尚一層やつてくれと言つて来た。」 [FT00532.271]
- 9月17日 「2F 小児面白い顔」「2F 小児」「2F 女プロフキル レース」 [FT00532.273]
- 9月19日 「廿枚 8F—2F迄の分油白下ぬり出来」 [FT00532.275]
- 9月21日 「私の一生の内今が一番幸になつた。働く事の楽しい事人間ハ働かなければ駄目な事が分つた。そうして楽しむ事だ。他との交渉を避けてふくぎつの渦の中に入らずに居る事だ。」 [FT00532.277]
- 9月23日 「3FにSt didier St Beaudieuxのお寺一枚午後巴里風景 4Fに椅子なほしの女と小児の横町とパンテオン裏の肉屋をかく 4F3枚」 [FT00532.279]
- 9月25日 「3F パンテオン裏の小プラスの図」 [FT00532.281]
- 9月26日 「二人の小供向いの家根かき墨がき」「堂本印象二人小松清氏来て」 [FT00532.282]
- 9月27日 「(五号F) 猫」「4F猫」
- 9月29日 「八号に女大きく猫犬墨がきして色つけ夕方迄にかき上げ又奇妙な女を創造した。」 [FT00532.285]
- 9月30日 「8F芋むく女の子」 [FT00532.286]
- 10月1日 「大分たまつた日本への手紙 兄近藤依田届子門賜義一郎松屋へ断り状中河与一等等一気にかいたが本当の打ち明け話も出来ず平凡な手紙になつて仕舞つて本心でない、日本ハうるさいからうつかりした事ハいい事でも漏せないが残念だ。」 [FT00532.288]
- 10月2日 「ペトリデスの息子の顔2号」 [FT00532.289]
- 10月6日 「自画像Petrides息子の肖像油えで完全に二枚仕上げ」 [FT00532.293]
- 10月11日 「十時迄かかつて色写真整理した。頭の中が色写真の事許り考えさせられてる。」 [FT00532.298]
- 10月14日 「阿部さん印象さん二人来て対談いろく日本紹介の事等話あつて面白かつたとの事印象招待ありとて阿部さんと三人(君代)で支那めし生鯉其他たべ御馳走になり。山口蓬春に君位の年じや未だ本当の画ハかけない私が五十五だ やつとすこしかける様な気がしだした等と広東で話したとの事六十五が本当だと訂正する。」 [FT00532.301]
- 10月20日 「午前中15F描いて全部出来てから不必要な分等遠くから見て随分消した大体の大きい構図を眺める必要があるからだ。思い切つて消した。」 [FT00532.307]
- 10月21日 「15F二枚 new york 行きの小児下がきした」 [FT00532.308]
- 10月22日 「(15F)一枚小児かきだし上半身かく大分(第三枚目) フラマンの画が頭にあつて細かく強くかけて来たが自分の画から遠ざからぬ様にしたい。」 [FT00532.309]
- 10月25日 「Chavasの子のデッサン日本紙にかく。」 [FT00532.312]
- 10月26日 「銅版にKleineのGarden partyの図」 [FT00532.313]
- 10月27日 「3FにKleineのレストラン特別室男と女とガルソン三人の図」 [FT00532.314]
- 10月28日 「3F3枚女の子丈け色つけ始め15Fチューレリーの色つよく思い切つてぬつて見た。」 [FT00532.315]
- 10月29日 「15F二枚の女の子に花いろいろ持たせてかき込み15F一枚最始の分にも花かき込み色消したりして大仕事になつた。」 [FT00532.316]
- 11月1日 「3Fにバラの花かく壺入れ。午後15Fのチューレリーの図バラ等」 [FT00532.320]
- 11月2日 「15Fチューレリーの図マロニエの花ぬいて見てこの画一番手が込むだ。よくなつて来た。15F二枚色濃くつけたりして結局Laskerさんの三枚15号出来3F二枚花かきこんでこれ亦よくなつた。」 [FT00532.321]
- 11月3日 「3F二枚色つけして他の3F2枚も完成全部15F三枚3F四枚計七枚アメリカLaskerさんの分出来、又午午後2枚小デッサン」 [FT00532.322]
- 11月4日 「日本の展(松阪屋)に出す様たのまれたとて来て結局未だ出したいと言ふ事で断つた」 [FT00532.323]
- 11月8日 「4F(女の子猫)南米No1枚目にとりかゝつて仕事する。」 [FT00532.327]
- 11月9日 「四号にミルクとパン買いの小供Mme Beaumontアメリカ女のためかき上げて」 [FT00532.328]
- 11月10日 「大統領より山鳥二羽貰つた。」 [FT00532.329]
- 11月12日 「大統領Palais d'lyseeへ礼状山鳥二羽画入り届け」 [FT00532.331]
- 11月13日 「Bernardのキリストの図小さいのに四人デッサンドクロアかく。大きいのより骨折れる。」 [FT00532.332]
- 11月21日 「8号に小女猫だき小猫三匹台処を思い切つてかき夕方迄にかき終つてホツとする」 [FT00532.338]
- 11月 「私の画が人手に渡つて金が入る事になつてる。先きを打つてる訳になつて世五枚も画がたまつた訳だ。家にも未だ、六枚大きい画もありペトリデスにも何枚か油水彩かしてあつたりして画(私の所有)のが出来た事ハ私の財産が増し



- た事だ。」 [FT00532,348]
- 12月3日 「青山□□氏読売の高木健夫と言ふ男連れて来てこの間巴里東京旅行に十何人招待されこの八日又皆帰るとの事」 [FT00532,351]
- 12月4日 「画デッサン五枚かいて昨日夜三枚ConstantineのCritiqueの人へかいた三枚の分と都合八枚飛行便で送つた。」「夜又二枚dessin Romanetに西洋紙今日買ったのでかいて見る美しくかける。Romanet廿枚dessin欲しいと言ふ」「佐藤がやつて、福沢がやつて青山が又来年やるらしい日本人大にやり出した。巴里丈けでArt新聞見たら八十も展覧会やつてる以上百もあるだらう。一日見にも行けない。多すぎる。其の中に入つて又々梅原安井連中や新しいアブストレ連中を除いた鳩山下石井以下のクラシックの連中の点が美術館でやるらしく招待状来た皆寺内野間いろくの人が参加して巴里での評判とらうと言ふのか Salon de maiの向ふはつて成功しようと言ふのか。日本が近くなつて日本人が巴里画壇を安く見て□つていどみか、つて来た処に大きな誤りがある。こゝの大家が四十年以上も自分の方針をかへないで押し通して成功してる事を考えるとそんな楽なものでない。」 [FT00532,352]
- 12月15日 「ICHiro Fukuzawa展最後の日でTaxiで往復して義理を呈した。画にこくがなかつた。」 [FT00532,363]
- 12月17日 「大統領より鳩二羽貰つた」 [FT00532,365]
- 12月19日 「Havardで額六号一枚借りて来たAnriolさんへの分マチス100枚dessin額に入れさせてるとの事一枚分けて貰ふ様たのむでくれと言つておいた。」 [FT00532,367]
- 12月21日 「デッサン二枚仕上げ上々出来」「買いかぶつてウノポレテ強慢だつた日本洋画壇も二度迄も失敗した本気にやりなほす気がなければ駄目な事だ。」 [FT00532,369]
- 12月24日 「大統領招待昼食の日」「六号の鳩の画持つてL'Elyséeに行く」 [FT00532,372]
- 12月26日 「4Fにアメリカ人の女の人のたのミ小女と猫四匹かいたりして三時」「一日仕事して休む」 [FT00532,374]
- 12月28日 「油え四枚パレット掃除して色つけて日が暗くなつてかけなくなる迄かいた。」 [FT00532,376]
- 12月29日 「1F女の顔一枚墨がきキャンパスにして」 [FT00532,377]

## 1953 (昭和28)年 66歳

- 1月6日 「大統領并に夫人より丁寧な年始状頂いた日。」 [FT00533,010]
- 1月7日 「3F、女一枚1号F、男の子雪一枚墨がき」 [FT00533,011]
- 1月12日 「ローマネに水彩六枚手紙も出す」 [FT00533,016]
- 1月15日 「朝2F女の子昼から女1F二枚かく。」 [FT00533,019]
- 1月16日 「画欲しいとて女の子猫だく4F買つて行く昨日今日突然人来たりして家から画持つて行く人が出来て来た。」 [FT00533,020]
- 1月19日 「5Fの女の子のバックアビニヨンのホテルのストーブ」 [FT00533,023]
- 1月20日 「塩沢より手紙読売で私の個展したいからたのむ」 [FT00533,024]
- 1月24日 「中河から本出版他れにもたのめず去年から待ちあぐんでるから送つてくれとて直ぐ返事と小包にして送つてやつた。」 [FT00533,028]
- 1月28日 「日本レコードかけて磯節や浪花節余りよくて君代涙ぐんで日本を想い出し」「3号に石炭やと酒やの古い家の巴里の町一枚墨えかく」 [FT00533,032]
- 1月29日 「近代美術かんでDimanebe展あつて私もよくグロメール ピカソ等の室にあり、文部大臣Recioの案内で見て歩き私の画を特にあの画はいゝとて大に賞めてくれ三枚持つてる女の子の胸像猫と大事にしてるととても誉めてくれ喜んで帰り」 [FT00533,033]
- 1月31日 「TV一時にnewsで又私を見るベレかぶつて品よく写つてた。」「夕方又私のTV三度目に出たの見た。アンフアンフヂタがサンケンタンの蚤の市の画をかけて居ると説明つきだつた。」 [FT00533,035]
- 1月 「ウトリロのガツシュの展が28日あつた。」「老人となつても元氣旺盛な事に感服する」 [FT00533,037]
- 2月2日 「3F dentele noir 3F Paysage Dentile 3F fille de la conierge」 [FT00533,040]
- 2月3日 「小猫をだく大猫よこに居て冬の屋根の見へる三角娘 5F. 55. アビニヨンスター前の娘 (十四五才) 4F. 45. 芋三ツ持つストーブ前の赤帽の子 4F. 45. 兎頭巾の子 猫 2F. 30.」 [FT00533,041]
- 2月4日 「Romanetに第三回小包作る4F金バック マドンナ子ねる 1F雪の子 黒マント ダルマ 1F明るい緑の空 リボンの娘 屋根 1F 髪長く頬に手を当て頭巾 (ミドリ) 柱にもたれる女」「Radioで話する」 [FT00533,042]
- 2月5日 「Pérides二時に来て屏風の金具等も面白いが画をかけと言ふ。5F女明るい女 空白服□の袖 風景とも。4F小供二人 牛乳とパン運ぶ 4F女の子 台処の前ストーブナベ共 2F女横顔レース黒バック」 [FT00533,043]
- 2月6日 「一枚2F猫 new yorkの杉本のためかいて色つけ直した。」 [FT00533,044]
- 2月9日 「文部省からも問い合わせレジオンドヌールの事で」 [FT00533,047]

- 2月11日 「岡本太郎に会った展してもう日本へ帰る金がないと言ふ。」「映画機買った。」 [FT00533,049]
- 2月13日 「三年（ここに）目でこれが実現すれば十年計画の大にやると言つた三分ノーでいい成果と成功見せたる事になるのだ。日本の羽田四年前に出た三月十日のあのさむしい出発は実は私の gloire への旅行の門出だつたとも言へる。唯れ一人これを送つてくれなかつた。邪魔した奴等はこれになると大変だと大に反対したのも半分は承知してる訳だつた。」 [FT00533,051]
- 2月16日 「岡田からいい手紙芸術家の手紙来て一番楽しかつた。日本人のガタガタ連中の事ハ忘れましよう。悪い日本の画壇から逃れて幸だ自分ハ一番幸だと言つて来た。この八月で丸三年になると言ふ。小平さん電話よこして明日二人で巴里へ来る夕方五時頃この近郊のホテルに入りたいとの事」「昨日近代美術かんで見た画家二人夫婦を三号にかいて色つけして見る全く又異つた物凄いもの一枚出来た これハ下図にしてもつと大きいのかいて見たい。何んだか新しいものが出来そうだ。」 [FT00533,054]
- 2月21日 「新聞きりぬき昨日の残りの分私でなければ分からぬとて張り出し、1917年の文を古紙からはがして張る。一番初めの展の事で面白い巴里の好奇心の第一の呼物になつてる事ハ面白く今迄来た同胞のように平凡に絵の具の無駄使いしないで生れもつた天分に理性を入れてやつた等大将の息子と言ふのをだいぶ攻撃してるが会場に入つて見て全く驚いたとありサルモンさんの名前で紹介された事ハ一番私の第一歩の幸だつた。」 [FT00533,059]
- 2月22日 「切りぬき帖出来ていろく見るのは面白い。大体に余り悪口はない遠廻しの陰口や一人よがりの評での程度だ。」 [FT00533,060]
- 2月24日 「5Fに三人女二人は肘ついて考えて黒髪の女中央赤毛の女面白いデフォルメの顔のもの強く出来」 [FT00533,062]
- 2月25日 「5F女と小児 ゴフランのバックで一氣に墨がき色仕上げ等して奇妙な肌色の画又出来て何んだか又新しいものが出来そうだ。」 [FT00533,063]
- 2月27日 「youkiの事に就て私の方で小まかく作つた年表と結局のSolution四ツを呈供してよく分つたとて、私の画風其他履歴、委しい調べ通りでまちがいなく、youkiも承知反対なしと言ひVachonも私が親佛家で日本に捨て佛人のためにいろく尽力したと言ひ、結局私一人生きるか君代をJeune filleにして後でするか結局 divorce 丈けハ早くしろと言ひ何にか□あればとて名前き、又特別とあつて早く成立出来そうだとのことと安心した。案外楽だつた。」「警視庁のアニスベリター来た日」 [FT00533,065]
- 3月4日 「4F rue Broeaの古い町かく」 [FT00533,074]
- 3月8日 「岡鹿之助と大下さん二人ここへ来て一週間目とて」 [FT00533,078]
- 3月9日 「裁判所呼出し状ウルシエより来ル。三月十九日離婚の事」 [FT00533,079]
- 3月11日 「5F 三人女色強き分 4F 風景 rue Broen 1F 女の顔レース Romanet 渡し」 [FT00533,081]
- 3月19日 「離婚コンシリアンヨンの日」 [FT00533,089]
- 3月24日 「Kikiが昨日Laënnecで死んだとの事きいて新聞買つて見た。私達のモデルだつた事私が序文書いた事も出た。」「カーネーションとリラの花持つてAnphitheatreに行くたつた一人私だけKikiはマキヤーチとつて眠つて居た。一寸見分けつかぬ程、静かだつた。髪の色がマバラで可愛そうだつた。」「Damiaaの肖像木炭紙に2枚大急ぎでかいて見る平凡なれどよし。」 [FT00533,094]
- 3月27日 「一時半新聞の人来て四人でラエネットに行く三百人位の人来て花大輪 ses amis スミレ等美しく其の他沢山十許も大輪キキ棺に休んでる モンパルナスの連中皆来て居た。キスリング サナリ カルコ病氣 来られず。私とアンドレ等代表見たいになり写真3人と写され棺の車につて墓地Thiais迄行く。私最初に花投げて葬地寂しく新しい墓土掘り返へした処、青の花咲き出して曇り蔭寒く外套なしで風引きそう。とうくKikiハ春の花咲く頃死んだ」 [FT00533,097]
- 3月28日 「朝からかき出した5F（二人小供屋根）の分すミがき」 [FT00533,098]
- 4月5日 「風景はしごだんのある赤い家かき出す」 [FT00533,107]
- 4月6日 「植木鉢のあるcourの画一日かくともめんどうなものだがとうく夕方暗くなつて電気つけて仕上げて」 [FT00533,108]
- 4月7日 「十五号朝から色つけ初め幻燈置いて参考にしてかいた」「離婚の書類 Assignation en Divorce Me. R. Villier Licencié en Droit Huissier-audencier. 9. Bd. St michel. また一人男の人が入つてつかくと画架の処迄来て警視庁の者だがレジヨンドノールの事で一寸調べに来たと言ひ一通り簡単にきいて行く。」 [FT00533,109]
- 4月10日 「アンデパンダン出品の日三枚。」 [FT00533,112]
- 4月11日 「アンデパンダンに行つたらメツサンジェ（パロツキエ）の発案で招待室ハ二枚ヅ、私のハ三枚入れていいだらう等いろく議論あり又流派、イズム、の何処にも私ハ属さないとて皆幹事達集まつて何室に入れてい、か館場中一周したりしてとうく十四の隣15の室に上下にかけてある処私丈け一枚かけにしてくれてやつとおさまり、レヂエの両側よりウトリロの両側にかけた方よし等皆喜んで親切にしてくれて  
Classiques impressionnistes Réalistes et Populistes Surrealistes et Symbolistes Naïfs Cubistes et neo-Cubistes Musicalistes A  
frtraits non Figuratifs」 [FT00533,113]
- 4月13日 「自画像かいて」 [FT00533,115]

- 4月14日 「油え五号小供二人と自画像色つけ」 [FT00533,116]
- 4月17日 「アンデパンダンに行く」「私の八十四室でマチスの中央ノ右隅一ツはウトリロ ジュフキイ等の隅両隅に入れて先づ先輩の仲間入りさせてくれた事丈けで名誉な事三千七十二何枚と言ふ数の中から廿四枚の名誉室に選ばれて入った事だけで満足していい。」 [FT00533,119]
- 4月23日 「皇太子来巴の際大使館改築私の画一枚欲しいとの事」 [FT00533,125]
- 4月29日 「キスリングとうく死んだ」「62才葬式に行く友人の人に花たのむさむしかつた。」 [FT00533,131]
- 5月3日 「小デッサン二枚一枚ハ雪の子にして水彩にして雪ぬいて見る」 [FT00533,137]
- 5月4日 「大使館パスポート二ツ改めて貰った日。(一生の分)」 [FT00533,138]
- 5月6日 「又近代美術でだんくに見るウトリロ、ブラック、等君代好きだつた。ルオーもいいと思つた。私の画も五枚になつてる(一枚裸体廊下の方のをやめた)却つてよくなつて、個性あつて強く悪くないと喜んでくれる上のモデリアーニの室のビトリンの中に私の画室内のさしえとモンパルノーの本がモデリアーニ、スーチンの写真と一緒に入つてる。初めて見た。キスリングスーチン見のがした。」「Elyséeのブルデル展に行く直ぐ見つけてくれて活動写真に夫人娘さん其他二三人と写され私も大写しにされた。大変な仕事だ。感心する」 [FT00533,140]
- 5月9日 「小品油青緑の女の子レースとつたの葉ベルビニオン」 [FT00533,143]
- 5月10日 「巴里の日本人画家としてサンデー毎日に写真出たが藤田ハ一頭地を抜いているとて荻須 青山 福沢 鈴木、成井、関口等と並んでる。巴里にも日本にも日本画家は貧弱だ。心細い事だ。」 [FT00533,144]
- 5月14日 「Goldwyn夫人来て肖像かく気に入つたとてうす紙でいい事らしく」「仕上げて夕方迄にかき上げてホツとした。余り好きでもない画だ。」 [FT00533,148]
- 5月18日 「十一萬法マダム現金 ゴールドウン夫人肖像」 [FT00533,152]
- 5月19日 「夜Bordeaux行き」 [FT00533,153]
- 5月27日 「巴里へ帰る」「ウトリロの展に行きすばらしい旧作うんと見て感じ、サインして貰い余りサバでもないと言つて酒のむでた。」 [FT00533,161]
- 6月4日 「紐育の国吉が先月死んだ。(熊岡と同じ運命)」 [FT00533,170]
- 6月6日 「久し振りでモデルの女 Gallice十時から110 Av d'Italie 13eの人来て十二時迄二枚かいた。木炭紙に学校でかいた様なもの、初めから又勉強しなほした。」 [FT00533,172]
- 6月8日 「朝モデル来て二枚デッサンかく」 [FT00533,174]
- 6月9日 「モデル来て第四回目ポーズ二枚昼迄かく」 [FT00533,175]
- 6月10日 「12m裸婦百面立像初めて油えに今日かく多分強くタッチも残してかく私の画と言ふよりリーヤルに出来た。これもいい、が研究の一つだ。」「一枚墨え食後直ぐ始める。両手挙げた正面の女かく桃色でかげ青でつける画全く新鮮に出来た6時終る。」 [FT00533,176]
- 6月17日 「大使かんに行く。」「新聞記者私と皇太子を写したがつて広間で大に写され又テラスで大使と三人を写され映画も入つてたり少々お話しした丈け余り会話のなき方なり。」 [FT00533,183]
- 6月23日 「grecoとcanonの社長のためデッサン二ツかくcanon社長mitarai氏技師つれて来て私がいゝもの持つてるとて感心してくれ望遠レンズくれた お礼にデッサン上げた」  
「15E 赤い戸モンパルナス 200 15E 母の衣服椅子の上につた 200 12E 小供タクサン バック祭 150 8E 人形と小供二人 90 5E 人魚口あけてよこむき 60 5E 人魚いゝかほ 60 4E 夜バック黒のプロンド 50 3E 牛肉や 40 2E 女の子一人え エピナル 35 2E 男ノ子女ノ子モンマルトル 35 1E 人魚 小魚 30 4枚水彩60 1010.000 廿五日入り (外十五号プランセス空子供 200 十二号裸体犬猫150)」 [FT00533,189]
- 6月24日 「アングルのデッサン入手」「平賀氏来て大使館用として八号モンパルナスのクール緑の戸の画 四号女田舎台処渡し」 [FT00533,190]
- 6月27日 「近代美に行つてラメイのポピリスト出品の八号の画とつた。キスリングへHommageの下に入口名誉招待藤田と大きく出て居た。」 [FT00533,193]
- 6月29日 「近代美でDufy 260何点ずつかり一代の画見て大したものだと思つた。」 [FT00533,195]
- 7月1日 「徳川夢声さんと対談」 [FT00533,199]
- 7月3日 「廿号F カツフエの女近代美のクロツキーからかき初めて夕方迄にすみかき殆んど出来上つた。」 [FT00533,201]
- 7月4日 「アルテヤガ氏6日デッサン不似とて返却し来り金も返へした。」 [FT00533,202]
- 7月6日 「Petridesに三時20F. カツフエの女届けた。アングル代65万の内三十万現金支払い後金支払三十五万あり」 [FT00533,204]
- 7月8日 「巴里立つ Bordeaux行き」 [FT00533,206]
- 7月12日 「家の室の中に机入れてアビニオンで見た尼さんとシヤガルの居た村の景色バックにかいて仕事する夕方迄に色つけも終つた。」 [FT00533,210]
- 7月13日 「今日は8Fに人形の家の室内の細かいのをかき出して一日かかる。こんなめんどろな仕事は早目にして置くに限ると

	思つて」	[FT00533.211]
7月15日	「昼前朝から8号F女の子二人ローマネの道シヤテレーヌのお姫様のクロツキー二枚を一枚にしてかき」	[FT00533.213]
8月1日	「内田巖がんで死んだとの事年内ハ持つだらうと話だつたがよかつた。又私の事にいろく進駐軍に言つたりして追放にしようとした等私ハ悠々小竹町江戸田駅迄傘さして送つてやつた人だつた。憐れな人だ。」	[FT00533.231]
8月5日	「女の子猫人形を待つ丸い面白い子 2F二枚かいて上々に出来た。」	[FT00533.235]
8月6日	「2F女の子手を合せ石垣につたの葉見えるもの」	[FT00533.236]
8月9日	「女と小児の女の子祈る図4Fにかいたり」	[FT00533.239]
8月10日	「女と小児の石の門の中のものかいた。」	[FT00533.240]
8月14日	「4F女の子インコ二羽の画かき出して色つけパールに出来た。」	[FT00533.244]
8月15日	「Chapelleを作り出し大工仕事で画の方休ミ」	[FT00533.245]
8月16日	「2F女の子猫もつバックなし」「Chapelleの分小ポット作り色ぬり又家でペンキで昨日ぬつた上に油えて色つけして作つたり。」	[FT00533.246]
8月22日	「Paris」	[FT00533.252]
8月24日	「Semaine du monde三冊先週のやつを買つて帰つた私とピカソの事出てる分。比較が面白い。」	[FT00533.254]
8月28日	「マドンナChapelleの本尊を作つた。」	[FT00533.258]
8月	「Pilatで仕事した分 八月廿三日調ベニスぬりし分 8Fお城のむすめ二人Tholotの森細道 ◎8F田舎家の内部(人形の家) 8Fモンバルナスクール植木鉢のある家 ◎6F金地マドンナ 首をまげてる分 ◎6F門の中(金地) 聖母 うすい色品のいい分 6F二人娘家の前の屋根ブロンドの子レース帽の分 ◎6F二人娘同じ ブロンドの娘 明るい方 6Fマドンナ金地 三人 ◎4F風上げる子供坂上大勢の小供 4Fいんこの娘 4Fソソソの子 4F小女と猫緑の戸 4F母と娘いもを二人で持つ 4F la Hume二ツ舟かきの土池 ◎4F巴里椅子直し 4Fあまさん南佛 4Fラ、テスト、ホテル海辺 4Fマドンナ十字の材木 3F祈る二人母と子、石の門 3Fラストの家一軒や 3F巴里音楽家二人の町 ◎1F人形と子 1F白ちやんと猫 1F猫をだくストーブの前 1Fマドンナ金地昔風くらく 2Fねる女 2F女の子と猫 2F祈り、つた 2F女子と小猫 0F二人子供黒地 0Fマドンナ肥つた 0Fプロフキル二人 メ世三枚」	[FT00533.262]
9月2日	「モデル来てねかしてかいて見る難しい。モデルが完全でないからだ。身体がいい、けんこうでもやはり写真があるから完べきのものはかけないがデホルメでかけそうだつた。」	[FT00533.264]
9月4日	「高島屋の重役西岡龍雄氏夫妻 [……] 龍村の赤い帯一本持つて来てお土産で閉口画も欲しいとの事 [……] 一枚4F女と子十字の柱金地(マドンナ)一枚 [……] かいた許りの女の子と猫のデツサン帯の礼に上げたり」	[FT00533.266]
9月5日	「モデル来ル前に二枚小児と猫かいて」	[FT00533.267]
9月8日	「3Fにオランダのモデルプロフキル一枚かく。」「1号子供と蝶かき出す」	[FT00533.270]
9月9日	「2Fにオランダのモデルプロフキルかいて上出来。」	[FT00533.271]
9月12日	「4F女中と女の子ストーブ前壺並べてるものかく」	[FT00533.274]
9月15日	「Romanet来て廿三枚渡す分」	[FT00533.277]
9月16日	「私は外でハしゃべらぬ。これが一番いい、事だちんもくは一番いい、これに勝つものなしと言つて私が外で余り口きかぬ事を見とめてた。」	[FT00533.278]
9月18日	「トローへ行く」	[FT00533.280]
9月	「二年で二百廿萬追加の事これよりいい、くは見つもれず その税金百萬を何度にでも支払つてくれとの事」「年に五十枚一枚六萬と見積つて三百五十萬 百萬生活費 四百五十萬とさていされた。」	[FT00533.293]
10月21日	「15Fマドンナ一生懸命にかいて」	[FT00533.315]
10月30日	「八号画室の子、墨がきかき続け」「八号と5号カンパンプルミエール3号変形、十字架より降す図とマドンナの像の静物」	[FT00533.324]
11月8日	「バルスローナ着」「バルスローナのホテルRitzに入り」	[FT00533.334]
11月10日	「マドリッドに行く」	[FT00533.336]
11月11日	「museo de Arte de Cataluña Palacio Nacionalでフレスコ十字架マドンナ、古画のいいもの沢山く見て立派なのにおどろきグレコとベラスケス二枚あり。」	[FT00533.337]
11月15日	「バルソロナ出発の日 トロー泊り」	[FT00533.341]
11月16日	「巴里へ帰る日」	[FT00533.342]
11月26日	「十五世紀のSaint Barbeの木彫持つて来 [……] 買い」「モデル来て二人かく、Kermesse des étremes Mme Elda Salmonに二号女の子犬二匹のせとものバック寄附」	[FT00533.352]
11月27日	「Convocation de consiliationは19 mars 1953 Palais de Justiceであつた 八ヶ月もかかつて未だ成立しないのはYoukiのなまけた事だつた。」	[FT00533.353]



- 12月7日 「大水彩三枚色つけして水彩、油押して更に色よくして夕方迄に金箔置くマドンナなり、Romanetの分出来カルトンはつてあてたりして完成する」「西村大使の電話でMr de Jean 西□佛大使夫人、1948年東京でかいた肖像メチャくにした分なほしてくれとて承知」 [FT00533,365]
- 12月9日 「燿子さん来てPose」 [FT00533,367]
- 12月11日 「de Jean夫人の肖像なほして出来上がった。」 [FT00533,369]
- 12月14日 「大統領オリヨルさん鳩二羽頂く。」「大使館使い来てde Jean夫人の肖像なほし渡す。」 [FT00533,372]
- 12月29日 「Petite Bernardのお葬式ある」「Mme Paul Bernetさんに銅版のアカデミーやつてくれないかとタノマレテ断つた。Hasegawa氏を推せんした。」 [FT00533,387]

## 1954 (昭和29)年 67歳

- 1月1日 「今年の正月元旦はTholot St didier de Beaujeuで迎へた。」「今年から後の五年は傑作の□ものを作るべき年で、金かせぎの必要もなく専心画に入るべき年になった。遊んで居てはならぬこの五年だ。」 [FT00534,005]
- 1月13日 「パステルで男女かいて見た」 [FT00534,015]
- 1月19日 「巴里で何日作ったか分からなくなつたのが私の手に帰つて来た。私がつた一つ作つた自画彫刻だ。」 [FT00534,021]
- 1月26日 「神戸の菓子や私が記念にかいてやつた画を箱の上に無断で使つたりして日本人の版權乱用には閉口する。大使かん宛て送つて来て嬉しくもない。」 [FT00534,026]
- 1月29日 「Divorce成立確実の日、1931年南米に旅立つてから実際別れて居たから廿三年位有名無実のmariageだつた。これで私も初めて自由になった。私としてハ一生大事な日だ。」 [FT00534,029]
- 2月1日 「小キャンパスに巴里サンジェルマンドブレの処の横町でスケッチした分墨がき」 [FT00534,032]
- 2月7日 「一号F二枚サントの若い女神マドンナかいて午後は金箔おく赤地面白し。」 [FT00534,038]
- 2月24日 「午前中小児四枚午後女四枚小素描かいて見てやはりかげのつけ方難しいと思ふ。多すぎてよくなし、やつと判つて来た。」 [FT00534,056]
- 2月28日 「朝からキャンパスの小布はんぱ布に小さい女の子パンミルクかんと葡萄酒のびん持つのをかいて色つけキャンパスに張つた。」 [FT00534,059]
- 3月1日 「6F画家の子 8 3F黑白猫 (トロー) 5 2F牛肉や巴里 4.5 1F聖母 金 4 1F天女 金 4 0F天女 金 3.5 0F娘寂し 3.5 33.5」 [FT00534,060]
- 3月2日 「アンデパンダン 1400firsと15F風景 12m朝notice 送る」 [FT00534,061]
- 3月4日 「The American Student's and Artistes Center 261 Bd Raspailのアメリカ人の女男二人でとうくキキーの1922年作と夢十五号の画明日から三月一杯の展覧会に借してやる」 [FT00534,063]
- 3月5日 「アメリカ人のClubの展見に行く 私の裸体大1922年と去年の分出る。」 [FT00534,064]
- 3月8日 「十二号mに娘パン牛乳持つ小品豆キャンパスの分その俣大きくデツサンから始めて」 [FT00534,067]
- 3月9日 「12F、女の子パンと牛乳の鍋持つ第二の画墨がき一日かいて色つけ出来ず。」 [FT00534,068]
- 3月10日 「昨日かいた12m女の子パンと鍋色つけて昼終り、もう一枚の12m 青キャンパスの分も大にかきたして全く今迄の分とちがつたマチエールの画出来た。」「バレーより手紙で永久にお前と別れると言ふdeux cent cinquante mille手紙よこした。返事出さぬ。」 [FT00534,069]
- 3月11日 「青山芳雄 中川一政夫妻連れて来て日本人画家協会の事日本大使かん50万出すとの事 博厚氏發議との事私の長谷川潔の賛成あれバ可能との事私ハ別に不賛成でないと言つて帰る中川ハいろいろキロキロ見て (室中) た。」 [FT00534,070]
- 3月13日 「岸田国土氏三月四日文学座公演稽古中倒れ五日東大で朝死んだとの事夫人衿子今日子さんより通知あり」 [FT00534,072]
- 3月15日 「Palais へ行く maitre FichotとSalle de Pas perduで会い二階に上つて奥に大勢役人が居た室の奥のかしらの室で離婚裁判の紙にサインする。今日から有効なれども今後一ヶ月 (一人は二ヶ月) すぎれば結婚してもよく永久に自由なり□しようにすると言つた。」 [FT00534,074]
- 3月16日 「ベルナルドの友人の爺さん1925年の女の顔 (キキーらしい) サイン消えてたのをかきなほしてやる」 [FT00534,075]
- 3月17日 「12m小児Vinsのびん持つ図昼迄にえのぐつけ、小品小児ねまきの分もカントンに張ってかき」「国際文化へベニスビエンナルの断り状かき」 [FT00534,076]
- 3月18日 「九時から10mに赤ん坊牛乳ビンパンニツ持つを寝衣の俣の分かき出す」 [FT00534,077]
- 3月19日 「10m、女の子牛乳ビンパンニツの分色つけ初めて昼後迄でかき上げ」 [FT00534,078]
- 3月26日 「12F rue Daguerre かき出して」 [FT00534,085]
- 3月27日 「H爆弾アメリカの試しで日本の漁師又と廿三名東京へ帰つて来た等広島の千倍の力あつて500キロ位の処に居てもやられるとてチャーチル初め大国は大に驚いて会議すると言ふ。人が發明してもこんな不運なものも平和のためには恐ろしい。」 [FT00534,086]

- 3月31日 「3Fこの間のモデルを一枚水色カンバスにかいて家の前の屋根をバツクで油まで出来一日かゝつてかき初瀬川のを三枚エツフェル塔もかいて見たりする。」 [FT00534,090]
- 4月1日 「日本の松や私の個展一千万買ってやりたい(三万\$)と言ふが返事断る。」「なぜ黒田藤島さんの画が二百三百万とならないのだらう。日本の死んだ大家の画ハ消えて行く丈でこゝと反対だと言ふ事世界的のものなら飛行機で何枚こゝの画商が買いに行かぬのだらう日本のお札ハ日本丈けのお札にすぎないのぢやつまらないと言ふ事だ。」 [FT00534,091]
- 4月13日 「4Fと3F二枚風景 rue de la Sainte 3FとPassage Prevost 4F後先きにかいた」 [FT00534,103]
- 4月16日 「オランダロッテルダム美術かんより来年五月個展開催招待状来たり[……]先方持ち大々にやつてくれるらしく愈々画商なく個人で世界の美術かんで展出来る様になつて来た。とてもいゝ事で私としてハ嬉しい事だ」 [FT00534,106]
- 4月19日 「八号FのMontreuilの古い家の画」 [FT00534,109]
- 4月20日 「朝イボンブレモダスのポスター春の娘かく可愛い人かいた。」 [FT00534,110]
- 4月21日 「蚤の市の画二枚墨がき小品に逆光線の分かく」 [FT00534,111]
- 4月23日 「6Fに聖母と小供二人の分かき出す多少聖母展に出したいから始めた。」 [FT00534,113]
- 4月24日 「6Fマドンナ子供二人金地油えかき又外のもかく。一日仕事」 [FT00534,114]
- 4月25日 「15F女両手を上げたる十五号Fかき出して夕方金おく又夜になつて12mの裸体のバツクにも金おいて一日仕事した。」 [FT00534,115]
- 4月26日 「朝から十五号m。女のレースかき始め昼迄いろくやつて見てかく。」 [FT00534,116]
- 4月27日 「マドンナと小児うまく出来5F一日かゝる」 [FT00534,117]
- 4月29日 「3Pに聖母の墨がきしてよさそうになる」 [FT00534,119]
- 5月1日 「15mのマドンナの色又三度目にぬつて強くしてよくなつた。」 [FT00534,121]
- 5月2日 「アビニオンの尼さん又一枚3Fにかく。」 [FT00534,122]
- 5月3日 「一枚5Fにアビニヨンの尼さんもう一枚かいて金箔おいて見た。」 [FT00534,123]
- 5月5日 「私ハ型紙で馬いろいろ犬二様切りぬいたりして仕事。自画像色ぬりして仕上げ、小額一枚作り上げ屏風に黒で押ししたりしているくする」 [FT00534,125]
- 5月6日 「カンバス張つて一枚私の自画像かき出し」「自画像のよこに私の小児の時の写真との額かいて見たりして楽しむ。」 [FT00534,126]
- 5月7日 「自画像かいて色つけず二枚かき額縁又二枚小作る。」「土橋の展に行く日本人大勢」 [FT00534,127]
- 5月8日 「帰つて三枚目自画像のバツクに私の父と君代十七才の写真かき込んで金おき額にもおいたりして午后色つける。」 [FT00534,128]
- 5月11日 「朝から四枚小品 女の子人形 女の子ホーク、祈り小女、画家の娘等色つけ始め三時近く迄かかつて色ニス、額三枚色も濃くしたりする」 [FT00534,131]
- 5月12日 「一枚0Fマドンナかき銀ばくも使つて見たりして」 [FT00534,132]
- 5月13日 「4Fマドンナかいて気分よくなつた。小品四枚手入れて仕上げニスぬつたり」 [FT00534,133]
- 5月14日 「2Fに女と子供(岩や)一枚すみがき」 [FT00534,134]
- 5月16日 「北大路氏来て」 [FT00534,136]
- 5月17日 「北大路明後日南佛に立つ由いろく昨日は丁寧に御招き頂いて感謝この上とも御支援下さいととても丁寧な別れあいさつであんな難しい人にハ珍らしいと思つた」 [FT00534,137]
- 5月21日 「日本人巴里美術家協会再復活の相談28日したいとの事なれどDômeの審査会で出席できぬ事で本当の事だし断るが俺れとしてハつまらぬ事だと思ふ 本当の心が打ちとける画家許りは居ない。」 [FT00534,141]
- 5月25日 「アメリカ人Stein氏来て友人(この人ハ私の事をフヂヤマと言ふ)アンデパンダンに出した十五号のcourの画12mの娘パンとナベのたて画 画室の娘、人形娘2F等等欲しがつて」 [FT00534,145]
- 6月2日 「Transportとりに来てアメリカ人Robert Graham 画商new york 額 8F atelier 2500 三万 8F paysage Vielle maison porte 2500 三万 6F Boutique de la Peinture 2000 二万五千 4F madorne (Bleu) 1500 二万 2F fenetre chienne 1200 一八〇〇 0F enfant 髪いじる 1000 一五〇〇 デツサン二枚8000 5000 とした」 [FT00534,153]
- 6月6日 「15Fにかく蚤の市の男と小女下画きかいて夜Canvasにかき出した。」 [FT00534,157]
- 6月8日 「朝日グラフに岡本の子クロードと私の写真私が教えてる様に出てる日本はインチキだ。」 [FT00534,159]
- 6月9日 「15F蚤の市のいろくかきこむで一日がゝりて色ぬつて午后にハ描き上げて近来かいた事のない図出来て大満足昔にも今にもない様な私の見た事のない図が出来た。」 [FT00534,160]
- 6月21日 「十二号mに女のデツサン初め男かき加へて夕方迄に二人かきこみ」 [FT00534,172]
- 6月23日 「Selzの女の子のToile 3Fのバツクに子供二人の額かき」「Selzの画油画で仕上げ自画像番外かき出した」「文部省からNaturalisation未だかと聞いて来た。分つたらすぐ知らせてくれと言ふが何んの通知もない。」 [FT00534,174]

- 7月5日 「0Fにgrenierの中の娘二人かく小品」「君代のお母さん老衰で廿日ねてこの日磯浜で死んだと言ふ」 [FT00535,009]
- 7月9日 「Schneiderさん娘肖像かきにBois近くに行つて義信庭に待たせて娘一人かく」 [FT00535,013]
- 7月13日 「朝から15Fバツクかき今日は猫二匹鳩三羽窓等かいて一日仕事」 [FT00535,017]
- 7月19日 「石坂洋次郎夫妻息子さんアメリカより来巴とて見に来て私が想像以上に若いとて驚いた。」 [FT00535,023]
- 7月28日 「版画四枚上げた。帰つて水彩ジャリツジ氏のためにかき出して女マドンナの像手に持つ分二枚」 [FT00535,032]
- 8月11日 「田村一男光風会の人来て」 [FT00535,046]
- 8月16日 「ラスカーさん八百弗小切手ニューヨーク届ける (デッサン一枚女の顔 百 油十五号F猫と花七百 弗)」 [FT00535,051]
- 9月7日 「外務省ベルギー画寄贈の事承知 警視庁美術部へ寄贈 5000frs小切手 Guy Ramond ルクサンプルの画出品の事」 [FT00535,073]
- 9月24日 「徳川圀順kuniyuki 岡さんの紹介水戸の春陽会の人村山密氏来た」 [FT00535,090]
- 10月5日 「結婚式」 [FT00535,101]
- 10月12日 「午後四時 naturalisationのBureauxにて結婚の証書渡しに行つてPostに入れてくれとて入れて出すこれで全部書類完成只待つ丈けとなつた。」 [FT00535,108]
- 10月14日 「村山氏来て日本の十月六日夕刊読売に出た。日本見捨てた藤田画伯フランスに正式帰化と出たのを見せてくれた。」 [FT00535,110]
- 10月15日 「朝から6Fプランコの子供二人一人ねるすこしかいて仕上げた。5F、アメリカ人の注文、小供ストーブの前で芋むく密画線がき初めて午後四時に終つた。」 [FT00535,111]
- 10月19日 「ステーン氏たのミの musée の café の画少々小型かき出して」 [FT00535,115]
- 10月21日 「朝からルクサンプール展に出す画6Fに小供乳母車で池とホカケ舟の画かき上げて (すみえ) 未だ時間余つてアメリカ夫人の肖像すみえかき終つて夜となる。」 [FT00535,117]
- 10月23日 「ルクサンプール展へ出品のBassinの図色つけ始め、又アメリカ女肖像の色つけして」 [FT00535,119]
- 10月25日 「油えかく事にしてかたつばじからどどん油にし出してとうとうcaféの女の大作もぬり出し夜になつて終つた。」 [FT00535,121]
- 10月28日 「岡の手紙朝日この十一月十二月頃秋田の大壁画ノ展やるらしい倉をこわして画出すとの事、今になつてワア〈フダタの熱高まり、おそうござんすと言つてやりたいとあつた。すべてがとりかへしつかぬ手遅れハ日本だ。昼Petrides氏 Marie Andresと会食の時私のNaturalisationの話もたのむで上げるとの事で尚早目になる事と思つてる。何にしるこの処一日も早く本当の報知が来るのが待ち速くなつた。」 [FT00535,124]
- 10月31日 「朝からアメリカ人肖像のバツク描くのには花バラニ輪桃色リラ等買つて帰つて」 [FT00535,127]
- 11月1日 「廿五号大作に伊太利ルネサンスの椅子に人形と二人小女左右にかく事にしてデッサン朝の間KleinとBernardの油えかいて」 [FT00535,128]
- 11月2日 「岡田Kenチヤン大分成功したらしくいい手紙努力と健康の外悟りと言ふ事何日も新しく生きる事等とかいて来た。謙三なら大分やり得と思つてた通りだつた。大に廿五号椅子と人形女の子二人のえすみがき」 [FT00535,129]
- 11月5日 「レストラン (高級のクリスマスカード) たのミの男来て見事に断つた。商人の宣伝にハ一切応じられないと言つた」 [FT00535,132]
- 11月7日 「5F小女二人ベッド額 5F 小女一人 2F 小女猫 三枚かく」 [FT00535,134]
- 11月8日 「画室の小供4F、一枚丁寧に書いて外の5Fにも一人子供かき入れたりして一日仕事した。」 [FT00535,135]
- 11月12日 「アメリカ夫人肖像の人とうく来て髪の毛高く多すぎるとて低くしてくれとて承知その他ハ気に入つてるとて良人も好いてるとの事、安心した」 [FT00535,139]
- 11月14日 「一日仕事マドンナ6号にかく」 [FT00535,141]
- 11月15日 「今日naturalisation許可された。確認の日。」 [FT00535,142]
- 11月16日 「朝から昨日の十号F少女牛乳パン」「8F芋むき小女小年のかき出す」「愈々帰化許可□□に来たら日本の戸籍も抜く事芸術院会員も辞退する事等夜話して決意は出来てる。」 [FT00535,143]
- 11月18日 「Gibertson人民省大臣許可の知らせ」 [FT00535,145]
- 11月20日 「小自画像クロツキーかいてTemoin de nos jourへ送る。」「ライカの新しいの古いのと交換してくれると言ひ175000のもの入手」 [FT00535,147]
- 11月21日 「ドイツ出発」「Hotel Waldsiedlung Fritz Kürtein Leverkusen Schlebusch」 [FT00535,148]
- 11月24日 「ドイツより朝帰ル」 [FT00535,151]
- 12月1日 「木村伊兵衛世話人の山田さん女史朝日のたつた一人の記者、小島氏三人で来て朝日の記者ハ6000人も居るとか日本のゴタくの話等笑い話して六枚色フキフィルム木村さんのたのミで朝日にかした。」 [FT00535,158]
- 12月19日 「毎日サンデーに船戸がかいたもの見た悪口ハないが宣伝家の様に戦犯を悲観した等と全くちがつた事もかいてあつた。おくそくが多かつた」 [FT00535,176]

- 12月27日 「朝から蚤の市の図のナポレオン三世と女の像から細かく描き出し」 [FT00535,184]
- 12月29日 「17 rue CriebeのBureaux II からツクハルかツグジか生まれハ千葉か東京か二通りあるが何ちらか、文通でやりとりしてハ遅れる許りだから局迄御出頭乞ふとてすぐ十一時にTaxiで走つて読ミ方の異い丈けで同じ事だと言つたらそうだと思つてたとてツグハルと千葉生れにして置いた。何日位か、るか尋ねたら一ヶ月位これを書類にかき直して大臣のサインとフランス マンデスさんのサインをするからそれ位か、るだらうと言ふ昼帰つてせいくして一月来年ハ出来る事決定してこれで萬事すんで安心した。」 [FT00535,186]

## 1955 (昭和30)年 68歳

- 1月1日 「ナポレオンの画 (20m) と蚤の市12Fの画色つけ二度目の暗くなる迄やつて正月早々仕事して気持よし。」 [FT00538,009]
- 1月2日 「油え3枚4F色二度目のかいて仕上げた。裸婦と動物のバックの布トアール ト ジュイ」 [FT00538,010]
- 1月4日 「午後二枚 6P、5F、8F一枚 すみがき 朝クロツキーして置いたら娘と鳥、鳥かご等かいて一日かかつた。」 [FT00538,011]
- 1月5日 「6Fに一枚子供二人かいて又外の二枚に鳥等かいて三枚ハ夕方までにかき上げ」 [FT00538,013]
- 1月6日 「朝から三枚8F、6F、5F等小供鳥の画色つけ初めて暗くなる迄仕事して」 [FT00538,014]
- 1月7日 「小品三枚色つけて二枚ハ完成大作三枚ニス小品二枚ニスぬつたりして」「七羽小鳥かいて一日かかる。」 [FT00538,015]
- 1月8日 「朝から6P小女小鳥沢山につたと鳥かごかいたりして夕方迄に油にした。」「朝zarige氏来て画たのむで行く一週間待つて貰つた。中々出来ない。」 [FT00538,016]
- 1月10日 「朝写真画うつす朝クロツキー準備」「十六世紀の十字架 (6500) 買い夕方、デルフトのタイル三額十五枚 (6000) で買つて」 [FT00538,018]
- 1月11日 「クロツキーかいて十号一枚三人子供中央人形持つものかいて見た。一日かかる。」「夜平賀氏五十年目の帰朝の展の序文たのまれた分童話風にかいて見た。」 [FT00538,019]
- 1月12日 「十号三人娘人形持つのバックストープといひる(棚の上)からすつほ豆他両方へ古いはかりニツかいたりして夕方迄に仕上げ」 [FT00538,020]
- 1月13日 「巴里日本人美術家協会の三月十六日から四月二日までCerde Volney 7, rue Volney 2me で展するから十七日(月)四時に集合との通知あり」「10F小供三人の画油かく」 [FT00538,021]
- 1月15日 「仕事せずクロツキー一枚かいて見て」「二時半朝日の児島氏来り木村伊兵衛さんの持つて行つた色フィルム朝日カメラに使いたいとの事。ゴブランよく写つてる」 [FT00538,023]
- 1月18日 「0F小品一枚小供魚持つ、オランダタイル四枚のバックかく」「□□の本アメリカ全体に売りたいと言ふアメリカで来たのでお花の本をアメリカ語にした帯紙にしたいから字を書いてくれとの事かいて直ぐに返事出した。」 [FT00538,026]
- 1月19日 「0F小供パンとVinsのびん持つてるブクレットの子町歩くかいて色つけて完成する」「Minie マリーローサンサンを紹介の手紙サインしてくれと来た。サインしてやつた。」 [FT00538,027]
- 1月20日 「0F机に向ふ女の子すみえかく」「0Fのバックに二枚小供の画かき込んだりして」 [FT00538,028]
- 1月21日 「0F昨日かいたバック二枚のえの分色つけて終る。」 [FT00538,029]
- 1月22日 「0F又小供と鍋等かく。」 [FT00538,030]
- 1月23日 「今日ハ0F二枚台処と小供つたの葉と明るい小供二枚明るい内にかいて出来る。上衣の小供のもなほした。」 [FT00538,031]
- 1月24日 「クロツキー送ると言ふ画題考え付いてかき出して見る10F位」「屏風たのまれた分一寸法二メートル×40位四折り三曲土橋に手伝せてやる事にする。」 [FT00538,032]
- 1月25日 「十号大特粹に迷子のクロツキーかいてキャンバスに写しだした」 [FT00538,033]
- 1月26日 「十号F大の小供大勢の画すみがき初めて1日夕方迄かかり大体人物と犬丈けはかく」 [FT00538,034]
- 1月27日 「十号大の小供の七人の画色つけて午後に来た。」 [FT00538,035]
- 1月29日 「Orangerieでガツシユのcollection見てVan gogh見て」「ルーヴルに行つて一通り見物とてもくよくなつてゴヤ アングルの部屋等初めて大分模様がへ、タツヒスリーせともの処も見て驚く。今日ハ二、三十の大家に直面して自分の仕事と比べてしよげて仕舞つた。廿年欲しいと思ふ。廿年でも出来ないだらうが一步でも近づきたいと思つて巴里へ来て初めて打たれて悲しくなつた。巨匠ににらまれた。」  
永井に0F小女と其処鍋のえを額に入れてあげた [FT00538,037]
- 2月1日 「八号女の子狼のバックに小動物沢山かいて大木等夕方迄にかき入れて出来」 [FT00538,042]
- 2月2日 「八号女の子と狼の画かき上げ十号の方も手入れて色強くしたりする。四時迄かゝつて出来。」 [FT00538,043]
- 2月3日 「画の写真二三枚写して 紙とりの子大きさに切つて素描の用意したりする。」 [FT00538,044]



- 2月5日 「朝からデッサン四枚かく」「昼食べて又デッサン」「カルトンに素描四枚張つた。」 [FT00538,046]
- 2月6日 「画二枚ニス 一寸なほしてぬつた。」 [FT00538,047]
- 2月7日 「朝カルトン三十六枚切つて貰つたり」 [FT00538,048]
- 2月9日 「デッサン一枚かいて三枚完成させ」 [FT00538,050]
- 2月10日 「デッサン三枚今日ハかいて」 [FT00538,051]
- 2月11日 「デッサン一枚丈けかく」 [FT00538,052]
- 2月12日 「一枚デッサン仕上げ」 [FT00538,053]
- 2月13日 「デッサン十何枚カルトンに張る」 [FT00538,054]
- 2月14日 「カタログ作成中々厄介だ。」「デッサン二枚かく。」「村山来た時にハ素描の額十五枚(三万)出来届いて、廿枚のつもりで十八枚できの内三枚ハウまくなく丁度よく入れず。村山と二人で素描釘私打ち、村山ゴム紙裏うちしてくれて二人で作り上げ」 [FT00538,055]
- 2月15日 「十一時トランスポールの男三人来て油え四十二枚デッサン十五枚ロッテルダム展のため渡す。」 [FT00538,056]
- 2月17日 「老人になつて皆宗教的に作品があるのは皆共通だ。マチスでも、ウトリロ、ダリー、ピカソ始め皆そうだ。」 [FT00538,058]
- 2月19日 「二時私一人ダンフェールのカタコンプ見物の日本人土橋二人鬼頭 田村 西山 村山 角南もう一人九人で見物皆驚く。」 [FT00538,060]
- 2月21日 「二階戸棚より粹出す 50 40 20 15 等大きいもの其外細長二枚もあつて稍大作出来る。カンバス張らねばならぬ」 [FT00538,061]
- 2月22日 Sacha Guity 七十才のお祝いのために、「私六才と母の像バツクにあり赤いシヤンダイの自画像」をあげる  
「バスでRue de Lilleの布屋の大間屋で屏風の布318frsで廿五メートル買つて私の事分つて画のカンバス見本くれ」「ボンマルシェで画のカンバス三メートル買つて」 [FT00538,063]
- 2月23日 「デッサンクロツキー沢山かいて見る」「佐々木氏屏風枠 土橋と届けてくれ」「八千代さんにsirèneの素描送つた。」 [FT00538,064]
- 2月24日 「Romanet mardi 1日私の展する由VachonにPrésiderたのむでくれとの事。電報うつた。」「デッサン四枚描くZarigeのため」「土曜日に関口と土橋と二人で昼来て是非日本人展に出品して貰いたいと代表で申し込みに来るがこれハ自由内々で知らせて置くとの事。嫌な事つた。馬鹿々々しくて腹たつ。」 [FT00538,065]
- 2月25日 「昨夜の原田女史の話のGalerie des quatre cheminにゴーガンの本見に行きタイチの素描一枚75.000買つたら本一萬のをくれた。その時Degas nu 850.000 肖像1500.000 モデリアーニ350.000 ボナル350.000等見てとてもよく帰つて話したら君代賛成してくれ、よく私を理解してくれた。」  
Degas 髪を結ぶ女三回目アトリエから出た画を五萬まけてくれると電話が来て、Walter氏の話で購入し、壁にかける。 [FT00538,066]
- 2月26日 前日に買ったDegas Gauguinを眺めて理想が高く持てると喜ぶ。  
「朝クロツキー二枚かく」 [FT00538,067]
- 2月27日 「朝クロツキーかいてる内に元気出て」 [FT00538,068]
- 2月28日 「午後夜迄いろいろクロツキー画いて見る。」 [FT00538,069]
- 2月 「ドカ 八十萬 ゴーガン七萬五千 二枚買つた。」 [FT00538,070]
- 3月1日 ナカッシュさんからアンデパンダン出品依頼の電話がくる。  
「朝カンバス二枚 枠廿五号古買つて来て二枚はつたりし、白ゼラチンぬつた。古くてくさかつた。」 [FT00538,072]
- 3月2日 「カンバス廿五号Fに冗談見たいな二枚母と子とグロテスクの女と男女かいて見たが夕方迄かかかる 平凡大したもの出来ず、出来そうで未だいろいろやつて見る必要あり 面白かつた。」 [FT00538,073]
- 3月3日 「午後枠10P二ツ買つて25F切つて二枚昨日かいた母子と変人な男女のグロテスクの画張つて油かいて仕上げる」  
「Témoin de nos joursのinvitation貰つた。十一日に大統領の来る日の招待状も受けとつた」 [FT00538,074]
- 3月4日 「moniqueより屏風の事来週水曜日やる事に決めた。」「明日Zarige氏水彩取りに来るらしく三枚かいて一日かかつた。」  
「水彩カルトンに張つて一枚はりそこない、風呂の中に入れてはがしてやり直して救けた。」 [FT00538,075]
- 3月5日 「水彩直し、型紙小の切りぬき初めジャリジ氏来て水彩持つて行く三枚渡す。」 [FT00538,076]
- 3月6日 鬼頭にゴヤの銅版一枚あげた。 [FT00538,077]
- 3月7日 「ローマネ トアールを布幅1メートル10二ツに切つて屏風十二枚 廿四面分一人で切つて二枚張り上げた処へ土橋来て十枚皆一面丈け都合十二面丈け張つて」 [FT00538,078]
- 3月8日 「一日アンデパンダンに出す25Fの下図Viceかき出して」 [FT00538,079]
- 3月9日 「屏風 幅 中四枚四十一センチ 両側五十一センチ 高さ二メートル四十」 [FT00538,080]
- 3月10日 「25F午前と午後カンバスにせんがき初め」「土橋来て屏風白布裏面はり」 [FT00538,081]

- 3月11日 「朝から25F Vice線がき初め」  
「テモアドノージュール ベルニサージ ガリエラに行く [……] 正面中央マチス、次の室両入口の前に私とレヂエ シュバリエに赤ビロードでかけてありバンドンゲン横手次の小室バロツキエとシヤガル等いろくの人<sup>く</sup>が来た。」  
[FT00538,082]
- 3月12日 「25Fかき」  
藤田夫妻、村山の三人でオランダへ行くためのビザを警視庁に頼みに行く。  
[FT00538,083]
- 3月13日 「朝から25F化物せんかき バツク石垣等かいて画つけ夕方迄した。」「今日は満足の日、画が出来た又次の画かき度  
く<sup>く</sup>なつた。」  
[FT00538,084]
- 3月14日 オランダ行きビザを取りに行く。  
「Elle今週号に私の人形の画出てシヤガルと二人の事丈けBonheur展で出てるのを切りぬく。」  
[FT00538,085]
- 3月15日 「岡田十四日より四月二日迄Betty Parsons Gallery 20枚個展の招待状送つて来た。昨夜土橋がくれた日本人展は十八日  
から 私のがやはり十八日からとは可笑しい事だ。」「午前中。25Fとうく<sup>く</sup>昼迄にかき上げ色とてもよく充分かく」  
「アサヒカメラ四月号私の作品とても評判よくて或るカメラマン曰く色フィルムを画家さんに使はれちや我々はかな  
はないと言つたと言ふ。」  
Seineの画商と、ファンの肥ったお婆さんに画が欲しいと言われる。  
[FT00538,086]
- 3月17日 藤田夫妻、村山オランダ入り。  
「午後五時廿二分ロッテルダム着Dr Drost 21 Kralingsche Plaslaan 改築新築の市内通つて恐ろしい風湖畔の家に入つた」  
[FT00538,088]
- 3月18日 「十時展覽会場Kunst Kringよくならべてあつて上々 入口上の小室はdessin吉野桜大室ハ鳥の頭見たいなエキゾチック  
の花飾りありとてもよく並んで、上々」「三人歩いて同じ通りのボエマンMuséeに入つてレンブランド等沢山感心して  
大喜び。天井美しく模様いろく<sup>く</sup>近代建築美しく長廊下等庭も広く池ベルサイユのような遠い庭も右手 古いゴツホ  
マチス ピカソー等もあつた。」「Dutilb夫人の処へ行く。昔のPrsident三人 赤い女 キリスト棺入れる前十字架よ  
り降ろす (風景城内油) 娘の子肖像1921年、コマキノ詩ノ本、ゲイシヤノ歌の本等」  
ヴェルニサージュに二三百人きていた  
[FT00538,089]
- 3月19日 「大muséeに行く。レンブランド沢山短かいかいぼうの図 老人の考えこんでる図 本よむ老婆等傑作ゴヤグレコ等迄  
見てゴブラン十五世紀木彫エツチング等」  
[FT00538,090]
- 3月20日 マルケン島見物。  
[FT00538,091]
- 3月21日 歴史博物館とレンブラントの家、近代美術館に行く。レンブラントの家にマドリッドで買った版画と同じものがあつ  
て喜んだ。  
[FT00538,092]
- 3月22日 「巴里へ帰る」  
[FT00538,093]
- 3月23日 「Zarige電話先週のアクチュアリテにTemoin de nos joursの日の私とCotyさん大写し私の画も写つて、中々ホトヂエニ  
ツクだよかつたと言ふ。」  
[FT00538,094]
- 3月24日 「25F魔物写真二三枚写してニスぬつて朝も仕事する。白ゼラチンといて十二枚屏風ぬり初めて」「屏風えのぐーばい  
でぬり上げた」  
[FT00538,095]
- 3月25日 「村山屏風三四枚ぬつてくれ布ピンとする。」  
[FT00538,096]
- 3月26日 屏風を組み立て始める  
[FT00538,097]
- 3月28日 「朝から私屏風の穴石膏でつめ出して一と二のやりそこないなほす 土バシ来て三枚目金型置き午後になつて墨型三  
枚共置いて兎に角五時に一応終つてホツとした。」  
ブルデルの茶会でセザンヌの孫などと会う。  
[FT00538,099]
- 3月29日 「朝土橋村山二人来て屏風最後の仕上げうすぬりこくぬつた処三枚目のを湯ばけする事を発見大成功した。」「三時  
Georges Guillot 女 1人と来てクロードルかコクトーか等とさしえの事品のいい人だつた。」「Galerie de Seine 猫出品し  
てくれと言ふ」  
[FT00538,100]
- 3月30日 「朝から素描一枚水彩一枚Zarigeのためにかく。のりづけ迄した。」  
[FT00538,101]
- 3月31日 「日本でプリジストーンで五十枚展 大人50円小人30円で私の個展してる。カタログも送つて来ず勿論許可も何にも  
知らせても貰いにも来ず。葉書にして売つてるから日本にハ驚く。」「朝金地聖母仕上げ」「Conservateur de musée Arles  
Jacque Latour 画家見たいな風姿の人日本支那展の序文かいてくれとて来た。」「夕方クロツキー三枚仕上げ女の子好き  
なもの出来た。」  
[FT00538,102]
- 4月1日 「6Fに女の子を一枚かくカンバスにせんがき丈け朝した 土橋来て女帯しめてる処と花見の図下図かいて見せて今日  
ハ画にかき」  
[FT00538,105]
- 4月2日 「土橋来てさしえ明治神宮とCinemaを描き出す」「午後四時ベルレムで高田梨白遺作展に土橋と二人で行く。クロ  
デルの序文」  
[FT00538,106]

- 4月3日 「四人でTVコロエの話は面白く素人あつかいで勲章が届いた時おやぢが貰ったのだと思つてまちがつてるだらうと問合わせに行つた等。Bonheur 丈けに熱中してかいてた幸な画家だと言ふ。」 [FT00538,107]
- 4月4日 「小カンバス白ぬり始める」「午後アンデパンダンに画届ける事Perrièreにたのむ」 [FT00538,108]
- 4月5日 「朝から廿五号や十号のcanvas白ぬつた。」  
Petridesと来年展覧会の約束をして、一枚絵を頼まれる。  
「五号オランダ菓子板男の子赤」 [FT00538,109]
- 4月7日 「カンバスいろく棹買つて(えのぐ筆等珍しく一萬法)張つたりしてえはかゝず。」 [FT00538,111]
- 4月8日 「クロツキーから6号に女と女の子猫親子カンバスにかき出して」  
帰化の書類が届く。「Préfecture de Police Directeur de laPolice Generale Naturalisation 四月七日のConvocation C.C.N.575.515  
で日本千葉県月日生まれの私 1955年二月廿八日の布告で帰化した。三月十三日。茨城生れ月日堀内生れの彼れのエ  
プーズも同様。 8h1/2-12迄 Bureau33.11Escalier D 3 etageに出来る丈け早く布告の複写を取りに来いとこの事。」  
Gotardさんに電話をしたらLégion d'honneurを直ぐにあげると言われる。 [FT00538,112]
- 4月9日 帰化の手続きに警視庁へ行く。前日が復活祭だったため、キリストの死・復活と自分が帰化することで日本人からフ  
ランス人になるタイミングとが重なったことに共通項を見出している。  
「カンバス白ぬり」 [FT00538,113]
- 4月10日 「カンバス白油ぬり七八枚して仕事する。」 [FT00538,114]
- 4月11日 「日本芸術院へ辞任 新宿区に原籍削除願、日本大使館へ名前等削除三通書類書いて十二日付で夕方出して二重国籍  
にしない事にした。」 [FT00538,115]
- 4月12日 「中央公論去年二月号に出た富永惣一の藤田嗣治貰つて帰る。」 [FT00538,116]
- 4月14日 帰化し、身分証明書をもろうためにRacisとSelzに保証人になってもらう。 [FT00538,118]
- 4月15日 「二枚油えすみがき初めバツクつけた。木の棹一ツは鉄の鶏、面白し。」「カナダ人十一時来てdessin見て欲しそう  
Bernardの処へやつた。」「grand palaisに行きアンデパンダンに行く十室の中央にかゝつて居てやはり外の画と異つて見  
えた。」「この頃TVよく写してくれる。今夜のニュースアンデパンダンのTVにグランパレー入口の室画シニヤツク等  
私中央に二人外の人写つて大きく私の画又写つて外の女三人男一人位写つて早いのに驚いた。」 [FT00538,119]
- 4月17日 「猫一枚デッサン小供一枚かき女かいて□改かけ強くして何にもならぬ。」 [FT00538,121]
- 4月18日 「朝からデッサンかき出して今日ハ七枚かいて夕方迄一日仕事」 [FT00538,122]
- 4月19日 カナダ人が二枚デッサン購入  
「大使かんへ国籍喪失届三通ヅゝ、帰化事実証明願二通かいて」  
パパボフの展覧会を見に行き、Petridesに会い来年5月に大展覧会しようと話した。  
「ロメオ ジュリエット画廊で忘れてた8Fの画風景とつてかへり」  
Artの記者ミシェル・ペーランに帰化のことを聞かれる。 [FT00538,123]
- 4月20日 「Mervilleさん Arnaud Massonへ素描一枚づつ作り十一時半Postに行つて出し」 [FT00538,124]
- 4月21日 「朝から仕事2号二枚小児と猫カンバスにすみがき初め一日かゝる。」 [FT00538,125]
- 4月22日 「2F猫の小供一枚油え下図すみがきクロツキ他に二枚かき夕方となる。」 [FT00538,125]
- 4月23日 「1F、0F、小供と猫等かき又三枚クロツキーかいたりして」 [FT00538,127]
- 4月24日 「0F二枚かく。すみがき」 [FT00538,128]
- 4月25日 「0Fすみがき小児と猫小供二人よこToileかいて」「遣氏 朝鮮の画家南と言ふ人(元東光会の人)二人で来て私の事  
日本で帰化の事大センセイションを起してたとの事。日本でハフヂタ日本人に会はずと未だ言つてるとの事だつた。」 [FT00538,129]
- 4月26日 「Carte d'Identité 4426505 嗣治 4426504 君代 21-4-55 発行。」  
オランダから絵が届く。 [FT00538,130]
- 4月27日 「Sely電話でArtに私の帰化の事等四段ぬきで出たと言ふ。」  
minieが屏風を見にきて喜んでた。  
「アール東洋美術展の序文すこしかき」  
Informationの女記者がインタビューしに来た。 [FT00538,131]
- 4月28日 「クロツキー三四枚かく面白し」「minieとmonique勇ましく屏風三枚運んで行く。」  
Romanetから屏風について連絡があり、期待以上だと言われて喜んでる。 [FT00538,132]
- 4月29日 「朝一杯かかつてArlesの美術館長の東洋展への序文二枚書いて出す初めて佛人に見て貰はず私丈けで書いた小年の文  
章見たいで恥しい事だ。なほしてくれとたのむ。」「Information モンパルナスは私の国だと帰化した藤田言ふと写真入  
りの大記事堂々と出たりとて土橋届けてくれ随分フランスはかいてくれると三人で驚く。」 [FT00538,133]
- 4月30日 「猫デッサン一枚24 rue de SeineのGalerieにかしてやる事に帰り 持ち歩きの本やの人私の子供デッサン49年ロツテル

- ダムからドイツに流れた分色紙持つて来て写真たゞす、本物紙おれてた。」 [FT00538,134]
- 5月1日 「クロッキー沢山かいて仕事はした。」 [FT00538,137]
- 5月2日 「8Fに人魚の女の不可思議の顔かく。面白くなり相夕方迄せんがきすませた。」 [FT00538,138]
- 5月3日 オランダから返却された絵が届いた「私の所蔵品四十余枚油デッサン十五枚増加して初めて財産出来た。大分画たまつて急にかく事もなく楽になつた いゝ画好きな時にかけばいゝと言ふ事にする。」「民藝展シヤイヨーでVernissage見て菓子板もあつて私も得意になつて」「土橋二人来てCameoにエジプト王様の谷見に行く大彫刻の岳や砂漠の嵐いゝ色で面白かつた」 [FT00538,139]
- 5月5日 「六月十日一廿六日のパレーロアイヤル祭展に出品コクトーのきも入り、が来た。」「午後二時半ルーブルでレンブラント化学試験展に行つて初めのかき出しの力あるブラシユの大きいのに驚いたし、いろく工風がえにもびつくりした。X光線はすばらしいものだ。」 [FT00538,141]
- 5月6日 「Galerie Seine外もう一枚画ないかと聞いてくる。」「昼間から夕方迄都合この間から墨がきのキャンバス七枚のバックを皆屋根かいて仕上げてやれくと安心した。」「今日Salon de mai Vernissageあれど行かず。人の見るより仕事した方がいいと今日は思つた」 [FT00538,142]
- 5月7日 「朝から油え今日八枚一度にかゝつた小品許り半分かく」「七時半迄油えかける様になつた。」 [FT00538,143]
- 5月8日 「大急ぎで七八枚画油えかいた分あちこちかいてヴァンセンヌの動物園にいった。」 [FT00538,144]
- 5月9日 「Montrealの画商Dominion GalerieのmaxStern氏去年六枚油買った人又小さい子供のえ欲しいと言ふ。」「パスポートを警察に受け取りに行く。「Passeport 40059 嗣治 40058 君代 fait à Paris 2, 5, 1955 il expire 1er, 5, 1958」」「油え午前中と午後かいて二枚色なほしして見た。」 [FT00538,145]
- 5月10日 「午前中油えかく」「TaxiでPassyに行き十四番地に上つて十六番地へ行く 16 rue Raymond 16e Jas. 68-46. Georges A Schickと言ふコレクシナー画見せると言つたが実ハ金欲しく売り度いらしくコンスタンチンギー沢山持つた。セザンヌ静物ビレ等五百萬ルノアール小カイギユ風景百廿万。Degas裸体パステル木炭八十萬、ドミエベン三人顔三十萬マネ墨芝居席八十萬等いいものはあつたが食い下つて売りつけに熱心断つてメトロで帰り」 [FT00538,146]
- 5月11日 「朝から油え色又もり上げて皆かく」 [FT00538,147]
- 5月12日 「昼後一枚Kleinの本の扉えMme Monique Parturier Albotと言ふ人にJahonに女の顔かいてやる」「画にニスぬつたりして夕方Perièreにアンデパンダンの廿五号画運んでくれたのをとりに行つた。」 [FT00538,148]
- 5月13日 「Mme Dr Reumaux 7 rue Vaneaux Aut 67-42の夫人友人の処で私の女の顔見てびつくりした他に例のない画で是非欲しいし病気で出られなかつたから今日電話すると言つた」「午前中額に油え入れたり」「午後四時Petridesの処へ行く 6F赤衣の男の子鳥の塔のバック 6F二人女、猫ニツコバルト枠 2F女の子猫バック屋根 2F女の子猫バック屋根 1F女の子猫バック屋根 0F女の子猫バック屋根 0F二人小供バック屋根 1906年のピカソ大作肖像千萬と言ふのを見た。女は四百萬等ウトリロ沢山見せてくれた。」 [FT00538,149]
- 5月14日 「Zarige来てデッサン四枚小油二枚持つて行く」「午後Grosjeanにスペイン国境の小寺三号にかいて見る」 [FT00538,150]
- 5月15日 「Grosjeanへやる画かいて午前中に仕上げた。」 [FT00538,151]
- 5月16日 「午前中四枚クロッキーかく」「Galerie Seine来て金曜日金持つてくる展してくれとて断つた。Madridでかいた小女のお父さんスペイン大使かんの人アルヂヤンチンに転任6才の男の子肖像かいてくれとて明日くるとのこと」「午後3Fに一枚画女かく墨がき」「又外一枚3Pに女を墨がきして一日暮し」 [FT00538,152]
- 5月17日 「十一時 de Sigelas Ely 75-64 夫妻女の子 (Madridでかいた犬は死んだ) 男の子丈けとの事今度大使かん一等書記官イランに行くとの事 (南米から引き上げ)」 [FT00538,153]
- 5月19日 「佛一等書記官 (イラン)の子供肖像かいて見る。」「三時minie来て来月八日本当の開業式の展に出してくれとの事屏風は新らしく自分で作り私の分ハ引きとる事にした。」 [FT00538,155]
- 5月20日 「堂本と智利人Gustavo Labarea Garat日本に五年居て朝鮮満支那北京南京も知つてる人連れて来た。」「Mr Mathot 六月七日展に出してくれとピサロ、ピカソ、シスレー、パスキン、ルノアール等のデッサン展」「午後二枚聖母の水彩かく事にして仕事始め大体かけ迄つた。」 [FT00538,156]
- 5月21日 「午後水彩二枚色つけして」 [FT00538,157]
- 5月22日 「三時水彩二枚に金置く」 [FT00538,158]
- 5月23日 「デッサン額Mme Cadionの額たのミ」「3F女のバックスペインの等かいて」「3Fの女の絵にスペイン国境の等かいた分油えに午後やつて仕上げた。」 [FT00538,159]
- 5月24日 「6F人魚の画に魚等かき込ミ大分長くなつた分かく事にする。」 [FT00538,160]
- 5月25日 「昼三時二人Palais Royaleに古物やの娘 (ナポレオン三世のえ) の分十二号かしに持つて行きルーブルのアールデコラチーフ方へ生まれて始めて二人で入つていろく見た。ドイツ、クラナツチ等ベルシヤせともの、日本も大によし、タツピー展見たり」「6F人魚の画に午前小兒人魚かき午後魚かいて」 [FT00538,161]



- 5月26日 Dôme 審査 [FT00538,162]
- 5月27日 「朝から魚 8Fにかき出して」「人魚の画一生懸命に午後かく。最近一番気に入った作品となつた。」 [FT00538,163]
- 5月31日 「向かいの家の窓一ツ屋根煙突水彩にかき出している〈工風とやつて見る昨日より成功する。〉」 [FT00538,167]
- 6月2日 「PetridesへBonne nuit 5F 80 a la fenetre 5F 80 Fille aux oiseaux 8F 140」「一枚のla balcon 6 Pはこの間の寺の鳥バツクのと  
りかへてくれとてかへし結局三枚渡して」 [FT00538,171]
- 6月3日 「Etoilの方の夫人チュリツプの私の画真偽見せに来た画商のEpertハ版画と言ふがこれハ私の本物だ」「モデル（フェン  
ランドの女）のせてコンニヤクジエに行く」 [FT00538,172]
- 6月4日 「Mr Bernard映画班くる」「Galerie Seineに二枚デッサン小児と猫女プロフェルかす」 [FT00538,173]
- 6月6日 「朝額一枚届き水彩一枚窓入れデッサン（女一人）（女と小児）二枚 油え十号と人形と小供 8F聖母岩や準備して」  
[FT00538,175]
- 6月7日 「日本の雑誌見たらアブストレ全盛で猫も杓子も斬新に夢中。しかしこんな画が何日迄飾られるものかと思ふ。創造  
発明家の元祖以外はみんな犠牲だ川端祐稀の作品展の図ロク見ても只力んでるだけでサンシビリチーなく筆技の人で  
智恵が足らぬ。惜しい事だ。画と言ふものを感異いしてる点ハ中々分らない。」 [FT00538,176]
- 6月8日 「Louis Philippe時代Cheval Blancのエキリーをかいてたら、昔の人フヂタと言つて出て来又横丁で鉄道せんろの処でか  
いてたら、古道具やお神金時計してるが手が真赤になつてるのがフヂタしやないかと出て来た。」 [FT00538,177]
- 6月9日 「昨日かいた写生一日かかつて二枚水彩にかき上げた。」 [FT00538,178]
- 6月10日 「一枚写生」「今朝の写生日本紙にかく。」 [FT00538,179]
- 6月11日 「午前中、支那豆腐やの処の画水彩にかいて仕上げた。」「Kermesseに行く」 [FT00538,180]
- 6月14日 「額注文五六枚又して（今日五枚出来）来た。昔の画も二枚入れる。（紙張りした）」「Guy Selz France Soirに写真今朝  
出てたとの事知らせてくれた。」 [FT00538,183]
- 6月16日 ピカソ展を見に装飾美術館へ行く。「1901-55年五十年展1913年頃私が訪問した時代の画も多少あつた すばらしく全  
くPicasso独特なもので他の追従を許さぬもの美しさに於てハこれ亦無比なく、おとなしい愛す可きものもあつて、す  
ぐオレンジリー迄Taxiで行つてDavid—ロートレック、アメリカ所有の百点近いもの二人で見て大家の各自の美しさ  
に□□させられる。家にあるアングルも中々いいと思つて嬉しくなる。」 [FT00538,185]
- 6月17日 芸術院辞任が承認された。 [FT00538,186]
- 6月18日 「30 rue de Seineの画商Stébel来て画見え 4 F Petit modeleかして上げて」 [FT00538,187]
- 6月21日 「ベトリデースに赤衣のモデル画室 3Fとマドンナ金地 3F渡し一枚とりかへの分帰してくれて」「Petrides電話 5 rue  
Bonaparte の François Tirche明日三時犬の写生10F位との事。」 [FT00538,190]
- 6月22日 「チルン氏の処へ写生黒の大きい犬芝生にバラやいろく花咲いてる処で写生」「Galerie Seineに行つて dessin 出した二枚  
見た。モデリアーニあり。」  
Palais Royalの展覧会に出品した12F古物商の娘（ナポレオン三世版画等あり）売れた。  
「Arlesのmuséeの序文日本美術の誕生の本来た」「犬のデッサン外の紙にかき上げ夕方三枚10号P.m等の枠買つて直ぐ  
に油にする計画始めた」 [FT00538,191]
- 6月23日 「10mにキャンバス張りかへたりして」「スイスの紙五枚廿枚廿五枚届く。」 [FT00538,192]
- 6月24日 「10m犬かき出し墨あぢさへと草の葉バツクにかいて夕方となる」「Galerie Seine で猫と子供のデッサン買った人 Louis  
Rousselet 2 rue de la Paix Opéra 75×79 自宅 18 rue des Pavillons 20me menil 8×88 娘 Mme Denise Raobe Rousselet 69 rue  
Pelleport 20e men. 89×88 ゴブランバツク女 4F十六萬で買ふとの事」 [FT00538,193]
- 6月25日 Musée Grévinに行く。  
「grand Bd展にキスリングやローランサンも出て居たoguisoも出て居たが私ハ出さなくてよかつた。」 [FT00538,194]
- 6月26日 「花や二軒で犬のバツクの百花バラ其他買い」「犬のバツクに花終日かいて一面にかきつぶす。」 [FT00538,195]
- 6月27日 「犬のバツク花色油で四時迄いろくかく。中々難しい。黒犬と緑の調和は明るくても暗くてもよくなく丁度と言ふ処  
らしい。一度に出来ぬから止めた」  
Palais Royal最終展に行く。「私の売れた12F古道具やの娘（75万）支那等の骨董やに出た。パロツキエ、ジューフキ  
ー、ピカソ、ウトリロ、ロット、コクトー（コレット肖像）ブラマンク等も出て居て」 [FT00538,196]
- 6月28日 「0Fに女の子昨日かいたクロツキーの丸顔娘油えでかいた。又随分古い小品二枚厚紙に張つたベットの娘と二人パン  
牛乳の色ツケしてかき上げて置く」 [FT00538,197]
- 6月29日 「小品の額二枚木から切つて夕方迄いろく色つけて彫刻したりして作り上々」 [FT00538,198]
- 6月30日 「犬の画小品三枚手入れたりして二階のスペイン写真はずして画かけたりした。」 [FT00538,199]
- 7月1日 「水彩ジャリツジ氏に女の子二枚一枚女三枚せんがき日本紙（スイス）にかく。」「Mr Rousseletより電話先日選んだ油  
え娘さんDenise Raobe Rousseletさん何れ来週とりに来るとの事」 [FT00537,007]
- 7月2日 「水彩三枚色つけ日本スイス紙工合よく厚紙に張つてから又かき起して見る」「油え大小三枚にニスぬつたり」「Zarige

- 来て大喜び三枚水彩持つて行き又注文する」 [FT00537,008]
- 7月3日 「小クロツキーかいて見たりして」 [FT00537,009]
- 7月4日 「小品カンバスの切れに女の子二人すてがき君代これがいいと言ひ沢山こんのかいてくれと言ふ私のものだ。」「三時犬10mと赤帽の女の子狼其他動物（8F）ニツ持つてPetridesに行く10m廿萬8F十四萬渡してくれ其の内小切手十二萬二千銀行でとつた。」 [FT00537,010]
- 7月6日 「厚ボール紙買つて帰りのこぎりで切つて小カンバス四枚張つた。小さいのうんこしてる小女（Vaseの上に）小さいの一枚かく」 [FT00537,012]
- 7月7日 「油え四号ゴブラン、長髪の小女」 [FT00537,013]
- 7月8日 「小デッサンプロフィールを一枚やつた。」 [FT00537,014]
- 7月9日 「三時に画帖に猫かいて置いた」 [FT00537,015]
- 7月10日 「四ツ額のつり金ブリツキで作つた。下手に出来て味あり。これを藝術的と言ふ。」「午前クロツキーかき出した」「井上覚造 [……] ととう油え欲しいと前からの話中々承知せず、2F小女猫4F小供画室のモデルの画二枚渡す事になり」 [FT00537,016]
- 7月11日 「昨日かいて置いた下画三枚水彩にしてかいて一日暮し夜迄かかつて君代も随分手入れるのねーと言ふ。何度も何度もかく。」 [FT00537,017]
- 7月12日 「カンバスの切れに盲人のギタヒキと其の友人を油えですミがきからか、つて夕方迄に思い切つてかく好きな強いものが出来た」「今日の盲人の画かいて又新しいテクニクを發明した。これハ中々いゝと思ふ事これ亦人間七十才にしてけいけんハ偶然から生れる。」 [FT00537,018]
- 7月13日 「朝から額椽小四ツ作り出した。」「額彫刻したりする」「二号小女と猫四号、小供画室モデル全じ画画が□ノ上」 [FT00537,019]
- 7月14日 「朝から小カンバス蚤の市老人と小女小額の分かき出し昼ビフテキ等たべ午後七仕事完成」 [FT00537,020]
- 7月15日 「勅使河原さん親子 木村伊兵衛 横山泰之 女の人高田？ 清水たかし等来て [……] 娘さんととも美しい人でいろいろお土産貰つてお礼にプロフキルのデッサン一ツ上げた。」 [FT00537,021]
- 7月16日 「午後小々カンバスにベンチに居ねむりする娘と少年をかく舗道面白く六時頃迄かく。」 [FT00537,022]
- 7月17日 「小カンバスに女の子男の子小便かいて楽しむ。」 [FT00537,023]
- 7月18日 「朝からスペインの小額一番いゝのに私の自画像とゴブラン木像とをかいて油で仕上げ、小額も仕上げたりして一日暮す」 [FT00537,024]
- 7月19日 「小カンバスに小女と猫二匹かくこれハ一番小さいもの。」「Zarige氏電してから来て水彩三枚買つてくれた。」 [FT00537,025]
- 7月20日 「小品二枚モンマトルエスカリエとゴブランバツク油でかく」 [FT00537,026]
- 7月21日 「かきかけた小品昼ね後又かき加えて二人クロシヤードベンチに休み小女遠く石のエスカリエに居る処君代も大にいゝレンブランド見たいだと言つたりして一番いゝと言ふ。」 [FT00537,027]
- 7月22日 「午前中五ツ木彫うろこ型完成うまく古味付けて上々出来、昨日の小品よく調和するエスカリエ下のベンチの二人のクロツシヤールと子供。かいた。今日はクロツシヤール二人橋の下 sous le pont de Porin かいて見る夕方迄かいて上出来。」 [FT00537,028]
- 7月23日 「Chaseと会い [……] 田舎の女の子兎帽子かぶつたdessin一枚上げた」 [FT00537,029]
- 7月24日 「スイス伊太利旅行出立」「Troyes古い町」「Buleに八時に着く」 [FT00537,030]
- 7月25日 「Lucerneの町に着いて」「Brunnenに着いた」 [FT00537,031]
- 7月26日 「伊太利に入る」 [FT00537,032]
- 7月27日 「mirano」 [FT00537,033]
- 7月28日 「Pallanza」「伊太利出て又スイスに入る」「Sion」 [FT00537,034]
- 7月30日 「夕七時巴里へ帰る」「Pontarlier、Dijon古い町」 [FT00537,036]
- 8月2日 「0号3枚女の顔かき出して仕事順重に初めた。」 [FT00537,041]
- 8月3日 「0F三枚女プロフキル小女、赤ん坊のバツクペーザージかき入れて」「夕方迄油かく三枚出来た」 [FT00537,042]
- 8月4日 「ちいさい画面白い女の子ベタくでかいて見た。」 [FT00537,043]
- 8月5日 「ケズシル紙に水彩で小供かいていろくテクニクさがして見たりする。」「朝の続きガツシュの画かいて」「もう一枚かいたガツシュの二枚目のハ上出来面白いエツフエ出来最初の分は破つて仕舞つた。」 [FT00537,044]
- 8月6日 「けづる紙三枚に同じ小供かいて見ていろくテクニク研究する。」 [FT00537,045]
- 8月7日 「もう一枚子供紙（ケズル）に水彩でかいて遊んだり。ステンドグラス（にす）でかいて見たりする。」 [FT00537,046]
- 8月8日 「午前中ステンドグラスかいて色つけ又加工して遊ぶ。」「クロツキー三枚かいた。面白いもの出来た。楽に出来た」 [FT00537,047]

- 8月14日 「旅行ベルギーオランダデンマルクドイツ出立」「オランダへ入国」 [FT00537,053]
- 8月15日 「La Haye着」「Museum Mauritshuis」 [FT00537,054]
- 8月16日 「ドイツに入る」「Breme」「Humbourg」 [FT00537,055]
- 8月17日 「コペンハーゲンに12時半着く」 [FT00537,056]
- 8月19日 「帝立muséeに行く [……] グレコー一枚メルミング肖像私直ぐ判つたクラナツチ、裸婦よし、ブルゲル二枚大作大にすきだレンブランドも中々よく近代画下にはマチスジユフキイ、沢山モデリアーニブラックデラン一枚づゝあり。」 [FT00537,058]
- 8月20日 「国境近の町、Kollund. Kur Hotellefに着く」 [FT00537,059]
- 8月21日 「デンマルクよりドイツに入る」「Hambourg Hotel Continental」 [FT00537,060]
- 8月22日 「Aix-la Chafelleに五時一寸前について」 [FT00537,061]
- 8月23日 「巴里へ帰る日」 [FT00537,062]
- 8月25日 「6Pに女の子マント帽子のすみがき一枚初め」 [FT00537,064]
- 8月26日 「8Mに女の子Vinsのびん持つを一枚夕方迄かき」 [FT00537,065]
- 8月27日 「木子七郎死去電報」「午前中から油え又一枚小児かき一日かいて二枚にバックオランダタイル等かき込む」 [FT00537,066]
- 8月28日 「六号二枚八号一枚いろくデンマルクの色見たいに濃厚に初めて着物に模様かき込んで見た。」「Leger六十四で死んだとて [……] ドーム時代よく会つたものだ。」 [FT00537,067]
- 8月29日 「昨日の六号一枚ドアに模様かいたり」「いろく画の話で京都のせいほう先生が息子さんにフヂタの画の線ハ何うしてあんなに引けるかと感心して誉めたと言ふ事初めて聞いた。流石に栖鳳さん丈けある外の大家なんか一人だつて誉めてくれた人はなかつた。」 [FT00537,068]
- 8月30日 「三枚油え押してかき加へ」 [FT00537,069]
- 9月1日 「0Fにマルケンの小女一枚顔かいて見る。」 [FT00537,073]
- 9月2日 「大分六枚ニスぬつた。廿号カンバス出してマルケンの小供かく事にしてクロツキー四人大をとり出し」 [FT00537,074]
- 9月3日 「今年六月廿一日出の雑誌コペインハーゲンの表紙に近代美術のカツフェの女が全表紙に出てるのをくれた。この間行つた許りの処で私の表紙があつたのが面白い。」 [FT00537,075]
- 9月4日 「廿号左手に女の子二人かき加え夕方迄バック遠景の家等かき出して一日仕事する。」 [FT00537,076]
- 9月5日 「12Fのバック風景遠景の家かく細かい線で厄介。」「Mr et Mrs Harry Halbreu 944 Park av. New York cityの人来て、花と鳥と窓の画かいてくれとて25Fでハ私にハ高すぎるとて10F、590位で二ヶ月内にかいてくれとの事。」 [FT00537,077]
- 9月6日 「朝から油え廿号かき夕方迄休ミなく大体一通り色つけ派手なもの出来た。」 [FT00537,078]
- 9月8日 「Lasker三枚Rosenberg二枚油ルクサンブル油マドンナデツサン小供女、デツサンプロフキルWingatsに渡す。」 [FT00537,080]
- 9月11日 「0F、小オランダの娘と廿号のマルケン娘を油で最後にかき込んで昼前に仕上げた。」 [FT00537,083]
- 9月12日 「石版一枚八号大小供パンと牛乳かいて」 [FT00537,084]
- 9月13日 「石版やへ行つて今日は小年小女芋むき台処の分」 [FT00537,085]
- 9月14日 「朝昨日持つて来た石版小供パンと牛乳色つけ二つ水彩とパステルして」「今日ハ画架を後にする小女を私のものとして」 [FT00537,086]
- 9月15日 「女プロフキル一枚かく昨日の芋むき色つけ上々」 [FT00537,087]
- 9月16日 「石版パンと牛乳の二人の子をかき」 [FT00537,088]
- 9月17日 「小女小年パン牛乳の小さい分私の自画像同じ石にかいて」 [FT00537,089]
- 9月18日 「コクトーの下図の日本のさしえいろくかいて見て三四枚は何うにか出来た。」 [FT00537,090]
- 9月19日 「石版やへ行き私ハ猫白黒をかく」 [FT00537,091]
- 9月20日 「コクトーの下図すこしかく」 [FT00537,092]
- 9月21日 「Gillot氏来てコクトーの本さしえ大満足で氏の寄望通り、ビューラン彫りハ私にハ不得手で唯れか専門家に彫らせる事にして八十万の内三十万位かけてもいゝと言つて私ハ楽になつて大によかつた。」 [FT00537,093]
- 9月22日 「石版やに二時に行つて大裸体夢をかき出して動物等もかき一通り仕上げ明日にする。」 [FT00537,094]
- 9月23日 「石版やへ行く」「裸体猫犬鳩等かき墨汁でバック筆でぬつた。」「noëlのカード自画像と小供二人出来。」 [FT00537,095]
- 9月24日 「石版や」「私の夢の大作出来て居た」 [FT00537,096]
- 9月26日 「5P油え小女と小鳥Petridesの注文色つけ」 [FT00537,098]
- 9月27日 「今日ハコクトーの仕事する事にしてペンより筆の方がやはりうまくかけるので筆にした。」 [FT00537,099]
- 9月28日 「コクトーの下図かいて一日くらす。」 [FT00537,100]
- 9月29日 「Petridesの処へ5P、小女鳥と額二枚届け、20万とりあへず貰つてかへる二ツブローチつけた肥つたアメリカの女の画商の人丁度私の画買ひに来た処間に合つた。」 [FT00537,101]

- 10月2日 「午前中よりカンバスへ油白ぬり初め」 [FT00537,106]
- 10月3日 「Rasfail Auto Ecoleに行つて第一回Caufeegne 1erの町に置いたAutoの中でいろく説明あつて三十分すみ、一日くりかへして居る。」 [FT00537,107]
- 10月5日 「二三枚コクトーの下図かく。」 [FT00537,109]
- 10月6日 「一日コクトーの下図小四五枚大三枚いろくかいて見て」 [FT00537,110]
- 10月7日 「人形の画等一枚かいたりして」 [FT00537,111]
- 10月10日 「帰つて仕事一枚Gilletに芸者職人小守かく。」 [FT00537,114]
- 10月11日 「デッサン一枚かき（水彩のため）出し」 [FT00537,115]
- 10月12日 「水彩小女鳥の下がきすみで昼迄かき」「赤い服の小供男小女小女鳥コバルト水彩三枚一日かかつてやつて午後くらくなつて三枚額に入れて裏ゴム紙はつたりして仕上げ。」 [FT00537,116]
- 10月13日 「銅板二枚出来見せてくれ上々とてもきれいに出来た。」 [FT00537,117]
- 10月15日 「レヂオンドノートルの件に就てドシエを完成するために何つかの御質問したいから十時—十二時迄の間に来てくれとの事で」 [FT00537,119]
- 10月17日 「0Fに小女すこし墨がきしたりして」 [FT00537,121]
- 10月18日 「二時半Stein氏来て画5F四枚かいてくれとて十萬手つけ置いて行く四時Petridesの20Fオランダ、水彩三枚届けて全部画十二枚の油ハ買つてくれ（二十萬法手つけ8F返へした分、支拂ずみ等さし引いた金今日の水彩三枚も入れて支拂つてくれ。） [FT00537,122]
- 10月19日 「カンバス三枚張つたりしたり」 [FT00537,123]
- 10月20日 「デッサン」 [FT00537,124]
- 10月21日 「文部省外務省、市庁等の招待中々続いて来て文化方面ハ政府も随分努力してる。こんな事ハ私の生れた国でハ見られぬ。民間でやきもきして政府に後援をたのむ程度のものだ。本腰に入れなくてハだめだ。」 [FT00537,125]
- 10月22日 「入口と出口其外のえ一日かゝつて墨とえのぐでかいて遊ぶ。」 [FT00537,126]
- 10月24日 「Steineのdessin四枚かいた。カンバスにかけばい、丈けにして置いて三枚枠買つて白ぬつた（ゼラチン丈け）」「ピカソの映画ゲルニカは物凄い構成で上手に音楽もすごかつた。ポツシユの失樂園もよかつた。がピカソの方が強かつた。」 [FT00537,128]
- 10月25日 「三枚5F白油ぬつたりして仕度したり」 [FT00537,129]
- 10月27日 「オレンデュレーのロンドンのコレクションアンプレシヨニスト見に行く大変ないいもの許り」 [FT00537,131]
- 10月28日 「一枚5F小女と猫かき出し（墨がき）殆んど出来て」 [FT00537,132]
- 10月29日 「スケッチ出来」 [FT00537,133]
- 10月30日 「母の帽子と言ふ大きい画小さくして5Fに墨かき、又女の子画架の前これ亦5Fかき出し夕方迄に二枚」 [FT00537,134]
- 10月31日 「自画像5Fにかき出して一日かく。結局来客で出来ず。」 [FT00537,135]
- 11月1日 「朝から5F自画像つゞきかく。」 [FT00537,138]
- 11月4日 「セキしたら腰にツーンと来てちぢみ上つてイキも出来ない程いたむ」 [FT00537,141]
- 11月10日 「正午近く41 Seineの石版や台処の小女十枚くれて外のサイン廿枚許りして石版やの主人も来てもう一枚のパン牛乳の試しずりよしと言つてやる。」 [FT00537,147]
- 11月11日 「丁度1週間ねた」「今日第四回目注射」 [FT00537,148]
- 11月19日 「大分よくなつた。この分でもう一週間仕事休むつもりだ。」 [FT00537,156]
- 11月22日 「仕事Gillotの分六枚位した。」 [FT00537,159]
- 11月23日 「一枚Gillotのデッサンかく。」「一日仕事して見て痛みに抵抗力をやつて見る。そろそろ仕事して見なくなつた。」 [FT00537,160]
- 11月24日 「色film写してJean Rostandの肖像クロツキー手共又一枚かいて見る大分私のdessin初めてののと造作今度のハ大きくて面白く夕方迄かかつて大仕事した。」 [FT00537,161]
- 11月25日 「Jean Rostand肖像朝から夕方迄かかつてカンバスに乗せた。大仕事病気後初めての仕事らしい仕事、とても顔も気に入る洋服もよく下がき出来た。色うまくつけさへすればい、と言ふ処バツクハ出来ず、眺めたりする」 [FT00537,162]
- 11月26日 「ロスタン肖像バツク上の部分ガラスびん四角箱等かく」 [FT00537,163]
- 11月27日 「一日Jean Rostandバツクかいて大体仕上がつた。」 [FT00537,164]
- 11月28日 「Rostand肖像お父さんEdmondの写真や蛙等沢山かいたりして夕方迄かゝる」 [FT00537,165]
- 11月29日 「朝からRostand肖像最後すみがき蛙沢山ボトルの中いろくかき入れ今日ハうまく出来夕方迄一日かく四時バレットそうじして色つけしようとしたが暗くて色見えず中止手を入れて満足する迄かいた。」 [FT00537,166]
- 11月30日 「Rostand肖像油え始める」「午後Zarigeの水彩二枚かいて見る。」 [FT00537,167]
- 11月 「千九百五十五年ももう一月ですぎて行く。今年は二月廿三日に帰化し大意義のある年だつた五月にハ藝術院も辞退



- した日本とすつかりいんねんが無くなつた訳だ。こんな年ハ一生の内に度々あるものではない。忘れられない年だつた。」 [FT00537,168]
- 12月1日 「朝から水彩二枚かいた。」 [FT00537,170]
- 12月3日 「5F小女一枚男の子見たいに墨がきし出して」 [FT00537,172]
- 12月5日 「午前中、Jean Rostandの画全体二度目油かいてもつと深いものにした。青調子かけてよくなつて新鮮にした。」 [FT00537,174]
- 12月7日 「水彩でバラの花二輪スペイン十三世紀ガラスびん男の子女の子の画のあるものかいた。」「午後一日小暗くなる迄かかつてかき厚紙にはつてガラス額に入れRomanetに届けさへすればいい様にしておく。」 [FT00537,176]
- 12月8日 「0F二枚色つけして又5F二枚色つけ暗くなる迄して」 [FT00537,177]
- 12月10日 「素描猫額に入れて」「小供と猫0F二枚八萬法」 [FT00537,179]
- 12月11日 「油え5F自画像母の帽子、ニツ油えかく。」「Steinアメリカ人の仕事一通りすませもう一度ぬれば出来る事にした四枚」  
「Galerie de Seineの猫のえかいた。」 [FT00537,180]
- 12月12日 「七枚Gillotの本に入れる原画画筆でかく。すみがき皆出来た。」「二枚白ゼラチン、トアールにぬつたりいろく準備する白油え又ぬつて二枚25m.と3Fカンバス作つた。」 [FT00537,181]
- 12月15日 「最後のGillotへの本の原画一枚かいてこれで終つた。」 [FT00537,184]
- 12月20日 「Galerie Pont des artsにコクトーの本展示会あり」「ガラス画一枚君代にNoëlの分かいてやつた。」 [FT00537,189]
- 12月22日 「クロツキー朝二枚かいた」「5Fに墨で一枚クロツキーかく。」 [FT00537,191]
- 12月23日 「Le président de la Republiqueに魚海老すみでかいて別紙にかいたり、其外十枚許り朝KochのセクラテルールMr Kreyberg氏来て渡す。」 [FT00537,192]
- 12月24日 「午後クロツキー三枚かいて見る。」 [FT00537,193]
- 12月25日 「私ハ0F三枚LasKerの分初めてバラと小女を墨がき」 [FT00537,194]
- 12月26日 「今日ハ一日だまつて0F2枚小女と小鳥かく」「昨日から0F五枚墨がきLasKerのためにかく」 [FT00537,195]
- 12月27日 「新潮社断つたのは又々たのむで来て閉口。安井曾太郎氏手足きかずに居たのがなくなつて築地本願寺で盛大な告別式あつた由。安井氏私の席が又藝術院に出来て愈々争ひ盛ん事ならん菊地契月氏も九月に亡くなつた由。」 [FT00537,196]
- 12月28日 「5F二枚シユミネと台処のバツク小女の後に墨がき初めた。」 [FT00537,197]
- 12月31日 「Jean Rostand手紙よこして返事くれ肖像ハExtraordinaireのベリテと細かいが詩的で且つメルベユ動物ユーメン等ととても喜んで誉めて早く色が見たい等とかいてくれて嬉しかつた。」 [FT00537,200]

## 1956 (昭和31)年 69歳

- 1月1日 「小鳥のクロツキー二羽デツサンかく」 [FT00539,003]  
「小鳥二羽水彩で写生油えにハ暗くてかけず」 [FT00540,005]
- 1月2日 「Figaro 10-11h Photo Jean Rostand 写真とりに来た President de la Republiqueより丁寧な御礼状貰つた」「Georges Debuf jeune comedian 知り合いになりたいと。」「小鳥二羽油えにかく」 [FT00539,003]  
「11h Figaro litteraire 写真Rotandの画の前の私四五枚ポーズかへてとつて行く。」 [FT00540,006]
- 1月3日 「クロツキーでJacquelineかく」 [FT00540,007]
- 1月4日 「朝昨日かいたJacquelineのデツサン又一枚かいて見る。昼厚紙買って張る。」「バラ、ミモーサ、ヒヤシンス等クロツキーかいて参考にする。」「Mr Weillセイヌ近くのコクトーの本展した主人画かへしに来て画と額とバラくになつたり石版ぬいたりして持って来たが返へしてくれてすむ」 [FT00540,008]
- 1月5日 「Figaro litteraire買ふ事 画Rostandと私の写真出る筈」 [FT00539,005]  
「Figaro litteraireに外五人の画家とJean Rostandの前肖像の写真出で私いろくがい骨や蛙等Rostandの家から運んでモンバルナスのアトリエでうずまつてかいてる等記者と言ふものは勝手に想像して記事作り上げるものだ。今度の肖像にハ自信はあるから面白く思つてる。」「Radio放送して十一時四十五分ミスタンゲツト眠るが如く十二日間病氣と戦つて他界惜まれる。」 [FT00540,009]
- 1月6日 「油えかく」 [FT00539,005]
- 1月7日 「油え0F五枚色つけ5F四枚手入れる。仕事一日する」 [FT00539,006]
- 1月8日 「0F、小供ろそくの墨がきした。」「2h-6h Musée depot moderne Exposition International」 [FT00539,006]  
「5F二枚油え今日ハ厚味つけてぬつて見る。いいかもしれぬ。」「0F女の子手合わせろそく立てのミスタンゲツト死んだ日にかいたクロツキーをToilにかく」 [FT00540,010]
- 1月9日 「朝President de la Républiqueより雉二羽恵与の日」「8Pに雉かく色はつけず明日の仕事となる」「10h-12h 2h-6h musée moderne lundi mardi mercredi depot」 [FT00539,007]

- 「8 P Cotyさんの雉二羽クロッキ油にすため墨がき一日電燈つけてかく。面白かつた」 [FT00540,011]
- 1月10日 「2hに来るとの事女二人かいた油いたんでなほしてくれないかの事。Telあり。」 [FT00539,007]  
「近藤浩一路、今春早々来るらしい」「日敦氏ハンブルグ滞在数年とて浩一路も巴里へ来る準備始めたとの事。」「朝雉色つけ終り」「雉のバック タイル下に布机等かき夕方迄に出来上つた。」「Mimie Sauvageさんの本二冊持つて来て私にサインしてくれとの事だつた。」 [FT00540,012]
- 1月11日 「2 filles 1926 30P 10時画なほしの人持つて来る事Mme Deker 2 filles 1926 51 Av, Ray Poincaré Passy 51-63 二週間待つて貰ふ事cinq mille位」 「Musée moderneに画二枚届ける 十四日(土)の近代美展 LA Rêve 12F Sirène 10F Mme M. Boreh 7 rue Alasseur 15me Suf. 20-60」 [FT00539,008]  
「二人してTaxiで近代美の世界展に12F私の夢 10F人魚届け」「Boseh夫人に渡す 名誉の壁正面パロツキエ80号とゴンザツク等と一緒に。」「午後十一枚ニスぬつた。5Fと0F」「三時土橋来て今度の四十国参加展世界戦争見たいに場処の争い。スペイン、イギリス、アメリカ、ポーランド、トルコ等とけんかしてやつと日本がんばつた等□せたと云つて中々難しいと言ふ 私ハFranceの部名誉の壁で幸だつた。もうこんな渦の中に入らないわけnotはよかつた」「三時morton写真師来てRostandと2人の写真くれて画と画と私君代等と色写真うつして帰り」「画すこしDekerさんのなほし」 [FT00540,013]
- 1月12日 「二時半Recio友人のDrの姪4才肖像デツサンの事 Madame Chapiereau Moliton 80-28 dessin 40×26 Mlle Agnes portrait 4ans 1/2」 [FT00539,008]  
「Elyseeから又手紙□□matchミスタンゲットの写真の中に私とDeauvilleで写した分代表写真出た。外の人のハなかつた。」「昨日のMme Dekerの画30P昨夜もなほし又今日もなほした大分よくなつた。」「Mme Chapiereauの娘 Agnes 4ans 1/2 ルノアールの如き青眼の長髪の娘連れて来てカバンに絵本人形、キヤラメル等つめて来てPose一時間してよく出来、Rostandの肖像とても誉めた」 [FT00540,014]
- 1月13日 「2h 彫刻家肖像作るとて迎いに来る事。Plisson氏10 rue Franquet私の肖像せともので作った」 「Musée moderne一寸のぞく」 [FT00539,009]  
「Guillard氏石版のトタン版届けてくれたRostand肖像手紙カナダ画商から十枚小品欲しいと言つて来た。」「rue ボアソナードの画家の人誘いに来てくれてPlisson氏の処に行くガラージの二階大アトリエ陶器家私の肖像写生正面プロフキル全身して泥で小肖像作る。五六人画家集まつて私の後に立つてmarton氏写真うつした。」「近代美に様子一寸見に行く若手の連中、フランスの部かけてセゴンザツク、パロフキエ中心に私のは石段の処にかけて居た。ナカツシが貴君はグラント オムだから何処にかゝつて、も藤田ハ藤田だし、文句も言ふ人でもないだらうと言ふ。自分を良く見せるつもりで場処わけ一生懸命になつてるが画ハ大したものでもなければ、何んの事ハない。何時迄も各国部と同じで争つてる。馬鹿な事だ。」 [FT00540,015]
- 1月14日 「3h Exposition Les arts en France et dans le monde ベルニサージに行く。Gagin Kosaka展見た。」 [FT00539,009]  
「朝トアールにニスぬつて額に入れたりする。3h musée近代美術に行つて」「昨夜オランダ着いて日本部半分にはらされて今朝かけかへた等。Mme 原田大にふんがいて死んだ主人のために気狂いの様だと言ふ。私の画もとうく名誉の壁の左の隅にかけたものゝ、カタログの名誉出品の処にハ名なく可笑しい インチキだ。怒つても立腹するわけの年でもない。笑つてればいい。画わけがもの言ふ。市の美術局長貴方ハメリット以上で誉める言葉ハないと言つてくれたり、皆不思議がつたりする。イーブブライエ、シヤプラーネヂ等自分わけの陳列に夢になつてる。アブストレ各国に影響してる驚く可き事で行きつまつて石瓦の様になつて仕舞うだらうと言ふ人もあり。Gagin Kosaka氏の処見て帰る。」「北川民次氏一週間前にメキシコから来たのに会つた。」 [FT00540,016]
- 1月15日 「石版Rostand肖像かいて見る。北川民次来た」 [FT00539,009]  
「北川民次来て丁寧な言葉でやはり年のせいだ。とてもオントーになつた。息子も廿一とかラザオの役者してる等巴里にハ見るものなく余り大きくて一ヶ月居ても二ヶ月居ても同じ事大して得るものないからスペインか伊太利に行こうと思ふ等」 [FT00540,017]
- 1月16日 「Rostandの石版の下に蛙四五匹かく午前中。」 [FT00540,018]
- 1月17日 「Mlle Agnes Chapiereau のデツサンかいて額に入れてTelかけた。4 1/2方」 [FT00539,010]  
「30F号の裸婦のなほしMme Dekerの分すつかり仕上げて出来た。」「石版に手入れこれハGuillardとりニ来ず」 [FT00540,019]
- 1月18日 「2h 15 Mme Chapiereau画とりに来ル」 「Gillardに石版 Rostand 渡す。」 [FT00539,011]  
「Recio友人Dr Chapiereau夫婦と又其の弟さん医師来て肖像大喜びで満足Rostandや雉の画絶賛して帰つて」「小供の0Fに猫かき入れた すみ。」「夕方Guillard来て石版渡し、墨置いて行く。」「ドルトル、シヤピロー アニエス肖像デツサン 五萬」 [FT00540,020]
- 1月19日 「石版色版油墨で初めて水彩の様にやつて見る。三枚Mme Kock序文の処に小猫かいてくれとて書記の主人老人持つて来て外ハ寒いと言ふ。」 [FT00540,021]

- 1月20日 「Petridesへ画届け 5F小女と猫 5F小女ストーブ前 5F小女と台処 外 6F金地聖母 4F小女菓子板 2F?」  
「大統領Président Coty Palais de l'Elyséeへ雉二羽 8P一枚届け」 [FT00539,012]  
「ボアソナード私の肖像が皆んなを gater au grilleと言ふ事始めてきいた。Rostandノ肖像ハ評判になると言ふ来た人皆誉めて帰らぬ人なし。十一時半アメリカ人 Irwin Kesserと言ふ人と Katiaと言ふ画家私の賞讃家二人で来た。Xmas cards上げて大喜びで帰つた。」「Petridesの電話で画三枚 5F届け大に沢山持ってきてくれとの事。近頃が一番いゝ画だ等と言い九月に展する事に決定して銀行に廻って金とり。大統領に手紙と雉二羽 (オランダタイルのバック) 8Pを Palais de l'Elyséeに届け」 「Petrides 5E小女と猫 5E小女ストーブ前 5E小女と台処ナベ外十一月七日届けの分 6E 聖母金地 4F小女と菓子板 2F」 [FT00540,022]
- 1月21日 「Gaillardへ石版Rostand出来」 [FT00539,012]  
「小カンバス九枚許り枠張り」 「ボージラードの石版やGuillardの処へ行く。きり雨一枚ためしずり貰って帰り入口で MarieAnge Westyさん留守と思って帰る処で出会ふ。石版油えとよく似てる。大体満足。トタン版にかいたのハ案外強く出るものだ。ナイフでけずつた分ハ石程目立たぬ」 [FT00540,023]
- 1月22日 「木炭画と朝からクロツキー出して裸婦25mにかき出し一日仕事。」 「TelにてStein画のさいそくそれとなくきく明日届けると言つてやつた。余り面白くない私のファンの一人金持のくせに金出さない人」 [FT00540,024]
- 1月23日 「7h Stein 7 rue Newton 16 me Klé 12-56 画届ける事」 「25m裸婦かく」 [FT00539,013]  
「受 藤川画廊 (大坂水島氏)」 「朝から昨日の油えに鳥とつたかき出し昼迄デツサン昼から色ぬつて一通り夕方迄25m一気にかく。」 「夕方土橋来て、世界展のMme BocheとラチオTV、Parisに出て私ハスイス旅行だとして驚いた等私ハ出たくなないのでそう言つた丈の事 七時Steinnの家に行く」 「5F一枚丈け (母の帽子、母子) 渡して三枚はかゝなかつた。それでこれからは私の言ふ通りに買うとの事。今迄ハ悪かつたと言ふ。画家と金の事で議論するのは嫌だし画家ハ金の事言ふものでない等と昔の様な事言ふ」 [FT00540,025]
- 1月24日 「25m裸婦油かく」 「額25m 5F注文する。」 [FT00539,013]  
「昨日の25m右の手上から直角に落ちて体を二ツに切つた事が気になつて昨夜から見て見てなほしたかつた。今朝右の手消してすっかり大改心してかきなほして気分よくなる。四時迄かいた。」 「今日かいたのハ早かつたが腕なほして止むを得ず油流れてゴミの処目立つので苦心何度もなほした。キタナクなつた処もある。」 [FT00540,026]
- 1月25日 「0F小供と猫Laskerのためのもの油でかく」 「3h Mme Deker画とりに来る事」 [FT00539,014]  
「3Fに巴里風景rue de la santéかく。」 [FT00540,027]
- 1月26日 「12h Gillard 石版試しずり出来 色共二度ずりRostand肖像」 [FT00539,014]
- 1月27日 「25m トアールドジュイを又かく、昨日のつゞき頭に布かぶせた。」 [FT00539,015]
- 1月28日 「油え手入れて小品二枚と25mすこしかく」 「6h Galerie mont morney 8 F cherche midiにAudré Warnod展に行く。1905年12年等ロートレックやプルボー ウイシツトの様な画風の子品デツサン沢山」 [FT00540,028]
- 1月29日 「九枚許りカンバス十ぬつたりする。」 「午後夕方迄油白カンバスにぬつて仕上げ」 [FT00540,029]
- 1月30日 「昼ボアソナードに彫刻私の像の礼交換に3F rue de la santéを届けて陽気だとして気に入つてこれですんだ。」 [FT00540,030]
- 1月31日 「額出来た」 「petrides 25m 裸婦 5F届け娘画架(すみ)」 「Beau marché布買った fleur Bleue Toile pur lim」 「小Toile作る」 「六月廿日展に決定す。」 [FT00539,016]  
「額25m出来て居てすぐ裸体はめて5F小女画架の前のとを持つてPetridesの処へ行く この画注文のMme ツーラ買はななくともPetrides買ふとの事。ギリシア人の金持の壁画見たいなもの何面かかいてくれるか。との事又花等何枚かかいてくれとの事で4Fの処2Fの代貰つた差額 (君代の帖面に書いておいてくれた事から分かつた) 代と5F貰つて帰つて昼一時になつた。」 「ペトリデース 二F貰つた。のと5Fと先払いの誤四Fの代現金 八萬 一萬五千」 [FT00540,031]
- 2月1日 「木村君の世話の北斉衣装かつら二箱到着」 「小Toile張つた」 [FT00539,017]  
「枠えのぐ買つてPetrides Expositionの用意始めて」 「カンバス枠に張つたりしてたらVachon金十萬返へしに来た。」 「Mme Koch 秘書四枚コクトー本序文小猫かいてやる。」 [FT00540,033]
- 2月2日 「衣装 北斉 松井衣装部 (袖着付1,袖袖なし、襦袢ともんぺ) 8.600 小林かつら 10.000 藤浪小道具 (鉄色柄石地巴里蒔絵 右手一本 一素芋頭 をび、扇子一、矢立一、和綴一 9.500 28,100 木村、伊藤 (松井) 藤浪 謝礼 3600 送料 12258 43958) 「枠に白ゼラチンぬつたりする。」 「油画のえのぐカンバスにぬつた。大壁画白カンバスで一杯になつた。」 [FT00540,034]
- 2月4日 「0Fに帽子かぶつた女の子一枚墨がきして」 [FT00540,036]
- 2月5日 「大カンバス六枚張つて白水ぬる」 [FT00539,018]  
「カンバス廿五号十五号等七枚許り張つて白ゼラチンぬつて干かす。」 「北斉の着物出して着てかつらつけたら悪くないわと君代誉める 私にびつたりしてた。未だ若い北斉余程顔を老人に作らねばならぬ。」 [FT00540,037]
- 2月6日 「guillot二人来て本にサインたのむ 小デツサン」 [FT00539,019]  
「15F四枚うち一枚白油ぬり初めて午後夕方までかかる。」 [FT00540,038]



- 2月7日 「笠翁（破笠翁）の□15000印ろ一孝斎の根付5000 光琳の硯箱60,000 青山氏の処で買った」 [FT00539,019]
- 2月8日 「夕方小雨の中モンパルナスでいろく化粧仮装のドラクリーム等買い、北斉の本買つて研究。」「光琳の硯箱出して机の上に置いたので朝机辺大分ゴミとつて整理した。」 [FT00540,040]
- 2月9日 「初めて北斉の顔化粧して見て何んだか家主庄屋さんか番頭さん見たいだった。」「Guillard Jean Rostaud の石版色判よくなつたとの事安心」 [FT00540,041]
- 2月10日 「小油え小名刺大二枚雨傘と小児と別に小児丈け油でかいて」「昼から二号に小女とアストラカン外套写生してかいて見る。すこしでも写生画かくと気持ちよし。」「Selz来て私の小供時代の写真かしてやるVogueに出すとか。」「けんびきょうお爺さんの学者老人実にはいい好々爺の先生ハ好意もてた1908年頃13年頃パチと一緒に活動写真うつしてたとの事見せた。こんな老人になり度いと思つた。」 [FT00540,043]
- 2月11日 「一枚2Fに女の半身墨がき丈けして一日仕事。」 [FT00540,043]
- 2月12日 「リラの花かく。」 [FT00539,021]  
「10mにリラの花かき出して一日白紫写生墨がき一日した。」 [FT00540,044]
- 2月13日 「昨日のリラの花すつかりショゲてたれてもう画に描けぬ。」「0Fに小児寒い日の画かく田舎の小供一番好きに出来た。」 [FT00540,045]
- 2月14日 「仮装会Hokusai 1760-1849 田淵二人金山土橋Vachon 夜見に来た」 [FT00539,022]  
「土橋に会つて画見てくれとて一番いい画書いてる。灰に茶と紺で大工のハチンと線□作つて打つてる。中々若い人も一生懸命だ。」 [FT00540,048]  
「午後クロツキー等かく」「北斉の支度初め赤顔にしたが最後に黄色にした。田淵二人金山氏来て写真うつしてくれ、土橋二人又見に来るBerges Vachonも来て、賑か。」「田淵TaxiよんでくれてPlace Etats Unisに行きノアイ夫人ノ家前大勢近処の人見に来てる。ラツコの靴と鞋とりかへて預けて石段大はしご上に五六人の□□□赤服でラツパで一人々々ふきアンスして、カツシカホクサイとて一人で威張つて上つてビコンテスにあいさつ大勢見てる。後から後引く間もなく人が上つてくる。ロートレック、アンリールウー、シヤドラン ゴヤ、ルーベンス等大した傑作果物の顔手づまの箱の人の奇ばつなものもあり、其他いろく五百人位豪華版朝咲さん石井さんの借りて□で来た。写真大分写されたりオレンジード丈けのミ、十二時半Taxiのある間と思つて一人早めに雪どけの道いい具合に一台あつて帰り一時、茶づけたべて二時になつてねた。日本のちよんまげはたつた一人成功した」 [FT00540,046]
- 2月15日 「モンパルナスの写真やに行つてフキフィルム白黒日本貫い、色現像たのミ」 [FT00540,047]
- 2月16日 「チュリツツ写生」 [FT00539,023]  
「朝買物に出てチュリツツ買つて帰つて写生花一二分の内に開いて仕舞う。」 [FT00540,048]
- 2月17日 「一日2F体裸かく」 [FT00539,024]  
「小学校体操を初める、2F夕方迄に色つけ 0F小供胸十字にフラーの小供好きに出来た一日仕事」「大クロツキー15F学校一枚かく事にして夜迄すこしかいたりする。」 [FT00540,049]
- 2月18日 「11h1/2 Takahashi London. 石版大小中二 小四ツ分ける」「一日仕事学校体操15Fかく」 [FT00539,024]  
「15F小供学校体操かく事にする。」「本当に夜になるまで仕事続けて休まず、夕方France友人Coletteあんだ髪のお下げの若い娘つれて来てオランダ□の娘の様印象強く写真うつす」 [FT00540,050]
- 2月19日 「九時半から仕事学校15Fかき出す。」「午後は15F油えでかき一日仕事」「match等出して眺めたりして画題の事考えてねる」 [FT00540,051]
- 2月20日 「ベッドの中でいろく画題考えた 遠足 博物かん□かん 動物解剖図 だんく上る生徒 体格けんさ（白黒半分たて反対の人） あまさん行列」 [FT00539,025]  
「15Fの小学校の画色でかく（昨日の残り半分）三時Jean Rostandの石版持つてGuillardノ処へ行き色薄くして仕上げたのむ。Lambert氏、Toledeの風景上手で石版やる事も初めて知つた。」 [FT00540,052]
- 2月21日 「ロシア映画eigaleの豫写ありこれパビンと来るものあつてアンプレシヨニストの画見たいに明るくて色が美しかつた。」 [FT00540,053]
- 2月22日 「Tel de nouilles BAL. 09-18 夫人肖像の事。1 rue Ramy 16me」「バラの花4Pかく。」「4P額五枚注文する」 [FT00539,026]  
「Komor小包 ねこデツサンマクミラン本の原画と外に鳥の子七枚猫廿三枚」「バラの画4Pに一枚クロツキーからかいて見る夕方迄に色つけた。バックのかけ丈けか、ぬ。」 [FT00540,054]
- 2月23日 「Komorさんに油え額共送りのむ。去年七月十四日かいた盲人音楽師の小品10Fにかく。一日夕方迄墨がき出来てもう少しでと言ふ処で夜になつた。」「小供が雨傘さしてる処や歯痛の布頭上で包んで□でる女の子や等学校主題等丁度私が描いた許りの同じもの見て私が真似したと言はれても仕方ない様に程似てるが私の考えが誤つてなかつた事は愉快だつた。よくこんな事があつて私が先鞭つける。」 [FT00540,055]
- 2月24日 「岡田謙三面白い手紙かける様になつた事ハ余裕が出来た事だと思ふ メトロポリタンにも画が入つたとの事齒九本ぬいて千弗かかつたとか。よだれが流れる様になつた等。画論を切り又かいて来た 杉本曰くKuuiyoshi Benshan.



- Kroll zorac四名の画ダラス美術から除外したとの事 これ等の四人が私の渡米当時反対して邪魔した連中。今の米国美術界からしめだし食つてると知らせて来た。」「村山から手紙Rostandの肖像をととも誉めて来た。」「午前中からかいてた10F盲人音楽家油えで夕方迄に仕上げ」 [FT00540,056]
- 2月25日 「15F、往来の女と小供 養育院の行列 アシスタントプブリック」 [FT00539,027]  
「15F娘と小児姉と弟ベンチにねむる アシスタントプブリクの行列 向側の構図の図かき出して一日暮す。」 [FT00540,057]
- 2月26日 「15F、姉弟貧乏人ねむるかく 力道山家に来た」 [FT00539,027]  
「朝から一日15F小児（姉と弟）バンで居ねむり向ふ側養育院の行列と言ふのをかき出して一日すみがきで暮す。」 [FT00540,058]
- 2月27日 「15F画かく2人ベンチに女と子」 [FT00539,028]  
「15F色つけ描き三時迄かく」 [FT00540,059]
- 2月28日 「11h Mme Koew石版 中一枚 猫 小三枚 プロフキルニ 画架の娘一 渡す」 [FT00539,028]  
「一日 十五号F二人クロシヤー 小児一人石段の下のをかき出して七分迄墨でかく」「画にニスぬつたりする。」 [FT00540,060]
- 2月29日 「15F石版の下の図かく」 [FT00539,029]  
「15F石段の下のクロシヤード二人女ノ子の分かいて一日かいて油色も仕事した」「一日仕事夕方佐々木氏来てJean Rostandの肖像出品（明日）を今日渡す夕方北斉色写真出来てとりに行く」 [FT00540,061]
- 3月1日 「正月元々の小鳥のバツク オランダタイル描いた。」 [FT00539,030]  
「壁の釘うち変へて画かかるとした。大分壁画よくなつた。昼間メトロで青山氏の処へ行つて光琳の硯箱の後金四萬（六萬の内）支払つて一寸話して日本人はこせこせして大人物が出ない今の人は駄目だと青山氏大に気焰上げて」「正月正日にかいた小鳥のバツクにオランダせともとの布地かく 特別型2F大」 [FT00540,063]
- 3月2日 「11h Jean Pascal画1F渡す事」 [FT00539,030]  
「肖像はやつて見ると難しい。」「Pascal Lorrieux来て□小供の画やる。」 [FT00540,064]
- 3月3日 「大きい十五号F二枚手入れして描き上げ写真とつて現像に届け。」 [FT00540,065]
- 3月4日 「10mに一枚こじき二人デッサンかき出し」「田淵二人来て北斉写真も見せた。安井さんのおくさん大変おこまりで、あの最後にたつた家もすつかり払つてなく随分借財多く画さいも大変らしく案外だつたとの事八号二百萬でブリッジストーンの石橋さんが買って上げたとの事。画が少しも家に残つてないとの事画の遅い人だつたしやはり世渡り下手だつた画家らしい人だつたと思ふより外なく、これも又噂で、そうでなければいいかとも思つた。結局日本にして見ればけたちがいだ。」 [FT00540,066]
- 3月5日 「朝から10mに夫婦貧乏人川辺橋下の図かき出して大分デッサンで研究して考えてかき一日仕事する」 [FT00540,067]
- 3月6日 「橋下のこじき二人かつたらとも面白く出来て来た。直ぐ中央市場のクロシヤードが一番いい画題だと気がついた。い、作をかいて見たくてわくくして来た。」「60F枠買った」 [FT00539,032]  
「朝から仕事10Pかく橋下の夫婦テクニク面白くすぐ市場の人物かいて見たくなつて60Fの枠買い枠に布張り白ゼラチン迄ぬる君代手伝つてくれた夕方」 [FT00540,068]
- 3月7日 「午后写真現像出来 Blanc et noir」「60F 白油ぬつた」 [FT00539,033]  
「受 ポアソナード デッサン水彩展出品申込書」「えのぐやに肖像展招待やる」「午后60Fのキャンパスに白油ぬつて一枚夕方迄に作り上げ」「inventaire cauliezと言ふ人からpresidence de jury 1956に成つてくれとてたのむで来た matisse Leger, l'hote, survage, man Ray等もjuryやつた。Grand Prix de la creation emenialographeからの手紙」 [FT00540,069]
- 3月9日 「le Vernissage Exposition le Président Coty 一番沢山の知るも知らぬもの人に賞賛されて握手された。肖像画ハとても場中一と誉められた。一番余計にいろんな新聞に写真出で場内で売つてる石版も一番よく売れてる。」 [FT00539,034]  
「肖像画展の事Elle Autore等にも出て居る。本当に今日の展覧会は巴里でセンセーションを起してる」「二時半一人でTemoins展にTaxiで行く早すぎて日なたぼっこ三時galleria開くどんくまたたく間に一杯になる。私の画ハ横の小さい一番よくない室にあつて、又々けちな人たちがかくしたのかと思つたらその室を代表する人物になつて貰はないとその室が一番見おとりする事と又各室に有名な人物の肖像おく必要あり等とRecioの話で余り私ハ賛成しなかつたが、今日ハ私として一番知るも知らぬの人々から賞賛心からされて会場が一番いゝのハお前の画だとか、百人位外の皆んなだめだと言ふ人多く。こんなに誉められた事ハ昔のサロンドートム時代から初めてで一番私のが新聞に沢山のせられたり、会場で売つてる石版画も一番多くうれた由、サロー大臣ブノア氏マリージュバ、セルス其他随分知つてる人に会つた。サインも五十位した Mme Davidと言ふのが私に惚れてると言ふ女又居た娘も二人居て忘れないでね等と若い気と言ふ女珍らしい人だ、とにかくかゝつた壁面は隅でも悪くても画が物言い、画ハ後世に残るものだから尚却つて生きてる内に見じめにされる分の方がいい。相当に焼きもちがあるらしいし、巴里ハ中々難しい処だが、今日ハ私ハ絶対に見とめられて場中で、百人位にもほめられて帰つて初めてつかれて夕食迄ねむり」 [FT00540,071]

- 3月10日 「Temoins展Recioに嫌味言つてやつた余りいい室でない事」「朝Chavas電話昨日Rostandの前で人々の批評聞いてたらとても皆誉めて一番いゝとて大成功だと喜んでかけてくれた。」「TVでTemoins展出で、二日間に六千人来たとしてcotyさんの肖像外四五枚私も一緒に画写り大写しもありRostand氏の曰く厳しい試験の後私ハ私の蛙の一匹にされた様に感じたとの序文も加へて言つた。外三四人の画家も出た。Gerard Ouryの芝居特によかつた。女中恋人刑事(洋傘の男)とてもよかつた」  
[FT00540,072]
- 3月11日 「TV amant de paille 見てたら田淵二人金山と伊太利人来て賑やかになり、色写真沢山北斉初め見せて遊んで十二時すぎ帰る田淵ワイガロニ ビュツフエの画ハ葬式の様だと出てたと言つて笑つて居た。余りいい批評じやない。」  
[FT00540,073]
- 3月12日 「スペイン女クロツキーかく」「Mlle Kochに渡す一枚」「写真白黒出来」  
[FT00539,035]  
「朝からクロツキー スペインの女の様なのをかく。」「午後Mme Kochのたのミー一枚かいてやるのをとりに爺さん来た」  
「午后夕方写真引きのばしとりに行くよく出来伊原の子、Franceと友人Colette等 画数枚とてもよく写つて嬉しかつた。」  
[FT00540,074]
- 3月13日 「アンデパンダン sur quai 15F コジキ二人」  
[FT00539,035]  
「朝から 8 Fにスペインの女顔両手かき」  
[FT00540,075]
- 3月14日 「スペイン ダンテルの女出来た。」  
[FT00539,036]
- 3月16日 「2h1/2 Mme H. Nysa CAR. 01-66 3h 画なほしの人1926女の顔」  
[FT00539,037]  
「佐々木氏の処で 8 F買いに行き土橋の処で待ち、いろく世間話して私の偽作が日本で沢山出廻つて売れてると言ふ事佐々木氏の話中々画ハ売れぬとの事等鬼頭氏芸術院賞貰つて忙しいらしい。」「Coletteの肖像見たいなもの油でかく」  
「三時Mme H. Nysa CAR 01-66男の人と油1926年女の顔いたんだもの持つて来てすぐなほしてすつかり修理した。」「朴泳□氏二人来て Rostandの画見に行つて立つて人々の批評きいてたら一番いゝと誉める人許りで外の画と比べものにならず私の画もこゝ、二三年すつかりすばらしくなつた。」  
[FT00540,076]
- 3月17日 「写真 Iselim Rostand 出来」「蚤の市写真」  
[FT00539,037]  
「2 F小品アストラカンの子のバツクレースかいて色つけし、又 小品 0 F小供色つけた」  
[FT00540,077]
- 3月18日 「腹出した子かく 2 F」  
[FT00539,037]  
「Postの前で会つた知つてる人(名前ハ知らぬ)ロスタンド肖像展で見て君一人だ誰れも外にハ居ないとExtraordinaireだとして誉めてくれ、ビュツフエのはPeintureでハない妻君が医師だからその見地でも見て承知できない画商にもそう言つてやつた等中々こゝは思い切つた事を言へる国で自由だ。」  
[FT00540,078]
- 3月19日 「今朝モンバルナスのPostの前でロザリのおやぢRostandの肖像見てとてもよかつた。似てる事以上に又素敵だとして大に誉めて行つた。Guy電話でJury dessin d'enfant BelfourでJeudi 6hとの事たのまれた。」  
[FT00540,079]
- 3月20日 「11h1/2 石版カーナバレ肖像 Bon à tirer」  
[FT00539,038]  
「4F女と女の子二人をクロツキーから夕方迄かゝつて油でかき終へ他の二三枚にも手を入れた。」  
[FT00540,080]
- 3月21日 「佐々木氏の処に石原さんから水彩キュービズム静物室内の偽作の真偽私に問い合わせ来て偽作だから描いた覚えなしと証かいておいて来た。偽作多し。」「レースの女の子其他油橋下十五号F等皆手を入れて強くして夕方迄かゝり」  
[FT00540,081]
- 3月22日 「Laskerのcollection写真届く 六枚送り出した」「Kischkaより手紙la VilleでParis Rostandの肖像買い度しとの事」  
「Petrides pâquesの旅行に出るから展の画しつかりかいておいてくれ人が驚く様なものをとの注文若しも金が必要なら何くらでもそう言いなさい。と言ふ。私は金は今貰はなくてもいい丈けになつてる。」「6h 十五分前 Beljour Jury dessin d'enfant Guy Selz」  
[FT00539,039]  
「KischkaさんよりDrの人その夫人の肖像かいて貰いたいとか、又々價だんの事きいて来る人沢山あり la Ville de Paris 巴里の市で欲しい買いたいとの事の相談の手紙ハ返事書いた。Rostandの肖像ハ私のもので私のものでなくRostandの名誉のために画が□□あれバフランスに残したく近代美Petit Palaisなら寄附しても厭はぬと言つてやつた。Petrides 火曜日から休んで旅行するからせいぜい画かいてくれ、驚かす様なものかけと言ふ。大にやつて人に見せずに居ると言つて花もかいてると言つたら喜んで売つてくれるな、金が必要なら何時でも上げるからと言ふ。」「バスでOperaの方へ行つてPalais Royal BelfourでElleの小児デツサンコンクール イーブブライエール、シヤブランミヂと私他Helleの人男の子の両方から十枚位選んだ大して感心したものハなかつた。Guy大に小児アブストレをとる事を一人で叫んだが皆反対した。」  
[FT00540,082]
- 3月23日 「一日油えかく。額に入れて皆二階に上げた」  
[FT00539,040]  
「一日油えの色でいろくかく。クラシックのColetteの顔をいろくやつて見る。個性がなくてつまらぬ、そうして肖像画になりすぎた。額に小品初めニスぬつて入れて二階に上げて下はさつぱりした。壁面に画なければ室広くなる。」  
[FT00540,083]
- 3月24日 「3h Mme Nysa CAR 01-66 油えなほしとりに来る事」「マルシエフエーライ 昔の写真帖買つた」  
[FT00539,040]

- 「ブラマンク廿年目に初めてパリに出で、シヤルパンチエの展覧会も極く少数のセゴンザツク カルコ、ダラニエス等の集合の時顔出して大衆モンデンの日ハ嫌つたと言ふから随分意地の強い人だ。朝ダケール買物に行き大ホーボーといひあんばいに鮭あつて喜んで帰りすぐホーボー画にかき油えにしておく。」「マルシエフーライで写真三四枚写し古物六時半迄見ておく大変な人 昔の写真帖子供の六十四枚入つてのを200frsで買つて」 [FT00540,084]
- 3月25日 「マルシエフーライ土橋二人と花の束買つた 5000」 [FT00539,040]  
「花共5000で買つて（これハ画にする下心地あり）」 [FT00540,085]
- 3月26日 「Selz さしえのミに来た」「Vigar氏に写真四枚 日本 レコードかした」「花の束画かく」 [FT00539,041]  
「Kischka返事くれてとてもジヤニチホもつとそれ以上にいゝ心を打つ手紙で何れバツク休ミの後市の美術局長を訪ねて私の意向を待つて御返事ハお訪ねして知らせるとの事だつた。」「朝から花のせた乳母車十五号Fに一生懸命にかく中々難かしい。丁寧にかきにくい。油で花丈けはかいておく。」「Selz来てさしえの事たのむ仏人と日本の神風？の未亡人の対面の処。夕方迄画かく」 [FT00540,086]
- 3月27日 「花の束かく」 [FT00539,041]  
「君代Vogue買つて来て私の北斉が写真に出て居た。大きいプロフキルで他人の様だ眼がねがないし肥つてる可笑しい。花車のバツク大レース左右と上にかく。大仕事手黒黒にした。」「Mr Schoos氏電話かけてRostandの肖像絶対場中一の傑作と賞めてくれる。この間Bdモンパルナスで一人赤えりまきとロザリの主人も賞めて外ハ見られないと言ふ Elleのラザレフ夫人も大に激賞してくれる。毎日大位今だに賞めてくれ、四五未だ二ヶ月展あるからあの名ハ有名になる。」「花束半分白灰ペンキでぬり初めた」 [FT00540,087]
- 3月28日 「花の束かく」 [FT00539,042]  
「朝から15F花の束大に夕方迄かく中々難しい。未だ出来上らなかつた。」 [FT00540,088]
- 3月29日 「花束ペンキぬり等した。」 [FT00539,042]  
「Adamにペンキかいに行つて帰つて花の束ペンキで昨日と今日で白と青でぬつたらとてもきれいになつた。」「夕方一枚3F小供二人かいて（墨）バツクは出来ず」 [FT00540,089]
- 3月30日 「小品2F女の子男の子かく」 [FT00539,043]  
「花束のほろ難しくいろくやつて見る」「とうく何んとか15Fかき上げた」2F小供二人のバツクにスペインタイル四枚かいて油えにして六時迄かいた。出来た。」 [FT00540,090]
- 3月31日 「佐々木氏の処15F額一ツ買つた。4650frs. 花束の画入れる」「3P女の顔かく」 [FT00539,043]  
「佐々木さんで15F白の木額額4650買つて」「午前中にかいたクロツキーで午後は3Pに女の顔かく事にした。」 [FT00540,091]
- 4月2日 「Elleのさしえかく」 [FT00539,044]  
「午後君代に日本服来てポーズして貰つてElleのたのミのさしえかいて見る」 [FT00540,094]
- 4月3日 「Elleの羽衣さしえかく Selz来る」 [FT00539,045]  
「午前中京都清水の舞台の写真さがしてとうく見当らず、午前中本棚がす。」「午後一日guyのさしえかく。Guy見に来る三時に来て室内の方とて清水堂のを後でかく事にしたりする」 [FT00540,095]
- 4月4日 「Elleのさしえかく。」 [FT00539,045]
- 4月6日 「Jacqueline 英国に住む 昔のモデル男の子連れて来た。元気な人。ゴミ吸いとりのほき送るとの事で石版猫一枚やつた。」 [FT00539,046]  
「昨夜モスコのサーカス見たとてguy来てElleへのさしえ一枚京都の百合子とフランス人室内の水彩渡し」「午前中花の束にニスぬつて出来た。」「Elle水彩返へして来て佛人の男丈けとつてくれるとの事陰気だと言ふ。」「ジャクリンと言ふのから電話で五時に来た元気な女男の子ゴタル連れて来てモンスリー時代の私のモデル殆んど変りなく」「三ジマンシヨンで室中に画を彫刻の様に描く事発明したので内処だが九月に私の処に来て仕事一緒にして発表して世間をうんと驚かして名前を残したいと言ふ 白い電燈で空中に遠近つけてかくので難しく他れにでも出来ぬ 大家でうまいデツサンの人で想像力がある人でなくてハと言ふ。」「小鳥頭の上にとまり笛持つ子供一枚3P買つた。」 [FT00540,096]
- 4月7日 「depôt pour Inependants 9h30 à midi 14h30-17h1/2 sur le quai 88×77」 [FT00539,047]  
「Perrièreにアンデパンダン出品の画たのむ十五号 sur le Quai de la Seine」 [FT00540,097]
- 4月8日 「Elle のさしえ男消して風景お庭かく事で午前つぶす」「八代氏夫妻と子息一昨日来たとて（ローマへ三ヶ月ヴェナルのため）家に来て1922年のキキーの大作石橋美術かんに入れたいとの事石橋氏も承知との事突然こんな話を今になつて持つて来る。日本人は何日もおそまきだ。」「3Pの女の子笛と小鳥を色でかく。」 [FT00540,098]
- 4月9日 「Elleにデツサン渡しの事」「大統領さん十七日の招待状午後十時 使の人届けてきた。私等二人で衣裳勲章等」 [FT00539,048]  
「大統領邸招待状」「3P小児の誕生日一才、お菓子にろそく一本立ててかく。」「午後大統領十七日公式招待の封書



- 来た」 [FT00540,099]
- 4月10日 「6h Temoins de leur temps 外交招待日 ジヤンロスタンド肖像カーナバレ美術館に入る事知つた。」 [FT00539,048]  
「仕事クロッキー一枚かいただけ」 [FT00540,100]
- 4月11日 「4h-9h Mermine David展」 「Finkel午後6F Colette 肖像渡す」 [FT00539,049]  
「巴里市美術課喜んで肖像をカーナバレ美術館に収める事にした旨と私の他の画を買い上げ又ハ仕事を注文したいとの旨の手紙あり。朝から卵持つ女の子3Fかき四時迄に油えにしてバレット大掃除する。」 「午後四時にExposition Vente de tableaux pour Foyers pour enfant de fusillés に6F Coletteの女の肖像らしい油寄附Finkel氏に頼なして上げた」 [FT00540,101]
- 4月12日 「4h Dufy展 Petrides」 [FT00539,049]  
「Petrides Dufy展けいば、galerie新しく明るくぬつて上々。私のためだ等と言ふ。しつかり大にやるとの事。ポスターも色でやるとの事。」 [FT00540,102]
- 4月13日 「8Fに教会模型をかき出す随分こまかにかく」 [FT00540,103]
- 4月14日 「教会の中の小画一日かく」 [FT00539,050]  
「朝教会の中の小画三枚かいて」 [FT00540,104]
- 4月15日 「教会の画」 [FT00539,050]  
「朝から教会の画油かき出し」 「午後もかく、夕方外の画も油で皆仕上げた。」 [FT00540,105]
- 4月16日 「夕方Kischka夫妻で来て私の画が一番評判でいい事になつて。Ville de Paris 喜んで受けカーナバレでいいかとの事。何れお札に風景たのむ事にして市の人が家に来るとの事。人形の好きな夫人に二枚Lithの上げた。」 [FT00540,106]
- 4月17日 「Président de la Republique au l'Elysée 私等夫婦招待。10h1/2 habit decoration 1274人」 「注文Mr and Mrs Greensfan new york city カーネーション紅、青の 盆、8Fヨコ」 「Mrs A. Sondime 50 Rue Francois 1er BAL 62-85九月十五日迄に」 [FT00539,051]  
「三時Mr et Mrs georges greensfan二人(若夫人) 去年来た案内のアメリカに住む佛人夫人 Mrs A Sondime連れて来てPetridesにも行つて見たと、カーネーション赤と白と支那の水色の井、うすコバルト色のバックよこ8Fにかいてくれ等例のアメリカの差し図の注文」 「九時夜支度燕尾服来て勲章つけてクラックのせて写真三四枚写したりして」 「コーチーさん私の画喜んでくれてすぐ側にかけて眺めてるととお礼言はれ元気ですか等」 [FT00540,107]
- 4月18日 「Recio Mr Herot directeur des Beaux-arts son sons direction Mr. Massier等に話してRostandの寄付のこの際兼ねてのRosetteの佛新大臣Bohtenneに話してその事遂行するとの事Recioの手紙アリ」 [FT00539,052]  
「鳥沢山小女の画にかき込む」 「教会一寸ぬつた。」 「夕刊に外交官の中に特別に私が画寄付したためにCoty氏が私を招待したと出たとの事 1274人の一人だつたのが出たのはいい事だ」 [FT00540,108]
- 4月19日 「バラの花買って10mにかき込む」 [FT00539,052]
- 4月20日 「花かく」 「私の一代記かき出す 永年の希望」 「マクロと鯛かく」 [FT00539,053]  
「雉子を最近かいて大統領に上げたお札にCotyさんが藤田を招待したがブユフエの上に又新しい画題を興味持った目でさがしてる 藤田新しき画題をさがすと出て特にかゝれた」 「一日仕事していい気持 展覧会の画世杖位出来Petridesへ行くのを今日は花かいて来週にして貰つた。」 「昼からバラの花丈け又かく。(リラとのバラバズ午前かく。)」 [FT00540,110]
- 4月22日 「日本へ五月早々岡見富雄二人別に来た 石版猫パン牛乳デッサ女やる」 「えびかく」 [FT00539,053]  
「朝ダンフェールに画にかく魚買いに行きいろく小かきのハ貰い、海老小さいの買って帰る」 「海老動くのを写生。岡見富雄二人来て五月早々フランス船日本へ立つとの事何にか記念に欲しいとて女のデッサン、石版小女小年パンミルク猫、Jean Rostand E, E一枚上げ、大喜び [……] 北斎の画集と日本絵画史置いて行く。入れ変りカルホルニヤ サンジューゴのWilliam Bristol Me Rugh Commander U.S Navy 夫婦明日巴里出発とて会いに来て1949年日本に居て私子供の肖像かいたとか、忘れて一寸想い出せなかつたが子供も大きくなつたとか」 [FT00540,112]
- 4月23日 「海老、魚、貝バックタイル等かく」 [FT00539,054]  
「海老二ツ、貝、小魚等かき込ミタ方又タイル四枚かいてバック作る。」 「大統領Elyseeでの写真Coty氏初めスーランジェールさんPila デンマルク大使夫人等との写真大使館の日本人夫婦写真届けてくれた一日夕方迄仕事忙しい」 [FT00540,113]
- 4月24日 「魚の画出来た(粹額たのむ)」 「Petrides 午後行く事 Vernissage 21 22 juin ポスターの画 猫と小児 45 33 かいてくれとの事」 [FT00539,054]  
「今朝とうく魚6Fかき上げた バック布地其他これハ細くて又面白い」 [FT00540,114]
- 4月25日 「午後五時半 Kishkaレジオンドヌール貰った年たづねて来て 1925年と答へ大臣に申告して今日にも君のが昇級する sans retarder 近々発表になるとの事だつた。」 [FT00539,055]  
「初めてArgus de la Presseアンデパンダン小児救済の売立等の名の出たもの送つて来た。洗濯やとる肉やい、美術家の



- 小供らしい子に見とれて一生懸命に覚える。Post 新聞や、えのぐや等に行つて帰り 小児見たものクロツキーして」[「今朝肉やで見た子油 0 Fにかいた。」][Jean Rostaunの肖像extraordinaireで皆んな友人等で一番いい傑作だとて誉めて握手した。] [FT00540,115]
- 4月26日 「夜女の子delegueさん肖像かく」 [FT00539,055]  
「昼食morandièreの娘さんの処で御馳走親子四人孫二人一時より四時迄女の子八才男の子十才小児画で写生男ハ難しい。Rostandの画誉められる。」 [FT00540,116]
- 4月27日 「10h-11h Conservateur musée carnaulet → Mr Jacques Wilhelm conservateur de Carnavalet 23 rue de Séoigné Archives 21-13」  
「午前delegueの男の子肖像かく出来 午後二枚カルトンにクロツキー二枚と共にはつて出来」 [FT00539,056]  
「朝 delegueさんの男の子肖像昼迄にかく出来、男の子一番心配のが一番よく出来て安心。」[「午後肖像二枚 クロツキー二枚カルトンに張りて重しかけて昨日の仕事すませてせいくした。」][「十一時 Mr Jacques Wilhelm le conservateur le musée carnaulet 来て Mr le conservateur と言つたら行々しい Mon Vieux とよんでくれ等 Jean Rostandの礼言つて巴里風景のimportantのをたのむ由。ピサロ モネからマルケ等の巴里風景も集め近代にハかく人なし私のが一番画としてもいゝから たのむとしていろく話し具体的にハmuséeに行く事にして私の蚤の市の画も賞めてくれて。よかつた。市と美術かんの注文 (こうではしないで) が来る様になつた事ハフランス人になつた事も大に意味あり。」  
「morandière夫人肖像とりに来て大喜び」[「Minie屏風三枚返却してくれたこれでさいそくをせず一年かしてやつた」][「3h 建築家私の猫を肩のせてる dessin 買ったがサインしてくれとて日曜本物が偽物かを見る事にした。」] [FT00540,117]
- 4月28日 「枠 カンバス作り」 [FT00539,056]  
「午前中張つた十四枚の枠 白ゼラチンぬつて午後三時四十分一通りすませ」 [FT00540,118]
- 4月29日 「3h 建築家 自画像猫デッサンサインの事。偽作で失望 デッサン上げた」 [FT00539,056]  
「朝から油カンバスにぬつて沢山枠を仕上げてる。」[「屏風二面マドンナの半身丈けの分の下に天女一ツ渋紙にデッサンして小刀で彫つてポツシヨアール初め四回裏表に押しして屏風完成夜になつた。」][「屏風作つてねた」] [FT00540,119]
- 4月30日 「小鳥二羽かく」 [FT00539,057]  
「小鳥正月元旦にかいた分又3 Fにかく。展覧会へ出す分。仕事。」[「阿部ソフアーに酔いつぶれ私をニユースで二つ見てCotyさんと握手勲章もよくうつり立派だつた 一方のは可成大写しとの事。」][「二人でモンパルナスgareのnews館55frsに入つて見た。Elyseeの夜会で私丈けCotyさんと握手白髪とHabitのカラが真白よく写つてた」] [FT00540,120]
- 5月1日 「ゴブランバック小女かく」 [FT00539,058]  
「女の子のバックタツピーかく事にして」 [FT00540,122]
- 5月2日 「ゴブランバック小女かく」[「画の写真午後うつす」] [FT00539,058]  
「電話で私の画三枚持つてる夫人Rostandの画賞めてくれる。いたんだものなほしてくれと言ふ今更大事にしだした人だらう私にとつてハいい事だ。」[「午前中から午後ゴブランのバック小女の油かく写真画いろく白黒でうつした。夕方迄ランスの彫刻バックにかいたりして仕事して」] [FT00540,123]
- 5月3日 「(11h1/2 pour charité une tableaux」[「3h E.Tlin 画なほしの女の人 Mr et Mme Philippe Edin 2 rue de Messine」][「桃 15P.(65×50) 風景 la Pré de Bicétre 1918年 12P. (61×46) 」] [FT00539,059]  
「3 P.ランスの彫刻二ツ裏にかき込ミ女にレースかぶせて午前中、一枚油えかく」[「シヤルパンチエで競売廿七日とかの芸術家救済へ6 F赤い服の子雉の屋根の上の塔のものあるものcombat寄付。」][「Mr et Mme Philippe Edin氏画なほしてむらいに来て1918年の風景と桃の花の額二ツ。直ぐ丁度ランス等の像バック、スイスの寺バックの画かいて終つて直ぐ手入れた。」][「ドレーグ子供デッサン二枚現金七萬法収入」] [FT00540,124]
- 5月4日 「3h-7h Salon de mai Président Wilson」[「de giotto à Bellini Orangerie 3h」][「夜Temoins展10h迄」][「三つ展行く」]  
「Sekiguchi日本へ出立の日とか」 [FT00539,059]  
「オランジリーに伊太利ジオットよりのフランスの地方のmusee集まりの分見に行く大変な人しかし立派でよかつた。ロスタンドのを誉める人私のを沢山持つてる人等写真もとられた。サロンドメイにTaxiで行く。皆同じく見える。一ツの型が出来てアブストレでもアカデミックの様になつてる。彫刻でも同じ二三種に別けられる。ピカソ、レヂエ、位は直ぐ分つても他ハ皆同じ程度勿論ひどいものもあるが、余程個性がなければ出られない。と土橋も言ひ田淵は自作に悲観して来なかつた。敬は土橋を盗んでる。日本人六人位皆未だ未だの感。クラブ等はいい方だつた。」[「八時からTemoins展始めて毎金曜日開ける事になつて行つた Recio Kishka等其他だんく来て大した寄付 (今日) きかず人集まらずシカ日くラルース来て写真とつて来年の字典 (廿世紀) に出す由」] [FT00540,125]
- 5月5日 「Petridesポスター クロツキーかく」[「木内克の住処き、てPostで私の処聞いてきた老夫人若い夫人ハ十一才の時私にPoseして学生館の壁画にありと Mme Delmas 114, cours de Vincennes 12me」] [FT00539,060]  
「Petridesポスター個展のクロツキー猫と小供いろく始める。油四枚ニスぬる。」[「写真色出来たとてとりに行く。レニエ ケリー結婚式TV、蚤の市、フェーライ市、花束其他よく写つてた。Habitの分も一枚丈け。」][「L'œil à Vercengetrix cité Falguière la Rouche 等出て近代の画家の生活出ててその内二個処も私の居た時と全しくPauvreの人沢山居るのハ懐

- かしかつた。」 [FT00540,126]
- 5月6日 「3枚8号小供と猫の画かんばすに墨がき一日する」 [FT00539,060]  
「朝から何度も昨日から書いたクロツキー何度も書き直したりして終日夕方迄に8F二枚8P一枚に小女と猫を三枚かいた。」 [FT00540,127]
- 5月7日 「三枚8号小供と猫かき 60Fの小供クロツキーかく」「夜田測来た 日本の事をなげく。余りにも画論はいゝかげんな事だと。」 [FT00539,061]  
「三枚8号小供と猫をかく油で又新しい試みやつて見た。」 [FT00540,128]
- 5月8日 「nakashe 版画展招待ベルギーへ」「60F小供女の子かく。(すみ)」 [FT00539,061]  
「ナカツシ氏Belgiqueでやる版画展によんでくれた。」「朝から60Fの女の子かく事にして大キャンバスにすみでかく事にした。後で消した。」 [FT00540,129]
- 5月9日 「三枚8F女の子猫かく。」「五時ランペール ロスタン石版サインの事75枚貰った」 [FT00539,062]  
「朝から8F2枚8Pの小供猫の方仕上げ油えとりかへくかいて一日くらす。」 [FT00540,130]
- 5月11日 「60Fかき出して一日暮す」 [FT00539,062]  
「成井の手紙中々画がうれず 滞欧展続々あり、個展の並くならぬ苦勞や、私の評伝と安井氏の死後二つの椅子をねらつて大変だとの事。安井氏の死後安いを神様あつかひしたおろかさとか芸術に対する批判も可成り露骨になつて来た様だ 画商あたりも、やつぱり藤田がえらいと言ふ私の画を欲しがつてると言つて来た。」「昼から60F大作にかゝり蚤の市かき出しとうくこの間かいた中央の女の子消して静物にする 君代惜しいと言つたがその方がいい。思い切つて半日の仕事を消す。」「モーランジュエル小供の画の額さいそくたのむで来た。」 [FT00540,132]
- 5月12日 「一日60Fいろくかく中央時計裏の家ナポレオンの額等夕方になつた。」 [FT00540,133]
- 5月13日 「昼Edin氏画取りに来る事古い画なほし。」 [FT00539,063]  
「一日朝から60Fいろくかき込ミ終日仕事」「午后アメリカ人Lifeの人写真きもつて来た一人ハ桑港のスタクポール氏の息子」「夕方迄又画かき大分出来」 [FT00540,134]
- 5月14日 「朝から60F仕事」「十一時半ドームへ行くLifeの人二人スタクポール氏と外一人テラスのかこいの外の日当りで写真沢山写してマネカットメキシコからNYへて帰つて来て、リベラに会つたとか、N.Y timesに写真ロスタン其他沢山出たとドイツの新聞にも出たと言ふ。」「写真キヤノン ニツコン ライカ等で写される。」「午后仕事一日。」 [FT00540,135]
- 5月15日 「60F五日目の仕事。」「一日仕事夕方全部デツサン墨がき終つて」「知らぬ人花の画戦争中ガルドムープルに預けて古ぼけた大事の画見てくれとの事又今日も出て来た」「京都文藝春秋に私の偽作の観定たのまれる五分ノ一は偽作秋田辺で出来る等と言ふ田測等怪しい。」「六十号一枚かき上げ(すみがき)いゝ気持ち夜一人で眺める。」 [FT00540,136]
- 5月16日 「8 mai 女ノ子かく60F 11日女ノ子決して中央にマネキン型にした60F 12 13 14 15日 仕事 16日今日6日目の仕事」「60F色油つけ一日」 [FT00539,064]  
「今日は60F一通り出来夕食前ボアソナード等と眺めいゝ画だとしてつくく帰つても又眺め一日嬉しい日何によりも画の出来た時ハ嬉しい。」 [FT00540,137]
- 5月17日 「一時La Baronne Guy de Rothschildの昼食。Kischka Recio外に画人Van Dongen Paul Kolin, ゴエルグgoerg,等十人許り赤い室marcel grimondアゴヒゲ彫 ルーベンス、レンブランあり」「三人灰色の上着のボーイ、批評家賞金アンドレワルノー呼ぶ。(十萬法)アカデミシヤンの人私のRostandを大に賞めてとてもアンテリジヤンに出来てると言ふ。」「帰つて画60F見る。朝左に赤Vinsのびん入れたり、マニユカンの足黒かいたり未だかわいてない。」 [FT00540,138]
- 5月18日 「2h1/2 花の画なほしの人来る事」 [FT00539,066]  
「朝から60F最後の仕上げ始め」「Etein氏と同じあば一に住む友人昔ボエシーを散歩してcheronで二人で日本の大家だと聞いて二人共買つて持つてるバラ三輪白くかいた十五号の画よごれてたシヤボンで洗つてすこし手入れて全くかいた当時1918年頃のアブソルバレの画になつたよかつた 一日60F眺めて満足今年の傑作の一つになつたとも思ふ Rostandハ去年今年ハ蚤の市と飲食市合併の図 Je reviens de suiteと言ふ昼めしの時の画かく」「雑誌社(コネサンヌブル)三度も電話かけて仕方なく写真デルボースに明日来て写してくれと頼むだ。今日私も白黒で二枚写して置く。」 [FT00540,139]
- 5月19日 「9h1/2エルベシオン写真婦来て60Fより小品迄廿枚次々に写す。10 h1/2 Steinの兄さんJules C. Stein new york (The Incurable collection) 画商と古物商私の画が一番好きだ。とてmaisonのGalerieに一室私の画許りで飾りたいとて一年位の契約コントラしたいとて話込む 丁度いろ展ありて小女や鳥や其他蚤の市学校クロシヤールも好きだ等15号8号以下も月三枚位づつ買いたい等。アメリカで独りやりたいと言ふ」「午前中、額に番号打つてカタログの用意して丁度出品数廿二枚出来てた。もう一ヶ月あるから四十枚にハなる見込み。一安心した。」「女の画家岡田さんTemoins展のカタログにサインしてくれとて持つて来て」 [FT00540,140]
- 5月20日 「ボヘミヤンかく」 [FT00539,066]  
「60Fに始めかいたボヘミヤンの女の子25Fにかく。上々 午後はバックにルレット車二ツかき入れ夕方になる。」

- 5月21日 「すみ ポヘミヤンかく」 [FT00540,141]  
「一日ボエミヤンの女の子ロレットの前の画バツク車二台かく。一日仕事夕方迄に仕上げ。」 [FT00539,067]  
「一日ボエミヤンの女の子ロレットの前の画バツク車二台かく。一日仕事夕方迄に仕上げ。」 [FT00540,142]
- 5月22日 「2h1/2 花とりに来る。Edin友人」「60F 9500 外八枚額出来32800」「Mr Wittlin n.y. modiglianiの事に就て問合せ書面で来た 直ぐ返事出した。」「油。ポヘミヤンかく 25F」 [FT00539,067]  
「画架のハンドルなほしに行く。Postでロスタンド氏に石版六枚村山にCotyさんとの写真送ル」「25Fポヘミヤンの子車、油えかく、一通り薄手に出来干かす必要ありてやめた。」「写真やに行つて廿一枚各五枚17640支払い夕方コネサンスd'artの人来て一枚Je reviens de suite渡し」「Perrière額60F 9500 外八枚夕方届け32800」「02h1/2 Edin氏の友人親子バラ三輪 (1918?) のなほした画とりに来て喜んで帰つた。」 [FT00540,143]
- 5月23日 「Petridesに行く 8 F12 13 14 渡してVendu。一枚をAffichelにする」 [FT00539,068]  
「写真廿枚に通し画題と大きさ番号かいてTaxiで8 F小女と猫三枚持つて行く。六月廿七日mercrediからとの事に一人決め一番いい好節だ等と言つて。三枚分買いとりで金くれて」 [FT00540,144]
- 5月24日 「Bon marcheにToile買いに行く」「仕事ポヘミヤン娘色二回目の仕事。」 [FT00539,068]  
「又大作したくなつてボンマルシエに布買いに出る事に。カンバス布五メートルメートル180幅1080フランだった」「午後25F女の子ポヘミヤン色二度目思い切り強くした。」「夜朝鮮人金氏四五枚の画持つて来て見てくれとの事」 [FT00540,145]
- 5月26日 「注文 Mr Sorin 885 Park Ave NYC 夫婦で来た バラ、ケシ其他矢車等 3 F又ハ4 F、二枚 色filmで見せて送る九月頃 200弗位一枚」 [FT00539,069]
- 5月27日 「ルクサンプールで平賀散歩してるのに会い、Dr E□□lue Rostandさんの肖像丈けがいゝとて大に誉めて娘の肖像かいて貰い度いとの事。」 [FT00540,148]
- 5月28日 「5h Jean Rostand氏来る事」「夜今泉氏来た ・近代美に二枚位 ・写真の蒐集全作品 ・付記の事」 [FT00539,070]  
「3号Fに女のプロフィールかき出して」「今泉氏又日本より来て私の猫の争闘40F油とメキシコのしやがんだ男デッサン近代美で買った由。私に二枚位入れていいのがあれば買いたいし、写真作品 (全作品の蒐集と付記と欲しい等又いろく日本画家の秘話。安井さん千萬の借金五百万の画サイあつた話 川島の女房死んだ再婚の由。日本ハ中々難しいとの事」 [FT00540,149]
- 5月29日 「モンパルナス写したベルナル氏来てよく写つてたと言ふ」 [FT00539,070]  
「朝から仕事25Fボエミヤンの子かく。最後の仕上げ強くした」「六時ロツチルドさんの処Temoins展三日終了のねざらいの会あり 百五十人も集まつてGarden partyマチルドロツチルド田舎 (20KL) の処に私犬サーカスの大作1921のがあつてすこしも変つてぬ。今の人のハ二三年で変わるのが多い いゝpeintureハたしかだと言ふ。ジールボエール久し振りに会つたもう五十年も前から知つてると言ふMme Demosの顔かいたのを持つてると言ふいい画だと言ふ。」「ピロン、ワルノー・ザドキン等エロンドゼルナース等 (ソーの九日展に郊外写生の画たのまれた。) 美術商長等私を除いて外にハ肖像画いゝのハない等と誉められた。キミカに地方展のポスターかいてくれとたのまれた」 [FT00540,150]
- 5月30日 「4h 写真現像出来」 [FT00539,071]
- 5月31日 「Dômeに行くトラックなくて画遅れて十一時半80番の学校で500枚の審査11人の画家で始まる。」「一時近く迄かつて二廻り審査」「又学校で六時迄審査ロット等一番にpeintureと言ふ事を切りに言い、サンシビリテ等ハ無視してる。やはりカフェ等とハ考えが異う。ピニオン等もいゝ。ピニオンもおんとうだ。土橋ハ最後迄皆いゝとて一度のいつかりもなく末村さんハ最後に落ちた。北齊なんかのデッサンと比べると駄目だと言ふ無理もなし。Barryもロット一番反対して救つた人もあつたが落ち朝鮮人金ハ一番に落ちた。」 [FT00540,152]
- 6月1日 「隣の室明くから何うかとのcontyの話あり。」 [FT00539,072]  
「Dôme 審査会ありて二時に終り一等Isan十五万梨 二等二人Seguin 静物、Boim男二人と極まつた。」 [FT00540,154]
- 6月2日 「11h1/2 conty会见」「12 Mr Roger Boas St Francisco デッサン70弗」 [FT00539,072]  
「青地に白抜きで始めて見る何うなるか。」「十二時桑港のBoos氏息子Roger氏来て未だ子供の頃私が御飯にも呼ばれたとの事madの画其他も持つて35弗の画買つて来てくれとの父の話だとして余り安いので倍にして70弗で譲る」「三時頃Palais Royal展に5 F la cour rue Daguerre 届けてdessin トンボラに一枚寄付」 [FT00540,155]
- 6月3日 「conty Alesia 10-26電話 隣家買ふ事決定」 [FT00539,072]  
「4 F昨日のケシと矢車草色ぬつて墨も入れてやつて見る。女の顔もなほして見る。」 [FT00540,156]
- 6月4日 「朝二枚二号F色つけバツク板の目トリックでかく女と小供」 [FT00540,157]
- 6月5日 「三枚Petrides届け」 [FT00539,073]  
「Petridesに3 F1枚 4 F2枚届け」「Kischka女房と二人来てVichyとBorqus展の二ツポスターと出品外に四人展Vichyもたのむとの事承知 こゝで6枚古い画出す事にした。Temoinsのポスター、ピカソのリト写真貰いRostandのリト上げタ



- 食に来週Recioと五人でたべる受け、あの件も大臣省に廻つて愈々決定近々下るとの事たしかだと言つてくれて嬉しかった。」 [FT00540,158]
- 6月6日 「出品通知出す Vichy Bourges Seaux Conches」 [FT00539,074]
- 6月7日 「朝Petridesへ10m花バラとリラ6F魚持つて行く」 [FT00540,160]
- 6月8日 「午後ポスターの画一枚かいて見た。」「Marie Laurincin死んだ日」 [FT00540,161]
- 6月9日 「デツサンかく」 [FT00539,075]
- 「一日仕事デツサンかく」「小額等届いて画入れたりする。」 [FT00540,162]
- 6月10日 「近藤すすき四人 Salon art decoration cinema monmatre marie Laurencinの石版600で買った 彼女は昨日死んだ。」 [FT00539,075]
- 6月11日 「10h1/2 rue de Fourの方からPetridesに行つたらMarie Laurencinの葬式に間に合ふとてすぐTaxiでEglise St Pierre du Gros Caillou Rue St Dominiqueに行く百人余りの会葬者親戚もないとて直ぐお棺運び出しお別れする。」「三時半Petridesに二枚届けゴブランの娘けしの花百萬法半分現金小切手貰つて帰り France soirに今朝の会葬者の有名人の中に名前出て居た。」 [FT00540,164]
- 6月12日 「10h Petridesへ画送り出す日、(廿枚) 雨」「静物3Fかく」 [FT00539,076]
- 「10時Perrière廿枚Petridesに届けてくれ60Fは雨のため見合わせた。」「静物糸針等3Fにすみかき始め4h Klein来て三枚獣医の人等のPrefaceかかされた。」「TelでNakacheからBelgique Liege展出品の事たのむで来た」 [FT00540,165]
- 6月13日 「12h moins 1/4 conty 250の事 二百五十万法現金 君代立ち合の上手渡す 廿五番室アトリエにて」「静物3Fかく」 [FT00539,077]
- 「8h Kischka デツサンとりに来る。」 [FT00539,077]
- 「Kischka二人して来てポスター原画二枚渡し 8F人魚額の方 Bourges展の分渡す」 [FT00540,166]
- 6月14日 「60F届けてくれたPetrides蚤の市へ」「4Fアネモネかく」 [FT00539,077]
- 「力持ちのJournef大道芸人クロツキーかいてくれとて兄ちゃん来た。」「Wingateへnew yorkのえとる事電話かけてたのむ。花アネモネ見たいな花買つて4Fにかく楽にかけた。」「Perrière60F Petridesに届けてくれた。15Fの花の画の額金のとかえてくれとて持ち帰つて来たPetridesも額の趣味余りよくなし。」 [FT00540,167]
- 6月15日 「4h1/4画とりに来る femme aux dentelles 15m musée de courbevoie Mr george Poisson」 [FT00539,078]
- 「朝から花色でかき4F静物も色でかく3F(二度目)」「素描五枚のりばり厚紙にした。」 [FT00540,168]
- 6月16日 「けしの花かく。」 [FT00539,078]
- 「けしの花買いに行く。」「一日けしの花矢車草(4F)にかく。」「隣の画室の計画やこれからかく画の構想等にふけつてる事ハ楽しい。」 [FT00540,169]
- 6月17日 「花かき出して三枚にかき加へて一日かく。」「Yvon (Jacqueline)の 来ていろいろ履歴写したり話したりして大静物1蚤の市 2学校や 3子供と馬をととも賞めてくれ、1ハ シュールで時計が十二時半で心臓打つてる。周囲ハ キュービズム等、いろんな材料でくみたて、アンバンテール(発明創作)素晴らしいと言ひ、3ハ子供と馬、タツピスリーの森に入れぬ処がいゝ等いろく言つてくれ、帰つて写真guyに見せたらしくguyから直ぐ電話で画の事とともいゝこれでやれ、うれしい等学校も何うしてかく気になつたか等とても喜んで安心したと言ふ。」 [FT00540,170]
- 6月18日 「Petridesに写真皆渡す事各三枚届けた午前中」「花三枚かく色油」 [FT00539,079]
- 「カタログ見て写真の整理三枚ツゝの分Petridesに届ける事 午前中Petridesに写真各三枚届け6枚もう売れたとの事。喜んでた。」「午前中から午後にかけて花三枚色かきして一通り出来、Petridesのもの皆すむ裏もう一度かけばいい」「休んではいけない。何んでもかくつもりだ。花のクロツキー ペンでかいておく。」 [FT00540,171]
- 6月19日 「Exposition du Trait musée d'art Wallon à Liège 7 juillet-7 Aout nakacheの話 かし」「クオンの人 ラビエとか言ふ人大デツサン色変つて何うにかなるか相談に来た。」 [FT00539,079]
- 「Temoins展Menton palais de Biennale26日より始まる招待状来た」「Liège展に石版二種四枚出品(ナカツミ氏)」「午前中リオンの人ラビエとか言ふ人画四五枚持つて大デツサン女裸体寝てるのが紙が□く白い処青くなつたとかで何うにかなるかとの事先ツ写真送つて見てくれとたのむ。」 [FT00540,172]
- 6月20日 「画を見て欲しいと言ふ人 Madame gosse 163 rue du Chateau des Rentiers 13me 返事した。」 [FT00539,080]
- 「昼十一時半Porte de Versailles concour Lepine inventeurの審査に行く」「美人の役者五六人 Maurice Garcon審査長一時半迄見て、chauffage gamel一番だつた。」「額三ツ届けてニスぬつたり三枚花のバツク油かく。」 [FT00540,173]
- 6月22日 「Petridesへ画届け大満足 Bal de Voirer 私の写真大評判」 [FT00539,081]
- 「ニス花三枚にぬり小包してPetridesへ運ぶ荷物作つた。二時Petridesに花四枚運んでマニフキツクとて大喜びもう十何枚売れたとて未だ描いてくれ、金が必要ならこゝはお前の銀行だからいくらでも上げるからそう言へとの事で上々機嫌カタログ貰つて」 [FT00540,175]
- 6月23日 「Zarige朝五枚dessinとりに来る事」 [FT00539,081]
- 「Zarige来る事忘れてた。昼前来てdessin五枚持つて行き又水彩たのむで行く。」「Petridesたのみの画油又かく事にして、



- 額もたのむ。」「午後男の子と猫 5 Pに一枚墨がきして出来て上々。」 [FT00540,176]
- 6月24日 「午前中から一枚 5 P女の子猫ニツ持つのをかく すミ画四時迄に一枚仕上げて」 [FT00540,177]
- 6月25日 「25-30迄の間 12 Rue Ganneron Paris XVIII E. DECORCHEMONT concierge Mme Henin Exposition Conches (Eure) Fortification 4 P Peinture 届ける事かし」 [FT00539,082]  
 「3h Edinger (一万法) 裸体 夫妻で来て画渡す 1926年」  
 「二枚 5 P子供と猫色つけして一通りかき干かす。」「3h Mr et Mme Edingerに画なほして渡す 裸体 4 F 1926」 [FT00540,178]
- 6月26日 「九時にMme Franchi のTellにて展に行く友人二人Mme ブロアガも連れて行くし廿枚許り招待状欲しいとて私たち二人も画も好きだと言ふ。水彩ジャリツジ氏の下画三枚Crayonでかいて置く。」「四五年前東京に行つたシカゴの人おきなわの石橋の私の画買ったのでシカゴに持つてが今度の展覧会に出したい。自分も私もPetridesもよかつたらPlaisirのためにとりよせるとてPetridesの承知の上の店からのTelで面白い人もあるものだと思ふ。」「夜のTV二ニュースの次ぎ巴里の貧乏家の例二三出た処私のかいたJe viens de suiteの石段と白壁が出た 巴里の発展改築の例に出たのハ私の目もたしかだと証明した。」 [FT00540,179]
- 6月27日 「Petridesに行く個展ならんでた」 [FT00539,083]  
 「四時 Petrides へ行く。夫人並べ終つた処で、番号札つけたりして」「アメリカ人Jr win Lesser ポスター一枚1000で買つて行く画八十一枚もう売れてた。又どんく かいてくれとの事。大に喜んでた。」 [FT00540,180]
- 6月28日 「Petrides個展大勢来た Damiaも来てくれた」 [FT00539,083]  
 「5 F女の子二人墨がきして」「伊原三時に来て二人でPetridesに四時前に行く 大勢人々来て五時ハ一番多く来た。ピラ二人 モーランジュエル夫人娘子供二人 バツシヨン二人クレール フキリツフ Selz Recio ギタ ボアソナード クローリア 米国大使夫人 ダミヤ キング氏 日本人 石井好子 アサブキ 土橋 田渕 金山 堂本 敬 齊藤 広島の人で堂本のフイオンセの美人 美容師柏木? 其他 Franchi 二人 友人 ヅロウアガ 何百人も見えた。皆大に賞讃してくれた。」「帰りにrue de l'université La Duchesse Pozzodi Borgo ノGarden Partyに行く 6h-9h 五六百人 私がかいた娘さんも大きい立派な夫人となつた。肖像ハ奥のサロンにあつた 金地に小犬。バンドンゲンが居て未だ私の個展見に行かぬ等と言つた。」 [FT00540,181]
- 6月29日 「Fortificationの画届ける事土曜日にする」「午後写真出来てる事。Petridesへ届けの事。」 [FT00539,084]  
 「朝伊原遅いので3 Fの油えの下がき子供とつた猫等かき」 [FT00540,182]
- 6月30日 「私の裸体デツサン十万で買った画家(素人) に会つた。一度帰つてポスターPettièreに届け」「エルボシヨンで写真とつて各二枚四十七枚3850」「モンマルトル12 rue ganneron にExposition conchesにFortification 4 P一枚届けPetridesに行く 主人休ミ、人ボツく 来てる昨日も今日も大勢来たと帖面に日本人の名、齊藤佐藤、土橋 田渕 伊原 石井好子 堂本尚郎 毛利真美 朝咲登水子 初め(第一日) 新道 大内田 大沢 松田文子 松田伊作 平賀 久松瀬右衛門(日本の誇り云々) 辻清 何処かの国長の名 青山芳雄(廿五日来巴とあり) 大分来て居た。」「又小品二枚売れてた。」 [FT00540,183]
- 7月1日 「二枚 5 F 3 F 新しい 二枚 5 P 5 P 一度かいた 以上四枚油えで一日かく。人も来ず。」 [FT00539,085]  
 「5 F 二人と猫 3 F 小供猫つた 新しく 5 P 男の子と猫 5 P 女の子と猫 一度かいた 以上四枚一日油でかいては休ミ又昼ねしてハかき何度も夕方迄かく」 [FT00540,185]
- 7月2日 「retirer de Toile Palais Royal 2, 3, 4, 5 juillet 三日の日画とりかへした。」 [FT00539,085]  
 「だまって一日仕事 2 F 二枚女と鳥小鳥と鳩二羽かいて墨がき」 [FT00540,186]
- 7月3日 「朝油かく」「(返却) Palais Royale 画とる Galerie de Seine 猫とる Petrides」「Petrides の分AA. 5 F deux fille et Chat 直ぐうれた AB. 5 P garçon et chat 笠戸氏 AC. 5 P fillet et deux bébé chats AD. 3 F fille a la fenêtre (chat)」 [FT00539,086]  
 「廿枚売れた。ジルベール会場で水彩等かいてた」「Palais Royaleで油画風景展の返却して貰いGalerie Seineで猫のデツサン返へして貰い売れた分の金貰えず」 [FT00540,187]
- 7月4日 「Mme Ozeel INV. 14-70 九月15日に電話 四五十萬位の画欲しいとの事。」「キャンバス張った」 [FT00539,086]  
 「若いOzeelと言ふ夫人何うかしても売れてくれとて中々断るのが難しかつた。」「枠にキャンバス九枚午前中張る。」「Petridesに三時半に行く FranceにJean Marie来て居た。又小学校小品昨日の女の子と猫(四枚の内三枚うれた)」「galerie 28の女主人の人画三枚位欲しいのが皆売れてたとて九月頃にかいてくれと笛の少女 猫と小供等。」「枠 8 F. 8. 額 8 P 一枚買つて帰る。」「夕方支那さんの画家さしえの本の事本やからたのまれて来て会つてくれないかとの事出来ぬと言つておく。」 [FT00540,188]
- 7月5日 「gibergues 208 Av. du maine (Séгур 04-36) Dépôt de tableaux pour des amis de Brantome madonne a la croix 121m. 450.000frs 送り出し」「dejeuner 1h 西村、石橋正二郎 大使館」「Vichy galerie de l'Hotel des Parc. la Rêve 12F 475000 la Sirène 10F 320000 a la Cuisinne 8F 270.000 Dépôt Bailly 148 av. du maine 送り出し」 [FT00539,087]  
 「朝画の事整理Vichyに三枚六人展送る画 notice等作成したりする。」「朝canvas白ゼラチンぬつて」「ペトリデース電話

- で今日も大変な人で見物人絶え間なく大成功で廿九枚うれた。Sacha Guitryも来て小品欲しい等私が紹介した人も来て二枚買った等出来るだけ展覧会長くして、どんくかいてくれ等と大喜びだった。」 [FT00540,189]
- 7月6日 「Vichyへ三枚キンカ展六人 一枚 大勢 Festival. Avis de Brantome 一枚 君代と送り出す。」[4h 伊原 石橋二人 富永氏等来る由。] [FT00539,087]  
「Petridesより一枚傷のついたのをなほしてくれとて持つて来てなほした。返却する。世枚売れたと言ふ」「四時石橋正二郎夫妻 (夫人山下新太郎の弟子) 富永さん 秘書寺中 伊原来て一時間半も居たが石橋さんハ話余りせずニコくしててる丈け夫人ハ可愛らしい人いろく珍しがつて見せたりして小便の男の子女の子の小品記念に上げて喜んでくれた額等二寸五分×二寸位」 [FT00540,190]
- 7月7日 「5h Presse interviewの人」「注文の額沢山出来をPetridesたのミ 8 F. 小女猫同じもの二枚かく日」 [FT00539,088]  
「Petridesのたのみの8 Fの女の子猫同じものかく事にしてボツく初めて一日かゝり出来夕方迄に墨かき終つた。」 [FT00540,191]
- 7月8日 「Syndicat d'imitations de conches (Eure) 8-15h Peinture Fortification 4 P 160.000. 届けすミ」「仕事の日 2 F二枚猫小供かく日。」 [FT00539,088]  
「8 F女の子猫花バツク模様午前中夢中でかき上げてよくPetridesの処から持つて来たのと同じく出来た。2 F二枚ニスぬつた。」「二枚2 F女の子と猫かき出して夜に近くなる八時過ぎ迄油でかき上げた、随分仕事した。」「午前中8 F小女猫の画もたのまれてかき今日ハ気分よくなる。」 [FT00540,192]
- 7月9日 「Petridesに行く 2 F小鳥と娘 2 F鳩と娘 届けた」「8P 女の小供と猫かく。」 [FT00539,089]  
「初めて15号の小学校等うれた。」 [FT00540,193]
- 7月10日 「Mr Charles Ravier 12 rue de la Republique Bureau 52-11, Lyon 古いdessin裸体ねてる見てくれと写真持つて来た人」「ダンカン の 処へ水彩一枚とりに来た かす。」「Petrides 2 F 2 F 8 F 猫と小女。届け」 [FT00539,089]
- 7月11日 「(4h) Paris Sir interview Petrides 同じ本屋の人」「Petridesに8 P小供女の子と猫」「土橋家に来てこの画を日本の鉄の社長が買った事にして届ける」 [FT00539,090]
- 7月12日 「Raymond Duxan 31 rue du Seine 12 juillet -31 Août Exposition 二枚かす事、十日にかす。かした」 [FT00539,090]  
「午前4 P女の子と猫かく」 [FT00540,194]
- 7月13日 「avant 13 juillet dépôt 148 Av du Maine 14me Transports Bailly monsieur Marbois DAN 71-50 Exposition Vichy "le Matin" 12m du paris et du lait. かした」「4 P二枚油 笛と小鳥の女 女子と猫 油でかく」 [FT00539,091]  
「Seferte 1913年頃の古代風俗の女ギリシヤ神代 デツサンに証明してくれと来た。」 [FT00540,195]
- 7月14日 「4 P 女の子一枚かく」 [FT00539,091]
- 7月15日 「4 P 女の子 花バツク模様」 [FT00539,091]  
「二枚ニスぬつた仕上がった。4 F Chasseuse d'oiseauxと小女と猫。明るくブロード。もう一枚昨日の小女とバツクは図案の家二軒かいた分油にして仕上げ」「4h頃から毎日の様に仕事したくなつて4 P持ち出して女とバツク花模様で一枚明るくかいて油え8h迄かかつて未だ色かける夜が遅い。」 [FT00540,197]
- 7月16日 「BEDFORD Hotel Rue de l'arcade Dominion gallery 1438 Sherbrooke St W. Montreal Max Stern P.H.D. Tel Herbour 7471. 来て dessin たのむ」「Petridesに4 F. 4 P三枚届けた」 [FT00539,092]  
「二枚ニスぬつたりして仕上げた。」「カナダの画商二人来て二人亭主ハドイツ人夫人ハスエーデン人三年前のいい批評見たと同じ通りの隣人の大男と来て画ないか。無名の将来の画家ハ唯れか等デツサン注文して行く。」 [FT00540,198]
- 7月17日 「一日仕事デツサン三枚かく」 [FT00539,092]
- 7月18日 「朝三枚墨デツサン鳥の子書いて一枚破つた 二枚出来」「昼より4 P二枚 女の子と猫 女の子椅子にこしかけてる。レースバツクに二枚共かいて」「Dr Sauville氏 Tel 友人の女の人画が欲しいので連れてくるとの事24日。」 [FT00540,200]
- 7月19日 「3h 浅田長平 神戸製鋼所社長 外四名」「Petridesに行く。sur Boulevardの15F買はれた」 [FT00539,093]  
「一枚6 F小女と鳥かき初め」「神戸製鋼所社長浅田長平氏夫妻ストックホルム コペンハーゲンより今日飛行機で来て着その仮私の処へ リュセルドルフの三菱の人鈴木もう一人と大使館寺中氏加藤氏夫人等で来て、私の画が好きで人で銀橋が持つてた夢 (私の弟だと言ふから驚く) 太田の崖の画 女と子供等 大分持つてる等」「根付けから蒐集のくせがつきせとの版画其他画。禅宗の字等」「Petridesに行き女の子猫土橋と極めて置いたのをSur le Boulevardの姉と弟の方がこれえ、これに決めた等と15Fにする事にして」「胸に十字にむすんだ女の子の画Pisoarsの孫娘さんが買ったとの事。今日は車に乗せた花も売れた。ブラジル大使も小品買った。」 [FT00540,201]
- 7月20日 「Petrides二枚 4 P女と猫 4 Pダンテル 女子ゴブラン椅子 届けた Le Princeうれた」 [FT00539,094]  
「6 F女の子レースで大分かいた。」「Petridesに昼4 P 女の子ゴブランの椅子レース 4 P. 女の子猫桃衣レース持つて行く 四十五枚売れたとてLe Prince 20Fもうれた。これて大のが学校 sur le Boulevard Voiturette等四枚もうれた オランダ Ile de Marken コルニュー大臣欲しいとてこれハ特別に安くすると話した」 [FT00540,202]
- 7月22日 「朝から一日デツサンかく」「昼ねして又夕方迄仕事。四五枚かく。」 [FT00540,204]

- 7月23日 「Exposition musée Courbevoie fini」 [FT00539,095]  
「dessin三枚位かいた。」「Dr Sauville夫人連れて来て Exotique oiseaux又ハ デンマルク寺塔の娘の様なもの欲しいとの事。」 [FT00540,205]
- 7月24日 「朝Taillemas 古物商 Aulaquaire 17 Quai Voltaire Eit.03-71 1.80×90 Port 50 4.60×240 Tab 600」 [FT00539,095]  
「dessin二枚位かいたりして」 [FT00540,206]
- 7月25日 「デッサン16枚厚紙に張り 2枚クロッキーかく」 [FT00539,096]  
「夕方二枚クロッキー新らしく女かいたりして」 [FT00540,207]
- 7月26日 「二枚午前中dessinかく」 [FT00539,096]
- 7月28日 「Vichy展始まる日 le matin 牛乳とパン 12M届けるか取りに来るか?」「Stern氏canada 10F 小女□貧乏人一人 10F 小女三人中央人形だく dessins等600.000の事」 [FT00539,097]  
「午前中より廿一枚枠にToile張つた」「二時Cauada Stern氏来てdessinハ売りにくいと水彩か金地なればとてもいい等。10F小女□びんぼう人中央 10F小女三人人形中央いろく 棚の上ガラスびん等の二ツ欲しいとて六十萬で約束して帰す。」 [FT00540,210]
- 7月29日 「油え 6F小女二人小鳥一羽花模様三列にかく」 [FT00539,097]
- 8月2日 「伊原午後一時 オンフロールへAuto (二万) で出かける日」 [FT00539,099]  
「Petridesに十一時に行き計算百三十三萬五千の内 1,325,000 800,000小切手 525,000現金 残り九枚は明朝届く事二枚魚鳥静物はかしく 家で調べ一枚まちがいあり。4F貫ふ事。」 [FT00540,216]
- 8月3日 「朝運送や九枚届けて返へして来た。Petridesより」「ランベール展の事たのミ」 [FT00539,100]
- 8月4日 「石原 土方 カマクラ展のたのミ」「白布カンバス張る」 [FT00539,100]  
「十二枚枠にトアール朝の内張る」「昼から廿一枚白ゼラチンぬつて干かす。」 [FT00540,218]
- 8月5日 「白ゼラチン廿一枚塗る布、枠、」 [FT00539,100]  
「トアール白油ぬり出して午前中と昼食後すこしぬつて十四五枚仕上げ」 [FT00540,219]
- 8月6日 「白色ぬる」 [FT00539,101]  
「朝から又8F以下4位迄の十四五枚カンバス油白ぬり初めて」「夕方迄カンバス廿何枚皆昨日今日で仕上げ」 [FT00540,220]
- 8月8日 「Stern 2h 1/2 画買った。」 [FT00539,102]  
「午後二時Stern氏来て 川岸エツフェル塔見える貧乏人15F 橋下十号、二人男女、小女二人六号、静物糸針三号新たに買って丁度百萬法置いて行く。」 [FT00540,222]
- 8月9日 「10h canadaの画取りに来る事」 [FT00539,102]  
「朝Sternの画六枚運送やとりに来た渡す」 [FT00540,223]
- 8月10日 「午後アメリカンHarry Helbreuの女の友人画の事きゝに来た出来てるかと?」 [FT00539,103]  
「アメリカの女ノ人Harry Helbreuの友人10Fの画出来たかときゝに来て九月終りと言つてやる。」 [FT00540,224]
- 8月11日 「Petrides展六十一枚の内五十三枚うれた」 [FT00539,103]
- 8月13日 「週刊朝日で宮城道雄さん汽車から落ちて6月25日かに死んだとの事。森赫子さん盲目になつてる事等初めて知つて人間のあわれな事無情な事にとても淋しくなつた。」「伊原の息子来て鶏水たき(フランス流)で昼三人でたべ ベニス日本館も内容の美術品も大したものでもなかつたとおやぢと反対の事言ふ。棟方氏の版画もc'est pas malの程度と本当の事言ふ。日本と言ふ処ハ真價以上に思い上がる事多いから困る。」 [FT00540,227]
- 8月15日 「0F女の顔久し振りに油かく」 [FT00539,105]  
「0Fの女の顔と煙草の箱にかいた画バックにして油一枚かいて見た。」 [FT00540,229]
- 8月18日 「0F三枚1F一枚すみがきした」 [FT00539,106]  
「0F三枚小児一F娘すみがき午前と午後やつた。」 [FT00540,232]
- 8月20日 「長谷川路可 若い二人の女。彫刻家ローマ連れて別れに来た。」 [FT00539,107]  
「小品四枚にいろくバックかいた。」「長谷川路可来月日本へ帰るとて、別れに来てローマに居る若い美人の日本の娘さん 巴里に居る若い元気の夫人(リユーマチで三ヶ月入院の人)等連れて来て写真とつて帰り。」 [FT00540,234]
- 8月21日 「0F三枚 1F一枚 油かく」 [FT00539,107]  
「英了アメリカよりフランスへ来る事に就て私にスポンサーになつてくれとのたのミ大使館に居る岡田娘から電話で佛文の招待状作つて貰ふ事にしてnotaireに行かねばならぬ。」 [FT00540,235]
- 8月22日 「夜小牧氏 近江 桐山 西村 夫妻 五時半田原 ロンドン日本銀行支店長織田 巴里銀行の人 星野」「2F 5F 子供すみがき」 [FT00539,108]  
「VichyでKischkaまけてくれと言ふ欲しい人le matin 牛乳とパンの画三十萬で買手ついたとて知らせあつた。君代よく買ふ人があるのねと言ふ。今日ハ3Fと5F小供墨がきした。」 [FT00540,236]

- 8月23日 「5F女ノ子其処油へかく 鍋二ツ」 [FT00539,108]
- 8月24日 「モンパルナスのnotaire平賀の処へ行く 英了のVisa駄目」 [FT00539,109]
- 8月25日 「Sceaux私一人行き」 [FT00539,109]  
「私丈けmotifさがしにメトロで初めてSceaux迄行きParcで降りて歩いてmusic chateaux parc見て館長Heron de Villefosse居なくいゝ気持ち。」 [FT00540,239]
- 8月26日 「修さん来て油1F一枚女と門、デッサン二枚星野 広ちゃん 上げた。」「Sceaux君代と二人行き」 [FT00539,109]  
「昼11h修さん来ると言ふTelで。11時45分遅れて来た 写真三人でとつて広ちゃんに送る事にし、欲しいと言ふ油1F女木ノ門バック、デッサン女 フロフキル母と赤ん坊 星野さんへ礼 広子 上げて喜んで火曜日ロンドンへ帰るとの事来年春日本へもう帰る由」「三時君代とメトロでParc de Sceauxへ降りmusée chateaux 番人Foujitaだからとて二人の出場券入らぬと言ひ、見物。」 [FT00540,240]
- 8月27日 「Notaireに行った」 [FT00539,110]  
「クロツキー等たくさんかいて見る。」「帰って又クロツキー手真黒に鉛筆でして夕方迄かき」 [FT00540,241]
- 8月28日 「Moreina Campos珍らしく、初めてアルヂヤンチンの友人Vichyから便りよこして画見たと。Okada SantaFeより葉書よこす。」「Recio来てChateaux Hotelの事に 第一回五十萬法渡してソシエテアノニムのコポフセプリエテールになる。」 [FT00539,110]  
「4P四枚女の子すみがき丈けしてバックはかゝず大分仕事した。」 [FT00540,242]
- 8月29日 「Colliovre町長muséeに寄付してくれ」「Dr E Borsari Zollikon Zurich Portrait 五十萬位 等戸外で應たり一人夫人連れれたアフリカの□家」 [FT00539,111]  
「今日ハ一日仕事四枚4Pのバックバラの花三枚一枚ハ小鳥と籠かいたりて一日暮した」「Zurichの人Dr. E Borsari一人夫人連れて来て画見たい買いたいPortrait Rostaudの見てかいてくれ等 色よい返事して君代Portraitハ断れまいゝと言ふ。」 [FT00540,243]
- 8月30日 「Mr F. Decorchemont 12 rue ganneron 18me conches (Eure) Fortificationの画とりに行く。」 [FT00539,111]  
「Duneauの店に画とりに行く私の水彩大分評判よく九月末迄かしてくれとてShow windowに出してあつた」 [FT00540,244]
- 8月31日 「九月廿日までパン牛乳の子水彩 Vichy展終わる事 Duneau展終わる事九月廿日迄」「午前中notaire英了の書類出来大使館 書面送り出す」 [FT00539,112]
- 9月1日 「小鳥籠買った四羽」 [FT00539,113]  
「一枚花と女4P色つけしてが暗くて一枚でやめた。」 [FT00540,247]
- 9月2日 「三枚油えかいて色とてもデリケートに今日は出来た。殺した色が生きてると言ふような色だ。」 [FT00540,248]
- 9月3日 「3F、小女バック ゴブラン描き出し」「3F油かき上げ」「夕方クロツキー二枚かく。」 [FT00540,249]
- 9月4日 「いん古四羽 茶と緑 デンマーク 一對 4000 他一對 2500 うすコバルト 黒しま うす茶 緑。一日鳥眺めて暮す。」  
「色film現像届け」 [FT00539,114]  
「クロツキー等かく」 [FT00540,250]
- 9月5日 「いろいろ油4Pかく日」 [FT00539,115]  
「伊原七日婦巴十二日迄のばしたとの事。日本の連盟会報送つて来てテーブルコード感謝の事と読売に大きく伊原との対談出した由。new yorkの画 運送や手続すミ送金請求して来た。油え一日かいて4Fいろくゝに色ぬりしたりして」 [FT00540,251]
- 9月6日 「New yorkより油画八枚外素描数枚Wingate届く。」「三益愛子 高田さん二人来た。」「いん古と女の3Fかく」 [FT00539,115]  
「朝から油え始め小鳥インコ三羽と女3Fにかき出し」「昼後アメリカの画の猫等痛んでた処皆なほして」四時頃に高田女史と三益愛子がベニスから来る。小女と小猫のデッサンを渡して喜ばれた。また、川口松太郎(三益の夫)が画を欲しがっているため、再訪の約束をした。 [FT00540,253]
- 9月7日 「guyにドロー赤い服 フキリツ北斎二枚WertyさんにSt Cloudの君代との写真送つた。」 [FT00540,252]
- 9月8日 「三益愛子来る事。・燕の居るla cour 5F 0F つたの女の子 sous l'ombre」 [FT00539,116]  
「ニスぬつたりして」  
三益愛子に「5F la guerreのla cour燕と鳩の居る青い家を上げローマから送つてくれると言ふ衣装帯のお礼にすると言つても何うしてもお金上げるときかず仕方がないから0Fの小女つたの画上げて小供浩 恒 厚 晶女の子に一枚ツツクリスマスカード上げたりして」 [FT00540,254]
- 9月9日 「鳥が一羽死んでた。」 [FT00539,116]  
「3Fに女といん古横に藤のかこすこしかいて」 [FT00540,255]
- 9月10日 「Petridesへ画届けの事」「Petrides届け 額なし4P二枚 3F二枚 5F一枚 4P二枚 0F一枚 額あり」「Cadres 8P-4 6P-4 4P-3 3P-5 0F-4 chassis 6F-3 5F-4」「画商 Henri Rosenblatt 44 rue de Lévis 17 Mac-mahon? 11-57 来た」



- [FT00539,117]
- 「画商Henri Rosenblatt氏来て画欲しい由。」「二時Petridesの処へ行つて画渡して金小切手貰つて銀行でとつてバスで帰る」  
 「ペトリデース 四十萬小切手 九萬法 現金 5F小女とフライパンニツ 4P小女バラ二本モツ 4P小女 鳩か  
 ご家 4P小女 バラの花 バツク 4P小女 バラの花 バツク 3F女と鳥インコ三羽 3F小女 ゴブラン  
 0F小女と鳥かご」 [FT00540,256]
- 9月12日 「伊原帰ル」 「New York西山 写真家来た 新村の友人 45年アメリカに居るアメリカ人」 [FT00539,118]
- 9月13日 「4h 石井好子来る事」 [FT00539,118]  
 「クロッキー三枚かく。」 [FT00540,259]
- 9月14日 「gobelin musée 伊原親子君代四人見物」 [FT00539,119]  
 「伊原訪ね東京新聞に今泉の出した私の写真と画蚤の市の写真徳島新聞に伊原との対談出てた」「四人Gobelinのmusée  
 見ない人許り案内皆始めてゝ仕事してる工場も見せ庭見て」「伊原私が芸術院去年五月に辞任した事知らず始めてで  
 びつくり。皆日本でハふせて居たらしい。文部省の恥になる事だそう。新聞社もうかつだと言ふ。極く少数と会員  
 だけは知つてるが発表しなかつたらしい。世間にハインチキだ。」 [FT00540,260]
- 9月15日 「Bourges展終る事。」 「cluny musée Baleのもの二人で見に行き」 [FT00539,119]  
 「Petrides額欲しいとの事。3枚売れたと言ふ。未だあれバ持つて来てくれと朝からかけてくる。3F女の頭巾と衣服に  
 模様かいて見る。うす紙で一度とつた。」 「clunyに見に生きBaleのコレクションで模様変え。ゴブラン沢山すばらしく  
 昨日のより好きなもの許り家具鉄のものステンドグラス等随分頭に入れて出て」「枠額六枚とつて帰り」 [FT00540,261]
- 9月16日 「一枚3F女と小鳥 二枚墨えかく。」 [FT00540,262]
- 9月17日 「Petridesに行く事」 [FT00539,120]  
 「午前十一時額四ツ持つてPetridesに二枚届け二枚は寸法誤まつて持ちかえり、3P 0F置いて来る。ロンドンかnew  
 york来年個展すると四十枚位買いとりするからかけとの事」「Petrides 鳥かこ女、いん古一羽 3F 0F女の顔タバ  
 コの箱の油え 届け」 [FT00540,263]
- 9月19日 「すこしクロッキー等かき」「星野氏に修さんが上げたdessinの額の事で通りが、りとして昆布と法隆寺の風呂敷貰つた。」 [FT00540,265]
- 9月20日 「4h Klein来て Vichyで本一番成功私の分十五も売れてベルダマンの亭主一冊アメリカ大使も買った等私の油パンと  
 牛乳買った人も本買った由。又何枚かdelicasかく紙持つて来た」「川口夫人三益愛子さんのすそ模様ながじゅばん帯  
 と襟等Patreの人の娘さん(画やる人)お使いに二時に届けてくれ上々品物もい、し色合いも先づ着られる程度 君  
 代のために貰つておく事にした」「6P一枚女と小鳥デツサンかく。墨でかき上げこれは面白くなり相だ。」「五時半  
 marevaux写真の人と外一人とマネキン娘一人連れて来て写真うつす。沢山私も写した。」 [FT00540,266]
- 9月21日 「Klein 十一時1/2 額3P二枚出来の事 Petrides 5h」 [FT00539,122]  
 「三人地下鉄でソーに行つてダリヤ展見る中々違い」 [FT00540,267]
- 9月22日 「午前隣アトリエ移転」「午前写真色フィルムとりに行く」「Petridesの運ちゃんに3P二枚額渡す。」 [FT00539,122]
- 9月23日 「夜田淵二人金山(注射) ポアソナード来た」 [FT00539,122]  
 「午前中より5P3F小女と鳥油えでかいたり」 [FT00540,269]
- 9月24日 「朝額の事マリールイズ セマクする事 6Fの事」 [FT00539,123]
- 9月25日 「今夕英了日本羽田アメリカへ出発日」 [FT00539,123]  
 「英了手紙、日本新聞放送ハバリ行とり上げアメリカの方の事か、ずアメリカ大使館に気まずくそれでも送別会して  
 くれる等アメリカハ度胸大きい 戦争画又復活して英了私の分掲載を中止させた等いろく日本ハうるさい国英了ハよ  
 くやつてくれた。」  
 「4P又小児女の子と小鳥インコかき出してすみ書き初め」「午後4Pのインコ五羽すみかき」 [FT00540,271]
- 9月26日 「クリスチン手付に来たKlein 油えサインたのミに来た」「Vichyより三枚返却あり」 [FT00539,124]  
 「4Pインコ五羽と小女油えかく。昼迄に出来」「クリスチン手付洋雨外套黄色(デンマルク)来た。Klein本のさしえ  
 に使つた油えサインして貰いに来 25番見て驚いていいくと言つて帰る。」「夕方三十分許り25番と24番のかべ叩いて  
 とうく五寸四方位の穴あけて第一開通連絡つけた日」 [FT00540,272]
- 9月27日 「午前 額出来」「午前11h-11h1/2 art記者バロー」 [FT00539,124]  
 「午前11h若い人Art l'oeil等へのアンケート若い画家の事き、に来てよく知つてる。松田文子未枝さん等東洋丈けで何  
 にかたらぬ北齊等とハ全く比べにならぬとハ尤も無理な話。固体で出て行つてる等も日本ハ可笑しい等。」「四時Janot  
 氏Recio二人来て寸法とつていろく画室の計画改造する事に話する。スペイン風にする事等。一時間半余りいろく話  
 し合ふ。 夕方額沢山届けてくれた。」 [FT00540,274]
- 9月28日 「Petridesに額届け」「notaire 支払いて二人名義で25の家主となる」 [FT00539,125]  
 「平賀電話伊太利から帰りベニスの日本かんハ何んだ。重箱みたいで二千万もか、つたとハ。中ノ画ハ何んだ版画も

- 佛画見たいだ評判悪く一人も入って居ない。散々の評だつた。」「Petridesに6P、4P、3P小鳥と女の子持つて行く毎週うんとかいてくれとてDeauvilleに出した。魚かへしてくれ、大臣への画も其の内届ける由。」 [FT00540,273]
- 9月29日 「8P小女猫いいものかく」 [FT00539,125]
- 9月30日 「朝クロツキーかいたり」 [FT00540,276]
- 10月1日 「午前中より8P女の子猫一日かゝつて二枚かく事にしてすみがきした。」 [FT00540,278]
- 10月2日 「夜伊達氏明後日紐育に帰る（五ヶ月半日）とて黄バラ十本持つて来てくれて恐縮。石版杉本とへ一枚づゝ上げた。二世の人へ三枚渡してたのミ」 [FT00540,279]
- 10月3日 「8P三枚女の子猫油えかく」 [FT00539,127]
- 10月4日 「鎌倉美術館長村田正策氏6時大使かん茶話会あり 行かず」「6P二枚 猫と小女 すみがき出来」「星野夫人デッサン額見せに来た。風ろしき返却」 [FT00539,127]
- 「朝から6P小女と猫クロツキー三枚かき夕方夕食迄に二枚すみがき仕上げ大働き」「四時星野夫人修氏が上げたフロフェルの額出来たとて見せに来た。風呂敷まげもの返却」 [FT00540,281]
- 10月5日 「6P一枚すみがき 6P三枚 小女と猫のダンテルかく事バック」 [FT00539,128]
- 「ダシテル竹の皮使つて見る初めて上々に出来る。」 [FT00540,282]
- 10月6日 「一日仕事する日 油えかく」「隣23番大移転の日」 [FT00539,128]
- 「6P三枚油えかく一日暗くて仕事ん々やりにくい」「縁取りに行く、運んで貰つた。」「夜TV芝居アルキヤンはとても面白くポーズもワットーやらとてもよくピカソが好くのも無理ない様ないいもの。」 [FT00540,283]
- 10月7日 「朝三枚ニスぬつた。8P」 [FT00540,284]
- 10月8日 「Petrides 8P三枚届け Duncanの処水彩とり戻し」 [FT00539,129]
- 10月9日 「11h Sceauxの展に出した分返却に招集する由」 [FT00539,129]
- 「6P三枚ニスぬつて額に入れたりした位。一枚クロツキーかき出し」 [FT00540,286]
- 10月 「河村幸次郎友人 商業デッサンの人河野應思氏来る事」 [FT00539,129]
- 10月11日 「マツソン朝両室の間打ちぬく」 [FT00539,130]
- 「シマ氏来て写真の本愈々出来るとてコクトーの序文、二十人位現代大家マチスピカソ初めの写真の表紙中客も出来る由。」 [FT00540,288]
- 10月12日 「(田渕展) 19 rue mazarine (5h Yasse Tabuchi展)」 [FT00539,131]
- 「Petridesに行つて6P小女猫レースバック同じ様なもの三枚置いて25年頃Paul未だ奥さんのフキオンセ時代に上げた石版等見せてくれたりして」「マザリンで田渕展見て大勢日本の若い人居た。」「福田十時に来て色フェルム沢山伊太利カンヌ等持つて来て写したり、阿部さんのことニロさんのことローマのマントヒヒの人の話大谷さん彫刻柔道家の話等して」 [FT00540,289]
- 10月14日 「桂ゆき子来る事」 [FT00539,131]
- 「朝から8P小女と人形かき出して夕方迄にキャンバスに墨でかき上げた。」 [FT00540,291]
- 10月15日 「8P小女と人形かく」「0F渡してやる小女 窓 5h 1/2 connaissance art」 [FT00539,132]
- 「朝から8P小女と人形（最近買った）を油えでかき午後までかかつた。」「午后リオンの人デッサン預かつてる（60号位の裸体）いろく描きなほしてパステル水彩も入れたりして調子強めたりして余り乱暴な処夕方迄見ながえる様にした」「コネサンスドラールの人来て先年から安く売つてくれとて0F三万でやつた只見たい これハ特別の理由あり。」 [FT00540,292]
- 10月16日 「朝Ravier氏リオン大裸婦（1925年）見に来た」「美術家連盟の礼のテーフ三人できく」 [FT00539,132]
- 「伊原来て美術家連盟の宮本高野其他新井、西沢、和田氏等の声の礼状いろくきく。」 [FT00540,293]
- 10月17日 「Maris Rothstein 45 Rue Boissonade ODE 40-93 クラベ プニー 等の友人 画欲しい人あり十一月頃」 [FT00539,133]
- 10月18日 「リオンへRavier氏の大裸体デッサンTransportより送り出す」 [FT00539,133]
- 「キャンバス十枚許りキャンバス張つたら夕方になつた。」 [FT00540,295]
- 10月19日 「クロツキー三枚かく」「Rene Boulangerの運送店に行つてBourgesに出した8F人魚の画とつて」 [FT00540,296]
- 10月20日 「5F二枚 すみがき裸婦 一枚初めた メ三枚」「堂本毛利mariageの事であいさつ」 [FT00539,134]
- 「伊原来て、日本から来た着物元禄（宮本三郎氏せんたく）美術家連盟の礼だとて見せて」 [FT00540,297]
- 10月21日 「(三枚5Fかく 姉妹二人づゝ)」 [FT00539,134]
- 「3枚目の5Fすみがきして」「5Fのバック何うにかこぢつけて 三枚夕方迄に仕上げた。」 [FT00540,298]
- 10月22日 「朝から5F二枚色つけ姉妹して三枚は出来ず」「プロバンスの画商来て画欲しい」 [FT00540,299]
- 10月23日 「画初めて25番でかく。」「画商プロバンスの人来た。」「タランセと言ふ夫人友人に画欲しいとたのむで何日かと言ふ」 [FT00539,135]
- 「Tel Georges 何んとか言ふ人Princesse南方アガカンの親せきの老夫人肖像かいてくれ何日だくとうるさい事。」「Telカ

- ーナバレのmusée政府の注文のプログラム明日届けてたのむと言ふ。」「Telシマ氏明日来ると言ふ。小品ドアの裏にお□押さえてる画かく。カンバスのきれ」 [FT00540,300]
- 10月24日 「3h1/2 carnavaletの人来る」「Princesseと老婦人アガカンたのむ人Gorges? Tel 肖像の事」 [FT00539,136]  
「五時半 石井好子朝吹さん処で堂本尚郎毛利真美さん結婚披露茶あり」 [FT00540,301]
- 10月25日 「油 5 F三枚ニスぬつた。」 [FT00540,302]
- 10月26日 「0 Fに小児すみかきして見た。」 [FT00540,303]
- 10月27日 「8 P母と子かく」 [FT00539,137]
- 10月29日 「Petrides 8 P 5 F三枚届け 現金と小切手」「Cornuさんの代金礼状貰った 小年おしつこ 小女うんこ 扉裏絵かく」 [FT00539,138]  
「扉裏絵三枚かき一枚破り小年おしつこ 小女うんこ ガツシユで出来た」「Petridesの処へ行く 8 P一枚 5 F三枚おいて金貰い cornuさん (geneveの人の画商の息子さん展あり) のお金と手紙貰った。」「夜扉えにギョームテルの話弓とリンゴ男の子女の子かく」 [FT00540,306]  
「十時Mme Cadion来て一月より十月迄を渡し養老院の金の事税金額分らず。手紙で問合せしてくれる筈。仕事出来なくなつたら手当夫婦二人分と未亡人には年金が下るためのもののだそうだ 強制的のもので義務だそうだ。」「木扉のえの紙いろいろ切つて置く。」 [FT00540,307]
- 10月31日 Petridesの売り子の男デツサンを二枚欲しいと言われたので渡した。支払は十一月末三萬 [FT00539,139]  
「扉の裏絵今日ハ二枚位かく。」「正午ベトリデースの売り子の若い人来てお父さんを助けたお医師のお礼とてデツサン二枚で三萬で只見たいにやる。支払も十一月末との事。」 [FT00540,308]
- 11月 1日 「4h 好子NHKの人来る由二人テープレコード」 [FT00539,140]  
「8 Pの女二人にバラの花かき込ミ。五時石井好子来て放送の人NHK二人 (こゝ二年常任の人) テープレコード私に好子話きくとて十五分 鳥の話其他いろくして帰つて行く」 [FT00540,310]
- 11月 2日 「岡田長文の手紙個展カタログ裏にかいて来た 写真もよこして大分落付く日本の人々をキヨロく人種と言ふ其の通りなり。」「午後二枚扉裏のえかき」「午後 Klein 来て本のデツサン又たのミ金よこせとて大分議論 何十萬人よりとるより供から一萬とる方が面白いと私の事を Klein が言ふ 慾ばりからとるのハ面白かつた。」 [FT00540,311]
- 11月 3日 「門脇義一郎氏の紹介時計商の村木栄太郎氏若いアメリカ大学に居た人と二人で来てピカソの石版欲しい等私のも欲しいとてデツサン二枚石版裸婦一、一萬猫一、小女二、一万五千 メ (十二萬五千法) 皆んなで350弗十萬で持つて行く」 [FT00540,312]  
「午後すこし油え 8 Pかく暗くて仕事にならず」
- 11月 4日 「Kleinの本扉え六枚デツサンかく。」「バロンルーヂ、私の思つてた通り私のかきたい男の子、巴里風景等私の好きな構図で私がねらつてるサンシビリテ等と適中して気持がよく」 [FT00540,313]
- 11月 5日 「成井の手紙に梅原は予備役に猪熊岡本等も影うすくなつたと新聞に出で、私の名ハ反対に大きくなつてる等とかいて来たが私ハ何にも競争しようと言ふ気もない。石川さんの手紙にハ小児の様な俳優等が年に二十万円も契約金貰つて学者芸術家ハ恵まれて居ないのか残念だとあり私にもその気持でいろく慰めてくれてるとあつた。」「油 8 P二人女バラバツク、油かき 三枚扉えの下図かいたりして遊んで一日暮し」 [FT00540,314]
- 11月 9日 「日本若い画家30 31 ブラジルの方から昨日巴里に着いた。」 [FT00539,144]
- 11月12日 「歌手の人レコードの表につける portraitかいてくれとの事、廿一日後にたのむ」「Vichyの画廊の女の人来て四枚dessin 預けた。」 [FT00540,321]
- 11月14日 「今日Sportsの人々のパレードの第一日デツサン初めた。」 [FT00539,146]  
「パレード (Temoins) のBoxe Catch Judo等の人の顔第一回木炭紙にかき初めた。」 [FT00540,323]
- 11月15日 「Perrière 80P其他 dessin用 木炭フキサチーフ等 昼届けてくれ」「80Pの画の事頭に一杯になつて白トアール (紙) 眺める。構図の事。」 [FT00540,324]
- 11月16日 「今日80Pにパレードかき出して柔道家の顔 職人見てよく出来るとと驚きかけがいい等フューザンです等と言ふ一番に誉められたから可笑しい。日本の職人等も臆面なくだんなよく出来ましたねとがうめーものだなーと誉めるがフューザン等の事ハ分らぬ。」 [FT00540,325]
- 11月17日 「10h ベルギー画家画なほし」「朝鮮画家金氏外一名日本へ出立の日伊原に会いに来た」 [FT00539,147]  
「十時 Eric Wansart 423 chaussée d'Alsemberg, Ucele-Bruxelles Belgiqueの人かびの生えた1921年のMme テデスコの肖像持つて来たなほして見る等」「Recio Janot 来て画新宅見せ説明大によしとてRecio Hotel chateau売つてくれず中止との事」 [FT00540,326]
- 11月19日 「午前バラ、クロツキー二枚かいた」「5 Fのバラの花下がきすみで午後五時迄かかつて仕上げ」 [FT00540,328]
- 11月20日 「2h 好子 デツサン上げた伊原明後日ハバナに立つ」「(水彩見てくれと金地galerieの人) galerie Madeleine Hotel 102 Bis Rue Lepic 18 ouvert 2h-8h mont martre 92-29 1924年小女肖像梯子にこしかけてる」「新道氏外二人日本へ□□□で帰る人別れに来た Pollen氏日本づれ米人」 [FT00539,148]



- 「バラの花二枚目 6F下墨えかく」「galerie madeleine Horot 1924年小女肖像金地緑のソーファ、黒タブリエ 水彩 署名保証してくれとて写真と原画持つ来た。」 [FT00540,329]
- 11月21日 「Portrait老婦人かいてくれ兄弟三人で膝まづいてたのむと言ふ人Tel」「画見たいと言ふ夫人Tel」「バラ二枚油かく石井好子らの花」「水色 Chabos パイナップル」「ベルギーの画家批評してくれとて来て水彩見た」 [FT00539,149]  
「バラの花 5. 6 二枚かく 油 一枚ハ夜になつてかく」「石井好子の礼らんの桃 赤の花 廿二送つてくれる」「夕方ベルギーの若い画家画見てくれとて水彩四五十枚持つて来た。」 [FT00540,330]
- 11月23日 「2h Portrait Auto迎いに来る事 Mme guirche av. Raymond Poincaré. George Prade 友人」 [FT00539,150]  
「2h guirche夫人の迎ひのAuto レイモン ポアンカレーの金持の家で肖像クロツキ76才の老婦人元気ポーズしてくれ、難しい。」 [FT00540,332]
- 11月24日 「3h Portrait 女歌手の肖像主人と二人で来るとの事 Jeanne Héricard Ely 24-24 14 cours Albert 1er」 [FT00539,150]  
「モンバルナスの映画かんでモンバルノー chez les 見に行く 大勢画家達きてた。十一時半始めた。ドーム広場から始まつてパノラマ、名画室パツサージ風景アカデミー美術学校ブルデルmusée 食堂や終りにBalで朝の往来で終り、画家多く彫刻せとももの铸件等死んだ有名人ハ解説の中老人若い。有名無名とりませ中々うまくやつて、私のも大写真画室、重々しく、おひなさまからガラスの色のもの画架の二人(君代すこし堅くなつた)大画人形その他沢山画裸婦化物等、ドームの審査でハ私とてもよく写つてた。」「Mme Jeanne Héricard夫婦して来てPortraitオネゲールの曲でアポリネールの詩のレコードの譜面に使いたいとて私の画フヂタでたのむとの事、写生くらし」「新聞批評の中ポナールマチスフヂタハ近□だと言ふのやピカソのクルゼーの映画デツサンフヂタとモデリアーニの中間だ等大家と並べて名出で、見とめてくれる。」 [FT00540,333]
- 11月25日 「朝からバラの花二枚色つけ二度目に強くしたり消りたりするカンバス少々白えのぐぬつて作り」 [FT00540,334]
- 11月26日 「モンバルナス十四区の夫人の肖像手紙でたのミあり。」 [FT00539,151]
- 11月27日 「2h guirche Portrait写真うつす」「Bernard氏色フキルム montfarnasseくれた。」 [FT00539,151]  
「120号 画カンバス注文して」
- 11月28日 「11h1/2 Jacquelineコネサンスドアート画貸してくれ」「ウインゲートLilleの人画欲しいと」「支那金塔の友人夫婦?の男の子一人かいてくれ」「ドイツ Abels来年十月展の事」 [FT00539,152]  
「Jacqueline昼来てコネサンスドアールの二ヶ月展の事たのまれて承知した。」「金塔の主人医師(君代切開の)友人の男の子一ツ半dessinたのむと」 [FT00540,337]
- 11月29日 「3P小女町かくアメリカ人」「三時Petrides 8P母小女二人バラバツク 6Fバラ 5Pバラ届けた」 [FT00539,152]  
「朝3Pアメリカ人新婚伊太利旅行に十二月半来る人のため小女と町墨がきした」「Petridesに8P母と小女バラ背景、6Fバラの花壺 5Fバラ銀の壺 三枚届け大喜び未だ四五枚バラたのまれ来年のAbelsの事も二通手紙でやる事にした由。Cornuさん私の事決定して一月に下るとの事。教えてくれて足も軽くバスで帰り、マツチやElleよむ」「夕方伊原藤野と言ふ京大出の若い画家お父さん廿枚伊原のえ買つたと言ふかんづすや連れて来て」「Georges Bradel Tel アリ、老婦人の肖像の事私の大姉やの画アボカ、フロリヨー氏の処にありと。」 [FT00540,338]
- 11月30日 「2h Yvonne de Bré mont d'as 表紙の事たのまれた」 [FT00539,153]  
「3P女の子町油えかき出した。」「イボンブレモンダス二人 百合とあやめ持つて本の表紙たのミに来た。女五人の顔と 大時計机等かく事参考品(写真)持つて来た。」 [FT00540,339]
- 11月 「Eric Wansart 423 chaussée d'Alsambeg. Uccle Bruxelles Belgique ベベスコ夫人 肖像なほし」「Mme guirche 90 AV. Raymond Poincaré Portrait KLE. 82-58」 [FT00539,153]
- 12月 2日 「肖像 え Jeane Héricard かく 3F」 [FT00539,154]  
「歌手のJeanne Héricard肖像3Fにかいて油で仕上げる。」 [FT00540,342]
- 12月 3日 「イボンヌ・ブレモンダス表紙かく事」 [FT00539,155]  
「力道山や門脇氏画欲しいと言つて来る日本へ送る事ハ余り好まないから閉口する。」「イボンヌブレモンダスの本の表紙いろく下画からかき一通り木炭紙 new ペンインキ買ってかく。」「120号カンバス届く」「日本美術家連盟に二枚裸婦十五萬猫五萬位で石版画二枚年末の寄付する。」 [FT00540,343]
- 12月 4日 「え 女夫人肖像の日14区の人クリスマス前に来るとの事」「え モラーセの夫人の友人娘の肖像一月三日電話」 [FT00539,155]  
「Sherman □□□に出した私の絵はがきの写真複せい沢山送つて来て面白かつた。十五枚大久保のやら古いもの。」 [FT00540,344]
- 12月 5日 「8h1/4前 イボンヌブレモンダス表紙渡し」 [FT00539,156]  
「午前中、肖像色二度目かく」「8h1/4前イボンヌブレモンダス二人来て表紙色二枚(巴里であつた事の本)一寸その人の前で色かへたりして渡す。先づ喜んで帰る。」 [FT00540,345]
- 12月 6日 「え 正月十八才の友人の娘の肖像」 [FT00539,156]



- 「Chabasの友人 (医師) Dakarの人Fiselの番地きゝに来て十八才になる娘正月肖像描いてくれとの事。」 [FT00540,346]
- 12月7日 「11h1/2 Mme Héricard 肖像」 「2h1/2 Guy娘 Françoise Oger 石版やる娘世才」 [FT00539,157]  
「午前十一時半Mme Hericard肖像 3 F渡すよしあしはTelする由」 「午後Avec qui voulez vous lutter の下図60大に木炭一通かく。」 「伊原来て一寸ポーズしてくれ、力士 Boxeur Judo等かく」 [FT00540,347]
- 12月8日 「Mme Hericard肖像口なほしの事夫婦で午前中持つて来て午後なほす。」 「エルボシヨン写真来てパラードの写真うつす。」 [FT00540,348]
- 12月9日 「午後クロツキー花一枚かいたりして」 [FT00540,349]
- 12月10日 「デッサン四枚 Kischkaすミ」 「キシャへ写真クロツキー等送る事 三時出来の事」 [FT00539,158]  
「朝からKischka宛ての左右の両手女の顔のデッサン二枚かき」 「エルボツシヨン写真SportとつてPostで送つたり仕事する。」 [FT00540,350]
- 12月11日 「コネサンス ド アート ジャクリンセルツ展へ一枚かしの事。 8 F Sirène借す」 「1日かゝり 6 Fバラの花かく。」 [FT00539,158]  
「コネサンスダール来て Jacqueline Selzの展、 8 F海人人魚かす」 「Mme Héricard (mesuil) 主人と来て 3 F肖像渡す。」 「仕事久し振りにめんどうなバラ 6 Fの花特に手を入れてかいて楽に出来た。」 [FT00540,351]
- 12月12日 「朝から昨と同じく 6 Fバラ一枚文出来墨かき。 午後四時出来た。」 「Mme Hericard肖像鼻の線なほし」 [FT00540,352]
- 12月13日 「コース 6 F□□二枚色つけ」 「5 h Mme Héricard 鼻せんなほし画渡し」 「額たのミ 12m 10F 8 F 6 F 3 5 F4」 [FT00539,159]
- 「Petridesにたのむんで女の子肖像かいてくれと言ふ人からのTel、この頃肖像たのミ多い。困る事だ。」 [FT00540,353]
- 12月14日 「獣医の本出す人何にかNoëlの様な小さいものかいてくれないかとのたのミ。」 「木版 鶏二羽1957年のを彫り出し一寸買物インキ版画用、買つて夕方日本紙にいろくすつたりする。」 [FT00540,354]
- 12月17日 「Petridesに 2枚 6 Fローズ届けた」 [FT00539,161]  
「6 Fバラの画二枚ニスぬつた。」 「Petrides Telあり午後行く事Noëlの返事四ツかく。」 「三時Petridesに行つて 2枚 6 F渡しクロージャ居てルオーの話大分老い込んでる様TVで見たと言ふ私も見た。エプーボンテーブルだと言ふ。サインのない画等ローランジュレル等ゴタくの話等大分□□した。」 「藤田たまさんの本すこし読む私が花上げた事かいてる。」 [FT00540,357]
- 12月18日 「え 道化シルクの額 3 Fかく油 色つけ」 「え Fanny Harris 画 3 F 3 Fの事 小女」 「大統領の雉貫つた二羽」 [FT00539,161]
- 「Mrs Harris夫婦で (伊太利新婚旅行の人 3 F小女とりに一度来た。見て夕方来るとの事) 「3 F cirqueのクルーン 3 F Petridesの分油え一日でかく」 [FT00540,358]
- 12月 「Dr Veterinaire Noëlのデッサン一週間の内」 [FT00539,161]
- 12月19日 「カナダの画商電話あり断つたが明日来るとの事」 「Sima写真の本のえと文Telでたのむ」 [FT00540,359]
- 12月20日 「Petridesへ 3 Fケルーン届け」 「11h カナダ画商の人。アルヂヤンチンと二人来た」 「メキシコの話原稿渡し。」 [FT00539,162]
- 12月21日 「Sima来ル。日本語佛語女の顔 クロツキー等」 「Dr 獣医の本の人。Noëlのえと猫の顔」 [FT00539,163]
- 12月22日 「英了来巴の事。」 [FT00539,163]
- 12月27日 「午後大統領Cotyさんに礼状とdessin “Peuseuse” 差し上げるElyseeに行く。」 [FT00539,165]  
「2h1/2 すぎ大統領Cotyさんへ礼状とdessin (女 “Peuseuse” 手をあごに当てた) を持つてElyseeに行つた。」 [FT00540,367]

1957 (昭和32) 年 70歳

- 1月1日 「裸体で靴を手を持つ女の子かいて見たくなつた。」 「書き初めドアに入れる小三枚女の子いろくすこし墨がきした。」 [FT00542,005]
- 1月2日 「3 F一枚女の子両手胸に当てる墨がきした。」 [FT00542,006]
- 1月7日 「8号に女の子とバラ墨がきした。」 [FT00542,011]
- 1月9日 「十号女の子二人と猫すミがき初める」 [FT00542,013]
- 1月12日 「Petridesの運ちやんメトロでクルーンの画Mlle Cibie デリカスタのミに来た。」 [FT00542,016]
- 1月14日 24番の壁の上に三人の女の画がかけられる。 [FT00542,018]
- 1月17日 24番の部屋がほとんど完成する。 [FT00542,021]
- 1月19日 「画室入り口のスペイン戸に子供の画をかいた分釘で打ちつけた。」 [FT00542,023]
- 1月21日 「暫く休んで始めて10Fと 6 Fの色つけやる。画室広くなつて自由に動かせとても油画かきよくなつた。楽に画丈かいてられる様になつた次木工でほうちよう差し等作つた。」 「今度の画室開きの感あり。」 [FT00542,025]

- 1月23日 四年前藤田の画を買ったというブラジルの老夫婦が、8号を買って行った。「F.P. ASSIS FIGUEIREDO Rue Paissandi 186 APT. 201 Rio de Janeiro Brésil à Paris Hotel Seridue ch. 540」 [FT00542.027]
- 1月25日 「0Fに自画像鏡でかき出す途中でやめる。」 [FT00542.029]
- 1月26日 「自画像0F鳥かご等かき入れた。」 [FT00542.030]
- 1月27日 「油え10F・3F等油え色二枚目のものぬつたり自画像二枚0Fかいてぬり、6h Recio 友人の医師夫妻（おしどりの水彩 Fougitaとあつて偽せもの」 [FT00542.031]
- 1月29日 「午前中 Comtesse de Contensonの娘さんMarie Pierreの肖像かく デッサンして第二回金曜日にやる事にした。私の好きな子でかいてて面白かつた。」「午後老夫人ギルシユの肖像かき出して見た。すみがき」「Baccaraの女主人 主任見たいな人連れて来てフラーの画かいて貰いたい等エルメスの様なもの 私の画そのものをやりたいらしい。」 [FT00542.033]
- 1月30日 「朝四枚10F二人女の子猫。3F女。0F二枚自画像ニスぬつた。」  
Mme Cadionの招待で、5日から近美で行われるcomparasonsのExpositionsにnu（秋12m）を貸す。 [FT00542.034]
- 1月31日 「cinemaベルヌ フェーエルの映画器（二十一万）パヤールととりかへの分家を持つて来た 黒箱小型 光度型？の蜂の娘つき自動でレンズの大小穴動いてくれるもの とても軽くてよし」「ギルシ夫人の肖像の椅子すこし色つけした。」 [FT00542.035]
- 2月1日 「Jean Pierreの肖像を30分位かく」「クレーン来て、扉絵二枚かいて現金少し貰ふ」「パイヤールの映画機レンズ（望遠レンズ付）返却」 [FT00542.037]
- 2月2日 「午後ギルシ夫人肖像油えみつちりかいたりいて」「パラの花5Fの注文を受け三週間で描く約束をする。」 [FT00542.038]
- 2月3日 「カンバス ゼラチン白十三枚ぬつた。」「午前中から五時迄かゝつて5Fに男の子と猫の子かく色つけ五時でハ暗くて出来ず中止」 [FT00542.039]
- 2月4日 「英了とPetridesに行く 十号F小女二人猫 三F女 0F二枚自画像 四枚」「5F男の子猫油えかき、白十三枚油えで下ぬり夕方迄する小鳥勢よくなつた。」「Prade氏にTelしてギルシ夫人の肖像今朝ニスぬつた分明日届ける事。」 [FT00542.040]
- 2月5日 「George Prade二人夫人と来てギルシ夫人の肖像傑作とて賞讃大満足して金すこし渡してくれ」 [FT00542.041]
- 2月6日 「George Schpilbert氏 des champs d'enfantsへ小児のデッサン額付けて一枚やつた。Au crier combattants」「午後ハ大カンバス白チューブ三本ぬつてうすぬりで夕方迄に仕上げた。」  
Georges Pradeが息子を連れてギルシ夫人の肖像を取りに来た。夕方夫人から電話があり、とても喜び八十才の大酒やのじいさんの肖像描いて欲しくなったと言われた。 [FT00542.042]
- 2月7日 「6F小女とバラ墨一枚かく」 [FT00542.043]
- 2月8日 「午前中より12mに小児かく墨がき」 [FT00542.044]
- 2月9日 「12mの小児とサクの着物丈仕事して油え」 [FT00542.043]
- 一人で蚤の市の見世物に行き、写真を撮ってくる。  
「福島繁太郎氏来て0F小児赤服卵 バック小児の小品二枚あり 布かぶった女の顔二枚だけ売つた」 [FT00542.045]
- 2月10日 「12m小児サクの中に立つ色つけ昨日の続き午前中仕上げ。」「一枚小品尻をいじる男と女と老婆の画仕上げたりする」 [FT00542.046]
- 2月11日 「大作120号墨がき夕方迄キヤッチと柔道家かき出した。」 [FT00542.047]
- 2月12日 オール紙にYouki Desnosが「モンパルナスのポエム souvenir」をかいて億万長者になった、生涯で例外的な二人の男と一緒に書いたと書いてあり、藤田のデッサンも大きく出たと記し、ユキの成功を喜ぶ。  
「午後大作ボクサー夕方迄かかつかき木炭も入れてかく」「15Fの額一枚やつた」 [FT00542.048]
- 2月13日 土橋にポーズをとらせ、腹部、手、衣服等を写生。 [FT00542.049]
- 2月14日 「三枚ニスぬつた。・12m小児べ、□に入ってる図 ・6F女の子バラ ・5F男の子べ、猫 ベトリデース届け。三ツ届け先日4日届けた画と都合七枚（内二枚0F自画像ハかきなほして渡す事。今年のねだんプロポーズする25万五千（五千は次回に貰ふ事 五十萬はかへした事となる。 小品皆売れて又沢山かいてくれとの事。」「右手呼び込む老人かいたりして」 [FT00542.050]
- 2月15日 「朝120号油えで初めてかき出しうすくぬつた。」 [FT00542.051]
- 2月17日 「一日大作120号日曜日だからかく」 [FT00542.053]
- 2月18日 「朝から大作始め一日かく。だんく出来」  
色写真を撮るため、25日にエルボスがトラックで大作をとりに来ることになる。  
Maison de journalisteで藤田のデッサン（femme）が盗まれたという新聞の切り抜きが送られて来た。 [FT00542.054]
- 2月19日 毛筆で大作の線描きを始める。 [FT00542.055]
- 2月20日 佐々木に120Fの額を頼んで昼に帰宅するが、絵の制作は少しも進まなかった。  
「桐山夫人がアメリカの夫人（日本人）を連れて来て画（四月）に欲しいと。三井物産の人処へ嫁に行く一人娘のため」 [FT00542.056]

- 2月21日 「油120Fすこしかく」「モデリアーニのfilm ジェラール フキリツブ モンパルノーにキスリングと私も出ると切ぬきあり TVでも話した。」  
「競売に出た1914年アイシャの水彩破れているのを田村氏見に行つて [……] 高くして止めたと言ふ」 [FT00542,057]
- 2月23日 「一日夜になつても120Fうんとかいた。」 [FT00542,059]
- 2月24日 「フラマリヨンの小字典に私の名が出てたが又絵画の表の処には、私だけの名広重北斎歌まるの次に出て」 [FT00542,060]
- 2月25日 「120F午後かく」 [FT00542,061]
- 2月26日 120Fをかく [FT00542,062]
- 2月27日 「120Fすこしかく。ニスぬつたりしたり、黒くよごしたりしてマチエールつけたり。」  
伊原に、石橋の美術館と伊原のコレクションのためにスペイン扉の様な絵を描いて欲しいと言われる。 [FT00542,063]
- 2月28日 SimaがSport、大作、蚤の市等25番のアトリエで撮影する。 [FT00542,064]
- 3月1日 「Temoin展にSportの画色写真に写すためエルボス (TRI 13-40) に渡す。」 [FT00542,066]
- 3月2日 「佐々木氏の120Fの額出来た由」  
「シマ氏カンの女 (一度もモデルせず)、裸体他友人一人写真うつしに来た」 [FT00542,067]
- 3月3日 「うんこの小供女の子一枚ガッシュでかく、伊原のため」 [FT00542,068]
- 3月4日 「St MichelにVan gogh見に行く」「君代と並んで説明出来とても自分が恥しくなつた。私やモデリアーニの時代を思い出した。」「いゝもの見た。」 [FT00542,069]
- 3月5日 「2F小女のえかき出し」「伊原に日本の著作権の委任状かく」 [FT00542,070]
- 3月6日 「Musée galliera 額届け」 [FT00542,071]
- 3月7日 「Contensonの娘肖像かく 5F上々出来」「2F小女バラ一枚かく 0Fにも色つけ小女Pradeの男の子 鳥の子にかく」「二口さん力道山の手紙風景欲しい由」 [FT00542,072]
- 3月8日 パレードの絵が評判が良いため、第一室の中央にかけることになったと聞かされる。 [FT00542,073]
- 3月9日 「朝から油え四枚色つけて午後迄かかる。」「Morx Vaux 写真二十枚届けてくれた。」「絵の具やで筆油額買った」 [FT00542,074]
- 3月10日 「夕方アメリカ人5h 夫人二人来てGeorge VにとまつてるMrs Baron 15号に小女とバラ猫林等かきこんでくれ550mille三週間の約束」 [FT00542,075]
- 3月11日 「朝から画いろくかく。11h Mme de contenson来てポートルー子供の子供のバラ持つ分渡し大喜びて帰つて一安心」  
「午後田村氏来て是非二号小女と猫欲しいとて三萬円含後ハ日本から弗で送る事画ハ何れたかに渡す事、夢十二号是非欲しいとの事なれどこれハ断つた。」 [FT00542,076]
- 3月12日 「朝 Mr Gibertan氏二人友人連れて来て一人の四才半の子供肖像十萬でかく事に約束来週月曜日に来るとの事」  
「昼から画自画像等かき」 [FT00542,077]
- 3月13日 十一時Musée GallieraのVernissageに行く。評判が良く、喜ぶ。 [FT00542,078]
- 3月14日 「午前中10h1/2 Petridesの処へ出かけ、2F三枚 女とインコ 娘とバラ 娘と猫 0F三枚 自画像二枚 女と猫一枚喜んで小切手貰い、銀行でとりRomanetの処で、聖母金地売れた分十四萬貰つた水彩ローズ一枚返却、デッサン一枚預け、巴里でハペトリデースあり何にも邪魔もせず私の好きにしてリオン等地方で売れのこりさせてくれとの事。」 [FT00542,079]
- 3月15日 「15Pカンバス張つてゼラチンぬつたり、夕方カンバスベツト (ゴムの分のせる) 2950で買い、榨えのぐ□さんに運ばせて帰る」「Georges Prade 来て小児肖像渡し」 [FT00542,080]
- 3月16日 「午前中15P一枚白油ぬつたりして」 [FT00542,081]
- 3月17日 「朝からスペイン戸残り三枚の紙に小児のえかき又一枚5P位のもの夕方迄かゝつてかき一日仕事して」 [FT00542,082]
- 3月18日 「クロツキー一枚かき夕方迄に十一枚カンバス張つた。」 [FT00542,083]
- 3月21日 「午後Yvonne Bremont d'arts バラ あやめ持ってポスターのミに来た Avec des si... et des mais ... on mettrait Paris en かく事にした。」 [FT00542,086]
- 3月24日 「イボンブレモンダスのポスターの下がき等かく。」 [FT00542,089]
- 3月25日 「大統領英女王のベルサイユ宮殿劇場招待状」「11h1/2 Yvonneと其のAwic二人で来て白ユリの花持つてポスター見に来た (今朝かいた女の子のお腹が見えず腹の処もなほして等例の通り注文多し。)」[午後6F小女と猫かき油で終る」 [FT00542,090]
- 3月26日 「WienのOpera バタフライのdécor其他を断つた」「Bordeauxの画廊の小さい女主人展の事で来た。Galerie Faure, Mlle Tayo」「額モンパルナス出来たとTelあり。」 [FT00542,091]
- 3月27日 「15P猫持つ小女バラかく」 [FT00542,092]
- 3月28日 「午後小女と猫、バラに森かき込んで夕方迄かき下がき墨で仕上げ安心」 [FT00542,093]
- 3月29日 「朝から15P小女と猫バラ チューレリーの庭のMrs Baronの油かき」

- バスであった老人に、「貴君はmaitre de nuだから裸婦をおかきなさい」と言われる。  
ウィーンのアダムの話を断ったが、スカラを借りてやりたいといわれたので許可した。ウィーンのアダムの蝶々夫人は藤田の背景と衣装を使って上演する事になった。 [FT00542,094]
- 3月30日 大使館文化部長寺中氏から日本展の相談会の出席依頼を断る。 [FT00542,095]
- 3月31日 「午後Mrs Baron二人来て勝手な事言って色濃くしてくれ等猫のヒゲが右の方が短い等素人らしいアメリカ人に会ってハハはぬ画□もダイなしになる断るに限る。」「自画像直したりして」 [FT00542,096]
- 4月1日 「芸術新潮にハ昭和八年私の第一回展から本当に画商になつたとて恩は忘れずに居た。」 [FT00542,098]
- 4月2日 Petridesに「二枚0F自画像(支那すみ)と6F小女猫」渡して帰る。  
「15Pに仮枠つけ厚紙で用ゐるしてやつた。」 [FT00542,099]
- 4月3日 「英国国旗のある娘姉妹デッサンからキャンバスなくてカルトンにかき出し墨かき終つた。」 [FT00542,100]
- 4月4日 「galerie Bernardの女主人来て画欲しいと言ふ。」「午前中ハ姉妹と英国国旗の画かく」 [FT00542,101]
- 4月5日 「8F小女姉妹ユニオンジャック英国の旗いろいろとかく。一日かゝる。」「白キャンバス油で十枚ぬった」 [FT00542,102]
- 4月7日 Mrs Belle Baronに15P小女と猫jardin届ける。 [FT00542,104]
- 4月10日 「4Fを切って2Fに小さくして小児の肖像かく事にした」 [FT00542,107]
- 4月11日 「午前一枚1Fブロード女午後一枚1F男の子キャンバスに画かく。初めて黒バックにして見た。」 [FT00542,108]
- 4月12日 「男の子の肖像2Fにかき」「肖像と1F二枚ブロードの女と赤衣の男の子油でバック色強いかいて夕方七時迄に仕上げ一日仕事した。」 [FT00542,109]
- 4月14日 1Fに小鳥を持つ子供をかく。 [FT00542,111]
- 4月17日 「6m女二人一人ブロード一人ルッキン手握り合ってるのをかく油で仕上げた。」 [FT00542,112]
- 4月18日 「二枚8m 6m 女と小供すみかき夕方迄に赤バックとコバルトバックつけて可成油でかく。」「写真屋がきて、ライカやベルンハーエルの16mmの機械を見せると、これ以上のものはないと言われる。 [FT00542,113]
- 4月20日 「額小児のカルトンの分一枚作へて木彫りして色つけてキャンバス三枚白ぬって(水のペンキ)」  
額縁屋で額十六枚、枠七枚購入する。 [FT00542,115]
- 4月21日 Cour de Vancennesの祭りに行かず「6m 8m二枚バックコバルトと赤一面ぬりの分を油で一日かいて」「三枚15, 12, 10を白ぬりして、油をぬって下ぬり作った」 [FT00542,116]
- 4月22日 クロッキーを一枚描く [FT00542,117]
- 4月23日 「一枚6m女一人のシャルプの図油えでかき渋く寂しいが好きに一ツ出来。」 [FT00542,118]
- 4月24日 Mme Bonveronに子供の肖像を渡す。 [FT00542,119]
- 4月25日 Petrides 「8m 女二人 赤バック、6m 女二人 緑バック ブロード、6m 女二人 コバルトバック女と子、1F小児赤服、1F小児鳥持つ」 [FT00542,120]
- 4月26日 「午後猫クロッキー沢山二匹や親子や二ツ三ツ交せて小品でかく事始めてだつた。」 [FT00542,121]
- 4月28日 「午前午後皆猫のえかく。四枚すみえかき上げた。」 [FT00542,123]
- 4月29日 猫の絵をかき、五枚になる。 [FT00542,124]
- 4月30日 イボンブレモンダスの本の挿絵に取り掛かり、6, 7枚かく。 [FT00542,125]
- 5月2日 イボンブレモンダレスの挿絵を描き終え渡す。 [FT00542,128]
- 5月3日 「Telでcourbevoieより画題きいて来て8号池出す事に返事早速8mに舟と池かく事始めデッサンすみでいきなりかく。」 [FT00542,129]
- 5月4日 舟と池の絵を油でかく。  
「午後油 猫の画五枚油でかき一日かゝる」 [FT00542,130]
- 5月6日 「小児の画(ウンコ)紙のもの仕上げ、猫五枚舟等油でかくかげつけた。」「ウンコの小児の額一枚作つて彫刻した。」 [FT00542,132]
- 5月7日 「小額仕上げた。」 [FT00542,133]
- 5月8日 「午後画ニス猫其他ぬるのハ遅くなつた。」  
イボンブレモンダスにデッサンを二枚渡す。 [FT00542,134]
- 5月9日 「白油キャンバスに七枚ぬつたりする。水尻たゝく男の額作つたり」 [FT00542,135]
- 5月10日 「Petridesに五枚画届け 155 8m 白黒、三毛 茶板 85 5F うす三毛 子二ツ 灰板 85 5F 白三毛 アオ板 70 4F 白三毛 茶板 70 4F 三毛 タイル茶」  
「午後又額二枚黒色上々とつて入れたり色写真できてたり、白水ペンキ買つりして」 [FT00542,136]
- 5月11日 「悪い枠10F二ツ買つて悪い布貼つてオークル白の色でぬつたり、いろくやつた。」 [FT00542,137]
- 5月12日 Alix Rothschildの昼食会に行き、カスー氏にデッサンの達人と言われ、近代美術館で大覧会をしないかと誘われた。 [FT00542,138]



- 5月13日 「1日10Fの普通かんばすに猫と小児の変な画かいていろくやつて工風して研究して一日暮し」 [FT00542,139]
- 5月14日 「Vichy出品10P Moulin à caféクロッキー女の子フリゼかき墨がき迄する」 [FT00542,141]
- 5月16日 額縁屋で2Fを注文する。また、小品に少し手を入れたり、クロッキーを描いたりする。 [FT00542,142]
- 5月17日 Mme Marcel Lenoirが真贋鑑定のためにデッサンを二枚持って来て、真作であることがわかった。 [FT00542,143]
- 5月19日 「10P女の子長いスカートの分墨がき一日」 [FT00542,145]
- 5月20日 MonrougeのNotaireのところへ行き、遺産について、藤田と君代のうち残ったものの方に全て相続されるようにした。 [FT00542,146]
- 5月22日 ライカを持ってPorte de VanvesからRue Castagnaryを歩き16枚写真を撮る。  
財産について、夫婦は半分ずつ所有権を持つが、一方が亡くなった場合その分は妻ではなく近親者に権利が渡ると知り驚く。 [FT00542,148]
- 5月23日 「油え三枚子供二ツ女一ツバツクなしに色の仕事する。」 [FT00542,149]
- 5月24日 「12Pの女の子カツエチュールの油着物すこしかく。」 [FT00542,150]
- 5月25日 枠16枚を買う。12Pを8Pに切って張り替える。 [FT00542,151]
- 5月26日 16枚の枠にみんなでカンバスを張る。 [FT00542,152]
- 5月27日 「三枚油え色でかき仕上げた。10P二枚8m面白く出来た。」  
色白水ペンキでカンバスを塗る。 [FT00542,153]
- 5月28日 「5m二枚四号F一枚 すみがき夕方迄仕事」 [FT00542,154]
- 5月30日 ドームの審査。  
「Lorzonの展マーサークルドランブイエ見に行く。」 [FT00542,156]
- 5月31日 「朝からデッサン五枚位昼迄かかつかき」「写真エルボッションへのミー一枚Vichy出品の分Perleで写真色出来とり」 [FT00542,157]
- 6月2日 「朝から夕方6時半迄白カンバス油ぬりで終日休ミなく働く」 [FT00542,160]
- 6月3日 「午前中より仕事油え三枚かく。女レース小女二枚」 [FT00542,161]
- 6月4日 「朝からカンバスに小女10mと4Fにかき出した。」 [FT00542,162]
- 6月5日 「油画え二枚色つけはじめて」 [FT00542,163]
- 6月7日 「6mに小女二人寝衣のものかいて午前午後油色仕上げ迄する」 [FT00542,165]
- 6月8日 「三時Jean paseal サレの花水彩にかいたの持つて来て見せ色写真額くれ、色写真三枚」 [FT00542,166]
- 6月9日 「午前中より小女芋むき5Pフライパン4P小女パンと牛乳のホル手にする墨がき夕方迄かく。」 [FT00542,167]
- 6月10日 「二枚5P4P色つけしてすきなもの出来た。」 [FT00542,168]
- 6月11日 「小女のバツクに小ブランの椅子油で午前中かき」 [FT00542,169]
- 6月12日 「小品二枚、版画、木版バツクにかいて色油え六枚夕方暗くなる迄かく。」 [FT00542,170]
- 6月13日 「午前中、女の子のバツクにスペインの色たいる四枚かいて色つけした。」  
「石黒氏むけの小学校一枚かき出して」 [FT00542,171]
- 6月14日 「午後Bonvenon (Nimes) 来て小児の肖像とても好きで十才の女の子と私の自画像や自分のも描いてくれ等、政府の人だし断る事も何うかと思つてる。」 [FT00542,172]
- 6月15日 「六七枚ニスぬったりして仕上げ」 [FT00542,173]
- 6月18日 「Petridesより電話で画何うかとて十時半6小女と版画5P小女と芋5小女とタイルスペイン4小女とゴブラン椅子持つて行く喜んでくれ」  
「枠六つ買ひに出たり、三枚木綿カンバス張ったり残の画台紙に張ったり。」 [FT00542,176]
- 6月19日 「10F二枚キュービズムの子供かき油」  
モーリス・ドニの娘が来て、夫がペンクラブで日本に行くため、ついて行く方法を相談されるが断る。 [FT00542,177]
- 6月21日 「ペトにTelして5P女レース、4P女の子パンと牛乳、女の子スペイン船版画もって行く。」  
「クロッキー一枚かく母と子供と猫」 [FT00542,179]
- 6月22日 「朝から十号母と女の子猫クロッキーカンバスに墨がき初めた。」 [FT00542,180]
- 6月23日 「一日10mに馬乗のブランセス (Sakinah Borotra) 夕方迄かゝつてToileにかく。布の模様丈け出来ず。」 [FT00542,181]
- 6月24日 「午後からブランセスボロトラ (馬乗) 母と子肖像又かき続けた。」「夕方ボロトラの布地模様かく」「能の一行の中野村万之丞と言ふ兄さんの方伊藤道郎の手紙持つて来た 若い人こゝへ残つて見物して帰り度い等との事」 [FT00542,182]
- 6月25日 「サラベナルの能見物に行く。座長日本で皆 (文楽を除いて) 見て来たと言ひ、ギメイの秘書の人写真私をうつす。喜多実郎世さん、観世よしゆき氏、野村万之丞万作氏小つゝみの老人幸祥光 (煮物からし菜土産) さぎ、棒いばりしゃっきょう赤三白一四人の獅子等色写真うつす 大勢写真活動等居た 背景松の根方の板紛失してすこしかいて次きたいお弟子連れて来てとの事」「一人で能の背景なほしに行つたりして舞台で根と苔かいて」 [FT00542,183]

- 6月26日 「conboisの水(船)の画返して来た」 [FT00542,184]
- 6月27日 「フランスス ポロトラの油初めた。」「ドイツ画商Abels Köln夫妻来て九月十五日迄に十五枚送る事いろくPetridesと打合せの事」  
「ロックホールの社長と秘書 印刷の人が来て一枚 昨日かいたデッサン小女と今朝かいた羊三匹かいた分をXmas cardとして買って行く」  
「母と子供親子猫二ツの油やつと色つけた」 [FT00542,185]
- 6月28日 M Mme Limoge の michelinの人がドロエで買った藤田の女のデッサンの真贋鑑定に来て、真作であることがわかった。SanaryにDentelle 8 mを一枚送った。 [FT00542,186]
- 6月29日 「Epinal展 Mme Langlois 8 Rue Quentin Beau charf 8me 来て nu うしろむき秋12号一枚かしてやった」  
「能の人三人 □□幸祥光 宝生彌一(野口禄久友人) 山本博之(田村駒治郎友人) サインしてくれとて石版Xmas cardやつた。」 [FT00542,187]
- 6月30日 「朝から肖像ポロトラ夫人と十号の母と子猫に色つけの続き」「アメリカ人夫婦子供二人来て肖像の打ち合せ」  
モデルが来て、横になった裸体を一枚描く、難しい。 [FT00542,188]
- 7月1日 「2hアメリカ夫人Mrs David Josefouritz 女の子二人姉 Vicki, Polly 妹 裸体にしてデッサンかいた。」 [FT00542,190]
- 7月2日 「肖像ポロトラにニスぬった。」  
カナダのSternが来て猫1949 5.22 デッサンクローキーを持って行き、十号二枚 八号一、二号一、一号一を注文する。 [FT00542,191]
- 7月3日 「カンバス白油ぬり午前中かゝつて仕上げ沢山Toile作り」  
「夕方 8 h Annenkov □処モデアーニの服装私の1918-20の写真やつと二枚見つけて寸法仕立デッサン届け肖像かき」  
「Josefouritz三人でクローキー見に来て」 [FT00542,192]
- 7月4日 石黒氏向けの5F動物宴会をかきはじめる。  
Petridesから肖像を頼まれる。他に二、三枚売れたため描いてくれと言われる。 [FT00542,193]
- 7月5日 Pradeが来て、肖像をととても褒めて60萬小切手くれたので、「バラの水彩一枚(三ツ花)」を礼に渡した。  
動物宴会のデッサン墨がきを始める。 [FT00542,194]
- 7月6日 「5F動物宴会朝ハデッサン昼からは色でかく」 [FT00542,195]
- 7月7日 朝から夕方五時まで10m 母と子供猫二匹仕上げる。 [FT00542,196]
- 7月8日 Bonneron氏夫婦が10歳の娘Natalieを連れて来て、ポーズを取らせた。  
「パンと牛乳の女の子 8 mデッサンをかいて夕方迄うすく色明るくかいて見た」 [FT00542,197]
- 7月9日 クローキーを三枚描く。  
4 m女の子を一枚墨がきする。  
「Pearleで写真(アメリカ親子三人 モデルの分)とつて」  
三人肖像のデッサンにとりかかる。 [FT00542,198]
- 7月10日 「三人肖像のクローキーすこし」 [FT00542,199]
- 7月11日 アメリカ三人肖像のデッサンを工夫して描く。 [FT00542,200]
- 7月12日 「アメリカ三人肖像デッサン大にかいて午前中墨がきが終り [……] 三時から六時迄肖像油で一通り仕上げた」 [FT00542,201]
- 7月13日 「1Fバラの花カンバスにかく」  
旅行から帰って来た石黒に4P小学校 5m動物宴会等 魚6等欲しいと言われる。 [FT00542,202]
- 7月14日 6m女ト二人カンバスにかき油で一日かゝつてかく。」 [FT00542,203]
- 7月15日 「6m女二人色写真で写した分あつたのかいた。」  
「アメリカ三人肖像かき上げた。」 [FT00542,204]
- 7月16日 「夕方一寸バツクにバラかく」  
「Lorrieux氏色写真持つて来てくれて版画に一枚して本さしえする許可くれと」 [FT00542,205]
- 7月17日 2号のバラを描き始め、仕上げる。 [FT00542,206]
- 7月18日 「アメチヤン肖像ニスぬり」  
「アメリカ肖像と10m女一人小児女大小二枚持つて行く、九月十五日ドイツ、来年正月スイス一番の画商で展してくれとて」 [FT00542,207]
- 7月19日 「10m女子供猫二ツの三枚目の分かく」 [FT00542,208]
- 7月20日 カンバスを張り、白(水分)カンバスに塗り、八枚用意する。  
Yvonneに色つけした挿絵を二枚渡す。 [FT00542,209]
- 7月21日 4F笛と少女鳥と、Petridesに注文された少女のデッサンを二枚かき、紙貼りもする。 [FT00542,210]

- 7月22日 「4F小女笛吹く鳥の娘朝から色つけ終つて」「Petridesにデッサン二枚（アメリカ人肖像のクロッキーだったのを間違えた）」  
Sternに五枚渡し、Yvonneに色を塗った挿絵を全て渡した。 [FT00542,211]
- 7月24日 Sacha Guitryの訃報をテレビで知り、大家が失われた事を惜しがる。 [FT00542,213]
- 7月25日 Vichyに行き、ヴェルニサージュに行く。Moulin a caféを出品する。 [FT00542,214]
- 7月29日 Vichyからパリに帰る。 [FT00542,218]
- 7月30日 「4F女の子一枚すみがきして」  
カンバス小十六枚布地を張る。 [FT00542,219]
- 7月31日 「10m小女ダンテルの分墨がきして」 [FT00542,220]
- 8月1日 「4P昼前小女下で手組む」「4F小女猫だく赤頭巾のもの今日ハ二枚すみがき終る。」 [FT00542,222]
- 8月2日 「カンバス十六枚白油ぬり一日仕事する。」 [FT00542,223]
- 8月3日 白油カンバスを二枚作る。 [FT00542,224]
- 8月5日 ボルドー旅行へ出発する。Espeに着く。 [FT00542,225]
- 8月13日 ボルドー美術館に行く。ドラクロワが一番、またルドンも良い。ボスの作品が一枚ブリューゲルとしてあった。  
「私の画結局早くなほしてくれとて1927年女裸体二枚等身大の分来年四月も今年十月もを明日する事にして約束」  
Espeに宿泊 [FT00542,234]
- 8月14日 ボルドー美術館の二階で「1929年二人女大作中央の手腕水彩で三十分で」直した。  
ボルドーからモワサックに移動し、美術館に行くと藤田のムーランカフェの絵と丸い玉と棒のはかりの絵があった。 [FT00542,235]
- 8月15日 モントーバンへ移動し、アングル美術館へ行く。その後、アルビへ移動し、大聖堂やロートレック美術館へ行く。次に、キャステールでゴヤ美術館を見学する。最後にカルカソンヌに着く。 [FT00542,236]
- 8月16日 カルカソンヌからトゥールーズ、モントーバンを通り、スイヤックへ行き、ボルドーに戻る。 [FT00542,237]
- 8月17日 ポーリユールからスイヤックを通りラスコーの洞窟に行く。その後、レ・ゼイジーへ行き、美術館を見る。 [FT00542,238]
- 8月18日 三つの洞窟へ行く (Grotte de Mothe, Grotte Font de Gaume, Grotte combarelles)。  
その後、リモージュ、サン・ゴートイエを通りサン・サヴァンに泊まる。 [FT00542,239]
- 8月19日 サン・サヴァンから、シャンヴィニー、シヴォー、モンモリヨン、シヴレーを通り、ボワティエに着く。その後パリに帰宅。 [FT00542,240]
- 8月21日 「2F今朝考えてた川辺の石垣の上の小供三人かいて五時半になつた。」 [FT00542,242]
- 8月22日 「一枚6P川辺石崖の上四人女ノ子、男三人、赤ん坊一人、犬一ツ、燕の分午前中かく」 [FT00542,243]
- 8月23日 藤田がゴヤ美術館へ行った事を新聞三紙が記事にした。  
「朝から夕方六時迄 5F 2F 1F 三枚皆バラの花壺入れた分墨がき終つた。」 [FT00542,244]
- 8月24日 「朝から夕方迄いろく九枚油え色ぬりとりかへたりかへかく淡色濃色いろくやってみた。」  
コクトーが来て、Michel Cotという写真の上手い人のla glace a deux facesの本をもらう。今度は風景画と出したいとのことでブラマンクの八枚の絵を見せながら藤田に依頼するが、夕方には中止にすると報告される。本の序文はMac Orlanだった。 [FT00542,245]
- 8月25日 「6m 8m小女と猫二枚すみがきして」 [FT00542,246]
- 8月26日 「6m 8m油色でぬるとてもいゝ調子に今日は楽に出来た」 [FT00542,247]
- 8月27日 「8Fムフタール町の処一枚墨えでかく」 [FT00542,248]
- 8月28日 「今朝は8F風景油で色つけ一度小自画像初め」 [FT00542,249]
- 9月1日 「朝から夕方6時1/2迄かゝつて15Pボエミヤン姉と弟エガルキネ又一枚かく墨丁寧にかいた。」 [FT00542,254]
- 9月2日 「朝から一日油えかく二人ボエミヤン15風景、小女と猫バック等昔かいた教会迄出して夕方迄油えさんざんかく。」 [FT00542,255]
- 9月3日 「Petridesへ八枚画持って行く」  
「小供紫衣 (のバックにオランダのタイル) 小女黄衣 (ボレーと空) 等油でかく。」 [FT00542,256]
- 9月4日 一日油絵をかいたり、作品に手を入れたり仕事をする。  
「英国国旗消してくれとてペトリデスのたのみの画手がけたりする。」 [FT00542,257]
- 9月5日 「朝から10mに小供カツフェムーラン持つVichy出品と同じもの墨がき一日」 [FT00542,258]
- 9月6日 「10m小供ムーランカツフェの油えぬる上出来、ニス皆の油にぬつた」 [FT00542,259]
- 9月8日 「朝すこし油えかくニスぬつたり額に入れたりいろく仕事して」 [FT00542,261]
- 9月9日 「朝から2F小供の学校体操かく 午後四時仕上げた」  
Recioに鉄道のポスターを依頼される [FT00542,262]

- 9月10日 「0F男の子Red boyかく」  
「Petridesに8m猫と娘花もよう 6m風景みちぶしん 6P猫と娘花もよう 4Fボネ赤、濃目 4Pバルコン娘うすて渡し」 [FT00542.263]
- 9月12日 Red Boy 0Fの背景に煙草の箱の絵（藤田の絵）をかく。  
着物のひだ写生用のため人形を作る。 [FT00542.265]
- 9月14日 ウルグアイ、ブラジル、アルゼンチン三国大使の推薦で、藤田に南米に行ってもらいたいと日本大使に言われる。  
シテの日本館修繕のために壁画を美術館に買ってもらうならなくなった。 [FT00542.267]
- 9月15日 人形制作。 [FT00542.268]
- 9月16日 人形制作続き。 [FT00542.269]
- 9月17日 「人形でクロッキー初めて面白く夕方迄大二中二小三七枚かく面白く又一ツのEpoqueが出来そうだ髪の毛や衣装に新しいものを見付けそうだ色も又変つてやるつもりだ。」 [FT00542.270]
- 9月18日 「5P女子（人形の）一枚かき出し」  
Petridesに三枚持って行き、ドイツ展中止を知らされ、また子供川端の石垣の上の分二枚ともすぐ売れたためかいて欲しいと言われた。 [FT00542.271]
- 9月19日 「5F小女（人形でかいた第一作）色昼迄に仕上げ」 [FT00542.272]
- 9月20日 「Romanet Kiki Tel Lyonで展したいとの事承知した。カンバス四枚張って仕度 白油塗って」 [FT00542.273]
- 9月21日 Namurへ行き、宿泊する。 [FT00542.274]
- 9月22日 プリュッセルへ行き、美術館を訪れる。その後гентへ移動し泊まる。 [FT00542.275]
- 9月23日 ブルージュへ行く。 [FT00542.276]
- 9月24日 パリへ帰る。 [FT00542.277]
- 9月26日 「8mに小供の河辺の画色つけ初めて午前中終り。」 [FT00542.279]
- 9月27日 ソー美術館のための作品を描き始める。12mにシブルーズの家をかく事に決め、直接画布に墨がきした。 [FT00542.280]
- 9月28日 「午後12m油でchevreuseかいて四人の小供出来上つてから二人にした。」 [FT00542.281]
- 9月30日 「Petridesへ 8m川辺の小供石垣の上 2F小学校体操届け」  
「昼から12mに小女レースの小供の画かく」 [FT00542.283]
- 10月1日 「12m小女レースの着物とバック手すり敷石白黒一日墨がきして夕方終つた。」  
「ワシントンのHecht夫婦とMme Bernard来て肖像かいて見る。かきにくい大きい鼻眼のたるみ等いい画ハ出来そうなし。」 [FT00542.285]
- 10月2日 ソー美術館に、シブルーズの家の絵を出品するために持って行く。 [FT00542.286]
- 10月4日 サロン・オートに行き、Dodge custom Royal 1958型（青の二色濃淡）の購入を決める。  
12m女の子以前描いたものと似たものを描く。 [FT00542.288]
- 10月6日 「12mバルコンの娘（人形モデル）色かいて近來にない好きな画出来君代家においときたいと言ふ。又一枚12m同じ様なもの墨がき一日した。」 [FT00542.290]
- 10月7日 「12m小女レース二枚目の分油で午前中かくこれも好きなもの昨日の方ハ私たちのものとして保有する事にした。」 [FT00542.291]
- 10月8日 「朝から6m女子昨日かいたバック グルニネモンゴルの村の寺かく。もう一枚5Pにもビシー近の村の寺かく。」 [FT00542.292]
- 10月9日 「Petridesに12m小女レースの着物 8m裸体レースsanary出品の分届け 12mとてもよしとてビトリンに出すと言い御満足」 [FT00542.293]
- 10月10日 「赤衣テンく 青衣 黒テンく の娘の子十二時迄かゝつて色で仕上げ（二度目よくなった）やはりえのぐ買ってよくなる。初めて色使つたもの二種で成功あり。」「画すこしかき80号大カンバスに白ぬり初める。」  
Dr Bessière夫妻子供が生まれた祝いとして肖像を描いて欲しいという依頼を受ける。 [FT00542.294]
- 10月11日 「3m小女長髪一枚 すみがき初め」 [FT00542.295]
- 10月12日 「朝から三号女の子油えかき上々 昼すぎ二枚ニスぬつた。」 [FT00542.296]
- 10月13日 「3m小女赤袖の女の子一枚かく。」 [FT00542.297]
- 10月14日 「12.8三枚以下 十五枚カンバス昼迄にカンバス枠に張つた」  
「水、白色カンバスに昼後ぬつた。」 [FT00542.298]
- 10月15日 「朝ニスぬつたり白油、コスタタリ、仕度してPetridesへ四枚君代と届け」 [FT00542.299]
- 10月16日 「一枚10mバラかき出しクロッキーから初めた。」 [FT00542.300]
- 10月17日 「バラの花のデッサンカンバスに続けてかく。」  
「Kleinのデッサン三枚かき」 [FT00542.301]



- 10月18日 Kleinにデッサンを渡す。  
「10号mバラの花色つけて午前中終了」  
Petridesに5Fの額を届けた後、サン=ジェルマン=アン=レー国立考古学博物館へ行き、「3000 ans de bijouterie antique」を見る。その後、ベルサイユへ行った。 [FT00542,302]
- 10月19日 「朝からKischkaのたのみの人形5FPに二ツ人形デッサンから油え迄かく。」  
「午後Prade氏社長と来てバラの花一輪かいてくれとの事。」 [FT00542,303]
- 10月20日 「Mr mizne Blumental Mme Felicia Blumental claridge AP, 406 肖像かいてくれとてマネカットの家から来て今朝バンドンゲンにポーズしたと言ふ ポーランドの女でピアニストとの事 ダリーの画外いろく持つてると。」 [FT00542,304]
- 10月21日 「2にバラ三輪すみがきして」  
四時Bauër氏が来て肖像デッサン三枚かき、かえてから一枚できた。  
Elleで巨匠たちの裸体画の中に藤田が君代を描いたものが入っていた。 [FT00542,305]
- 10月22日 「Petrides10mバラの花葉ピン赤一輪届け」  
Bauër氏が来てポーズをしてくれた。 [FT00542,306]
- 10月24日 「バラの花かく 油 小品」 [FT00542,308]
- 10月26日 「8FにバラLaskerの画一枚すみがき」  
「小品バラの花油でかく」 [FT00542,310]
- 10月27日 ブラジルのピアニストにポーズをとらせかく。  
「Rose 8 F油えかく。」 [FT00542,312]
- 10月28日 「Mme Felicia 第二回目ポーズ」 [FT00542,313]
- 10月30日 Mme Bissière夫婦で来て、肖像画のためにポーズさせる。帰った後、記憶を頼りにかく。  
「Prade夫婦で来てシャンペンのびんにはるレッテルの小バラの花デッサン二枚渡し」  
「女の子の肖像2号にかく。前かいたことのある南仏の人Mr Bonneron Jas. 52.00」 [FT00542,314]
- 10月31日 ベトリデスに8F Lasker ローズ 2P ローズを持って行き、小品が完売したので、もっとかいて欲しいと言われる。  
Felicia夫人の肖像の背景を描き始め、金箔をおいたり、レースなどをかいたりして、一通り終わった。 [FT00542,315]
- 11月1日 ブラジルのピアニストの肖像、子供2Pに色つけをする。お腹の大きい医師を6mに線描きする。 [FT00542,317]
- 11月2日 Dr Bssière夫人を油でかき、背景をレースにする。  
来年Temoins展のパリジェンヌのデッサンを始める。 [FT00542,318]
- 11月3日 「手紙かく女デッサン一枚かき」  
「肖像二枚油二度目の仕事して」 [FT00542,319]
- 11月4日 「三枚肖像油最後の仕上げ完成した。大作クロツキー始めた。」  
Verlèsの挿絵展、Mme guilletの花とアブストレ(素人)展へ行き、写真を撮られる。 [FT00542,320]
- 11月5日 M Mme Felicya Blummental肖像を取りに来る。 [FT00542,321]
- 11月6日 「大デッサン初めて、大作をいろく考える。いいものかきたい。」  
「Bonneron夫妻小女肖像2Fとりにきたので渡す やれ口が何うだの肖像はうるさい事言ふ クロツキーや写真も欲しいと欲ばり許り」  
「Vogesの使の女猫リトりに来て三枚渡す。」 [FT00542,322]
- 11月7日 「シャンペンの社長Rene Lalou氏Prade来てRose 印刷したものを見せてくれ、大満足版權十デッサン二枚各二との事。都合十二との事。」  
Dr Bissière夫婦が肖像を取りに来る。 [FT00542,323]
- 11月8日 「一枚6Pバラ(フランキーさんのローズ)墨 夕方6時15前迄に油えにした。一枚かき上げた」  
「戦争孤児に寄付女の子一枚(笛吹く小児笛なしの)素描寄付した。」  
Officierになることが決まった。 [FT00542,324]
- 11月9日 Kischkaからレジオンドヌール勲章について手紙が来る。  
「朝からデッサン一日かく」 [FT00542,325]
- 11月10日 「ローズ6号油二度目で完成さす。午後二枚デッサンかき」 [FT00542,326]
- 11月11日 「朝からのり作つて十枚Dessins台紙に張つたり又大作にデッサン切ぬいて切りばりしてパステルと水彩とて何うにか写真の下図作る」 [FT00542,327]
- 11月12日 Galerie Canardのプロフィール展へいく。ドミンゲス展にもいく。 [FT00542,328]
- 11月13日 「8FLaskerに三毛猫墨がき」 [FT00542,329]
- 11月14日 ベトリデスに6mローズ素描と女の子二枚二人女を渡す。 [FT00542,330]
- 11月15日 「朝から巴里風景ペンキ屋のあるAnguste Blanqui New Yorkの荻野氏と思つて6Fにかき出して油迄ぬる」 [FT00542,331]

11月16日	「1日デッサンいろくかき寄付等のdessinもかく。」	[FT00542.332]
11月18日	「8F猫の画の上にチュリツプかきこんで油えにして一日かかる。」 「寺中日本人会出品 (嫌々) の12m Petite fille若い人とりに来て渡す。」	[FT00542.334]
11月19日	「厚紙買ってアメチャンDavid Josevarityクロッキー張つたり (昨夜デッサン6枚ハツタ)」 「Petridesへアメリカ人デッサン四枚と猫素描一枚持つて行く。」	[FT00542.335]
11月20日	大作の締め切りが近くなり、木炭で描きあげる。 quatre coins du monde charitéの売り立てへ寄付するデッサンを取りに来る。	[FT00542.336]
11月21日	Hervachonが大作を写しに来た。 スタンドグラスに手を入れる。	[FT00542.337]
11月22日	「Petridesに猫とチュリプ8F届けLaskerの画と小品又沢山たのむと」	[FT00542.338]
11月23日	スタンドグラスの女の子を仕上げる。 1F子供行列一枚墨がきする。	[FT00542.339]
11月24日	二枚目のスタンドグラス男の子のガラスを切る。	[FT00542.340]
11月25日	「Temoins展の事出来安心」 スタンドグラス男の子を作ったり、2F子供五人石垣の前を描く。 夕方スタンドグラス完成。	[FT00542.341]
11月28日	スタンドグラス二枚を完全に仕上げる。色を濃くして、鉛を硫酸で黒く焼いて窓に入れた。 エリゼ宮から使者が来て、11月27日付でレジオンドヌール勲章オフィシエを受勲した事になる。 鳥かごの下絵を描く。	[FT00542.344]
11月29日	「午前中鳥かご8FにかくLaskerの分」 エリゼ宮へお礼に行く。	[FT00542.345]
11月30日	「朝から鳥かご8Fの中へかくインコ四羽写生してかき込んで昼から又レースのバック二度目に成功。」	[FT00542.346]
12月1日	「小品小供バカンス (五人) の川岸アカシヤ二本又かいて (すみづけ) Kischkaのカタログ (Temoins) のさしえ二枚かいたりする。」	[FT00542.348]
12月2日	「午前中鳥籠と小供の大勢の小品色ぬつて仕上げクロッキー二枚かく。」	[FT00542.349]
12月3日	「油え小品二枚かいたりして」	[FT00542.350]
12月5日	14区の助役Mr René Mossé氏に小女 区長に小女のデッサン、Robert Reyに礼状と女の横顔デッサンをあげた。	[FT00542.352]
12月6日	「ペトの処Lasker 8Fの鳥籠3F小女、窓枠バック、少女手すり1F、子供五人石垣燕1F四枚持つていく 6Pの女二人かいてくれとの事。」 「朝から8Fにカーネーション昨日クロッキーかいたのを一日かかつて墨がきした」	[FT00542.353]
12月7日	「8Fカーネーションをかく油。」	[FT00542.354]
12月8日	「6P女二人赤コバルト衣のものPetrides注文かく。」	[FT00542.355]
12月9日	「6P女二人油えでかく。Kleinのデッサン (本) もかく五枚。」	[FT00542.356]
12月11日	「朝より二枚油仕上げバラの花かき込む。Kleine六枚渡す」	[FT00542.358]
12月12日	「Audre (新聞の注文キリスト誕生のデッサンKischkaの分) St Denisに届けてくれた。」 「一日午前午後鉄道省のnormandieのアフィシュかいた25P、今日のハ平凡一辺ぬり、今度かきおこす番だ。」	[FT00542.359]
12月13日	「25P鉄道省ポスターノルマンデーかく 油えの上に線がきして何時もの反対にした。」	[FT00542.360]
12月14日	Belgiqueのgalaのdessin細長小女かいて午後ハ額に入れた出来た」 ニューヨークから来た萩野に風景5Pを渡す。 鉄道省のポスターを渡す。	[FT00542.361]
12月15日	「田中と言ふ画家研一、辻永の知人来て」	[FT00542.362]
12月16日	ベルギー旅行に行く。	[FT00542.363]

## 1958 (昭和33) 年 71歳

1月1日	「元旦仕事始め2F小女とバラ墨かき塗り。カンバス二枚張つてパレット大掃除したりする。」	[FT00547.007]
1月2日	「十時電気メートル調べの男とコンシエルヂの神さん大変で恐ろしい事が起こつたドミンゲスが自殺したと言つて口がきけぬ 大晦日の夜両腕を切つて風呂場で裸体の尻血に染まつて血ハ階下の天井にぬけてた。」「午前中 仕事2F小女バラ持つて油えでかく」「Auberの村へ行つてゴツホのかいた町役場前から三人柔い日を浴びてお寺に行き裏口画	

- そつくり田舎道麥畑西等の方から墓地に行つてバンセント、テオドールの並んだお墓に訪でドミンゲースがやはり自殺したからあの世で可愛がってやつてくれとたのミ」 [FT00547,008]
- 1月3日 「朝から5m。小女小鳥を両手に持つかいて油えにした」 [FT00547,009]
- 1月4日 「朝から1F faim と言ふ題らしい小供 男の子 小女二人バツクにかく 夜になつて君代お年玉にこれは下さいと言つた」 [FT00547,010]
- 1月5日 「5F風景パンテオン裏 支那店前油え水彩から一枚明るくかく。直ぐO Kischkaから金欲しい大金出してくれ。画集の金。すぐ又5Pバラの花一枚夜九時迄かかつてかいた」 [FT00547,011]
- 1月6日 「昨日の風景仕上げ5F一日、Roseの花かき仕上げ5P。」「Spain人のAndes氏Penaの手紙持つて来た Toulonの画家若い人ドミンゲースの事できた」 [FT00547,012]
- 1月7日 「Petrides Telあり午後画五枚届ける事にする。5Fパンテオン風景 5Pバラ壺銀 5m娘小鳥 2F娘とバラ 1F貧乏の小供」「個展5月30日より6月20日迄する事になつた。」「Recio来て月光荘の筆洗いコッピーしたいとの事」 [FT00547,013]
- 1月8日 「十時半モンパルナス墓場 [……] ドミンゲースの棺到着 入口左の建物の直ぐ左側の穴に収めて一人一人花 私ハ水仙一ツ投げて冥福を祈る。」「一枚0F小女かき出し半分すみかき。」「Kischka夫婦で来て50萬法画集印刷代半金手渡しした」 [FT00547,014]
- 1月9日 「梓廿四枚買った。バリエールの話でドミンゲースすっかり自由を失ひ朝の三時でも呼び出しmidiにもつれて行かれたり全裸での営みに閉口したと言ふ話きく画の事で苦勞したのでハないと」「Temoins展と個展と重なつてきて大仕事する事に決心した。」「ベルギーPresse Cinématographique Belgeが私にMedaille d'honneurくれるとの事礼状。」「電気買ったので左右から照らしてかける事になり前後君代とカンバス布地廿五枚切つた」「大作ビストロ愈々初めカルケに写して左側より三人夜迄かかつてかき上げた」 [FT00547,015]
- 「11h/2 大統領より雉一對頂戴」 [FT00546,006]
- 1月10日 「朝中央大作の男墨がき丁寧に一生懸命にかいた。安心した」「四時十五分 Mme de la Morandière来てウイスキーシャンペン等の事や友人の事き、履歴欲しいとの事。演説したいらしい」「ボルドーの小さな画商の女(友人と二人)で来て10月展したいとの事 (Muséeと同時に日本人展らしい)」 [FT00547,016]
- 「3h 大統領へ礼 dessin母と子と私のPortrait石版礼状→雉たべる」 [FT00546,007]
- 1月11日 「すこししたが今日は仕事はかどらず」「medaille d'or Belgiqueから届く」「ウルゲイ大使来て南米ブラジル、アルゼンチン、ウルゲイ三国から招待するから展して貰い度い等 夏がいゝとて打合せハ又することにして」 [FT00547,017]
- 1月12日 「仕事スカート右端すこしかき」「カンバス十枚枚張つたりする」 [FT00547,018]
- 1月13日 「一日大作朝から夜迄休ミなく下半分細かく消してハかき大修正したりしてかく」「来客もなく電話も少なく一日仕事進捗」 [FT00547,019]
- 1月15日 「受 大統領Cotyさん礼状」「今日は一日かゝりて5m二枚女の子(屋根バツク)男の子同じくを線かきにしたり夕方白カンバス廿五号 白水えのぐでぬつたり君代手伝つたくれたりして夜も働く。」 [FT00547,021]
- ※ルネ・コティ (René Jules Gustave Cory) 第17代フランス大統領
- 1月16日 「Academie Royale de Belgique 一月九日の会議で私の絵画の功績を見とめてAcademieの絵画部のAssocie (名誉会員)に推薦してきた 寝耳に水の吉報だつた」「夜為永夫妻来て四枚私の画買つたと コーヒー引く女の子12 女の子バラの花持つ(最近5)等 私のAutoの事も知つた。」 [FT00547,022]
- ベルギー王立アカデミーの会員となる。[[画集] p.217]
- 1月17日 「5m思い切つて一度かいた墨がきふきとつて、スツカリ明るくして油にして見てよくなつた。二枚かく筈出来ず」「夕方近く佐々木氏たくわん持つて来て南仏に家持て等すすめる。そうしてついで行くと言ふ」「阿部氏二口と来て備前焼きの名家金重氏とか62才来て会いたいとの事 大本教の人 弟子にすっかりやられたりして大にふんがい 私等の事をよくその例で判つてると言ふ人明日来るとの事」 [FT00547,023]
- 1月18日 「Buffer展7000人昨日カルパンチエ大混雑 オドロク人崑ぶ人落たんする人等と出た。私の展でハ2500、1500位入る事よくあるが7000人ハ大した事だ。」「午前中少し油5mかき」「Musee Clunyに三十分見物 君代と二人リコローンのタツビーの二階広間円形見て感心 いゝ勉強して帰り」「4h Recio来て廿四日金TV. Visite chez Foujitaに出て貰う事たのミ承知 Academie Royaleの事も祝つてくれ 南米行きもいゝと言ひすべてよし。」「五時 日本岡山の金重と言ふ陶工大家(子供女四人男四人)の人アメリカより来て会いたいとて二口女史と来ていろく話きく。面白かつた。」 [FT00547,024]
- 1月19日 「Selz 24日来てくれることTelした。」「0F小供茶せんでかいて見て又午後ハ2mもかいて見た 0Fの方がいゝ。」 [FT00547,025]
- 1月20日 「速達 ハンガリー公使かん」「10h TVの人Coldefy氏来て金曜日Foujita chez luiの放送の打ち合せいろく写真かしたり昔話したり 一時半話して帰つた。」「三時Petridesに5m二枚届けていろく雑談 モデリアーニの画の眞偽見て貰いた

- い人あり。」 [FT00547,026]
- 1月21日 「朝一枚3Fに小女赤ん坊コーヒーのむ処かき出した」「4h ハンガリーの画家爺さん光せんを無茶にかく人の画 公使館の文化部長の案内昨日速達で貰ったので義理で行く」「6時TVのColdefyとピエールシャルニヤ氏外若い人三人で来ていろく見せたり話したりして大分昔話盛んにした。それをきかせたいとの事だった。とても私とEmissionを送る事ハheureuxだとシャルニヤも言ってくれ。」 [FT00547,027]
- 1月22日 「TVの大ガラス男二人届けて来た。」「3F小女赤ん坊ボル持つのを油で線でかく 好きなもの出来た」「大ガラスに窓モンパルナスのをかく。中々難しいが面白い。夕方迄続け」「勲章授与式」「君代初めて裾模様で二人Delegueさん宅 6h1/2 Recio早く来て居てバルマンのバラ机ニ飾つてあり。だんく人来て、モーランジュエル夫妻 ウルゲイ大使親子 石垣二人 ピラ二人 ペトリデース二人 マスト大将 ロベツシー アンドレワルノー二人 テルー ブラド夫人(スイスよりTel) 文部省巴里市より各一人づ、 其他ボージのガラリー キシカ二人、 バツシヨン二人(コクトーの本) ギーセルス二人、ルツキヤン二人、ドイツスエーデン外交官 TVの若夫婦、フランキー夫婦、等モーランジュエル 生立からモンパルナス時代 画の事人柄等 大統領の名を以てとて勲章つけてくれ France代表皆キス シャンペン プルツフエ大賑い 9h 迄残つて帰り」 [FT00547,028]
- 1月24日 「カメラ四台40人来て」「一日TVの仕事 TV. Soir (シャルニヤ)」 [FT00546,013]
- 「君代気勞れと大勢でennuieしてフランス語でたんか切つて」「女に一枚猫石版 男達に石版夢(土橋にも)あげて皆 崙び」 [FT00547,030]
- 1月25日 「一日白カンバス油ぬり休ミなくて二人無言」 [FT00547,031]
- 1月27日 「Kischka展の事」「読賣1918の水彩外一枚出た。」「Petridesに3F小供 Cafeのむ図椅子にはさまれ ブロンドの子供0F 届け」 [FT00547,033]
- 1月28日 「石膏にぬいたのを削つたりやすりで減したり石膏つけたり一生懸命中々よく出来た。」「大作ビストロ初めて油え初めた」「君代二度米買いに出て私が入りを知らなかった程画に夢中になるものかと君代驚く」 [FT00547,034]
- 1月29日 「朝から一日大作ビストロ初め色つけ初め夕方迄外出もせずかく」「TVフランセイCentre Pierre Bordauとかのたのミ二日前又Tel こゝに居る外国人の有名人とてことわる もうフランス人何日迄日本人扱いハことわると。」「村山来て四日日本へ英国アメリカ廻りで帰るとて来て」 [FT00547,035]
- 1月30日 「朝十時TV magazineに蚤の市と小供の写真渡し十一時二人TVの雑誌58の人来てinterview少々と写真沢山写して行く」「今日は一日大作のバック酒ビンの棚□斜にかいて下図から墨がき びん出して写生 夜になつて迄やつた。」 [FT00547,036]
- 1月31日 「8m小女本持ちバツク小女四人石垣にこしかけてるのをかく。色迄仕上げ Vertの調子好きな一ツ」 [FT00547,037]
- 2月1日 「一日小供四人10mに横にかく」 [FT00547,039]
- 「十号m少女四人墨がき手すりかく」 [FT00546,017]
- 2月2日 「9h 半林来て三人サンクルーのトンネル10時十分前霜白く霧深くChartresに11h十五分前着」「お寺丁度昼メスで葬式最中 Museeに十二時半迄居てホルバイン一枚フラゴナールデツサン等他にハなし」「写真林沢山写してベルサイユパントン見た事なしとて連れて行く 庭広くやつと農家水車の方見て大トリアノンでmusee二棟見て大したものなく家具許り」 [FT00547,040]
- 2月3日 「朝から10m油かきもう一枚8mと油昼迄かく」「午後Bauer肖像デツサンの分8Fにかいて二枚かいて見て又更に5Fに写真□□でかいて二枚かいて見て初めの分とても似ても居らず消して仕舞つた。何度も後で夜になつて見て満足大丈夫と思ふ」 [FT00547,041]
- 2月4日 「酒四本写生用に買つて帰る」「Bauer二度目の肖像かき 初めのは消した。最初のdessinはよかつたが油えはよくなかつた。」「大作酒びんや顔手鼻かく」「夕方Recio来て四枚かいたdessinsの内一枚(想像の鳥)画集用渡す」 [FT00547,042]
- 2月5日 「すこし大作いじつた。[……] 大作帽子かけクロッキーかき」「Petridesへ四時に行き二枚10m小供四人バリカード石垣8m小女立つ、十字の本持つ、バツク小供 四人渡し」 [FT00547,043]
- 2月6日 「朝の間大作右へ外套かけデツサンとつて [……] すみがき続け、夕方」 [FT00547,044]
- 「大作帽子かけかく」「夜家吉送別 リラで夜食」 [FT00546,019]
- 2月7日 「午前中大作の後のガルソンパトロンのクロッキーかき」 [FT00547,045]
- 2月8日 「一時からTVの人來だして四十人 [……] 君代ボアソナードの処へ逃げてたが帰つて来てとうく最後のセーヌに出される事になつて渋々出て閉口してた。」「私かつら扇子持つて君代シャルニヤと丁寧におじぎパ、マ、の人影見せて渡し 私たち二人シャルニヤと画室で日本画光りんの箱うたまろの矢立で魚えびかいて見せ」 [FT00547,046]
- 2月9日 「TVの日 Foujita chez lui」「一通りレベチシヨン本式にやつて見たりして愈々四時、私が大ガラスの小窓裏からけして顔見せカメラ引いて大写しの巴里風景。更に白でカーテンかいて頭かくすと」「私の1912年13年14年の写真の処で見せて又机の前で13年巴里に來た時何故モンパルナスを選んだか。散歩に出てドームロトンドサンミツシエルのカツフエで1910年型のDomeにウインクされ [……] 要約して巴里見せたが私の実物初めて」 [FT00547,047]



- 2月11日 「杉本 世界美術かん名画のカレンダーに私の六月にカツエの女出てるとの事」「一日大作労働者一人かいて色強く一体にかく」「ボアソナード来てEmission批評する 始めと終り題字が邪魔したり君代ホトジユニクでもつと見せたかつた等とてもよかつた。」「八時半大使かん夜会タキシード 竹田の宮様スキーより今日来巴 外にPrincesseやLady (私の画持ってる人)」 [FT00547,049]
- 2月12日 「TV出てから田舎の人三人手紙よこす。皆暇人許り」「10h 250枚 HC.25枚 裸婦版画 Spitzerでサインしてルオー25000買って帰る」「大作仕事出来なかつたが2P小女(茶せんでかく)にインコ二羽入れ夜九時迄墨がきして」 [FT00547,050]
- 2月13日 「ルオー死んだ84才。今朝。昨日Spitzerでルオ買ってかけた許りで丁度マリーローランサンの時と一日ちがいで肖像かつた。私ハ何にかテレパチーがあると言つた」「Jima来て昨日の色写真現像普通にして失敗やり直し画集の表紙裏側内の裸体デッサン一枚かいてやつた」 [FT00547,051]
- 2月14日 「Georges Rouault昨日亡くなつたので今朝の新聞に沢山記事出てた」「一日仕事大作一日かく。大分出来て来たもう十日間で仕上げ」「Petridesさいそく大作してると言つたらそれも買いたい等 うんとかいてくれと」 [FT00547,052]
- 2月15日 「一日大作仕事すべてを画き起している(小品等かき加へたり、下半分猫等もかく)」「五時若いおしやれのGerald氏お腹の大きいフィオンセ連れて来て2P小女インコの画(茶の線仕上げ)渡し」 [FT00547,053]
- 2月16日 「大作バック風景かき込む。午後正面の柵等かき出して夕方迄仕事」「土橋の画室開き 田渕安一、Kirstin、村山俊夫(鹿児島島の若い人海老原ソツクリ)等で」 [FT00547,054]
- 2月17日 「12h 丁度サンジェルマンドプレ ロオーの葬式 広場の外廻りのさくで平賀、佐藤等と[……] アンドレロットの弔詞[……] 文部大臣大分長く弔詞 音楽隊 棺1h1/2出て行く ガジヤツク十二分続いて素晴らしい豪華四千人位は居たらしい[……] 画家の葬儀で今迄見た内で一番盛大だつた 画家と生れた事の幸福をフランスに伝む事の幸せを感じた。ピカソが死んだら何うだらうと二人許り話してるのを聞いた。ルオーはフランスの代表の年長丈けに立派に行はれた」 [FT00547,055]
- 2月18日 「モーランジュエールのdessin厚紙に張つたり仕事」「午前中銀行に行つて十萬私用に引き出し鶏や画のぐや等 土橋と会つて彼のルノーでとび廻りダゲールの方へ二度も行つてビストロ見たりガラスのびん買つたりして」「午後又床屋に行きFoyerにピンコップ返却したりドームに入つて柵見たり」「帰つてから夜八時迄いろく(大作にかき加へて随分出来た)」 [FT00547,056]
- 2月19日 「一日大作午前中墨、午後油(パレットそうじして新しい筆でかく とてもかきよく進行する)」「三時ドラモーランジュエル夫人来て額肖像主人と音楽家の分 厚紙に張つて(帰りは額縁に入れると)返却」「画出来かゝりて一番面白い処。眺めてたいのが時間が足りぬ」 [FT00547,057]
- 2月20日 「朝から仕事 大作今日は終りに近いので窓に日蔽い等かき込んで仕上げに近し」「四時ベルギーの元美術館長の人ブルデルと一緒に昼食に招かれた事ある人二本の杖でやっと歩く老人(私より若い) 娘(英国人gim)と来て写真大作の前 人形と等写して自分ハもう駄目だが私ハ未だ残ると言つた」「金山来て何んだか世の中が面白くないとの事 元気なし よくねて朝かくとの事 画商に渡す画で閉口してるらしい よくぎんみして描けぬやみとAmourが消えた事らしい」 [FT00547,058]
- 2月21日 「Recioの手紙にPlaisir de France Paris Presse le Provençal Sud Ouest, elle, 等大作写真欲しいとの事。Mare Vaux Telして午前中来て貰つて写真写し明日迄に出来の由 Transport廿四日の送る事たのミ」「Laskerさんのcollectionの本来て大家許りの中に入りて私のが廿七枚Dali廿四枚ピカソマチス等の順沢山持つてる」「大作の右端の女の衣服真赤にしてこれ出来 額に入れてサロンかけて眺め又一度なほす。右の赤暗くしたりして夕方迄眺め」 [FT00547,059]
- 2月22日 「受 Kischka本の事 人と機械 十萬法の本」「岡山氏手紙 斎藤某の事詫びよこした」 [FT00547,060]
- 2月23日 「朝大作一寸墨いれてニスぬつて仕上げ額に入れて眺めて満足する。」「四時にSt GermainのAlexembreoro氏の処1918-25年次の映画に私のドービルモンパルナス七月十四日祭ニューヨークデスノス等のコマ入れたもの見て」「玉堂さんが死んで畳の下から九億の札が出た等これも眉つばもの。児玉希望の五百萬円のせんべつ等信ずる土橋も甘い。人は信用できぬ。山かん多し」「昼Berger Vachon小供皆連れて教会の帰りとして来てこの頃又交際し出した。アパート二ツ今の処賣つて3千萬のArp買へると 商魂にたけた人だ。器用なものだ」 [FT00547,061]
- 2月24日 「朝10h Transport一人で画とりに来てTemoins展に大作運ぶ 今日ハ一日クロツキーいろく(五六枚かいて暮す。」「三時Museelに搬入の見て画無事沢山来てた」「夜石原、娘珠子 佐々木三人 昨日聞いた玉堂さんの話も全く反対で奥さんが貯金等したの忘れて居た分が何千萬出て来たとの事で畳の下の七億ハうそだとの事」「川嶋長谷川の人望ない事 山下老人もうろくの話 マチューのデタラメ等 梅原二人からよろしくとの事 又娘連れて四月の末夫人と娘入れかわりに来る由。大理石の風呂場の金キンの家も世五才の息子失つて失望して興味なく ボスになるのが嫌でアカデミシヤン止めて 私を羨んでフランスに暮らせたらと言つてる由」 [FT00547,062]
- 2月25日 「油三四枚墨がきする」 [FT00546,027]

- 2月26日 「受 大使より竹田宮との写真」「一日かいて油え五枚のバツクいろく墨がき」 [FT00547,064]
- 2月27日 「朝から油えで五枚顔手等かく」「10h10分前 Elyseeに一人で勲章つけてDodgeで出かけ、玄関に横づけdoorを開けてくれた。十五分許り待つて、一々入り、Cotyさん固く手握つてくれて私のお陰でHavreの家を飾つて名誉の場所にかけ居ます、と礼言はれて一番永く話した 写真もとられたりして入り、Kischka二人来て話す事出来其他十人以上いろくの人と話したり名乗つて出た人あり。ブツフエでCinema映された。コーヒーと菓巻のむで室内楽の方へ行つて十二時Dodgeで堂々と帰つた。君代ねてベルで起きて開けてくれた。茶のむで話してねた。有名巴里人らしい人にハ会はなかつた。勲章の波の中に居る様だつた。」 [FT00547,065]
- 2月28日 「仕事皆油赤沢山ぬつたりして 夕方七時半 Mme Fourny le plaisir de France届けてくれ表紙に出た。鉄道のポスターの事やDodgeの事も出た。Buffetの様な成功時代としてかいてある。」「佐々木奥さんの言葉で石原氏大心配だとてき、に來た」「Cinemaゴジラ見てすませた。評判の程のものでなくトリックも上手の処もあり下手な処もある。家等のくづれるのが異つてる。積木細工見たいだ甘いもの」 [FT00547,066]
- 3月1日 「Les Presse Artistiquesより十冊私の画集送つて來た」「RecioよりTel TVに四時に來てくれキヤバレでParisienneの話するとして行く」「TV cabaret 10h からのに行き [……] パリージャンの話 Temoins展の事で私ハビストロかいた事 モンパルノーだと言つたり終わつてDr の車でクーボールで一寸のどをうるおして十一時半帰つた。」 [FT00547,068]
- 第7回「時代の証人の画家たち展」に出品する。テーマは『パリジェンヌ』。[『美術手帖』145,p.31]
- 3月2日 「十一時Berger Vachon一家來てギター合唱詩朗読等テープに一面入れて皆三度も真面目にきく熱心な事。」「夫人私のカバレの時のTV. Elyseeの時のHabitのも出た由二度も見た等こ、続け様に出た。ルオーの葬式2000人位の中で私一人の写真が出たりElyseeも2000人の宴会で私が出たり、二度も表紙に出たり 今のB.B. (女) B.B. (男) やDiorのSt Laurentさん等ハ特別だが其の外の人の間でハ例外に私ハ今又人気の中心になつて來た」「夜石原二人佐々木來て本見せたり硯箱や矢立で日本にもないとの事。日本の金すいた紙と面相筆(村山の餅がかびてた) 届き画家の女房の話となり梅原安井の女房の話等」 [FT00547,069]
- 3月3日 「Thomas Lucasの本出來さしえ拡大したので可笑しい」「朝から二枚2 F. 4 Pバラ一枚」「3h1/2 Warnodの娘Mme Sonkir 娘一年Nicole連れて來て元氣のい、赤ん坊写生」「Petrides TVや其の他お前許り出るとてTrès bienと言ふ。」 [FT00547,070]
- 3月4日 「12h TVに行つてKischkaとアンベールと三人Temoins展の事写され」「ガイレラに行つて私大広室の入口の右一番にあつた」「朝 Figaro 第一頁に大きく写真出たとの事。昼TVに出たりこの画ハもう其の内 Figaro Art TV等雑誌に何度も出た有名作の一ツになつてた」 [FT00547,071]
- 3月5日 「朝十時ベト行き五枚渡す 5m 姉妹鳥かご 5P 猫逃げ 4P シェシネ前 3F 手紙 2F ねこ台処 マーガリット赤衣」「三時君代とガイレラmusee Temoins展招待日に行く。[……] 大変な人気で私のが一番い、と誉められ [……] シネマ写真とられ君代も写真にとられたりする。サイン随分沢山して六時迄二人で居た 又巴里市が今度は買い上げたいとして外に百五十万出す人あつたがこれハ断つて市の方なら承知する事にした」「今日は大成功 夕方TVで一番に私が握手してる処から画の前 画大写し等一番長く多く出された」 [FT00547,072]
- 3月6日 「一枚3F 小供の誕生日 大勢の子供墨がき初め。」「4h 私の小犬のデッサンの真偽本当かを見てくれとてExpert の人デニノフ氏來て本物 4h1/2 インチキラしい他者社長秘書とて貰いに來て小dessin一枚やる。税金見たいなもの」 [FT00547,073]
- 3月7日 「朝から3F 小供丸卓誕生日 8人かく。午後色つけ終る」「朝イボンヌ プレモンドス二人 バラと桃持つて來てサントノのポスター“evasion” かいてくれと小鳥籠から開放の図」「九時Andreと二人museeに行く Kischkaに4F Rose Toulouseの送別会の本の原画渡し 写真五枚(画) 渡し Zendelに色写真三枚上げるのもたのミ」「私の画巴里の市買上げの札ついてた。他にも四五枚あり。丁度いい丈けの客いろくサイン猫等かいてやる。」 [FT00547,074]
- 3月8日 「犬の15号初めた日 明日のTours行き仕事いろくする。」 [FT00547,075]
- 3月9日 「旅行」「三時半位でTours近く迄走つた」「Chateau de Saché Vieux manoir du XV musee Balzac La Devinière (maison natale de Rabelais) chinon. とてもいい処 MatisseとDerainの水彩 Doreの石版等」 [FT00547,076]
- 3月10日 「九時橋渡つていろく聞いて路分らずとうく行きかかったTavantの九番地古寺壁画ローマン(12世紀) 見に行く。バーサン案内で寂しい三十位の墓あり フランスで一番小さい停車バ正面の壁画地下室八本の柱とてもいい。巴里で本で見てたよりうすく明瞭ならず全体ハとてもいい」「Le Liget雪の畑の中の小さな堂chapelle写真大きな門が五ツ六ツあるシヤトーで鍵かり雪の森畑ぬけて見に行く 天井なし上ばりに画これも上々(本で見た) フラシでよく写してこんな処に來る人ハないと思ふ」「Tel Selz パリ、プレスアントランの社長Max Corre子供肖像かいてくれと」 [FT00547,077]
- 「Chinon Tavant見物 Le Liget壁画」「Blois Orleansへ出て8h 帰巴」 [FT00546,034]
- 3月11日 「犬15Fすきがき又初め」「午後ハバツク見せもの la gaité Bobinsで見たものでかく」 [FT00547,078]
- 3月12日 「朝から犬の画又かく。夕方迄にかき上げ下かき上げ出來た」「ダケール石原さん処初めて佐々木のアパート訪問 濱口來て居て版画カタログの見本」「石原氏にベルレムジヨーンのおやじ八十年一生代の凸凹の画家出現説図解してや

- つてよく分つたと私に全面的賛成しBuffet等にも私の影響発見をとり入れてる筈々々ありと見たと言ふ。」 [FT00547,079]
- 3月13日 「朝から15m犬色つけゆつくりかく」「三時すぎモーランジュエールの娘ミヌー、子供連れて日本のはんてん大人のもの茂蘭壽榮留とあつたが大きいから一ツ小供の祭はんと花見の手ぬぐい上げた。とても可愛い、女の子の様だつた」「シヤレームで小供の化装会ジャンノアン迎でも可愛い、子沢山だ。一枚かいて見たくなる(尤も以前から考えてた)」 [FT00547,080]
- 3月14日 「受 Warner Bros 日本“左様なら”コクテル招待」「油えかかず今日ハクロツキー姉妹等かく一枚半」「四時半野口(日本能) 禄久 [……] 鈴木栄次郎の未亡人多佳子の手紙 姪の淳子さん三月早々来たとして新制作派日本ハアブスレでないと画家でなく地方で分りやすい画売り批評家に一人一番安くて500円出すと名前かいてくれる等嫌な国でせいぐしたと言いつ時間半しやべつて行く。」「9h 君代とTemoins 展大勢サイン攻め続く。大評判よし」 [FT00547,081]
- 3月15日 「朝から8Pに女姉妹かき夕方迄に色つけた」「Jour de Franceに二人の漫画出てゴシップ出て。私がBuffetの□郎あの顔じや一文もかせげぬと言つた事 雑誌や新聞にこも出て。ゴシップに出る様になれバー人前だと言ふ事だ。」 [FT00547,082]
- 3月16日 「朝又二人寝床の中から日本人の事で例の通りうんざりする話何日もいゝ人の事が思い出せず嫌な人丈けの話が出る」「8m一枚女の子かく」「三時二人してVanvesの蚤の市に行く大変な人出店も沢山出てるがきたなくていゝLavinの外套なんか着ていくから歩けない等私の方が利口だ等と本音吐く」「田淵の処へ赤ちやん見に行く。アメリカのしよい台に入れてたてかけてる眼玉キヨロくして口開けて無心人間の内一番美しいもの」 [FT00547,083]
- 3月17日 「朝ベトリデースTelで写真室内私二枚届けてくれとて15P. 8P届け 展大々的にやると日動又買いに来たので賣らずと」「David Buffet Jeanne d'arc 残つた処へ行つて床上にあるのを見せてくれ一通り最近のもの見た matière厚く色あり。大変Honoredと言つた」「本やで美術コスチューム二冊買って700届けてくれ思つた物のかつて見てよかつた」「12に小供の誕生祝のデッサン三枚かいて夜になつてdessin丈け出来」 [FT00547,084]
- 3月18日 「Legions Honneurの證書送つて来た。」「君代沈んで。石原佐々木土橋等いろくうるさい事が家へ入つて来たためだ」「6h 2 Av Matignon Warnor Bros' Sayonara に出る Miiko Taka 高美以子 (Marlon Brando) と一緒に写した人が来」「二人モンパルナスに行きNew Yorkの王様のチャプリン丁度今日で終りの処で見てよかつた。寂しくて笑えずシャプリンのは何時も悲劇で人がよくて利用されてと何んだか自分に似てる様でよく分る」「Vichy, Burtin 二枚本の扉かいてくれと来た」「Kleinに扉十枚渡した」「アントランシジャンの夕刊昨日に私写真と文出てた」「安南大 (TV) 私の映画作りたとい (シネパノラマの監督) 二十分位のものとの事けんきゆうする事にしておく。」 [FT00547,085]
- 3月19日 「小供宴会12号大にかく一日」 [FT00547,086]
- 3月20日 「朝十時―一時 Gimont pose いろく 画論盛んだ。老人のくやみに聞える 言ふ可き事でないと思ふ」「Grand Marnier Alexis Marnier Lapostolle 氏 私のTemoins 展のピストロにかいてくれた事が名誉だとして酒三本 (30年) 等赤い箱で送tuてくれてめんくらつた たのミもせぬ処より酒来た。これも全く不意の事で私の考えにもなかつた事 崑んでくれた」 [FT00547,087]
- 3月21日 「朝从小供宴会油かき一日仕事」「5hにMr Foret Editeur d'artの家 二階古いアパート オレンジ店が裏通り見える家 ダリーのドンキーショーテー イノセロス ウニ 蛙 鉄砲玉等を使つてクラシクなデッサンの上に思い切つてTacheを作る事で平凡を破る事をしてる。アクシデントの面白さは勿論だが二度出来ぬ事ハ寂しい。驚かしの様な構図ハ看板じみて好きでなくコクトーの本は力なくて比べられず? 私のChanson de Parisハ来年十月頃迄に作り上げたい等、ダリーの版画貫いNoëlのCardたのまれて帰る。」 [FT00547,088]
- 「George Fernand Mourlot 18 Rue Chabrol lundi PRO 06-9F テモアン展夜」 [FT00546,041]
- ※フェルナン・ムルロ：リトグラフ工房主
- 3月22日 「二枚 Burtin Vichyの扉枚猫と小女かく」「朝から10小供トラベスターかき初め」「正午 VichyのBurtin夫人来た 本の扉え女の子猫かいたの渡してやり画集一冊分けた」「石原氏一人来て話いろくとうく 佐々木さんの人柄の話出たり土橋の事にも及んで二人何ちらが本当か私ハ関係ないと言つた。人ハ人で言い分があるだらう」 [FT00547,089]
- ※travesti(e)：仮装・異性装
- 3月23日 「10 mi carêmeの化装の油えバツク赤カーテンでかく」「金山本貫いに来て仕事本五分位よんで心気一転でないでデプレシオンで苦しむと」「田淵十一時辛くて五時迄居ているく(の)悩ミ 外国人で果して巴里で成功ハ中々おぼつかないだらう一層帰らうか等物質的に苦しまなければ精神的にアブストレで個性を出して一家になる難しさ等 若い人の一生も難しい。」 [FT00547,090]
- 3月24日 「2h1/2 chez Mourrot大きな店 室沢山上下 鉄道ノルマンディポスターやつと一色丈け出来てた」 [FT00547,091]
- 3月25日 「朝から仕事ニスぬつて三枚仕上げ」「8h1/2 Mr M Max Correさん処へ Guy 夫婦と呼ばれパリープレス アントランシジャンのPatron 豪華ぜいたくな趣味よき家 (二年前から) 小児五人 (下三人現夫人ブロンド) その絵かく事に話大体きまり 木曜日写真うつす事にして帰り」「ギイもCorre氏もBistroの画大に私の傑作だと賞められた」 [FT00547,092]
- 3月26日 「10h 石原も誘いてPetridesに行く」「今泉がこゝで見つけて帰つて売つたウトロロ8号大の風景駄目だとして□□偽作の



- 画集に写真だすとて借して帰ることにしアンリールソー両親の0号大200萬の欲しくなつたとて「画集五百冊届く」  
「鉄道省ポスター二枚色ずり持って来た」「droit auteur Edition gallimard 小切手入り 16800」 [FT00547,093]  
「Mouret 版画二枚届けてくれた。」 [FT00546,043]
- 3月27日 「受 Canada画商Stern」「カナダ画欲しいと3000 5000ドル買いたい 二階建エレベーター等作つて今年ハこれぬと」  
「アメリカ人Madden氏画欲しいとcouleur film欲しいと」「4h モーランジュール夫人来て2F 小女青衣赤帽上げて勲章  
の式の礼これですませてせい肩の荷下る。思いがけぬ画でとても崑ぶ。normandieの田舎に來いと」「イボンブレ  
モンダスSt honoréのAfficheかき出し下ぬりする。二枚ガツシユと紙かつてやる」「5h1/2 Corre氏の処へ行く子供三  
人TV見てる処写真 小児の室寢室等も見た [……] 800と言つたのを550位にしてくれとCorreのTel.出る前にあり。」  
[FT00547,094]
- 3月28日 「受 gallimard 著作権 オノラブルパルチカンギユ 16800小切手」「朝からイボンブレモンダム サントノレの  
ポスター下図かき出し」「11 1/2 メキシコ大使 (ウインナ) Guillermo Jiménez 夫妻娘 (Margarita) 来た 秘書と久諍を  
語りメキシコの想出等」「三時半 春陽会 志村 田辺氏 岡 近藤 木村 角南のいろくの贈物持って来てくれた」  
「九時 Temoins展に行く。Cotyさん今朝来て私によるしくとの事」「カチヤオルロフの店でジルマルシエルス夫人花  
風景展あり最終の日。一枚もうれず来た客私たちにもモネヤラブラード見せ一向かまってくれないと (大作) 恐い顔  
してた。萩須も来て居て感じよくなし」 [FT00547,095]
- 3月29日 「十二時イボンブレモンダス二人でアフキシ (Evasion) とりに来て渡す。金貫いレジヤンスの大理石のコーフル重い  
物貰った」「美術出版社清方の大分色つばい一葉さんのさしえ一箱六千円の本小包で届けた。」「仕事宝石やのPierre  
Sterleのlivre d'orにデツサンかいてやる事にして小児かく。夕方昨日夜展覧会で見たブロンド長髪若夫人を思い出して1Fかく墨かきする」  
[FT00547,096]  
「清方の16000円yenの本届く。Cadeaux」 [FT00546,044]
- 3月31日 「11h/2 Porte de Versailles l'Osear de l'invention 発明展TVのジャクリン夫妻。カトリンや岸さんマリノマリニ等」「后  
からクロツキー一枚10のかき」「Mourlotの版が (ノルマンジー) 明日来ると」「9h 104シャンゼリゼーでモデリアー  
ニ試写特別に呼んでくれて一人で見に行く。随分うそ八百 カイギヌにジャンが来たり、往来でたほれてから直ぐ  
死ぬ等ボロフスキー丈けよく。劇としてハジラルファイリツプもJenneの役者もうまし ウエスチンは金持すぎる。」  
[FT00547,098]
- 4月1日 「10h Mourlotの人マルシヤル第三版ノルマンヂー届けて来た」「11h1/2 支那filmの二巻St Germainの人へかす男二人」  
「一枚10P小女赤前掛け油迄一日かゝりてかく」 [FT00547,100]
- 4月3日 「受 Grosjean 日本のいんちき色紙送ってくれと坂本繁二郎のが20萬円にうれたとの事」「一日10号田舎の寺町油えて  
仕上げた。」「GrosjeanにAlbum送った事からえんさを続けるのハ嫌だと怒つていろく投げ散して台処オパリン割つ  
てこわした 一日余り口きかず不愉快の日 飽く迄紳士として世渡りしたい 私にハ深いうらミも持ちたくない。事  
が討論の起りだつた。一日仕事」 [FT00547,102]  
「風景村の寺油10」 [FT00546,047]
- 4月6日 「朝から油えいろく加筆した風景等小女5色つけ等した」「大ガラス画台処の小供かくうまく出来たクロツキー等とり」  
[FT00547,105]
- 4月7日 「朝から昨日のガラス画10へ油えて同じものうす手に始めて描いて見る。一つの試作だ。夕方迄かく」 [FT00547,106]
- 4月8日 「台処ガラス画もう一度油かき影つけて干かして裏紙はつて台処のオパリーンの上に重ねた上々 君代も誉める。」  
「Guy ラヂオルクサンプルにモデリアーニの映画に就て出てくれとの事 Vendredi」 [FT00547,107]
- 4月9日 「朝からいろく油え色ぬり初めて三四枚手を入れる」「夕方二人夫婦桃のアブソルパンの画シヨファージでくすぶらせ  
たの持つて来て断つた。なおすのが恐ろしい。」 [FT00547,108]
- 4月11日 「画すこしかき 4h1/4 Radio Luxembourg Guyと二人八分放送 1884年生れ二年私の兄1906年巴里へ来た私ハ13年  
廿年に死んだ14年の内にあの作をやり私ハ7年交遊。死んだ日の画商30人集まつた話等人格の事話し」 [FT00547,110]
- 4月12日 「石版やポスター 5me Etat 持つて来た」「マッチにピカソの生活出てクルーンの面かぶつたりして子供と遊んだりつけ  
ひげつけたり。スペインのキャップや帽子かぶつたり画かく前に踊つたりしてると全く私もそんな事はよくやつてる  
し好きで人から馬鹿やけいはくに思はれる事あれど本心は同じだと思ふ。私の意を得たりだと思ふ」「石原祐二郎の  
太陽の季節見に行く。観客の笑ふ事。二人のアムールの処等可笑しく女のよがりの声など真似する男沢山。これが日  
本で受けると言ふ程度やはり画と同じ事だ。」 [FT00547,111]  
※マッチ: Paris Match (雑誌)
- 4月14日 「朝画にニスぬつたり大分カンバス張つたり」「午後三時君代とPetridesに五枚届け アンリールソー200萬もう売れ  
たとの事」「ペド46万五千小切手 三十万ナマ 10P赤衣窓わく 10m料理人 8Pフランス風景 5Pパツク 5P椅  
子上の女ノ子」 [FT00547,113]
- 4月15日 「十一時長谷川仁と為永夫婦 (昨日西の北極廻りの帰りで着巴 真珠のブローチ持つて来て朝日等で画商皆総がゝり



- で展して貰い度い等。是非日本へ一度遊びに来てくれ等日本画すつかり変つた由。押してもおされぬ一番の画家で梅原さんさへかぶとをぬいだ等上手な事を言つて行く。」「日本古美術展 9hに見に行く [……] 展覧会はすばらしく壓せられた感あり日本のものハ幼稚美等なく飽くまで真面目だと思つた。彫刻も絵画もよし。」 [FT00547,114]
- 4月16日 「四時カルパンチエ モデリアーニ100展。400ミリアードの画と言ふ大変な人。写真TV.大分写された。キスリング マリジャコフ、ピカソ、リベラ等の肖像も出た キスリングの息子にも会つた」「五時半 Louvre 特別に開けて館長 其他で高松両殿下石垣大使等彫刻から画見て廻つた。妃曰くフランスの田舎の美しい事色の美しい事ビックリ仰天しちやつたと仰つた。」 [FT00547,115]
- 4月17日 「Foyers pour Enfants de Fusilléés に一枚女半裸体パステル寄附アルジャンチンの娘 (プエノスで私の画二枚museeで見てたと言ふのがとりに来た)」「鉄道ポスターの石版又6me Etat持つて来た」「小女四人の油かく8F.明るくかく」 [FT00547,116]
- 4月18日 「荖番館渡辺氏来て」「もう一人のアンホルメの日本へ行つて来た今井氏個展して五百萬儲かつた等 学生会かん三ヶ月家賃たまつていて支払はぬ等インチキシテリ」「8h1/2 大使かんスモーキング、大レセプション高松両殿下 [……] ラッパンアジル パタシユーとロシアのカバレ二時迄御案内妃殿下のお合手 その間殿下大使ハ男丈けでカバレ廻り (nude) 等 結局私が同伴してとても初めての処で面白かつたとクリヨンへ帰られ」「コチーさんの処で芦田さん等クローデルの話になつてクローデルハ外交官ではアンシニフイヤンだか大詩人だか日本使ハ外交官でいろいろ詩ハ駄目だと話が出たと石垣さん一本やられた」 [FT00547,117]
- 4月19日 「Prade Tel で大VictorieだとCotyさん処で高松さんの招待でCordon Rose 出て今朝の新聞に皆私が Pose かいいてサインしてあると出てたので Lalou 氏大碓びとのことそんなにも嬉しいものか」 [FT00547,118]
- 4月20日 「バラの花の画二枚油え夕方迄かく」「三時 Cannes 祭ピカソ コクトーの紹介のLivre d'orに朝かいた少女のdessin渡すこゝの大家皆かきチャプリン アイゼンフアー チャーテル等々。来月十四日アンシエールで売る由。」 [FT00547,119]
- 4月22日 「10m 小供石垣の上十一人の分丁寧にかく。油えもかく」「Petrides [……] Tel new yorkのgrand collectionneurが三枚買つて (これは展示の後渡す事) 私と握手したいとて待つて来るか来ないかとの事」 [FT00547,121]
- 4月23日 「Petrides Verlès 明日展のかけかへで夫人もPetridesもVerlèsも居た。画四枚届け大碓び」「バト卅万ナマ 廿一万小切手 8F子供四人テラスの上 8Fバラ灰色の壺 6F風の女 6m」 [FT00547,122]
- 4月24日 「ポスター (七 7me Etat) 今朝見せに来た」「一日 8F小供酒びんコップ ジョーゴオチンチン前におく かく面白かつた」 [FT00547,123]
- 4月25日 「午前中昼すぎ迄酒だる前の男の子描く (油) 面白く愉快 [図:漏斗] がとても気に入つた」「3h1/2 Prade二人来てコンミニヨンのBon à tirer madame渡す。酒だるの画大に気に入る買わせると言つてTelするLalou氏」 [FT00547,124]
- 4月26日 「二人してBonmarcheでカンバス君代はシユミーズピン針等買い」「一枚小児クロツキーと小品酒だるかいて (紙)」「受 Grosjean Romanet Bordeauxで展する事? きいて来た。」 [FT00547,125]
- 4月27日 「一日仕事 (八号F) 少女と果物かき出し果物なくて写生明日にのぼしている (雑誌整理二人で大分切ぬきした)」 [FT00547,126]
- 4月28日 「3hエヂヤールで果物なし等メロン桃一ツ600frs等隣りで買って」「小供静物果物 8F夜迄にかく」「Mr Clerque Cagnesの美術かん展とKischka二枚来て七枚展に出す事にして写真其他渡し一枚10mムーランをMuseeに寄附した」 [FT00547,127]
- 4月29日 「11h30 Cours Albert 1er ブルデルのAdam Mickiewrez銅像 移轉式ブルデル夫人とTVうつされ フザタデコラチーフだからお写なさい等夫人言い ザツキン一人居た いゝ天気日当りよく写生ポーランドの服装等」「8F小供果物とのを仕上げ色明るくよござす?」「Petridesへ一枚 10m 小供石垣燕を持つて行く」「Mme Correの処へ行き小供写真写して」 [FT00547,128]
- 4月30日 「一枚6小女mal au piedかく (すミガキ)」「バラ (ツルーズ医師の画集) Bon a tirerムーローの出来貰つた。先ずよし 本当の事ハ出来ぬのが私の画だ。線が駄目ヌアンスもこれもだめ」 [FT00547,129]
- 「画集 Kischkaに30萬法 画集最後の金 (120萬) の内渡した」 [FT00546,059]
- 5月1日 「6小児mal au pied バツクかき」「三時 Lalou氏とPrade二人来て酒だるの画見に来て私の友人の店ですゝらん写つたとて立派な四角な白の鉢に入れたものくれ」「帰つて直ぐTelで酒だるの画と一対に果物の画も寝室にかけたいし、足の痛む児のも好きだとて老人私の前でハ言はず? 三枚欲しいと言ふ百萬法位になる」 [FT00547,131]
- 5月3日 「白25二枚15一枚油下ぬりする午前中つぶれた」「老人白髪の人 一枚石版女二人のもの金額入り私のサインだと證言。19/100のすり。一枚是非今日女房碓ばせてやりたいとて小児デツサンあつて買つて行く。画集一ツ上げた」「Prade Tel で酒だると果物の画二枚Lalou買ふ事決めた 赤札つけて出品してくれ私に一枚何でもいゝdessin下さいとコンミツ ションさいそくする。当然だが言ひ出す処が西洋人」「Lamarche 白髪老人デツサン五万ママ) 二人女石版見せに来た」 [FT00547,133]
- 5月4日 「二枚1F小女油で仕上げ 一枚女ブロンドバツクもランスの彫刻かいて」 [FT00547,134]
- 5月5日 「村山個展で私がビストロの画バツクにしてミシンかけてる処の写真見たと」「朝から8F小女野菜で構図 (果物と全

- じ女の子左右とりかへてかく上出来になりそうで半分すみがき一日仕事する。」「Tel Prade Figaroノ一頁にジェラル Bauer モンパルナスの画家の処に私の事もかいたと知らせて来 Lalou氏画二枚酒だる果物買って十年も若かへると言ふ」「金山来て日本人会展この秋 (Muséeガレイラ) の委員会の事等いろく話して日本人仲間のしゆう体話にならぬ。どんぐりのせいくらべ」 [FT00547,135]
- 5月6日 「3h Recio 来てBordeauxへ明日出発展の事Cagnesの画売り物でなくてハ展してもだめだとてRue la Boétieの三階 (庭に面した) 五室三個展一群展と大広間Edition等する由 mur買って6月早々開店九月本式の開店個展してくれぬかとびくくできくから断つた。蔭になつて救助するとハ言ふ」 [FT00547,136]
- 5月7日 「朝から油8F野菜の娘色かく」 [FT00547,137]
- 5月9日 「Petridesに八号二枚 酒だる 8F果物の女ノ子 6m足の痛む女の子 一F二枚ブロンドランス等 女ノ子 窓と屋根届け 今度の展中一番いいとて主人店の男二人呼んで見せたり大崑び こんな画60枚位かいてくれ等」「少女と果物の商品朝から夕方迄かく3P」「8F酒だる うれ 8F果物小女 うれ Lalouの分 6m mal au pied 1Fブロンドランスの寺 1F小女家窓せんたくバック ベレ」「ペト五十一万ナマ」 [FT00547,139]
- 5月10日 「仕事も余り出来ずけしの花等かき」 [FT00547,140]
- 5月11日 「一日ノルマンデー行きHonfleur (Calvados)」「Chateaux de Reux Près de Pont l'Eveque Barome Alix de Rothschildさんの処へ [……] サロンはアブストレの等ピカソ一枚。外ハ若い人各小品すべてせんたくの品」「ピカソに或人この頃何うかときいたらドースマンにデモデに私もなつて来た等。真白のToileの人の展の話。赤い外套の人にふんいきを損ずるとて入場断つた等三回厳選してBarotte氏に10萬Critique売きまり」 [FT00547,141]
- 5月12日 「夜Cannesへ出立」「8h前 Gare de Lyon」「8h15分に汽車出て」 [FT00547,142]
- 5月13日 「五時半マルセイユ [……] Midiの赤屋根の風景巴里近くより平いて見え岩白くセザンヌの風景に見える」「8h1/2にCannesに着」「mummの人二人許りAuto出迎えCartonへ」「夕方 Mummのバラ五千で飾つたコクテル」 [FT00547,143]
- 5月14日 「10h Radioへ行く Palais大仕掛け2階各国の室付写真部各スタンド 私の個展のことや日本の画壇の事等」「Algelic革命起したとて飛行機飛ばず船出ず一切中絶など大newsで」「四時LalouのApp Hotelでスイスの美人の夫人肖像スケッチして4h岸けい子来たとて海岸日本着物日傘私画架立てて木炭でかく処TV写真映画大変な人だから」「Vikarに岸さんのスケッチかく渡して」「7h1/2下下りに下りて汽車にのる前にコクトー マントキャップ 白スモーキングで入って来て君代感心」 [FT00547,144]
- 5月15日 「Cannesより朝帰巴」「忘れぬ内に肖像イタリーのコンテス スイス近くのLacに住む美人主人フランスのデコラートル5Pに油で夕方迄にかき とても私ハ似てると思ふ。がよく知らぬから判らぬ。満足バックは後でつける事にした」 [FT00547,145]
- 5月16日 「Mourlotの石版の人とJean Marc Champ renaud氏来て最後才十四回Bon a tirer Normandie出来 本物と比べて美しいすぎた。もつとヌアンスあり」「一枚12号のクロッキー姉と妹夕方くらくなる迄8h 一生懸命にかく」 [FT00547,146]
- 5月17日 「12 少女とお父さんの上着着た小供たてに墨がき一日していい仕事した」「5h 石井好子 日本の銀さじ五本お土産持つて来て」「福永文藝春秋から私の自叙伝の事正式にたのむで来た由 Postで送れと言つた」 [FT00547,147]
- 5月18日 「12 小女と小供父の着物かく 肖像comtesseバック熱帯の葉かく よくなった」「8F小児野菜 石原 5mけしの花 3m小女と果物 2F小女と南仏の屋根 石原 ペト 三十五 五千 ナマ」「キシカ バラ三万五千ナマと本五冊バラの版画五十枚」 [FT00547,148]
- 5月19日 「受 福永英二 文藝春秋への自叙伝の事たのミ」「Life 十一時モデリアーニdessinかす」「四時Petridesに画四枚届け内野菜の子と鍵の子石原さん買う事にしてやつておく アメリカの夫人九枚買った歌手の人居て娘ハ日本で私の版画買ったと言つた。」「Kischka二人来てバラの版画50枚と本五冊医者ツールズおいて行く Trente cinq argent」 [FT00547,149]
- 5月20日 「朝から二人お父さん上着のバックに葉かき油ぬり午後ハ10号二人男の子牛乳女の子財布持つのをかき夕方迄にかき上げ一日仕事」「夜石原氏来て十二時迄雑談して行く 例の通り本の事で夢中 本当に怒るとこわい人らしいと言ふ」「モデリアーニ dessin Life 返却早い。」 [FT00547,150]
- 5月21日 「Cagnesに送る昔の画ニスぬりする」「朝からGerard Bauerさんの肖像バック木の葉熱帯植物の分かき又小品二号小女小供遠景石垣の上かき一日かゝる」「ペト 12パン牛乳の男の子 財布持つ女ノ子 10お父さんの上着とお姉さん十九万小切手 卅万ナマ」 [FT00547,151]
- 5月22日 「朝十時半石原来て二枚 12. 10. お父さん上着姉 パンと牛乳 財布 持つて行き 石原五枚買った (長谷川四枚) 35枚ノ内30枚売れた。もう30枚かいてくれ等アメリカ、スイス、で展する等一人ぎぬ」「土橋朝二枚一枚Dôme出品持つて来た」「夕方6h Pradeの処へスイス住イタリーコンテスのPortrait届け息子Jean Noëlのcommunionにリトseine竹版の小児Matinお祝いに持つて行き私の案内状のあれが大成功皆貰つた人額に入れるとの事」「TV日本の田舎Tele Clubの事ユネスコからの放送田舎の寺にTelevision持ち込んで小児一番にかけつけ老人など崑んで、ジャズ 角力、落語家をさく真面目な地味な私の小児時代のようなもの見て嬉しかった 日本の本当のいい姿こんな村があるのかと思つた」 [FT00547,152]

- 5月23日 「又日本人の嫌な事二人で朝ねしてから話し出して何うにもならぬ」「カンヌ行きの画ニス昨日もぬりかへたり Bauerさん肖像ニスぬり。クロツキー厚紙にはり livre d'or に profil かいだのとを持つて5h1/2 Gerard Bauerさんへ届け込んでよく似てると満足 二人で昼食でも来てくれとて忙しいからと恐縮してくる Jean Rostand Academicienに(難しいポールモーラン)等白紙の投票でなれず気の毒だと言ふ」 [FT00547,153]
- 5月24日 「Kischka Tel ガリエラのBistroの画と全じ様150萬でかいてくれないかと言ふ人あり返事きく二度全じ様なものかく興味なしと断る。カナダでも六千弗かいてくれとこれも応ぜず」「11h アメリカボストンの女ノ人男に連れられて来てカナダ モントリアルで私の画(女二人小猫二匹) 買つたり日本で版画買つたりした人只私と知己になりたいとて(画ハ断つた) 来た」「25号mに風景サンチュールかき出し」「毎日の阿部写真やTelすぐには会えず断った」 [FT00547,154]
- 5月25日 「朝から25m風景CentureのPorteVenves近く向い丘の家かく 夕方迄に色つけ五時に終つてホットする」「夜TV見ず又25 St Savanの近くの農家25 mにかき出して十一時」 [FT00547,155]
- 5月26日 「25m SaiantとLigiksの農家の画かき」「2h1/2サラベナールに一人で行く 舞台けいこ田中良の舞台で花柳壽輔 娘さん 秀 わかばさん 杵屋六左衛門親子や花柳広雪さん 平井(琴) すみ子等」「日本人大使二人(夫人 私のウイナナのバタフライとても賞めて暮れ 日本でハ余り知られてない等)」「岡田まさ子 日本の歌手若い人(ベデ)(私になら可愛がつて貰つていいとはつきり言つた)」「出し物は例の何時ものもの許りだが大家総出故見て、安心しはやしもよく」「未だ日明るくて油え続けて八時すぎ迄かき最初のと比べて初めの分大改良して明るく壁してホットして」 [FT00547,156]
- 5月27日 「25m 手入れて完成する」「サントノレ [……] 祭 私の鳩のポスター到る処で見る」 [FT00547,157]
- 5月28日 「もう個展の仕事終符を打って休だ事にして金山誘つて郊外へ行こうと君代賛成」「ベルサイユ大池廻りボート若い人楽しんでトリアノン金山見ずとて散歩」 [FT00547,158]
- 5月29日 「ハンガリヤ娘Soshava (リベリヤ) ドーム出品の人にたのまれケーシエールの女等二人にピストロの画賞められ」「Dômeの審査十人許りクーランデルの中 [……] 2000枚の内から200位のものからとうく廿六枚かに落した 土橋のは四回目五回目ハ一人私丈けでは救えなかつた」 [FT00547,159]
- 「4h musee Bourdelle 5h 170 B<sup>d</sup> St Germain la Hune Carzou本展」 [FT00546,074]
- 5月30日 「Petridesへ行って留守中(旅行) 二枚 25m 巴里とTavant一枚外2F小女とバツク小女渡して」「Selz紹介のCorreさんの大枠布はり白ぬつて干かす」 [FT00547,160]
- 5月31日 「Dômeに審査日(昼食) 断りに行く」「夜に金山来て大に悲観 田淵来て二人スペインの島に四ヶ月行くと言ふ 石原来て画商の事画の事アブストレの事で話し初まり 田淵画家仲間が一番に見だし云々 私は文士等(批評家以上)のものがある事等つけ加へたり。アブストレを石原工藝品と言ふのを二人して近代の絵画だと強く説破して多少たぢく田淵文人画など持ち出して面白く金山の事ハ石原氏頭ごなしに若い人と言ふ見とほして不幸な人と言つたり田淵の事を一生下ずミの人となると言つたりした 多少言ひすぎ日本人の悪い処あり」 [FT00547,161]
- 「2F小児墨がき」 [FT00546,075]
- 6月1日 「朝四角大カンバス白ぬつた」「2F小女バツク向い家の角かいて油 4h1/2 出来た」 [FT00547,163]
- 6月2日 「RecioよりTel (Namur) あり私にBelgique勲章くれるとの事(先日内処だがSurpriseが待つてると言つた事) 内々漏して私の元の勲章の授つけて行く方がいいと言つた」「個展の日 君代私の個展初めて来てくれた 4h1/2 個展に行く。五枚位残り皆売れてる」「日本人 長谷川仁親子 為永 石原 娘 佐々木 Simone 浜口 裏千家 堂本二人 来た」「変つた新らしいと皆言つてくれた」 [FT00547,164]
- ポール・ペトリデス画廊で第5回の個展を開く。[『みづゑ』641]
- 6月3日 「ベルギー行きナミュール」「12h1/2 Hotelフランドル(市より招待)」 [FT00547,165]
- 「3h1/2 テモアン展式場二階 Baron Gruslin氏より distinction le Province de Namur 七人目世界的の人の中に入れてくれて大名誉 S.M. le roi Beaudoin Wiston Churchill Marechal Montgomery Marechal Juin President Einsenhower Baron Gusline Gouverneur de la Province de namur Foujita」 [FT00546,077]
- 「3h 1/2 展覧会 金牌貰ふ」 [FT00546,077]
- 6月4日 「Namur La Mueuse 見物」「エンゲルマン父と娘十五才秘書案内で [……] 王様の chateaux 荒れてた [……] Notre dame等ローソク上げて小像買い [……] 金物のmusee art sacré d'aujourd'hui Maredsous等」 [FT00547,166]
- 6月5日 「Bruxelles博覧会」「日本かん [……] 日本の茶の間等、カンノン トラツク大 古代美術等評判よしとて [……] 日本ハ三億アメリカは七十億位? [……] ロシアは角レニンの大銅像壁画旧式重々しい器械許り フランスは明るく趣味よし」 [FT00547,167]
- 「Bruxelles Exposition 9h 1/2 ブルクセル博覧会」「見物アメリカ ロシア フランス パリー オランダ」 [FT00546,078]
- 6月6日 「途中Reimsで宝物案内 金と宝石 ゴブランは感心した」 [FT00547,168]
- 「巴里へ帰る」 [FT00546,078]
- 6月9日 「朝10h Petridesに行く 二枚小児わくに入つた分と二人男の子乳とパン女ノ子の分丈けうれず外ハ皆うれて大成



- 功。バラ又三枚かいてくれ等評判すばらしい等。12号の赤坊の白い毛の帽子が変んでかきかへたのまれて持ち帰り」  
 「Liège "trait" 出品の猫と小女石版とりに行き」 「5h1/2 maison de l'amerique LatinでGarcia calderonの会出席」 「ペルーウ  
 ルゲイ キューバ (これはキューバで肖像かいた由その人の若い時) 大使等」 [FT00547,171]
- 6月10日 「5h 北斎展 Quai Voltaire」 「Petridesに十二号小児粹入りの分なほした分返却、もう一枚牛乳とパン二枚丈売れて居らず」  
 「Buffet展小雨の中 Air girls 沢山廿世人入口に並んで華々しい」 [FT00547,172]
- 6月11日 「鉄道ノルマンデーポスターLuxe廿五枚貫い他Signeして返却の分」 「仕事もせずキャンパス沢山布切つて五六枚枠に張  
 つたりする」 [FT00547,173]
- 6月12日 「受 U. S. A The Beard Art Gallerie Joseff Walton co 画注文して来た」 「Petridesにて朝牛乳とパン女外一人もうれてたつ  
 た一枚粹入りの子残っただけ」 [FT00547,174]
- 6月13日 「Cagnesへ六枚出品の画渡しとりに来た Fg St Honoreのポスター廿枚届けてくれた」 [FT00547,175]
- 6月14日 「ベルギー新聞切ぬき八枚よく賞めてあり」 「Buffet展にも昔私がGloireした時の様にVernissage盛大言々よくBuffetの人  
 気の今日を私のと比べてかく。当時その時代一人丈けで人気を奪った事が似てる訳だ。」 [FT00547,176]
- 6月15日 「一日仕事せず ねむい日 [……] タ方キャンパスに白 (水) ぬったりした位」 「一枚子供dessin Xmas用 smnのためにか  
 いた位」 [FT00547,177]
- 6月16日 「朝から白キャンパス油で下ぬり始め夕方迄かかる。朝の内ハカルゴ船SMNの Xmas cardかき本やでコロンブスの本買  
 つて昔の版画バックに使った。自画像dessin二枚かいたりする」 [FT00547,178]
- 6月17日 「白キャンパス他五枚昨日残り油でぬり。午後はカルトンに紙張りして小型五枚許り作り等用ゐする」 [FT00547,179]
- 6月18日 「Tel 長谷川仁女房来たとして十時半頃夫妻が永夫婦四人で来て」 「仁の肖像鉛筆でかき先づ似たが難しい顔だ。」 「伊原息  
 子」 「artに私のNamurの名誉牌六人丈け有名人の名と出たとてFoujita devient gros legumeと言ふ題でnewsとりに来」  
 [FT00547,180]
- 「長谷川仁夫妻 為永二人 リラ昼食」 [FT00546,084]
- 6月19日 「受 Kahn Wolf 偽作自画像持主ヂマイ」 「3h1/2 Lectures pour tous 女一人写真や一人来てcouleur filmうつしてフラシウ  
 まく動かず大にえねるべして」 「Recio ミシエリンサンドレル娘ミヌー (十四才) 連れて来た。(石版女裸体夢 画架  
 の前の小女) 上げてBordeaux展の事でせむしの主人来てRecioと議論Musée取りやめで画廊になつた事ハ知らなかつた。  
 Cagnesのをかす事にした」 「長谷川の為永氏 25m の分金持つて来て足らず50丈け置いて行く」 [FT00547,181]
- 6月20日 「Sherman写真 岡田謙三二人 英了二人 沢田等」 [FT00547,182]
- 6月21日 「3h Recio来てCannesで千萬に売ると言ふLivre d'or何うもサギリしく、競売で (安くバラく) に売るとて) 売れなければ  
 (画家の指定の全額) 返却の事にサインした」 「Grislin gouverneurへ画集サインしてRecioからも履歴書出してくれる (本)  
 との事。Leopold 1er officierの話しの事」 「福田Spitzerで裸婦版画三枚 (三菱重役□) 氏の分等買つたため書たのミに來  
 た」 [FT00547,183]
- 6月22日 「十八日支払と話決まのたがとうく石原卅日Petridesに支払ふとの事で随分支払の遅れる人だ。心配で佐々木にTelした」  
 「地中海レストランのLivre d'orかいたり、寄附 (戦争孤児) の厚紙に張つたり」 [FT00547,184]
- 6月23日 「地中海主人Subrenat Jean Livre d'or 女ノ子魚持つてやつて崙んで頭にきすして帰り Niceで会ふと言ふ」 「11h慈善孤児  
 寄附女と女ノ子横デッサンMr Deporteに渡しドルオで競売ある由」 「三時大佛次郎氏 (明後日伊太利一ヶ月行き) 久し  
 振り大分肥つて62才と言ひ、里見さんと私が同じだと。佛文のくせに初めて巴里に來たとハ驚いた事 よくも早く來  
 る気にならなかつた事とても不可解だ。文化勲章のせんこう委員で私の名も出たが外人にハ出さぬ事だからだつたと。  
 日本ハ未だ小さい。私も望んだ事ハ一度もない」 「厚紙に三四枚アブストレ描いて見た。新しいテクニックやってみた」  
 [FT00547,185]
- 6月24日 「4h Jeu de paume開かん 印象派2億とかかけ三年かかつてなほしただけ大したものだ Van gogh一番すきだつた。  
 ルノアール、ロートレック、ゴーガン ドガ等。スーラーもよし 5h 頃カルパンチエ Tresor de Caenブルゲルの傑  
 作よく Boudin六枚ハ好きになれず？」 [FT00547,186]
- 6月25日 「旅行 Paris-Avallon 昼食 Valence 泊り」 [FT00547,187]
- 「Paris-Avallon Valence Cagnes 行き」 [FT00546,087]
- 6月26日 「Valence-Aix de Province 昼食-Cagnes」 「ポプラーの大樹セザンヌやゴッホの景色君代崙んで」 「3h1/2 Cagnesへ着  
 直ぐMuséeに行くHumberg 一人で画のはいちして館長と二人で働いてる」 「Cagnesもすっかり変つた」 [FT00547,188]
- 「旅行 Vallence Aix de Province Cagnes」 [FT00546,087]
- 6月27日 「Musée多少、版画丈け廊下にかける事」 「Nice美術かんの画 Matisse Dufy Chagal等 の画の展プロムナードの処で見て  
 Kischkaのも一枚あり」 「Monacoへ出て宮殿前で写真 [……] モンテカルロ出てTVでキシカとアンベール私三人。私  
 ハ1917年Cagnesに來た 皆んな貧乏でCurelの爺さんが画をとる事忘れてトランク等をおさへて後悔して死んだり、  
 私の後に気高いがあるので見たらモゼリアーニが立つて、居たい、とて分つたと言った 第一展する前は誰れにも見  
 せなかつた人に盗まれるのが恐かつたと言つたので私のが一番面白かつたらしい。評判よし」 [FT00547,189]



- 「旅行 Cagnes 4h Nice 6h 1/2 Cagnes 8h Monaco Mont Carlo TV」  
FT00546,088
- 6月28日 「午前中CagnesのMuseeに行く版画かけかえて忙しく」「Cagnes展、四十年前の私の友人が皆年老つて来た。」「館長あ  
いさつ等大勢来て昔の友人多く五億もかけて立派にした」「ルノアールの孫娘や [……] 青山二人も来て [……] 下  
でシヤンペンで祝い。」伊太利の国境マントンまで行き市庁でMunchingerのMozartとBachき、にコクトーの壁画天井  
画と男女うずまき蝸牛のはつた跡見たいパステル調夢の様な処」「写真班コクトーとMunchingerと私三人の写真沢山  
うつされ」  
FT00547,190
- 「Vernissage Cagnes」「四時半ベルニサージ Musee」「夜八時マントン市庁でRadio Munchinger Grand Casino 音楽会コ  
クトー サイン」  
FT00546,088
- 6月29日 「Cagnes—Nice—St Jaumet—Grasse—Cagnes」「夕食中 [……] はざまのアテリアのべつまくなし日本語で立てつ、けに  
元気だったか [……] 籍は抜かぬが別れてAvocarの処で働いてるとてそれ家来てくれと言つて懐かしかった。」  
FT00547,191
- 「夕方帰り二人Renoirの家 Colette訪問 庭見物した」  
FT00546,089
- 6月30日 「Cagnes—Vallauris 午後St Paul Vence Biot Cagnes」「Cagnes館長来ていろいろ教えて貰い10h Vallaurisへ行く町清潔趣味  
の悪いせともの許りでPicassoがやつてるMadoura Mr Ramiéの店に行く」「ピカソの室に入りCopie見て一枚女の顔最近  
のもの一枚白浮出し1.8000買つてRamié夫人と向ふから話かけてこ、で四五日やつて見たいと言つたら八月は忙しい  
が今なら私ならやつてもいいとてPicasso以外の人にはさせぬとてMatisseやChagal等の外例外にやらせてくれるとて主  
人も出て来て明日からの事にし」「Vence大きい町。マチスのChapelle迄行つて(火木以外ハ見せず)」  
FT00547,192
- 7月1日 「Cagnes—Vallauris—Cagnes」「仕事ズボン藍色1800で買って仕事するためVallaurisへ九時半 MadouraでRamié氏の処で  
午前中大皿三枚午後は小皿壺等いろく二ツのテクニク使ってかく」「岡本太郎の遺産と言ふのよんで随分一平さん  
も苦勞貧乏したものだと思つた」  
FT00547,194
- 7月2日 「朝九時パロリスに行き一人で仕事マドウラにていろいろ仕事」「二時—五時迄小児や猫等二種のテクニクでかく」  
FT00547,195
- 「Vallauris 仕事 午後セトモノ仕事」  
FT00546,090
- 7月3日 「Vallauris に九時に行きMadouraで仕事」「五時迄仕事」  
FT00547,196
- 7月4日 「Cagnes—海岸—Marseilles」「Marseillesに4h頃着し笠戸さんの処81 rue St Jacquesに着く 私の画大女二人デツサン油小  
供男赤衣小デツサンとりの子其他」  
FT00547,197
- 「Cagnes発 Marseilles 笠戸さん処へ泊る」  
FT00546,091
- 7月5日 「朝九時二人してMusée Palais Longchampモンチチエリー沢山ルーベンス等 初物の方のMuseeも見て」「Aix de Province  
でAtelier de Cezanne見物 とてもよかつた。画架初め静物の石膏像、壺、帽子マントVinsのビン机コップ等皆その儘  
テラスも残って、初めて今度門入りて見た」  
FT00547,198
- 「Marseilles Aix de Province Marseilles 旅行」  
FT00546,100
- 7月6日 「Marseilles—Arles—Baux. St Remy Arles Toros Marseilles」「九時出発Arlesに行きて」「Theatre Antique郷土の着物の祭 大  
勢美人小児昔の儘の姿でとてもよし」「Museeキリスト、Musee 郷土 Arlaten Museeパイヤン15分づつで見て」「バンゴ  
ツホの入院してたSt Remy Chapelleで問い合せ(あまさん)に会ふ」  
FT00547,199
- アルル、カンヌ旅行  
FT01739
- 7月7日 「Marseilles—Grenoble Vallauris」「11h10分 VallaurisにてMadouraにて私の出来の分 薬かけぬ分出来た。一切礼金と  
らず皆私にたゞでやつてくれて画でも上げる事に私丈け決しピカソの大壺二ツ小二ツRamiéさんの井三ツ(1800づゝ)  
これも下さつた。三萬位買った」「7時Grenoble」「夕食後新聞記者interviewに来た」  
FT00547,200
- 「Vallauris ピカソ30,000買ひ せともの貰い」  
FT00546,101
- 7月8日 「Grenoble—PARIS」「朝記事昨晚のinterview Le dauphineに大きく写真と出た」  
FT00547,201
- 7月9日 「ピカソの皿つる金具針金作る」  
FT00547,202
- 7月10日 「一日大皿中皿小皿の針金裏につける事昨日の続きやつて夕方迄に終つて壁にかけた」「大壺大皿黒くしたりして味つ  
けた。何うも白でハ嫌だつた 大分よくした。一ツは全くよくなつた」  
FT00547,203
- 7月11日 「朝から仕事する事にして5P小女と猫0F小女墨がきした」「石井好子とお母さん苔色花模様ワンピースうす外套  
で来て」「日本人は嫌だと岸けい子さんぐににせ手紙でこ、でこまつて泣いて許り居てお金がなくていろく着物等賣  
つてる等、大にふんがいして日本人とハ交際せぬ事」「一枚スペイン戸裏に男の子と女の子かき」  
FT00547,204
- 7月12日 「昨日かいた扉の子供のえ三枚厚紙にはつたり パレット大そうじしたり」「Midi VichyのBurtin(女主人)来て扉え二  
枚届けるえかいてやつた。私の本二冊賣つた丈け外のハウれず私のものなら何んでうれると午後クロッキー等」  
FT00547,205
- 7月13日 「扉え八枚厚紙切つてかんなかけて紙やすりで磨いて画張つて重ししてよくなつた」  
FT00547,206
- 7月14日 「一枚扉え14 juilletかいた。よく出来て昨日裏打ちした25番の扉も皆八枚入れた」「午後二枚扉え14 juilletかいて張つた」

- 7月15日 「受 dijonの十四才のファン」「Corre氏小児三人の画初めてかき出し夕方dessin三四枚かく」「夕方雨の中佐々木石原 Petridesで買った九枚大25より小迄 25m 8F 2F 12m 6m 1F 10m 3P 1F持つて来て枠から九日早々はずす事にす る 額ハ返却してくれるとの事」「Art Tel 大家文士の文に大家のさしえ一枚づつVacanceのもの三萬でかいてくれと Vendredi迄」 [FT00547.207]
- 7月16日 「一日Corre氏のデッサン女の子と赤ん坊カンバスにかいて一日夕方迄かかり男の子はかけず三人ハ日中でハ無理だっ たがかきたかつた。昔なら夜もかいたのを夕食たべたら嫌になつて止めた」「五時頃森永意匠部課長二科の高崎満寿 男氏ゴマシオのいい男の人気のいい人 日本に私そつくりの画が仲間三人位居て何うかいても結局は私の画以外はな いと言ふのだそうだ。可笑しい議論」 [FT00547.208]
- 7月17日 「石原氏に川西氏の小切手香港ふり出しBroadway銀行よりの分石原氏にサインして渡した。石原氏とつて中川一政 氏の息子に渡す由」「午後はArtにたのまれたle metier d'Egerie Michel Déonのさしえ St Germain de PrèsのEglise, deux Magots、等かく」「4h 又一人外出PostelによつてPresque fini Petridesに余りに行かず心配 何にか私が怒つてると思つて るのを安心せよと言ふ」 [FT00547.210]
- 7月18日 「一日三人小児の肖像油えでぬつた上出来満足夕方迄かかる」 [FT00547.211]
- 7月19日 「朝ミシンだしてズボン短かくシマ上着に内ポケットつけた」「いろく 買物セユチン、油いろく (油のねん土三本) 厚紙台紙等」「グランショーミエールでえのぐや張る板三通大中小買った」 [FT00547.212]
- 7月20日 「足小女小年小児の足一本かいてから大肖像左手に大きな葉かき出したり大体方針きまる」「八時半頃岡田マー公と越 路吹雪さん」 [FT00547.213]
- 「越路吹雪オカダマサ子」 [FT00546.106]
- 7月21日 「朝 Madoura Mme Ramieに5P 小女猫送る事」「午後ハ大作小児のバツク木の葉左右上にはつたの葉かいたり下一部で 出来の事夕方迄かく。」 [FT00547.214]
- 「朝 Madoura Mme Ramieに5P 猫と小女 礼に送り出す 三十萬の保けんつける。」 [FT00546.107]
- 7月22日 「大作下部に葉かきて油えで始め一日夕方迄かゝりて五時に殆んど完成安心した。」 [FT00547.215]
- 7月23日 「午後ハ宇部市の日本漁船の図満艦飾76×62のCanvasに碁盤引いて擴大に夕方迄かかる」「華の先生小原氏 (御影本宅 大阪や東京青山に会館持つ) BruxellesとRomeで展やつた人」 [FT00547.216]
- 7月24日 「昨夜小原さんの持つて来たオランダ菓子器の表裏の顔石膏型にとつて見たりして」「日本漁せんのデッサンゴバン形 でのぼす1935年の古い私の画から」「3h Mr Vieuxblè (版画集) 写真 Bernard Tardy 氏来てlecteur pour toutの写真 石原 氏の画沢山写して行く」 [FT00547.217]
- 7月25日 「エガルキネで石膏五キロ買った」「午後日本漁船 (満艦飾) 20号番外にうつして (ごばん) 油えかき出し半分一通り夕 方迄かく。よくなり相だ」「金山日本の画壇批評家等の話して日本ハ何にもない。画かくなら巴里以外にハない事等。 新らしい画の今後のいき方等誰れにも分らず。もうこれ以上のものも当分ハ出来そうもない処迄行つた。ピカソがそ ろく私もdemoderして来たと言つた事も皮肉乍らマチュー等から見れば古くさいが決していいものでもないし、日本 の若い連中は又これに入らなければArtisteでないと思つてるらしい。」 [FT00547.218]
- 7月26日 「一日国旗の船夕方迄かく」 [FT00547.219]
- 7月27日 「船の画かき縄等かいて仕上げ 二階に額椽皆上げたり大肖像にすみぬつたり。村山の木箱に白ペンキぬつて悪戯が きしたりして装飾したりして一日暮らし」 [FT00547.220]
- 7月28日 「マデレーヌでDictateurのCharlot初めて見る一人450frs.とても傑作でヒトラーとジユイフの理髪師二役一々細かい点 皆ぬけめなくシックでさすがシヤプリンハ若くスーブルで、私の尊敬する第一の天才だ」 [FT00547.221]
- ※Le Dictateur: チャールズ・チャップリンの映画「独裁者」
- 7月29日 「木買ったので昨日の箱のふた作り紙やすり買つて白ペンキ塗つたりして一日遊んだ」「Petrides Tel 九月に画渡す事に した」「80F枠一枚買ったTemoins展用意」 [FT00547.222]
- 7月31日 「朝から紙板に二枚小児かいて仕上げた これで三枚出来た。」 [FT00547.224]
- 8月1日 「6P Montreuilの門外蚤市の家かき下え一日。戸棚や紙挟ミ等出して下調べやつとpaysageの下画見出した」「TV羅生 門を見せてくれ三船や京まち子等巴里の我家で見られる事をとても奇妙に思つたやはり時代だと思ふ」 [FT00547.226]
- 8月2日 「2時半君代と蚤市に行く」「オランダの16Sの真鍮箱5000 女の股のコンパス1000 ふーろうの印 (灰落し用) 150 買った」 [FT00547.227]
- 8月3日 「4P 椅子なほしの横丁 5P 凧上げ坂道 二枚すミえかく」 [FT00547.228]
- 8月4日 「朝から4P一枚町大工指物師かく」「戦争中の高見順さんの鎌倉文士日記随分戦争の時ハひどい生活だつた。本当に 政府や軍にだまされた。」 [FT00547.229]
- 8月5日 「午後は3Fに女布かぶりmidiの屋根のある家かいた よく出来た 好きなもの一つ」「夜金山来た名古屋の中村と 言ふデパート在巴日本人展にフヂタ氏も出品する等と言つて勸優してる由 買いとりだ等とてここでは現金渡さすの

- で可笑しい等」[FT00547,230]
- 8月6日 「村山氏より送りの小包の木箱完全に内外に画かいて出来たい箱になつた」「4P (笛吹く女鳥を呼ぶ娘) かく油えにした」「New yorkの弦氏の事出て壁の美しさ葉書等写真にとつてアプスレの参考に出してるがピカソがバルスロン等で1910年頃壁からキュービズムを考え出した事という話が異う。前者ハ美しいと見惚れてそれ以上には出られぬとの後者ハそこから3 dimensionのものを考え出したのとハ大差がある」[FT00547,231]
- 8月7日 「一通り風景の画二度色ぎんミしてかき上げたり。笛の娘小鳥色かいたり。午後ハ自画像紙板にかいたり夕方迄」「君代何十ぺんとほほぺたにキスして木箱のお礼だと言ふ。寒気がゾクくする珍らしい事だ。日本の女にハ」[FT00547,232]
- 8月8日 「扉の画大四枚厚紙に張つて夜はめ込ミ十二枚出来後九枚残りあり」「2F 午後遅く小学校体操くらく手許見えなくなる迄かいた」[FT00547,233]
- 8月9日 「早く速座にユーモアが出るのハ私にハ普通だが世の中には馬鹿が多い。」「午前中から午後にかけて扉え九枚厚紙に張つて夕方皆扉に返へしてニスぬつた」「0F 一枚小供三人石垣の上のかく 国旗の様な布の電線上にかく分) 毎日一枚づゝ出来る」「金山来て伊原から送つて来た連盟会館寄附の件発起人になつてるとて金山紙みじんに破つたとて日本ハ益々嫌になる。外人 (ロックフェラー) 等の寄贈は一切受けぬとこゝの連盟の席上で見得切つた様子馬鹿しと言ふ」[FT00547,234]
- 8月10日 「0F 小児祝宴細かくかく半日かかる」「一日仕事」「夜石原伊太利 (38°) より帰り [……] 旅行の話平賀の秘書の話日動の話等余り面白くない話も出た」[FT00547,235]
- 8月11日 「朝から紙板一日作つて夕方迄かかる。一度紙 (クアトール) 買いにグランシヨミエール迄行った」[FT00547,236]
- 8月12日 「旅行 Mont St-Michel」[FT00547,237]
- 8月13日 「旅行 Mont St Michel Kermaria Brele-Lamballe泊り」「地獄のフレスコ見る事にして曇りの道Ploulia三キロのChapelle de Kermaria amisquif 1915年以来見るとてもよし」「Cheron時代の滝すっかり変つて賑か」[FT00547,238]
- 8月14日 「旅行 帰巴 Lamballe-Dinan-Paris」「Dinan プルタイギユの昔の町下りて見物」「Musée見て古くさくてダンテル大時計位。テープレコードの案内」「日本長谷川仁 歓迎会武藤の主催でその場で私を日本によぶ事決定したと、天皇陛下も藤田に会いたい言々大デマだ。」[FT00547,239]
- 8月15日 「午後三枚扉え 二人小供ねてるベット ベットに腰かけてる キスして抱き合つてる 切上げて扉に入れた」[FT00547,240]
- 8月16日 「午前午後三枚 三枚扉え出来た。二人の子シャトー見える前草原でピクニックVacance 二人の子、上等レストランで食卓えびあり 一人女子裸体男の子窓からのぞく」[FT00547,241]
- 8月17日 「朝から一枚2F 女の子 大きく顔かき油にしたが私の画にならず普通の画になつて思い切つて消す。君代惜しいと言つたが残す可きものではなく、すぐその同じカンバスに玉子持つ女ノ子かきこれハうまく出来た」「ワースリスネイのdessin animéとてもよかつた。新らしい事想像以上に画を活かさせて思ひもよらぬ発展動物等の動きも特別だつた」[FT00547,242]
- 8月18日 「昨日の朝も今朝も三四枚枠からカンバス石原氏のためにはづした。二枚2F 小女と猫 1F 小女と犬 墨かきに紙板に又二人愛人手をのぼして女の子膝押えてる分夕方迄かく 石原氏の分もう後二枚となつた廿枚の内」[FT00547,243]
- 8月20日 「10h 警視庁パスポート延期に行く こゝでせぬとの事」「Delambreけいさつに行く。手続教えてくれ [……] 十四区役処に行つてエキストレマリヤージたのミ、来週月曜日」「夜Turinトリノより井上氏」「日本に来て高松家の御殿で展しないか等、これハ人が大勢でめいわくする事を予期してない話で、この頃日本行きを皆すすめる。金が儲かるのに藤田の奴バカだと言ふ人も居るだらう。」[FT00547,245]
- 8月22日 「Petridesに渡さない可愛相だから今日からすこしかくつもりで8mに先づ注文のバラ初めた すみがき」[FT00547,247]
- 8月23日 「今朝から午後にかけて6P 5P 二枚バラの花墨がき二枚仕上げ一日外の事ハせず夢中。君代バラは中々よくなつた等と言つてくれた。が大したものでもないが独特なものだらう。いくらかき上げても世の中の欲しがる人の方が多いので売れる丈けで損な事だ」[FT00547,248]
- 8月25日 「伊原乙彰 讀賣新聞切り抜き私の悪口送つてきた」[FT00546,124]
- 8月26日 「朝から80F から小廿枚一日かゝつて油白ブレパレーションで仕事働く。パレットナイフで手を動かしてる間、仕事の事ハ考えずいろく考えてやつて、楽しかつた。何んだか分つた様な気がした。すべて何事もやつて見る事だ。外に日記帳作らへて見よう等と考えたりする」[FT00547,251]
- 8月27日 「Lecture pour tous (Je sais tout) の人二人来て色写真画の分と室内の分沢山貰つた」「10h1/2 区役処へ行ってExtrait des minutes des actes de mariges (1954年10月5日) 貰つて」「私一枚扉え右側上より六番目三人小供よく出来夕方十五枚許り小供クロッキーかいて これハ中々面白いもの数枚出来たが暗くなつてやめた」「東京のテレホン弘子の祝に岡田猪熊等日本に帰つてるとの事。私にも帰らないかとすすめる 大いやだ。」[FT00547,252]
- 「十四区役処エキストレマリヤージ出来」[FT00546,125]
- 8月28日 「二ツ顔石膏ぬいた。出来た。今日ハ扉え三枚一日かかつてかく」[FT00547,253]



- 8月29日 「花柳章太郎柳ばしより手紙女房と十月に来る ここで二ヶ月滞在して私に画教はり度いと赤毛布 たよりハ私丈けとあり。深水氏も九月に来ると 皆都合よく一人極めて居る処が中々」「朝から夕方迄休ミなく扉枚5枚又夕方から夜にかけて一枚皆んなで六枚仕上げて全部Atelier24番の分出来うれしくなつた」「四時頃君代と二人Police区に行ってパスポートかきこんで写真二枚と結婚写しと6400frs (三年前ハ二人4000) 支払つた」 [FT00547,254]
- 8月30日 「朝からパレット掃除して三枚バラの花油え色で午前と午後かく 煙草の箱一ツ小供かく」「正午嗣雄さんの手紙 (信子) 持つて眼科の先生桑原安治と言ふ人案内の学生さんと来て 嗣雄さん両方の眼に白い星出て (老眼) 注射で一時間本もかけぬのがこの頃ハ見える様になつたとか もと子 たんせきでねたり慎二時ハ死ぬさわざだつたとかで信子巴里に行つたら私の生活が何んな風か 健康を診断だんして見て来てくれとの事 これハ遺産に野心あるらしいので用心。身体ハとてもいいし悪い処ない。いい機会だから見て下すつても差し支へないと言つたら これハ中々言いにくい事だが失礼と思つたが たのまれたからとの事だつた」「夕方石原氏来て君代とさかんに話して私が死んだ後始末ハ電報一本で飛んで来て始末して君代の一生を安全にして上げると安井夫人の例とつて親切に言つてくれた。」 [FT00547,255]
- 8月31日 「厚紙切つたり板切つてチシヤンかいて見たり」 [FT00547,257]  
※ティツィアーノ
- 9月1日 「一日Life Match Elle 何百冊十年分一通り見て為めになり相な頁丈けぬいてハ棄て、大机の上と本棚大にさつぱりした。七時迄かゝつた。」「夜金山来て [……] 宮田重雄のかいた巴里息子に石原さん佐々木さん等の名前うんと出で皆日本画家自働車巴里で持つて、特に藤田氏ハ郊外用市内用の二台を持つてると其他荻須、土橋濱口上永井佐藤敬等云々と出てる。」
- 9月2日 「英国の大型破れぬ紙発見下画に上々大喜びする」「80大作愈々デッサン初めて見た小供許りの画かく事にする」「5h Mme Corre来てとても肖像外のもので崑んで植物の葉も好きで室にも入れてる等早く Ma cherieに見せたいとて下で運ちやんに渡し色写真も沢山上げた 扉欲しい等賣らないか等」 [FT00547,259]  
※大作：《アージュ・メカニック (機械の時代)》(パリ市立近代美術館)
- 9月3日 「Correさん秘書と運ちやん大作肖像持つて来てなほし (口等 男の子)」「5h1/2 石版やVaugirardノおやぢ来てたのむとの事」「画のぐや四十五枚扉えの厚紙切つてくれ夜迄かかつて三十何枚白ぬり。紙張らずにかく事に成功手かず大にはぶけた」「大作今日はかき初めミシアイロンの子供等かく」 [FT00547,260]
- 9月4日 「バラのえニスぬった 大デッサンかき三人許り小供かき」「①百枚計画ノ第一 Charcuterieかく」 [FT00547,261]
- 9月5日 「十時二人でPetridesに行くバラ三枚 8m 6P 4P 持つて行く。代金上げて貰う事相談 ルツソーの画あつて欲しい一ツ。Dramontに海洋展に20号日本漁船渡し」「②Charbonnier石炭や一枚扉えかく」「Petridesの分 8Fと果物かき股広げてる。」「Corre氏へ (額昨日出来3500frs) 運ちやんに渡した (昨日男の子の口なほした)」「夜君代朝の手紙少し話してくれ老父は今日明日何日とも分らぬ もうたべものが入らないので瘦せて仕舞つてる等。又すこし送金して上げたい画で石原さんにたのもうか等相談いい事だ。」 [FT00547,262]
- 9月6日 「③coiffeur ④corstier 二枚紙板の分始め昼迄に二枚仕上げて」「長谷川仁日本で私を呼んで皆んな画商連盟で展する等発表してけしからん等と大にくどくどきく」「君代 お父さんが萬一の時のお葬式のお金言々を私が石原氏に話したのが嫌いだとてとうく二時迄泣き声出して私が嫌だと言ふ事を平気で言ふと言ふ事 他人にきこえても立派な事を嫌がつて困る。」 [FT00547,263]  
「③コルスチエcorstier ④理髪やcoiffeur」 [FT00546,129]  
※corsetier コルセット職人
- 9月7日 「一日6m 小供石垣の上のかく横にして。⑤パンや⑥ガラスや⑦トギヤ) 夜迄かかつてかき」「君代お父さんの事心配日本行き決心つきかね、二時すぎ迄ねむられず。気の毒なれ共決心つかぬ人 中々日本行き等ハ一人で出来ず何時も手遅れ後悔する事これハ性分だから仕方がない 連れて行つてやると言つても私でハ日本行き賛成しない。」「五千プラート 4ノSeineノ版画ナマ」 [FT00547,264]  
「一枚6m 小供石垣の上横 三枚扉えかく ⑤⑥⑦パンや とぎや ガラスや」「一日君代と話さない日」 [FT00546,129]
- 9月8日 「朝刊 土曜日午後雨の為すべってランブイエでD. S. のエジトピヤフ (ギタリスト24オコンドウイしてた) Camionと衝突大負傷丁度石原さんと同じ処 夕方散歩した 偶然の事だつた。」 [FT00547,265]
- 9月9日 「Petrides Henri Rousseauの両親の絵200万を180にしてくれて」「Delambreでpaasseport二人出来とつて帰り」「午後4号に小女と猫一枚かくすミがき」「日本行きの話とうく君代にも来週にも行けとの事で大に動く」「金山とならとても旅行よく石原も待つてるとの事 何うにか行け相な気分になつて来た。」 [FT00547,266]
- 9月10日 「金山夕方来てAir France切符買つて来て十八日Jeudi 8h1/2 du soir 日本行き愈々君代も決心の日」 [FT00547,267]  
「⑧印刷工.Imprimerie」「君代決心する」 [FT00546,131]
- 9月11日 「君代の日本行き実行」「2h1/2 金山とAir France君代のパスポート見せて十八日午後八時世分北極廻り日本行き一等往復 (774900 1500 taxe Air Port) 支払い」「フヂタさんハImportantの人故特別サービス致しますとの事 寝室四ツのす



- く前後部の窓わきの席貫つて、Visa Prefecture等の一切なく金子二萬持出し 荷物30KL等」 [FT00547,268]
- 「君代 AirFrance 774900 1500切符 君代誕生日に切符買った事が二日後に分つてびっくりした。」 [FT00546,131]
- 9月12日 「二時半 Petrides へ8号6号デッサンプロファイルとりの子二枚届け180万ルツソーの画の第一回支払の内画ですませる事にした」「鳥やでえさ買ってカナリヤにする相談インコは引きとつてくれると」「君代上のトランク引出し全部戸棚古物出してカバンにつめて見る三ツカバンで27KL位大丈夫。」 [FT00547,269]
- 9月13日 「Petrides 運ちやんよこして8F 6P二枚額欲しいとて大きいの二ツ渡す切つてLaskerさん用との事」「4h インコ鳥三羽鳥やに持つて行つてカナリヤ夫婦ととりかへて来て静かにこれハ言ふ事聞いて水浴したり中々よし。静かになく」「土橋(日本人展出品の事。日本大使かんよりTelで出品絶対に断つた事)で来た」 [FT00547,270]
- 「カナリヤ来る。茶男 黄女」「鳥カナリヤとインコ交換」 [FT00546,132]
- 9月14日 「朝から小女と猫4P昼から5P二枚すみえかくPetridesのもの」「夕方扉え⑨一枚鳥やの子かく」 [FT00547,271]
- 9月15日 「2h-医師オルレアン ほうそう証明」 [FT00546,133]
- 「AndreくれたDimanceの新聞に英了の事 藤田の甥でフランスのシャンソン日本に流行させた 何の大使よりも経ざいのきよう定よりもつとフランス日本の間の役をやつてる当然レジオンドノールやつていい人だと二段ぬきで出たのでレコード六枚買ってやる気になつた。切ぬきと一緒に君代にたのミ送つてやる。大得意だと思ふ。」 [FT00547,272]
- 9月16日 「伊太利会話地図買った。」「LalouさんXmasの小供バラの花(シャンペンと同じもの)一枚夕方迄かく」 [FT00547,273]
- 9月17日 「午前中二枚油え4号小女猫色つけする」 [FT00547,274]
- 9月18日 「君代日本へ出発の日」「税関で君代80000余計に持つてる事サツクの中見られて難しくなり、Air Franceの人とRecio心配 私ハ脳貧血起してボー然トシテタホレヤツテRecioとAndreにササハラれて休ミナホル 君代ハ日本行止めるとて荷物持つて来たのを無理に立たせ金ハ私に返へしてくれたメツシヨんくを繰り返へした 法にそむいたので私たちの落度ハラマキの千ドル見つかかりハせぬかと私ハ心配しすぎた やつと8h1/2 立つてくれ」 [FT00547,275]
- 君代帰国
- 9月19日 「旅行 PARIS-GENEVE」「7h1/4 巴里 Andreと二人Dodge 出発」「4h1/2 Geneve着」 [FT00547,276]
- 9月20日 「6h1/2 国境イタリースイス無事すみ」「obbeggio」「8h1/2 君代日本無事着いたの見て大安心した羽田のTelegramme金山打つてくれた」 [FT00547,277]
- 9月21日 「Obeggio」「Dormelle Olgiata馬の持主訪ね」「ボツチチエリー、ロートレック(大きい馬コッケイ)ブラマンク、チシアン等皆画家の名つけてあり」「ボツチチエリーは沢山子生んでる」「8h 時私のGenevaの放送よくまわしても聞えず」 [FT00547,278]
- 9月22日 「Obeggio」「7h Radioかすかに私の聞えて喜び」 [FT00547,279]
- 9月23日 「Obeggio-Milano-Obeggio」「9h1/2 出立四人Milanoへ 昼前ダウンチの壁画見る」「beau Pèreの家大金持ミケランジェロ銅小像 ボツチチエリー廿五号 フランジリコ廿五大」 [FT00547,280]
- 9月24日 「Obeggio-Ascona-Obeggio」「スイスAscona (Gide別荘あり おかまの町) 国境越え」「一寸往来より高い処ニあるいいレストラン普通天井ゴチック大シュミネ等」 [FT00547,281]
- 9月25日 「Obeggio-Aseona-Obeggio」 [FT00547,282]
- 9月26日 「Obeggio-Milano-Florence 単独旅行」「10h1/2 ミラノへ着」「5h10分Florenceに着く」「8h 迄 町カセードラル大勢の人 町賑で歩けぬ様 ポントレッキョー見て」 [FT00547,283]
- 9月27日 「Florence」「9h1/2 Musee office Uffizi入る チマプエより始まりボボツチエリー春 ベニスの誕生 やはり世界の傑作フランジリコ チシヤン クラナツチ ジユーレル レンブラン大廊下左右 Domeの裏の小寺の天井モザイク素晴し」「Academiaフランジエリコ二階壁画」「St Marcミケランジェロ大作途中で止めたもの」「Apollonia開けて貫つて見てSt Crose 大寺見て」 [FT00547,284]
- 9月28日 「Florence-Arezzo-Sienne」「12時着 Arezzo大寺おいのり最中、フランチスカの一番好きな壁画左右に三だんかけ一人でゆつくり見て大満足 [……] 丘の上の町Perouseへ出て [……] 2時アシジーの寺に入るクラクテ ジオットの画遠く望遠鏡で見て」「シエンヌ6h1/2着」 [FT00547,285]
- 「Florence-Arezzo-Perouse昼食 Assisi-Sienne」 [FT00546,138]
- 9月29日 「Siennu-Gène」「11h1/2 Pisaに入りて町できいて眼の先きに塔が出てあきれて恥かく」「Gèneに5h1/2着」「しらべて日本展分り300Lタクシーで行く井上君居らず」 [FT00547,286]
- 「Sienne→Pisa昼食を経て-Gène泊り」 [FT00546,139]
- 9月30日 「Gène-Chambéry」「朝十時迄井上Tel待ちMusee日本衣装展に行く居らず」 [FT00547,287]
- 10月1日 「Chambéry-PARIS」「フォンテンブロー道まちがえて遠廻り一時間遅れて5h 着」 [FT00547,289]
- 10月2日 「JoffetさんTelして月曜日迄にAfficheかく事によしとの事」「12h 頃君代よりTelあり 鶴田の処に居てつるた丁度休む(会社はさん)で居て都合よく安心しろとの事。磯浜にも行つて来てお父さん元気いろくして歩いて、よく分つたとの事」「今頃始めて安心した。」「Tel 伊原高峯秀子デコと座談会してくれとの事」 [FT00547,290]

- 10月3日 「5h 近く石井好子高田女史連れて来て本出すとて四五枚写真朝吹さんも来た」「11h1/2 Morandiereさん夫人Maurice GarçonのLivre d'or 持って来た 皆ウトリロ、Dufy、マリーローランサン、Braque Van Dongen デイリモン、ドメルグ ベナール等かいてある」 [FT00547,291]
- 10月4日 「菊のポスター葉にえのぐぬつて押したり午後四時迄かゝつて二枚一枚ハ成功した。やつと安心した。」「君代東京電話金山鶴田友信」「12h15分前位東京電話 金山出て李王様跡のフリンツホテル (Tel 30.0131) に居るとの事サ来週関西にお連れすると言ふ。君代ホテル変更したらしく友信出て話いろく」 [FT00547,292]
- 10月6日 「5h Petridesへ三枚 5P 4P 4P 届けルツソーの代へ入れ」「五十万 Corre子供三人肖像」 [FT00547,294]
- 10月7日 「8h1/2 GimondへPose 11h迄」「ゴールドマン25万ドルハン画一枚」 [FT00547,295]
- 10月8日 「十一時高田正二郎妻君 (土橋のためAuto事故首痛めて胸から首ギフスはめて来て 画絹貰い)」「君代一時十分前 [……] 19日 (Dimanche) 出発 21日Orlyへ帰るとのTel」 [FT00547,296]
- 10月9日 「アンドレ二階にスポーツの画等上げさせて壁さつぱりする」「土橋一人で来て石原と日動と二人で私の画発表せずお互に今張り合つて要す見てるがべらば一に高いらしいとの事 日本人展の跡で連中の集りでの話あった由」 [FT00547,297]
- 10月10日 「午前中より小品三枚小女とバラ墨がき初めて仕事して気持よく」「朝七時 Radio 藤田貧乏時代気に入らぬ画ハ窓からすて、たのをコンシエールが拾つて財産作へて余生を楽しく暮してるとの事 France Soirに出たのを放送 Andre 女房聞いたとの事」「夕刊に日本人展に藤田出品断つて駄々こねたと大きく出た。」 [FT00547,298]
- 10月11日 「朝ブラマンク死んだと同盟の人のTelあり」「一時迄動かず、一枚二人女6号かく」「午後枯草6にかく」「8h Guyの家Caillaudナイブの人とてもいいSimpleな男 私の肖像もたのむ。」 [FT00547,299]
- 10月13日 「十時1/2 Gimondの処へ行ってポーズ未だくすまぬらしく又行く事」「Tel 東京君代英了金山つるたあり」「昼から油え顔バツク空等かく」 [FT00547,301]
- 「1h Tokio Tel 英了、つるた金山26日出発27日着にのぼした。」 [FT00546,145]
- 10月14日 「朝石版の人トタン板二枚持つて来た」「昼額や廿枚手震はせて持つて来た」「午後ギャラリーより玩具届く」 [FT00547,302]
- 10月15日 「今日ハ一日サクリヒキスして仕事止めて室内の事 帽子かけ三ツかけズボン掛けゴヤ等表玄関に移したり」「Kyoto Tel 第五回 京都へ昨日来て大雨一日今日ハHotel 昨日は飄亭へ行つた等奈良へ明日明後日ハ東京へとの事」「金山氏は中島と別れる事に決心した。その方が将来いゝと石原氏も私も思つた等々、二日置き位にTel すると言ふ大変な事だ。私はカンヅメで夜ハ家に居ると言ふ」 [FT00547,303]
- 10月16日 「今日ハ朝から油ぬる事にして仕事始め。」「同盟の堀と伊原二人来てSamediデコ君と対談の由」「英了のテーブ着芦原一家石原家君代等の吹き込ミ君代が一番上手なのに驚く。英了も可成うまい」 [FT00547,306]
- 10月18日 「午後三時半高峰秀子主人松山善三氏 堀 (同盟) 伊原来て 新年の言葉として出すもの記事のさんこうとしてテーブ入れたが中々うまく入らず」「一万現金秀子とのフキコミ札」 [FT00547,308]
- 10月19日 「3h 石井好子と高田女史二人来て白黒写真他五枚写して行き」「7 1/2 プラードの処キウルシ肖像ばーさん直し渡してくれ」 [FT00547,309]
- 10月20日 「夜白いあごひげの老人28年のdessin二枚持つて来た。去年油とデッサン買った人ヶ月又くると」「6h 横山泰三氏朝日の杉辺氏と来て 8h 迄話して」 [FT00547,310]
- 10月21日 「7h1/2 二人一人写真画家の本出来るとしているくの人肖像写真見た。画の事きく私の事もきく面白い会話だつた。人の事ハ何にも言はず将来の画の事等」 [FT00547,311]
- 10月22日 「枠に白カンバス二枚張りニスぬつた画五枚額に入れたり」「3h1/2 Petrides 2枚 6p 女二人 6m 女二人 1F 小供赤衣届け若い人の展見た。Noël嬢の画かいてくれとの事」「Recioに二枚 2F 小女小女バラバラ届け」「油白 15 10 二枚ぬり」「色写真フロランス アシジー オベジオ等よく写つた」 [FT00547,312]
- 10月23日 「朝から仕事ギヤラージ大作にすみえでかき初める中々難しい」 [FT00547,313]
- 10月24日 「昼間は仕事の方が大事」「とうとうGarageとAuto 沢山かきこみ」 [FT00547,314]
- 10月25日 「デッサン男子中央の下かき等して一日くらす」「Cabasの子François来てエロンビルフォスの扉え渡す」 [FT00547,315]
- 10月26日 「君代出発日本」「土橋二人も帰つてると思つたとて来て」 [FT00547,316]
- 10月27日 「8h 前 Orlyに行き一時半待つ [……] 荷物三個何にもなくアゴヒゲの男税関画かく人私の握手求めて来た十時に家に帰り」 [FT00547,317]
- 「夕方佐々木珠子来た」 [FT00546,151]
- 10月28日 「9h 14区選挙権とりに行く私ハ帰化三年で五年しなければ当票の権利なしとてやめる事になり折角二三十人行列して損した」「佐々木 AndreカバンニツOrly にとりに行つてくれ反物多すぎるとてひつかかり所長呼んで何うにかすミ。とつて来る」 [FT00547,318]
- 10月29日 「一日大作かく」「四時頃初めて花柳章太郎夫婦」 [FT00547,319]
- 10月30日 「大作一日仕事大分進捗」「Recio二号二枚昨日初日にうれたとて金もって来てくれ」 [FT00547,320]

- 10月31日 「今朝から大作ハ止めて15、10、2号一日墨えかく」「小児許り君代何うしてかいてるか等? 持つてる。」「ブレード午前3h ウルシ夫人肖像返却。」「昼も夜も東芝の電気かまめし楽にたけて上、一番土産の内よかつた (英了)」  
[FT00547,321]
- 11月1日 「朝だん〈日本の話細かくなつて私の想像通りだつた。大した事ハない。やはり表面丈けハ如何にも近代化したらしいが、昔の其の儘の骨強い国民性ハ少しも改良されてないらしい」  
[FT00547,323]
- 11月2日 「朝から15 10 2号油かく」  
[FT00547,324]
- 11月3日 「GimondにPose今日ハジリ〈してた日、私のcalmを何うして自分でおさえられるか等テンペラマンだといろく話す。12h15分迄ポーズ殆んど出来たが頬とあごに苦しんでた。」「人のいいジイサンバーサン中産階級らしい人々六七十人入つて来て二間にびつしり立するのすき間なく二ツのアトリエの間でMme Chapuisと私二人で話して」「私のアトリエ訪問が一番多く前例なしと」  
[FT00547,325]
- 11月4日 「昼から私のとPetridesのXmas card二枚かく石版のとたん板に」「Prade LalouのXmas card三ツ持ってきた」  
[FT00547,326]
- 「三枚二度目油画一通りかく (色)」  
[FT00546,155]
- 11月5日 「朝から石版画子供二人私とPetrides (小女と猫) かき、41 rue de Seineの処の大石版小女と猫二枚昼間かく」「Recioの処へ行く。Radio (日曜放送二人の有名な対話Telにて人をあてさすもの)」「コクトーの卅枚dessin一枚も売れず売ばせたい等と一枚四万で買った。額4500だからとてもコクトーの手とりも少ないだらう 三ヶ月以来ビュッフエの画下落して買手なく水彩 (五十万) 五枚持つてるがアメリカ人からも断られた等 シャガルドンゲン其他の大先輩の画がよければ大きくとても高いうれる。いい画の方がいいとの事」  
[FT00547,327]
- 「石版二枚 小二枚 トタン版」  
[FT00546,156]
- 11月6日 「朝 ドロアン画商とEditionクラビユールの人肥った人Henri Hussenot Desenonges石版35枚小児と猫かく事にきめた」  
「近藤氏のみのサワラの砂漠のえAndre l'hote 本2340 小包代2465frs送り出す。」  
[FT00547,328]
- 11月7日 「電話の小供左端にかく」  
[FT00547,329]
- 11月9日 「昨日のl'oeilの雑誌ユネスコ建築の写真見てピカソー始めカルデル其他大に新しい藝術を発表してるがこれから又何年立てバ近代美術かんの浮彫の時代の流行の様な形になつてデモデして仕舞う一種の型の様な気がする。三四十年のキュービズムが形を消した様に今日のアブストレも又姿を消すのじやないかと思ふ。一つのエポックの型にすぎず、その元祖二三人ハ別として後の追しゆう者ハ皆□性だ。ブルゲル ボツシュ、ルツソー等の個性の人の画が一番永久的だと思ふ」「今日初めて大作色ぬり初め一日かく とても陽気に出来て来て楽しい。好きな画になり相バツト眼を引く。そうして明るく気分がなる。」  
[FT00547,331]
- 11月10日 「大作のバツクの事許り考える。一日仕事大作豆自動車其他いろく油えでかく 油筆沢山買つてかく とてもかきよい。」「川口松太郎全集。円朝よんで江戸の職人気分一生一代の傑作等縫物師の話等大にい、と思ふ。私の八十号も一生一代の傑作にしたい」  
[FT00547,332]
- 11月12日 「朝から右手二人上の方へ子供ねじ廻しの分かき込む。又進行し始める。」  
[FT00547,334]
- 11月13日 「Noël近くなつたからLucie Bordeaux Telしたのでça vaと返事したとて君代大怒りにどなつて画用紙切るナイフ折つて仕舞つた 朝爆はつ浅間山見たい。私ハ大作に起重機小児三人かき込ミ」「石版大二枚Mr Lambertの分 Petrides小私の二人小児試し出来」「大作大に進捗した。同じ処五辺も手かずかゝる、と君代時代おくれだと言ふ」  
[FT00547,335]
- ※Lucie Badou (ユキ・デスノス)  
※浅間山：1958年11月10日に突然大爆発した
- 11月14日 「右の上小供五人起重機等色つけして一日仕事」「4h Exposition Edouard Axelrad氏」「PetridesへFare de Thierrens展これハモンデン、cocktail等」「ロスの画商に会つたりする。アメリカで欲しがつてる等」「8h 好子送別会」「朝吹とミ子」「堂本尚郎」「岡田猪熊対の仲悪の話等」  
[FT00547,336]
- 11月15日 「大統領Cotyさんより例年の通り鵝一對頂いた」  
[FT00547,337]
- 11月16日 「朝から大作電車油色つけ其他いろくかく。」「午后も仕事」「田渕ベルギー展留守國吉の話等」  
[FT00547,338]
- 11月17日 「海洋展出品の日本船の絵Niceに来年正月送るとの事」「いろく小品クロツキー他五枚かいたり」「夕方亜鉛会社大阪の社長泉正雄氏 秘書神戸のフランス人の合ノ子、日本画家の女肥えた人三人で海苔味の素コブ持つて来て私の画が欲しいと (中村さや子日本紹介ノ人) 百万円用ゐして来た。断つた。50万丈け渡しておくから何日でもとの事これも断つた。石版猫とバラ丈けハ譲つたが (三万一万) これハ名刺代り。」  
[FT00547,339]
- 11月18日 「木村莊八十八日午後十一時五分 東大沖中内科にて永眠の日」「岡の手紙木村の病氣も人病なれど、会話の可能性あり。為体の左側きかぬと脳軟化症と言ふ 昨日欠席出した処だつた。」「朝からPetridesへ小品四枚すミえかく一日かゝる。」「君代又いろく文句言い出して」「私の行き方私の性質でこそこれ迄になつた。世間を小さく一々人とやり合つて目標を大きく見なかつたら決して大成はしない。寛容と人に親切に人を想いやらなくてハ皆敵にするだけで世間は人をかまつてくれぬ。人間と言ふものハ慾深い人許りで皆交換丈けで社会ハなり立つてる。心から世の為め人のため等と言ふ人ハ極めて少くない。」  
[FT00547,340]



- 11月19日 「牛山と言ふ女日本画家泉さん連れてPetridesで女ノ兒二人の分50万で買う事にしたらしいSeine町にも古いの二枚あつた由。」「Niceの方の人画家Noëlの小兒への寄附貰いに来てPilotのボートの8m一枚寄附してやつた」「Cheron時代に傘さした人物の風景ハ高くて買えなかつたがとて女のフロフキルの日本の紙にかいたせんかきの顔認め印(藤田)と押しであるのにサインしてやる 六十三才とて頭も坊主見たいに大きなホクロある好爺の人今迄忘れてが今夜Honoreの場処にかけると言つて崙んで帰つた。」「夕方十枚タイルの模様コンスタンチン、ビザンチン九世紀模様かいて仕上げる。」 [FT00547,341]
- 11月20日 「朝千册許り画集届く。ガラージの絵のぐや厚紙四十枚届け十何枚昨日と同じ九世紀の模様タイル型紙午前仕上げた。」「アンベールの展ベニス展見る小品許りうりものだつた Cotyさん見に来た二人で腕くんでElyseeに帰つたと夕刊あり。」「トロアカルチエ カタログ玩具貰つて」 [FT00547,342]
- 11月21日 「四十枚厚紙タイル型白水、ぬる。一枚8号作つて出崎氏の女子と猫すみがきしてから四十枚厚紙ぬり夜迄仕事下ぬりかたおきした」「夜になつて画家二人春陽会下井?二科鈴木田淵二人(ベルギー個展三日間)四人一度に来て夕食たべられず。話」「すずき氏画見てくれとてガツシヨもり上げよごし方よくないと言つて見た。」 [FT00547,343]
- 11月22日 「Kischka TelでCotyさん二人四日木曜日昼食に1h招待。アンベールキシカ其他一人夫婦丈けとの事」「3号一枚小兒と小猫出崎氏に分すみかき外で四十枚タイル夕方迄かゝつて仕上げ皆んなで七十二枚出来た」「8h Pradeの処へ行く小兒のオート飛行機沢山借りた。」 [FT00547,344]
- 11月23日 「午前中42枚壁厚紙タイルサロンに張つた一度張つて調子見てはりかへよくなつた。」「午後二枚出崎氏の画油半分かき」「5h Recio来た。Xmasの展 来年三月のModele展(紹介十人許り)」「最近画壇のけい向變つてjoieの色の画でなくてハならなくなつたと そんな画の人少ないと言ふ。私の評判もよろし今度の大作も外に類なし。尤も画題にかななてる言ふ」 [FT00547,345]
- 11月24日 「Tel N.H.K. 放送たのミ」「3h Petridesにrue du Fourの方廻つて行く 四枚渡す3.2.1.0。」「夕方から夜12時迄大作の小兒前方四人前に赤ん坊墨かき(クロッキー共)」 [FT00547,346]
- 11月25日 「人來るとて仕事は扉え四十枚才三回目初めた」「午後一日仕事扉え夕方迄に皆作つた」「岩田の息子 竹田宮様と宇野一等書記官(文部省藝術院の方の人。寺中の代りの人)来た。Asia, Olympicの本貰つて」「壁にはつた才二回目の扉画一分づゝ大きいの切つて見たりして」 [FT00547,347]
- 11月26日 「受 modele Monique Maltine レシオ紹介」「Andre使いにやる。Petrides Noël carte届け 米、釘、扉板用(封筒二度行く)等やつて貰い、私ハ出崎氏の油かき大作四五人小兒油かき」「五十四枚扉え始め三十枚位一二度大きすぎる分切つてもらひに向ひの画商にたのミ、一時間半でやつてくれ」「十一時すぎ迄扉え皆んなで百七十二枚出来た事になる。」 [FT00547,348]
- 11月27日 「家政婦カーネシヨンお祝にくれた」「私の誕生日」「一日朝から午后迄百七十二枚の扉え壁にはつて君代も釘うち手伝つてくれたりする」「大統領十二月三日昼食の招待状お使いの人(軍人)持つて来てくれた。」 [FT00547,349]
- 11月28日 「受 大阪美津島私の個展したと」「小さいAuto競争のAutoぶつかつてる処等大作にかき込む」「夕方ブラジル写真 EDDY NOVARRO 赤チヨツキの威勢のいゝのポルチユナリー其他の写真とても上手」「十時一十一時百枚白(水) (扉板)厚紙にぬる。古鐘の色出でオークルかゝる上々。」 [FT00547,350]
- 11月29日 「Tel Recio 画のさいそく小品」「仕事出来ず 5h1/2 頃君代とRasfail通り」「左12枚右4枚位扉板タイル作つて左右うめたらとてもよくなつた」 [FT00547,351]
- 11月30日 「今日付手紙木村夫人へ弔問 石原さんへ偽作6F写真返へし」 [FT00547,352]
- 12月1日 「午前中Recioに一枚dessin小かいてAndre午後届けさす」「思い止ミしてるより大作の小供二人思い切つて下画きして愈々終りの構図極めた。」「花柳章太郎氏の事」「花柳明日昼1h Geneveへ出発との事」「画室に入つて何にか下さいとの事 クロッキー女廿一枚と石版猫女裸体夢上げた。君代驚くよくも下さいと言へた等、人ハ厚顔しい私達ハ決して人のもの欲しいと言つた事なし。」 [FT00547,354]
- 12月2日 「朝から仕事小供赤ん坊、汽車玩具、飛行機と男の子上等一日かゝつてかく」「君代何うしてもCotyさん昼食に行き度がらぬ Kischka は是非連れて来いPresidentに約束したからと言ふが行ったら瘦せちやうと言ふ」「今日で大作一通り穴うずもれて一通り完成に近くこれからハ突き込む丈けとなつて大安心いゝ氣持になつた。よく忙しいのにこれ丈けかけたと思つた。とても一日にはかけぬ仕事だつた。」 [FT00547,355]
- 12月3日 「君代病気にしてPresidentにTelでお断りして貰つた」「Kischka Hambourg Verdier夫婦其他皆んなで十四人。君代の來ぬのを残念だと大統領言はれ、55年七月十四日かいた蚤市の小品君代コレクション老人と娘等のを上げたら又新しい画だとしてこれハ名刺代りとしたら大きいが何処にでかけられる 人にとられぬ様にと言はれて日本紙も誉めてられた」「President de la Republique Palais de l'Elysée Dejeuner au 3 Decembre 1958」「Elyséeグランパレー横で10分早目で」「私がかいたシヤンペンとてBoy三人赤チヨツキ一々画皆に見せたり」「一寸一人小兒の顔丈けかき込んで」「石原氏の友人青山二郎と言ふ人の事よむ 奇人、但しきたくない人だ。奇行ハ驚かぬ私とも似てるがシツクでないのが嫌だつた。」 [FT00547,356]



- 12月4日 「小児等大作朝少々仕事」 [FT00547,357]
- 12月5日 「Prade いゝ Noël Carte Japon 12枚届けてくれ」「一枚昼ペンキやの画タイル一枚出来た。消防ポンプ一台大作にかき机の足始めてかく」 [FT00547,358]
- 12月6日 「朝から大作にいろく小道具沢山かき込む画しつかりして来た。」 [FT00547,359]
- 12月7日 「一日大作アクセターかくいろく油で夜迄かつて色もぬつたり大分進捗する。」 [FT00547,360]
- 12月8日 「朝から床板80号大作にかく。中々大仕掛けのデッサンとつてやつた」 [FT00547,361]
- 12月9日 「11h 写真Marc Vauxとりに (大作) 来た。」「3h1/2 Michel de Castillo テモアン展カタログの文字につける肖像Kischkaたのまれた分かく。」 [FT00547,362]
- 12月10日 「朝小児十五号へ墨がきして終り」「午後Kischkaの仕事 Castillo肖像 G.Bauer氏たのみのNoëlカルト バラの花ニツ等かく」 [FT00547,363]
- 12月11日 「Petrides外の商人に売ってくれるな ローマネに売つてると人が言つた等。とんでもない。」「キシカの仕事カタログのさしえかく三四枚一日かゝる」「朝クレヌ来て扉えの事苦言言つた何日迄やるのか、早すぎてもう沢山だと」「夜Champs Ely. Lord Byron小さな館で封切り。人力車見に行く。」「私の小児時代1901より1914年頃迄しかも私の育つた熊本(小倉地方) 想出すつかり私の少年時代で懐かしい事と昔の時代をととも美しいと思つた」 [FT00547,364]
- 12月12日 「12h gaillard 石版画届け」「夕方アンペール氏とりに来て223枚かサインして渡し半金現でくれ、半分小切手。私に十五枚くれた。」「11h1/2 1917年Pasteurの鉄橋の6号の画 女画商見て貰ひに来た。」「2h モンテカルロNoël小児のためとて貰ひに来0F小児鳥打ちスエーデンの子牛肉やで見たるかいたのをやる(上永井の額)」「夕方Kischka 8hに来て写真スペインの男詩人 肖像画室風けい。えびす大黒 恵比須大黒) 靴下広告等渡す。大作大に□かい処迄見て行く全く類なしと」 [FT00547,365]
- 12月13日 「3h 403でユネスコ年末文士画家本うりたへの日 大勢の人私ハ一分に一枚以上の速度で7h 迄何十か何百か分らずかいた猫1000fsつづ」「一枚一分でかいた。」「Bon外の人ハ水彩で十分位かゝつてた。セシルオプリーが一番可愛い、ので本買った。」「随分写真とられた。スイスの放送もした。私が一番金集めた。」 [FT00547,366]  
 ※403: フジタの自家用車2台の内の1台ブジョー(Peugeot) 403  
 ※セシル・オプリー (1929-2010) 女優のち児童文学作家
- 12月14日 「今日ハPetridesの仕事のつもりで三枚昼すぎ迄に墨でかいた。」「夕方Recio来て大作誉めてくれ、一般の人も精魂こめた力作の様な傑作を見たがつてる。永久に一度見たら忘れられないのが見たい等と この下図の展したいとか、複製に作つたら売れるだらう等と早速商売の事考えた。御尤もの話」「Prade三人来てNoëlのカルトにサイン世枚位した」 [FT00547,367]
- 12月15日 「朝すこし仕事油の下かきマドンナの彫刻等。」 [FT00547,368]
- 12月16日 「午前二枚油色ぬり始めた。6と5号女と花。」 [FT00547,369]
- 12月17日 「昼 大使かん昼食 クローデル夫人外皆んなで十五六人の」「Recioのデッサン二枚かく。」 [FT00547,370]  
 「1h dejeuner Ambassade Japon」 [FT00546,176]
- 12月18日 「レシオのデッサン三枚かく。額に入れてRecioに夕方届ける。」 [FT00547,371]
- 12月19日 「Petridesへ5、4二枚届け」「Corotと言ふ店二階に行き 65 Av. Ch. Elysee Raymond Corot BAL62-90. ダリ、ブユツフエカズーの八画になりすぎ他ハ色どきつくて嫌な安物。主人の方丈けに会つて帰る」「カンバス布切つたり扉板小板かく事にして一枚かく。」 [FT00547,372]
- 12月20日 「Tel Petrides 出発前Charlesと言ふ男よくない事するから家へ来て押し出して画等も渡すな、店から暇出すと言ふ。若い男。社交界への憧れやらおしゃれやらで金が欲しいらしい」 [FT00547,373]  
 「扉板壁え 六枚小 世枚大 出来。」 [FT00546,177]
- 12月21日 「午前午後一生懸命大壁板世枚小七八枚かいて夕方迄にはつた。上々の大壁となる。」「夕方ドゴール氏六万二千かの票でPrésidentとに決定 Cotyさん愈々退官の筈と? 放送あつた」 [FT00547,374]
- 12月22日 「朝から壁画上の一列十四枚小板作つて昼壁一應皆蔽つて気持よくとてもよくなつた」「Recioの店ベルテズ カズ、ハンブル、グロサラ、等モデル五人TVが来て写して後裸体にして見た Java系のモンパルナスの一等の女一番身体よく 顔の毛のいゝプロンド乳大きすぎ。ドイツの女ハ可愛い、ズボン マイヨールの胴の様な女。ホリベルジェールの女。等意見まちくでとうく廿人同一モデルかくのは決定せず」 [FT00547,375]
- 12月24日 「仕事二枚壁小板二枚モジスト。重うりの子かいてはめた。」 [FT00547,377]
- 12月25日 「Kischkaにテモアン展カタログの広告Spitzerと Slip de bain Atollの画かいて送つた。」「壁画少々かいてはつた」 [FT00547,378]
- 12月26日 「午後は壁画小品かいたりする一日仕事自分のすきなもの丈けする。」 [FT00547,379]
- 12月27日 「今日ハ壁小板三四枚かいた」「朝十時Radio二人来てFrancaisのPortraitとて二分位長短処をユーモア一たつぶり話吹き込む月曜日の8h にきこえる由。第一放送」 [FT00547,380]

- 12月28日 「朝から壁画佛貨切りカへの画ガラス工場せとの工場等かいて三枚出来。一日仕事。」「Selz夫妻来て、」「私の小尻のぞきの小鉢上げた。裏張りの小画56年誕生日57年noëlのを返却」 [FT00547,381]
- 12月29日 「6号P.三枚せんがき女ノ子と猫かきせい〈する。〉」 [FT00547,382]
- 12月30日 「朝から三枚油かくパレットそうじして小女と猫6号かく」「二枚壁えかく椅子なほしと古着や。」「夜Recioの処へ七時に行く ワルシヤグとアンベール丈けモデル半分ギリシヤ フランスの十九才のプロンドこれが一番いゝので極める」 [FT00547,383]
- 「三枚油色かく 6P。」「二枚壁画かく」 [FT00546,181]
- 12月31日 「たつた一枚壁画年末Adieu 1958かく」 [FT00547,384]

## 1959 (昭和34)年 72歳

- 1月1日 「Andre赤バラくれた」「昼間壁画卅枚以上夜十一時——時半又卅枚作った。出来」 [FT00549,003]
- 「朝から壁面向って右下(戸の)卅四五枚作った。」「又壁画戸右の上窓側の分作り上げて今日はよく働いた」 [FT00548,007]
- 1月2日 「10h Chartre行き松山夫妻秀子」「昼Chartre午後Tours行き夜Chartre泊り」 [FT00549,003]
- 1月3日 「夜Chartre帰り」 [FT00549,004]
- 「チェース坊さん Kischka Jorji mori Descovens 木版家 岡田憲吉(英了 京都安田友人)」 [FT00548,009]
- 1月4日 「壁画沢山上二列の分作った」「夕方佐々木三木さんと二人で来た」 [FT00549,004]
- 「一日、壁画三十何枚上二列タツビー下の分作った」 [FT00548,010]
- 1月5日 「村山横濱出帆」「上二列壁画張った」 [FT00549,005]
- 「朝大壁上二列壁タイル張って美事になったまだ27枚不足Telしてたのむ。三枚油ニスぬった」「三時写真やArelli(イスラエル)朝cabinet de conseilよりTel上手なPhotosまかせてよろしとの事)二人で来て60枚位両アトリエでとつて行く上手らしい オランダの本見せた」 [FT00548,011]
- 1月6日 「4h Petrides 6P三枚3枚F1枚」「上二行左右に廿六枚壁画作った」 [FT00549,005]
- 「紙板昼届き又廿六枚上二行左右不足分する事にした。ニス画にぬつたり」「4h Petridesに画6三枚3一枚届け」 [FT00548,012]
- 1月7日 「朝上二行の左右のタイル打ちつけて完成する」「Warnodの孫肖像マリス・ショアジでのたのみ本の扉へバラ、トンボかく」 [FT00549,006]
- 「今朝André Warnodへ孫の肖像かく」「マリス・ショアジの本の扉えバラトンボさいそく受けすぐかいてTelしてやった」「朝サロン壁タイル上二行の左右に廿六枚張つて完成とてもよくなった。堂々とした。」「RecioにTelして額25cm(両方合せて)足せばいい事Telする」 [FT00548,013]
- 1月8日 「玄関入口の方のタイル始めた」 [FT00549,006]
- 「玄関の方よりの入口扉の上と左にタイル張る事にして下から七八枚張る事にした、二枚、大工と荒物や二枚かいた」 [FT00548,014]
- 1月9日 「Andre Warnodへツ、ジ鉢送った」「二枚タイルかいた肉屋とビストロ」「マリス・ショアジにバラ、トンボの扉画詩の分渡した」 [FT00549,007]
- 「和田英作氏84才で三保の松原で他界」「今日ハタイル二枚肉屋とビストロ店表かく 益々よくなった」「4h マリス ショアジ来て本の扉えバラととんぼの画かいたの渡した」 [FT00548,015]
- 1月10日 「15号果物右にかく」 [FT00549,007]
- 「杉本 Recio デッサンの事三枚 友信写真いろいろ新年よせがき」「プランタン日本展 文部省団体見物の女人」「朝十五号に果物沢山かき込んで」「一枚タイル 写真やかく」 [FT00548,016]
- 1月11日 「今日Prade Lalon氏とHotel Beluedee DAUOSへReneの愛人連れ三人で行く様子」「十五号果物の上に鳥かごかいて敷石白黒にかく一日根をつめてかく線等うるさい仕事だ。」「Prade Foret と会食会っての話 一億法の本、七冊の分、七人の画家 ピカソ、ブラック、シヤガル、フヂタ、ミロ、ダリー、グロメール?バンドンケン、セゴンザッリ、ゴエルダ等入らずとの事」 [FT00548,017]
- 1月12日 「今朝十五号右手にバラの花のびん加はえてかき上げ 午後三枚画商、貧乏貝、小学校三枚タイルかいて壁に二列に入れてよくなる」「3h アンドレワルノーの娘(孫娘)の肖像渡す崙び 朝ワルノー夫人ツ、ジの花の礼Telあり」 [FT00548,018]
- 1月13日 「午後2時一人Gallard石版一枚小女猫五十枚の分のを石にかき先達の小女猫第二番目の220枚サインして5h Recioの処グロサラ展に行きミツシエルシモン化粧薬にかぶれて8ヶ月も仕事出来ず」 [FT00548,019]
- 1月14日 「モデルColette来て二枚クロツキーかく Blondeの女,23才」 [FT00548,020]

- 1月15日 「モデル Colette Martin blonde 28 Au de Wagram 8e CAR 4055、二枚ポーズかく直ぐ暗くなる」 [FT00548,021]
- 1月16日 「5h クレスビル来る事」「Andre 10h Andre Metroで届け」 [FT00549,008]  
「宮田重雄の手紙 木村和田石井氏等と遠山陽子も死んだとの事、田村泰次郎夫人を社長として画廊開くとの事」「今日は二枚タイル巡査とコンシエルジュかいたりした 暗くて油かけず」 [FT00548,022]
- 1月17日 「朝から15F小児果物鳥かご花バラの油え昼すぎ迄かく」「1h 次Kischka うれた本の代届けてくれほんとに少ないのに驚く」 [FT00548,023]
- 1月18日 「一日タイル四枚、淫賣、モデル、占の女の子靴や等かく」 [FT00548,024]
- 1月19日 「佐々木一寸来た額縁の事」「Prisonnier 一枚タイルかく」 [FT00549,009]  
「モデル2h1/2 来て 4h1/2迄 Vilanne 卅人でかく」「佐々木一寸来て額の事本金にする事、一枚タイルPrisonnier上々かく」 [FT00548,025]
- 1月20日 「女郎かく」「Cirque Dompeteur 二枚かく」 [FT00549,009]  
「二枚 Cirque 馬のうんこかき集め Dompeter Lion 使いタイルかく」 [FT00548,026]
- 1月21日 「Andre 15F Larkerの画 Petrides届けさせて石版五十枚とりにより (Droinの分) 三十五枚サイン十五枚私のもの」「一枚タイル郵便やFacteerかいた」 [FT00548,027]
- 1月23日 「Petrides Tel 先日の画とてもよくて高く出してもいいからあんなのをと注文いゝ画かきたい」「三四枚白油カンバス下地作り大にやつて仕事ハせず」 [FT00548,029]
- 1月24日 「15号25号白油下ぬりした」「一枚タイルドロボーの娘かく二枚小男女ノ子秀子の分かく」「夜春陽会の男の人 (信州上すわの人) 明日マルセイユへ日本へ30の船で立つ別れに来た」「秀子へ画二枚渡す」 [FT00549,011]  
「Andre 9h3/4 色写真二枚持ってきてくれた」「春陽会の人明日マルセイユへ卅日の船で日本へと別れに来て嫌な日本へ帰ると悲観してる」 [FT00548,030]
- 1月26日 「ペトリデースへ行く 十五号Fの画の代貰いBanqueでとりかへて田淵の処へ行く」「玄関の二番目の戸のタテのタイル下の赤部分五枚作って二列完成した」 [FT00548,032]
- 1月27日 「NHK、Tel にて秀子とイーブモンタンの二人の対談の橋渡しの後たのまれ君代うまく断つた」 [FT00548,033]
- 1月28日 「11h Prade Hommage cordial au general catroux grand chancelier de la région d'Hommeur Homage to Her Royal Highness the Princess Margaret, 二枚 mumm の card サイン」 [FT00549,013]  
「11h1/2、Editionの若い人ピカソ、ブラマンク、ジャンロスタンド、ジャンルイバロー、コクトー、其他に表紙とさしえかいて貰って五千部 (8百萬) で出し大使等へ只で分けるとの事、表紙かいてくれと」「一枚家の前三人小供のきりぬき画彫つて仕上げた」 [FT00548,034]
- 1月29日 「Robert Rey 娘来てベルギー人の本トマルカの扉えの事」「大丸の人、杉野氏忠三 (初瀬川紹介)」 [FT00549,013]  
「Contreアブストレの本かいてる今の百枚の画で残るものはない 私のロスタンドだけは残ると言ってくれた。」  
「Robert Rey 来てトルコ名誉領事ブルクセルに居る人トマルカのオノラーブル・ドラ・カンパングユの豪華本扉絵かいてくれと娘 Sylvianne 来た 生まれた時スケッチしてやった子孫二人の母となる美人」 [FT00548,035]
- 1月30日 「額注文 8F 8m, 5m, 枠 6P, 4P×2 5P×2 4m×2夕方えのぐと枠買った」 [FT00549,014]
- 1月31日 「本扉え等たのみ三四枚かいた仕事すませた」 [FT00549, 014]  
「今日は本表紙さしえ一枚Robert Reyの本 (たのみ) 扉えVicleyの女Rurtin二枚等かく、たのみの仕事すませた。」 [FT00548,037]
- 2月1日 「朝から仕事二枚墨え油え 5Pと 0Fに小児かく」 [FT00548,039]
- 2月2日 「Gimond Pose, 10h 写真 11h 1/2写す」「2h1/2 猫刷画かす事とりに来る」「9h1/2-1h モンマルトルジモンド」 [FT00549,015]  
「9h1/2 Gimondの最後のPoseに行く」「3h 猫版画本に出したいとてかりに来る」 [FT00548,040]
- 2月3日 「六枚壁画かく、瓦屋外科医洋服や左官土方、煙草、夜になってジョコンドと番人傑作かく、ルッソーの画食堂の方へ移して小さいタイルえだけ出した」 [FT00548,041]
- 2月4日 「松山善三秀子巴里日本へ出立の日」 [FT00549, 016]  
「三枚油 5, 2, 0 色つけた 明るく出来る」 [FT00548,042]
- 2月5日 「九枚扉えタイルかく 詩人 犬屋獣医 便処番人 猫屋 すり 産科婦人科 僧侶 彫刻家 海洋」「夜田村藤次郎 夫妻娘来た会はず」 [FT00549,019]  
「一日、タイル絵九枚、かいて夕方ドカはずして」 [FT00548,043]
- 2月6日 「10h ペトリデース 5と 2 二枚持って行き値上げした」「ギャラリーラフアエット、プランタン、ルーブルサマリテン、ホテルドビル等明日から一気に日本展賣展開くと新聞に又広告にあり Petrides 有名な本やさしえ二三枚たのむとの事、いい本やで信用してやれる由」 [FT00548,044]
- 2月7日 「村山マルセイユ着 松原夫人娘よりTelあり 無事着」 [FT00549,020]

- 「岡見二人 Jeanneと賀正手紙 日本はきたないとタダ広くしまりなし、と写真二枚送つて来た。」「10h 村山マルセイユへ着、m. m. 笠戸さん処よりTel 松原夫人娘 (エチオピア) 巴里へ来たと三人交代でTelあり」 [FT00548,045]
- 2月8日 「朝 Robert Rey 本扉えの分渡す」 「Recio Photo二人modele」 [FT00549,020]
- 「朝十号聖母の如き親子像かく墨かき Robert Rey 来てオノラブルドラカンパイギユ Mr Robert de Boat 氏の扉画小児額かいて上げた分渡す」 「ボアソナード来た」 [FT00548,046]
- 2月9日 「仕事10号油色つけた」 「午後0号一寸かいたりして油、夕方二枚タイル絵Tricheur かるたとPêcheur (蛙) かいて十時に壁につけた」 [FT00548,047]
- 2月10日 「佐々木額80号見に行く」 「人形の病院洋傘や考古学者タイル絵」 [FT00549,021]
- 「岡田八千代代筆小山内徹足悪く寒い日ハ手も不自由との事、年賀状の礼くる」 「今日は一日タイル絵四枚洋傘や。人形病院。考古学者、プロンビエかいた」 「もう二枚かいて80枚となる。素晴らしい。」 [FT00548,048]
- 2月11日 「3h 柳屋日本へ帰るあいさつ。」 「一枚タイル画cocherかく」 [FT00549,022]
- 「3h 柳屋氏夫妻大使かん日本へ帰るおとてあいさつだけと思つたら絵何にか欲しいとてたのんで前金おいていく 断つたが閉口もの」 「そろく村山巴里入りと心待ちに待つ」 [FT00548,049]
- 2月12日 「二枚タイル画ゲリソールかく ギヨ者 (馬車)」 [FT00549,022]
- 「これで80枚画出来る、四行20枚づゝになつた」 「10h1/2 村山電話で9hリオン駅に着いてもとのホテルへ入つた由」 [FT00548,050]
- 2月13日 「村山9h1/2 来た 昨日来巴夜9h」 「Andre 9h1/2 Tel 10h1/2 リオン、村山ダケール」 [FT00549,023]
- 「受 岡鹿之助」 「村山9h1/2 に来た三年二ヶ月振り」 [FT00548,051]
- 2月14日 「3P 小女一枚かく 午後デツサン鳥の子二枚かく」 「タイル Avocat 一枚かく」 [FT00549,023]
- 「3P 小女墨がきした」 「昼ねして一枚とりの子へデツサン女の顔モデルかいた。よく出来た。モデル写生でなくて女の顔の美がかけた。二枚かく。」 [FT00548,052]
- 2月15日 「夕方 村山来て写真や Recio ボアソナード来たり大勢一度に集まり Paul Almasy 三枚見せてくれとても上手」 [FT00548,053]
- 2月16日 「5h Petrides さしえの人」 [FT00549,024]
- 「今日大作80号上に大円を墨下ぬりした」 「さしえのミの人 5h40分来て小供のポンチの本に私が紹介するとてさしえ一枚始の頁に入れるとの事 甘萬冊も出す本でお門異い余り馬鹿々々しい話で千萬を貰つても嫌だとはつきり断つて帰つた」 [FT00548,054]
- 2月17日 「ブラジルノ人の展等外二枚」 [FT00548,055]
- 2月18日 「80号、今日大作思い切つてさしえの本千法以上出して買い、女の子眺めて処かき空中旅行、上手分下手分うすく色ぬり又着物等一通り色よくぬって一日かいた」 「佐々木石原さん処よりの荷物の中のもの持つて来てくれ成井の鉢案外よくて使つても気持よくよかつた」 [FT00548,056]
- 2月19日 「村山昼、三人ロートレック、ウトリロ、チュルリー、ギワ、夜モンパルナスビギングス二人」 [FT00549,025]
- 「Strasbourgに居たBader初めて手紙よこし夫人戦争中独軍に捕えられて死亡 娘も痛死息子農家で孫10 12才生んで幸のが又アフリカでChasseで死んでたつた一人になつたとの不幸の手紙」 「三人3h ロートレック展 (きたない陳列) 額もひどい ウトリロ カルパンチエ チューレリー印象派」 [FT00548,057]
- 2月20日 「夜佐々木額椽届けに来る事、70,000法 9h1/2 Tel 10h ダンケル 佐々木」 [FT00549,026]
- 「Baderのシヤガルの画水彩ガツシユ窓と花□かきたのみにアメリカ画商 Liveragood氏来たGalerie Berrilardy」 [FT00548,058]
- 2月21日 「Liegeの印刷処の人にコヨミ見本返却す」 「午後 Tournaine 詩集コクトー序文のたのみの夫婦来た」 [FT00549,026]
- 「10h 村山にやったカレンダー返しに来て 11h ベルギーの印刷やの人来て返却」 「8h Tournaineの (去年招待) 詩集コクトーの序文私のさしえの本作りたいとて夫婦の人きて五月招待すると」 「大作ニスにつて額にねじでとめる大仕事 3P 小女とモンマルトルバックの油えかく」 [FT00548,059]
- 2月23日 「3h1/2 Andre Dioner 裁判処Tomasi氏のbelle soeur 4h ami de Robert Rey Georges Tomasi夫婦」 [FT00549,027]
- 「4h Robert Reyノ友人Georges Tomasi夫婦 (夫人のbelle soeurに livre d'orかりた礼に来た」 [FT00548,061]
- 2月24日 「Musée galliere Débôt」 「カタログ出来切符貰い村山夜来た。6h1/2 Recio写真写真や色写真貰つた」 [FT00549,027]
- 「10h Temoins展へ出品」 「午後10号一枚女ノ子二人お面持つかき出し」 「6h Recioの処モデルと画家集まつて写真うつす、大勢、Kischka画とてもすばらしい」 [FT00548,062]
- 2月25日 「12h前 Recio 画 3Pとりに来る」 「3h サンクルー橋写生」 [FT00549,028]
- 「小女二人面持つ画色つけて12h Mer Mme Stauss来り Vins 二本シャトーの livre d'or 崑んでくれた Mme de Ganeyの娘七才かいてくれとて断つた」 「12h Recio 画 3P 小女モンマルトルバック渡す」 [FT00548,063]
- 2月26日 「2h modele ビビヤン」 「小粋額届く」 [FT00549,028]



- 「午前中 Touraine の詩集コクトー序文女神の様な女 (近代) さしえかく」 [FT00548,064]
- 2月27日 「昨日かいたEveの女とてもいゝと思つて今朝見たらやはり巴里の普通の女の顔でしかなかった これはモデルのせいでフロランス辺の娘の様な女は巴里には居らぬ」 「RecioのモデルVibienne 15号にかくすみ油共夕方迄仕事」 [FT00548,065]
- 2月28日 「Lalon氏より国立図書館に私のcard二枚入ったエスタンプのコレクション」 「受石塩大使Misequeの夜会招待の日 Lalon国立図書館」 [FT00548,066]
- 3月1日 「15 裸体二度目油かく」 [FT00549,030]
- 「午前中、15号裸婦油二度目、十号小女二人面少しかいて」 [FT00548,068]
- 3月2日 「3h Petrides 10号m、小女二人お面届け12枚持つて来てくれると思つてた等沢山かいてくれ等、額椽百万、八十萬等見たが私ハ嫌いだった。」 「テモアン展始まり下見の日」 [FT00548,069]
- 3月3日 「12h Henri Amerille Paris journal 写真渡す」 [FT00549,031]
- 「Henri Auneville氏 (Paris Journal) に写真渡す」 「3h 一人でTemoins展Verissegeに行く」 [FT00548,702]
- 3月4日 「7h Air France ノ人出崎」 [FT00549,031]
- 「モーランジェール夫人Telして7hに昨日展見て傑作永く画の前で賞さん」 「Prade Tel二度大賞讃オリビエ氏 (料理大家) ステルレ (宝石商等も皆私の画を傑作とて大に賞讃したと評判素晴らしいとの事、) 「ギヤール (石版) ナーレとの出版の時私にやらせてくれとたのみあり、私の分はやり度くランベールのはもうやめると申し渡した」 [FT00548,071]
- 3月5日 「Foret氏来て一億□の本愈々たのむ実現 Texte とパルシュマン三枚くれた。Chabas 去年Dôme賞貰ったおとなしい人と二人で来て又大に画誉めてくれ、画室見せた。夕方、阿部の女房二口さん肥って桃色になって来ておしゃべり一人でして行く」 [FT00548,072]
- 3月6日 「3h1/2 バンドーム、海景日本船とりに行く事 昼柳屋デツサン渡し」 「夜 Temoins展」 [FT00549,032]
- 「朝から三枚油下図墨がき 48かく何れも小児 昼柳屋 (日本へ日曜日出発帰る人附属大使かん夫人ハもう日本へ着いた) デツサン一枚渡しお礼ハすでに貰った10万」 「3h 二人16番地バンドームで日本船の画とり」 [FT00548,073]
- 3月7日 「村山昼来た」 [FT00549,033]
- 「朝村山来たForetの本の事 Apocalypseの事聞いてcoeilノ中に一冊Saint Savanの壁画参考家にあつた」 「4hに出てPlace Rodinの近くのRadio F2, にてデコブラさんと会つた」 [FT00548,074]
- 3月8日 「そうく大本のさしえパルシュマン研究初めて見た。」 [FT00549,033]
- 「Foretの本Apocalypse七人文士、Malraux, Camus, Cocteau, Montherant Faulkner Sartre et Aragon七人画家、Picasso, Miro, Dali, Buffet Chagall Braque et Foujita 現代大家の中七人に選ばれて廿世紀の最高の本出すことに参加した世界七大都市七ヶ国語に訳して出版」 [FT00548,075]
- 3月9日 「三枚油え色つけ小児許り、4m 4P等、明るく出来た」 「招待中止 6h1/2 アメリカ文化局長招待行かず、5h1/2 Palais de chailiot ゴチック、壁画行かず」 [FT00548,076]
- 3月11日 「高田壮一郎帰朝 夕方高田女史とあみものの先生帰朝」 [FT00549,035]
- 「Tel 高田女史盲腸になりかつた切らずに直したと」 「夕方高田壮一郎明後日日本へ帰るとて来て」 [FT00548,078]
- 3月12日 「一日Recio Mode展のEveのバツクにいるく 動物一面にかき込み一日仕事した」 [FT00548,079]
- 3月13日 「Petrides 4F 4P届け」 [FT00549,036]
- 「朝12号動物すこしかき込み下図は墨がき終つて嬉しかつた」 「3h Petrides 4F 女桃色袖 4P、女赤袖小人バツク二枚やる、五六枚持つてきたのかと思つたとか」 [FT00548,080]
- 3月14日 「Figaro 6h-8h」 [FT00549,036]
- 「正午 Foret 来ていろく仕事 (外) の見せたり」 「5h1/2 Figaroの招待に行く」 [FT00548,081]
- 3月15日 「3h1/2 Janot 娘連れて来てRecio来る迄遊んで行く」 「村山とRecio来て 4P一枚渡してやりEve私の傑作と誉めて貰う売る事許り考えてた。Eve 59の展カルズー等とても画悪くキシカもかきそこないしたり大したものなく私のが呼びものらしい」 [FT00548,082]
- 3月16日 「玲子手紙よこして一週一度土午後一時半岡見君夫人にフランス語教はつてると知らせて来た、岡見も不思議な縁だと崑んだ由」 「私は12油えかく仕上げよくなつて午後吹き込み聖書黙示録いろく工風してやつて見る」 [FT00548,083]
- 3月17日 「8m 一枚小女バラかく」 [FT00549,037]
- 「帰って 8mに小女バラ持つ画かく一度かいて明るい方は出す事、大作以来やって居てとてもいい効果思い切り中々惜しい様な事も棄てるべきものはすてなくてはいけぬ」 「Prade 8h半に二人してきてEve 59は傑作なりとて大に賞讃スタンド肖像以来傑作許り益画若く明るくなる許り一枚一枚がよくなると言ふ」 [FT00548,084]
- 3月19日 「3h1/2Recio 画届け」 [FT00549,038]
- 「朝から 8号バラ (四月十五日出品Joffetさんの処) 描き消す」 「2h1/2 図書かん Foretの女秘書若い人Laboea□□聖書黙示録の古本 所長館長の屋Cocteauと私の本にサイン猫かく (とてもいゝ本になつてた表装)」 「帰ったらPilaノ友人

- 夫婦来て、画なくGalerie教え」 FT00548,086]
- 3月20日 「発 Kischkaバラの花出品の事、礼状英了出崎ハガキ」「朝バラの花かき続ける」「Tel Petrides 明□より十五日間旅行、  
会いたいとて今夕行くの止めて明朝にした」 [FT00548,087]
- 3月21日 「村山と外出 Petrides 8号バラ持つ小女届け」「夜佐々木28枚石版渡し」 [FT00549,039]  
「Recio 速達あり、Eve 59売りたいとらしい。」「10村山来て三人でPetrides 8号小女バラ届け」「佐々木二人来て石版28  
枚石原氏のもの渡して今度油画渡さず」 [FT00548,088]
- 3月22日 「Bible着」 [FT00548,089]
- 3月23日 「日本志村一男三月帰国岡氏 3月1日日本出発したと」「五枚白油カンバスぬつて仕上げた。」 [FT00548,090]
- 3月25日 「巴里Geneve Geneve - Obbeggio」「旅行 Voyage」「旅行に出かける事 巴里 9h」「Dijon トロアフェーザンAndreと食事」  
[FT00549,041]  
「巴里 = Geneve」「巴里朝九時出立」 [FT00548,092]
- 3月26日 「スイスー伊太利」「朝二人して歩いてスイス銀行に行き佛貨五十万だけ伊太利とスイスの分にして貰い、石原の1000  
\$未だ入つて居らぬ由聞いた」 [FT00548,093]
- 3月27日 「Obbeggio」「壁画タイル五枚かく」 [FT00549,042]  
「伊太利」「一日雨で画小品扉画五枚かく」 [FT00548,094]
- 3月28日 「午后タイル五枚かく」 [FT00549,042]  
「伊太利」「午后昼ね又画壁五枚かく」 [FT00548,095]
- 3月29日 「伊太利」「壁画四枚かく」 [FT00548,096]
- 3月30日 「Obbeggio」「図書室で1755年古聖書発見Copie始める」「タイル四枚かく」 [FT00549,043]  
「下の図書室で古い1755年ドイツの聖書Biblia DAS ist Testaments Die ganze Boff zu Ehter Ben Dourad 1755 聖書発見して  
L'Apocalypseの銅版見付け出し早速写生初めて午後一日かく、タイル四枚かく」 [FT00548,097]
- 3月31日 「聖書Copie一日する」 [FT00549,043]  
「伊太利」「外出せず、今日も銅版聖書のCopie一日して大に仕事した。」 [FT00548,098]  
「今度の旅行は大にPâques壁画30枚出来、Apocalypseの1755年の分沢山(二日間)写したりして大に有効だった。又雑  
誌でもさしえ発見した。ギリシアの崖の上にあるモナステールの分 一番これは古い画らしい。」 [FT00548,099]
- 4月1日 「Obbeggio」「アスコナSuisse 行き大布地22500frs小型泥ヤキ型1000frs一枚タイルかく」 [FT00549,044]  
「伊太利スイス」「アスコナ行きで一枚しか壁画かけずアスコナ午後、大布紺地22500」 [FT00548,100]
- 4月2日 「タイル五枚かく」 [FT00549,044]  
「伊太利」「壁画5枚位かく、昨日なまけた故」 [FT00548,101]
- 4月3日 「Obbeggio」「アスコナ、PradeにNerina巴里へ連れる可否問合せ手紙出す」「旅行仕度」 [FT00549,045]  
「アスコナへ行く Post Pradeへ手紙」「Pradeに手紙出してNerina連れて行くか何うかを念押す」 [FT00548,102]
- 4月4日 「出立Milano Venise」「8h10分前二人出立」「3h Flat借りてVenise行きBresciaで昼食又パンクしてHotel Danieli Royal N010  
の室、ジョージサンドmussetの室」 [FT00549,045]  
「Veniseへ初めて着 Garage 5me etageにのせて乗り合い船一人80L荷物400LでSt mareに着」 [FT00548,103]
- 4月5日 「Venise St. Mare寺 Doge's palais Academie 見物一日滞在天気よく人大勢」「Venise」「朝やっと十字 Doges Palace三人で見  
物大勢のTouristアリ画の大きいにびつくりした 大広間沢山 St. Markのモザイク素晴らしく丁度メスで大勢の人お  
説教ありミサも聞く」「食後アカデミヤのmeseeへ歩いて行つて入つてびつくり沢山いゝ画こゝにありApocalypsesの油  
ありて大に磊ぶ 大一、小四枚写真うつさせてくれた」 [FT00548,104]
- 4月6日 「Venise Milano Obeggio」「Venise 8h 発」「6h Obbeggio帰る」 [FT00549,046]  
「4h 20発帰途 途中大分湖水の右を左にするので時間食つて一度湖畔コーヒーのむで6h頃夕方帰った」 [FT00548,105]
- 4月7日 「伊太利 Obbeggio」 [FT00548,106]
- 4月8日 「Obbeggio-Turin」「Nerina連れて7h1/2 出立 Turin 10h 着 12h Bardonecchiaトンネル前の村」「5h シャンペリーのGrand  
Hotel114-115入る」 [FT00549,047]  
「DARSENATURINCHAMBERY」「Nerina連れて7h1/2 Darsena出発エミリオ(3000L)夫妻留守との事 山の方へ湖  
水より廻りて村をすぎオートルート走つてTurinへ出て10h着」「3h15分峠越してフランスに入る 雪の山前後 随分  
下りてシャンペリーに5hに着」 [FT00548,107]
- 4月9日 「Chambery-PARIS」「シャンペリー朝八時発」「4hすぎ巴里着 5h Nerina Pradeの家へ届け 巴里へ帰宅 6h-」  
[FT00549,047]  
「8h10分発 Pradeに電報」「巴里4h1/2着 Nerina Pradeへ届けて6h 前家に帰り」「壁画廿枚一通り張つて眺め」「留守  
中手紙 展覧会の沢山招待 濱忠次郎 岡田政子、高田壮一郎(紅梅) Chabas 一番館 Argus 五袋8年記念招待」  
[FT00548,108]

- 4月10日 「壁画の下の濃いデッサンの分るのと張りかへた」「切ぬきArgnoで見ると一億法の本の事、ブルクセル、ドイツ、二個処ローマ、ナポリ、フランス等の新聞にも出てるのを送って来て居た。フランスの地方紙は勿論のこと世界中に七人の画家と文士の名は伝えられている」「Prade Petrides Recio Tel 画のさいそく度し」  
[FT00548,109]
- 4月11日 「伊原息子夜来た。」  
「ドイツの美術商と出版家(コロンの人)ライカの最新(私のより)で写真4、5枚とつて行く巴里の画家の本出すとの事」  
[FT00549,048]
- 4月12日 「著作権の会への私の委任状出すHeuze氏へ」「日記帖完成書き遅れ皆書き込む」「油えて夕方一枚かく」「夕方コンジエルチ小日本人がとて桜と小さい白い花の枝持ってきてくれ佐々木君らしい。上って来て渡すのが気遅れしているのか、初めての事」  
[FT00548,111]
- 4月13日 「Kischka Venise六十枚展招待」「写真残りフィルムで壁画タイル沢山写した」「Kischka 15日ドロアンにてVenise 60枚展ありと招待」「午前中一枚Veniseのスケッチ油えにし午後一枚Seine Pont de St. Clord 油えにした」  
[FT00548,112]
- 4月14日 「夜佐々木来る」  
「又静物ローマの壺の下に貝五ツバツク木版等かいて腰少々痛めて君代心配する」「村山来て女房たつた一人日本人印度廻り空路で12h 午前1/2にOnly着」「佐々木さんの話出て何うしたものかはつきり断つた方がいいか等大分心配した美術家の心境を話したらいい、だらう等いる(二人で苦労した)」  
[FT00548,113]
- 4月15日 「土橋来て田村のたのみ画」「婦人公論島田女史 Tel 写真たのみ事」「花のえ」「ボアソナードTelありアンデパンダンの人Vacheだと」「4h Cherbentier 行 Tresors d'art Precolombien 行かず」  
「婦人公論の島田女史写真とinterviewたのみTelあり 森有礼さん息子キユリー夫人の処の浅田女史等第一級の日本人の中に私も入れたいのを君代多少品のいい上品な返事で断つたが」「日本の田村のたのみ画の事」  
[FT00549,050]
- 4月16日 「岡、佐々木来」  
「木村荘八のれん猫風呂其他」  
[FT00549,050]
- 4月17日 「佐々木日本へ出立の日」「4h 婦人の友島田静子写真とる 24日の事」  
「四時婦人の友の島田静子ズボン勇ましい女性写真とつて行く大碓び 岸さんもとつた由」  
[FT00548,116]
- 4月18日 「Recio 12h前、大葉やのNoëlのcardたのまれた。」  
[FT00549,053]
- 4月19日 「村山夫妻初めて□ツ来て会ふ」「田淵二人来ておどりののは舞台から双子だと藝人が当てたとの事で尚更驚き お父さんも送金アトリエ買ふ事賛成してくれるとの事」  
[FT00548,118]
- 4月20日 「Petrides TelありLasker 断る」「5h-7h Au Hoche 祝賀会 大使かん」  
「Tel Petrides 病気の事又々Lasker画たのみ断った」「5h-7h 大使かん祝賀会行かず」  
[FT00549,054]
- 4月21日 「今日泉正雄氏画断り持って来た百萬の金に困った人奈良漬沢山」  
[FT00548,120]
- 4月22日 「Kleinの本屋前サインの事」  
「Eve 59 写真焼きまし五枚届く」「今日は仕事一枚2F小女猫かいて見た」  
[FT00549,055]
- 4月23日 「Petridesへ行く」「4h Prade来る事」  
「Petridesへ二枚届け機げんよく沢山たのむいくらでも買うと」「Prade来てLalonのNoël cardと二号さん40才の衣装やとかへの画たのむ」  
[FT00549,055]
- 4月24日 「角田れい子 画たのみ ロルフドマンopera 図書かんにて敬意」「戦争遺児救済へ寄附女の顔布かぶつたもの仕事クロッキーかく小供」  
[FT00548,122]
- 4月25日 「Vikar招待美しき脚の美人コンクール」「二枚犬と小児二枚今朝クロッキーの分油えの下がきすまして9h1/2 フキリツプ迎いに来てSelzの処」  
[FT00548,123]
- 4月27日 「朝日見島interview断った」  
「Chicago フランス展招待 Romanet 招待(佐々木、日本着当日実家)」「朝すこし油えかき小キャンバス沢山張つて白(水)ぬつたり」「午後4h Pavillon de l'Elysée (Café de Paris に長く居た maitre hotel 私は度々 seriree したと言ふ) 早やすぎてRecioの処へ行く。Eve 59。陳列中、皆私のが一番評判誉められる。」  
[FT00548,124]
- 4月28日 「小供と犬のカナツベかく」  
「廿一才の女画見てくれとの事」「小女犬のバツク、カナツベ ボタン止めかく」「Bibliothèque musée de la Danse opera Rolf de maré の réception アリ Michel Georges Michel の演説 私とMichelとカルロスベラル夫人ロルフドマン四人で写真一番前四人の席に座らされ二百二位立って皆きいてた」  
[FT00549,057]
- 4月29日 「1h ロンポアンシャンゼリゼーのCabaretに集まりサロンボルチュゲでRolf de marréの昼食ルネクレール(直ぐ帰る)オリツク氏久々(日本で英了らに会ったと)ローランマニユエル氏かけ(女、ひょう毛皮)」  
[FT00548,127]
- 4月30日 「10h シマ氏もう一人の男と本(画家)やつと原本だけ出来相当分厚いい本」「愈々Apocalypsesのクロツ大二三枚一度にかき出し随分夕方迄にかく」  
[FT00548,128]

- 5月1日 「島田写真婦人公論」 「3h1/2 オーリー 4h 巴里着 角田れい子主人着との事 バンドームの近のホテル 一日geneve行き」  
[FT00549,059]  
「婦人公論の女の人島田すゞらん持つて又色写真うつさせてくれとて来た、二枚写真下手なのくれて、黙示録デッサン大にかく 4h 内田省三玲子の主人Geneve月末迄の会議で Orley 着とてTel すぐ来た 村山、土橋等すゞらん持つて来て村山二人風呂に入った」  
[FT00548,131]
- 5月2日 「10h 一人内田省三Hotel Calaisに訪問」 「黙示録石原さんの聖書参考で沢山下図又作つたり」  
[FT00548,132]
- 5月3日 「今日は仕事羊皮の小さいのにいろくかいてテクニク研究まだ本当でなし」 「夜マチューの仕事大作はい廻つて雑布かけ飛び上つて右から左へ走る」  
[FT00548,133]
- 5月4日 「11h morntの娘 yoomie Dornie」  
[FT00549,060]  
「11h mansのサニの娘 Yoomie Dornie と言ふ青い娘来て二枚画見てくれと」 「Petridesへ行つて5号女ノ子、版画 4号女ノ子とデンマルクノ犬、2号女ノ子猫 三枚渡しRecioにパステルとdessin額渡してEve 59とり、家に持って帰り写真来フキルム買った。」  
[FT00548,134]
- 5月5日 「Laboratories RonsselにてRecioとMr Gudonゲイドンに会ふ 主流な新館素晴らしい」  
[FT00548,135]
- 5月6日 「パリヂヤン テモアンの分 ボルドー展Tel 断る」 「夜遅く村山二人岡さん来た」  
[FT00549,061]  
「Galerie Georges Fane Bordeaux 去年のパリヂヤン展すみ出品出来ぬと断つた。仕事せず」 「Kischka バラの画とりにくる事Bordeaux展出品せぬか？ 勅使河原展招待」  
[FT00548,136]
- 5月7日 「私の本の扉え二枚かく」  
[FT00549,061]  
「今日は仕事二枚私の本の扉えと□ロンド ビルナース夫人マデレーヌのため livre d'orの画かいただけ」  
[FT00548,137]
- 5月8日 「一枚小女カンバスにかき下がきクロツキー二枚かく」 「9h Andre (8hに来た) に又出直して来てガレリヤにてTemoins 展可成画家も来て居た。花展のバラ (四十人位欲しがって買いたいと申し込まれた)」  
[FT00548,138]
- 5月9日 「8h1/2 Carro N D de Paris」 「内田省三」 「Ofret夫婦来た。」  
[FT00549,062]  
「石原礼デッサン 内田省三礼状Geneve」 「4h Foret夫婦来て私の仕事毘んで行く こんなに進捗し材料集めてやつてくれとて写真うつして行きDaliも始めてるらしい。」  
[FT00548,139]
- 5月10日 「島根縣出雲の人光風会の人田村一男氏の託品出雲の色紙板張り封筒のツ、ミ茶等持つて来てくれ研一、辻永氏等よく写生にくと出雲の話きく未だいい処らしい。」  
[FT00548,140]
- 5月11日 「二枚油え色つけた」 「午後 2h1/2 (marion Française本) の女記者写真うつし下見分に来た Anne Bigeau氏 Vins 十本くれた私のさしえの詩集 (ミヌーの序文) くれて君代に香水くれた」  
[FT00548,141]
- 5月12日 「Andre 手紙」  
[FT00549,063]  
「内田玲子 省三ノ事礼 佐々木六郎日本火事の事」 「Foretの仕事愈々パルシュマンにかき出し夕方暗くなる迄かく板立て、かき腰大丈夫」 「Pascal ロリコー日本紙や木像バラ二輪等もつて来て (女秘書と) Eveかいてくれとの事 Andreと女中エレヌにVins Blane二本ツツやった」  
[FT00548,142]
- 5月13日 「一日仕事アポカリプチス」 「京都 谷出孝子とmarie 来た」  
[FT00549,064]  
「仕事アポカリプチス大にかく夕方迄」  
[FT00548,143]
- 5月14日 「朝大にアポロカリチフユスカいて」 「高嶺秀子面白い手紙」 「日本プラスドラボー展勅使河原展行かず」  
[FT00548,144]
- 5月15日 「11h 善三秀子 東京Telあり」  
[FT00549,065]  
「朝早くから黙示録かき出し愈々終りそうになつて一枚出来るうれしい事だつた。」 「11h 東京善三と秀子のTel 名古屋の中央新聞私の画50枚集めて展するとの事で秀子のをかしてくれと承認受けるためかけたと 小品はよせ盗まれるいけないと返事してやった」 「4h アルヂヤンタンの女放送記者男二人来て五分間私の事吹き込み私のpublicの事この頃の画の事アルヂヤンチンの事等」  
[FT00548,145]
- 5月16日 「一日仕事 聖書」  
[FT00549,065]  
「黙示録第一のさしえは今朝完成すみかき終つた。」  
[FT00548,146]
- 5月17日 「沢山聖書の絵の上部分かいた、三時間位かいて出来上つて、すこし多くかきすぎて困った」  
[FT00548,147]
- 5月18日 「Kischka 1h」  
[FT00549,066]  
「朝十時 (recio Telにて行かれず) 二人してDodgeでKischkaの家」  
[FT00548,148]
- 5月19日 「岡斎藤豊作のMmeの処へ移転」  
[FT00548,149]
- 5月20日 「いろく招待状 アメリカ人肖像たのみcicago (去年断った人)」 「一日黙示録かく殆んど完成二枚目」  
[FT00548,150]
- 5月21日 「Prade 午後四時来た」 「パリジャン二枚午後二人の秘書に渡す」 「鎌倉書房 長谷川映太郎紹介菅谷厚子、田淵」  
[FT00549,067]  
「午前中、Foretと私の顔かき込み、午後 Foretの秘書の女二人パルシュマンの画二枚フォトグラビュール作るので借してやる Foret旅行中、今夜帰るとの事」 「午後長谷川映太郎紹介の彫刻家娘菅谷厚子来た」 「今村寅士と言ふ画家来て (すしやの海苔夜一時半迄ねばって日本の現状と東京の昔話 (江戸ツ子) いろくきき新制作の事散々にこきおろす、思い



- 当回事許りなり」「Prade来てDaliの話 London競売等の話」 [FT00548,151]
- 5月22日 「Pradeの処へAndre」 [FT00549,068]  
「午後Foretの写真やThomas d'Hoste Eto 17-01 先に来てForet来た、すこし写す、画の大き大きくかく事になったとて59×47、枠額をまはりにかく事で皆Dali外の大きさになるとの事色すこしつけて映画うすつ」 [FT00548,152]
- 5月23日 「5h-6h 松屋 古谷企画案内濱田 斎藤取締役」 [FT00549,068]  
「午後ハ黙示録色ぬりして5h 松屋企画古谷龍太郎 専務取締役斎藤鎮雄氏 濱中夫妻の案内で来た (中央区銀座三人) 日本のデッサン画集沢山持って来て私にもしてくれとの事 断る」 [FT00548,153]
- 5月24日 「黙示録いろいろかいてみて」「午後4h dodgeで Gian Sala夫婦誘ってキシカの田舎へ行く天気よく集まる人廿人 Recio 初め皆Temoinsの連中」 [FT00548,154]
- 5月25日 「Canada画商、沢山買いたい前金で送ってもいいと」「Nancyの人花の大きい画欲しいと言ふ断る」「Drの夫人Nina Livre d'orとりに来てmillion fois merciとてバラ五本持ってきた」 [FT00548,155]
- 5月26日 「前田展 (自由美術の人高島、序文 序文日本人のハ珍しい事)」「ベルギーの人肖像たのみ」「Alex Roschilde 招待パンドンゲン82才 入り口で会って東京から来たのかと言ふ画家は二人 Recio Kischka カスー館長レイモンエンニヤ氏文士二人 (劇) 女ノ友人等皆で十人」 [FT00548,156]
- 5月27日 「6F 5F 女と娘届け静物」 [FT00549,070]  
「画二枚 6P 5F ニスぬった」「10h1/2 二人Petrides 6P 女と娘 5F 静物壺具版画バック渡し今年貰ふ去年の分の小切手終る」「二時半Maison Françaisの写真師、女記者二人来ていろく室内いぢり廻して五時迄かゝって写し」 [FT00548,157]
- 5月28日 「10h □□Montparnasse Le Dôme 審査 dejeuner」 [FT00549,070]  
「モンパルナス La Dôme賞審査 小学校の庭で一時迄廿五枚残して十人位でしんさ」「午後四時三輪晁勢堂本尚郎夫妻裏千家親子」 [FT00548,158]
- 5月29日 「apres midi Andre 裁判離婚」「4h Journal TV 映画三人写しに来た」 [FT00549,071]  
「午後TVの女カメラマン一人照明一人三人で来てLa Dôme の審査の時に写すものと合併するとて写して行く」「ボージラードのギャール石版やForetの仕事したいとて来て残念がる」 [FT00548,159]
- 5月30日 「4h 金地ノ画とりかへたいとのへ」 [FT00549,071]
- 5月31日 「東京電報来た、明後日は8h 石井好子のTel 東京よりある筈 午前中2Pの小供のバック天使六人かいて色つけた」「午後笠戸夫人来ると呼んだ村山二人来て」「午後TVの女カメラマン一人照明一人三人で来てLa Dôme の審査の時に写すものと合併するとて写して行く」「ボージラードのギャール石版やForetの仕事したいとて来て残念がる」 [FT00548,161]
- 6月1日 「村山家下兄昼支那めし」 [FT00549,072]  
「村山二人来てLe Dômeに審査のjury会都合により欠席の手紙届けて貰い」 [FT00548,163]
- 6月2日 「日本午後四時8h matins 石井好子 東京 Tel」「衣笠貞之助 高田礼子 二人」 [FT00549,072]  
「阿部金剛速達 成井」「とてもいい金剛の立派な手紙は日本の老人の様な手紙 日本人紹介 富家憲寧 とみえけん ねすKennes」「衣笠貞之助高田女史に連れられて来た感じのいい腰の低い人でビックリした」 [FT00548,164]
- 6月3日 「Petrides 二枚 2P 届け Seine 河写生」「斎藤鷹志 伊東の人 海老沢巖夫千葉大学森清治郎 光風会」 [FT00549,073]  
「午後白カンバスに一枚かいて見て気に入らず消し荒目のカンバスに油えいきなりかく」「夕方日本伊東岡山さんや井上崑美子に取り入って私に画送って来たり返へしたり又送って来たりして一度断った人斎藤鷹志 光風会の千葉大学の先生ハゲの海老沢巖夫 こゝに大分居る森清治郎氏等 九時迄いろく話画や本見せて崑んで帰って行く 毎日日本人に会はぬ日なし」 [FT00548,165]
- 6月4日 「夜島屋尾氏」 [FT00549,073]  
「イルサンルイの油又かく」「谷出孝子に会って一緒にアイスクリームのむ」「島屋尾氏来て田村一男の返事貰ったとて墨 (支那) ようかん貰った」 [FT00548,166]
- 6月5日 「5h Stacpoleの彫刻展 dragon 町に行く」「ラボアの娘にも会った、野間仁根の娘にも会い東京のおやぢ私の14 juilletの画手に入れて眺めて崑んでるそうだ」 [FT00548,167]
- 6月6日 「午後 阿部金剛紹介化粧品社長富家ケンネス氏若い英国人とのあいのこの人来た」 [FT00548,168]
- 6月8日 「Fabresの友人キ□ンダー? 夕方Recio来た」「4h 岡さん□h 吹田スイタ」 [FT00549,075]  
「朝二号小女一枚墨かきした 4h 岡さん東京の玲子のかねてたのみの画欲しい社長のお使い吹田 (スイタ) 氏来て画たのむとの事 来月十日頃来る (イタリー其他旅行後)との事」「Fabesの友人キンダる? 南米の人来た、つんぼ画かき」 [FT00548,170]
- 6月9日 「Recio 春展の日 6h-9h」 [FT00549,075]  
「黙示録ののばす全白のクロツキーいろいろかいて見た」 [FT00548,171]

- 6月10日 「6h marco 日本女文学」 [FT00549,076]  
「客 室伏ミサワと言ふ人日本には居た marcoとか言ふ人に連れられて来た Paul Varelyの事の研究だとか」 [FT00548,172]
- 6月11日 「Prade SuisseよりTel Foretへ付言紙の事 一日Foretの画かく」 [FT00549,076]  
「秀子面白い手紙 日本にオリンピック行く事になつたらしい。」 [FT00548,173]
- 6月12日 「朝からForetの本かく」 [FT00548,174]
- 6月13日 「Foretの本一枚は完成もう一枚の分始めた」 [FT00548,175]
- 6月14日 「一日Apocalypse二枚かいてとうく夕方完成筆を揃いて大安心三枚目クロッキーだけ初めた」 [FT00548,176]
- 6月15日 「Foretに二枚さしえ Apocalypse渡す」 [FT00549,078]  
「午前2F小女のバックバラかく Foret昼来てApocalypses二枚原画渡す」「午後5P小女とバラ墨かく 村山昼来た」  
「musée Jacquimant André Foretの本Henry Chews, 彫刻支那の石像石柱等の様なle monde etrange guy selg も来て、二人で  
好かぬと一致 ジャンガブリエルドメルグと二人映画写されChewsの息子に会ったアメリカ人Canneの方に素晴らしい  
Chateau持つ人」 [FT00548,177]
- 6月16日 「Dinner Foret Prade」 [FT00549,078]  
「La Rotonde 私の名も壁に彫つた」「La Rotonde 26日開業昔の想出の人名壁に彫つた由56人の名の中38人は会った事  
のある友人の名だつた」「Paul Morandの扉え、Lalouの愛人Mme Paseo 水彩一枚かく、少女とバラ」 [FT00548,178]
- 6月18日 「旅行 Reims行き Prade 9h15分前」 [FT00549,079]  
「Reims行き 9h15分すぎ家出て 9h45分 la Porte de villette で Prade 三人に会い Jean Noël のせて一気にReimsへ12h15分着」 [FT00548,180]
- 6月19日 「旅行Reims」「モーで昼食Musée Exposition」 [FT00549,080]  
「十時半Taittingerのcave見物に行く、立派」「musée館長やの案内展覧会(12世紀の寺のたても)よくなし、chefや市  
長代理見たいな人等大歓迎してくれ巴里へ5h外廻りで帰りホットする」 [FT00548,181]
- 6月20日 「Recio Ronsselの下画届けてくれ」「夕方、Dr. 白鬚の老人に支那画等見せられる」 [FT00549,080]  
「Kischka Roschildの処の写真 Prade (Bagatelleの写真)」「夕方白髪ひげの老人支那画二枚広重とマリーローランサンの  
石版(私のと思ったと)」 [FT00548,182]
- 6月21日 「朝からReimsのVierge a la Vigne Prummのためにかき出して10号に墨かき夕方迄にキャンバスにかいた」「夕方 サンフ  
ランシスのマックボーイ母さん三年前に離婚したきれいな妻君musée moderneで私の画見てとても奇れいで会いたく  
なったとてジャーナルエルで何処きいて明日スペインに行く前に会いに来をとて昔話マックボーイと別れた」 [FT00548,183]
- 6月22日 「金山くん死んだ知らせ英了と石原とよりあり びっくりして二人大に悲しむ」「Tel 伊原 土橋 金山の事」「3h1/2  
写真や田淵の処 金山知らせ」 [FT00549,081]  
「朝からマドンナのバック レイザンのふさかく」「Prade 二人 3h に来て Vierge 大に崙んでくれ」 [FT00548,184]
- 6月23日 「マドンナかく」 [FT00549,081]  
「一日仕事マドンナ (Reims) 色つけ迄して一通り夕方迄に仕上げた、とても面白かつた」「私がカトリックにならぬか  
の昨日の話早速運動したらReimsのエベックが名誉だとしてノートルダムの大僧正等と謀って大にやってくれるとの事」 [FT00548,185]
- 6月24日 「ルツセルの下画 キャンバスにかき出す」 [FT00549,082]  
「ルツセル会社の下図又本当にかき出し午後10Pに墨がきしむる。」 [FT00548,186]
- 6月25日 「4h Mr la marche 老人夫婦」「谷出 夜 野見山氏」 [FT00549,082]  
「4h La Marche 老人夫婦来てリビエールアンシヤンテの扉え小女渡す 崙んで明日鉢送ると」「谷出孝子来てイチヂク  
メロンシヤンペン等」 [FT00548,187]
- 6月26日 「昼からRecioのたのみRonselleノ画かき込み午後外出後色つけ夕方一通り皆出来、とても上々案外の画出来て満足」「3h  
eland Avelin (存在せぬ鳥)の処Match写真とると大勢カズー、プラクス、マデルヌカ、スルバンジ、二三十人集まつた」 [FT00548,188]
- 6月27日 「Recio 12h Lalon Prade 3h? 二人画見に来た」 [FT00549,083]  
「午後五時迄 Prade Lalon 二人で来て Reimsの画大感心大崙び」 [FT00548,189]
- 6月28日 「朝から日本人吹田たのみ15号小女二人中央うしろ二人(座す一人顔丈け)かき出し」「Tel 大使かん文化部長Tel 山形  
県の知事大久保といふ人訪問したいと断つた」 [FT00548,190]
- 6月29日 「日本人社長Tel 断る アメリカ化粧品との事 断る」「一日十五号かく」 [FT00549,084]  
「一日15号のバック葡萄とお寺かく」「Prade 画とりに来て Vierge a la Vigne 渡し」「日本人の社長来訪たのみありとて  
Tel で君代断る」「アメリカの化粧品や□付の画たのみみたいとの事これも断る」 [FT00548,191]

- 6月30日 「Recio 来る事、画Ronsseel渡す400くれた 3h1/2 Foret 銅版の人来て断った」「4h アメリカ人 サインロトンドの銅版」  
[FT00549,084]  
「Foretの秘書と銅版大家(シユバリエ)ドラクロアのmuseeの処に住む切手400枚以上も彫つた人ビューランとルレットでやる等言つた処本物の画見て、これを彫れる人は今フランスには居ない、自分だと一枚六ヶ月以上かかる大変な仕事だとForetの方はつきり断つた。Foretの銅版はナベだと言つて駄目だと言つた。」「午后吹田15F一枚油えかくうす手に出来た。もう一日仕事したい。」  
[FT00548,192]  
「ReimsとRousselと日本(吹田)の仕事大仕事三枚した、いい仕事した。Petridesには余り渡さず」  
[FT00548,193]
- 7月1日 「6号と3号かき出し一日仕事する。」「マンレイ夫婦(夫人ハ小さい簡素な人)老人くさくなってヨボくしてた」  
[FT00548,194]
- 7月2日 「午后仕事 15F 3F葡萄かく油え Tel Petrides 画さいそくあり一週間後にする」  
[FT00548,195]
- 7月3日 「四枚小品かく」  
[FT00549,086]  
「朝からCanadaの6号バツクかく、昼から油にして又3F女と葡萄(これでReimsから五枚目)かく」「Aicha もう一つのAtelier menble 8萬でたれかにかしたいと100メートルか2pieces等、日本人にハ高い。」  
[FT00548,196]
- 7月4日 「吹田氏来た」  
[FT00549,086]  
「10h ホノグラフ出来た」「2h 吹田氏来てスイスへ送金2500弗で送らずとて15号8号にする事と吹田氏兄さんへ2号渡す事」  
[FT00548,197]
- 7月5日 「小品夜迄(TV、ストライキ)かゝつて四枚かき、二枚ハバツクもかき上げた Jadkeinの処へも行かず画かき」  
[FT00548,198]
- 7月6日 「朝から小品一号二号三枚三号等五枚許り油え等すみかきバツク一日仕事して夕方すべてかき上げ」「Jaine Somarriba Salager conseiller près Nicaragua 37 Josef Israëlslaam Den Haag Pay Bas フランス夫人Bian père トシエのコレクション」  
「8h1/2 石黒氏(三度目)イランの方発掘に出かけて京都大学の人々十何人一人当り1000\$位で五ヶ月なんて出来るものもなく寄附でやつと3000\$にした等皆金ない人と、一人だけ巴里へ来て一週間居るとの事」  
[FT00548,199]
- 7月7日 「一日12m小女二人立像かく」「Recio Tel Ronselleの画大満足との事」  
[FT00549,087]  
「十二号一人で外出せずかくCanadaへのつもり」「Tel Recioよりあり Nammrへ行って帰る Rousselの画とても満足見えていて面白いとの事でよかつた」  
[FT00548,200]
- 7月8日 「Petrides行き八枚」「Petridesえ届けの事、5P小女とバラ 3F女ブドウ 3F女ブドウ布 3P小女と石 2F小女と桃 2F小女黄衣 1F小女等 1F小女とブドウブロンド」  
[FT00549,088]  
「9h1/2 モンパルナス ガリークーパーとマリヤシエル金山の映画見に行く」  
[FT00548,201]
- 7月9日 「12号二人小女ぶどう油えでかき出した」「明日来る筈の吹田氏来て要領を得ず岡さんを待つて事を解決するらしく帰った後考えて見て岡さんに何にも見て貰うものでもなし岡さんがこの事に最初から関係してるものでもなくめんどうで断らうかと二三度村山へ君代電話したりする。」  
[FT00548,202]
- 7月10日 「吹田出発」  
[FT00549,089]  
「午前Recio来てRousselのcardの印刷見本にバラの花(Kischka一枚渡す)」  
[FT00548,203]
- 7月11日 「カンバス準備 水白ぬり」「吹田氏Tel村山さんから断る事」  
[FT00549,089]  
「カンバス廿枚以上張った 君代水白ぬつてくれて午后昼ね」「吹田、□君等のTelあるかと思つて返事に出ず(岡二度Telした)戸叩く音夜もあり開けず 夜村山にTelしたら明日日本へ向け(アメリカ)帰るので8号2号貰いたいと100弗とかめんどうでいろくうるさいからとく断る事にしたTelでとりやめにした」  
[FT00548,204]
- 7月12日 「朝から白油カンバスぬり出して一日夕方迄やめずに仕事」  
[FT00548,205]
- 7月13日 「3h1/2 Etern Canada 15号四人小供ぶどう 5号青板バツク0号小供パン牛乳 デッサン女 水彩小女猫」  
[FT00549,090]  
「二枚油で白ぬり12m小女葡萄にニスぬったり朝いろいろ仕事」「村山に昨日の事岡さんの人物礼賛君代大にする。」  
「4h1/2 カナダStern夫妻来てCanadaへ遊びに招待する毛皮の話等も出て15号(小女二人立像二人左手に犬、ぶどう)」  
「デッサン女紙にかいたもの水彩小女猫二ツ」  
[FT00548,206]
- 7月15日 「枠五枚君代布切り デッサン四枚かく」「橋本八百二向井潤吉二人」  
[FT00549,091]  
「Max Stern 渡しの五枚(油えデッサンニ)今朝とりに来る」「向井潤吉と橋下八百二(ひげ黒々)二人で来て大分distanceかついた感がした 巴里は35年前の想出沢山あり等日本へ帰りたくない等言ふ」「鳥の子デッサン四枚かく」  
[FT00548,208]
- 7月16日 「デッサン六枚かく 台紙張り セロハン紙に包む 白水カンバス五枚ぬり」  
[FT00549,091]  
「朝からデッサン又かき出し一日夕方迄に六枚かく台紙張り、セロハン紙包み等君代手伝い五枚canvas白(水)ぬり上げたり 夜迄二人で仕事する。」  
[FT00548,209]
- 7月17日 「デッサン一枚」  
[FT00549,092]

- 7月18日 「野見山氏来た Noël 来たnonët 日本へ廿五年居た初めての夏休み 1885年mars生れ」[栗野俊一手紙] [FT00549,092]  
「朝からデッサン大型四枚中型二枚メ六枚一日かゝつて仕事台紙に張りセロハンに包む君代手伝こんな事ハ君代も大好らしい。」 [FT00548,211]
- 7月19日 「夏休みのいゝこの暇時dessin 鳥の子にかいてもう17枚この三日間にかいた。満点だ。」[朝カンバス15号以下10号五枚白油ぬりしたぬり半日仕事、午後ハ小学校の図水彩で一枚かいて見た] [FT00548,212]
- 7月20日 「Recio来た、Janot入院との事」 [FT00549,093]  
「夕方Recio来た、皆画家は田舎へ行つた田舎に家持つてる人は皆行つた画廊もRendez vousだけとの事 Jannot戦争中崖の下敷になって背柱の皿つぶされてなくなつた分切開するかも？の大病 ベルギー勲章ハ白人のプロモーション先きに後で外人とか、Rousselの石版か銅版かの明日見つもの事」 [FT00548,213]
- 7月21日 「11h 野見山 David訪問 金山の事え集める事」 [FT00549,093]  
「11h 野見山氏と二人でDavid et Garnierに行く旅行休暇金山の事判らず」 [FT00548,214]
- 7月22日 「画家 ニヘイ？とか、日本人大連で会つたと言ふ人 スポンサーになつてくれと」 [FT00549,094]  
「朝からRecioの金地デッサン小二枚中一枚かいた。」[日本人大連で会つたとか(ニヘイとか？よく判らず)ハゲタ人夫人(クーチュール)のが仕度してまつてるのでその保証人になつてくれとの厚顔しい願だった。名前も顔も忘れてる人] [FT00548,215]
- 7月23日 「夜 宮田重雄息子」 [FT00549,094]  
「宮田重雄ドイツ映画祭に行った由息子と二人で来て」 [FT00548,216]
- 7月24日 「PradeたのみLalouのバラ(フラー模様かいた。二枚、念バカンスに行く仕度本式に始めだした)「未だItalie Obbeggioに行く事に決めてた。」 [FT00548,217]
- 7月25日 「6h1/2 土橋見舞」 [FT00549,095]
- 7月26日 「Tel 美代子土橋」 [FT00549,096]  
「旅行仕度した日、AngersにゴブランApocalipses第一に見に行き後はピレネーかBretagneか何処へ行くか方向分らずきめずに出て又はオランダへ行くか永くなるかすこしも分らず」[旅行変更した] [FT00548,219]
- 7月27日 「PARIS-Angers」「Chateau Apocalipses見た」 [FT00549,096]  
「旅行二人」「10h 巴里出てサンクルーのトンネルシャルトル寺前のレストラン閉ちてLe mans迄の間の往来右手のルスチックのレストラン1h」「Angers着 Chateauへ行ってAndreをHotelさがしにやりApocalipsesのゴブラン七十枚百メートルに感激驚く程赤コバルト美しく吾等の叶ふ処にあらず」 [FT00548,220]
- 7月28日 「Angers」 [FT00549,097]  
「9h Chateau Apocalipses又々眺める Logis Barrault musée 絵」「Logis Pinée 日本版画、支那陶器Dürer 版画 mus. srch Hop. st. Jean セトモノ、レンガ、タイル、ガラスビン、病院の庭等大きい処」 [FT00548,221]
- 7月29日 「Angers-NANTE」 [FT00549,097]  
「Nants musee プルタイギユコスチュームナポレオンの城橋入口大きい。ものコレクション」「Port manechにHotel juliaありとて」 [FT00548,222]
- 7月30日 「Port manech」「Cocarneau コンカルノー 港と場内、市場、寺等」 [FT00549,098]  
「午後コンカルノー寺、城見物町の様子全く変つてる」 [FT00548,223]
- 7月31日 「Quimper キャンペール見物」 [FT00549,098]  
「musee Breton有名レース古代女衣服木彫等 寺のよこ musee Beaux Arts Max Jacobの生地其他画古代、手紙写真」 [FT00548,224]
- 8月1日 「Carnae 見物」 [FT00549,099]  
「Port Manech Carnae 見物」「朝 Plageの方に写生に行くcaféの処」「お寺十七世紀 入口の上のbaldaquin石とても面白し天井壁画板の上十七世紀古くてよし musée mulin le Rougie」 [FT00548,226]
- 8月2日 「Port Manech」 [FT00549,099]  
「Paris soirに大きく私カトリックにReimsで九月になると出て君代とのmariageの写真出た」 [FT00548,227]
- 8月3日 「Port Manech → PARIS」 [FT00549,100]  
「新聞記者二人カメラ持つて来てMer Mme Julia Patronと話して何にかのむBretagneの昔の話した」 [FT00548,228]
- 8月4日 「Angers出発 Chateaulin昼食 Grand Maison Chartre Hotel de France夕食 50分でParis 10h40分着」 [FT00549,100]
- 8月5日 「PARIS」「佐々木土橋にtelして返事又来た」 [FT00549,103]
- 8月6日 「午後2時萩原夫人 夜佐々木」 [FT00549,103]  
「切ぬきユリユールのMme Quintanaと言ふHotelのバーサン私が借りがあてピカソと私が来ても会はず等威張つてる、Cagneでもモデリアーニスーチルノアールの草分けの土地 B.Bかフランス一の村にするとつたが実現出来るか等避暑地の事か大分巴里 journalに出てカトリックになる事も盛んに出てる」「午前8FにPort manechの写生Cafe 田舎



- 家すみでかく」 「2h1/2 new york 荻原夫人一人で来て二時半」 「夜佐々木二人家で作った最中持ってきてくれ日本の話  
いろく」 「午前十二時 Match の人 Jean Durient Roger Conal 氏来てカトリックになる事を主眼としたレポルタージュ大  
きく出したいと相談」 [FT00548,231]
- 8月7日 「Miss Belle Baron」 「午後 2h1/2 荻原夫人 Jeudi の事」 「夜 村山 Tel 高田女史おだんご貰った」 [FT00549,104]  
「8 F Pont manech の Café 一枚かく油、パレット掃除してかく」 「村山二人来てだんご貰った うまかった キリスト  
教の話許り」 「Tel 高田女史フランス人の写真やクリスチャンになる日の式写したいから知らせてくれと。」 [FT00548,232]
- 8月8日 「午後のクリエに Argus 沢山 Reims の事のきりぬき廿枚位フランス全国の新聞に写真入りブルタイギユ旅行三枚モード  
に私の画の様な布地 (マンガヤン) 出た事三枚等沢山出来た」 [FT00548,233]
- 8月9日 「朝 Port manech の油え二度目色でかく 手紙 Prade にかき Pris match のため Paris に居る必要ありと返事」 [FT00548,234]
- 8月11日 「ベルドー、Figaro Rettenaire カトリックの式日知らせる事」 [FT00549,105]  
「帰って小女二人手つなぐの墨がきしてバックかかず」 「Paris match の人 4h に来て写真沢山家でも写し聖書と□写して  
Notre Dame へ写しに行く」 [FT00548,236]
- 8月12日 「Belle Baron 礼状画集」 「2h 村山の処へ行くよくなってた画四五枚見た」 [FT00548,237]
- 8月13日 「色写真旅行、出来た」 [FT00549,106]
- 8月14日 「Foret Paris Tel 写真の事」 「11h アンドレルリール TV 映画写しに来る-2h 迄」 [FT00549,107]
- 8月15日 「夜佐々木来た アンズ」 [FT00549,107]  
「12h Prade Lalou 秘書 Mme Menard Mme NABOB (GOB4922) 四人で打ち合せ君代カトリックに成る事 Prade 夫婦パラ  
ンになつてくれる事大喜び」 [FT00548,240]
- 8月16日 「11h カメラマン二人 (一人ハ Bernard) アンドレルクレール氏三人で第一梯子から下りて壁の十字架に祈り」 「ステー  
ンドグラスと南米マドンナ祈り、聖母 (手大写し) 木像ろーそく上げる等 1h1/2 迄三人でモンパルナス N. Dames de  
champs のお寺」 [FT00548,241]
- 8月18日 「4h comed Paris match Mr Menard 来て写真打ち合わせ」 [FT00549,108]  
「日本中村のり子 (花の師匠萬国花会社長) 大野春よしと結婚との事」 [FT00548,243]
- 8月19日 「Andreletere 12h1/2 前 TV Studio」 [FT00549,109]
- 8月20日 「午前中十字架より降す 80F 大デッサン仕上げ大仕事すませこれも油えにしたくなつた Foret 二度目の版にしたもの  
持つてきてとてもよくなつた、これならまだくかもつとよくする由明日二人で早朝版やに行く事にした」 「午後 Paris  
match coral 氏来らず (写真画とりに) menard 氏来てノートルダムと Reims のかけもちの Prédicateur 二人ノ Batême してく  
るよし、写真一緒にとる坊さんまだ出来ず」 「夕方 Notre Dame de Champs の坊さん寺気付 cure 手紙の田舎ノ人 TV 見て  
画欲しい人の記持って来た宗教画等見せていろく話し一番の Le père 今度連れて来たいといろく話したり第一に坊さ  
ん家に現はれた」 [FT00548,245]
- 8月21日 「9h1/2 Foret とモンマルトルの銅版やクイエール氏の処でマチューとダリーの銅版見る」 「11h Coral との約束 20 分足ら  
ずで家迄帰り 11h1/4 に来て写真うつし」 [FT00548,246]
- 8月22日 「Tel 新聞社 ロンドン エプスタインの死」 [FT00549,110]  
「宗教の本字典引いていろく字をおぼへた 二枚油えで小女色つけてバックはかかず夕方迄仕事」 [FT00548,247]
- 8月23日 「朝から二枚 6m、女二人女と小児墨がきして一日仕事した」 [FT00548,248]
- 8月24日 「二枚油画油でかく」 「4h1/2 Coral 氏 Ménard 氏来て二分で mon Seigneur Maillet の処へ行く」 [FT00548,249]
- 8月25日 「徳川さんの浴衣君代への貰った。」 「バスチーユ近く写生 夜食村山宅 1 時に帰る」 [FT00549,111]  
「朝から三号 F 町風景 (Rue de Fons サンジェルマン近く) すみがき 村山二人来て軽井沢徳川さんのお返へし御礼の浴  
衣君代へとミツ子へ来たのを開けた」 「村山写生四時四人でバスチーユ近くの造へい局とか写生」 [FT00548,250]
- 8月26日 「室伏ミサワ、(ピレネーオリエント) Prade 金曜日巴里へ帰る」 「3 号 Rue de Four 一枚すみがきして」 [FT00548,251]
- 8月27日 「Recio 5h に来て一番トルコよりギリシアアテンはとてもよかったし又安かった事等さく」 [FT00548,252]
- 8月28日 「6h1/2 Prade arrive PARIS Menard Tel 来た午後あり」 [FT00549,113]
- 8月29日 「昼から小女二人のバック屋根煙突かく油えにする」 [FT00548,254]
- 8月30日 「朝五枚油え (にす) ぬった」 「仕事はせず Reims のテーブルの上に置いて Souvenir の下図二枚かいて見た」 「Prade  
Menard 二人来て Swiss のバラのフラワー (灰と桃) とハンケチ (赤と黒) 下図とてもよく出来た」 [FT00548,255]
- 8月31日 「Prade 夜ロンドンへ 鱈ゴリラの皮持って行く日」 「5h1/2 Mrs Baron 三人姉妹兄 岡さん一人夕方」 [FT00549,114]  
「午後一枚小供砂バケツシャベル持つこの間公園でかいた下画の方かき Reims の時に使ふマドンナの下図ペンかき  
Foret の noël の分もかいて見た」 「5h1/2 Mrs Baron 姉妹と兄さん来て六七枚画見せ外のがないかと丁度いいので Petrides  
へ紹介明日開店との事、Petrides いまだ帰らぬ由」 [FT00548,256]
- 9月1日 「午後子供フラージの油かく」 [FT00548,258]
- 9月2日 「Foret 来た Prade London 帰り」 [FT00549,115]

- 「Foret来てPARIS match大崑び大社長外三名編輯家の人呼んでApocalypes見せたら完全に驚嘆して私の今迄の画の中で一番素晴らしいものとて世紀に残るものだと私のためにもよかったと言ふ」 [FT00548,259]
- 9月3日 「夜田淵」 [FT00549,116]  
「夕方近く小女石がけ油でかく」「Pradeの女秘書NABOS来週Père DANIELOUの処へ連れて行ってやるとの事」 [FT00548,260]
- 9月4日 「夜 Rotonde 活動写真 La voix de Temoins社」 [FT00549,116]  
「8Pにけし、小バラかすみ草等すみがき一日した」「12h15前ミラノの記者(雑誌)写真連れて来てReimsのBaptêmeの事からいろいろinterviewして写真沢山写していき明朝白黒写したいと記者は今夜ミラノへ汽車で帰るとの事」 [FT00548,261]
- 9月5日 「二人村山来た夕食12時迄」 [FT00549,117]  
「Baptêmeの祝状、無名の人イタリアスペイン地方等の人、皆Reimsお寺宛て送つて来るのを転送してくれた。宗教とは恐ろしいものだ。信者は皆崑んでくれる。」「午後バラ、けし矢車草の油初めて一通りぬる、外二枚も油で二度目かく」 [FT00548,262]
- 9月6日 「1886年生れストラスプール、ジャンアルプさんの彫刻紹介、裸体の部分をいろいろにたんしくしてつけ合つた、峯と丸ミの美しさやはり乳胴腰等ハ美しかった」 [FT00548,263]
- 9月7日 「佐々木一人夕方」「Andre 9h1/2 Tel 10h 区役所 エキストル アクトマリヤージたのみ」 [FT00549,118]  
「一枚女の顔かいて見る面白いものやつと出来て来た」「肖像たのみみたいと文部省の人Telことわる」「夕方佐々木大分ろこつにブラマンク水彩と私の画と交換したいとかいりませんかとか宛てにして来てがっかりとか君代思い切っているとうまくことわって結局負けた」 [FT00548,264]
- 9月9日 「九月九日近藤浩一路七十七才誕生日」 [FT00549,119]  
「3h1/2 Menardすぐ帰りPère Danielonさんだけ残して行くともい、方でいろいろ私の行きさつお話しして準備してくれるとの事」「画を通してキリスト教はよく知つてられるから今度ハ宗教としてすこし教育するとして質問して下さいとの事で十月始め迄する事」 [FT00548,266]
- 9月10日 「秀子善三氏い、手紙と写真送つてくれた」「すこし 4h-5h 女ノ顔油でかき」「Oranの画商二人来展したい又ハ買いたいとて断つた」 [FT00548,267]
- 9月11日 「村山二人来て夕食11h迄」 [FT00549,120]
- 9月12日 「午後三時 Picard le Doux 死去弔問」「一枚壁画かく」 [FT00549,120]  
「3h1/2 ビガルドウ氏の処弔問言に行く夫人弱り切つて寂しくらいアトリエに居た一ヶ月写生田舎で沢山かいた風景も見た」 [FT00548,269]
- 9月13日 「一枚久振りにTVの画小扉画かく」 [FT00548,270]
- 9月14日 「扉え税金の一枚かく」 [FT00549,121]  
「一枚壁画税務処かく」「5h Mme Poitier ノートルダムデシヤンのPèreのたのみでinterviewき、に来た」 [FT00548,271]
- 9月15日 「8h1/2 Picarde le Doux 葬式モンパルナス」 [FT00549,121]  
「3h Père Danielonさんキリストの話」 [FT00548,272]
- 9月16日 「夕方野見山氏来た」 [FT00549,122]  
「十四区役処、アクトマリヤージとり」「石版や41Seineノロベルたのみ断つた」「永戸の息子毎日の夫人クレスペル氏会いたいとの事」「野見山氏来てDAVID金山の画ハ知らぬと大使かん荷物で調べる事金山も呑気で何にも残してない様子」 [FT00548,273]
- 9月17日 「2h Gillard 石版の事」「夜岩出孝子版画小女猫VIII/XXXやった」「毎日の夫人、5h Tel 永戸氏」 [FT00549,122]  
「3h ギヤールとロベール版画や二人来て石一つおいて行く」「岩出さん来たとして又外に約束ありとて申てよく解らず」「永戸氏毎日の社員夫人連れて来た interview」 [FT00548,274]
- 9月18日 「野見山氏来て大使かん預り金山荷物ハもう送り出した跡でDavidの方の事一切分らず。行きなやみ」 [FT00548,275]
- 9月19日 「7h1/2 阿部正(二口夫人)と衆議院毛利松平(愛媛県)外アメリカより来た胸の厚い美人アミヤンに学生として来たこれは細いく日本のお嬢さん二人とも丈高く美人」 [FT00548,276]
- 9月20日 「土橋の美代子に会い、久し振り、又土橋と北海道大学の先生に会い写真買物袋下げてる処写された」「一枚小女祈りの処墨でかき」 [FT00548,277]
- 9月21日 「一枚4号女の顔にすみでかく」 [FT00548,278]
- 9月22日 「油三枚油でかく」「7h Prade Veniseのくるみ割り女の足土産に持って来ていろいろ相談」「明日6h 日本人倉田氏カトリックの事interviewとの事」 [FT00548,279]
- 9月23日 「5h Foret 写真師と来た 銅版」 [FT00549,125]  
「8h1/2 二人でAnne de Beaujeanに行きForet二人其の友人二人と夕食」 [FT00548,280]
- 9月24日 「12時 Prade Foret dejeuner」 [FT00549,125]

- 「夕方 Belgique soir illustre interviewと写真女ノ人と二人で来た」 FT00548,281
- 9月25日 「Joffetさん代理明後日のJardinのJeryたのまれouiと返事す」 FT00548,282
- 9月26日 「朝咲とみ子日本より帰巴」 FT00549,126
- 「佐々木来て三度目プラマンク買っつてくれ交換してくれ今度はかたに置くので画かしてくれ等本当に強硬に来た断る丁度土橋二人来て話中止」 FT00548,283
- 9月27日 「すこし画かく、小児8号に墨がき等」 FT00548,284
- 9月28日 「昼Tour Eiffel昼食」 FT00549,127
- 「野口禄久 Dr 蒲池格福岡来て画欲しいとの事金は日本で支拂う足りなければとあきれた事なり」 FT00548,285
- 9月29日 「日本人出雲の人画家日本へ帰るとて挨拶に来た正直な人だつた」 FT00548,286
- 9月30日 「Echo私の名レオナルドと発表 TV、カテドラルに許可」 FT00549,128
- 「11h Marie France Mme de Querige 来て Vierge Noël号に大きいのかいてくれと80万出版との事」「アメチヤン画欲しいと友人の処で廿枚ゴージャスのコレクション見て買いたいとPetridesへ紹介」「6h 又 Marie Clair France, Pierre Chapelot 美術部の人来て打ち合わせ大きくかく事にきめた」「小品女の子(カツフエムーラン)の額すつかりなほしてよくした」 FT00548,287
- 10月1日 「11h1/2 Klein来た」「Kischka Telあり」「田淵二人来た」 FT00549,129
- 「朝からMarie Franceへの分Vierge25号下図croquisいろくかく」「11h Klein来て石版 (colette weil) 見せて真偽を問いいろく写真見せた」「Kischka Telありツルーズの人画商展へ出品たのむとの事かすだけにして」「午後一日25号Viergeすみかきした8分出来」 FT00548,289
- 10月2日 「朝から廿五号Viergeすみがき結局夕方5時迄かいて墨がきは終つて一息した。Kischkaの紹介Toulouseの画商ルイエ夫妻画欲しいとて賣らずかすだけの事なら承知でEve 59かしてやつた」「11h Foret 秘書と二人鉄ペン持つて来た 2h Foretの姪に魚三匹のペン画渡す」 FT00548,290
- 10月3日 「3h Chabas四人来た」「Soir Prade 帰巴との事」 FT00549,130
- 「昨日BiennaleでCargonに会い金山等と地方展Davidの処の人としたおぼえなしとの事きいた事野見山氏に電話した。これも多少いんちきなり」 FT00548,291
- 10月4日 「Prade 8hに夫妻Jean Noëlと来てリラに夕食に行く」 FT00548,292
- 10月5日 「Petrides 三枚届け」「6h 記者 interview いろくきく、よく知ってた」 FT00549,131
- 「Civis 初めて私の名Leonardと宛名第一号の葉書来た」「午後25号マドンナ色つけ夕方迄パレットそうじして出来上り、面白く出来たMarie France Noël号の附録に使つてからReimsに上げるつもり。」「七時 Chabas四人来て金塔で支那めし」 FT00548,293
- 10月6日 「7h1/2 Kischka Recio dinner」 FT00549,131
- 「Tel Prade 11h来る事 Foret 南佛より帰り又今日ドライブ行った東京に帰ったNoël Noël 池袋のSeibu デパートで私の展覧会見て驚いたと知らせあり他の日本人から唯れ一人知らせて来ぬ」「午前中Prade来て案内状出した由、一枚Baptêmeのカルタ」「夕方Kischka二人 Recio 来てピエナルドパリでのアンドレモロアの演説皆ビックリした等」 FT00548,294
- 10月7日 「8h Radio 放送あり私の事」 FT00549,132
- 「朝から25mの金地張りて又模様ボツシヨールで左右に置く事で一日仕事す」 FT00548,295
- 10月8日 「Prade 二人皆んな6人でえびめし」「Cigare café等で私の25m見せて大に誉めてくれ、アルセルアツシャー夫人(私を今の時代一番の画家だと誉めてる)だけ来てくれる等」「昨日今日14日の記事沢山Pressに来た三度Tel 写真うつし七時Duval写真来てすこし写して行く」 FT00548,296
- 10月9日 「Daily Express ロンドン写真やはげと二人来ていろく初めてのことForetの本の事大にnewsとてForetの方へも直ぐ行く」と写真とつて行く」「4h Chabas二人Kalesky (建築エコールデポーザー) 連れて来てPrit de Rome出すとていろく聞いて行く 画家のアンデパンダン性や大衆生活好まぬ事からいろくに個性を自由にしてやる様にとすゝめた」 FT00548,297
- 10月10日 「interview Foretの紹介 二人Jean Mare Campagne とても画の事はつきりしてサルモン、マリジャコブ、Pradeの友人」 FT00548,298
- 「11h Mr ルバイ、Le joiur de France interviewに来た」 FT00548,298
- 10月11日 「3h1/2 ReimsよりPrade Tel Lalonさんとチタンジエー夫人三人会合準備との事FranceoirさんとTelで話す」「小児赤着青ズボンの油えやと色夕方迄かかてぬり上げ午後人も来ずTelもなく」 FT00548,299
- 10月12日 「マドンナの下画かく」「Marie France Viergeの事でReimsへ行く」と FT00548,300
- 10月13日 「Reimsへ旅行」「9h Reimsへ出発の事」 FT00549,134
- 「Reims Hotel Lion d'or No 123 Etage (3700Frノ室)に入った。」「3h45 Prade三人とMenard氏着」「7h Reimsのお寺へフロード二人等行きLe jour de France 私一人で居る処写したいと電燈もつけてあり高く広く荘厳お祈りの処二三個処ローソクの処でも写され、おばーさん四五人サインしてくれと皆小さいsaintの紙にした」 FT00548,301

- 10月14日 「10h Reims Baptême」 [FT00549,135]
- 10月15日 「巴里へ6時帰る」 [FT00549,135]  
「十一時十五分発Reims出て田舎へ横からそれて(記者のAutoと別れ)いい道」「La Pro Civitate Christiana Assisi 何日でも招待します」 [FT00548,303]
- 10月16日 「Foret プラード 印刷天女持つて来てくれたサインたのまれ」「夜井上覚造」 [FT00549,136]  
「Foret image持つて来てくれてサインたのみPradeも又サインいろくたのむ」「夜井上覚造来て日本の話、岡田謙三、京都の話等して十二時に帰った」 [FT00548,304]
- 10月17日 「対話マドンナ サイン、画かく処」「谷出孝子別れに来た」 [FT00549,136]  
「十五人許りTVの人カメラ(大) 其他録音電気大勢女二人来て私との対談マドンナの画サインする処とサイン大写し、画かく処等うつし」 [FT00548,305]
- 10月18日 「夕方土橋二人花持つて祝に来てくれ話して呼んで貰いたかつた等」「Prade le Jour de Franceの写真とともいいもの持つて来てくれサイン大分したり」「昼すぎ朝咲さんTel 日本議会の紹介状持つ日本軽金属社草野義一 [……] 高田外国 □長3h1/2頃来て画欲しいとて画商へ廻す」 [FT00548,306]
- 10月19日 「宮田重雄(明日日本へ) 関口と来た」 [FT00549,137]  
「昼前宮田重雄と関口二人宮田明日日本へ帰るとBaptêmeの事知つて祝つてた」「Figaroの記者11hに来てinterview」 [FT00548,307]
- 10月20日 「La nonce apostolique 招待」 [FT00549,137]  
「le pape jean XXIIIのオ2 回誕生日の招待 La Nonce Apostlique」「一枚マドンナと赤坊キリスト墨かく FranceとJean Marie二人来て何にか御祝に欲しいか等Auto事故の現場見てびつくりした。夕方Perriereの神さん画集二冊代持つて来た。」「Marie Franceへマドンナ十二号渡し版下作る事十日間Pierre Chapelot著作権はReimsの寺院に支拂ふ事にした。」 [FT00548,308]
- 10月21日 「Foret サインimagesとりに来てDaliのところへ明日行くと」「外務省で問い合わせNonceの招待エベックとカールジナルだけ女は一切ないと事判った。決して手落ちでなく私の想像通りだった。村山等には判る筈ない。」 [FT00548,309]
- 10月22日 「Nonce Apostoliqueへ礼状出す」 [FT00549,138]  
「今日ハデッサン鳥の子に四枚かく礼に上げる方とGamis de Parisへ寄贈の分」「4h Prade来てNonce Apostoliqueの礼状下がきしてくれ又沢山サインした」 [FT00548,310]
- 10月23日 「11h 菊花展」「10h デッサン Gamis de Paris donation」 [FT00549,139]  
「10h Gamis de Parisへの女デッサン一枚とりに来た」 [FT00548,311]
- 10月24日 「RousselのXmas card見本来たRecio」 [FT00548,312]
- 10月25日 「Xmas cardよく出来た皆崙でると、一枚Lalouさんへの聖母金地にして色つけて夕方持つて行く事にし、又もう一枚 Danielonさんの分かき出した、夕方迄仕事」「夕方野間の娘来た元気」「8h1/2 Lalouさんの処へ行き一枚礼に水彩仕上げたPrade三人ともう二人」 [FT00548,313]
- 10月26日 「一枚マドンナ水彩かく事にして枠60, 80, たのみ大紙Kraffスエーデン買いクロツキー金ばくたのみ等」 [FT00548,314]
- 10月27日 「夜Grosjean一人リラタ食三人」 [FT00549,140]  
「deux dames 版画持つて来て私のだと思つてたと、Marie Franceの人写真くれもう一人も写真持つて来てくれた」「6h Grosjean久々に来ていろく話す」 [FT00548,315]
- 10月28日 「金箔出来て三枚水彩に張りPrade TaittingerとDanielonさんの分(これハ額たのむ)皆仕上げた。6h-7hソルボンヌのカトリック学生Dominique Daggret Ammie Celie三人でテーブルコーダー等写真でいろく藤田とハ何者か?等東洋西洋の事等きく」 [FT00548,316]
- 10月29日 「偽作セイヌの河岸本や salle ドルエノ女見せに来た」 [FT00549,141]  
「1h1/2、Salle Dronotの女偽作か?とてセイヌ岸本やの油持つて来て全くの偽作」「6h Menard氏来てdessin少女祈り手上げてるのを(鳥の子)礼に上げ」「7h1/2 Prade来てBordeaux近くのPetrickと言ふ九ヶ月の病気の子の母の手紙、私のマドンナが届いた時は郵便配達員が全時に医師が小児ハもう命に別状なしとせん言されて二度の崙びの手紙よませて泣いてよむ」 [FT00548,317]
- 10月30日 「油え仕事」 [FT00549,142]  
「アメリカモンゴリヤノ人ウルゲイ大使かん招待」「今日はかきかけの三枚の画色油ぬり初めて4hにハ暗くなった。」 [FT00548,318]
- 10月31日 「油え仕事」 [FT00549,142]  
「Tel Prade TelでMenardノ話にParis match noël号に大頁を沢山(殆んど半分、これはすこしこちようしすぎてるが)宗教画許りの私のを出すとの事、Baptêmeで他の雑誌新聞が皆かいたから出さなかつたとの事 これハうすく私も知つてた事だ。」「油えの仕事する。モンマルトルのSacré coeur le père maxehal私に会いたい等とて口実で来る女ノ人、訳分か



- らぬ」[8h Selgの処へ行く] FT00548,319
- 11月1日 「ボアソナードのEgliseへ十一時」[画一枚すみがき] FT00549,143
- 11月2日 「Mme Marie Hurlfont Castelloさん Canadaノ人」[モランジュール 孫二人連れてきた]「金ばく三枚油におく 仕上げたマドンナ」 FT00549,143  
「Johnand Beth Hurlbant兄さん甥画家John Arvidsonにサインしてgravure上げた。私の版画最後ノ一枚買って来てサインした」 FT00548,322
- 11月3日 「Petrides一人で行く 4, 4, 8, 三枚」 FT00549,144
- 11月4日 「11h1/2 Recio 一枚0号小女バラ頭上のを上げた」 FT00549,144  
「3h Danielonさんに金地マドンナ額入りとcard一枚あげに二人で礼に行く、気持よし 大作60号下がき三人女初めた」  
「6h Nonce Apostolique 法王第一回誕生日のユクテルに呼ばれ行く大勢外交官多く」 FT00548,324
- 11月5日 「6h Bistoriと言ふ美校生徒有名人の顔のコンクール見たいなものに出品とて30分、ペンで私写生幅広く出来た丸で反対のアンスピテーション」 FT00548,325
- 11月6日 「St. Leonard Dinner Prade Foret等と」 FT00549,145  
「今日は一枚板にmedium使ってかいて見る来週十四日より展の分たのまれ、マドンナ」[6h1/2 notre dame de champs 画家許りの祈り地下室 (crype) あり]「Marie France画返へしに来た」 FT00548,326
- 11月7日 「Henri Rachkus 10h livre d'or とりに来る」 FT00549,146  
「一日仕事mediumで又二日目の仕事だんく判って来る」「自転車や大主人Henri Rachlis Livre d'or とりに来た」「Tel Recio 画のさいそく」 FT00548,327
- 11月8日 「ベルギーのEmma 八十三才の方 三冊本くれた人Anversノ人 Maurice Berntheiselいとこ夫婦と来た ベルギーの皇后様」[Secrétaire de la Reine Elisabeth Tue Ducale Bruxellesにimage送つて上げてくれ大崑びなさるからと] FT00548,328
- 11月9日 「3h1/2 Mme Foretと誘い一緒にa la leine d'angleterre Mr Regnierさんにいろく見せて貰い」[Recioの処へ行き私の昔のコンムニヨンの水彩とりかへたいもの見て送つて帰る] FT00548,329
- 11月10日 「17h Grosjean 水彩一枚の事」 FT00549,147  
「金箔二枚水彩におく 一枚Bordeaux一枚ハM. Aに」[昼Bertin主人夫人二人Vieleyの人来て本のさしえの面に小画かく]「4h Mme Taittinger Prade 二人来てお礼の水彩夫人に上げた」 FT00548,330
- 11月11日 「5h1/2 Grosjean Sud ouestノ人 Le moineも一枚金地マドンナ渡す」 FT00549,148  
「4h1/2 Grosjean 一人ニコくして来た 5h1/2 今朝昼ポルドーからTelした印刷の人 5hに巴里に着いて家に来金地マドンナの水彩noël号(使った後社長Lemoine夫人へ)の印刷四度ずりのテクニックの事で、社の画工に下分割して貰う事に Verger Bachon 昨夜Chabasとダカルで夕食して今朝十一時帰巴」 FT00548,331
- 11月12日 「ビストロノ画支払との事」[石黒敬七 稲村隆一]「大作始めた、一人女左かく、カンバスに」[夕方Grosjean来た] FT00549,148  
「稲村隆一元衆議員新潟石黒敬七の紹介状持った人来て石黒がフヂタの処では古いかび臭い茶出すからとて茶一袋届け持って来たとこれも思い切つた事を言ふ。政治の話き、出そうしたり、皆箔つけの人」[午前中から大作Jeunesseの本の女一人墨がき初め夜迄か、つて電燈引き直したりしてかく]「6h 女記者肥った女 (ノートルダムドシヤンのカトリックの新聞) 等一寸来た」 FT00548,332
- 11月13日 「第二日目二人女かく」 FT00549,149  
「八代幸雄二人夫婦堂本の子とで三人で来ていろく話」[Tel ペトリデース夜Tel大勢と遊んでるらしく美人もいる、Portraitかいてくれとのたのみ何うかときく 断つたが、何日の事で承知だと思つてもきく。] FT00548,333
- 11月14日 「大作花沢山かく」[いろくぎんみ、小花かく 第三日目大作]「夜田淵と伊太利人二人」 FT00549,149  
「仕事午後いろく大作の手や足なほしたり花かき出して夜迄電燈でかく、思い切つて消す柔かになる。」[アレキサンドルとか言ふ記者の夫人写真二人の分貰いに来た] FT00548,334
- 11月15日 「Nonceの処で六代から36年早つとめてると言ふVinciノ人(法皇様にもNonce時代6年) Venturini氏 Florence25KLのVinciのcure de Leonard私に来てくれとの事」[大作仕事第四日目] FT00548,335
- 11月16日 「花デッサンかき大仕事 第四日目 午後油色つけ」 FT00549,150  
「朝から大作花等すこしかき込み午後パレットそうじして新しい油筆でかく」 FT00548,336
- 11月17日 「10h Grome Stagneノ事 銅版マドンナ」[第五日目花等色つけ]「夜日本人来るとの事、桑原福保 皆吉志郎 写真うつす」 FT00549,150  
「10h Yoome藤の人銅版マドンナGinord銅像出来たとりにやる事」[一日仕事、第五日目花等色つけする、丘かく] FT00548,337
- 11月18日 「第六回大作かき」[7h Kischka]「夜土橋 二人」 FT00549,153  
「国沢氏の展序文に平賀が私の名二度も出して断定的に支持して同意見だと極めつけて学友として私の名を出した」

- 「大作天使三人花天より巻くものかき出し一日かゝつた 夕方Kischka写真や連れて来てポスターは三人女クロッキー使ふ事 Cannesの画廊は天女クロッキー写真一枚かす ToulouseかしのEve 59返却」「土橋二人第二回返却、廿五萬返却にいた、57年12月4日かきこれえで全部かへしすみ画室愈々自分のものになったとて崑んで」 [FT00548,338]
- 11月19日 「第七回大作かき」 [FT00549,153]  
「第七回目大作天使三人墨がき昨日の続き終り軽くする夕方迄かかり 6h1/2 写真やWilly Ronis来て大作下画 (今日B6買って様力強くかいてポスター用) 写しに来た、ReimsのMadameも写して貰った」 [FT00548,339]
- 11月20日 「10h Foret 来た 銅版持って 第八日仕事大作」 [FT00549,154]  
「第八日目仕事空色ぬり全部と裸体等二度目、大仕事する」「Foret 来て今度の画は大変美しく大成功すると言ふ。銅版二枚持つて来てくれて (うす写真した下図の銅版返却した) アトジツク等よりParadisかいたらと三枚目のをたのまれ其の方よし」「6h BelgiqueノTherese 四年振りに来て初めての25番画室等」 [FT00548,340]
- 11月21日 「12号小女二人かく (すみえ)」 [FT00549,154]  
「Canada Victoriaノ夫人Macdonald来て画欲しいと断った」「大作干かすので休む十二号小女二人クロッキーから墨がき終つた。」 [FT00548,341]
- 11月22日 「7h Dobashi 支那めし」「九日花すこしかく」 [FT00549,154]  
「帰って仕事九日目空中の花大作にかくうまく行く」「夜七時土橋来て家愈々自分のものとなりたとて私のお陰とて」 [FT00548,342]
- 11月23日 「花かく十日目 花丘地面等 皆一通り出来」「写真ランス出来」 [FT00549,155]  
「10h 田淵ケイと二人来て田舎の彼の百姓家に行くとてもいゝ家」「午後大作十日目花沢山丘土地方々かいて夜になつて完成一通りかき終つた」「画マルサンに出したマドンナMedium返却、Reimsのマドンナ写真十枚5000出来」 [FT00548,343]
- 11月24日 「一日石版Noël石の上にnotre pere Angèsかく」 [FT00549,155]  
「今日ハ一日石版一枚にNotre Pereと四動物、Angès二人小供Angès沢山かく 一日夕方迄かかった」 [FT00548,344]
- 11月25日 「Kunstmuseum de Bale 私のimage cabinet de estampeへ入る」 [FT00548,345]
- 11月26日 「一枚4F 娘かく (すみえ)」「夜井上覚造一時迄」 [FT00549,156]  
「一枚午後 4F 小女墨がき夕方迄する」 [FT00548,346]
- 11月27日 「Mme Ade Haven 礼状 田舎の亭主画すこしかく人展見たいと角南の手紙 廿三日夕刊に先生の受賞が報じられたと言つて来た、同年同月同日生れAlgerieノ人事今年も祝詞くれた」 [FT00548,347]
- 11月28日 「Reims 行きPrade」 [FT00549,157]  
「Reims」「朝9h20分 家出てPrade一人誘い10h15発巴里出発」「Taittinger夫婦と社の人専務さんと皆で私の持ってBegot僧正の処へ行ってマドンナ上げたTresorの方へかけるとの事」「SoeurのMlle Colette BegotさんHaikaiの本にサインして上げた」「6h 迄Taittingerさんの処でお茶」 [FT00548,348]
- 11月29日 「Reims」「朝七時Prade汽車帰巴」「夜平賀来て 1h 迄日本人の話」 [FT00549,158]  
「10h Reimsの大寺院に行つてメスに参列」「11h15分終つて二人巴里へ 12h1/2 St. Etienneの寺の横のレストラン」 [FT00548,349]  
「3h15分位に帰つた」
- 11月30日 「石版Fillard 26000frs Petrides 二枚届け75万 Recio 二枚小品」 [FT00549,158]  
「2h1/2 石版やに行つて二通Noëlのもの五百枚出来26000支拂い」「一枚Renoirのデッサン裸婦 (百万) と私のマドンナ (特別型) と交換していいとてかへた」「夕方Pradeとスイスのハンケチや来てRoseの大と小初めて出来くれ上々よく出来た」 [FT00548,350]
- 12月1日 「Recio展小品行かず」 [FT00549,159]
- 12月2日 「5h 村山来た」「野見山氏 夜田淵二人」 [FT00549,159]  
「Noël状の字サイン等沢山封筒もかく廿八枚」「田淵二人来て来週火曜日田舎へRichevilleに移転との事」 [FT00548,353]
- 12月3日 「Belgiqueノ画Mr Wanjart とりに来る」「画見てくれの人10h1/2 Jean Montaron de Kergnelen 大将の孫 1914 机上キュービズム水彩」「marie Francee マドンナよく出来た」 [FT00549,160]  
「11h15分前Mare Vaux写真写しに来てくれFoyerで200万金庫 (手さげ) とられて無一文になった」 [FT00548,354]
- 12月4日 「10h1/2 アルヂヤンチン83才の人クレマンソー友人アナトルフランス等息子画商」 [FT00548,355]
- 12月5日 「Mare Vaux 午前六枚Photoとりやる事」「4h Prade」 [FT00549,161]  
「4h Prade 来てMarie France十冊サイン廿枚許りNoëlの状渡す封筒共皆タイプでやつてくれる Baptême関係の人々へドイッからの燕の巣くれた」 [FT00548,356]
- 12月6日 「お寺壁画たのみの処三四個処断り状其他キシカ画集用デッサン写真Baptême de FleursとPradeと相談友人皆賛成 Frejusへの寄附も画よりも金にとりきめた」「私一人Montrogeのお寺ミサメスに行く」「3h 松尾日本から又日本館の事で外一人又読賣ノ人他都合四人で来て16億とか政府に5億出させる来年の予算等」 [FT00548,357]

- 12月7日 「カンセール協会へ石版ロスタンド寄付」 [FT00549,161]  
「昼 Fignet氏来て私の作二個処ループルの人にたのみうちちたのむ事」「カンセール協会の三人男来てJean Rostandの石版やって大崑びサインして貰へと言ふコネサンスダールの女写真美人来て35才以前1914の机の上キュービズム写して行く」「Mlle Anne Dupréと言ふ女役者来てSol 8208 モデルして上げる等 Prade France Soirやアントランジヤンに大きくReimsのVierge出たと知らせて来た」「9h1/2 3h 赤十字Frejusへ寄附十萬法」 [FT00548,358]
- 12月8日 「マドンナ展たのみ」「Air France 高田中礼 坂本みよ子 マヤ片岡人形かつぶし夜斎藤清12h迄」 [FT00549,162]  
「高田女史Tel 斎藤清木版家つれて来て Air France 坂本みよ子氏持って来たマヤ片岡さんの鯉節と小人形(特アツラへ)貰った」「MatchにMorel Achardとの二人の写真」 [FT00548,359]
- 12月9日 「Petridesから競賣三人小供石坂上のもの80万でうれた由、店から出した人75万値上げて80万で他ノ人かったとて崑んで来た」 [FT00548,360]
- 12月10日 「12h1/2にGrosjean来て二人下で合いシヤンゼリゼーロンポアントのRestaurantでLemoine社長と昼食私のNoël号の礼」  
「ローマネ久々にてTelあり 競賣私の画の高價の事6号百萬越した事等話す。」 [FT00548,361]
- 12月11日 「ボアソナード土橋二人 一枚8P女と猫布かぶる墨がき」 [FT00549,164]  
「Chez Moulrotに行きTemoins展小ポスター石版画見て下に小さく小供絵かきキシカ来て写真もうつつ。」 [FT00548,362]
- 12月12日 「蓮元ことづけの先生とか巴里に着いたとか、一枚8m 女猫布かぶりストープの前すみでかき上げ Pradeハンケチ15枚とLalon card 15枚持って来た Menardと話」 [FT00548,363]
- 12月13日 「上永井子児連れて来た一年半日本の男の子」「すこし墨がきして昨日の分」 [FT00548,364]
- 12月14日 「12h1/2 Grand prix l'Humonne Cinematographique Lilasで Jikanノdejeunerに行く3h迄ポールコーラン、マルザック、デコブラ等も来てた、TVや記者大勢」「12号特別型Petridesの分聖母かき出して夜迄かかり」 [FT00548,365]
- 12月15日 「7h1/2 Kischka 外二人」「3h Pradeホアグラ」「夜斎藤真一」 [FT00549,165]  
「朝から十二号大(特別)マドンナかき油かき出し夕方迄」「3h Prade来てホアグラくれた。Noëlカード六枚上げた。又二三日間ロンドンへ行くと。7h1/2 Kischka二人夫婦連れて来た、テモアン展カタログの表紙裏のえたのまれデッサン2枚かいたのは使はず、又外のかく事」 [FT00548,366]
- 12月16日 「沢山Noël状 信子嗣隆秀子、マヤ片岡」「一日Petridesのマドンナ12号(特型)ルノアールと交換の分かいた」 [FT00548,367]
- 12月17日 「Petrides二人娘草花色ぬり仕上げたりする」 [FT00548,368]
- 12月18日 「一日金ぱく12号マドンナと水彩 Cardinal Felitissさんの分おいた仕事」 [FT00549,167]  
「すぐLalonさんよりCardinal Felitissさんに上げるマドンナ水彩かきPetridesの分12号マドンナと其の水彩夕方迄金箔おいて夜になつてニスぬつてホツとして夕食後眺めて気に入った」 [FT00548,369]
- 12月19日 「Petridesへ届けマドンナ12号特型 8F小女布かぶり白猫ストープの別」「田淵訪問」 [FT00549,167]  
「朝10h前君代二人でPetridesへ十二号特型金バックマドンナ持つて行く年末(明日から四日迄旅行とか)ショーウインドーへ飾ると大崑び 百萬法の額に入れて見た。外一枚8号小女ストープバック、フラーかぶる白猫渡して」「十二号女ノ子二人花散るかき上げ夕方迄出来る Pradeロンドンより昨日帰った明日来るとLalonノマドンナ出来 Jean NoëlにTelした返事」 [FT00548,370]
- 12月20日 「夜市村寅士コブ来た」 [FT00549,167]  
「二人11h Montrouge にメスに行って帰り直ぐ十字架より降りるクリスト80号初めて墨がき左のマドロンナかき出し一日かかる」「6h Pradeロンドンのジャム持って来て正月20日にVison出来ると言ふ Xmasカードにサインしてやる」「夜市村寅士氏来て側の通りフランス語イタリードイツ語の持□の事」 [FT00548,371]
- 12月21日 「沢山Xmas日本からも来た 11h Petridesに一枚12号小女二人花降る届け」「一日大仕事、7h Restaurant Cabaretにてl'orare des coteauxの十人大会ありPrade誘いて行く」 [FT00548,372]
- 12月22日 「一日画かく、大作四人」「Recioたのみ 画家 Mme Chande Pierrat一枚小品買った人12-59」 [FT00549,168]  
「一日仕事、大作四人右側にうずめて夜迄かかる Tel Ammie Tel Londonから来たと Tel Petrides Frejusへ寄附の画の事art主催大家皆出すから出さないとよくないらしい等一切まかせてうりたての時の事等通知とて安心」「6h ハンガリーの娘25才 jurich(外医) 1918年モンスリー時代に来たとして古い新聞見せ五分位見て帰る(3日間巴里に)」「Bordeaux Sud Ouestに一頁大私のマドンナ大きく出て記事も中々よくかいてある。」 [FT00548,373]
- 12月23日 「大作一大仕事天女かく」「村山二人井上覚造別れに来た」「Kischkaより Mr Maurice Hergor et aux Sportes 写真 一枚カタログデッサンの事」 [FT00549,169]  
「大仕事始めて一日かかる。一日仕事、天使二人デッサン一人だけ左にかき込めた、「十時近く井上覚造3日ドイツハンブルクから日本船にのって帰りとして別に来た 十二月十日とか東郷青児小山敬三寺内萬次郎藝術院会員になったとかで東郷の話持ち切り」 [FT00548,374]

12月24日	「一日大仕事」 「朝から大仕事天使一人かいて全部かき終り仕上げ始める岳かく等一日仕事五日目」	[FT00549,169] [FT00548,375]
12月25日	「祭日、一日大仕事、六日目」	[FT00549,170]
12月26日	「七日目仕事」	[FT00549,170]
12月27日	「八日目仕事ボアソナード」 「大仕事八日目油、雲と空から始めた夕方迄かく」「ボアソナード来てつまらぬこの人」	[FT00549,170] [FT00548,376]
12月28日	「九日目大仕事油大作」 「成井の手紙私が一番一号五十万以下梅原35万等」「河村幸次郎私のを七十枚集めたもう百枚にして下関に美術かん建てると言ふ」「大仕事油、とうく九日目の仕事」「これにかゝりきり大分出来た」	[FT00549,171] [FT00548,377]
12月29日	「十日目大仕事 金箔おく」 「すぐ大作金箔上部分半円大におき出して午後一パイかゝつた。人も来ず仕事出来る」「夜ハ私の大作に電燈下から当て画室で眺めて決心の作でよくかいたものと思ふ年も迫ったのにこの年してかいただけ得したと思ふ。(金の意味じゃない) 画を一枚でも残す事の方の事、中々大きいのはそう沢山出来ぬもの」	[FT00549,171] [FT00548,378]
12月30日	「十一日目仕事」 「今日は一日画全部に手入れてかく」	[FT00549,172] [FT00548,379]
12月31日	「夜1h1/2迄阿部正来た」 「私ハ一日大作の膝スカート等かきなほして仕事夕方迄に終わった」「阿部正年始にショコラ持って来て1h1/2迄」	[FT00549,172] [FT00548,380]

## 1960 (昭和35)年 73歳

1月	「扉」私が兼ねて長い間七十四になったら田舎に家を持つそれ迄は隠居気分にならず都会で大に働くと言った通り七十四才(この十一月廿七日)の今日バテームの記念日十月十四日に見たピリエ、ルパークルの家 十七日に手金十九日に登記した「千九百十三年モンフェルメイユ家持った以来又これが二度目 フランスの田舎にしかも長年寄望のシュブルーズに家買った」[図：家のある風景] 「毎月第一日 日曜午前十時より 日本語ノmesseアリ。Sœur Marie Christinaノ修道院」	[FT00550,003] [FT00551,000]
1月2日	「2F二枚小女をかく。墨がき仕事初め」「Andre [……] 大壁に80と60並べてかける釘うたせたりして手伝はせてよくなった」	[FT00550,008]
1月3日	「5h m. 石垣の上七人小供燕かく、墨がき 午後にもかいた」「6h 岩田の息子 放送NHKノ一人 共同通信夫妻稲村八頭身の美人連れて来て」	[FT00550,009]
1月4日	「今日は三枚小品油かき」「午後昼ね後80号キャンバスはり其他小枠廿枚許りはり 君代白(水)でぬってくれたりして大働き」	[FT00550,010]
1月5日	「朝から80号に白油ぬり午前中で殆んど仕上げ小枠二三枚ぬったりする」「Menard氏マキシムに働く事になり廿万と昼晩二食付Auto等。大満足私のBaptêmeの功績が見とめられての事 多少私の事も役に立った。80号絶賛アンエスチャーブルと言ふ」	[FT00550,011]
1月6日	「一日小キャンバスに白油ぬり廿枚全部一日かかって仕上げた。絵はかゝず」	[FT00550,012]
1月7日	「Petridesへ5号子供七人石垣の上2号小女花石崖2号小女石崖花三持って行く 大機嫌二階を見せてくれ 大変な広ろさで、五月私の個展で開催6000万も修繕にかゝるとの事。明日のFrejusの寄附カルパンチエに私ハ8号ピカソ等三枚も出してる。シャガール ブラック、ルオー其他セゴンザック等皆出してよかった」「午後 大作の聖人に皆金のオレオルつけた 六人 よくなってニスぬって大壁25番にかけた」 「Petridesに行つて新画廊二階見た」 ※25番：アトリエの呼称。24番と25番がある	[FT00550,013] [FT00551,005]
1月8日	「80号次の分のクロッキー マドンナ、キリスト、第一デッサン初めたりする 中々面白い。第一日目。デッサン、薄紙買いに出て」「Presseに教皇ノ今日、公式の決定で 近きPaquès fêteに法王Jean XXIIIが漸らしくカトリックに改宗した藤田を引見すると出た。PradelにTel 驚く。君代これが一生最大の事だ これ以上はないだらうと云いVison買っておいでよかった、プローチが欲しい等と言ふ」 ※Vison：ミンク「毛皮やロンドン出来の事Vison」	[FT00550,014] [FT00551,023]
1月9日	「クロッキー 第二日目 大作の日」	[FT00550,015]
1月10日	「第三日目 大作デッサン 一日かゝる」	[FT00550,016]
1月11日	「第四日目 第二の大作のデッサン いろくかいて夜迄仕事した」「Edition Francaise illustrée 捷人Jultin氏の扉画(クレンヌの本)顔かいてやった」「朝(火曜日本へ立つ) 福田氏の処へ女布かぶり一本左手差し出し肩乳下の方へのぞい	



- て見える素描 成井に届けて貰ふ事 成井に河村さん処へ届け30万貰う事 磯浜の日本画成井に届ける事等 手紙二人でかく 小供の親裁判の費用出す事のため [FT00550,017]
- 1月12日 「昨夜一晚中大作の構図の夢見て、画から頭離れず 何日も大作の時はこうだ」「今日は天使二人から墨がき初め。マドンナと女の子 夜になってジョセフ (父) 等五人すっかり十一時まで仕事 大仕事して君代も毘んでくれる。こんなに仕事出来る間は大にやっておく可しと」 [FT00550,018]  
「第五日目 五人墨がきした 夜迄かゝる」 [FT00551,007]
- 1月13日 「朝五時頃眼さめ、もう画かき度くてピリくして8h迄我慢してねてる」「第六日目仕事 動物から初める。一番面白い最中。休めない。朝から晩迄のべつにかいて未だか度たい。か度たい処沢山出来てかき切れぬ」 [FT00550,019]
- 1月14日 「大仕事第七回目」「昼ねもせず右手の老人の手 男の子 女の下半分 丸太動物のさく二本等夕方迄かく 金箔上に置き出して すませてる」 [FT00550,020]
- 1月15日 「大作第8回目仕事いろくかきたし もう一人女左側にかき墨終りく夕方一寸油え始め板、枚 床板石等すこしぬり初める 一番面白くニツ並べて大壁にかけて見たりする」「金箔かみさん届けてくれて安心。80m又たのむ」 [FT00550,021]
- 1月16日 「第九日目油え一日ぬったが日が足らず。始めは薄手で何うにも思った濃い強い色がつかぬ夜に5hになってもう止めた明日にした」 [FT00550,022]
- 1月17日 「第十日目 大仕事一日油えかく夜迄かゝる」「Madonna様かいて」「大体一通りぬり終えて夜も大壁で眺める」 [FT00550,023]
- 1月18日 「一日大作中止して休み干かす必要あり」「Temoins展に出す女三人もう一度色つけしたりする」「3h Faguet 来て3 rue AsselineのMallisetの処。私の三枚の宗教画トアールのうら打ちして完成 三枚で十萬法 (保険に入れてあり) この家のもの三億位の保険とか。画集で見た傑作もあった コロー ブーダン等の大きい壁画等 男五六人女ノ一人皆修正洗いやった。補筆巴里一番Louvreの御用5h迄仕事すこしなほしてやって帰り」 [FT00550,024]
- 1月19日 「今日今朝から夜になっても仕事止めず一日いろくやって見て調子強く金箔もおいたりいろく11日目仕事。もう一日ですむ迄した」 [FT00550,025]
- 1月20日 「画室片づけ勉強によくする事考えた 10h Andre来て本棚の本出しよくするため大飾棚と大机方向かえて置き大机で勉強出来るようにした」「Modele Odette ブロンド来た 髪の毛と首胸丈けよし 動いてものにならずいいモデルではなし」 [FT00550,026]
- 1月21日 「午前中大作アクセントとしまり毛筆で皆かき込し昼食前後でニスぬって大成した 12日目完成Nativité」「午後モデル来て二枚小品かく」「夕方いろくかたづけ画室使よくする」 [FT00550,027]
- 1月22日 「Tel Petrides仕事してくれてるか 私のMadonne大成功だと (これハアパートマンに置いとく分) との事大喜だ」「一枚小品モデルの分カンバスに墨がきする」 [FT00550,028]  
「2h1/2-5h modele」 [FT00551,012]
- 1月23日 「朝から油モデル肥った女せんがき油共小品小女これも油等かく」 [FT00550,029]
- 1月25日 「午後二枚油小女二人女と小女等油でかく」 [FT00550,031]
- 1月26日 「二枚二号小女墨がき午後になってやった日」「午前十時ボンマルシェ Toile 6メートル」 [FT00550,032]
- 1月27日 「(凸版に版權の事。日興證券カレンダーの事)」 [FT00550,033]
- 1月29日 「油え二枚二号油でかき 外四枚色強くする一日仕事」 [FT00550,035]
- 1月30日 「小品三枚墨がき一日仕事」 [FT00550,036]
- 1月31日 「St Sulpiceのお寺へMesse 一人でMetroで行く。大勢な人。聖体拝受して来た」「三枚小品油でかき夕方迄」 [FT00550,037]
- 2月1日 「朝から小品バラ銀壺にかき油迄ぬって仕上げ 午後夕方白油80mにぬって大仕事すませてるホッとした」「Petrides もう十一枚出来てるから安心しろとかけて喜んでる」 [FT00550,039]
- 2月2日 「今朝から三枚目Apocalipuesパルシュマンにとりかかり仕事 もう考えずにどんく恐れずにかく事にしたら夕方迄に可成かいた」 [FT00550,040]  
※パルシュマン (parchemin) : 羊皮紙、羊皮紙に書かれた文書  
「Foret アポカリプス 第一回目 三枚目仕事始む」 [FT00551,016]
- 2月3日 「昨日の続き御三体と聖の神々上の部分。どんく恐れず 今日はいきなりどんくかける。かいた事あったからだ」 [FT00550,041]  
「Foret アポカリプス 第二回目」 [FT00551,017]
- 2月4日 「朝からアポカリプス 第三枚目 第三日目一日仕事」「Foret 三時写真や映画秘書の姪等四人で来た 電燈つけて散とに写してみても色つけてくれとて、三枚目半分出来てたが上からぬり始めて夜もすこし仕事した」 [FT00550,042]  
「Foret アポカリプス 第三回目」「Foret 写真と映画」 [FT00551,018]
- 2月5日 「アポカリプス第四日目 上半分色丁寧にぬって殆んど仕上げた 下部分後廻し 油え沢山十枚近くに墨でアクセントいれて今日は終った」「高田女史Tel 日本の角力柄錦とか来るので朝日と文春からたのまれてる 有名人と写真シ

- ヤンゼリー歩いてる処Lido等も写しても礼の事なく嫌になると」「香川氏の手紙 春日野の肖像日本へ持ち帰りたいとの事新聞に出てた人の事なり」 [FT00550,043]
- ※春日野の肖像：春日野親方を描いた《栃木山の像》(グルノーブル美術館)か
- 2月6日 「一日小品バックかく事に 始め五枚仕上げ六枚目墨がき丈で夜になった」「ハンガリーとイタリアの写真や 展と本出したいと来て今余り写されて労れてると言ったらCocteauも同じ事言ったとて二週間待ってくれとたのむ」 [FT00550,044]
- 2月7日 「油え小品のバックかき三枚仕上げた」 [FT00550,045]
- 2月8日 「一枚5小女祈り等の風景バックかいた 油えにして夕方迄仕事」「スペインからの切手貰ったベラスケス張り込み Baptêmeの切ぬき張ったりする」 [FT00550,046]
- 2月9日 「ペトリデスへ行く。2P小女ナポレオン130 2F小女エピナル風景130 2F小女黒レース両側130 5mバラノ花250 5P小女黒レース両側250 6m母と娘 木ノ柀280 6m娘二人石門280 8P女タイルオランダ300-1750万」  
「新聞に出た。La Presse 5Jan 1960 La décision pontificale est aujourd'hui officielle, Foujita le nouveau converti au catholicisme, sera reçu par Jean XXIII pendant les fêtes pascales」「午後桃一枚12号にかき出し」 [FT00550,047]
- 「Petridesへ届け 八枚」 [FT00551,019]
- 2月10日 「朝から犬二匹連れてる女ノ子二人10号にかく」「二人男ローヤ出た許りで仕事がないから助けてくれと マンジシテだらうと云ったらシャリテだと答へたから 何うせ同じ事だと云ってすこしやって帰へす 物貰ひ多くなる」 [FT00550,048]
- ※mendicité (物乞い)、charité (慈善、施し)
- 2月11日 「1h日本大使かん Gardinal Marella 送別会にて廿人の昼食」「3号小女かく」 [FT00550,049]
- 2月12日 「10号女ノ子二人犬二匹セイヌ河畔エツフェル塔等かき油色つける」「Marellaさん別れの会。ローマ法王への謁見の日 決めの手紙お渡しして画集二冊上げた」 [FT00550,050]
- 「Cardinal Marellaさんに法王の件おたのみした」「6h-ウルゲイ大使かん」 [FT00551,021]
- 2月13日 「Buffetの個展の鳥がショッケするとて二人其の筋の人見に行ったがTerribleでないとの事だったらしい(風ぞくかいらん)」「一日油え油色ぬって暮す」「土橋の処へ来た社長から河村さんの招待状持つてる人 平賀の処で藤田さんは日本人に会ふの嫌ってるからととめられ今は私の方が藤田氏のより画が高く売れると言ったとの事でその社長も平賀氏のを買った由 人へ信用するな 平賀さんハウそつくから用心しなさいと言った」 [FT00550,051]
- ※平賀亀祐(1889-1971)
- 2月14日 「2号一枚小鳥もつ赤子かく 墨かき面白し」「上永井一人来て15区のmairieで祭するのでその装飾の壁画にモデリアーニ スーチン等と私の似顔立像かきたいと(祭日用)写真かしてくれとの事 Musée Montparnasseに行けと言った」 [FT00550,052]
- 2月15日 「午前中から油え桃花ノ両側レースカーテン貝二つ等かき油始めた。小女と小鳥かご3Fかく」「野見山氏Telあり金山の画預けた人やと旅行から帰りへ八枚(大きいもあり)渡してくれたと(佐々木氏の甥と)これで肩が軽くなったとの事よかった」 [FT00550,053]
- 2月16日 「油え仕事 小女ノバック スペインタイル模様かく」 [FT00550,054]
- 2月17日 「一枚マドンナ4号に墨がき夕方迄した」「上永井 St Pauloの画商Bénéteau氏(東京ブラジルコーヒーの壁画バラくで買った人)来た。モンパルナス通りに住んでる 90万でのを300万で買って800にうりたい等」 [FT00550,055]
- 2月19日 「一枚4mにマドンナと子墨がきした」「6h DormanとEditeur Pierre de Tartas氏夫妻で来て 写真いろく見せ14 chemins de croixブロンズで作る事の持ち出し話(シュブルーズ)あり いゝかげんに話合せて未だ古いmoulin買った丈けでピカソ始めセゴンザック ブラック ダリー ブツフエ カルズー等言ふ事きくか? 疑問」 [FT00550,057]
- 2月20日 「二枚油え聖母かき(金バックのつもり)パレットチューブ大そうじ」「12h 19日に着いた栃錦(武蔵山?)外角力らしき人と読売ともう一日記者放送等 写真とつて角力の土人形貰った。春日野の写真送つてそれで満足らしい」 [FT00550,058]
- 「昼栃錦一行六人で来た」 [FT00551,024]
- ※エール・フランス航空による初場所優勝力士のヨーロッパ招待で横綱栃錦と武蔵川親方が渡欧
- 2月21日 「朝ニスぬり。カンバス枠ちぢめてはりなほしをやる12号と60号(Temoins展のもの)ニスぬつた」「夜田淵の友人学習院出の徳大寺氏夫妻」「将来あり相な人 こんな人が日本に多くなる事を望む」 [FT00550,059]
- 2月22日 「10h Davidの鳥とビュフエ大作七枚か見た。家のカナリヤの交尾の時のすさまじさからヒントを得たとも思ふ。男女を相手にした丈け しかしあのおとなしい人がこの大作をやり 思い切つた事をしてるのにハ驚く。精力の点 David本くれてBuffetのproposをよむ 強い事を言つてる」「Petrides大□□今夜のTelの通じぬ事も判る。桃12号 12 450 エツフェル塔セイヌ河女ノ子二人犬二匹 10 350 一人寺のバック祈り 5 250 額タイルスペイン四枚 3 150 額小鳥手に持つ小女かご 3 150」「80号誕生の図 枠しめなほし張りなほして気持よく」「ローマ法王四月早々二人に謁見

- するとの許可来て一週間ローマに滞在の事となる」  
[FT00550,060]
- 2月23日 「モンパルナス墓にてジャックベケールの葬式」「小品二枚に金箔おくマドンナの図」  
[FT00550,061]  
※ジャック・ベケール (ベッケル) : 映画「モンパルナスの灯」の監督  
「高嶺秀子Tel Tokioから きげん悪くなった。日本の写真や紹介して来たので」  
[FT00551,025]
- 2月24日 「一枚8号女と小女 構図にしてかく 墨がき丈け」「4h ペリエール Temoins展搬入約束とりに来ずTelしたら来月だ  
と思つてまちがえたと云ふ 仕方なし明日にする事にした」「Vatican行きの事一切 Hotel 問合せ礼状皆たのむ 四月  
一日ローマ着のつもり。一週間滞在のつもり」  
[FT00550,062]
- 2月25日 「Tel KischkaへかけMuseeからもさいそくありて午前中Baptême de Fleurs ペリエール届けてくれた。搬入」「仕事 8号  
女と小女の両袖に岩かく。夕方迄」  
[FT00550,063]
- 2月26日 「Tel 二三度 日本 お秀の送り物。わさび漬物等。エゲロン秋山氏より電話。阿部金剛二科の人数名と(四日東郷)  
着いた等。ホテルのボーイ届けてくれた。又石井好子からの大きな大福(銀座大増)送ってくれ 男の人届け」  
[FT00550,064]  
「阿部金剛着 松山秀子 わさび其他 岡村氏エクロン 石井好子 大福-届け 友人届け」  
[FT00551,027]  
※松山秀子: 1955年に松山善三と結婚した高峰秀子の本名
- 2月27日 「モルローのMourlot 朝二人男届く。50 grands estemps S/ Canson 300 estemp noir sur chine 100 avec remarque 150 en couleurs  
皆サイン 2h Dr chapireau nina 来て廿人位にデヂカスカき運んで行く 私の画ハ正面中央一番いい処かけ評判又一番  
よし」  
[FT00550,065]  
※デヂカスカ = dédicace (献呈・献辞)
- 2月28日 「一枚油8号色ぬった女と娘岩両方バツク」  
[FT00550,066]
- 2月29日 「阿部金剛くる。お雛様菓子持って廿年振り巴里に来た。」  
[FT00550,067]
- 3月1日 「2h Temoins展ポスターサインとりに来て渡す」「家族山田耕筈息子Koshi氏 父さんの妹さん(下関にてla soeurになつ  
て)の夫婦写真持つて来て お父さんも是非カトリックにして上げて下さいとのたのみだつた」  
[FT00550,069]
- 3月2日 「3h15 Temoins展に行く欠式 私の画正面に赤のバツクで特別に出品され 評判よく場中一バンドンゲンと二人丈け  
が一番よし 他は同様」  
[FT00550,070]  
「3h1/2 Vernissage Temoins展」  
[FT00551,029]  
第9回「時代の証人の画家たち展」に出品する。テーマは『青春』。[別冊みづゑ] 27]
- 3月4日 「風景画Bièvre色つけして油一枚かく」「夜九時二人してTemoins展30人位サイン蝶かいてやる」  
[FT00550,072]  
「3h 東郷来巴 娘と来た 写真の人。たん熊料理」  
[FT00551,030]
- 3月5日 「村山と二人写生にBievreに行つて」  
[FT00550,073]
- 3月6日 「午後Bievreノ8号すみえでかく」「為永二人来て長谷川硯箱菊児童くれた」  
[FT00550,074]
- 3月8日 「小女花髪にもバツクにも飛ぶ花かき油」  
[FT00550,076]
- 3月9日 「浜口と長谷川潔は出品とりやめ ビエナル審査かんになって 中々日本人の間難しい」  
[FT00550,077]
- 3月10日 「10h Petridesへ五枚 8 P femme et fille 8 P Bièvre 6 P Bièvre 4 P Madonne 4 m Madonne」「11h Foujita 1928年ボール  
モーラン限定版1500 買い」  
[FT00550,078]  
「小児メカニック返却 油画Temoins展とりにやる事」  
[FT00551,033]
- 3月12日 「一枚申し訳の様にバラの小さいく墨かく仕事手にのらず」「夕方7h1/2 Figaroに行く大勢な人 花が美しい。Andre  
Warnod一家 Bremont d'ars一家其他大使やMarquise等 Temoinsノ画賞められたりする」  
[FT00550,080]
- 3月13日 「カンバス枠にやはりなほして油白ぬり午前中、する。くさび打たずに(枠にはりなほしもせず)する事考えた。」「君  
代一日考え込む日。又日本へ帰り度い等と言ひ出しこゝに居ても意味ないとか、私のためたゞ女中してるとか、ロー  
マへ行くのもやめるとかいろく悲観の日」  
[FT00550,081]
- 3月14日 「一枚10号女裸体丈けすみがき外仕事出来ず。」  
[FT00550,082]
- 3月16日 「一日10号Eveの動物かき出し一日かき」「田淵二人Orsayノ近処Winsorさんの近くにいゝ家ありとAgenceのMme Georges  
の話 金曜日見に行く事にした出来たら幸もういろく頭の中計画一杯に楽しくなる。」  
[FT00550,084]
- 3月17日 「仕事Eve動物大にかく。」「夜佐々木二人来た。田舎を大にすゝめる昨日田淵の話あり明日実地見に行く事も打ち明け  
ず心の中で楽しむ田舎で行きたいのハ山々だ。」  
[FT00550,085]
- 3月18日 「夢 田舎に家二ツ見て買った夢見た 一ツハお風呂も日本風呂等入つてた とても長い板許りの家で石造でない。」  
「オー一回六百坪位、[図:家] さがし」「田淵のせてle GuichetノAgenceのMme Georges (Orsayの税務処)とChateau fort  
の2500 m×2 農家前に小川橋岳に等、裏森岳堀石門大木ブルーズ等とても気に入つた。アメリカ人夫婦借家人住ん  
でる うまく手に入れる様に祈ります 祈れば必ず願い叶ふと言ふ Maguyの方いゝ家あれど家隣り合ひてエスパス  
なし。古い家でよく、この辺巴里人大に來り豚小屋でも高いとWinsorさんの大柳二本遠くから眺めて」  
[FT00550,086]
- 3月19日 「何んだか田舎の家が出来る様な気がする」「私ハ家の事で楽しい夢で一杯だ。」「昼からEveの動物の画油えで一日か



- く。』 [FT00550,087]
- 3月20日 「早く田舎に家持ちたい 持つたらあ、こうしようと一人でもう楽しんでる。74になつて田舎に家持って入らうともう十年前からの私の持論だつた 本当にもてそうだ。もう一息一寸かせいで千萬も用ゐしたら、相当贅沢に出来るだらう」「一枚大きくMadonne下画かき」 [FT00550,088]
- 3月21日 「一日仕事十二号にマドンナとキリスト外に女一人三人構図墨がき一日かゝる。」「3h1/2 Pierre Ladoné 元美術館長ベルギーから私の小パンフレット出したいとて来たコンベルションの事」「6h ハノイの美術学校長4年前63才で死んだ未亡人 Mme ジャンシエール来て1938 7年頃日本で国際文化外務省主催に出品したブストの彫刻えさがしの事」「4h M<sup>rs</sup> Gravelli氏来てローマの方すべて出来てるとの事 父さん肖像今朝写真見て鉛筆がきカルトンにはったの上げて喜んでくれたお礼断った祈りますとの事」 [FT00550,089]
- 「Mme Jeanchere 彫刻の事 Hanoiの学校長」 [FT00551,038]
- 3月22日 「文春の人Vaticanにも行つてすべて準備出来てるとの事。」「午後ハマドンナ油色仕事」「6h1/2 上永井友人画商Beneteauer氏来てブラジルコーヒーの写真返却。」 [FT00550,090]
- 3月23日 「3h 日本人のSœur Marie ChristianaとSœur St Justin 二人別々にパツクの話きく事小一時間。」「田舎この間見て気に入つた家ハアメリカ人三年ノバイでかりて、直ぐ出ず(去年売りに出して買手なく)とて直ぐにハ買えず、入れぬ事になつて失望気永に待つ丈けだ。外のがあればいいと思ふ」 [FT00550,091]
- 3月25日 「朝早く床やへ行く 写真柄錦送つてやつた」「Cardinにてタイユール最後ノタメシ上々(20萬支払) マニユカンデフイレやつた。4h1/2 Valenciagaに行く こゝもデフイレやつてる 君代着物上出来(前金10万すみ 後金12萬5000)支払 二店とも月曜日午後届けてくれるとの事。」「夜ハTV、若い画家画商等の事面白かつた。皆急いで成功をのぞむ。」 [FT00550,093]
- 3月26日 「二枚油白ぬる。」「12号マドンナ金箔おき模様の型もおく出来 三枚ニスぬつた」「Life私の写真明日とりたい(月曜日は)アメリカへ帰る二日来たいと仕事の邪魔にならぬ様旅行仕度前で君代又反対するだらうが四百五十萬からの読者の眼を忘れるなど言ふ Life丈けにハ写させろと言ふ。」 [FT00550,094]
- 3月27日 「午後五時Lifeノ写真アメリカ人二人来てだまつて写真とる静かな人 Prade二人Menard来て相手になつてくれ君代もPoseしてくれた。Lifeにハ出てもいい、Lifeならいゝだらうと言ふ」 [FT00550,095]
- 3月28日 「明日愈々伊太利行きいろく今日ハ準備の事」「Petridesへ行く」「夕方Ambassade du Japon ジャンルイバロー マデレーヌルノー送別会へ行く」「Cardin 着物届く事 20万 Valenciaga 4h-5h届く事22万五千」「Mme George 田舎に二軒家ありと」 [FT00550,096]
- 3月29日 「旅行出立 巴里—シャンベリー」「12h20分 Avallonへ着。512KL 2 15発 557KLでchambery」 [FT00550,097]
- 3月末から5月にかけてイタリアを旅行(ピサ、ローマ、フィレンツェ、アッシジなど)。ダヴィンチ、ボッティチェリなどの作品写真あり。
- 3月30日 「シャンベリー—ラパロ」「シャンベリー—8h15発」「Rapallo Madone 10h着—Bardonecchia 10h40」 [FT00550,098]
- 3月31日 「ラパロー—シエンヌ」「9h1/2 Rapallo Pisa 昼食 シエンヌ 5h1/2 泊り」「地獄極楽の壁画見て 2h1/2 ピサ発」 [FT00550,099]
- 4月1日 「シエンヌ—ローマ」 [FT00550,101]
- 4月2日 「ローマ」「バチカン木曜日との事 法王様謁見の事Telできく。」「2h1/2 カタコンブ サンセバスチヤン」「Saint Domitille 壁画よし」 [FT00550,102]
- 4月3日 「ローマ」「朝ドイツの教会Messeトテモ親切なドイツ本Messeの本あけてくれたりする」「3h-6h 1日町記念物いろく」 [FT00550,103]
- 4月4日 「ローマ」「毎日の人と大阪の女の人と買物の店で会つた日本人」 [FT00550,104]
- 4月5日 「ローマ」「VaticanへTelして金曜日 audience 謁見の事 木曜日Tel朝又する事 切符許可澄木曜日に貰ふ事」「パーレス、ベニスMusée見物」「Venese宮殿前 日本美術史の人。私に日本からの届けものしてくれた人に会い、一月よりこゝへ居て八月ギリシヤへ行く壁画研究の人」 [FT00550,105]
- 4月6日 「ローマ」「9h1/2-10h1/2 迄 Musée National L200 モザイク壁画石像大きい処」「TaxiでVaticanへ行き 11h-1h Musée L600 見物」「TelしてTaxi タノミ美術学校メデシス迄行き」 [FT00550,106]
- 4月7日 「ローマ」「燕尾服かりに行く事になり 14250 シヤツ、L5000 ネクタイ、カラ、ズボンツリ、カフスポタン等いろく大きな家五十位服あり二ツ目でびつたり合つた」 [FT00550,107]
- 4月8日 「ローマ」「1h5分 法王謁見」「いろく(の番室兵其他 le Pape 20分間謁見 金シヤブレ君代へ 私に銀メダル)」「Betti Bluntさんの処へ行く 私のかいた人コレクシヨナル 法王の姪御さん」 [FT00550,108]
- ※シヤブレ(chapelet):念珠、ロザリオ →1960年6月18日
- 4月9日 「ローマ発 アシジー、アロツツォー フロランス着」「2h 10分前出発 アシジーへ 君代感心する 寺自由に見て坊さん感心出来ぬ冗談言つて笑はせたりしてる」「5h Arozzo フランチェスカ二人見て感心」「7h Florence」 [FT00550,109]
- 4月10日 「フロランス」「近くの寺に入りDomeにも入り」「10h Musée(無料)見物」「ポンテベツキヨー渡り」「午後 Musée 3h迄



- 見て」[FT00550,110]
- 4月11日 「フロランスーオジェビオ」「2時にミラノに着いた」「4h15 Darsena着」[FT00550,111]
- 4月12日 「イタリー」[FT00550,112]
- 4月13日 「イタリー」「アスコナ行き。」「十字架ニツ、キリスト マドンナツ、 70,000L 1050スイスフラン」[FT00550,113]
- 4月14日 「イタリー」「伊太利ダルセナ」「スイスへ行く」[FT00550,114]
- 4月15日 「イタリー」「伊太利ダルセナ」[FT00550,115]
- 4月16日 「イタリー」[FT00550,116]
- 4月17日 「イタリー」「Messe 山ノ教会に二人 L2000上げた 花束貰った」[FT00550,117]
- 4月18日 「イタリー」「夕方本宅見物。広く大丸梯子大理石すばらしい」[FT00550,118]
- 4月19日 「フランスへ入ル。」「ダルセナ 9h 出発」「11h Torino 着。」「夜シヤンベリー泊り」[FT00550,119]
- 4月20日 「旅行シヤンベリーより巴里」「20日帰巴する」「鳥カナリヤ元気 水三本殆どなく一本すこし青い水残つてた位 えさも皆たべもう二三日で危い処よく生きてゝくれた」[FT00550,121]  
 ※21日のページに20日の日記 (本人の注あり)
- 4月21日 「田舎OrsayのMme GeorgesよりTel 静かな田舎家ニツあり見に来ますか未だ買ふ氣を棄てないか等で行く事に明日午後一時見に行く事にする」「ピサロの孫さんの女の人画欲しいとてデッサン水彩でもいい、と言ふの断る」「画商土橋展の人TVに土橋と出てくれないか あなたハ有名だが土橋は名もないから救助のつもりとの事なりし□断つた」[FT00550,120]  
 ※20日のページに21日の日記 (本人の注あり)
- 4月22日 「Mme Georges 訪問いろく家見」「新しい家すべて完備千萬野原平野よくなし」「二番目の家主の鍵さがしに行き行きちがい とてもい、村の百姓家住宅の方ハ小さく三間と台所。外ハ家畜専門広々とした納屋ガラーゼ向き四台位入り牛馬豚兎鶏等の処 牧場(4000m×2カレ)について七百萬位 これはい、村い、寺村役場等とてもよし小川森岳しかし便処も風呂もなし」「又一軒ブルジョアのVilla堂々たるもの果物園 Garage等千二百萬これハ趣味悪いが大変なもの安し(場処柄で)」[FT00550,122]  
 「え一枚1号かく」[FT00551,052]
- 4月23日 「二紀会の人士岐国彦氏」「先生は断然日本へ帰つてはいけな殺されます。あのゴタくした秩序のない将来の見込みもない日本へ決して行つてはいけませんと始めてそう言つた。他の人々は先生が居た時分とハ全く變つて日本もよくなり一度是非いらつしやいと云ふ人許りで土岐氏の様な人ハ始めてだつたが土橋美代子の手紙にもあつたように日本の無体裁なザワくした国塵と臭いに閉口する国 これも日本を有り難がらず例へ食物がうまくても日本は嫌だと言つた。」[FT00550,123]  
 「え一枚2号かく」[FT00551,052]
- 4月24日 「男の子二人パン持つての使い帰りは画にしたい様なもの。一人小さい男の子紙片持つてお金手に握つてパン買い一番始めのお母さんへの手助けは可愛かつた。大人も皆子供を大事にしてやつてる。」「二枚小品パレット色新しく出して油 旅行後始めてかく。」「映画 夜遅くデポルテのナチスの悲惨なドキュメントの公開 瘦せおとろえて真裸体の男女、首だけ入れた籠 屍体の山を穴に押し込み投げ入れる処等 地獄以上 私も生れて始めて見た人間のあさましさ 地獄をかく参考にはなつたが頭に入つて中々ぬけぬ 恐らく今日のimageは一生忘れぬだろう 君代風呂に入つてる間、newsすんだ後十一時たった一人で見て居た。恐ろしい事だつた。」[FT00550,124]
- 4月25日 「Monthéryへ」「Paul Fortの葬式 三百人位の会葬者。夫人生前私をととても愛してたと言つて呉んでくれ」「仕事6号に女の顔黒つぽい衣かき出し」「6h Prade来て丁度Vollard氏の甥来られて生前のアンボアーズの人を三人で賞め画壇の異人とた、へ財産の事親戚の話から又アブストレの話になり」「夜TV Paul Fort葬儀私三度寺前と墓地ジョージブラサン二度大写真」[FT00550,125]  
 ※Vollard: 画商アンプロワーズ・ヴォラール
- 4月26日 「午後一日仕事6号へ母と娘バツク伊太利の家らしいもの桃色の壁でかいて見る 今迄にない壁の色だつた」「夕方額椽Petridesの好み新しい木彫のもの女一枚届く15万3290支払つた」[FT00550,126]  
 「モーランジェールへ法王の伝言伝えた」[FT00551,053]
- 4月27日 「一枚クロツキー女二人かいて夕方迄に下かき」[FT00550,127]
- 4月28日 「午前十時Petridesに行く」「Frejusに私の名で寄附した6号(100萬突破)の变りに一枚女と子二人伊太利らしい壁バツク返却した。」「外 2女青コバルト花天から降りる 2mバラコップ 1娘寺の入口前石の壁 [図:模様] 0小女伊太利の家 四枚届けた」「8号女二人昨日かいたデッサン墨でかく。夕方迄」[FT00550,128]
- 4月29日 「一日仕事女二人油えかく瀧く出来た8号」[FT00550,129]
- 4月30日 「下がきマドンナ等かき」「6h Prade一人でベルジヤの靴二つ持って来てくれ なおつて居らず ラルスへの私の事の訂正送つてくれたとの事」[FT00550,130]

- 4月 「四月八日金曜日Vaticanローマ法王の拝謁の日の大祝日私達にあつた月で一生の内の大行事の一つ 去年のBaptêmeと共に記憶すべき日であった。三週半伊太利旅行」 [FT00550,131]
- 5月1日 「一枚4号聖母とキリストかき墨がき」 [FT00550,132]
- 5月2日 「一枚4h マドンナ金地初めて赤地におく模様か、ねば薄べらでと思つて細かくかく」「午後田淵来て田舎にとてもいゝMoulinのうりものあり (Savonette Mme Laurant) の持ものとか。見に行く事明後日約束」「本や28年の知り合いとかの女ノ人さしえTelでたのみ大に断つた面会さへすれば出来ると思つてるらしい」 [FT00550,133]
- 5月3日 「6h Doumandノ友人 Pierre de Tartas Editeur 来て Petit metier 木版の事たのまれる」 [FT00550,134]
- 5月4日 「田舎家SaponetのMme Laurantノ持物と言ふMoulin Vaugrigneuse chateauの前 凹地 丁度いい四室の家 Moulin納屋三ツあり2000m×m 老樹等 正面囲境よく食指動く。只風呂と便処もなし 田淵ハ案内簡単に考える」「1hにロツチルドさんの昼食」「Van Dongen瘦せても元気」 [FT00550,135]
- 「dejeuner chez Mme Alex Rostchild」 [FT00551,057]
- 5月5日 「12h前Art et modeの女記者来て六月展の時の写真一枚Petridesに貰つたのに出すと」 [FT00550,136]
- 5月6日 「夜8h 田淵展Mazarineに行く。Galerie Lucien Durand氏」「二科の山本氏中川氏と10h1/2すぎに来た お茶持つて。遅いから断つた こんな事も初めて余り礼義知らず遅く電話なしに来る方が何うかしてる。」 [FT00550,137]
- 5月7日 「朝から仕事 8号小児石垣の上 6号小児石だん 飛行機雲かく 油迄して仕上げた。」 [FT00550,138]
- 5月8日 「又Mme Laurentサボネットの百姓家のprixさく事にした」 [FT00550,139]
- 5月9日 「10号一枚パン持つ女ノ子かく。」「10号の画午後もかくパン持つ子」 [FT00550,140]
- 5月10日 「12時有馬稲子さん美しい朗らかな人Hadaと言ふ仏文の人と来て甘本赤バラお土産 六年前私の画カブトやで買った等」「午後十号にパン持つ女ノ子油えかき」 [FT00550,141]
- 5月11日 「10h1/2 Petridesノ処へ行く。画四枚渡し」「Tel Mme Geoges 田舎家1300万あり。又尼さんの家今問い合わせ中とか来週月曜日行って見る事にする」「8 女二人バック家 八分身対して立つ、三 8 小児八人石垣の上 飛行機雲 三 6 小児十四人石段 々、二八 4 マドンナ金地模様バック [図：模様] 二。」 [FT00550,142]
- 5月12日 「Reimsのアーシベックマルモツタン昇天葬式明日St Remyにてあるとの事」「6h アメリカ人 (父オランダ母英人夫人夫人) Heary Pleuten氏 Estampsの事アメリカにて百枚いゝ、会費とmusée等に分ける事の由現金にて支払うとの事」 [FT00550,143]
- 5月13日 「Reims」「9h15分前Eglise St Remyに行く」「アルシエベックマルモツタン86年才で昇天」「5h5分に駅に来て汽車」「Temoins展によつて最後の夜すこしサインして十時すぎ帰り」 [FT00550,144]
- 5月14日 「朝から勇気出して15号に大バラの画 壺の壺にかき花丈け夕方迄にかき終り」「夜田淵来て12h 1/2迄しんみりいろく人の話画の話 これからの出方画の價だん等一番かくさず話して行く」 [FT00550,145]
- 5月15日 「朝から (昨日の十五号バラ墨かきの分) 壺かいて油ぬり初め。」 [FT00550,146]
- 5月16日 「10h 頃Transport男二人とりに来て宗教画80号二枚 機械時代小児80号 メ三枚渡し Temoins展女三人の画 (今年ハ順廻展なし) 今日引き渡し とらせて四枚大作Petridesへ届けさせた PetridesにTelしたformidable〃と言つて展に出す事にした」「Mme Georges今日ハ中止明後日田舎家見る事にしたが田淵と約束あり」「二軒百姓家アリと [……] 一ツは納屋丈け150万 リング林 一ツは庭なき四百五十万の家 (周囲面白からず) 話にならず」「Mattaプランタン日本展で欲しいものをえらんだらFoujitaが (せいろ其他) もう買ったもので残念だつたと言つた」 [FT00550,147]
- 5月17日 「10号バラ茶壺にかく油え迄する」「画のぐやの主人1930年頃ハベトリデズ貧乏で250frsのつけでさへ貰いに何度も通つた等と云つた」「10h1/2 佐々木氏遅くなった私の油号風景と (油裸体小) 偽作らしい。一枚ハ全く悪く一枚はコツピーだ。二枚とも悪いらしい。田舎に家買えくとすゝめ一ヶ月一枚画頂けバ全部私が萬事お世話して外国等のmusée展もせいゝした方がいゝ等驚く可き計画を持つた」 [FT00550,148]
- 5月18日 「百姓水車家ノ持主Mme Laurens Frings 80 Rue de l'université VII. の名前判つた」「11h Tartas氏来てカルタマシヤン木版試し彫の事で渡す。受とりとつた 15枚位でLuxeノ本出したいの事 本のconditionハ何れ試作出来の上」「12時Ladonè氏にキリスト教の私の原稿渡す」「2h1/2田淵の処へ行きMme Georgesと家 〇往来すぐ入りて門ブルジョアの家庭 芝 室十許り」「◎フランス風St Arnoult (Dourdane近く) 庭とても大木二本と並木 川二ツ畑 ガラージュ上に室台処其他ベランダ三階等 (千三百)」「◎博覧会風悪趣味鉄道脇これはよくなし 千萬」「◎農家改正これ又表通り内庭 納屋草原千百万等 二番目のがよかつたが一寸広い。」 [FT00550,149]
- 5月19日 「Tel Bandoの知人二人来巴画欲しいし私に会いたいとの事で断つた 画商丈けに渡してると言つたら信じない様子だつた」「昨日貰つた (田舎) のバラの花二枚クロツキーして」「Dali展 4h1/2 村山二人で行つて大勢の人人の暖かさぎて着しDaliと映画うつされ J. P. menard ジャンメール等居た」「Foretの妻君の姉さんの子世才の男 四才の時オカツパに頭してガラスなしの眼鏡かけてフヂタだと言つて写真とつたのがあると言つた」 [FT00550,150]
- 5月20日 「10h田淵誘いクリスチンとケイ三人とでJacques Gobillon氏の処へTelしてから行く Saint ArnoultのPetit chateau町役場の裏5000m×m 庭バルコン等は君代大気に入りなれど室多くchargeと女中庭師等の事思つてハとても苦勞多く切角の田

- 舎へ休養ならず 一應condition丈けき千三百万 税金百万以上等 1hすぎmoulinも見に行く 風景かん境ハ第一なれど改造改築其他でとても一財産かかり」 「4号バラ一枚 昨日貰ったバラ大輪二ツキャンパスに墨がきす」 [FT00550,151]
- 5月21日 「サポニットMme Laurent返事なくもう問い合わせの事もなし。水車小屋ハあきらめた。又フランス風の家も大きく手間使用人等の事で君代の苦勞昨夜から大変 苦勞がふえて休む家が反対になるのでTelしてGobillon夫人にことわる。千三百万の家5000m×mの土地つき」 「バラ一枚4号マダグリット 矢車草 けし 5号墨がき一日仕事した」 「訪問 6h スーチンの画?かとききに来た。すこしスーチンくさいがdeforméなく上手すぎてボロスキーのサインもあり。8号位40枚持つてる夫人は自分の画が下落するのをふせぐため外の画は偽作だと言ふしExpertハ皆無知だとスーチンの友人にきく事が一番と言ふ」 「6h Mr Chomette Vichy近郊のローメンの寺のシャベル壁画たのむとて来た (decorationの他の大家の名き、に来る事は言い訳で私にたのむためだった。Chateauxに居てくれとの事断つた」 [FT00550,152]
- 5月22日 「花三枚ローズ 小品 (けし マーガレット ブリュエ) 5, 4, 4□アリ 油かき仕事」 「プラード夕方来てSt Arnoultの家一緒に行つてくれとたのミ すみこミの人は一度入れたら出さない法律の事等きく」 「夜田淵二人来て 二人でいろく家の事話 切角買つても売る時ハ中々むづかしい等 やめた方がいいとの事で 私たちも賛成して外の家さがす事にした。」 [FT00550,153]
- 5月23日 「10h1/2 Petridesへ行く [……] 15バラ 480 10バラ 360 10パンの少女 360 三枚届けて」 「仕事せずアブストレ二枚紙にやって見た」 「4h1/2 石井好子三吉の女房朝吹京子二人来て君代と女房対亭主の話 君代受け身 二人の盛んな事高田女史も来てシヤンペン二本のんで帰りがたらず い、気になって煙草はプカク 世の中ヘツチラで可笑しかつた。案外敗戦後いろくお金の事で苦勞多く大したこともなく将来も心配だか働いてやるより外なし等」 [FT00550,154]
- 5月24日 「Petridesのポスターパン持つ娘かいて石をギヤール呼んで渡す (石はンは持つてきてあつた)」 「アポカリプユスの様な太平洋今回の大変大つなミ チリー日本は特にひどく六メートルの海の壁北海道は一番やられた メキシコ、ローサンジェレス、アラスカ、ハアイ、シドニー (オーストラリア) 日本の沿岸皆大風今年何にか異変ありと預言出たの見た事あり、やつぱり当つたと思ふ気の毒な国だ。」 「近郊で絵はがき沢山買い、厚紙カンソン アブストレ三枚目かいて見て上出来。」 [FT00550,155]
- ※チリ地震津波 (日本時間5月24日未明)
- 5月25日 「朝刊チリー アメリカ海岸 ロス メキシコ ハアイ 日本 噴火山 大風 つなミで特にチリーと日本ハえらい世紀の災難に出あい八百人の死者、十五萬の家を失つた人出来た等の報導」 「Tel石版やして昨日渡した試しずり三枚昼前届けてくれ 色つけして夕方渡す事にした」 「Foret姪と二人来てDali 汽車でスペインに送つてきたと」 「Dr ツルックの肖像かいたの dessin 鳥の子 厚紙にはつて上げる事にした 娘。4h Dr 来てクロツキーと共に二枚上げた。」 「Radio日本の津浪の事切りに報導した。チリー火山8つも噴火してる」 [FT00550,156]
- 5月26日 「三枚額に入れた皆花許り」 「岸反対のデモ日本は大変だ。TVも二日続けてあつた」 「Prade夕方来てテープレコーダー (1450NF) ドイツハンブルヒより持つてくる」 「二科 織田広喜氏一寸来た。」 「肖像クロツキーかく」 [FT00550,157]
- 「Minifon P55 Prade二人テープレコーダードイツ1450NF. 持つて来てくれる [函: レコーダー]」 [FT00551,067]
- 5月27日 「石版Guillard氏来てAfficheへFoujitaノ字くばりの相談して来た」 「2h1/2 Mme Georgesの処へ行く二人で田淵居らずGobillon氏も加わりシエブルーズ スイス人のブルジョアの家 庭 ポフラー 池 果物園等よけれど余りに家よくなしやめた (千萬との事)」 [FT00550,158]
- 5月28日 「Gita南米より手紙と展覧会の序文に私に習つたとかく」 「肖像3号 (額はペリデーズの古いもの ビトリンにウトリロとジェヒーと三人並べると) かきバック私のタイル子供三人かく」 [FT00550,159]
- 「自画像 バック子供タイル四枚かく」 [FT00551,068]
- ※ジュヒー: ラウル・デュファイ
- 5月29日 「自画像油え (3号) 仕上げ おとなしく出来た」 「TV [……] 夜アポリネールの事 Salmon出た 坊主見たいに頭へなつて性格あつてよかつた。」 [FT00550,160]
- 5月30日 「10h ペトリデスへ 三枚25 5号 マーガレットケシ矢車 20 4号 20 4号 バラの花 届け喜んだ。」 「私の六月廿八日一七月廿日と個展決定した。すこし遅いが私にはかまはぬ」 「シヤンゼリゼーでテープレコーダー Minifon説明きく もつとい、機械二ツもありこれハとても複雑だつた 私のでい、と思つた」 「一枚アブストレかいた。紙」 [FT00550,161]
- 5月31日 「河村氏熱海に地処見つけ新築もし御帰朝の上ハその家差し上げたい等とにほはせて来た。そんな事で帰る私でもない 朝二枚アブストレ紙にやって見る。朝吹京子へTelして映画見に行く事にする 10h1/2 Etoileノ映画かん 京子さんと白洲さんと四人外三人許りでお岩さん四谷怪談 (シネマスコブ色) ととてもよかつた 両方の女につかまつて恐いくで物凄。殺人場沢山。こんなの見た事なし。」 [FT00550,162]
- 「11h1/2 映画日本見に行く事。川喜多氏の代理店白洲氏 京子 四谷怪談。」 [FT00551,069]
- 6月1日 「土橋来て 岡村氏お父さんの本と鳥の子大紙沢山持つて来てくれ、箱書き三枚 (つるや) の分渡し」 [FT00550,164]
- 6月2日 「二枚バック古代風家根等と二本木立つかく」 [FT00550,165]



- 6月3日 「仕事二枚油1号小児二本の樹 2号 古代風屋根塔等のものかく」「雑誌読む(水また病)等日本は騒いでる。気の毒な貧民を何うにかして救へないものか」 [FT00550,166]
- 6月4日 「いろく デッサン竹ペン作つて日本紙にかいて見たりアブストレ又一枚昨日のを仕上げたりする。試しだ」 [FT00550,167]
- 6月5日 「オ一日目仕事 80mの大作キリスト十字架外四人かき出した 厚紙の第一クロツキータ方迄仕事」 [FT00550,168]
- 6月6日 「オ二日目仕事 十字架上のキリスト初めた墨がき80m初め」「午後 二人の盗賊かき夕方迄三人大体かく仕上げは出来ず。面白し 丁度うまく行つたが油はじいてすミうまくのらず苦勞する。」 [FT00550,169]
- 6月7日 「オ三日大作 下マドンナマグダレーナ等と下半分足等かく」「5h1/2 タルタス氏来て本の事。Japon二冊 外十冊(一冊八万) 其他サイン代20万、支拂い 原画ハ別に支拂ふ事等。一枚二枚続きのコンシエルデのえかす」 [FT00550,170]
- 6月8日 「オ四日目仕事 主に夜かく」「画すこし十二時迄かき」 [FT00550,171]
- 6月9日 「寄附 昨日来た人又今日戦争遺児Vacanceへの救済 一枚4Pのベニヤのマドンナ寄附してやる 五十万円」「10h Petridesへアフツィシュ一枚届け 画ノ写真渡し [……] 自画像3 小女2 昔風 二枚」「11h写真や来てPetridesアスピリー等と写真うつして帰り」「第五日目大作仕事」「仕事午後一日やる」「二人の女性の着物 大■等に仕事 夕方迄」 [FT00550,172]
- 「Petrides行き 2枚 自画像3 古代風2」 [FT00551,073]
- 6月10日 「オ六日目仕事」「一日七時半から夜になって迄仕事全部墨がき終り金箔上の半円型迄おいてすむ サロンにかけて眺めた。」「午前中ギヤール石版100枚ペトリデース渡し25枚私用。届けて来た よく出来た。」「南米ノサザール氏夫婦で来て画集私ノ写真四枚渡し カメラでいろく写して行く うるさ方の人たち」 [FT00550,173]
- 6月11日 「オ七日目大作」「一日油えて大作ぬり始め夕方迄一通り天女小児二人丈け残してかき大満足 スカートの処夜気になる」 [FT00550,174]
- 6月12日 「Messe今日ハ失礼してキリスト様かいてるからと御免にふさる。法王様ノシヤプレおがむ」「オ八日目仕事」「油え又一日かく愈々完成に近く夕方迄」「東郷二度目に来てお土産 巴里がすきになつたので又来年三月に来る等」 [FT00550,175]
- 6月13日 「Petridesへ100枚エスタンプnumerité持たせてやつた。家にEpreuve d'artiste25枚おく」「Foret銅板ためしずり 2枚持つて来た。人の仕事でこれはうまくなし。私手を入れるため板又届けて来た」「大作大にかきて仕上げた 衣服二枚模様かく 何うにか膝おちつく。」「南米のサラザール(ヘーグの人) 画の写真見せたら欲しくなつて友人の大使に一枚かはせた大感心したらしい。」「第九日目大作完成」 [FT00550,176]
- 6月14日 「大作眺めてもう手入れる処一二個処調子落した丈けで完成」「Recio来て私が売つてパステルで色つけたクラシックな女ノ顔ノを見た人Lithosだと言ひ信せず Expert (Recioノ向いの人) も lithosだと言つたので 私紙の隅に水彩originaleとかいてやつた いいかげんなもの」「タルタスは用心していい本出すが気つけろ等Prade Foretの付言 数を制限する事やかましく しかし世間の人ハ大体皆こんな人許り 自分可愛い人許り」「評判 Recio曰く今日現在の生きてる大家皆旧作よくて近作より高く しかし私ノ丈け旧作より近作益々よくなつて高價ノ人は私一人だとの事 一枚一枚よくなつて行くとの評判。キリストの十字架ノ上は第一面にあり 足ノ方ハ第二図に奥まつてる処等トロンプ、ロイ(ノ面白い処だと不思議がる。)」 [FT00550,177]
- 6月15日 「朝から二枚 3号女下向き 2号小女並木壺すミがきして」「4h. Sèvres、萬国小児教育 Centre international d'Etudes PédagogiquesでMiki SawadaさんのOisoノ戦争の会の子 黒人アメリカ人メキシコ人等の8才-12才位の子の画 40又50枚見てとてもいい色 ただ日本人のミの子とは異つた。」 [FT00550,178]
- ※沢田美喜(1901-80) エリザベス・サンダース・ホーム創設者
- 6月17日 「今日もオ二日目アポカリプス地獄すミがき初めて半分夕方迄かく」「10h Petridesへ80m Crucifixion 403にのせて運ぶ 隣の人心切に毛布ひもかしてくれ。」「11h1/2 Petrides帰つてきてベルネムの人とルノアル四枚ルオー、(とてもよし人物全身二枚小品) ルノアルパステル、スーラ人物肖像等の中に私の80m置いて見る。恐ろしき事なり。私のハ私としてのものが分る」「TV 日本ノ議会前ノ大そうどうまるで戦争だ。昨日は四萬人明日は廿五万と言ふ」 [FT00550,180]
- 「(9h1/2) 本雑誌 Terre d'Europe Jean Robert Delahaut」 [FT00551,076]
- 6月18日 「Tel Mme Georges 田舎の家サンタルヌーより小型のあり 来週見に行く事にした」「私は地獄すっかり描き上げて色つけして仕上げた。薄紙に上半分の下図ないので写したりする」 [FT00550,181]
- 「パルシュマン地獄かく 夜下図も写す」 [FT00551,077]
- 6月19日 「昨夜写し残しの天国の下画写し終り、更に地獄の銅版下図一日かゝつて新らしく大型に画き終へた」「フランス一周ノ自動車の記念スタンプ下図いろくかいて見る。難しい」「岸さんTVで出で安保條約昨夜十二時に自動的に成立益々デモ盛ん女ノ子の第一ノギセイ者に花捧げる祈る人々写つた。」 [FT00550,182]
- ※女ノ子の第一ノギセイ者:6月15日、東大学生の樺美智子が安保闘争で死亡
- 「地獄の下図かく」 [FT00551,077]



- 6月20日 「10h頃 Foretノ姪Tour de Franceノ消印のクロッキー二枚とりに来た シクリストの前後からシルウエツトかいた」「今日ハ紙で小屏風作つて銅版アボカリプス第三図彫り始めて面白くなり下半分一日かゝつて午後彫つたが」「3h 君代と二人Petridesへ二枚3小兒と2女と届け愈々明日開店とて私のは二階上つた処の左側にスーラ左とルノール右の中央にCricifixion飾つてくれ 大に名誉だと思つた。天下ノ巨匠の間のいい場処に入つた事ハ私がたのむだ事でもない 君代いろく フランス語使つて誉めた」 [FT00550,183]
- 6月21日 「私の早起きを君代仕事したいからだらうと言ふ 実はその通り昨夜も銅版の一部分やりそこなつた夢見た」「理髪して銅版針其他ニスタンポン等買つて帰り 銅版大にほる。」「Petrides 5h 開店の日 花到る処 ブユッフエ上下にあり。[……] 大変私の画誉められる。」 [T00550,184]
- 6月22日 「銅版地獄ほり上げて仕舞い。」「6h Canada Stern氏来て二人 二十五 1,500 ポヘミヤンの娘車の前 カナリヤかご 風船等 十500 こじき二人めくら、シルクハット 十500 女半裸体ベツトのバック柱アリ 4 300 女の細長い顔 寂しいもの ——2,800 これを5,600ダラーで貰つた。」 [FT00550,185]
- 6月23日 「アシジの風景15号にかき出し一日かく。」「4h 二人ビエール辺で大雨 オルセイにてはれ Mme GeorgesとPaul Fortの家のあつた方のプルジュアの家 1300万見せてくれ。子供廿何人世話してる人の家 プルジュア、テラス、庭畑等よくなし礼に5000やつてバラの花くれた」 [FT00550,186]
- 6月24日 「Florence Fels 本やのたのミ岡倉天心の茶の本のさしえたのむで来た」「一日Assisiかいて出来上がった。午前中、午後一寸Assisi十五号仕上げて出来た。」「堂本 今Orleyに着いたとて音楽家の若い人と二人 大福(十時半遅れて堅くなつた) サンシヨの小木一本大事に届けてくれて直ぐ朝吹の処へ泊めて貰ふとて行つた。」 [FT00550,187]
- 6月25日 「朝から十号Vaugrigneaux老樹の間の塔かく すミ油え迄にして夕方明るい内に終つた。」「額縁やR.GへカナダのSternの画四枚渡した。Livre d'orかいてくれとたのまれ」「君代二階額縁の処整頓始め、枠80F二枚7700届けて来た高くなつたもの早く外の枠も注文しようと言ふ相談す。」 [FT00550,188]
- 6月26日 「君代 new yorkの額の枠注文寸法とる。」「一日銅版四つ馬ノ銅版あり手をかへて全く私のものとする。私が始からやる方がやり易い。」「皇太子と美智子の赤ちやん 写真TVで出て全く口の小さい日本の人形の様ないゝ子だつた。今日はagreableの日本のnewsと言つた。余りに最近議会前の大さわぎ続いた」 [FT00550,189]  
※皇太子と美智子の赤ちやん：長男徳仁(1960年2月23日生)、第126代天皇(2019年5月1日～)  
「寸法 new york 101×76-3枚 76×63-2枚 69×51-1枚 私の椽作 外40m」 [FT00551,080]
- 6月27日 「二枚ニス風景ぬつた明日届けるつもり。」「銅版大に彫つたりして三枚仕上げた。気持よし」「6h 額やR.G ボナパルトのLivre d'orに女かいてやる マチス ルオー コクター ジュヒー バンドンゲン Villon プラマンク シヤガール 始め皆かいてるので驚く」 [FT00550,190]
- 6月28日 「10h 15号 480 Assisi 10号 360 Vaugrigneaux持つてPetridesへ行く 未だ画其の儘 今夜又ハ昨日朝かけかへとの事。」「銅版愈々出来 3h Foret姪と来てAcide出して つけたりして第一回始め 雨戸開きてくさし。又ベルニ加筆 明日する筈 これで肩軽くなつたForet大崑び 第三枚目バルシユマン地獄渡す キユベツトForet持つて来てくれた。」 [FT00550,191]  
「Foret 銅版見に来た 硝さんにつけた。モリシュール。加筆等。バルシユマン三枚目渡す。」 [FT00551,081]
- 6月29日 「銅版三枚出来。」「朝 8h1/2 Foret映画写しに来た 銅版ほり消酸其他ふきとり完成迄」「私のポスター角の洋服やで見た せとものやで古九谷井12000と古皿仕え4500づ、買つて個展の記念にする」「3h 二人出かけPetridesうまく夫人かけ終り梯子だんの処やつてる最中。花や等来てた とても画が明るく美しく見え。」「一億法もかけたGalerie私ノガオ一回個人展で申し分なく気の毒なれど殆んど赤札許りで残り十三四枚ありしも私とペトリデスの所蔵を引けば五枚位売り画あるぐらいなり。」 [FT00550,192]  
「ペトリデス飾付出来満点」 [FT00551,082]
- 6月30日 「個展」朝朝銅版三枚渡す 8h1/2 PetridesよりTel 私の展1階にありとかいてくれとのたのミ」「3h [……] 個展に行く 土橋ルクサンプル展から帰つたとて一人で居た 7h迄大勢の人来て皆賞讃思いがけぬ人々来た。[……] ウトリ口夫人 バロール カルチエ、等 伊原にかんじょうして貰つて57枚あり 十枚許りハPetrides所有で売らず。皆売れたとて断り Micheline SandrelとRadio 吹き込む 面白く自然に出来た。蚤の市へ走つて行こうで終つた。」「TV.夕方Petrides閉店の時の写り私の十字架も写つたとの事。」 [FT00550,193]  
「(五十七枚) 吉 Vernissage 個展」 [FT00551,082]  
ポール・ペトリデス画廊で第6回の個展を開く。[『別冊みづゑ』27]
- 7月1日 「3h Petridesの処へ行く Prade来てTV写され三人で十字架の前Assisiの前にPetridesと立つ。Mme Franchi等来」「ブレンダンSarrant 君代と私別々に握手 手を離さず 永年見て来てるが今度の画ハ変らぬ永年の仕事以上に光も色もイタリアの古画等の様なものもよく取り入れてあり 最高のものだとて賞讃された。」 [FT00550,195]
- 7月2日 「カナリヤ返へすダゲールの鳥やの家へ。静かになる」「一日Foretの三枚の銅版色つけてかかり夕方迄これで一先づ終つた事となる」 [FT00550,196]

- 7月3日 「鳥居なくてえさの心配なく何んだかすべき事なくて困る」 [FT00550.197]
- 7月4日 「Tel 大使館交代の宇野氏大丸個展との事たのみ断つた」「80号白 大キャンバス二枚一日かゝつてぬつた えのぐ途中で買いに出た これで又次の準備出来た」「Foret 姪と来て Tour de France の絵ハガキの原画渡す arrivé a Paris の分。500枚エッチングにすると」 [FT00550.198]  
「小水彩 ベルの夫人来て私の作?かときく。Tel あつた人 母さんが持つたと マデレーヌのことも知つてた」 [FT00551.084]
- 7月5日 「京子。三菱ノトランチスダー貰い」 [FT00550.199]
- 7月6日 「以後外の日記に委し」「特別ノ粹届く」 [FT00550.200]
- 7月7日 「旅行」「13h50 Zurich 着」「Taxi で Cantonsspital e」「7h Dr Rossier に会つた」 [FT00550.201]  
「日本出国以来初めて飛行機のる。大した事なく、却つて旧式みたいだつた。」 [FT00551.085]
- 7月8日 「体温 身長 重量 血圧 腕ノ血 指ノ血 X光線肺 [……] 心臓ノコード電気で調べ [……] 眼の中けんさ、尻ノ穴」 [FT00550.202]  
「Dr にいろいろ君代のマンタルのトラブルを相談」 [FT00551.086]
- 7月9日 「血液けんさ 検便」 [FT00550.203]
- 7月10日 「注射。私の検便、赤い小便」「Dr Scheitlin 夕食後X光線 私ノ健康ハとてもいゝと」 [FT00550.204]
- 7月11日 「君代検便 私の血液けんさ X光線 私ノ健康ハよしと 君代ノモトテモヨシト」 [FT00550.205]  
「私の健康はとてもいゝExcellentだとして非常に日常も乱暴に暮さず、ホアグラ等も食べないだらう等とて酒も美食もしませんとて大安心 君代のも Très bien で」 [FT00551.087]
- 7月12日 「病院いろく 婦人科 庭散歩 明日胃液とり胃に管入れとて大心配」 [FT00550.206]  
「君代ハ8h から診察、けんさ、私ノけんさハ上々いゝと 君代もつと食べる事 パンはガス出来ると。」「大先生10h1/2 来て私no はとてもよくてFierだと 藝術家等の事きく(裏にかく)君代ハアリマンテールの研究必要だと 何にかすこし許りnormalでないとの事」 [FT00551.087]
- 7月13日 「愈々君代チューブ胃に入れる 中々言ふ事きかず 私入れて見せたりしてやつと入れたら楽だとして静かにしてた」 [FT00550.207]  
「大小先生来て私の健康ハExcellentで完全だとして解放すると君代ハ薬を上げるがこれ又健康だとして これでおしおき終つた御免なさいと手を合せた」 [FT00551.088]
- 7月14日 「明日退院してよしとて ちんぼこ管入れ痛し」「Rossier 先生曰く 私の健康はすばらしいし101才迄生きて保証された」「藝術家 文士、生物学者等の著名大家は皆健康だ 世の中の人に魂を与えて調和をはかる人は皆よろし 大衆とか政治家Avocat等始終戦つてる人にキャンセル等多く不健康で長生きしないと」 [FT00550.208]  
「Rossier 先生に画集上げた」 [FT00551.088]
- 7月15日 「大先生来て脊柱のはりユマチスで年のせいで仕方なし其の儘にして他ハ健康上々との事 一切何にもせずよしと 君代はもつとたべてくれ 薬二種 強壯ざいとしょう化薬 明日退院」「君代雀にえさやりに出てベランダでころんで腕痛め 2h 手首X光線すこしヒビ入りたりと」「4h1/2 石膏型外科医来てほうたいして大先生も来たり痛ミ止め薬のむ」 [FT00550.209]  
「美人のブルユンヌのスラリとしたかんごふに50やった」 [FT00551.089]
- 7月16日 「スイスより伊太利へ」「天気上々退院の日となった」「大先生の処方せん貰つて小先生5年たつたらいらしやいと」 [FT00550.210]  
「6h1/2 アスコナ Darsena」「9h1/2 VittelよりGeorge 着した」 [FT00550.210]
- 7月18日 「Taxi かりてL.8000 チップL.1000 ロカルノーへ行き」 [FT00550.212]  
「8h 朝めしパン等食べた 日なたほっこ等したりテニスしたり遊んで」 [FT00551.090]
- 7月19日 「Foret フランス一周年記念ハガキ来た 私の画」 [FT00550.213]
- 7月20日 「11h Fiesset スイスノ大臣」 [FT00550.214]  
「11h Suisse ノ外務大臣Fiesset と料理や夫婦来て昼食一時半。」「Petrides 展終了」 [FT00551.091]
- 7月21日 「Suisse に3h 五人で行く Brissago迄」 [FT00550.215]  
「Cautonsspital 16-7-60 合計1,678.55 病院支拂 [レシート貼付]」 [FT00551.091]
- 7月22日 「朝犬二匹黒木炭画かいてやる。Jip の誕生日(病院紹介其他の礼のつもり)」 [FT00550.216]  
「朝から犬の画木炭二匹 marke Eti? かき Jip 誕生日にお祝いにやり」 [FT00551.092]
- 7月23日 「イントラの市」 [FT00550.217]
- 7月24日 「Prade にモンパルナスの話大分した 私たち二人にハ手紙も電話もなく仕事もせず家事手伝もなく、何にもなし 本当に休養」 [FT00551.093]
- 7月25日 「Zurich Rossier 先生より診察書来て君代栄養不良と思つてめしたべながら悲しくなつて泣いたりする カロリー不足の事と判つてよかつた」 [FT00550.219]

- 7月28日 「Lalou夫人地中海上心臓急変 地中海上マルセイユに上陸 Lalou Genevaよりマルセイユへ行き巴里に救護車で運ぶ等大変な事起り皆心配」 [FT00550,222]  
「ロカルノーのデーヴフィールド、ロスの名かんとくスタンバーク私に会いたいとて5hに迎いに行つてもいゝ等の話あり」 [FT00551,095]  
※ジョセフ・フォン・スタンバーク (Josef von Sternberg, 1894-1969) 映画監督。代表作にマレーネ・ディートリッヒ主演「嘆きの天使」「モロッコ」など。
- 7月29日 「Berthe マルセイユへ着くとPrade 毛皮やダンフィールドとMilano 行き 一行六人でアスコナへ行く。キリスト18世紀130fsスイス買った」 [FT00550,223]
- 7月 「スイスに一ヶ月居た事になる。この年程休んだ事なし。」 [FT00550,226]
- 8月1日 「愈々君代腕のプラートルとる事にして」「11h 皆集まり君代の腕から石膏はずす。皆サインシャンペンのみ」 [FT00550,227]
- 8月2日 「10h1/2二人裏山よりObbeggio等スイスの方へ」「夕方6h1/2 Lalou Telegramme この上はかくせず重体との事」 [FT00550,228]
- 8月4日 「巴里に着いたGeorgeよりTelありBerthe右やられ四日間娘も分らなかつたり今の犬を昔の犬の名でよんだりしてとの事 René離れられずマルセイユに居るとの事。」 [FT00551,098]
- 8月5日 「朝風呂に入り小年時代想出の日記かく事にして」「4h Vergose 二人 Jipと子と五人スイスへ行き私たちハAsconaに残り」 [FT00550,231]  
「小供のとき居た万壽と言ふ女中がかいた事にして少年時代の想出手紙のかみに十枚以上かいて午前中かゝる」 [FT00551,099]
- 8月7日 「朝から下で下記した私の小年時代の想出他帳面に万壽女中のかいた風にしてかく写す」 [FT00550,233]
- 8月8日 「寂しき悲しき日」「昨夜電報でMartheさんとうくマルセイユで他界 (今日の空の如き悲しき知らせに心は破れ十字架に君はよりかゝれ) とReneに電報打つ」 [FT00550,234]
- 8月9日 「巴里へ一人帰る」「George Jip 私三人丈けLalou夫人木曜日の葬式に巴里に行く事にして君代、Vergose 二人George母 Helene Jacques小児残して11h1/2 Darsena出て [……] Lausanneより国境 Vallorbe [……] Lyon 駅 9h30分着」「10h一人で家に入る やはり家はよし」「手紙 (カルコグラフィキイ版權) 著作権小切手 Louvre 版画の金入る事」 [FT00550,235]
- 8月10日 「丁度昨日着いて明日ドイツに行く近藤の娘綾子さんが今朝から暇で一日会いたいとの事Tel」「ルーブルに3hに行き miro Venusの処とJoconde 丈け見せ 下で私の版画女夢一万で私買ひ浩さんへ土産にして」 [FT00550,236]
- 8月11日 「10h1/2 DodgeでPrade 二人とMenardと四人でNeuillyの大教堂寺院でMartheの葬式盛大 私の親戚の裏五列目にてすぐお棺の右横で泣かん許りになった。音楽バイオリン セロ 讚美歌とても美しく 12h前に式終り小雨の中近く墓地迄大勢お伴して行く 五六百人」「竹沢基氏帰日するとて来て独立の浦上正剛—この法隆寺模写ノ人四年 藤田久美子等と来て 11h迄 壁画ノ話沢山出た。」 [FT00550,237]
- 8月12日 「又伊太利行き」 [FT00550,238]  
「7h Lausanne満員ホテルなし」「VeveyにてHotelアリ」 [FT00551,102]
- 8月13日 「1h1/2 Darsena着」 [FT00550,239]
- 8月15日 「祭日 エレーヌ母 Pol四人でレオナルドの寺へ行きMesseはイントラでやる とてもいゝ音楽 歌 ニさん大勢居た」 [FT00550,241]
- 8月20日 「八月廿一日 私の母まさ子 七〇回忌 [図：蓮の花]」 [FT00550,246]  
「Deauville Kischka展ある日」 [FT00551,105]
- 8月22日 「Musée見物」「今日巴里へ帰りたかつた」「8h Stréa ile Borromée Place見物」 [FT00550,248]
- 8月25日 「アスコナで今日ローマオリンピック始めの式のTV一寸のぞきこんで」 [FT00551,107]
- 8月26日 「オリンピック女泳ぎ日本負けた。canada人の日本女三等とか」 [FT00551,108]
- 8月28日 「TV. 遊泳見てドイツの女英国の女に負けた可愛そうだった」 [FT00551,108]
- 8月29日 「イタリー巴里へ」「9h Darsena 出発」「3h ローザンヌ 4h 国境 Chalonで夕食」「1h10分前巴里へ着した」 [FT00550,255]
- 8月30日 「今井氏来て勅使河原氏 白木屋私個展の事たのまれたとてTelありて断つた」「手紙 兄と私と八千代さん丈けが母を知つてる生きのこりの人だとかいてきた。母上八月廿一日七十回忌の事 津波からまぬかれた 留守中 嗣雄 成井 毎日の人等二本」 [FT00550,256]
- 8月31日 「夜TV. オリンピック 山中二等になる水泳 荒井氏はどんじりだった。日本の国旗左側に低く上つた。」 [FT00550,257]  
※1960年ローマ・オリンピックの競泳男子自由形400mで山中毅が銀メダル
- 9月1日 「下のミシン機械上に上げ カナツペ上から降す事にしたら君代大掃除始めたとても使いよくなつた。」「午前中 delafont氏来て Terre d'Europeの事。来週又来ると写真Baptême一枚かす」「TVオリンピック リレー水泳日本山中藤本等銀賞二着 もう一つの方も三等賞だった 日本国旗二度上つたの見た。水泳の女すばらしい アメリカとオース



- トラリヤ せりあい次は日本なれど 外昼間のは皆アメリカ、ロシア ドイツ三国にとられフランスはたゞ一人銅賞をとつた丈不振 [FT00550,259]
- ※1960年ローマ・オリンピックの競泳男子自由形800mリレー (石井・福井・山中・藤本) で銀メダル、メドレーリレー400m (大崎・清水・富田・開田) で銅メダル。
- 「Terre d'Europe de la haut氏 午前中」 [FT00551,111]
- 9月2日 「5h Tartas氏来て印刷やGaitéの広場 Mr Andre Derue氏の処へ行つて紙貰いすれそこない等すこし貰つて来た 横長の大きいもの出来た一枚と私の肖像も出来た」 [FT00550,260]
- 9月3日 「一日仕事タルタス本 白黒二色位のオリジナル十冊Luxに入れる分 三枚印刷二人、歌手二人 栗売り少女 等かく。一日かゝる」「日本女水泳で三着よく見えなかつた 山中1500メートルで四着ハ気の毒」 [FT00550,261]
- ※1960年ローマ・オリンピックの競泳女子背泳ぎ100mで田中聡子が銅メダル
- 9月4日 「タルタスの仕事 今朝四枚かき昨日の三枚と加へて 三時七枚渡し又二枚かき結局六枚仕事した。本さしえ白黒一色ぬり。」 [FT00550,262]
- 9月5日 「タルタスの仕事 (小二枚 アヒツユール ジゴレット 二枚続き 鳥や 本がき一枚 バカボント) 仕事 全部すミ 私たちの本の分 法王謁見二人かく。一日かかり、「TV. オリンピック Box 日本人一人銅賞貰ふ」 [FT00550,263]
- ※1960年ローマ・オリンピックのボクシングフライ級で田辺清が銅メダル
- 9月6日 「11h1/2 Petridesの処へ行く 君代の小品芋むき返へして貰い 大作五枚明日朝返へしてくれる事たのミ いろく話して帰る。シヤガル二枚買ったもの見せたりする。」「(一枚法王一枚Baptême小さく紙にガツシユでかく本のさしえ私用Luxのものへ」「80F大イゾレル三枚前のえのぐや届けてくれアポカリプスかく筈のもの 6000frs. Tartas来て二枚ツ、キー。二枚小品Lux uniqueへ 一枚バカボンド渡した この前は石版にしたい等又今度は二度色にして五枚許りデッサン又かいては等皆断つて其の儘にさせる費用がかさむ事ハ分つてる」 [FT00550,264]
- ※イゾレル: isorel 硬質繊維板、ハードボード
- 「6h1/2 Tartas 大一小二、Luxへ一、四枚渡してこれで本すむ」 [FT00551,113]
- 9月7日 「80F 昨日一枚イゾレル白ぬり 今朝又二枚白水ぬる準備の事」「午前中Petridesより五枚大作届き男一人で上に運べないとか、大きくて梯子入らないとかいろく言う チップ欲しいからだらうと思つて私先に立つてやつて後でペコくしてる。皆ニスぬる必要あり 大作オー号 アポカリプスかき初め白黒赤がい骨馬の方一日デッサンでかゝり夜すこし色ぬつて見る 中々面白いが大変な仕事 うんと仕事すべき目下私のけいかく」 [FT00550,265]
- 9月8日 「私アポカリプス大作直ぐとりかゝる」「オ二日目仕事した。稍様子分つて来たらしいが未だ手にのらず。夕方大分よくなり」 [FT00550,266]
- 9月9日 「仕事オ三日目大作一日かゝり夜も十一時迄仕事調子出て来てはかどり面白くなる」「朝Andreに大作二枚24番Atelier かけさせ一枚額の重みで落ちた。画ハいたまず上々だつた額なしでかけた。買物にもやつた。ニス等 Foinet」 [FT00550,267]
- 9月10日 「10h 田淵雑誌の広告の家500万見に行く わらぶきでとてもいゝとの事 月曜日見に行く事」「海老原紹介の大嵩、Orakè 二科の人」「オ四日目大仕事大部分出来かゝる。」 [FT00550,268]
- 9月11日 「君代誕生日 上々天気外に出たい様な日 仕事の方大事でオ五日目仕事する事にする」「TVオリンピック最後の日 Journalたいまつ見たいに焼いたのハきれいだつた 大したもの 日本の国旗 ギリシヤ イタリー 日本と立つた。四年後の東京のもの」「日本八位 金賞四 銀七 銅十一 合計18 France 廿五位 ○ 二三 合計5 ロシアハ 103 金賞丈けでも43 アメリカ71 金36」 [FT00550,269]
- 9月12日 「9h 403にて二人田淵の処へ行く ケイ泣くのを連れて家さがし 坂の処の腰のまがつた杖つく爺さんの処 庭から地下皆丁寧に見せてくれGarageも風呂もなくて1500万と言ふ 3300メートル地処 [……] 又サンタルヌーの見本500万のわらぶきの家見る。しやれてルスチックにうまく出来て手頃のもの。Monfort Lamauryに行く いい町。コンスタンチン BB等居るとか」「4hに帰って画かき出し」「オ六日目仕事大作」 [FT00550,270]
- ※Monfort Lamaury: Monfort-l'Amaury (モンフォール=ラモーリー) バリ西方の町
- 9月13日 「ジャンルイバローの本扉えの事たのミCahiers」「オ七日目大作 昨夜かいて上の部分殆んど出来てた。一日かいて夜も十一時迄かく」「80Fの枠三枚厚いイゾレルの裏につけるもの注文した」 [FT00550,271]
- 新宿、伊勢丹で「藤田嗣治展」が開催される。[『作品目録』]
- 9月14日 「オ八日目大作仕事 一日かけバ完成の筈」「午后栗原信 [……] 日本の事 新宿の恐い事等 爺さんと呼んで三四人でとりかこむ話や私が戦後共産党が恐くて日本から逃げたと評判したし信じてる人もあつた等 私も初めてきいた事だ。」 [FT00550,272]
- 9月15日 「80F. L' APOCALYPSE 11. 4. 6.」「大作仕上げしてニスぬった オ九日目、午後大完成 満足」「Petrides Telで かいてくれ何んな大きさでもよく又價上げしてくれと。机辺かたづけ一仕事終り、Petridesの下がき二枚 (伊太利でかいた分を) を又かきなほしたりして」「ランカスター、リ、ヤングツシユ (私の青年時代の憧れのさむしい名優未だ健全だ



- つた。知人の様に懐しかった。ハッピーブローン中々の熱演 インジヤンの娘なりし事分る 見て感激して帰った」  
[FT00550,273]
- ※ランカスター、リ・ヤングツシュ：1960年のアメリカ映画「許されざる者」(ジョン・ヒューストン監督、バート・ランカスター、オードリー・ヘップバーン、リリアン・ギッシュ出演)  
※インジヤン=インディアン
- 9月16日 「Andre 25の広間の入口上の十字架はずして十字架の大作上にコンシエルズの梯子かりさせてかけ直したり 皿二枚もかけかへさせたりした 枠五六枚買はせたら又 Petridesにも渡すな 最小限為永等に渡つて日本に行くからと君代この処いろく(気使いすぎて苦しくなる)」  
[FT00550,274]  
「一枚カンバスに下がき母子。」  
[FT00551,118]
- 9月17日 「パレットそうじしなくても休ミ前しておいてすぐ油え仕度出来た。」「朝沢田の手紙 十三日より伊せ丹で私の展大変な人出だとの事なれど 英了と宮田が何にか話したとあつて君代の憤り一方ならず 破門一族からとりされとの事で一日くさつてた」「朝Petrides写真展のを四五枚運ちやんに届けさせた」「初めて油え乳のませる母と子かく 油えにした。又 4Fに小女童売る子かくこれは面白い」「機嫌よくなくこれ皆日本人の変んなの許りがうるさく私たちに関係を持つからで先方から来るから仕方ない。日本人が必要で日本人を求めて生きてる人にはこの事ハ不明不解だらうが 私たちは日本を念頭においてない 忘れさせるのも無理かもしれぬがうつちやつておいてくれ」  
[FT00550,275]  
「十三日より伊勢丹展ありたる由 沢田手紙」「初めて油え 5P一枚かき 4Fデッサン童売る子かく」  
[FT00551,118]
- 9月18日 「1 テモアン展二枚 Vins. chateaux」  
[FT00550,276]  
「テモアン展小画かく二枚」  
[FT00551,118]
- 9月19日 「香川鉄蔵伊せ丹展毎日主催 英了宮田富永氏 映写会あり。宮本の記事出た等委しくこれも二本手紙 君代大に憤る」  
「私はテモアン展小品に三枚 2 (gourmet parfum Monuments historique) 夜迄かかつかく」  
[FT00550,277]  
「日本伊勢丹展の事 香川氏手紙で分かつた」「テモアン展小画三枚かく」  
[FT00551,119]
- 9月20日 「日本人や日本でやる事皆気に入らぬ。事許り二人で話しあふ」「午前中仕事一枚小品 Cathedraleかく。Reimsと Notre dame (Maxim'sの Vinsノ商人) Stanley G Glen 夜 6h1/2 MenardアメリカChicago近くのVinsの大商人夫婦 連れて来た 近代美見に行つてたつた一人の画が気に入つたのは私のだつたとてMenardに話したら知つてるから会はせてくれとの事だつた。この間も近代美で私の画の前に長く椅子にこしかけて見てたら叱られた多分番人の椅子だつたからだと手紙よこした人あり。」  
[FT00550,278]
- 9月21日 「朝から又小品二枚 d'or Haute couture Vitrail 一日かゝつてかく」  
[FT00550,279]
- 9月22日 「受 石原展の事と画集の事」「日本の伊せ丹大個展の事人から手紙来て嫌だ嫌だと君代大に悲かんする。怒つて見た処で仕方なし。」「5 Tartas Mr Renaud (graveur) 連れて来て 二度小品返へし 十枚近く渡した受取りとつた。題字も渡した」「一枚コブラン Tapiserieかいた日。」  
[FT00550,280]
- 9月23日 「発 石原 画集断り状 断然ことわり 却つて日本がした事のために出版ハ嫌だと強く言つた。」「佐々木氏来て伊せ丹カタログ平野の分と二冊きりぬき(英了宮田)くれた。お上手に話うまい人だと思ふ。本当の事は分らぬ」「夜 ゴーガンの息子二人 70才以上。兄批評家 弟彫刻家 孫版画家 コンヘンハーゲンに住んでる人のTVあり。interview面白かつたが質問ハ平凡 若いモンハルナスの連中 アメリカ、キューバ、アルゼンチンに交つて濱口と堂本とが出た。若い人も幸だ。」  
[FT00550,281]
- 9月24日 「TV 5h Michelin サンドレルのレペテション行く 何にも知らず東京の顔とかで [……] 私ハガラスの裏側から顔かく二分だけ事 夜10h又行つて RecioのたのみMichelinを救助するために嫌々したが、こんやの結論として大藤田が出てTVのために消す画(残ったら高い画)をかいてくれたと云つて私に謝した。」「もうこんなに出ない様にと君代の注意至極尤もなれど 人間交際上そうはつきりも断れず これが私の欠点だらうがだんく改良も出来ると思ふ強くなれく」  
[FT00550,282]  
「大枠三枚届く80F イゾレル裏打ちに」  
[FT00551,121]
- 9月25日 「小カンバス七枚許りはつた 4Fにすゞらんの花持つ女の子油えかく Petridesの分」「Apocalypusの大カルトン三枚枠に張つた。幅大きくてノゴリカンナで幅ちゞめたりして成功よくなつた。」  
[FT00550,283]
- 9月26日 「英了、フランスから勲章貰うとて崑んで自分の事丈けかいて来た。」「中河与一 伊せ丹の事委しくかいて来た。」「Fujikawa Galerieかつぶし1本送つて来た」「Mme Tartasに原稿渡す」「白いろくカンバスと板十七枚にぬる」「夜大嵩 Otake氏来て海老原が私を保証人に一人ぎめしてよこした鹿兒島縣の派けん画家第一号の話きく。私の画よく見て行つた。仕事してるのに感心してた。」  
[FT00550,284]
- 9月27日 「Monfort l'amauryのNotaire George Labadie氏 3 Av. du gl de Gaulleに行き 紹介の未亡人の家 5500×mの地処付き(2000 fms m×m) 3000万とかでとても話にならず Garageも不完成画室なしで庭はよくとも中止して 帰りに田淵近くの出版ヤタルタスの家へ行く これハ本当にいい家で農家改築シヤバルもありデンマルクの版画家二人居た 妹 ひげの彫刻家等気持よし」  
[FT00550,285]

- 9月28日 「この処仕事はかどらず何にから始めていゝか一寸手が出ぬ。」「白油でカンバス七枚位下ぬりした。」「法王様ノメタル出来たとてYendisに届けさせて胸にかける割合に軽し金より軽いもの。これで嬉しい願ひ届く。」「昼前土橋美代子泣いて来て日本滞在中からゴタく起りうまく行かず 帰巴昨日五日目ニツ顔にジューフルした等毎日泣いて暮して何うなるかとて来て野間の娘と出来たと思つて日本の日動の神さんにたのんで両親にかけ合う事等の事でびつくり 同情はしたが婦人公論記者の島田しづ子と言ふのがそうでないかと言つた事から話がすつかり変つて 日動に電報打ち手紙の件一時とりやめ(手紙又夜かく) 4h大使かんにTelして関口のTelしらべ 夫人と美代子リラ辺でRendez vousやはり島田さんだと分つて大変だと [……] 11h迄その話 一日美代子慰め私たち二人丈けがたよりとて可愛そうで折角こゝ迄やつてのり切つた事がもうすつかり駄目と美代子に同情して 皆この頃の女のせいだらう 土橋八人の仲もよく人柄もいゝが女のために迷つたのだらうと決論した。」「コツキユの一舞 大人のいたづらは大変なことになる。」  
[FT00550,286]
- 9月29日 「一枚10P母と子かきだし墨だけかく」「[函:法王] 8h Prade来て始めてSt Pèreの額ロンドンからLalouさんの送りものとして貰つた。すこしやゝコシイ私の趣味ではないが仕方がない」  
[FT00550,287]
- 9月30日 「B. B. 自殺未遂事件newsで一杯だ。」「午後仕事 de la haut氏ノキリスト誕生さしえ等すこしかいて見た」「土橋美代子Telして又一日悲観日本人飛行場迎いに行つたり食事したりしたと 昨日とうく夜あばれて皆いろくこわした等とうくやつたらしい。気の毒何にもならぬ自分の反せいより外なし。」  
[FT00550,288]
- 10月1日 「Henri Corbière氏集めたも集めたprefaces と画(皆一通り皆大家) 私にも何にかかいてくれと驚いた熱心さ Votre idée est vraiment géniale vous êtes un ami sincère des artistes avec ma grande estime Léonard Foujita とサインしてやつた」「Tel Recio肖像画と近作としかへてくれと云ふ人ありと断つた。6ヶ月も何もくれないとベトリデーズ3ヶ月画渡さず入金もなし」  
[FT00550,290]
- 10月2日 「Basilica Vaticana 二冊8000frsで買った。1846年の本いゝ本 Expectoの蔵書版あり。重い本 本やAuto迄運んでくれる」  
[FT00550,291]
- 10月3日 「Vaticanの本朝よく見た。」「10号上に洞穴下に岩すミでかく」「Tel Jean Louis Barraultのさしえの事Telあり。」「Tel Petridesアメリカ大使夫人肖像かいて貰いたいとて断つた。肖像ハ御めんと言つたらVous avez raisonと言つた。」  
[FT00550,292]
- 10月4日 「10号女、母子、油にする。」「小壁画一枚半、切手牛乳かく。」  
[FT00550,293]
- 10月5日 「一日壁画小品 画家、発明家、牧童Elevage, musée ジコンド かき出して大分出来て来た。」「午後Tartas本の題字見せて来て小デツサンのカット字の下に入れたいと。」  
[FT00550,294]
- 10月6日 「壁画 floralie花 Savant Regie タバコかく」「夜ジャックカラーの版画eaux fortesとてもよかつた 40にならずに死んだとの事 フロランスローマ時代巴里にも町あり Nancyノ人も大衆ハよく知らぬ Jacques Callot (1592-1635)」  
[FT00550,295]
- 10月7日 「赤十字社寄附 La fontaine の事 本二冊 手紙」「岡見水え特別号出すとの事 君代不快となる」「村山つゞいて岡さんにTelしてみずゑの事きく 仕方がないだらうとの事 君代負けた。日本にハ悪い奴許りふえて人鬼の居ない内にと言ふ様事許りしてる」「Jip 2h 前Telで affreux の news François Taittinger Auto事故で死んだ Près de Sarryとの事 委細ハ分らず涙下る。運命の恐ろしさはかなさ。私の名付親の父のLalouさんの夫人 私の母の側の夫人の夫が二人とも死んだ。父と母はのこった。パーラン マレーヌ」「Kischka来て突然今年かいて来年出品 la Richesse de la Franceとてもいいと言ひ Recioハ好まず? モデリアーニの dessin ノ写真真の Portrait ノ処に使ふ事」  
[FT00550,296]
- 10月8日 「本や Andre Poursin 3 Vol La fontaine ill. Granvill NF220 2 Vol la fontaine ill G Dore 350 - N.F. 570 (コーラボーケールの主人に会ふ。本がとても好きだと。) 英国の鳥の本七冊百二十万のはよかつた」「Jardin de Mode Age mecanique ノ画ノ写真出したいとてとりに来た」「Tartasに扉題字の下に石の家出版ノかけ札かけた小dessin夫人に渡しダリヤ貰つた」「ジャンルイバローに歌舞伎矢ノ根を一枚小dessin墨がきする」  
[FT00550,297]
- 10月9日 「仕事もはかどらず 一枚丈けHuitreかく」「夜田測来ているく話いゝ家友人買えなかつたら(五百万位)話して見る等いろく画壇日本との関係 日本が可成必要だ等画商の話 実際の打ちあけはなしして十一時帰り」  
[FT00550,298]
- 10月10日 「角南きりぬき 嗣隆 田原広子」「日本からハ又嫌な手紙許り。こゝへ来た京子が写真見せたりして大にやつてるが別に礼状も来ず。嗣隆ハ古河工業に来年入る前に十一月十二月巴里へ(三四日泊めてくれないか)来たいと又々かんしゃくの種子許り 角南のきりぬき見せない方がいゝ位だ。伊勢丹は100円小供70円の入場料もとつてるにハ驚く」「朝Andreオデオンへ使い dessin 矢根 Jean Louis Barrault ノ分渡しにやる」  
[FT00550,299]
- 「2h 15m 区役所展へかす事 4 F. 堇持つ小女かす」「9h1/3 Tel 10h Théâtre de la Franceへお使いにやる 矢根のデツサン」  
[FT00551,129]
- 10月11日 「汽車中新聞見る ピカソ Cannes l'Californie 三千五百万 Chateaux de Van venagues一億。又近々 Notre dame de Vie (Près de mongis) 一億八千万買った。朝は11h迄ねて夜丈け朝 4h迄かく。一枚五千万で一ヶ月四億かせぐ世界一ロックフェラーも負けだと画の力はすばらしいものだ。こんな人ハ二人とない。」「10h10分 Reims着、サンレミイへ寺へ行く丁度又去年十月十四日 Baptême の時の様にマネージがかゝつた [……] 一時間半の遺族への弔問つづき」「ベアトリ

- ス丈は本当にしつかりしていたので感心。死ぬ前最後の会話は小児の肖像フヂタにかいて貰いたいとの願いだつたから誠に申しにくいが私の一生の願いで肖像画かいてくれとの事承知した。涙が出て声がつまり今年一年の間に父の妻君母の良人を失つた私丁度一年目の今日Baptêmeに来た事 私が父母を守つてる様だと言はれ」 [FT00550,300]
- 10月12日 「PetridesへTel 9hすぎgolfに行ったとの事 11h1/2に会う事にした。三ヶ月以上始めて10、5、4三枚持つて行く事 アメリカで大展しないか等当分その気なしとて断つた」「仕事三枚chasse chevaux Edition 3 仕上げて」「仕事アボカリプス地獄編大作上の半分のデッサン木炭と鉛筆で夜一時迄かく」「8h1/2 20何年振りかサンパロで会つた内山岩太郎夫妻今日巴里に着いたとて「……」 さつまさんも中気 福島繁太郎も中気。皆私のいゝ時と又反対に立つた人々、運命だ。さつまの如きハ大分悪口かいたとかドーリー夫人の肖像(高野の作)日動にさらしてる様子 人ハ落ち目になると早い急落下すると言つた」 [FT00550,301]
- 「五十現金 六十小切手 10号女と子供 5号女と子供 4号女とすずらん Petrides」 [FT00551,130]
- 10月13日 「アボカリプスオ二枚目地獄編今日一日かかつてかく」「日本浅沼さんたんとうで十七オの男に殺されるTV等マニフェスタシジョン見た」 [FT00550,302]
- ※浅沼稲次郎暗殺事件(1960年10月12日)
- 10月14日 「法王様秘書礼状」「始めてGipの家見て気に入つた。」「2h 田測の処へ行く 小供ケイ機嫌よし男ノ子パジャマで歩くシブルーズの村の家 農家 眺望満点 庭小さく表通りにあり 可愛い庭あり 水道電気あり、私の仕事場かくれ場によく、300万とて安い 君代ハそまつすぎると言つてもうちつといゝのと言ふが人出がゝる家でハ使用人に困る。こゝはいゝと思ふ 村と教会等とてもよし」「今日もアボカリプスのオ三枚目かき出し上の部分半分かく(えんぴつで)大水 原爆 火えんか 放射」「去年十月十四日バテムの日 [図：家] [図：十字架の紋章] 法王様の礼状と家みつかつた。」 [FT00550,303]
- 「田舎やいゝの見て」「始めて見て内心きめた天の与えだ」「14 Mairie du XV 5h XV展」「6h Seel holzer. Susy. 27ans, 36ans 肩付ず」 [FT00551,131]
- 10月15日 「朝からオ三枚目ノアボカリプスの下半分かき出し夕方迄大分かく。夜もかくつもりだつたが休む」「君代美代子へTel 土橋帰つたとてすぐ切つた 九月廿八日から留守にして サンザ美代子泣いたが帰つてすこしはやさしくしてくれると又Telあり安心する」 [FT00550,304]
- 「Zurich ノ葉たのミ夜とる」 [FT00551,131]
- 10月16日 「アボカリプス三枚目又下半分かき上げに仕事初める 色々方ぬり初めた 私、一人で午後も夜も仕事」 [FT00550,305]
- 10月17日 「Prade Marocよりハガキ Andre Warnod死んだと PetridesにTel 先週死んだ 葬式すんだとの事 知らなかつた」「9h1/2 田測訪問家主負傷病院へ連れて行つたとて11h1/2にクリステンケイ三人と十月十四日(去年バテムの日)ノ家もう一度見に行き庭前5メートルアリ。昨日人見に来て明日夜返答するとて早くした方いゝと神さんの話で夜ベルサイユへ行く事にして」「オ三枚目アボカリプス昨日の続き右の中央船くらい室等かく」「8h ベルサイユのカツフエからTel してMme Pierre Houzé 33 Rue des Bourdonnais Ver. 53-77 8h-9h30 matin avant 8hに田測かけてくれ 8h1/2訪問三階 夫人飛行将校未亡人 弟と二人 お母さんの家 Villiers le Bac (ピストロいとこの人) [図：道路平面図、家]」「240 (250内窓直し10万引き) 100地処」「①50萬手付金打ちて話決定 大崑びでいる(計画改造の話盛んに田測の処でシャンペンで祝つて楽しく寄望で帰つた)」 [FT00550,306]
- 「手金打つて本ぎめ [図：家、地面、道路平面図]」「1 50萬手金打つ」「403 横腹トラツク事故」 [FT00551,132]
- 10月18日 「Tel 日本富士テレビ断つたら森繁と対談テープにとるとてこれも断つた二度Tel 話の分らぬ人」「仕事大に大水船の処部分と上の室の分一日かく。」 [FT00550,307]
- 「403 保険会社へAndre行く」 [FT00551,132]
- 10月19日 「石原。藤田藝術遂に勝てりと日本人を人くい人種と言つて来た自分もひどい目に会つた」「②第二回Maitre Pinon 20,000N.F.」「私の田舎家の事は田測丈け知つて唯れも知らぬから面白い。君代も私のためのものだから勝手にしろと言つても不潔ハ嫌だし何んとなく話題 昨夜も今朝も田舎の事になる。出来上の想像力は女ハすくないから出来たら崑んでくれると思ふ。今朝の朝日の桃色等あの田舎で見たい。楽しみが出来た。」「4h1/2 Versailles Mme Houzeの処二人して行き弟さんに紹介され、四人二分でOrsayノNotaireに行き秘書小さい爺さん後でMaire とNotaire, Maitre Jean Pinon 出て来てWinsorさんの隣りだねとて一番いゝ景しきの処(焼跡と言ふ)だとして私もそのpaysageを買つたと言ひ、長く居て下さい有名人が随分すんで皆巴里の空気ハ悪いとて逃げて来るとcomtesseやcomte許り隣り地処311人上下のVilliers le bacle小さい村。」「200萬丈け小切手上げて 残り明日九十萬、登記価格ハ290万になつた」 [図：家と庭] [FT00550,308]
- 「仕事 一日仕事大分又下半分色一通りぬつた 大分進捗。」 [FT00550,309]
- 「2 二百萬支払 ノーテール」「二人四名して」「結婚書類」「我が家 [図：日の丸のある家、家と庭]」 [FT00551,133]
- ※ノーテール：ノーテール (notaire) 公証人
- 10月20日 「発 嗣隆断りここへ泊る事 La doué礼状カトリック本」「受 秀子、国沢、伊勢たん毎日6000人 100ツヅ入場料



- とつたと」③才三回Maitre Jean Pinon 9000N.F. 家残金 銀行へ百萬入れて小切手90萬切つてNotaireへ送る事にした。嬉しき楽しき日」「Foret今日来て銅版見せるとPradeも来るとの事 ForetノPARIS Presseに記事出た。Taittingerの馬を取りのく事もnewsにでたと友人の忠告として」「Mme Houzeに一昨日の受取50万返送した。」「Prade来た スイスのレストランの娘Brigitte Scherz Foret 姪と来てパルシュマンの本見せる 中々の豪華版 銀行の金庫に入れるとの事 ダリとFiniノさしえ見たが感心せず 皆夫れく百萬つづの札との事にハ驚いた。私ハ五百萬せい求した。売れなければ破産すると弱音吹き実費にかゝつて仕舞つたらしい。」 [FT00550.309]
- 「3 九十萬 ノーテル郵送」「Chèque手紙で送った notaire 支払」 [FT00551.133]
- 10月21日 「11h 鹿兒島神父七田和三郎 若い神父下田氏この人はこゝへ三年 二人巴里へ三四日後ローマへ行くとして来た。日本へ帰つたらカトリック連中に私の事伝へると祈つてくれた。」「一日仕事三枚目アポカリフス大分出来た。夜は十一時迄かく。」「3h Tartas こゝへ来て仕事 写真とりGaitéの印刷やで写真うつしDaguerreで鳥や写したりPetit Metierの本の宣伝用。」 [FT00550.310]
- 10月22日 「11h Tartas 誘いに来てGaitéの印刷や見てBievresノ家へ行く」「二時夫婦と四人Villiersへ行つてMme Martinに2万5000上げた 家売りの札。鍵かりて見梯子かけてグルニエ見たりそんなに大したなほし重大な処なし壁もよし なほる(ひゞ等) 診断して来て」 [FT00550.311]
- 「6h すぎ笠戸夫人 250万 日本館寄附 カサドノ室出来」 [FT00551.134]
- 10月23日 「アポカリプス才二枚目仕事 朝からかき」「ニスぬって3h10分完成出来上がり」 [FT00550.312]
- 10月24日 「アシジーの山の方のえ 8号に墨がきして」「日記帖旅行中の分写してこの日記帖明き間なき様にする」 [FT00550.313]
- 10月25日 「朝から8Fアシジー風景油えかく事」「イタリー三月末四月パツク法王謁見旅行の日記写し直しと会計簿又昨日の様に別冊に作り出す」「4h スイスのコレクシヨナル持つてたと言ふゲエテ通りのカルトンの人形の画 売りのまれたとてVillage Espagnole (15日前店開いた) 豹模様のマントー布地 (Dior) の女来て見せる 大分いたんでた」 [FT00550.314]
- 10月26日 「Terre de Europe 私の事出てる雑誌とTartasも出てる」「Gif sur Yvette Villiers le Bâcleへ行く 一度きいてうまく出て4Kの処の林ぬけて行く 田舎家の中の荷物皆運び出してありからつぽ 広くなつたが家が小さくてこれなら私一人で出来るとて君代始めて安心楽しそうになつた [図：家]」「Assisiの8F色又かけて仕上げた。」「3h Foret 姪と来て色(私)ぬつた分三枚届けて来た」 [FT00550.315]
- 「元の人の荷物運い出して空家になつた [図：家]」「Ex traits acts de meriage Notaire Orsay届け」 [FT00551.136]
- 10月27日 「3F 二枚かいた クロツキー ブロンドの子 肘机におくかき(すみがき)たり。」 [FT00550.316]
- 10月28日 「Mme Houze 土日に完全にGifの家の荷物運び出すとの事。返信Grenierのわらすて、くれとたのむ 屋根裏も使用したし。」「Tel Grosjean LucieとAnnie巴里に居るとの事」「Foret 姪と二人パルシュマンとsoix持つて来た 一通り皆21枚地ぬりした」「油 3F 二枚かく」 [FT00550.317]
- ※Grenier：グルニエ 屋根裏
- 10月29日 「クロツキー等かく 枠小七枚Albert届けさす」 [FT00550.318]
- 「1m-2枚 0P-1 0F-5 額たのむ 未払枠 枠1m-1枚は私のもの。」 [FT00551.137]
- 10月30日 「2h1/2. 今日Gifの家grenierわらすとの事で見に行く。大勢Martinの家集まつて、今朝Houzéさん来てわらの事たのみ相談 亭主mardi夜には出す等と言ひ。向いのGrande Maison 氏買ふ筈の500万ノ家(十年支払)とうく計算合はず買ひとりやめたとて売家の札出た。」「近処散歩してとうくきかずにchevreuseのPetit moulinへたどりつく 大変なAuto 皆森の中で茶のむ人二組か三組くらいで驚く [……] 又Gifに出るいろくの家あり君代門の奥の家だつたらと云つて表通りの家、多少気に入らず、仕方なし」「わら 親子で梯子かけて出していた。よかつた 大分室内のものは出してあり古材木庭に一杯出た。表の窓に鉄棒ある事とストーブ室迄ぬけてるのを見て安心した。」 [FT00550.319]
- 「仕事した。朝小児帽子(高い) かく」 [図：家] [FT00551.138]
- 10月31日 「朝ホテル時Louvreにて行つて見たく君代ouiとて10h1/2 久し振りにLouvreに行つて好きな画丈け見て12hに帰った大変な人だつた。いいもの見て来た」「クロツキーかいたりして」 [FT00550.320]
- 10月 「Villiers le Bâcle十月十日に見た家 Gif sur Yvette 18キロ巴里よりの家 十月十四日Baptêmeの記念日に天から授った様なもの 十七日手金打って 50万 十九日Notaireへ行き 200万 廿日残金送った 90万 —340万 廿六日家からつぽ 卅日わら屋根裏皆出してあり、夕方」「田舎家手に入る。私の74才の年末の望ミ叶ふ」「日本に帰つた時から七十四迄八田舎に入らぬと威張つてた その事 十年以上も前から七十四になつたら田舎へ入ると言つた事実現した 七十四から先きの私を見てくれとよく言つたものだ [図：家]」 [FT00550.321]
- 「考えてみると私も未だこの年迄別荘を持つた事はない。自分ノ家は建てたり買つたりしたがもう一軒の家を持ち遊びに休みに行ったこともない。又おやじ始め兄弟姉妹にしても別荘を持つたためしはない。日本の相当な人ハ軽井沢や箱根や方々へ家を持つてるのが普通だし近藤の様に山中湖とかに持つてる 持たぬハ私の一家位だ 本心に貧乏だつた。あの小さい家でも別荘と名が付けバ又私が一家の先覚者だと思ふと嬉しい。」 [FT00550.320]



- 11月1日 「今年のToussaintには新佛の多い事 私の周囲数えた丈けでも多数になった 菊の花でも持つておまゐりしたい人もあるが墓もよく分らないから祈つてる丈けだ」「田舎の家のこと二人で朝からいろいろ考えてる 君代も大分興味持つてるらしい事が分る。今度ハ私一人にまかせぬと言つてる。何にしろめし使い使はぬですむ事が一番いいと言ひ、人に教えず二人丈けのかくれ家にしておく事に大につとめてる。」「午前中から午後にかけて油画三枚小児かきバックに私の家三枚共かく とてもかき工合のいい家 これから何枚も何十枚もかく事だらう 私のサインと同じ事だ。と思ふと愉快 唯れも知らぬから尚面白い事だ。[図：家 (GIF)]」「Tel ローマオリンピック帰りの岩田 NHKの磯村夫妻と5hに来るとノ事なれど磯村来ず ハンガリーの女秘書六語話すSylvia連れて来た ロンドン明日アメリカ通つて十一月十五日に着くと 日本、オリンピックの日本人ハ皆閉口したと」 [FT00550,322]  
※Toussaint：万聖節
- 11月2日 「著作権 Parturier氏 アメリカEstampsロンドンにて売るものを押へると返事すぐ出す」「フランスの著作権保護は直ぐ活動ロンドンにて税関25萬枚のEstampおさへて裁判にするとの事痛快なり。」「白水梓カンバス小とイゾレルへ沢山ぬつて準備しておく」「白油カンバス下地ぬりして小七枚位作り上げた。」「柳沢健の遺稿等よむ」「私の頭の中は田舎の家の事で一杯だ。楽しいく計画と夢でねても起きても楽しい空想に暮してる。いゝ日陽のさす午后等早く庭に日当りしたい等。都会にあきた感あり。やはり小供時代の地となじみたい。もうすこしだと思ふと楽しい。そろく都会が嫌になつた」「5h Yves Brayer来て肖像かき合つた。赤チョッキ 南佛に三軒家あると」 [FT00550,323]
- 11月3日 「6h 法王庁法王即位記念日一年目の招待に行つて大勢外交官等小雨の中dodgeで行つた。パチカン近代美術かん出来るので私を推せんしておいたとの事。フランスの大家等、皆何んでもいい好きな画らしい。」「Petrides Telして来た何れ近々行くと言つたらMerci くとてシヤム猫かいて貰いたい有名人ありしも断つたり。」 [FT00550,324]
- 11月4日 「欲しいものも買いたいものもない。一通り皆揃つて着るもの等はあり余つてる。早く家出来れば何にかと欲しいものが出る事だらう。石だとか古材木だとか家具だとか楽しみの事だ。」「アポカリプス三枚目大作色ぬり始め夜迄面白し」「Tartas夕方本の箱の色見せ相談に来た 家根裏シモンアルメにしろと言つた」「Houzé Tel 家Gif皆とり払つたとの事」「André douy (ショコラ) 持つてMagdaleine Richard大きな年増の画家 新鮮な水彩の人の画見てくれとて来た」「クーポールに十日前から巴里に金山の愛人一中島弘子来ててビックリしたと」「田淵ミラノの展覧会すつかり売れたので大成功大崑び 隣の左官やの見積書持つて来て下のセメント打ちから始めたらと言ふ事にした [図：家]」「Tel ロンドンからPradeかへりマチューは評判よくなしと プラーグだと言う。」 [FT00550,325]  
※プラーグ (brague)：冗談、ほら話
- 11月5日 「Foret 10h15分前に来ると 一枚色つけ版画とりに来ると 地獄の分 Papier tinte」「田淵の処 隣の左官今日は休ミで行かれず 外へ行つた由。20.000手間賃(半金) 27500砂利砂、セメントートン 地下室四間タ、キ 十センチ深さの金田淵に渡し 田淵と別荘へ行く 木炭で壁等にしるし 切り開く処等しるしして田淵君代Andreも Grenierに上つてびつくり、すつかり柱等とり払い わらくずもなく とてもく上々のアトリエになる事 田淵羨しいと言ふ程君代もよかつた私のために一番幸だとして もうけものだ、見ずにこんないゝ室買つたとて三人驚き [図：家]」「2時ベルセイユのデモリシヨンの古がらくたや見に行く あるわあるわでびつくり。安いものもあり」 [FT00550,326]  
「田淵と三人 10h 今日天井裏のアトリエ見た [図：家] 20.000 左官手間賃 27500 砂利 砂 セメント 地下室四間タ、キ10センチ深さ代支払い」 [FT00551,141]
- 11月6日 「仕事 オ3回目アポカリプスかき色沢山ぬつたりする」 [FT00550,327]
- 11月7日 「朝 terre d'Europeのマドンナかく」「個展招待一枚 大分この頃個展多し。日本人のも随分多くなつた。猫も杓子もと言ふ処。それ丈けに興味が浅くなる訳だとしか思えへぬ」「10h 二人 gifでMartinバーさんに聞き角ノRestaurant le Petit Christで水道局さく。Lyonnais des Eaux Orsayに行く 私の事知つて、Gifハシヤルマンのcoinだと言つて今週木か金にハメートルつけてくれるとの事 950frs払つた [図：家]」「土曜日、セメント一噸其他 左官のBeau frèreノトラックで運び込み、来週一週間八日間暇費して仕事始めるとの事 セメントたゝき、天井も落したり、Grenierも出来るからやります等とて感心 ボツくやつて貰ふ事にたのむ」「Grosjean三人と思つたらTony迄四人で7h1/2押しかけて来て dinner私買い出た」「11h帰る ルオーの版画額共やつた 貰うものなら何んでも欲しい人だ。」 [FT00550,328]  
[図：家] [FT00551,142]
- 11月8日 「10h Petridesへ8号F Assisiの風景と 4P小女マーグリット、ペン一つづゝとつてるもの届けさせた。Bureauにシジューとスランの少女もう一枚三枚かけてるRenoir等と」「Tartas来て版画二色一枚色ぬりたのむ」 [FT00550,329]  
「Petrides 8F アジジー 4P小女マーグリット 350小切手 350ナマ」「403夜garageへ届くとの事(修理の上)」 [FT00551,142]
- 11月9日 「一日夜11h迄アポカリプス三枚目大仕事今日は随分進捗した。」「一日、アメリカ大統領のせんきよでNixon落ち Kennedy当選したnewsこれ許りTVも同じ。」 [FT00550,330]  
「水道局昨日来て田舎の家出る事メートル [図：水道とメートル]」 [FT00551,143]
- 11月10日 「午前中より3h迄アポカリプスかき殆んど出来た」「君代 lu et approuve かく事けいこ半日」「3h Orsay notaireでMme

- Houzeと其の弟Mr Jegot来て居て 私たち二人で一緒秘書の小老人よみ上げてあの家愈々今日から私たちのものとなつた」「家200萬 地処90萬に届けて登記料34萬8,200小切手でおさめた」「昨日水道局来てメートル付けてくれて水出る様になつた(Lyonnais des Eaux Orsay) [図：家(oujita et Kimiyo)、蛇口(田舎の水道)]」「萬事よく田測の処へ報告 Samedi 材料運搬□ち合せ」 [FT00550,331]
- 「私の 君代の 名義となる [図：家]」 [FT00551,143]
- 11月11日 「アポカリプス仕上げニスぬつたり油で一寸手入れたりした。」 [FT00550,332]
- ※11月11～15日、18～22日のページ切り取り、18～22日は別紙貼付 [FT00551]
- 11月12日 「ウレシイ日タノシイ日 [図：家]」「愈々田舎別荘改造着手オ一日目」「田測誘ってGifの家へ行く 左官二人(女房の亭主と田測の隣人) 今日材料運び込み 地下室 四室に水平線目もり引いて 泥運び出し始めてた。早い仕事だ。来週八日間Patronに暇貰つて続けて仕事するとの事 電気引ききたのむMme Martin。午前中でも二人で働いてどんく進捗 素人ハ叶わぬ」「Studio d'Etoile 山椒大夫(鷗外作) 田中絹代のをを見る 寂しい日本の芝居だ。」 [FT00550,333]
- 11月13日 「朝からGifの家の改装の事二人で話して何うしよう戸口を残そうか閉めようか等大に研究 一番楽しいし、又今日も行つて見たい様な頭から離れぬ。計画が多い」「一日赤十字社寄贈(20万はくれる)のLa Fontaine les Animaux malade de la Pesteと言ふのかきいろく参考書出して夕方迄かく」「人も来なくなつた。交際してるのハ田測位。美代子がこの頃毎日の様にTelしたり来たりする位。フランス人の方とも今ハ一番縁遠くなつて、実際こうやつて呑気に出来る事ハ珍しい注文其他ハ皆断り出品もせず、旅行もせず。田舎に居る様なものだが巴里でハ周囲が許さぬ。早く田舎へ行つて仕事したい。いろんな事を。銅版等もうんとしたい」 [FT00550,334]
- 11月14日 「朝から赤十字社のLa fontaine水彩(木版にするためにハ)でかきライオン狐を主題にしてかく 夕方迄かく」「Valtat 画家(82才迄生きた)息子と画商の人来て北平の力士の画見てくれとバツクの木版が木版らしいからたしかめに来た」「木版家ルノー?レノー?氏来て三枚見せてくれ上々。二色にした待ちのバレイヨール渡す」 [FT00550,335]
- 11月15日 「材料 セメント 土 砂利其他沢山家の内外に入ってたし、職人地下のどろ出して テーラスへ 地ならし、昨日一昨日ハ風ひいて休み 結局今日ハ一人で働いて二日目の事。安心して帰る [図：家]」「すこし小カツト赤十字かき」「夜赤十字のえ扉の小さいのかく」 [FT00550,336]
- 11月16日 「一日Foretの版画色つけして三通りと地獄許り六枚水彩出来た夜迄」「Foretにとうく400万で渡す事にした事君代に話す 外ノ人は100万だとの事」「St Remyの水道局Villiersの家へメートルつけの男行つて私とRendez vousするとの事 位置きめるからとの事 手紙何れPARISへとの事 [図：家]」 [FT00550,337]
- 11月17日 「Foretの仕事うんとした。夕方迄後三四枚半分のこり位にした」「Tartasサシエ一枚二色づけ白ぬきしたらと持つて来た。」 [FT00550,338]
- 11月18日 「地下室3/4出来後の1/4を今日中に出来るらしい。全部セメントで仕上げ室らしくなつて上々、これからハ壁のわれ目等鉄筋コンクリートでだんくになほすと大満足 バラの赤い実前の私の地処の始めてParisに持つて帰つてびんにさす [図：家(ドロ出た タタキ出来た)]」「君代庭が広いとて菑ぶ よく見学。」「Tartasに二枚gravure届けた」「Foretに廿枚許り いろつけ パルシュマン Vieux Japon其他 三種色つけ七冊分渡し後二枚丈のこりすんだ。」 [FT00550,339]
- 11月19日 「今日Foretの仕事二枚(パルシュマン共)出来上り。これですむ。気楽になってアイロンかけ等した」 [FT00550,340]
- 11月20日 「田舎の別荘の話しない日はない。一番私の楽しみだ」 [FT00550,341]
- 11月21日 「Palaiseauの保俵や La nationale M L. G. Tissier 178 Rue de PARISにて他五百万につけて一年5000法位との事 Contrat 送つてくれるとの事。他St Remyの電気会社 これハメートル板の位置とりかへは私の方でして貰つて出来て会社でメートルつけるとの事」「保俵の事にとりかゝる。電気の事 [図：家]」「田舎の家見た セメント 地下室 四つともタキ出来て、皆よくかたづけ戸をはめたりして後始末のいゝ事に感心した [図：家]」 [FT00550,342]
- 「4h La fontaine [図：赤十字] dessinsとりに来るとの事」 [FT00551,146]
- 11月22日 「10h1/2 Mare Vaux来てテモアン展出品ノ小品二組にして写真うつし。アポカリプスも三枚ともうつす」「Tel 私のBaptêmeノ時大分誤報されたRene Lalouと言ふ文士亡くなつてTVにも出た PradeからもTelあった 私のパーランは丈夫だ」 [FT00550,343]
- ※実業家ルネ・ラルー(René Lalou, 1877-1973)と同名の文学者(1889-1960)との混同
- 11月23日 「田測と相談家の改造の取どりいろく 手間賃残り20,000渡す処(材料費の余りの4000返金さし引き16,000渡し 下の食堂大戸二枚の鉄わくたのむ事にして丈天井裏グルニエの床落す事等始める由たのむ。正月に入つてからは大分手がすくとの事。暮れハ獵で日曜は駄目との事なり)」「珍らしくカンバスへ小女指の上に蝶止るをかく 墨かき」「de la haute氏来て本モジリアーニ サルモン Andre Warnod Paul Morand等返へしてくれた。版下持つて来た」「ルノー氏タルタス版もつて見せに来た。又三ツ出来た」 [FT00550,344]

- 「40.000田淵へ プラスレー 1.6.000左官手間賃残り (20.000渡す筈 材料余分に渡し4000払戻しありたれば以上手  
間賃40.000の予定「Renaud版画家」「Andreへ離婚の手続代四萬四千かの請求書Ministèreより来た 渡す」 [FT00551,147]
- 11月24日 「一枚4F小供蝶指の上に止まるをかき油えにした。Kischkaノdessin等いたづらしたり」「4h Tartas来て版画家の人  
連れて来て Nobel賞貰った人の本さしえ小八枚ピカソの表紙のものとの事 一応話きく」「Avocat Thomas Degony氏  
dessin Petit Bernardの処 もと で買ったとて しわ出来てるのを相談に来て なほしてやる事 Comtesseと他ノ夫人  
連れて見に来た」 [FT00550,345]
- 11月25日 「Mare Vaux タイル扉画の写真 Kischkaに二通りとデッサンMummバラ 猫二枚送つた Andreノ使いdessinなほした (は  
りかへた) のAvocatへ届けてやる Porte Maillot 私ハ小油えRecioの分油でかき」「5h l'academie de la Grand Chaumièreに  
Yves Brayer, Anjame, Busse等のTVに出て1914年頃の証人として昔話三分位した。大勢生徒モデルかいてる処でやり La  
Rucheと言ふ本買って夜よむ事にした 昔遊びに行った当時の事委しく知りたいと思った」 [FT00550,346]
- 11月26日 「小品0F等にかく」「4h1/2 Musée Galliera Pen Clubの本ノサインに行く 大変な人 Jean Rostand夫妻態々アイサツに  
来てくれた Heron de Villefosse」 [FT00550,347]
- 11月27日 「私の第七十四才の誕生日。大海老 (2380frs) 買ってゆでた 君代 氷豆腐 黒豆 とろゝコブの汁 キンピラゴ  
ボーで昼祝ってたべる」「小品二枚カンバス油でかく。de la hauteのdessin色ぬったりする。人も来ず Telもなし」  
[FT00550,348]
- 11月28日 「PosteでGifの水道のメートルの損料保証金21.50支払って[図：家]」「昼からGif 0Fに油でかき四枚ニスぬって」「Poste  
に書面ありとてとりに行く イタリアーTriesteノ宗教大展来年春の分招待との事」「8h45 Andreと二人でCatch見に行く。  
日本人東郷と白衣の天使 l'Ange Blanc 東郷ガラシナク負けた」 [FT00550,349]
- 「Gifの家0Fにかく」「de la Hauteブルクセル版下色つけとりに来るとの事」「Rue de Gif la maison Isolée Villiers le Bâcle  
(haute)」 [FT00551,149]
- 11月29日 「小品0より小さいのかき出し」「5h Radio Luxembourg女と器械係一人来て画の話する」「Recioに0F小児一人かく」  
[FT00550,350]
- 「2h Dr Thoulueノ処へ行く事 指見て貰い」「5h Radio Eve 5号かす Mme Lobel Riche Jean Pierre Charreau Galerie Bernaed  
の人 画一日かす事」「Recio一枚0F渡す 小児」 [FT00551,150]
- 11月30日 「10h 田淵の処へ行き鉄戸(下食堂)のガラス戸三枚 [図：ガラス (60)] 175 あつらへの事で隣村の工場へ行く 二室  
ガラス戸にしたいので明日寸法とつてくる事 十二三日で出来ると それをはめて壁なほす由」「Versaillesノ古道具屋  
で Mr Remonnier Antiquités Toiles de Jouy Jouy en Josas 21 Rue de la Libération [図：椅子] 二つ 19200frs [図：ワゴン]  
7000frs 買いGifの家行く 下食堂の方の穴あり うめてくれ石セメント沢山投げ込んで鼠の死体も出て来たと二三  
[図：家 (この穴うめた)]」 [FT00550,351]
- 11月 「殆んど一ヶ月Gifの事で頭一杯空想に楽しむ」「TartasとTabuchi位しかこの事ハ知らず他の人にハ一切話さず、私た  
ち二人丈けの秘密にしてある。一度漏らしたら田舎の平和ハ破られて休養の処は荒らされる恐れありとして未だ誰  
れにも言わぬ 言った処で始終襲はれるとも限らないが巴里に居てうるさい事を避けるため」「(日に当つて日焼する  
事と、いゝ空気吸ふ事と緑の自然と親しむ事と田舎を散歩する事と静かに仕事したい事等と長生きも出来るだらう  
(田舎に行けば20年ハ長生きするとPetridesがこの間そう言つた 田舎へ家でも買いたいと言つた丈けの返事だつた)」  
[FT00550,352]
- 12月1日 「7h 版画集木彫Renaud氏来る 二枚分色つけ渡す」「田淵Versaillesから鉄椅子二つとつておいてくれた」 [FT00550,353]
- 「Galerie Bernard 7h-10h 大家展 cocktail」 [FT00551,151]
- 12月2日 「朝原稿一寸かく」「小指痛たく医師の薬きかず 切開して貰ふ事にTelした」 [FT00550,354]
- 「Journal d'art 1925」「Dr 来て指の傷トゲ見てくれた」 [FT00551,151]
- 12月3日 「Salmonさん長文の記事かいてくれたの見た」 [FT00550,355]
- 12月4日 「小壁画三枚かき一日仕事 テモアン展にとりかかる」「夕方Selz二人来てシシリーのローソクニツ持って来てくれ  
日本玩具いろく(石原氏の分) 木箱ニツ上げたら大喜び こんなに崙ぶの見た事なし」 [FT00550,356]
- 12月5日 「10h1/2 ペトリデスへRue de Fourの方廻つて行つた。4F小女蝶指に止まらせ私の家バック300 3小女私の家バツ  
ク200 0より小 小女15」「Tel ギョー コクトーの本の中一枚版画すりたいたと断つて禁じた」「アメリカ人 日本女  
のかんざしさしてる版画サインしてくれと断つた サンフランシスコで買ったと」 [FT00550,357]
- 12月6日 「小壁画四枚位かく」「美代子来た」「夜田淵二人借金返金あり 返さなくてもいいのに」「(重田氏珠子)二人」  
[FT00551,153]
- 12月8日 「10h 一人田淵の処見に行く。入口戸二枚風呂場窓等出来入口(風呂へ)のを閉ぢて窓にしたり大成功 いろく家さが  
し其他の札にフリジデール買って上たく二人ハ遠慮して、好きだからやつてるので嫌な人ならしないとの事なれどい  
ろくの話の上貰つてくれるとてVersaillesに行つてArthur Martin 192Lts. 152,700frsのをかつて明日届ける事」「一枚版画  
(Tartas色つけ) 7hにMmeルノーへ渡し残して」「4hにHotel continentalに行きEcrivains catholiquesノ本サインに行く」



- 「Claudel夫人から日本語の本買ったら夫人と令嬢の本二冊サインして上げる」 [FT00550,358]  
 ※フリジデール (frigidaire) : 冷蔵庫
- 12月9日 「朝一枚マドンナキリストdessinかいてLes Petits chanteurs de St Laurentへ郵送し 日記帖三冊(君代の分も)買って表紙皆気に入らず、色紙(ciqago)ノ鐘のを張った」「一枚Tartasの分色つけした」「南米Sanazar親子三人来て本出版現代大家版權の事とつちめてやつた」「ルノー氏妻君最後の版下色つけとりに来て一枚返へしてくれ壁たつた一枚丈け未だかしてある丈けとなる。タルタスの分」 [FT00550,359]  
 「Temoins展ポスター皆破つた。私のcopieだから」 [FT00551,155]
- 12月10日 「二枚CuisinとChansonsをかいて壁画夕方」 [FT00550,360]
- 12月11日 「世の中が益々悪くなつた 人から遠ざかるに限る」「午後二枚壁小画かく。画廊 料理番」 [FT00550,361]
- 12月12日 「今年の会計一年分の調書整理明日Cadion夫人のために用ゐした」「ボンストロヘンの夫人Telにてmon mariは御承知でしょうが子供のいゝ姿を残したいので肖像かいてくれとの事 18ヶ月との事 性格ありと 崑んで外ノ人のは断るがSkechしましょうと言つた 三月頃又Telして貰う事にした 今風でもひいたら大変だから」「Raymond (Prageの人)夫婦日本40年カツエブラジルの時仕事した日本に住む大建築家花持つて来て、スペインポルトガルイタリーギリシヤ等へ行く途中明後日迄の間会いに来て日本語も上手教会建てた等 1888年生れ夫人も一年異ひ。こゝへ来る前new yorkで会つた。アメリカ人と許り思つた」 [FT00550,362]  
 ※アントニン・レーモンド (Antonin Raymond, 1888-1976)、ノエミ・レーモンド (Noémi Raymond, 1889-1980) 夫妻
- 12月13日 「入口出来石だん靴ぬぎ鍵あり 戸口たゞく真鍮のもの(クリスチン見立てのもの)等とてもよくなった。ゴミも掃除してあつた」 [FT00550,363]
- 12月14日 「朝田渕小供三人にAuto人形犬届け」 [FT00551,157]
- 12月15日 「Tartasの処へ行きサインした本とさしえ一番私がいと(ビヨン、アスピリー等と比べて)」「夕方6h本初めてまとまつて形となつたの見て帰って7h」「夜春陽会の田中岑 大垣の中島富枝氏リベリヤ二人来ている(日本の話 海老原私の熊本に住んでた家に私の幼少の頃の住居と言う碑を建てさせた事始めて聞いた」 [FT00550,365]  
 「田中岑氏春陽会 ドレスメーカー中島富枝」 [FT00551,157]
- 12月16日 「一枚壁画 Champagneかき」「三時Journal Artに行つて大勢画家とdessin TVに写すとてコクトーも来てた 岸けい子を誉めてた」 [FT00550,366]
- 12月17日 「朝中央Gare税関通知 何にも知らずにとりに行く 35分往35分帰り。金山ノ画集七冊閉口した もう二冊も貰つた上で、何う所置していか? 午前中かかつた」 [FT00550,367]
- 12月19日 「10h 田渕の処へ行き金届け残りの分46.000frs (30.000は支払済み) 鉄やへ行く来週との事」「帰つてChamps Elyséesかき出し小壁画」「小額縁Villiersの家のを作つてはめた」 [FT00550,369]  
 「鉄の戸三枚枠出来の日 [図:家と窓枠]」 [FT00551,159]
- 12月20日 「一枚小画Lingeかき」「この頃の様子に暇さえあれば何時でも寝られ めし前でもめし後でも映画でもAutoの中でも(Tartasノ処)客に行つて、も でも 居ねむりする様になつた 老体のせいだらう。Gif Villiersの往復 特に帰りハ巴里の中で家迄グツスリねこむくせがついた。休む事だからいいと思ふ。死ぬ時もこんな風に楽にねて死んぢやないかと思ふ事もある 未だ早い」 [FT00550,370]  
 「一枚かく Linge」 [FT00551,159]
- 12月21日 「村山来た。この頃又来だす」「十一時迄 田舎の家の事教えた」 [FT00550,371]  
 「木版家 一枚壁元かへし全部すミ」 [FT00551,160]
- 12月22日 「君代姉の子の写真二人の分来て何処もローマ字で立派にかける。有望な青年見たいだ」 [FT00550,372]
- 12月23日 「田渕バインナップルDakarの一つ上げ image Epinal二枚貰つて [図:家]」「11h Marc Vaux写真出来アボカリプス三種 Andreとつて来た」「Tartas夫人初めて一冊Petit metierの本届けてくれた」 [FT00550,373]
- 12月24日 「Auriol大統領の返礼 Noelあり恐縮する」「Recio 0号の金持つて来て、田舎Villiersノ家見たいとて直ぐ二人で行く」「Recio初めての方向で、びっくり。私の家とても気に入る一つの難問題もなしとて大賛成大喜びしてくれ貰めた 難しい人丈けにこんな事ハ珍しい 隣の地処100メートルも買ふか借して貰へば家の価倍になると言ふ。満点 巴里へ近いとてこれ又ビックリ」「Martin主人水道栓込んでくれるとの事」「[図:家] 水道水予防の事」「ポルトガルの人 法王様ノExblis送つてくれた」「赤のシヤンダイ赤い上衣で行く」「田渕Jean Pierre Kei連れて来て四人でVauhallon BRAMSENの家 スエーデンのPeter一家」「十一時すぎ MontrougeのEgliseでMesse二人」 [FT00550,374]
- 12月25日 「一枚アブストレやつて見たり」 [FT00550,375]
- 12月26日 「Tartas Japon nacre 皮表紙箱 8000N.F.持つて来てくれTartasと二人丈け持つてるものとの事 上々だ」「何にか仕事したいが今年には休む事にする。ねる丈けねて丈けにする」「Rene Lalou Telあり。Champagne大箱小箱歳暮に貰つた」 [FT00550,376]
- 12月27日 「鉄枠や一人で行く。出来て、金曜日朝Villiersに運ぶとの事。行つてよかつた」「夕方高田およし めがねおとなしい



- 男の人と犬(ブルノ大)連れて装苑と言ふ雑誌に椅子にこしかけた小女(石原氏の許可にて)掲サイ料一万法持つて来て後の祭 サンザン日本ノ不徳を君代と二人で話し合つてた」 [FT00550,377]
- 12月28日 「Tartasの本のさしえ四枚かく。扉え」「ハシゴ段下に君代入れる。本包んだ俣Signeして入れた」 [FT00550,378]
- 12月29日 「朝から仕事 本Tartas扉えかく事にした」「Andre使いして著作権アメリカエスタンプMusée Caféノ女にサインと其他記事かいてPostで出させる」「Paris Jourにさしえ一枚新年号の分渡す 3h」 [FT00550,379]
- 「松上倫美日本で死んだとの事 六十一才 市川市」「12h 43×36 PARIS Jour dessin 渡す」 [FT00551,163]
- ※松上倫美：朝日新聞企画部
- 12月30日 「Jacques Goosset レコード三枚 私の印刷マドンナ les petit chanteur St Laurent」[[図：煙草] 2日3日前から又煙草すこしのも事にした余り肥りすぎたりする。四ヶ月(八月一日以来)休んだから又初めて、又嫌になつたら止める事ハ出来る」「鉄杵やへ行つて46.000支払ひ 11hにVilliersに届けたとてJean Pierre連れて追いかけて表の室に窓枠三ツ鍵等入つてた。Mr Martinに2000やつて(水道の事たのみ 包む事)[図：家]」「BramsenとTartas大分議論した等。外の住居人も皆Tartasに不満足とか。働かして金中々渡さぬとか」「サルモンさん私の事キルチユールフランセイズにたのまれた 崙んでかくとの事」 [FT00550,380]
- 12月31日 「Tartas ツ、ジノ鉢持つて来て一枚扉え(古い)渡した」「村山来て年越し」「人生論 君代が一人になつたら何うする等笑い乍ら話してお芽出度い事にして 12時10分愈々1961年三人キスして年迎え 3h迄いろく話して近処も賑か、いい月夜」「村山歩いて帰つても5hになるのを泊めて画室にねかせた レベイヨンにも行かずmesseにも行かず」 [FT00550,381]
- この年 「30日午後 5h 鼻血永年出ないものが一滴かいてる男ノ子の上にポツンと落ちて 鼻かんでそれ以上出ず。珍らしい事でのどの方も見て血なし 5h1/2 茶のんで君代に話したら君代も同じ時刻に鼻血が出たと これも一寸の間丈けで出ないとの事 不思議だと二人で何にかのおおげかと気味悪くなつた」「よみ終わつた。これは、日本行の時持つて行く日記。君代」 [FT00551,165]
- 「デンマルク店 [図：椅子]」 [FT00551,166]
- 「七月十日Zürich Cantonal Hopital clinique privéeに入つて夢見た。法王様私のCrucifixion近作の作を最近の画の最高のものとして(ドルマン ナガフシ プラド等の批評) Vaticanで買いたいから代価等知りたいと秘書からTelあつた夢 何うしたものか寄贈した方がいいだらうと君代と相談した夢見た。本当に一度ハそうありたい」「(七月十三日)夢の中に私の好き女に会つた 一目見てこの女ハ私のために生れて来た女だ、一目見た時にもうこの女ハよく知つて女に会つたと同じ感じで何にもかにも分つてる様な気がしてる女だ。老人の学者風のあごひげのある気品の西洋人に連れられて二度目にハ私の処を訪ねて来たり女の指図らしく又三度目ハ劇場で会つた。私が女の横にすわると皆んながさも一對とばかりに見るらしく私ハ逃げた その女が私の友人の女をよく知つてる事丈け分つたので安心したが、後でその場に帰つたら女は居なかつた。丁度君代に一目惚れした時と同じ気持だつた 尤も夢の中だけで女はやはり西洋人だつた 古風な人だつた」 [FT00551,167]

## 1961 (昭和36)年 74歳

- 1月1日 「今年は早くVilliersノ家着手Paques迄に住める様にしたいと」「この月から出来る丈け職人を入れて一気に早く修理する決心した」 [FT00553,005]
- 1月2日 「0号二枚小児1号二枚が等墨がきして仕事初めした」 [FT00553,006]
- 1月3日 「三枚仕事小品のバック、花やの車、星天ノ図等」「1号ノ女ノバックかく うまく行かず明日消す事にする」 [FT00553,007]
- 1月4日 「1号バックすこしかき」 [FT00553,008]
- 1月5日 「四枚油えかく。油で」「カルパンチエの主人来てアメリカ廻つていろく集め(フキラデルヒヤ等も一億の保険金のものあり) ルツソー借りて五六十枚(今日迄廿枚程度)の大展二月より四月迄する由、私のをかりに来た」 [FT00553,009]
- 1月6日 「二枚デツサンかく 小供」 [FT00553,010]
- 1月7日 「一枚デツサン女かく 木版二三十枚又すり出し」 [FT00553,011]
- 1月12日 「Tel Petrides tartes展のことで会いたいと」 [FT00553,014]
- 1月16日 「二枚3号と0号小女と小女かく すみかき」 [FT00553,018]
- 1月17日 「Petridesへ0F小女 城 赤 □号女(天女)0F小女すみれや 1号女(木枯)等4枚届け 日本人には売らぬ事契わせた。Tartasも金貰つた上の相談とした」 [FT00553,019]
- 1月18日 「Tartas小切手7.500くれて金の方は全部。本十一冊くれる筈。其の上でPetridesで展すると言う事にする。許可する事」 [FT00553,020]
- 1月19日 「白カンバス九枚油で下ぬり」「Tartas展のものかき出す」 [FT00553,021]

- 1月20日 「二枚小え けんかと仲よし、板にかく」 [FT00553,022]
- 1月22日 「初めてLalouの遺産でChapelleの話出た日」 [FT00552,012]
- 1月23日 「80号大作マドンナの顔丈けかきLalou等のもかいて見る」 [FT00552,013]
- 1月25日 「rue monsignyノunion d'artist Theatre Renard PhilipsノsalleでGalaノポスター審査」 [FT00553,023]
- 1月27日 「朝日二度tel 東京年鑑に十枚代表作色写真で出したいとの事断つた」 [FT00553,025]
- 1月28日 「Cirqueノillustration 一枚 Jean Maraisたのミ届けさせ一ツ仕事すむ」 「80号の板出してマドンナの顔Lalouノ顔張つて見た 構図の第一歩」 [FT00553,026]
- 1月29日 「午前一枚午後一枚カルトン等手けづり出来る紙に二枚小額の分かいて見た」 [FT00553,027]
- 1月30日 「朝日日本で私の代表作十枚位色版今泉富永二人解説かくから何うかとTelで一度断つたもの又手紙でたのんで来た」 「小品額に七枚入れたりする」 [FT00553,028]
- 2月1日 「二枚小品すみかき初めて小児三人かく」 「画借し Carpentierノ人Rousseauノ画二月十日後二カ月半展75枚 800萬保険の受取りとで渡す」 [FT00553,029]
- 2月2日 「今夕match写真(色)写しに来るとして版画彩色しておこうと」 「Matchノ写真女子一人連れて私の肖像筆立てとガラスの飾りビンの前で写して行く」 [FT00553,030]
- 2月3日 「一人Villiersノ家見に行く」 [FT00553,031]
- 2月4日 「最後の48枚テモアン展の小画belle Fillesかいた」 [FT00553,032]
- 2月5日 「タルタスノ本の扉え豪華版ノnacre japonへも外三冊かいたり箱墨せいとん硯丈け皆集めて箱に入れたり日本画見たいなもの二枚かいて見たりいろいろやつて見た」 [FT00553,033]
- 2月7日 「Tartes昼前marie Ange Claireノ字入つた8000N.F.一冊持つて来てくれた、扉え一枚かへす 小品のバックSaint二人すみかきしておく」 [FT00553,035]
- 2月10日 「Villiersの家いろく大工石屋家屋屋ね注文の見とり図いろくかいて見る」 「カルパンチエ画廊に行く [……] Henri Rousseau 1844-1910 五十年祭でブラジルで肖像かいたフランス大使夫人やビヤンキニー夫人や其他いろいろの人に会った。ゴーモン社のnewsの映画も結婚式の大作の前でとられたり。梯子上がった小さい室の十二枚位かかって一々照明ある小品の内にCollection Mme Foujita No 65 Vers 1909 Les parentsとて出品。800万保険。」 [FT00553,038]
- 2月12日 「明き箱タバコの両面にかいた油えのブリッキきって琉球の古布で枠型のりばりして私の額に入れたらとてもよくなった。一番すきなものになって大喜び」 [FT00553,040]
- 2月13日 「dessin三枚厚紙に張つた」 「Petridesにガツシエ小品八枚持つて行く」 「タルタス又来て三枚かいて見てくれとの皿の画渡す」 「Villiersに行つて」 [FT00553,041]
- 2月14日 「伊太利大使Triesノ万国宗教展出品の事たのミ」 「Petrides Tartes展あり Mme Petridesならべたりて小品も油えと一緒に並んでた」 「皿四枚よく焼けた小魚大魚の皿貫ふ事にし小児と花をTartesにやる事にした」 [FT00553,042]
- 2月17日 「Villiers [……] 大壁こわして全部内見える様に進捗してる」 [FT00553,043]
- 2月18日 「Villiersに行つて [……] 写真うつして現像」 「油え三枚色つけしたり」 [FT00553,044]
- 2月19日 「1号へ男の子顔だけ丸に墨でかく」 [FT00553,045]
- 2月20日 「人にたのむより地処の事自ら一人で話進行させる事にした」 「今日は思い切つてVilliers村のMlle la comtesseの処へ面会もとめに行く事にして」 [FT00553,046]
- 2月21日 「Villiersに行く」 隣人に家の隣の土地を譲ってもらう話をする [FT00553,047]
- 2月22日 「Villiersに行く庭二人で入つて見る」 [FT00553,049]
- 2月27日 「Villiers庭出来てた」 [FT00553,051]
- 2月28日 「Petridesへ行く 0号小供と3号女と花ちる届け」 「果物持つ男の子Croquisかく」 [FT00553,052]
- 3月1日 「8号小児果物とナイフ両手にもつかき出した」 「Villiersに行く [……] 石垣の壁左右から角石一々切つて丁寧な積み初め」 [FT00553,054]
- 3月2日 「8号の小児果物ナイフ持つ前に果物沢山かく」 「Portrait Mlle Catherine Renondin私の肖像ととりかへのためPoseに二人女ノ人(一人ハ母)来て写生」 [FT00553,055]
- 3月3日 「8号小児果物と2号女ノ子肖像かく油色つけた」 [FT00553,056]
- 3月6日 「Villiersに行く 壁つみ職人二人」 [FT00553,059]
- 3月9日 「油えやつて2号小女小花持つ外の二点も油色つけしたり」 [FT00553,062]
- 3月11日 「Guichardez Temoins展の額作つて来てくれて6500fysよくなった。私はForetのへ三枚アポカリプス出品の板額三枚白でぬつたりする(明日午前とりに来るとの事)」 [FT00553,064]
- 3月12日 「Villiersに又行く」 植木をいろいろ植える [FT00553,065]
- 3月13日 「Foretノ陳列見に行く」 [FT00553,066]
- 3月14日 「いい話 Muséeの事。Ville de ParisのEcole de Paris陳列美術かんに私 モデリアーニ パスキン、キスリング等の処に

- 一昨年買ってくれたビストロの大作は時代合わず何にか旧作皆と調和するものないかとて相談にのる Mme Dane デース 助手 美術かん」  
[FT00553,067]
- 3月15日 「Temoins展に48 Richesses de la France 届け他ノ人ノ画皆Tristなり」近代美Foretノ本 Vernissage 大変な人で私の画一番いゝと沢山の人に賞められた」  
[FT00553,068]
- 3月17日 「Gelin夫人に画なおし渡す女の子桃色しまの着物54年作二万なおし賃貰つた」夕方カンバス沢山張つてくらくなる」  
[FT00553,070]
- 3月18日 「Villiers村長の自宅に行く。道路にそいたる垣ねの事許可たのみ」白水ぬりカンバス午後やつた。十枚以上」  
[FT00553,071]
- 3月19日 「Taittingerノ娘ノ肖像2号にかき色つけ迄して一枚一通り仕上げ」  
[FT00553,072]
- 3月20日 「カンバス二三枚油白ぬつた」Petridesへ8号肥つた子供果物とナイフ持ち果物沢山のえ」  
[FT00553,073]
- 3月22日 「Vernissage Temoins展に行く [……] 大家許りでとてもいゝ処にかけてくれ」  
[FT00553,075]
- 3月23日 「Villiersに行く 写真うつし日なたぼつこした」  
[FT00553,076]
- 3月25日 「1950自画像入手」  
[FT00553,078]
- 3月26日 「Villiers [……] 来週職人皆連れて来て大工事始めるとの事」午後デンマルクの画箱の上でかいて見るいろいろ教わる処あり面白し」  
[FT00553,079]
- 3月27日 「切手箱の表にてデンマルクの十字架キリストの画模写して見た」  
[FT00553,080]
- 3月30日 「三枚キリストTriestへ送る分下してニスぬつた」  
[FT00553,083]
- 3月 「ヨハネ黙示録展」に出品する。一人3点ずつ制作、1963年までローマ、ヴァチカン、ベルリン、ボン、ブリュッセル、ジュネーヴ、チューリッヒなどヨーロッパの主要な77都市で展示される。[『芸術生活』20-2, p.122]
- 4月3日 「Taittingerの息子の肖像油にしてかき女ノ子のもすこしかく」  
[FT00553,088]
- 4月5日 「三枚Trieste展に送る画二人とりに来て」Taittingerノ娘ノ肖像のバックと顔一度かきなほし色よくなし何にか変へた」  
[FT00553,090]
- 4月6日 「(ヴィリエル) 屋根始め又床セメント瓦おき初める事」男ノ子Beatriceノバックかいてとてもよくなつた」  
[FT00553,091]
- 4月7日 「女ノ子ノ肖像すこし色なほして二枚Beatriceの肖像出来た」  
[FT00553,092]
- 4月8日 「Beatriceの肖像にニスぬり下画厚紙に張つて」  
[FT00553,093]
- 4月10日 「午後2号と4号バラの花久しぶりにかく」  
[FT00553,095]
- 4月11日 「バアン ストロヘンの子供男ノ子Denise二才丸々の可愛い子母さんと [……] 肖像 Croquis初める おとなしい」  
[FT00553,096]
- 4月12日 「額三枚注文16×22ポオンストロヘンの小児の画 原画から又一枚朝かいて見る」  
[FT00553,097]
- 4月13日 「(ヴィリエル) 新壁全部出来家根迄届く」  
[FT00553,098]
- 4月15日 「バンストロヘン夫人Denise小児二才とmon mari と言ふの連れて来て二度目ポーズ」  
[FT00553,100]
- 4月16日 「ポオンストロヘンの息子Deniseとりの子紙にdessinかきCroquis共厚紙にはった」  
[FT00553,101]
- 4月17日 「バラの小品二枚色つけした」  
[FT00553,102]
- 4月18日 「カルパンチエ画廊へ借したRoussauの画返却に礼状持つて来た」  
[FT00553,103]
- 4月19日 「画にニスぬつたりする」  
[FT00553,104]
- 4月23日 「Recio 巴里20区展にPassage Prevost又かく、5F一日かゝりて色迄ぬつた」  
[FT00553,108]
- 4月25日 「Recio に渡す油えすこしかいて」  
[FT00553,110]
- 4月28日 「Andre 来て大額120F号キキー上の壁より下ろす museeへ来週送り出す」Petrides Telにて五枚画届けBureaux七八枚にて私の画だけで飾つた」  
[FT00553,113]
- 4月29日 「二枚クロツキーかく」  
[FT00553,114]
- 5月2日 「Recio13区の風景 5F渡す」  
[FT00553,119]
- 5月3日 「ミューゼに画搬入」Musée moderne ville de Parisに120F KikiのNu運搬 Ecole de ParisのMuséeに借す事にした」  
[FT00553,120]
- 5月7日 「Temoins展終の日」五号ノ二人ノ女ノ子の画きたなくて線よくなし珍しく消して草花手につき出す小供かきなほしたりし」  
[FT00553,121]
- 5月8日 「日本人学生会館付図書かんに本沢山 (田中良歌舞伎) 朝倉熊谷画集カタログ画集其他文学本寄贈す」  
[FT00553,124]
- 5月10日 「Portrait クロード バンストロヘン肖像渡す」  
[FT00553,126]
- 5月11日 「女と猫下図4枚大きく午前中かく」8号に一枚女と猫バック下タイルオランダかく」  
[FT00553,127]
- 5月12日 「Villiersへ行く 画室ストーブ奥かべ外出来両側壁石膏たゝき付けてる」  
[FT00553,128]
- 5月14日 「一枚女の子と猫6Pにかく墨だけでせんがき」  
[FT00553,130]
- 5月15日 「(ヴィリエル) 画室セメント床に流す」一枚小女と猫6Pにかく」  
[FT00553,131]

- 5月16日 「Baronne Alix Rothschildのdejeuner キシカ レシオ カスー館長 画家でハ私一人 彫刻Gimont其他三人 学士院の人 夫人のBeau Fils等九人だった」 [FT00553,132]
- 5月21日 「油え三枚色つけて大体皆よくかいた すきなものとなつた 一枚トアールドジュイ 一枚草野花 一枚タイル 皆小女と猫」 [FT00553,137]
- 5月22日 「田舎の家の電気配線図引いて半日考えて便利に考えて見た」 [FT00553,138]
- 5月24日 「ベルギー王様 10h15前一人Habit 勲章つけてLouvre sa Majesté Roi et la Reine de Belge Reception officiel par General de Gaule et Mme Gaule 二千人正装男女集まり照明彫刻の下丈け大に飾花到る処花壇あり Buffet 到る処大きば音楽も二三個処。いろいろの人廿人位画家俳優歌手等には一人も会わず外交官多かつた正面ギリシヤ彫刻の女神のところでドゴール將軍王様軍服女王等の行列二三歩の処で私がおじぎしたら特に注意されて三人ともえしゃくして二つコリされた」 [FT00553,140]
- 5月25日 「le Dome 審査 [……] 25枚よつた」 [FT00553,141]
- 5月28日 「三枚一号一号二号小女すみがき古いデッサンから仕上げた」 [FT00553,144]
- 5月29日 「デッサン三枚毛筆でかき上げ」 [FT00553,145]
- 5月30日 「Petridesに行く事にする 8号 6号 6号 950,000小切手 450,000ナマ 1,400,000収入」 [FT00553,146]
- 5月31日 「三枚デッサン色つけ午後又二枚鳥の子にかく」 [FT00553,147]
- 6月1日 「Domeの賞決める日」「二人小供の肖像2号とクロツキー」 [FT00553,149]
- 6月2日 「うれしき日家進行眼立つ」「四本煙突出来」「屋根出窓枠出来」「Petridesに4号葦持つ立木のねに立つ子4号 女の子 屋根2号届け ロートレックお父さん馬上のデッサン60万(を40万にしてくれた)分と余分に20万貰つて」 [FT00553,150]
- 6月4日 「けしの花クロツキーかく遊んで、も仕方ないから二枚小額椽切つたりしてセコチンつけた」 [FT00553,152]
- 6月5日 「慈善会の画女と猫金地28万にうれたとて10萬と銅印刷くれた」 [FT00553,153]
- 6月8日 「デッサン墨色厚紙に張り、モデリアーニ ロロット 肖像も厚紙にはつた、壁紙の悪いのに張つてあつて赤い色が悪い黒いのでこわばりついて居た。オドロイた余り素まつてあの当時の貧しさが眼に見えた」 [FT00553,156]
- 6月9日 「すばらしい日進行の日」「屋根の準備明日出来るとの事」 [FT00553,157]
- 6月12日 「二号一枚聖母墨がき終つた」「Recio来て2号二枚□□□(招待日)展へ渡す」 [FT00553,160]
- 6月13日 「二枚2号の聖母一枚ハ昨日一枚ハ今日墨がきしてバツク金箔おいて」 [FT00553,161]
- 6月14日 「二枚油えかく聖母二号」 [FT00553,162]
- 6月16日 「枠に白布張り」 [FT00553,164]
- 6月18日 「十四枚カンバス白(水)ぬつて」「12号アンジーの風景一枚かいた事あり墨がきして」 [FT00553,166]
- 6月19日 「Petrides2号2枚渡し」 [FT00553,167]
- 6月20日 「12号Assisi一生懸命にかいて墨がき終り色つけるだけにして止めた」 [FT00553,168]
- 6月21日 「CanadaノStern来て水彩五枚見せ外二週間居るからとて8号と6号描く事にして」 [FT00553,169]
- 6月24日 「lemache氏夫婦でTartes扉えとりに来た」 [FT00553,172]
- 6月25日 「一日Canadaさんへ仕事の事。8号タイルバツクかき色つけ又一枚のも色かきAssisiの空も暗くして一日かく」「二枚Canadaノ画一応出来て気楽になつた」 [FT00553,173]
- 6月26日 「白カンバス十四枚油下地一日ぬる」 [FT00553,174]
- 6月27日 「油えかく、五号バツク小さい花にかき入れ」 [FT00553,175]
- 6月28日 「(ヴィリエル)大進行扉」 [FT00553,177]
- 7月2日 「厚紙台紙に張つてある分に聖母かき小刀でけづつて金箔おく」 [FT00553,181]
- 7月4日 「PeridesにAssisi12号渡す」「十字架二つの額木彫した。黒くして上々出来」 [FT00553,183]
- 7月6日 「旅行Chartreuse」「la Grande Chartreuse 行きの日6h1/2 Andre Dodge 15分近くでPradeの処迄生き7h二人のせてポルトシャンチイー7h10分出發」「フランス一の寺と言うBourgの寺 大理石の彫刻ありてこれは十七世紀か丁寧なもの」 [FT00553,185]
- 7月8日 「巴里へ帰る」 [FT00553,187]
- 7月10日 「(ヴィリエル)屋根完成」 [FT00553,189]
- 7月11日 「1枚0号マドンナかき墨がき夕方迄に終り」 [FT00553,190]
- 7月17日 「世界宗教画展トリエストにて総賛成で私の作品に大金牌くれる事決定したとの事で近頃になきnewsだつた」 [FT00553,196]
- 7月20日 「一枚女ノ顔と薄雪鳩二羽(日本でかいたクロツキー使つた3号夕方迄に油にした)」 [FT00553,199]
- 7月23日 「8mシヤルトル付近の寺の図かいて夕方7時迄か、つて一枚仕上げた」 [FT00553,202]
- 7月25日 「十二枚枠(昨日買った)にカンバス張つて昼前水白ぬつた」「(ヴィリエル)足場とる 始めて家らしく広々とした大満足」 [FT00553,204]



- 7月26日 「Petridesへ行く 8号pケシ、矢車草、バラ其他君代ノ分 8号m chatre近くの寺 3号女と鳩二羽 0号マドンナ」[来  
年アメリカで展する必要あり大事な事として二三十枚かいてくれ売らずにためとくととの事] [FT00553.205]
- 7月27日 「dessin一枚サインしてくれと木炭裸婦習作」 [FT00553.206]
- 7月29日 「カンバス油白四五枚ぬつた」 [FT00553.208]
- 7月30日 「カンバスに白油ぬり昨日からの残り皆六七枚仕上げ」 [FT00553.209]
- 8月6日 「一日仕事大工仕事」 [FT00553.217]
- 8月8日 「KischkaのたのみDrの会へかいたバラの石版画厚紙に挟んでVillersの祭に寄付するもの作った」[画かく仕度して画  
かゝず1mの額一枚作った] [FT00553.219]
- 8月9日 「家君代所有の画年代大きさと画題皆調べて帖面につけた」 [FT00553.220]
- 8月10日 「一枚1F小女の油かき」 [FT00553.221]
- 8月11日 「村長にRoseノ石版Tombolaに渡す」 [FT00553.222]
- 8月12日 「8m小女プロフキルコスモス持つのをかく」 [FT00553.223]
- 8月13日 「8m小女とコスモスの花油かく」 [FT00553.224]
- 8月14日 「(ヴィリエル) 愈々タイルにとりかゝる日」 [FT00553.225]
- 8月15日 「8mの女の子の髪毛なほしたり花かいたり大分手に入れた。一度色強くなつて又消したりする」 [FT00553.226]
- 8月19日 「クロツキー四枚許りかく下がき」 [FT00553.230]
- 8月20日 「一枚五号猫と女の子」「一枚5号下すみかき終えた女の子とバラ」 [FT00553.231]
- 8月21日 「一枚墨で小女とバラの花4Fにかく」 [FT00553.232]
- 8月22日 「今日ハ一日仕事日と決めてパレット色新らしくして四枚一度に色でかき裸ノ色とてもいゝ事発見最近によやくす  
きな色始めて出した」 [FT00553.233]
- 8月25日 「油えのぼつくにいろく壁柱石等かいて仕上げ三枚一枚小鳥のは大にやりなほす気に入らぬこんなのは珍しい」 [FT00553.236]
- 8月26日 「油かく鳥かごの女の子何うにか物にした」「ヴィリエル) 扉皆始めてつき愈々家らしくなつた」 [FT00553.237]
- 8月27日 「一枚1m小供の画冬らしいものかく。線許りでかいて見た」 [FT00553.238]
- 8月28日 「1m小供赤服の油でかく」 [FT00553.239]
- 9月6日 「Petrides 8コスモス小女プロフキル50 5m小女と猫40 5m小女バラの花40 4h小女バラの花30 165」 [FT00553.249]
- 9月7日 「彫刻土買ってマドンナの形だけ作つたりする」 [FT00553.250]
- 9月11日 「一枚croquisかき」 [FT00553.254]
- 9月13日 「油にて8女かき」 [FT00553.256]
- 9月14日 「[[たばこの絵] やめた」 [FT00553.257]
- 9月22日 「Petridesへ8一枚女届けもつとく沢山かいてくれとの事」 [FT00553.265]
- 9月23日 「Beatrice Taittinger 子供の肖像の返事あり。半額にしてくれないか返事出す承知」「とうとうTaittinger夫人返事あり。  
仕方なく承知した。Croquis位に思つたらしい」「枠買って白布張り」 [FT00553.266]
- 9月24日 「Toile 白(水)ぬりて干かす 一枚8Pマドンナらしい(金地にする)もの墨がきした」 [FT00553.267]
- 9月25日 「一枚6女と小児マドンナ墨がき」 [FT00553.270]
- 9月26日 「8P金箔一枚張る」 [FT00553.271]
- 9月27日 「Recio 1F額見本こゝへ届け私1P注文した」「Triesteに出品三枚の画届く帰って来た金牌はまだ貫はず」「金箔油三  
枚目おく」 [FT00553.272]
- 9月28日 「三枚8P6P金バツク三枚共出来たのに油えでかく、一度仕上げて遠くから眺めて手入れした」 [FT00553.273]
- 9月29日 「白カンバス油下ぬり四五枚」「白油ぬり二枚残る」 [FT00553.274]
- 9月30日 「白カンバス油色ぬつて2枚仕上げた」 [FT00553.275]
- 10月5日 「夕方Petridesの処へ二人で行き三枚届け(金バツク聖母)」 [FT00553.281]
- 10月8日 「10P一枚聖母の様なものバツク石門かく」 [FT00553.284]
- 10月9日 「午後10m母と娘バツク木の枠かく」 [FT00553.285]
- 10月13日 「午後仕事油画10号二枚夜迄かかる。聖母と母と娘 石門 門枠の分」 [FT00553.289]
- 10月17日 「Petrides 10P 10m 二枚渡し140百小切手 四十ナマ」 [FT00553.293]
- 10月20日 「著作権保ゴの四枚 New York 版画大の見本来た」 [FT00553.296]
- 10月22日 「一日仕事 Recioへ渡す小女蝶持ち田舎の村の家らしい前に立つ処夕方迄くらくなつて油仕上げ」 [FT00553.298]
- 10月23日 「台処向いの隣のパーさん私がランスのマドンナかいてる写真立体に作って布の小屋カーテンの間からのぞかせたも  
の届けてくれて可愛らしくおかしくなり親切だ」 [FT00553.299]
- 10月26日 「Recio 9hに来て5号小女蝶田舎の家の前にて持つ渡し」「Marcel Gimond 四五日前死んだとRecioの話 彼の作った私

- の顔も想出の一つとなつた」 [FT00553,302]
- 10月 第1回「トリエステ宗教美術展」で金賞を受賞する。ローマ法王ヨハネス23世に単独謁見を許される。[『年鑑』p.59]
- 11月3日 「Bon Marcheで一番に画の用のトール買い」 [FT00553,311]
- 11月5日 「10号Vezelay風景家根油でかく」 [FT00553,313]
- 11月13日 「9h1/2 Petridesに10号風景届け金貰つて」 [FT00553,321]
- 11月14日 「Temoins展の画Maine通りとりに行きシヤチヨン町とてクールに入りてとり403にのせて」 [FT00553,322]
- 11月18日 「9h Petrides 運ちゃん画とりに来たニスの固まりなおす」 [FT00553,326]
- 11月21日 「Petrides 9h1/2 写真うらサインしてくれと聖母金地鳩二羽持つ女」 [FT00553,329]
- 11月22日 「デッサン油え下書すみ出来る道具皆選んだ」 [FT00553,330]
- 11月24日 「第一夜 村に泊る」「赤十字のフォンテン獣の画百何十何枚かサインして渡し」「始めて九時風呂に入る。君代とて  
も工合よく湯槽丸みありていいホテルに行つた様だ まるで旅行してる様だ贅沢な生活。静かで人音も聞こえず感謝  
始めて幸だと言つた。これを待つてた」 [FT00553,332]
- 11月27日 「誕生日 七十五才」 [FT00553,335]
- 11月30日 「村一巴里一村」「3h 403にのせる丈けいろいろマドンナ 十字架、洋服かけ 衣物ザル2つ毛布毛皮えのぐ油額画用  
紙人形2つ等持つて村に着き」 [FT00553,338]
- 11月 パリ郊外ヴィリエル=バクルに、農家を改造してアトリエにし転居する。[『年鑑』p.59]  
偽りが嫌いだ。人を疑いたくもない。しかし、益々世間時勢が変化して、人を疑はねばならなくなつて来た。偽りと  
本当の真実を見分けなければならなくなつた。嫌な時勢になった。人との交際が危険になつて来。寧ろ孤独に生き  
て雑音を耳に入れなければ、時間を自分のために持つ事が出来ると益々思ふ様になつた。これが今日の私の実情で願  
いである。それで巴里から隠棲して、寒村に住居して門戸を閉ぢている。世の中を棄てたのではない。遠ざかつた丈  
けの事だ。[『試論』p.18]
- 12月4日 「油え仕上げ。6号小女」 [FT00553,343]
- 12月12日 「一枚4号バラの下図すみ画きして」 [FT00553,351]
- 12月15日 「一日朝から暗くなる迄か、つて10号小女立つてるのをかき電燈で油にする 大机使つて仕事容易だつた」 [FT00553,354]
- 12月17日 「仕事油画バック等小女の方かき午前中仕事」 [FT00553,356]
- 12月19日 「巴里に行く日 直接Petridesに行く 12号小女二人ブドウの図君代コレクション 90 10号小女ランカン石垣の前エ  
ブロン 70 6号小女パンと牛乳村の家 50 4号バラの花 35 —245 正月には廿枚位持つてこい等と廿二日Cannes  
に行くと言ふ」 [FT00553,358]
- 12月20日 「Prade 4hに来るとてスイスホテルの人の再三のたのみ聖母のデッサン一枚かいておく」 [FT00553,359]
- 12月23日 「巴里行き」「画大家の分 私の小品沢山、書類机の引き出しもの全部包みにして村へ帰る」 [FT00553,362]
- 12月26日 「巴里行き」「小画小児壁の分と二枚スペイン戸の裏皆はずしてカバンに入れた。ゴヤレンブランド版画エッチングも  
皆はずして」 [FT00553,365]
- 12月27日 「額ルツソー、ドガ其他壁にかけ余りの大部分コーフルに入れ」 [FT00553,366]
- 12月29日 「Recio税金調べ廿人許りの画家の事調べに来た旨 私は正統に届けてるから心配入らずと返事」 [FT00553,368]
- 12月30日 「Gifの寺の油え油でかき」 [FT00553,369]

## 1962 (昭和37) 年 75歳

- 1月7日 「8P猫持つ女ノ子ストーブ前半日油えかく」 [FT00554,013]
- 1月12日 「画室でガラスの割れた額ゴーガン初めいろくセザンヌルノアールの枯葉等入れかへて壁にかけ」 [FT00554,018]
- 1月14日 「二枚ニスぬつたりして仕事」 [FT00554,020]
- 1月15日 「一枚4号小女小鳥持つ墨かき細筆でかいて見る」 [FT00554,021]
- 1月22日 「午後一枚小女小鳥持つバルコン石かきて油にて5号濃いい、緑初めてピロードの感じ出た」 [FT00554,028]
- 1月25日 「大統領ドゴールさん dejeunerノ日」「1h15分Elyseeに行く15分petit palaisノ前で休ミ403で行く廿人許り(女ノ人十人  
位)画家ハ私一人marcel Achard夫婦知つてるだけPressノ人等」 [FT00554,031]
- 1月27日 「大移転の日」ヴィリエル・バクルのアトリエへ引越し 以後パリと行き来する [FT00554,033]
- 1月28日 「画室整理初め」 [FT00554,034]
- 1月29日 「移転も済ミ画室も夕方かたづき」 [FT00554,035]
- 2月2日 「ケシの花マーガレットノ花ガラスのピン(緑)に入れた分かき油で仕上げた6号」 [FT00554,040]
- 2月5日 「8号小女猫持つ墨かき」 [FT00554,043]
- 2月6日 「Petridesに6号ケシの花5号小女小鳥と8号小女猫未完成見せて」 [FT00554,044]

2月7日	「8号小女猫レンガストーブ油で」	FT00554.045
2月8日	「Petridesへの赤十字社扉えかき」	FT00554.046
2月12日	「古材木彫刻する」	FT00554.050
2月15日	「一枚8P小女二人墨かきクロッキー共初め」「バンコク印度のスライド画室で大写して見る」	FT00554.053
2月17日	「カナダ画商十五枚欲しい等」	FT00554.055
2月18日	「油え8P小女二人けいしきバツク油えかき」	FT00554.056
2月20日	「団伊能氏石橋サンノフランス絵画巴里展の事で会いたいと」	FT00554.058
2月23日	「ベトリデースに8P小女二人Gif遠景雲等画届けて12枚位かいてくれ等と」	FT00554.061
2月26日	「カンバス五枚布はりて白(水)ぬつたり」	FT00554.064
3月3日	「午後ぬいものしたり」	FT00554.070
3月5日	「家の庭の美しさに写真とつて寝台頭の方の〔ヘッドボードの絵〕に布張り作り出す」	FT00554.072
3月7日	「養老院100NF送り」「二枚だけカンバス白ぬつたり」	FT00554.074
3月8日	「三枚カンバスぬつた(白)」	FT00554.075
3月10日	「一枚1号小女花両手でかゝえる墨がきした」	FT00554.077
3月11日	「一枚一号レースの画かく」	FT00554.078
3月12日	「二枚油え色つけ(一号)仕上げたりする」	FT00554.079
3月15日	「jacques Heberts氏ノ劇場で競売デッサン展へ寄付小型小女ノ顔鳥の子にかく」	FT00554.082
3月16日	「Paul Fort氏お墓の敷石一枚さへないので友人集まって寄付私小女のdessin小型おいて帰って」「Petridesへいつて画三枚渡しデッサン展してくれないか?等一寸話出る」	FT00554.083
3月17日	「10P小女黒服パンと牛乳」	FT00554.084
3月18日	「10P小女牛乳とパン黒衣」	FT00554.085
3月19日	「スペインの女レース君代欲しいとて(日本で売つて残念がる)クロッキー出し写真も色黒あつて上々」	FT00554.086
3月20日	「小女パン牛乳すつかり6時-7hかゝちてなほし暗くしてデッサンも第一作の様に満足」	FT00554.087
3月21日	「スペインの女ノレース午前かき午後壁窓石かく」	FT00554.088
3月22日	「10号スペイン女色つけ初め」	FT00554.089
3月23日	「クロッキー一枚かいたりして」	FT00554.090
3月30日	「今朝買った木で額二枚10 12号作り□夕方迄に彫つた」	FT00554.097
3月31日	「二枚額縁彫つて昼にかけて仕上げ」	FT00554.098
4月4日	「クロッキー五六枚かく」	FT00554.103
4月5日	「一枚墨かき3号小供女バラを持つ」	FT00554.104
4月6日	「二枚小品女ノ子墨かきした」	FT00554.105
4月7日	「花背景にかいたり女ノ子手に持たせたり」「三枚油え色つけ」	FT00554.106
4月8日	「油え夕方三枚色すこしいじつた」	FT00554.107
4月9日	「油え三枚一寸アクセント入れたりしてニスぬる」	FT00554.108
4月10日	「Petridesへ行つて3号m4000 3号p4000 4号p4500 小切手6000 ナマ6500貰い」	FT00554.109
4月18日	「カンバス小粋沢山布はつて」	FT00554.117
4月19日	「粋カンバス張り10号12号迄沢山はつて」	FT00554.118
4月21日	「St Rennyの人二人画家marion氏会長とmartinees氏来て画十字架かす事にして」	FT00554.120
4月23日	「白水カンバスに廿二三枚ぬつたりする」	FT00554.122
4月28日	「St Renny [……] 十字架三人出品」	FT00554.127
5月2日	「近藤アサヒ氏浩一路廿七日十七時六分死去す生前のご交誼を謝すと来た感じが無量とうく死んで行つたかも一度会いたかつた」	FT00554.132
5月4日	「石橋正二郎コレクションCorotよりBraque迄の展近代美である由11h招待」	FT00554.134
5月5日	「一枚5号小女草花バラ等の花バツクの手前に画すミがき」	FT00554.135
5月7日	「草花五号にかいて手前とバツク今朝すみかき終る」「油五号花持つ忘れな草其他かく」	FT00554.137
5月12日	「8号小女二人墨かき始め人物だけかき上げ」	FT00554.142
5月14日	「8号女にリラも花持たせバツク左右にもリラの花たんせいにかく」	FT00554.144
5月16日	「8号リラの花小女二人油えかき」	FT00554.146
5月21日	「小供丸々の私の二の次一番好きな顔の子10号にすみかきして」	FT00554.151
5月23日	「朝いろく草とつて来て10号バツクに細かくかき入れて」	FT00554.153
5月24日	「油10号かく色つけた」	FT00554.154

5月25日	「ペトチャン処迄taxi10号8号5号三枚渡し村娘花喜んだ」	[FT00554,155]
5月27日	「カンバス油白ぬり初めて小枠六七枚ぬつたりする」	[FT00554,157]
5月28日	「白カンバス油で作る」	[FT00554,158]
5月29日	「カンバス白ぬり三日間続けて大小皆んなで廿四枚油ぬつた」	[FT00554,159]
6月4日	「画廊どんく閉店[……]アメリカノwall street下落[……]大にえいきょう画売れず(Recioノeve展でも一枚も)又Domoto展もうれず愈々こゝでアブストレ全滅らしいとの事」	[FT00554,166]
6月6日	「一枚8号小女花持つ石垣(初めて写生する)かく」	[FT00554,168]
6月7日	「八号小女花持つ石垣梨の枝見える油えにする」	[FT00554,169]
6月18日	「一枚8号小女寝衣ストーブの前に立つかき出し墨がき終つた」	[FT00554,180]
6月20日	「一枚6号eanadaさんにかき出す」	[FT00554,182]
6月21日	「油でストーブ前の女の子バックローソク立てと金時計台かく」	[FT00554,183]
6月22日	「一枚6号母と娘かく」	[FT00554,184]
6月25日	「油え二枚かく事にして一枚6号テユリツプのバックもう一枚には石門かく」	[FT00554,187]
6月27日	「一枚鳥子の猫だくデツサン上々かく」	[FT00554,189]
6月28日	「二枚dessin墨筆でかき」	[FT00554,190]
6月29日	「デツサン色つけてのりで台紙に三枚張った」	[FT00554,191]
6月30日	「一枚Bomeauのさしえかく」	[FT00554,192]
7月4日	「一枚デツサントリの子へかいて油えで色つけて見てうまく行かず強すぎる」	[FT00554,197]
7月5日	「三枚dessinかき小デツサン二枚かく」	[FT00554,198]
7月7日	「古材木丁寧に仕事して額椽夕方迄かゝつて作り彫刻は腕力となる」	[FT00554,200]
7月10日	「三枚デツサン鳥の子へかく、こうやつて大分ためる事にした」	[FT00554,203]
7月11日	「petridesへ行き8号Pとm二枚水彩3枚70 70 90 280 130小切手 100ナマ 貰って来年dessin展してくれとの事」	[FT00554,204]
7月12日	「一枚素描鳥ノ子にかき」	[FT00554,205]
7月13日	「一日縫物」	[FT00554,206]
7月17日	「鳥の子デツサン四枚かく」	[FT00554,210]
7月18日	「庭仕事」	[FT00554,211]
7月21日	「水彩色つけ素描十四枚仕上げ」「カルトンに張り上げ」	[FT00554,214]
7月22日	「デツサン十四枚セルフアン紙で包む」	[FT00554,215]
7月26日	「matstirm二人南仏より来り6号二枚母と娘女子チユリツプ水彩マドンナ女子バルコン女子等渡し」	[FT00554,219]
7月28日	「まだこの村へ来てから大作始めず今バカンスのつもりで遊ぶ」	[FT00554,221]
7月29日	「一枚マドンナの下画いろく出してかき出した」	[FT00554,222]
7月30日	「12号mマドンナ下図かきすみかき始め」	[FT00554,223]
7月31日	「もう一枚12号mマドンナ(三人構図)かき出し墨かき」	[FT00554,224]
8月1日	「十二号m二枚マドンナ手入れしてバック等細かくかく」「アトリエで金箔おく油でやつてみる」	[FT00554,226]
8月2日	「油で二枚顔身体空多少着物位しかかけなかつた」	[FT00554,227]
8月4日	「十二号二枚布地にへり等に金箔おく丁寧に両側直し」	[FT00554,229]
8月5日	「十二号油えで仕上げいろく描きこむで又新しい仕事加えて今迄のと変つた技術使つたりする面白かつた」	[FT00554,230]
8月6日	「二枚12号額椽」「彫刻始め昼すぎ色つけいろく仕上げて」	[FT00554,231]
8月9日	「ニス二枚ぬつて」	[FT00554,234]
8月10日	「下図調べて十二号に丸顔のマドンナ乳のませてる処下図かく」「80号に大構図マドンナに冠戴式かくので大板出すのに忙いで大額たほして破つた」「マドンナ中央のかき出し」	[FT00554,235]
8月11日	「クロキーマドンナいろく五枚の紙デツサン集めてカンバスに描き出して」	[FT00554,236]
8月12日	「マドンナ油でかき」	[FT00554,237]
8月13日	「マドンナ油えにかき出し着物模様マントの裏金線で粉でかいて見る美しいでない工夫を要する」	[FT00554,238]
8月14日	「模様着物にかく」	[FT00554,239]
8月15日	「えかく模様マント裏赤地金線気に入らずけしたりする」	[FT00554,240]
8月16日	「朝から金冠かく中々手間どり午後天使や私達二人の大たいのあたりつけクロッキー大ザツパにして見た」	[FT00554,241]



8月17日	「私と君代の祈りを80号にかく下図」	FT00554.242
8月18日	「一日画かき」	FT00554.243
8月19日	「君代のデッサン衣服下クロッキーして昼から墨で大作に写して一日かく」	FT00554.244
8月20日	「天使二人クロッキー一日かゝつて大きき極めてかく中々難しい」	FT00554.245
8月21日	「二人天女天使かく下図墨がき」「天使の廻りに金地の下地色ぬり空の下地等かき」	FT00554.246
8月22日	「午前中マドンナのマントの裏と上の天がい金地油でおく午後金地すこしよごした平らでなく布地の処も一番初めの模様出て面白し」	FT00554.247
8月23日	「衣服のひだ等かく」	FT00554.248
8月24日	「すこし画かく衣服のひだ等」	FT00554.249
8月25日	「えかき村の吾家左側にかく」	FT00554.250
8月26日	「画室から眺めた岳谷森一生懸命に80号バツクにかく、手前の空間に小供かく事にしてクロッキーかいて」	FT00554.251
8月27日	「80号私の衣装モアノミニカンの衣装に変へ横に小女立たせて大分画変更」	FT00554.252
8月28日	「君代の着物スツカリ変へて(アビニヨンで見た尼さん)小女加へて右にかく」	FT00554.253
8月29日	「着物のひだ等中々手かかる」	FT00554.254
8月30日	「80号の下の地面石敷きかいて」	FT00554.255
8月31日	「Jeiと小鳥二羽かき込む」	FT00554.256
9月2日	「80号色ぬり初めて」	FT00554.259
9月4日	「午前中午後6h迄仕事大体の調子初めたがまだくだ大分面白くなつた花鳥其他かきこむ」	FT00554.261
9月5日	「赤衣の小女左右二人金箔おいて羽根つけて天女にしたりする」	FT00554.262
9月6日	「12号にリンゴニツ梨ニツかき出し」「ぶどう枯葉大分油えでせんなしでかき込む稍普通のかきかた細いが自分でハ満足」	FT00554.263
9月8日	「果物メロン桃イチゴ野イチゴ(村の)かき込む」	FT00554.265
9月9日	「ぶどうの上の方へかくので金箔で洞穴の様に天幕こしらへ80号にも天女等金箔おきブドウの葉と実かく」	FT00554.266
9月10日	「梨とリンゴ枝かき込む(上の方へ)」	FT00554.267
9月12日	「黒ぶどう一ふさ油でかく」	FT00554.269
9月13日	「12号果物に大ブドーかき込み空青かく」	FT00554.270
9月14日	「ブルノー沢山垣根越しにくれたのをかき加へて中央部とてしまつた、いろくイチゴイチゴ数ふやしてかく」「やつと十二号出来た」	FT00554.271
9月15日	「厚紙白(水ぬつて日に干して草花ガツシュで描く一枚油えでかいたが細くかけず中止して水画にした」	FT00554.272
9月16日	「アザミ等とつて来て草花野の分ハ又別にカルトンへ描き出す」	FT00554.273
9月17日	「大分昼顔等いろく草花かき込み」	FT00554.274
9月18日	「Petridesに一枚渡し」「えのぐや厚紙薄紙ガツシユ買った」	FT00554.275
9月20日	「一寸紫の煙の様な花かき」	FT00554.277
9月29日	「田淵telして今から川端実連れて行きたいが何うかとて10hに二人で来て」	FT00554.286
10月3日	「デッサン三枚とりの子へかく猫と小女2小女とバラ(水彩にする筈)益々私の細い線芽えて来た様に思ふ」	FT00554.291
10月4日	「三枚水彩にする。殆んど出来た」	FT00554.292
10月6日	「葡萄の葉沢山かく(参考のもの)」	FT00554.294
10月8日	「三葉ぶどうの葉かく」	FT00554.296
10月12日	「水彩三枚厚紙に張つた、よくなつた」	FT00554.300
10月13日	「10号mに肢広げた私の好きな女ノ子野菜とのをかき出し一日仕事夕方迄する野菜写生」	FT00554.301
10月14日	「十号小女野菜すつかり墨かき出来ないが油えにしてかく」	FT00554.302
10月15日	「10m小女野菜フライパンナベ等かき」	FT00554.303
10月16日	「Petridesに行く、私の17年頃のチュリブの花水彩小供ノデッサン(毛筆)油え20年頃静物」	FT00554.304
10月17日	「10m彫刻した黒い額作る」「額色つけ終りニス二枚台処と食堂ミルクパンぬつたり、又toilette用の3号の下図苦労してかき暗くなつて3号額作つて彫刻終わった」	FT00554.305
10月18日	「Potの上に尻のせて指くわえてる小女かき油で午前中大体かく」「画も額も仕上げた又一枚出来w.c.の上にかける事にした」	FT00554.306
10月20日	「一枚小女デッサン水彩にして厚紙にはる」「講談社の画集青木、浅井、黒田、岸田、安井と私等の予定発表既に許可」	

	なしで出してる」	[FT00554,308]
10月25日	「赤い実のなる木写生して油え」	[FT00554,313]
10月27日	「Recio来て水彩一枚分だけ支払つて行く」	[FT00554,315]
10月30日	「画すこし油えなほしぶどうと枯葉十五分位かく」	[FT00554,318]
10月	日本橋高島屋の「国際形象展」に出品する。[「芸術生活」177,p.66]	
11月3日	「色写真出来先づ上々」	[FT00554,323]
11月4日	「画の仕事この頃手につかず」	[FT00554,324]
11月5日	「二枚クロッキーかき小女と小鳥」	[FT00554,325]
11月6日	「デッサン(水彩にする)二枚小女と小鳥と雛二羽墨がきして」	[FT00554,326]
11月7日	「水彩二枚かく」	[FT00554,327]
11月8日	「水彩二枚仕上げ」	[FT00554,328]
11月10日	「水彩二枚厚紙に張つた。」「Recio来て丁度準備した水彩二枚渡した。」「虎造き、乍ら仕事する」	[FT00554,330]
11月12日	「一枚小女と小鳥のクロッキーかいて8号用」	[FT00554,332]
11月14日	「一枚クロッキー小鳥二羽両手に持つ女ノ子八号にかき出す」	[FT00554,334]
11月15日	「8号の小女に小鳥四羽かく何んとか形うまくつけた」	[FT00554,335]
11月16日	「小児小鳥四羽に石ノアーチかく」	[FT00554,336]
11月17日	「油え小女小鳥かき油で上々」	[FT00554,337]
11月22日	「dessin鳥の子に二枚 小鳥とマーガレット持つ小女かく」	[FT00554,342]
11月23日	「新聞でCotyさんの死委しく知つた。色つけて水彩二枚かいて厚紙に張つた」	[FT00554,343]
11月25日	「一枚小学校小鳥の子へ素描墨初め」	[FT00554,345]
11月26日	「小学校の水彩色つけ油等も入れて見て」「水彩で色のせんがき小供かいて見る。墨許りで今迄私の特色としてやつてが何日かかいて見ようと許り思つてやらなかつた事思い切つてでもないがやつて見て面白く一枚」「初めて色線 墨せんなしでやる」	[FT00554,346]
11月30日	「Petridesへ直行、8号小供小鳥四羽水彩(小鳥、花マーガレット)二枚渡し 8号80万 水彩60万」	[FT00554,350]
12月1日	「Recioの1mコレクションSt Georgesノ下図かく」	[FT00554,352]
12月2日	「Recio 1 m St Georges et le Dragon墨がきして」	[FT00554,353]
12月3日	「St Georges油えにする」	[FT00554,354]
12月5日	「Recioの絵すこしかく、油仕上げ」	[FT00554,356]
12月8日	「Recio来て1m St Georges 画渡し」	[FT00554,359]
12月11日	「写真出来て来紙やきとでもよし」	[FT00554,362]
12月17日	「小版画昼から彫つたりして」	[FT00554,368]
12月19日	「一枚水彩Petridesノ分色線でやつて見て」「Recio来てEve黒い女優歌手ダンスの人か、ないかとて断り切れずスケッチだけする事にした」	[FT00554,372]
12月20日	「二枚水彩かき明日Petridesへ三枚持つて行く事にして小女のバックに庭の枯葉や花等かく始めての仕事一枚は色せんのものもあり」	[FT00554,373]
12月21日	「Petrides水彩色三枚庭の花持つた女ノ子 バック花等で喜んでくれた」	[FT00554,374]
12月22日	「クリスマスカード整理して返事出すのに鳩の十字架一枚彫つて夕方迄か、つて油インキですつて色三色入れた」	[FT00554,375]
12月24日	「Recio女優のアメリカの黒い人Mme marfessa連れて来た伊太利の毛糸の紺の外套とても可愛い女(小児甘か月位)との事よくポーズ マドンナにしてかく事にしてスケッチした」	[FT00554,377]

## 1963(昭和38)年 76歳

1月2日	田淵安一が自動車事故に遭い入院、見舞いに行く。	[FT00560,008]
1月8日	仕事始め。少女2人と母、墨で描く。	[FT00560,014]
1月9日	「村役場 選挙権申告」	[FT00560,015]
1月10日	ドゴール將軍より年賀状が届く。	[FT00560,016]
1月11日	「Johnny Hallyday来て私のを大変誉めてくれたとてサインしたCard貰った」	[FT00560,017]
1月14日	「5P小女に紫の花三輪もたせた」	[FT00560,020]
1月24日	庭にきた兎をクロッキーして油絵の中に描きこむ。	[FT00560,030]
2月6日	80号の作品「私の胸の処にローマ法王に頂いたメタル銀飾かき込む」	[FT00560,044]

- 2月8日 アンドレ・サルモンから書簡が届く。 [FT00560,046] [FT00077]
- 2月11日 「80号紫色つけて昼ニスぬり1h1/2に完成」 [FT00560,049]
- 2月13日 パリの税務署に行き税金を納める。 [FT00560,051]
- 2月17日 「西条八十の紹介状持った早稲田大学教授文学博士安藤更生と言ふ人」が来訪し画集を出版したと頼まれるが、断る。 [FT00560,055]
- 2月20日 「小箱かいたり横線つけたり」 [FT00560,058]
- 2月23日 「田渕女房 Eric, Anne Marie, 土橋の車で来て」 [FT00560,061]
- 2月27日 「大仕事クロツキー十四枚かいた」 [FT00560,065]
- 2月28日 「仕事油え又初める」 [FT00560,066]
- 3月4日 「余り仕事しないのも何うかと思つて鳥の子に二枚墨デツサン」 [FT00560,072]
- 3月13日 「水彩二枚色つけ ニュートン新しい水彩色の出よくてびっくり」 [FT00560,081]
- 3月16日 「Recio来て水彩二枚渡し五万ツゞ値上げした」アンリルソーのライオンの絵を150万で購入する。「これでルソー二枚となった」 [FT00560,084] [FT06180]
- 3月22日 「小女カルトンバツクストーブかいて額も仕上げて一枚出来た」 [FT00560,090]
- 3月28日 「マドンナ細長の私の何時もかかぬ顔出来て(日本紙に毛筆でクロツキー自由にして見た分)二枚墨かき」 [FT00560,096]
- 4月10日 「マルペーサノマドンナ下画一昨日の分トアールにかき出し」 [FT00560,110]
- 4月11日 「黒いマドンナ油かき出す」 [FT00560,111]
- 4月16日 「十五人羽根つけた天子Angleかき金下地赤にぬつた」 [FT00560,116]
- 4月17日 「金箔おいて油え」「小供の顔黒や茶や青黒に彩色する。すべて黒ぼくしたい画だ一度や二度でハ満足出来ぬ」 [FT00560,117]
- 4月 銀座、日動画廊で「フジタ展」が開催される。[『年鑑』p.59]
- 5月1日 すずらんなどを油絵に描く。 [FT00560,132]
- 5月2日 梨、桃色リンゴ、石楠花など花を油絵に描く。 [FT00560,132]
- 5月7日 12号に桃色リンゴ描く。 [FT00560,138]
- 5月8日 「庭に画架立て花写生私としハ珍しい事」 [FT00560,139]
- 5月14日 パリに行き、ペトリデスに12号、5号2枚を渡す。[FT00560,145]
- 5月15日 『Critique d'art』紙にRené Barotte (ルネ・バロット)による記事が掲載される。藤田が理想の女性像を描くために映画『黒人のオルフェウス』のヒロインを選んだとのこと。描く最中の藤田の写真が掲載されている。 [FT04241]
- 5月22日 水彩2枚、小女と猫、少女と小鳥を描く。 [FT00560,153]
- 5月25日 レシオが来て、水彩2枚を渡す。 [FT00560,156]
- 6月3日 法王にお見舞いの電報を打つ。 [FT00560,164] [FT00039]
- 6月4日 「昨日三日 19h 49分お亡くなりなつた 前 午後2h未だご存命中の法王様よりの御礼電報間に合つた事は大喜だつた」 [FT00560,165]
- 6月5日 ローマ法王庁大使館より6月11日にパリのノートル・ダム大聖堂で催される法王ヨハネ23世の追悼ミサの知らせが届く。 [FT00060]
- 6月9日 「8号母赤ん坊(裸)に乳をのませる処 すミでかく」 [FT00560,170]
- 6月11日 「8号ねまきの娘バツクに寝台かく」 [FT00560,172]
- 6月17日 エマニュエル・ゴンスより藤田宛の書簡が届く(6月14日の日付)。大統領と親しい画家達の作品を取めたアルバム制作のために送付された水彩画に対する礼状。 [FT00069]
- 6月22日 「二枚10 12号上の部分いろく桃 梨 シエリーズ等油で一日仕事」 [FT00560,179]
- 6月27日 12号の額縁彫刻に色をつける。レシオ来る。 [FT00560,184]
- 7月5日 レシオ来て、花をバツクにした小女の水彩1枚を渡す [FT00560,193]
- 7月12日 パリに行き、ペトリデスに10号と12号を渡す。ダゲールで佐々木にあう。 [FT00560,200]
- 7月15日 中河与一家5人で来る。「貰つた「近代ハ終つた」と言ふ本の中に私の事をかいて画壇文芸人の日本人の悪いこと大にかいて私をようごしてくれ荷風さんの事も大に弁明して公平な批判よき作品ハ永久に生きる事強調」 [FT00560,203]
- この日、何枚かの写真を撮影する。 [FT03784,3809,3962]
- 7月17日 「昨日からさがして動物宴会の下図今朝やつと戸棚の下のカルトンからさがし出してことしの夏の仕事の準備する」 [FT00560,203]
- 「カンバス四枚に白(水)ぬり下地作り」 [FT00560,203]
- 7月18日 「トアール大四枚油白下地本ぬり始め」 [FT00560,206]
- 7月19日 「薄紙つないだりして動物園会の構造一通りかき込んで」 [FT00560,207]
- 7月20日 「昔の猫等のクロツキー出して構想をねる」 [FT00560,208]

7月21日	「猫四匹墨かき」	[FT00560,209]
7月24日	「朝から狼狐の大作一日夕方迄休まずかき 男狼石だん台処等一生懸命にかく」	[FT00560,209]
7月25日	「狼のラ、フォンテーヌの額鳥と狐かく」	[FT00560,213]
7月26日	「狐の画卓上二羽小鳥かきえびかに蛙クロッキー」	[FT00560,214]
7月27日	「狐のえいろ〈細部かき込む鍋其他蛙牛肉」	[FT00560,215]
7月28日	「鶏大かれい す、き等」を描く。	[FT00560,216]
8月6日	「食堂に狐の大作かけて上々楽しい事だ」	[FT00560,226]
8月7日	「三十号大(特別枠番外NewYorkの分) 猫部隊せんがき出来てたのに色つけ始め」	[FT00560,227]
8月8日	「猫のえ仕上げ食堂に 狐の隣りにNewYorkで作った銀の額に入れてかけた」	[FT00560,228]
8月10日	「画稿何度も調べて見てかきたいもの見つからぬ。NewYorkでかいたCaféノ下がきとう〈めつけて〉「Caféノ女かき出し 顔と手丈けかき」	[FT00560,230]
8月10日	「カッフエの画全体ノデッサン墨かき始め」	[FT00560,232]
8月17日	「Café完成」	[FT00560,237]
8月20日	「8号Fにノートルダムの塔見えるQuai aux Fleurs (カーナバル美術館所蔵の分) 又かき出して」「墨かき丈け終つた」	[FT00560,240]
8月21日	「8号Café色つけ午前中かき殆んど出来た」	[FT00560,241]
8月22日	「風景8号仕上げた」	[FT00560,242]
8月24日	「動物誕生の宴会の図大キャンバスに墨かき下の方の動物サル豚、猫狐等大体一日かかつてかく」	[FT00560,244]
9月4日	「Racio Prade / Braqueノ死んだ事。もう残りハ ピカソ、バンドンゲンと私位と言ふ Tartasも同じ事言つて私も残りノ大家の一人と言つた。自分には分らぬ。」	[FT00560,254]
9月18日	「果物の下に黒白ノタイルかき空や影つけて」	[FT00560,268]
9月20日	「大作動物宴会棚の上のセラミックと静物肉ハム野菜等かく」	[FT00560,270]
9月27日	「Tartas Perleでテープレコーダーとつて来てくれ 石版画小四枚色つけ持つて来た。テープレコーダー一日かけて遊んだ。」	[FT00560,277]
10月9日	「今朝も煙草止めて戦う」「4号小女、小猫だかせてバックカーネーション毛筆でかく」	[FT00560,290]
10月11日	「コクトー他界と聞く」	[FT00560,292]
10月12日	「古いクロキーで素描小女と猫かき明日色つけのつもり。別に一枚はかきそこない全部出来て気に入らず破つた」	[FT00560,292]
10月13日	「Tartasの石版二枚色つけしてRacioへの二枚水彩色つけ台紙張り」	[FT00560,294]
10月15日	「Tartas女房石版一枚色つけ渡し」	[FT00560,296]
10月16日	「いい日でコクトーのお葬式も日なたで花が奇麗だつた」「コクトーは七十四私は今七十六才だ。よく戦つたものだ世の中や人生の事思はせられた。」	[FT00560,297]
10月18日	「5号小女バラ持つ、村の家バックにあり うまく出来た」	[FT00560,299]
10月21日	「動物宴会油色沢山かく。細部分」仕上げ」	[FT00560,302]
10月26日	「12号m昨日大額作つて彫刻した分やすりかけ色つけて裏紙はつて丈夫にして梯子だん下にかけた」	[FT00560,307]
10月30日	「Tartas色刷見本見せに来て又巴里のもの四枚かいてくれ等」	[FT00560,311]
10月	日本橋三越での第2回国際形象展に出品する。[『みづゑ』705, p.42]	
11月6日	「十号小女のバック タイル模様おき小供の画壁の上や床の上等クレパスでかいたり」	[FT00560,319]
11月10日	「12号に女2人と小供かき(墨かき)初めに枠しめ直してキャンバス張り直してかく」	[FT00560,323]
11月12日	「一日Tartasのさしえ四枚石版油墨筆で紙に四枚中央市場其他女郎や三枚かいて」	[FT00560,325]
11月15日	「12号女二人バラ持つ石門油絵始め」	[FT00560,328]
11月18日	「Xmas cardらしい巴里の風景木版一枚ほつて甘何枚油ですりあげ色ボワシヨアールでつけたりして」「タルタスの二枚色つけした」	[FT00560,331]
11月22日	「ケネヂー暗殺さる」「悲しき寂しき日」	[FT00560,335]
11月27日	「よくも生きたものだ今日で丁度七十七年生きた事になる。すべて災難事故にも会わず、戦争にも何度も会つて負傷もせず、人から殺されもせず、なぐられもせず、病氣らしい病氣もせず、今日たつた二人で心許りのお祝い」	[FT00560,340]
11月29日	「シャベル昨日一日かかつて作つたものセメント砂と白シツクイ等でぬつて屋根の瓦うまく出来た」	[FT00560,342]
12月3日	「10号女一人と女ノ子一人木ノ枠のバック墨かき一日してテープレコーダー等かけ清元虎造等きく」	[FT00560,347]
12月6日	雑誌『ELLE』に、『Mésangère(女主人)』にコクトーが長い前書き藤田が22点のリトグラフを挿絵として提供した紹介記事。	[FT04191]



- 12月12日 平野政吉の息子が訪ねてくる。 [FT00560,356]  
12月14日 タルタスが挿絵を描いた本を届けに来る。 [FT00560,358]  
12月28日 「冬の映え 瀬戸内晴美」「原田康子」「女流作家は皆男のより上手だと思ふ」 [FT00560,372]

## 1964 (昭和39)年 77歳

- 1月3日 「受 岡田謙三」「岡田曰く第一に晴れたる空の如き気持を持つ事、第二は健康の事」 [FT00561,009]  
1月4日 「昼からクロッキー一枚大かき出し」 [FT00561,010]  
1月5日 「朝一枚クロッキーかき、二枚目かき出して」 [FT00561,011]  
1月6日 「十五号に墨かき一日かいた」 [FT00561,012]  
1月7日 「油え初めて十五号午前中かく」 [FT00561,013]  
1月12日 「ジョージカルパンチエ七十才の誕生日まだ身体ハ若々しい」 [FT00561,018]  
1月16日 「水彩二枚かく昨日一枚 (小) かいて午後色つけ」 [FT00561,022]  
1月19日 「朝からカンバス十一枚白油表ぬり始めて夕方迄かゝつて仕上げ」 [FT00561,025]  
1月21日 「昨日かくしてある処のビエかんじょうしたら二千萬になった未だ外に三十萬、銀行も三百万以上あり、スイスもあり、やつと財産らしいもの出来て来た」 [FT00561,027]  
1月24日 「白カンバス油15号20号ぬつた」 [FT00561,030]  
1月25日 「中川与一の手紙あり、藝大の講師の人ともう一人から藤田が渡欧以来パリで困つてるといふ噂をきいたといふ話をききました。とあり大いにふんがいて来たが未だ私を落そうとやつてる連中が居るのにハ驚いた」「午前中二枚油で白カンバスぬつた」 [FT00561,031]  
1月26日 「Petridesのたのみのdessin水彩今日ハ中型三枚夕方迄かく」 [FT00561,032]  
1月27日 「昨日から毎日当分仕事して見ようと始めた。六枚今日迄にかいた。手取り50万にしても300万出来たことになる。」 [FT00561,033]  
1月28日 「dessin二枚許り今日も描いた 朝三枚色つけして 都合8枚出来た」 [FT00561,034]  
1月29日 「又三枚位女ノ子水彩かく」 [FT00561,035]  
1月30日 「随分昔浩一路氏から貰つた厚いすかしのある鳥の子紙に始めてかいた」 [FT00561,036]  
1月31日 「初瀬川 池田首相と会つた時今年の六月から来春にかけて出来る宮殿へ壁画かいて貰へないか内々返事欲しいと他へハ未だ秘密との事きいて来た、帰化した宮中の事なればキツトかいてくれるだらう等と言つてる」 [FT00561,037]  
2月4日 「私の祖父は七十七才で亡くなつた 長い白鬚の老人だつた私の今の年だが私ハ若いと思ふ」 [FT00561,042]  
2月6日 「秋田三郎兵衛 (東京・杉並区) 秋田の民謡レコード送つて来た中々面白し」 [FT00561,044]  
2月11日 「朝から10号の画小児五人油にかく」 [FT00561,049]  
2月20日 ~26日。「作家アトリエシリーズ (1) (銀座資生堂ギャラリー) 《岡鹿之助のパリのアトリエ》」 [FT00561,059]  
2月21日 「巴里の画直しのマリセ氏来て一人連れて肖像画犬等難しく未だ手入れたらしい」 [FT00561,059]  
2月21日 「自画像 28 藤田嗣治 きかん気の性格が如実に」 [『毎日新聞』1964年2月21日]  
2月24日 「医師の会の第二展断り状出す」「小品五号小女の顔せんがき一枚した」 [FT00561,062]  
2月25日 「平野トクの手紙 [……] 私の画とりあえず五千萬円買いたい譲つて貰い度いと 外の人ならのどから手が出る様に欲しい人許りだらうと思ふ 一生かゝつても中々五千万ハ出来る人ハ稀だ。私はそれに應じない。そこ迄私は到着してゐる。画家にかぎらず事業家でも商人でも五千万円は欲しい人が多いと思ふ。しかし画と言ふものは一枚一億以上のものもあり五六千万円ハざらにある巴里の市場だ、スーラ等の鉛筆デッサンで葉書二枚位のが二千万した。驚く事ハない。五千万円ハ大家にとつてハはした金だ。」 [FT00561,063]  
2月28日 「三号の額枠作つて彫刻して色つけした。小女の画入れるため」 [FT00561,066]  
2月29日 「来客林夫妻」「林鶴雄貞子」 [FT00561,067]  
3月1日 「日本画画仙紙出したり支那墨出したりしてかいて見る難しいものだ中々すきに出来ぬ。水墨ハ一種の水藝、下手でなければ面白く出来る 上手にかくにハ中々難しい。下手でもいゝ時代だ。」 [FT00561,069]  
3月3日 「日本画のいたづら画小品沢山かいてうす墨かけたり動物のエロチック画グロテスクなもの等かいて遊ぶ」 [FT00561,071]  
3月15日 「5号小女小鳥墨かき相当に氣使つてかく、人の出来ない様なものかこうと思ふと中々簡単でハない」 [FT00561,083]  
3月16日 「油5号一枚小女 (鳥) を色つけて成功、他の普通カンバス四枚風景かく下地作つておく色ぬつた」 [FT00561,084]  
3月17日 「5号少女鳥のバツクに野花あざみ其他をかき込ミ油とす」「文學界ノオランダ遠眼鏡と言ふ大阪の女流の人のもの見てうまいと思つた」 [FT00561,085]  
3月23日 「一枚4号小女ノバツクにバラの花一面にかき込んで、仕事めんどうでもやりとげる」 [FT00561,091]  
4月5日 「高島夫婦来て」 [FT00561,105]

4月9日	「午前中写生12号坂の上の農家半分白かべかく子供沢山集まる」	[FT00561,109]
4月12日	「風景第一号15P仕上げた」	[FT00561,112]
4月13日	「朝から十号橋のあるシャトーの側の農家トアールに墨かきとてもいい画になつた」	[FT00561,113]
4月19日	「岡田謙三の友人小野教治夫妻」「とくに林さん等は雲の上の人見たいだと皆威張りくさつて高圧にましますとハ変な国だ」	[FT00561,119]
4月21日	「画仙紙本もの、のり刷毛でうすのり作つてはつて入れて見る」	[FT00561,121]
4月27日	「色つけ二枚」「もう一枚のは小女と果物」	[FT00561,127]
5月2日	「せんたく機到着」「初めて第二放送の日TV」	[FT00561,131]
5月13日	「油えバック三枚いろくにかいて画にして仕上げた」	[FT00561,142]
5月25日	「百態マドンナを描く事 すべての職業のデエスとする事。そうして私の建てるシャベルもマドンナ様を本尊にする事を思い付いた」	[FT00561,154]
5月27日	「聖母Miracleかき出しクロッキー」	[FT00561,156]
5月31日	「高島二人 石井好子」	[FT00561,160]
6月7日	「高島夫婦と慶應の仏文の先生若林と言ふ若い人来て」	[FT00561,168]
6月18日	「個展の日 18日より七月十四日迄」「四時にPetridesへ行く高島夫婦も来て居て大勢毎度個展毎に来る人々よく来てくれた」	[FT00561,179]
	～7月14日。「藤田嗣治近作展」(パリ、ポール・ベトリデス画廊)《マドンナ》《奇蹟の聖母》《礼拝》など約50点	
6月	ポール・ベトリデス画廊で第7回の個展を開く。[『芸術新潮』176, p.113]	
6月19日	「十五号Fマテルニテ聖母油え」	[FT00561,180]
6月20日	「15号 Vierge a la Vigue かき出し」	[FT00561,181]
6月21日	「15号ブドーノマドンナの仕事した」	[FT00561,182]
7月2日	「Chapelleノ壁画かき込んで見る」	[FT00561,190]
7月5日	「二枚十五号油で午前午後夕方と仕事」	[FT00561,193]
7月6日	「十五号四枚白カンパス張って白(水)ぬつて準備する」	[FT00561,194]
7月10日	「乳のませ動物母性愛の15号一枚 Belgiqueノ銀行家 Jean Degroof」	[FT00561,196]
7月13日	「女二人と小供猫大小石垣洞門草等」	[FT00561,197]
7月15日	「7h1/2Jary来て田淵45分に来三人でLoire 先ず第一にSt Jaques des queretに行つて 鍵かりて入り壁画見て久し振りに満足 外の十字架や水彩等あり い、お寺だ」	[FT00561,199]
7月18日	「Lalouさん十五号遠景シャベルと我が家かき込んで油にする」	[FT00561,202]
7月20日	「文部省毛塚氏に日本巡回展に私の出品表紙に初物□□色で出したい許可を問い合わせ所蔵家(石黒氏)私は不承知断りの手紙出した」	[FT00561,204]
7月21日	「善三さんの小さい城読んで感心する」	[FT00561,205]
7月24日	「壁に水彩で描いて見たり又女三人墨でかいて見たり夕方迄稽古する」	[FT00561,208]
8月3日	「私の切手のこと」「le Baron シュヴァリエドマルトの人来て奇蹟のマドンナの色写真大版とてもよく写って、巴里の本部でも大に喜んで又外にもあれバ切手作りたいと」	[FT00561,219]
8月11日	「彫刻家の人来ているく(の作品諸大家のを見せてくれた)」「写生正面と側面して一時間後帰る」	[FT00561,227]
8月22日	「七月十四日以来仕事画か、ず三十七日休んだ訳 一枚四号P始めて女ノ顔墨かきした」	[FT00561,238]
8月31日	「一枚8号墨かき果物持つ小女午后外二枚都合三枚女」	[FT00561,247]
9月3日	「八号の小女のバックぶどうの葉等かき込み画一枚仕上げ」	[FT00561,251]
9月4日	「桃バックに小品にかき込む二枚仕上げた」	[FT00561,252]
9月15日	「巴里風けい石版完成」	[FT00561,263]
9月16日	「石版画面面白くなつた今日は一日朝から小品や大きのを沢山かいて四枚画いた」	[FT00561,264]
9月17日	「石版又小品あき間にかいたり」	[FT00561,265]
9月21日	「石版垂鉛版に画二枚分けてかき夕方試し刷りに色つけして一日かゝる」	[FT00561,269]
9月23日	「Guillardに(若)出来た版二枚渡し試し刷り四枚の画受取り(色つけるため)上出来、満足」	[FT00561,271]
9月24日	「写真やFrancois Poboth来てMarie Franceのたのまれ 日本との事にハ関する事なら断るとてchapelle丈け写させて帰へす」	[FT00561,272]
9月25日	「午前午後壁画の稽古線なし大毛筆で画の具で直接にかいて見る。今迄描いた事のない描き方面白くて男一人女三人位壁にかく 未だいろく練習必要だ何歳になっても教はる事が多いし教えてくれるは自分自身より外はない」	[FT00561,273]
9月26日	「紙細工仕事」「番人小屋カルトンで作り出し」	[FT00561,274]

- 9月30日 「田淵小供三人に左官やと来て壁画の土をセメントの上に石灰ヘラでおいて帰る。」 [FT00561,278]
- 9月 日本橋三越での第3回「国際形象展」に出品する。[『年鑑』p.59]
- 10月1日 「石版一枚大作始め終日仕事した」 [FT00561,280]
- 10月5日 「今日はフレスコやつて見るだん〈調子か分つて来たいい事には絵具が落ちない事 水彩やグアムでは壁にのらぬ。石灰の化学作用で色が壁の中に入る。染物の方も濃紺地や白地にデッサン丈け紺で出す茶碗の絵等も作つてみて これもテクニック初めての事」 [FT00561,284]
- 10月8日 「Guillard 試ずり一枚持って来て」 [FT00561,287]
- 10月10日 「オリンピック大祭開催式の模様のRadio天皇の声学生の声等皆聞えた」 [FT00561,289]
- 10月24日 「オリンピック閉会式美事に終つた」「何れハ私も昔の物語の一人として残る (これも他の人より幸かもしれぬ) だろうか。オリンピックの光景すべての様に姿が消されて失くなる事がよく分つた。結局何にもかも無になるのだらう」 [FT00561,303]
- 11月9日 「十五号墨かき初める二枚夕方迄にかき上げて三人ツマの大出来来た」 [FT00561,316]
- 11月13日 「セメントの板干かぬ内にとキリスト十字架フレスコ一日仕事でかいて見る 調子は分つても中々うまく思ふ様に行かぬもの」 [FT00561,320]
- 11月16日 「壁画夕方迄電気つけて仕事」「干くとうすくなつて中々その調子難しく人物や着物のかき方は要領を得た」 [FT00561,323]
- 11月18日 「石井群司氏夫婦で来て雑談日本の画壇画商の話」 [FT00561,325]
- 11月30日 「Lalouさん廿五年祭ノ祝 mumm 金出せないと言ひchapelleも中々後継者に反対も初めてあるともらして来た」 [FT00561,335]
- 12月1日 「Petridesに行つて十五号二枚おく」「日本が大変だぞとて何うかしたのかきくと不景気でドン〈会社がつぶれて行って大きいのが二ツ三ツ残る位全滅だと言ふこ、三年位は立ち上れまいと言ひ、これで日本人も私の画買えなくなつて安心した」 [FT00561,337]
- 12月7日 「昨日と同じく素描鳥の子にかき夕方迄二日で十四枚かいた」 [FT00561,343]
- 12月10日 「十四枚しようふ煮てデッサン原紙に張つた」 [FT00561,346]
- 12月19日 「Prade Mumm の人と二人で来て金貨中に時計ありをLalouさんのMummに社長として 年の祝 Mumm からの祝 私 のデッサン代として貰つた」 [FT00561,355]
- 12月21日 「巴里出発Nice へ行く」 [FT00561,357]

## 1965 (昭和40)年 78歳

- この頃 礼拝堂を建立し、室内をフレスコ画で装飾する計画をたてる。当初、建築家モーリス・クロジェに協力を依頼し、ヴェリエール=バクルに場所を探していたが、ランスのシャンパン会社の経営者であったルネ・ラルーのすすめでランスに建立することとなった。[『藤田嗣治「異邦人」の生涯』pp.294-296]
- 1月7日 「伊原宇三郎 田村泰次郎と又来巴したいと」 [FT00564,011]
- 1月9日 「6号にコルシカの女オリーブ畑井戸等かく」 [FT00564,013]
- 1月10日 「6号オリーブの林の女かめを持つ」 [FT00564,014]
- 1月15日 「Petrides へ行つて画 6号二枚と小デッサン」 [FT00564,019]
- 1月18日 「カンバスに水白塗料ぬった」 [FT00564,022]
- 1月21日 「cavas に白油ぬり始め午後 3h 迄かゝる」 [FT00564,025]
- 1月25日 「角田氏の主人一月六日 十二日葬式」 [FT00564,029]
- 1月31日 「12号PにEve すみかき初め」 [FT00564,035]
- 2月1日 「12号の動物いろ〈仕上げたり画きこんだりする」 [FT00564,037]
- 2月10日 「Prade Lalou 二人して来てReinsの絵はかきの事 chapelle St AnvanとReinsにも一つ建てたい等」「一層Lalou 除きで私の念仏堂の小舎丈け自分の力で建てた方がいゝ、と思ひ出した」 [FT00564,046]
- 2月21日 「近代美術かん長稲田氏へ断り状」 [FT00564,053]
- 3月2日 「Vogueに出てるNiki de Saint Phalleの意見も面白く本当の事を言つてるが作品はもう見た事のある様なもので失望する」 [FT00564,063]
- 3月8日 「岡田謙三 日本での画集に二枚入れたいとの事」「受 内海正和」「油え二枚完成満足する迄かく、一寸でも気にかゝる処は容赦なく筆を入れたり、消したり これ許りはいゝ、かげんにはしておかぬ私の性分だ」「Versailleで競売 4号 女ノ子二人は240万で売れデッサン淡色の唐子の様なものは20万法でTartas買ったと デッサン20万 4号240万法なれば一号60万法と言ふ処なり」 [FT00564,069]
- 3月9日 「内海正和 三一書房 二枚画集への断り状」 [FT00564,070]

- 3月13日 「Canadaへ断り状Stern」 [FT00564,074]
- 3月17日 「カナダStern 私の断り状承だくこれからハ一切買ふ等と言はぬが又時期が来たら（私の方での）何んでも買い度いと怒らぬ処がドイツ人の強い処だまだ 希望をすてぬ」「小品二枚6号小女 6号小女、とEve12号この□渡した分」 [FT00564,078]
- 3月19日 「一枚ルーマニヤの宗教画スケッチ画用紙に水彩後油で手入れして」 [FT00564,080]
- 3月26日 「八号F二枚と五号P墨で小女各れくに描き上げた」 [FT00564,085]
- 4月1日 「8号一枚小女石坂石門等いろく採集して写生もう一枚の8号と石の塀らしいものかいて」 [FT00564,092]
- 4月2日 「一日8号二枚油でかき上げた」 [FT00564,093]
- 4月3日 「8号二枚仕上げ」 [FT00564,094]
- 4月6日 「Petridesノ処へ8号二枚持つて行く小女」 [FT00564,097]
- 4月12日 「キリストやマドンナをかいて見る。日本紙毛筆で色地にぬる」 [FT00564,101]
- 4月13日 「Reins行き」「Bagot氏案内（この二人シャペン製造主任今度の副会長）案内してLalouさんのぶどうに岳12KLの処見に行く」 [FT00564,102]
- 4月14日 「Reins 調和するフランス風に変更壁画も皆改めて考え直す事」「Hotel其ノ隣ノ土地芝生の千メートルの処chapelle如何かとして最上地」「Hotelに住んで仕事出来る事となり便利」 [FT00564,103]
- 4月16日 「Torealloノ大壁画画用紙にcopieし始めて大構図のけいこした。私のChapelleもこんあ風にしたいと思って正面大壁の下図の参考とした」 [FT00564,105]
- 4月18日 「マドンナ大きくdessin始めた仕上げた」 [FT00564,107]
- 4月21日 「二枚 二人左右に十字架の処にかく聖女デッサン始めて夕方迄に仕上げた」 [FT00564,110]
- 4月22日 「仕事の夢許り見てる頭一杯いろく空想する。一番楽しい時だ。左右にかく聖女と老聖午後は衣服着たキリスト三枚6h1/2迄かく」 [FT00564,111]
- 4月23日 「一枚老人聖人を一枚notrepereと四つの護神かく」 [FT00564,112]
- 4月24日 「午前中より天女一枚かき又午后天女一枚かき午後祈りの老女かく」 [FT00564,113]
- 4月25日 「今日も女（聖人）一人かく 午後老聖一人加はえて二人とした」 [FT00564,114]
- 4月26日 「Mumm会社はあの土地をLalouさんに寄附するとの事」「一枚ステンドグラスビートライ聖母始めて見た」 [FT00564,115]
- 4月27日 「三枚デッサン鳥の子にかき午後色つけて淡彩にした水彩の気持軽くして見る」 [FT00564,116]
- 4月28日 「水彩の仕事して三枚何うにか強い印象にした」 [FT00564,117]
- 5月1日 「ビートライ聖母Adration色つけして見る透明でないのが難しい（ガラスでないから）」 [FT00564,121]
- 5月2日 「キリストのVitrail始めて油で色迄つけた」 [FT00564,122]
- 5月3日 「建築家Sabatier感謝の手紙よこす」「Vitrailキリストの上下左右いろくかく何んでもかき込んで見なければならぬ案内面白いものが生れ出るかもしれぬ」「キリストの分も出来Madonneノ分ももう一度念押しして夕方迄に二枚描き上げて見た」 [FT00564,123]
- 5月4日 「一枚の紙に四人の老人（一人ハ若い人）描いて」「老人二枚二枚目のにかいた」 [FT00564,124]
- 5月5日 「老人三人若者一人」「女五人小供二人」 [FT00564,125]
- 5月6日 「女七人小供一人の構図下画」「音楽の天女かき出す」 [FT00564,126]
- 5月7日 「天女二人二枚かき出し昨夕はうまく進まなかつたのが今日のはうまくかけて」「又一枚男の中老の強いものかき出して」 [FT00564,127]
- 5月8日 「男のデッサン仕上げるそうして又老女らしいものと手を上げた天女らしいものとかき」 [FT00564,128]
- 5月9日 「小品凡そ11枚 男女の顔半身等許り一日かいて後から後洪水の様に出来止む処知らず」 [FT00564,129]
- 5月10日 「キリストの顔丈け6・7小品四枚に描き」 [FT00564,130]
- 5月11日 「キリスト十字架より降りたる処横に大きくかき出して中止した」 [FT00564,131]
- 5月12日 「とうくキリスト十字架より降りたる処七人の構図大一枚出来上つた」 [FT00564,132]
- 5月14日 「海老原日本横浜出航モスコを経て廿一か廿三日巴里着と」 [FT00564,133]
- 5月15日 「アノンシヤシヨン（二人）一枚昨日から描き出した分仕上げ中々はかどらず サツサと出来る時と時間のかゝる時とあり」 [FT00564,135]
- 5月16日 「キリスト14 cheminノ受難大一枚かき出し夕方迄かいて出来ず」 [FT00564,136]
- 5月17日 「仕事一枚キリスト十字架を肩にする昨日の続き完成した」 [FT00564,137]
- 5月19日 「キリスト昇天の図一枚5h1/2に完成シカチーフ吹きかけのポンプでやって平に木炭止めいゝもの発見（今頃やっと）自分乍ら時代遅れと思ふ」 [FT00564,139]
- 5月20日 「とうく（奇蹟ノキリスト）一枚かき上げ」 [FT00564,140]



5月21日	「キリスト誕生以前かいた80号油えの様な構図でかいたが今度の方がいゝ」	[FT00564,141]
5月22日	「Noelノ図完成」 「誕生の図出来た」	[FT00564,142]
5月23日	「キリストのパテームかき出す、一日かゝつて出来ず」	[FT00564,143]
5月24日	「キリストパテーム午前中仕上げ一枚」 「盗賊二人はりつけ二枚かき上げた」	[FT00564,144]
5月25日	「海老原夫婦 [……] 着巴したとて [……] 貫禄もつき悪口も言はず人の噂もしない方になつて梅原安井の門下にハいゝ人が出ない、が私がかきびしく仕込んだお弟子が今日本の画壇に活やくしている皆私の門下だとして (岡田、岡、高島等林は例外)」	[FT00564,145]
5月26日	「盗賊二人はりつけ二枚かけ上げた」	[FT00564,146]
6月2日	「notre père の神父一枚一日かゝつてかき」	[FT00564,154]
6月3日	「二枚小ビートライの画アダムイープ小二枚かき上げ」	[FT00564,155]
6月5日	「一枚ビートロかく」	[FT00564,157]
6月7日	「又一枚ビートロ動物ノ創造神一人」	[FT00564,159]
6月8日	「受 河北倫明」 「動物創造初め他の四枚皆線黒く入れてガラス戸に張つて見たりする」 「Tel 田淵に明日か明後日私に会いたいと言ふ近代美術館次長河北氏に断つて貰ふ事にした」	[FT00564,160]
6月9日	「一枚昼から一枚小供の顔かいて見た」	[FT00564,161]
6月10日	「建築家 Sabatier氏来て模型と図面で雅なもの作つて来たが凡そ私の思つてたものとは丸で異つたもの」	[FT00564,162]
6月29日	「Petridesに行つて水彩三枚渡して1939年の風景 Les Eygies Gare 引き込み線の画と小品ととりかへする事にして貰つて来た」	[FT00564,175]
6月1日	「遊んで、でも仕方なしとて二枚 dessin かく 遊んでいるのが一番勿体ない私だ」	[FT00564,178]
7月2日	「今朝迄三枚かいた 一日に150萬位楽にかけるから遊んで、ハ勿体ない事だ」 「デッサン三枚かく一枚は破つた珍しい事」	[FT00564,179]
7月5日	「君代又日本人の事大に論じて 今更私に文化勲章や勲一等くれると総理や文部大臣大いに相談してるとの事であんな国から貰つて気持ちが許さない」	[FT00564,182]
7月6日	「長岡の musee に銀橋に渡した油入つてるとの事」	[FT00564,183]
7月15日	「4p に壺とバラ墨かき12号女のバック石の垣等かき」	[FT00564,190]
7月17日	「女とバラとつた 四号バラと壺 油え」	[FT00564,192]
7月21日	「テープレコーダー吹き込み」 「いろく (夕立雲) 自作等吹き込んで遊ぶ」	[FT00564,196]
7月22日	「デッサン水彩うすく色つき (白ちや人其他モンパルナスAdierでかいたもの主として) 等大中小厚紙に張つたりセルフアン紙に包んだりして油え二枚にニスぬつたり仕事もろくにせず」	[FT00564,197]
7月25日	「一枚ベニヤにシツクイぬつて粉でキリストの顔かいて見た」	[FT00564,200]
7月26日	「キリストの顔二枚マドンナー一枚フレスコして夕方迄勉強した」	[FT00564,201]
8月4日	「テープレコーダー初めてとうく吹込み終つて11h ホットした可笑しくつてこんなに一人で笑つた事なしの傑作出来た」	[FT00564,209]
8月8日	「小壁画板の上にかいて見る女ノ顔」	[FT00564,213]
8月15日	「デルマルクで雑誌七月号に私の写真沢山出たのを貰つた」	[FT00564,220]
8月16日	「10号p に墨かき女と女の子二人」	[FT00564,221]
8月17日	「一枚 dessin 毛筆でかく」	[FT00564,222]
8月18日	「杉本、マメルスタイン氏 8月初旬心臓マヒで死んだと 日本からN.Yに來た時の保証人の Juif の人、又一人消えて行く」	[FT00564,223]
8月24日	「午後10号の女と小女のバック南フランスの村をかき込んでバックようやく出来た、何時もバックで難義する」	[FT00564,229]
8月25日	「谷崎潤一郎高見順寺内萬次郎 (去年) 他界の事知つた」	[FT00564,230]
8月29日	「木炭でクロッキー沢山かいて見る」	[FT00564,234]
8月30日	「朝からデッサンクロッキー又アルヂリヤの小供等木炭でかく」	[FT00564,235]
8月31日	「10号油え仕上げ」	[FT00564,236]
9月1日	「木炭画沢山かく随分出来た」	[FT00564,237]
9月2日	「10号Fに小児三人と野菜台処かき始め」	[FT00564,238]
9月5日	「一枚小女と猫」	[FT00564,242]
9月6日	「4号F一枚小女と花かく」 「シアイゼールの事 [……] 聖人だ。神様だと思ふ自分達ハ恥かしいと思ふ」	[FT00564,243]
9月9日	「一日藤田家の事父の事を調べる。」	[FT00564,246]
9月15日	「15と10号枠にキャンバス張つて (水) 白塗料ぬつて昼から油白下地二枚仕上げた」	[FT00564,252]

- 9月19日 「田村夫人同伴幸祥光（藝術院会員小鼓ノ名手観世流 宝生弥一氏（先年も会いサラベナールで舞台ノ松ノ枝一ツかいて上げた人）「小さい版画小女二枚記念に上げた、皆立派な人だ」 [FT00564,256]
- 9月22日 「虹と言ふ懸賞当選小説よんで気持ちいい とても鑑さつうまく表現が例外によし感心する」 [FT00564,259]
- 9月27日 「油えの色プレスで重ねて見たりする」 [FT00564,264]
- 10月4日 「一日色紙出して墨えでキリストの顔かき」 [FT00564,272]
- 10月9日 「フヒキサチーフのびんにベルニで画かいて見る」 [FT00564,277]
- 10月13日 「Odeon 座カブキ Tel で断つた 大使かんの招待も断つた」「小びんガラス画二ツ仕上げ」「木箱のふたいかいた小女とても好きで大きくして見た冗談にかいた様なものから傑作が生まれる」 [FT00564,281]
- 10月16日 「今時画を欲しかる画商も私だからだらうと思へば幸ならだらうがもういくらかいても売れる画もかきたくなし」 [FT00564,284]
- 10月22日 「毎日新聞支局長の個展たのむ手紙」「クロツキー二枚学校通学パンと小女 8号6号の下えかき」 [FT00564,290]
- 10月24日 「8号冬ノ雪通学小児二人油えかく」 [FT00564,292]
- 10月25日 「毎日支局長三好修氏へ断り個展」 「Vitrelノ画かく炭の粉の様なもの水でとがしてかく面白くけずれるものだ」 [FT00564,293]
- 10月26日 「日本から来た偽作の写真に一々証明かいて返事」 [FT00564,294]
- 10月30日 「水彩仕事又夕方手入れ日本のえのぐ（日本画）でかいて見る」 [FT00564,296]
- 10月31日 「水彩五枚小デッサン一枚カルトンに糊ばりする びん二ツにマドンナと魚小ベルニの画かく」 [FT00564,297]
- 11月1日 「真贋23 原子炉で調べた藤田嗣治の《猫》」 [『芸術新潮』No.191]
- 11月2日 「藤田試論すこし見て加筆した誤り多し」 [FT00564,300]
- 11月3日 「一日画用紙木炭画8枚3F顔や姿等かきて一日暮して面白し いろくかいて見てもつとつき度くなる。人も来ずこんなに仕事に楽しめるのは私位のものだらうと幸に思ふ」 [FT00564,301]
- 11月4日 「“Eterre Europe”雑誌BruelesノJean Robert Dela hart氏来てNoel号出したいとて写真や等教えて原稿さしえは断つてchappelleのクロツキー見せて其他の事は一切断ると言つて帰へす」 [FT00564,302]
- 11月5日 「朝から又壁画初め二枚目化物等かく要領だんく判つてくる」 「Marq 来てVitrail上々としてこの寸法でたてる六枚の下画渡してたのミ」 [FT00564,303]
- 11月6日 「chappelleノ事決定 entrepreneur にたのむ事になつて私の設計通りで又古石も使えるし上々MarqもBernardもそれの方がいいと言ひ出した PradeもLalou大喜びだった。Lalouさんの会社をやつた大受請人をたのむ事になりそうだ」「今日は二枚新しい化物と骸骨かいて三枚目で夕方になり」 [FT00564,304]
- 11月10日 「Petridesへ直接デッサン四枚8号雪男女ノ子学校行き5号女ノ子牛乳びん」 [FT00564,308]
- 11月11日 「ハンダ仕事ガラス切りで一日かゝつてキリストの分大きくマドンナの分新しく小窓の枠に合せて作った」 [FT00564,309]
- 11月12日 「TV DurerよりFoujitaと出て、私ハしらぬ事 Durerと並んだ光栄の事だ」 [FT00564,310]
- 11月13日 「大Vitraouxノデッサン二枚続きにして二枚聖女二人かく」 [FT00564,311]
- 11月14日 「朝から今日ハ又二枚大Vitraoux下え音楽の天女と老聖一人夕方夜になって上の方円形にしたりして四枚仕上げた」 [FT00564,312]
- 11月15日 「Vitraouxノ四枚の画の女ノバック等いろく研究した。重くしてもよくなし。難しい。」「私の計画私の図で出来る事になった建築家二人Sabatier Bunard断つた」 [FT00564,313]
- 11月17日 「Vitraouxの油えで色つけして成功」 [FT00564,315]
- 11月18日 「ダニストマカーブル四人かき込む僧正百姓王様等、枠もかく」 [FT00564,316]
- 11月19日 「Vitraouxの下図ハ一先づ全体出来上り」 [FT00564,317]
- 11月21日 「6枚カンバス白（水）ぬったり二枚の小壁画枠白ぬり仕上げて」 [FT00564,319]
- 11月22日 「クロツキー一枚かいた女の学生 壁画かいて見たくなくて正面壁の上の方に粉えのぐで人物9人かいて見る面白し」 [FT00564,320]
- 11月23日 「一枚油えすみかき学校通いの女生徒」「壁画アトリエ始めて面白くし」「壁画かいて見る要領が大分分つて来た筆等も何んでも使える様になり相だ面白くて仕方がないこの年になつてまだ習ふ事多し」 [FT00564,321]
- 11月27日 「私のchappelleにかくキリストかいて稽古して見る。」 [FT00564,325]
- 11月28日 「キリストの左右の下に大勢人物かく一日仕事して出来上がらず」 [FT00564,326]
- 11月30日 「十字架のキリストとその周辺の人物いろくかき手入れて」 [FT00564,328]
- 12月1日 「夏堀氏原稿は戦争画の処委し。よく研究したものだ。」 [FT00564,330]
- 「レオナルド・フジタ・リトグラフ展」（～15日）新宿・伊勢丹百貨店
- 12月2日 「Prade来て七枚Plan持って来た大体私の案の通り多少変更位で完全にいろくのPlan持って来た前ノ二人の様な事な

- し」 [FT00564.331]
- 12月3日 「午後女人形等身大作り始め」[夏堀氏原稿大に読む改正追加等するよく調べてある] [FT00564.332]
- 12月6日 「午後は一日夏堀氏の原稿よんで追加と訂正に忙しく面白かつた。よく調べてある」 [FT00564.335]
- 12月11日 「10号油画ノバック小供二人左右にかいて早く出来満足」 [FT00564.340]
- 12月12日 「4号一枚小品小女かく」 [FT00564.341]
- 12月13日 「Pradeノ処2h40分 Clauzier氏来てLalouさん来て私の直したplan渡して話決定来年三月より始めて六月には私仕事にかゝれるとの事」 [FT00564.342]
- 「レオナルド藤田小品展」(～25日)大倉画廊
- 12月22日 「建築家Clauzier質問」[PradeのLalouたのみ【コップの絵】ニツに男ノ子女ノ子かいた びんとコップ」[私のびんに十字架のキリスト」[Noelノキリスト木版沢山刷つた一々色いれて方々へ出す事にした] [FT00564.351]
- 12月25日 「教会の扉戸の事研究する」[木版キリスト沢山刷つた三度目すこし出すとなくなる] [FT00564.354]
- 12月26日 「chappelleの入り口の扉えかいてchertuのお寺のもの参考 赤朱色にぬって鉄蝶番とびょう打つ事」 [FT00564.355]
- 12月30日 「木版キリストの顔又一枚二枚目彫つて刷つて夕方6hに出来た、今後ノ方がいゝ。これはいゝ、下画があったからだ」 [FT00564.359]

## 1966 (昭和41)年 79歳

- 1月3日 「徳大寺公美返事西園寺さんに招かれた事」 [FT00565.009]
- 1月4日 「Clauzierノ図面の訂正追加等にいろく参考書見乍ら一々かき(図と説明)一日暮した」 [FT00565.010]
- 1月5日 「林氏の手紙宮本三郎一人藝術院会員になつたと笑かし田村、高島海老原林、其他廿五人の候補者五名の補欠ありて半数とらねばなれぬとの事 木下孝則や林武氏等ハ万年候補との事」[クロージェ(chappelle下図)氏に送る返事図説明いろく入れて出す] [FT00565.011]
- 1月6日 「色紙色のむらのついた薄手の紙にキリストの顔沢山かいて見る面白くなって止められず皆君代にやつた29枚あつた」 [FT00565.012]
- 1月10日 「受 Clauzier問 返事図解と共にかく」 [FT00565.016]
- 1月11日 「受 Clauzier図面一枚」[終日Clauzier氏宛ての返事図面と説明で仕事した」[Clauzier直ぐ返事よこして又図くれる私も返事直ぐ出して二人の間進行大に捗り、喜んでるらしい。] [FT00565.017]
- 1月13日 「油えバラの花壺油でかき」[彫刻で羊の旗持つたのかいて見る中々難しい] [FT00565.019]
- 1月14日 「発 Clauzier (二枚羊と魚の浮彫のえ)」[十字架小児のはりつけは無縁故着物のキリスト少年を立たせた いい考えだつた] [FT00565.020]
- 1月21日 「Clauzier図引いて最後の分私の希望通り Lalouさん等必要でないとかこれは消除した方がいゝとか予算で削られハしないか切角の事残念だ等心配して来た」 [FT00565.027]
- 1月27日 「今日ハ一日大素描出してClauzierノPlanノ壁面に壁画こまかく大略入れるのに一日かゝつた。仕事だ」 [FT00565.033]
- 1月31日 「マドンナのシャベルの正面の小壁にブドーのマドンナかく事にして大デッサン工夫してかく よせ集めの紙で形とつた」[私の仕事が面白い。こんなお寺建て、自分の力一杯残す様な仕事した画家の事ハ聞かぬ。] [FT00565.037]
- 2月3日 「ロシア月に静かに始めてコスモス降下させて始めて人間らしいロボットいろく写して送り来るらしい大 news 歴史的の日なり」 [FT00565.041]
- 2月7日 「Clauzierに壁画配置のplan数枚に水彩にしてかいて送つた」 [FT00565.045]
- 2月8日 「平野眞琴(誠)三郎兵衛ノ兄美術館建設の報告に来て秋田市日建設計工務株式会社二億三千万円で落札して今年から秋田市の城跡にたてるとの事 政吉三百枚の作品と五千万円寄付したとの事」 [FT00565.046]
- 2月15日 「6号小女二人鍋持つ子と皿ふく子机上壺皿コップ等墨かき」 [FT00565.049]
- 2月21日 「キリストの像顔裏面にかき台に模様型紙でおいたり金箔おいたりして仕上げたよくなつた」 [FT00564.055]
- 2月末から礼拝堂の建設がはじまり、6月に完成する。[「画集」p.218]
- 3月4日 「受 Clauzier」[日本へ原稿夏堀氏の分] [FT00565.065]
- 3月12日 「発 夏堀氏本返送の事」 [FT00565.071]
- 3月14日 「発 Clauzier二大封筒彫刻デッサン」 [FT00565.073]
- 3月16日 「山椒大夫田中絹代見る寂しい可愛相な映画二度目。大分忘れて、始めて見るが如し。日本の風景広重や北斎らしく見える。人物も清長や国貞や豊國に見える。」 [FT00565.075]
- 3月18日 「66年2月24日のBelgiqueの大新聞に1926年2月25日ベルギーの夕刊の展覧会自画像Musée買上げとVandervelde氏の推せんでレオポルト一世勲賞貰つたと出てた(四十年前)として出てたもうあれから40年経った。」 [FT00565.077]
- 3月20日 「カンバス張つて昼から白色ぬつて(水)干かしキリストの顔色紙に何枚もかく。中々いゝのが出来ぬ、日によつてど

- ん〈出来る日もあればうまく出来ない日もある、うまいと言ふのは自分の豫期以上のものの事を言ふ。〉 [FT00565,079]
- 3月21日 「発 Clauzier板の周囲残すか裏もかくのか? 問い合わせ出す」 [FT00565,080]
- 3月22日 「扉 (サリレスチー) の絵十六枚」 「来訪 松任谷 (Matsutoya) 国子、千鶴子、弟琢司」 [FT00565,081]
- 3月23日 「受 Clauzier寺の内部出来上り想像図三枚 返事出す」 [FT00565,082]
- 3月24日 「受 Clauzier寸法板扉えかいて来た」 「扉え3枚かく」 [FT00565,083]
- 3月26日 「今日も扉え3枚かいて合計16枚完成ホツとして裏地不必要なれども私の好みで色いろく変へて下地ぬつて」 [FT00565,085]
- 3月28日 「受 夏堀氏感謝の手紙」 [FT00565,087]
- 3月30日 「Cartierに行つてうでわとぶろーち取つていろくルビー、エメロード、ダイヤ等見せて貰つてとうく5キャラ Pur 無きずのソリテール二千二百萬で現金」 「私の一生の中でも一番金高の買物して君代喜ばせた、こんな身分になつた事が私ハ満足だ。」 [FT00565,089]
- 4月2日 「中窓二枚 小たて長の窓四枚」 [FT00565,093]
- 4月7日 「キリストの顔も沢山小紙ノ切れはじにかいて見る。」 [FT00565,098]
- 4月8日 「色紙いろくかいて見た 古梅えんの墨一本おろした。」 [FT00565,099]
- 4月9日 「来訪 岡沢吉夫 キリストの色紙ラルーさんの版画や本上げた」 [FT00565,100]
- 4月13日 「血液検査の女の人来て血とって行く」 [FT00565,104]
- 4月15日 「Atelier 海老原二人と合して鍵二つ2425渡しコンシエルヂに紹介 (100fr海老原チップ) 月曜日から住むとの事」 「Dr 先生来てUreeと言ふ病気尿素水一本と又菓一ヶ月お茶に入れてのむ事。沢山のめばい、らしい。」 [FT00565,106]
- 4月17日 「一日三回日本の薬草三十滴のむ」 [FT00565,108]
- 4月18日 「今日は六枚大デツサン壁画の二人の構図の分足りないかも知らぬので描いて見た出来よし」 [FT00565,109]
- 4月20日 「色つけた紙に衣物のひだかいて参考品作り出し白でハイライトつけたりして面白かつた」 [FT00565,111]
- 4月22日 「受 小寺健吉 川島理一」 [FT00565,113]
- 4月23日 「日本の老大家皆一生の最後の想出らしく洋行大に流行してドイツもコイツも若い女房に手ひかれてやつて来る、半分は病身、高島、海老原皆然り川島も大病気だつた小寺等後から後来る人続く、田舎に居たりReinsに行くので大分会はなくてすむ。」 [FT00565,114]
- 4月24日 「スイスのハンケチやにキリストの顔二枚印刷させる事たのむ」 [FT00565,115]
- 4月25日 「一枚大デツサンStechristotrophかたぐるまに小供のせてる神様かく」 [FT00565,116]
- 5月1日 「額椽三つの仕事にかゝりて午后夕方彫刻」 [FT00565,123]
- 5月3日 「Vitraux一日大仕事してもう三枚目にかかつた。面白くて止められぬ。何にも気にせず一心不乱とハこの事なり。」 [FT00565,125]
- 5月4日 「Vitrauxの仕事上の大四つはすみ下の3つで今日終り明日で皆出来るらしい」 [FT00565,126]
- 5月9日 「Vitrailノ老人の顔気に入らず消して新らしくかくよくなつた」 「Clauzier 私と左官と念々壁 下ぬり中ぬり仕上げの相談との事。」 [FT00565,131]
- 5月10日 「一枚小供三人の油えの下図いろくかいて見て一枚出来 又宗教画の人物男女四五枚大きくかく面白くて夕方となる」 [FT00565,132]
- 5月11日 「お寺の画木炭でかいてかきまると言ふ勢今日ハ面白く出来る」 [FT00565,133]
- 5月12日 「8号に小女三人椅子にこしかけてる処墨でかく一通り出来」 [FT00565,134]
- 5月13日 「8号の小女三人の画にランプとキリストの顔小女シャブレ等かき込んで」 「Reinsの新聞に大きく記事出た」 「夕方 Vitrailノ小品仕事した」 [FT00565,135]
- 5月14日 「Torcharge Reinsでシャベル 完全なプロポーションと褒めて来た」 「ビトロロー八枚 六枚の合せた分の額枠の分昨日から最後の二枚仕上げ今朝皆つなぎぎんみした」 [FT00565,136]
- 5月16日 「受 夏堀未だつかぬと」 [FT00565,138]
- 5月17日 「Reins行き」 「全く私ハこんなシャベル (むしろEglise) ハ見た事なくクラシックでしかもモーダンで良質の石、仕事、手ぬかりなく出来て気品よく宝石の如く全く幸だと思つた。歌いおどりたい様に嬉しかつた何日迄もその場に居て眺めて居たかつた。」 [FT00565,139]
- 5月19日 「今日セメントの裏 (フレスコ) に ChauxBlane (Lafarge) ぬつてかいて見る上出来安心した」 [FT00565,141]
- 5月22日 「いろく Reins行き持参のもの揃える。大デツサン巻き直す。朝又一枚壁画Chase eteintiの方で見本作つて見る。そうしてかいて見る。"Lafarge", Chaux Blaneの方柔らかく白□ふかくかきよし」 [FT00565,144]
- 5月23日 「TV、夜コクトーのオルフェを見て難しくてよく判らず」 [FT00565,145]
- 5月25日 「Petrides 8F小女三人クリストの顔壁にあり水彩台処の女皿ふき 二枚届け」 [FT00565,147]
- 5月27日 「平野政吉(72) 誠42、三郎兵衛28 長女美恵子(23) 一同突然来ているく美術かんの報告十一月文化の日に開館との事、



- つい私がガルトムープルに入れてある大作寄附してもい、と思つて君代にも一応説明して将来の置場にも困から寄附する事等話出でついうつかり私のあやまち帰つてから君代の忠告身にしみて明朝ことわる事にした。日本の浴衣着物二枚桐さくら皮の下駄ニツ等貰つて返礼にキリストの顔一枚やった。」 [FT00565,149]
- 5月28日 「平野Telして昨日寄贈の大作とりやめる事」「11h 平野親子三人来て是非日本の青少年のために寄贈してくれとて4h 迄めしもたべず泣き落し泣いたり両手ついて親子が座つたりおがんだりして君代に歎願してくかえしく財団法人の事私欲のない事永久保存の事等くり返へし憐情あれどとうくんとして拒んで二人で勝った」 [FT00565,150]
- 6月1日から夫人とともに礼拝堂のフレスコ画の制作にとりかかり、8月31日に完成する。礼拝堂は「ノートル=ダム・ド・ラ・ペ (平和の聖母)」と命名され、10月1日、ランス大司祭より聖別、10月18日に除幕された。同日、礼拝堂はランス市へ寄贈された。〔画集〕 p.218]
- 6月4日 「愈々十字架おろす色ぬり初めて一日かく面白し」 [FT00565,158]
- 6月5日 「大作十字架降ろし左右に四人追加」 [FT00565,159]
- 6月9日 「受 日本夏堀原稿届く礼状」「キリストと聖人二人Baptêmeノ図仕上げた」 [FT00565,163]
- 6月13日 「奇蹟のキリストにとりかかり」「濃い処一番にかいて中、明るくして行く方が本当だ。」 [FT00565,167]
- 6月14日 「四日色壁画初めて今日十四日十一日目で三枚描いた訳だ」「地下室のある事初めて知つた。全体の広さ高さ1m20位との事 12□にPrade耳打ちしてこんな事ハ先きの事だがLalouさんと vousと Kimiyoはこゝへ葬る事 大僧正も承知してくれたと それで分つた。こんなお墓持つ私人外にない」 [FT00565,168]
- 6月15日 「大心配大あわて悲観したがとり返へした」「シャベル昨日の奇蹟の画の前でない外の方をかいて、気がつかず后前昨日のを見た判る処白い粉吹き出して壁画一面大変な失敗風化作用を起してる。水でどんく洗っても又白が出て顔も手も見えず 后前葉買ってAcide后又二度君代も洗つてくれて熱湯に塩酸入れて洗つてやつと落ち付いた。手を加へて夕方何処も見て夕食も見に行つても奇蹟的になほつた。ホットする。」 [FT00565,169]
- 6月17日 「アノンシヤシオン二人始めた」 [FT00565,171]
- 6月19日 「マドンナのクレオル (金箔) おいたりして午前中一人で仕事」「museeに行く始めてクラナツテ15枚許り15世紀の大幅ゴブランSt Remyびつくりして感服」「ミューゼで13年も巴里に居る島田とか言ふ哲学者ランスのお寺の私の画が見つからなかつたと言ふ」 [FT00565,173]
- 6月20日 「第五 奇蹟の漁かき出す」 [FT00565,174]
- 6月22日 「奇蹟の漁完成一日かく金箔おく」 [FT00565,176]
- 6月24日 「誕生のデッサン第六」「マドンナ女ノ子二人牛馬山羊羊等かいて」 [FT00565,178]
- 6月25日 「残りの人物左の例の人かく」 [FT00565,179]
- 6月26日 「ClauzierもCharles Marq顔出す全部で300萬位との事Prade支払つたとLendiの話」 [FT00565,180]
- 6月27日 「午後ハ又巴里市長Pierre Christian紳士夫人其他連れて来て絶讚」 [FT00565,181]
- 6月28日 「道子、筆 (彩色) 四十本送ってくれた」「第七キリスト十字架かつぐ」 [FT00565,182]
- 6月30日 「奇蹟の漁の空かく上出来」 [FT00565,184]
- 7月1日 「パラム十字架より降ろすの空かき風景等かきて」「ミラークル (盲人病人の石門かく空もかく」 [FT00565,186]
- 7月3日 「キリストの足を洗ふ構図大デッサン初めて見た。」 [FT00565,188]
- 7月6日 「昇天の図第八」 [FT00565,191]
- 7月7日 「海老原来た」 [FT00565,192]
- 7月8日 「下図なく直接にかく」「天女二人赤と青とてかいてキリストの周囲明るく光る様にしてうまく出来た三日考えぬいた結果は果して寄望通り一日仕事いろく岩山の洞穴に狐親子かいて」 [FT00565,193]
- 7月10日 「正面のマドンナの遠近法よく考えて来た」 [FT00565,195]
- 7月13日 「第十、キリスト足洗ふ」 [FT00565,198]
- 7月14日 「小供二人水辺にかき水に輪、木三四本かいたりしてキリスト足洗ひの図完成」 [FT00565,199]
- 7月15日 「第十一キリスト三十字架大壁画」「キリスト正面盗賊二人左右」 [FT00565,200]
- 7月16日 「雲等くらくして全く別物」 [FT00565,201]
- 7月18日 「入口の上空ぬり」 [FT00565,203]
- 7月22日 「大壁画の左下に四人大男聖人かき込んで三人丈け色つけ終つた」 [FT00565,207]
- 7月23日 「昨日の三人の立像の間に女二人と左端に男女二人かき込んで」「右の上の大壁画は今日で九日目一番長くかゝりまだ後四日はかゝる」 [FT00565,208]
- 7月24日 「左下出来た」 [FT00565,209]
- 7月25日 「一人と二人並べて老聖若い人一人座らせてかき」 [FT00565,210]
- 7月26日 「老婆一人午前中かき午後男、女 Lalouと私の顔かき込んだり」 [FT00565,211]
- 7月27日 「大壁画完成」「皆Lalouさんと私の顔かいたの見て分つた若いのが似てるとClauzieもかいて貰いた様に香はせるがdonateur

	でないからかく訳に行かぬ」	[FT00565,212]
7月28日	「神父の周囲の四動物大きくかいて見た」	[FT00565,213]
8月1日	「正面上の左角夕方完成す」	[FT00565,218]
8月2日	「正面上の右角 天女一人かき上げ」	[FT00565,219]
8月3日	「正面の下右角小窓の横 聖女一人かくつもり、石壇バック、地上夕方完成 又上の中央神父と天女のつなぎ目の空色 合せ一苦労してなほした」	[FT00565,220]
8月5日	「マドンナの祭壇正面」	[FT00565,222]
8月6日	「マドンナ左右に女二人座してるのをかきぶどうや空雲遠くにカセードラル ランスバジリック St Remy かく」	[FT00565,223]
8月8日	「マドンナの左側ステンドグラスの左ての壁ぬり」「女一人かき出した。ブドーの□けしき」	[FT00565,225]
8月9日	「女一人右下ふどう かご等かく完成」	[FT00565,226]
8月11日	「オーテル ドームの天井に絵具・ウルトラコバルトで作つてかなだらいで色大刷毛で一気に上中下、濃淡つけてぬつた」	[FT00565,228]
8月12日	「Unionに私の記事」	[FT00565,229]
8月14日	「マドンナの布地の模様等かきこみ手を入れた、パロー夫婦娘等見に来た」	[FT00565,231]
8月19日	「一番仕事した日、人かき加えたり子供五人位かき加へ君代も入れた」	[FT00565,236]
8月23日	「最後の晩餐かき出して」	[FT00565,240]
8月24日	「来訪 コントフロリユー1915年の私の画持つて来て見せる」	[FT00565,240]
8月26日	「Prade肖像かく隅の方」	[FT00565,243]
8月27日	「カーテン、署名と[巻物の図]を丁寧に仕上げた」	[FT00565,244]
8月29日	「セツの罪 Sept Pecdesかき出して」	[FT00565,246]
8月30日	「7罪夕方迄に完成全部終り 全部壁画終った 完成の日」	[FT00565,247]
9月7日	「手紙かく (勝田恵朔スケ) 千葉大森町286。美術学校には入っておけの話等 森鷗外と明治四十一年四月一日私が会った事 林芙美子ノ文房□自慢との関係」	[FT00565,256]
9月12日	「Petridesより仕事のさいそくあり、この人一人買つてくれる人あれば生きる事の心配なし 他は皆ことわる」	[FT00565,261]
9月13日	「風気味葉のんで吐いたりして」	[FT00565,262]
9月14日	「夕方葉のんで煙草のんだら吐いた。煙草の中毒らしい」	[FT00565,263]
9月20日	「船戸洪吉四五日前腸閉鎖とかで死んだとこの人とハ悪縁のある人だった未だ若し」	[FT00565,269]
10月1日	「成聖式」	[FT00565,281]
10月3日	「尿の出悪く苦しい事 多分三ヶ月板の上で冷えた」	[FT00564,283]
10月10日	「夏休みもせず Fresque かいいて三ヶ月後九月遊んで始めてカンバスに仕事始めた」	[FT00565,290]
10月17日	「Reins行き」	[FT00565,297]
11月11日	「Pradeはうそついた。Lalou氏決断と金銭にこだわってる。私の気に喰はぬ」	[FT00565,319]
11月14日	「仕事、紙片に墨えキリストの顔や十字架大小何枚となくかく」	[FT00565,322]
11月18日	「Prade Lalou Telアリ Lalou Bane Clouzierにたのまず自分で買うとの事」	[FT00565,326]
11月27日	「誕生日丁度満80才になる」	[FT00565,335]
11月29日	「Dr. Aboulker 外科大先生の処いろく様子話してとうく診察室」「結局 clipepeあり病院に入ってねかせられてかき出し電気で焼く腹を切らずにすむとの事」	[FT00565,337]
12月2日	「小便する時痛み烈し」	[FT00565,341]
12月3日	「今日ハNoél cardリノリウムにキリストの顔彫って五十枚インキで印刷した」	[FT00565,342]
12月5日	「やっ明日Dr Wattg (X光線) に行く事になった痛みももうすこしの辛棒よくこ、迄こらへたものと思ふ」	[FT00565,344]
12月8日	「朝入院 Clinique Ambroise Pare 209番」 膀胱炎のためパリの病院へ入院、手術を受ける。[『朝日新聞』1966年12月9日夕刊、1967年1月4日]	[FT00565,347]
12月10日	「手術」	[FT00565,349]
12月16日	「l'operation」	[FT00565,351]

## 1967 (昭和42)年 80歳

1月1日 「clinique Ambroise Paréへ入院中」「愈々全快との事なほってるとの事されど二三日様子を見て退院する事にする」

[FT00570,007]

- 1月3日 パリの病院を退院する。〔朝日新聞〕1967年1月4日
- 1月3日 「退院の日」 [FT00570,009]
- 1月4日 「初めて（入院以来一ヶ月は入れぬ）風呂に入りて工合よく」 [FT00570,010]
- 1月26日 「無名の人の手紙へ返事出すと後から始終文通して来る。返事出さぬが一番だ。御礼状等出してだんく（深入りして行く様になる）」 [FT00570,032]
- 2月2日 「パステルで小女かいて見たり」 [FT00570,040]
- 2月4日 「日本紙に道子の毛筆で墨えかきたいと思ってもう半年以上にもなる事今日一枚やつと試す面白そうだ」 [FT00570,042]
- 2月6日 「10号小女帽子着服の小女全身初めてかき又鳥の子へ画室の画家の娘一枚とプロフェル二枚かく」 [FT00570,044]
- 2月9日 「8枚水彩を紙に張った」「日本の画商うるさく木版猫出版したいとてもう版木は出来た等けしからん。」 [FT00570,047]
- 2月13日 「アメリカ国際連盟私のCard二百枚くれると」「四五枚水彩ノ人物の左右に小品小女かきこんで（画紙）色つけ」 [FT00570,051]
- 2月14日 「テープレコーダに入れた落成式のレコード返却五十枚位作ると封袋の画かいてやる木炭紙」 [FT00570,052]
- 2月16日 「Yves Gandon支那風の扉絵かいて」「久し振りに油え10号かく事にして初めた。」 [FT00570,054]
- 2月17日 「油えバックの木の葉かき仕上げた」 [FT00570,055]
- 2月20日 「MilliersとAboulker 両先生私の問合せ御礼等とんでもない 大家の診察した事が名誉だと言ふので断つて来て、私ハ内心二人に記念品（dessins）上げるつもり」 [FT00570,058]
- 3月10日 「受 ハンガリーの彫刻家私ノメダル作りたいと書面」 [FT00570,077]
- 3月12日 「4号母と子油え下かき」 [FT00570,079]
- 3月14日 「4号母と娘油え下画かく」 [FT00570,081]
- 3月16日 「油え三枚かく今日ハ又新しい色 明るい色に出来 かきよかつた。」 [FT00570,083]
- 3月19日 「三枚油えかけ入れたり、私の自画像荒いキャンバスにかいて見たりして」 [FT00570,086]
- 3月22日 「岡田謙三5月一日より廿日迄マドリツドの友人の処へ来ると、ここへやりたいと」 [FT00570,089]
- 3月29日 「再び入院の日」 [FT00570,096]
- 4月7日 「退院の日第十日目」 [FT00570,106]
- 4月10日 「Zurich入院の日」 [FT00570,109]
- 4月19日 「マスイ、手術した」 [FT00570,118]
- 4月28日 「3h頃とても痛くてこゝへ来て始めてこんな苦しい日なし」 [FT00570,127]
- 5月5日 平野政吉美術館開館
- 5月14日 「Reinsノ市長私のchappelle前例なく他のものよりも一番ノReinsノ呼びものとなりて大に感謝 水と電気と一切市で支払い今迄使用した分と皆 支払ってくれるとの事 市とても恩にきてくれた」 [FT00570,144]
- 5月22日 「田淵高島と岡田スペイン えはがき出した」 [FT00570,152]
- 6月1日 「痩せる一方体重私58KL」 [FT00570,163]
- 6月8日 「全快の日 君代田淵と巴里へ引き上げの日」 [FT00570,170]
- 6月12日 「とうく退院の日が来た」「巴里に帰る」 [FT00570,174]
- 6月14日 「Lakou 19日市庁サイン式の事の手紙」「アトリユに上りて画日記どんくかいて見た」「高島文子長谷川仁の女房来た」 [FT00570,176]
- 6月16日 「大吉報 グラパッド ド レジョン ドノール」「PradeよりReins市長Tailthingerさん私へのコンマンタス勲章請求教育者よく気付けてくれて勿論異議なく次回ノ総会にかけて実現いたしましよとの返事アンドレ・マルローさん反対しなかった。」 [FT00570,178]
- 7月14日 「高田力蔵五分間でもいいから会って下されバとの事で仕方なく承知」 [FT00570,205]
- 7月15日 「最近長谷川路可死んだときいた。」 [FT00570,206]
- 7月27日 「Petrides注文の燕と小児石垣の上に八人の分5Pに墨かき」 [FT00570,216]
- 7月30日 「海老原へ今年ハ Atelie かせない旨の手紙夕方出した」 [FT00570,221]
- 8月6日 「シャベルノ扉にかいたSt.ノ絵かく」 [FT00570,227]
- 8月10日 「受 夏堀氏本にとりかかる等」 [FT00570,231]
- 8月14日 「四枚扉のえ油えでかき直して強くする」 [FT00570,235]
- 8月15日 「思い切つて5p小供石垣燕の行列の画扉え四枚かいた後で仕事して后迄にすませ」 [FT00570,236]
- 8月16日 「扉え四枚の盆型の箱の裏に型おいて模様つけたりして遊ぶ」 [FT00570,237]
- 8月23日 「Zurich入院」 [FT00570,244]
- 8月24日 「Dr Mayor narcose」 [FT00570,245]
- 8月29日 「愈々退院の日」 [FT00570,250]

- 9月1日 「日本の話いろく蓮元よりキリスト二人小女バラの画等30枚の展一枚最高千八百萬に売れてたとアメリカより送くれた戦争画ノカラー写真のばした私の戦争画の展 皆出てるらしく私の丈かよく分らず不キューの傑作皆感げきしてフチタ、フヂタで到拠私の画見る機会多しと今更何んだつて言ふんだと二人でいろく日本のひくつな事話して夕方となる」 [FT00570.254]
- 9月2日 「凶報 Tel 高島から今朝あった中村研一と和田三造が死んだ話して初耳」 [FT00570.255]
- 9月7日 「発 Gerard Baner 悔状」 [FT00570.260]
- 9月8日 「夏堀 和仁、東光僧さん私の戦争画絶賛 三島ゆきおさんも明治百人の大家の内の十人の内 私と黒田清輝二人を上げて達成ノ人、開眼ノ人絶賛」 [FT00570.261]
- 9月21日 「油画注文の分燕と子供5p、一枚母と女ノ子5p、一枚は直したのまれた分Petridesへ届けて」「田渕急にロシアモスコー経由できて北極廻り日曜日ニヶ月日本へ行くとの事私の1923年サロンドートンヌに出した□□□五人の裸婦の写真日本の美術館買いたいとの事証明たのみに来て別れて帰る」 [FT00570.274]
- 9月23日 「皆うそ許りでLalouさんのけちとプラードのうそとで困まってる パンフレットもくれずスイスのキリストのハンケチもくれず招待もせず、あの人あって初めてchapelleが出来たのを嫌ってLalouさんもTetaで私の信用をおとした」 [FT00570.276]
- 9月30日 「路可の死ローマでこれも痛だった」 [FT00570.283]
- 10月 チューリッヒ州立病院に入院する。[『年鑑』p.59]
- 10月1日 「高島お別れの日」 [FT00570.285]
- 10月3日 「病院行き決心」 [FT00570.287]
- 10月9日 「嗣雄さんの死を知る」「工合悪くて痛く早くZirichに行く事に決心した」 [FT00570.293]
- 10月11日 「英了よりあやまり状来た」「自分ノ原稿か叔父上を怒らせた事も意外で志賀直哉里見淳矢代幸雄等もみんなよんで叔父上を好きになつて誤解してた叔父上に好意を持ち ジャーナリズムも皆変化したと自信満々大いにあやまつて来た」 [FT00570.295]
- 10月14日 「入院」 [FT00570.298]
- 10月18日 「Prede来て今日は飛行機で帰るdessin一枚お礼に上げた(女の顔本扉えの一枚の内)」 [FT00570.304]
- 10月26日 「治療第一日目Rayon」 [FT00570.312]
- 11月1日 「来年 chapelle Foujitaと改名する由私の名でいい訳だ」 [FT00570.319]
- 11月23日 「今日初めて私はつまない意志をとうす事をやめやめて自分の81才の死を再びびかせる事に決心した。」 [FT00570.341]
- 12月18日 「今日は私の辛棒の極に達しもうこれ以上我慢ができぬ痛さ」 [FT00573.001]

## 1968 (昭和43)年 81歳

- 1月4日 「君代丈けに打ち明け相談を遺言 私の財産と私のすべて皆おまへのものだ。」 [FT00573.021]
- 1月5日 「私の葬式等ハプラードや田渕等が村で簡単に式してモンパルナスの寺で告別式してモンパルナスの知人が必ず大勢来て別れを惜しんでくれる」 [FT00573.027.029]
- 1月6日 「眠る様に私は死にそうだ 大安往生だ」 [FT00573.031]
- 1月9日 「乾杯 最早駄目近々に迫る 9-1-68」 [FT00573.044]
- 1月29日 チューリッヒ州立病院で死去する。享年81歳。[『年鑑』p.59]
- 2月3日 ランスの大聖堂で葬儀が行われる。[『年鑑』p.59]
- 4月 日本政府から勲一等瑞宝章を授与される。[『朝日新聞』1968年3月27日]



東京藝術大学大学美術館編

東京藝術大学所蔵藤田資料による

## 藤田嗣治 日々の記録

発行日 2022年3月31日

発行者 東京藝術大学大学美術館

連絡先 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8  
<https://museum.geidai.ac.jp/>

制作 柴田 卓 (Curio Editors Studio)